

山形市
高齢者実態調査結果報告書

平成 29 年 7 月

山形県 山形市

目 次

第1章 調査の実施概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の内容	3
(1) 介護予防・日常生活圏域二エズ調査	3
(2) 在宅介護実態調査	4
3 電算処理及び報告書の記載方法	4
(1) 電算処理	4
(2) 報告書の記載方法等	5
4 調査票の配布と回答状況	6
(1) 有効回答者数と有効回答率	6
(2) 有効回答者の年齢階級別の状況	7
(3) 有効回答者の属性	11
第2章 日常生活圏域別地域分析	15
1 “3つの高齢者像” からみた地域分析	16
2 介護予防事業に関する二エズ	21
(1) 介護予防事業対象者出現率	21
(2) リスク別該当者出現率	22
3 認知症高齢者対策に関する二エズ	34
(1) 認知機能レベルⅠ・Ⅱ 該当者数の状況	34
4 日常生活支援総合事業に関する二エズ	35
(1) サービス事業対象者出現率	35
5 地域資源等の把握	36
(1) 地域活動への参加状況	36
(2) 地域に期待する支援（サービス）	39
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）	43
(4) 社会参加と生きがい	46
6 高齢者の公共交通機関の利用状況	49

7	健康について.....	50
	(1) 高齢者の健康感や幸福感.....	50
	(2) 誰かとともに食事をする頻度.....	52
8	地域特性のまとめ.....	53
	(1) 「第1圏域」の特性.....	55
	(2) 「第2圏域」の特性.....	58
	(3) 「第3圏域」の特性.....	61
	(4) 「第4圏域」の特性.....	64
	(5) 「第5圏域」の特性.....	67
	(6) 「第6圏域」の特性.....	70
	(7) 「第7圏域」の特性.....	73
	(8) 「第8圏域」の特性.....	76
	(9) 「第9圏域」の特性.....	79
	(10) 「第10圏域」の特性.....	82
	(11) 「第11圏域」の特性.....	85
	(12) 「第12圏域」の特性.....	88
	(13) 「第13圏域」の特性.....	91
I	「第1圏域」.....	95
	1 家族構成や介護・生活状況.....	96
	(1) 家族構成.....	96
	(2) 日中独居の状況.....	96
	(3) 日常生活における介護（介助）の状況.....	97
	(4) 現在の経済状況.....	97
	2 “3つの高齢者像”からみた地域分析.....	98
	3 リスク別該当者の予測.....	99
	4 地域資源等の把握.....	105
	(1) 地域活動への参加状況.....	105
	(2) 地域に期待する支援（サービス）.....	106
	(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	108
II	「第2圏域」.....	110
	1 家族構成や介護・生活状況.....	111
	(1) 家族構成.....	111
	(2) 日中独居の状況.....	111

(3) 日常生活における介護（介助）の状況.....	112
(4) 現在の経済状況.....	112
2 “3つの高齢者像”からみた地域分析.....	113
3 リスク別該当者の予測.....	114
4 地域資源等の把握.....	120
(1) 地域活動への参加状況.....	120
(2) 地域に期待する支援（サービス）.....	121
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	123
Ⅲ 「第3圏域」.....	125
1 家族構成や介護・生活状況.....	126
(1) 家族構成.....	126
(2) 日中独居の状況.....	126
(3) 日常生活における介護（介助）の状況.....	127
(4) 現在の経済状況.....	127
2 “3つの高齢者像”からみた地域分析.....	128
3 リスク別該当者の予測.....	129
4 地域資源等の把握.....	135
(1) 地域活動への参加状況.....	135
(2) 地域に期待する支援（サービス）.....	136
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	137
Ⅳ 「第4圏域」.....	138
1 家族構成や介護・生活状況.....	139
(1) 家族構成.....	139
(2) 日中独居の状況.....	139
(3) 日常生活における介護（介助）の状況.....	140
(4) 現在の経済状況.....	140
2 “3つの高齢者像”からみた地域分析.....	141
3 リスク別該当者の予測.....	142
4 地域資源等の把握.....	148
(1) 地域活動への参加状況.....	148
(2) 地域に期待する支援（サービス）.....	149
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	150

V	「第5圏域」	151
1	家族構成や介護・生活状況.....	152
	（1）家族構成.....	152
	（2）日中独居の状況.....	152
	（3）日常生活における介護（介助）の状況.....	153
	（4）現在の経済状況.....	153
2	“3つの高齢者像”からみた地域分析.....	154
3	リスク別該当者の予測.....	155
4	地域資源等の把握.....	161
	（1）地域活動への参加状況.....	161
	（2）地域に期待する支援（サービス）.....	162
	（3）住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	163
VI	「第6圏域」	164
1	家族構成や介護・生活状況.....	165
	（1）家族構成.....	165
	（2）日中独居の状況.....	166
	（3）日常生活における介護（介助）の状況.....	167
	（4）現在の経済状況.....	167
2	“3つの高齢者像”からみた地域分析.....	168
3	リスク別該当者の予測.....	169
4	地域資源等の把握.....	175
	（1）地域活動への参加状況.....	175
	（2）地域に期待する支援（サービス）.....	177
	（3）住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	179
VII	「第7圏域」	181
1	家族構成や介護・生活状況.....	181
	（1）家族構成.....	181
	（2）日中独居の状況.....	181
	（3）日常生活における介護（介助）の状況.....	183
	（4）現在の経済状況.....	183
2	“3つの高齢者像”からみた地域分析.....	184
3	リスク別該当者の予測.....	185

4	地域資源等の把握	191
	(1) 地域活動への参加状況	191
	(2) 地域に期待する支援（サービス）	192
	(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）	193
VIII	「第8圏域」	194
1	家族構成や介護・生活状況	195
	(1) 家族構成	195
	(2) 日中独居の状況	195
	(3) 日常生活における介護（介助）の状況	196
	(4) 現在の経済状況	196
2	“3つの高齢者像”からみた地域分析	197
3	リスク別該当者の予測	198
4	地域資源等の把握	204
	(1) 地域活動への参加状況	204
	(2) 地域に期待する支援（サービス）	205
	(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）	207
IX	「第9圏域」	209
1	家族構成や介護・生活状況	210
	(1) 家族構成	210
	(2) 日中独居の状況	210
	(3) 日常生活における介護（介助）の状況	211
	(4) 現在の経済状況	211
2	“3つの高齢者像”からみた地域分析	212
3	リスク別該当者の予測	213
4	地域資源等の把握	219
	(1) 地域活動への参加状況	219
	(2) 地域に期待する支援（サービス）	220
	(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）	221
X	「第10圏域」	222
1	家族構成や介護・生活状況	223
	(1) 家族構成	223
	(2) 日中独居の状況	223

(3) 日常生活における介護（介助）の状況.....	224
(4) 現在の経済状況.....	224
2 “3つの高齢者像”からみた地域分析.....	225
3 リスク別該当者の予測.....	226
4 地域資源等の把握.....	232
(1) 地域活動への参加状況.....	232
(2) 地域に期待する支援（サービス）.....	233
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	235
XI 「第11 圏域」.....	237
1 家族構成や介護・生活状況.....	238
(1) 家族構成.....	238
(2) 日中独居の状況.....	238
(3) 日常生活における介護（介助）の状況.....	239
(4) 現在の経済状況.....	239
2 “3つの高齢者像”からみた地域分析.....	240
3 リスク別該当者の予測.....	241
4 地域資源等の把握.....	247
(1) 地域活動への参加状況.....	247
(2) 地域に期待する支援（サービス）.....	248
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	249
XII 「第12 圏域」.....	250
1 家族構成や介護・生活状況.....	251
(1) 家族構成.....	251
(2) 日中独居の状況.....	251
(3) 日常生活における介護（介助）の状況.....	252
(4) 現在の経済状況.....	252
2 “3つの高齢者像”からみた地域分析.....	253
3 リスク別該当者の予測.....	254
4 地域資源等の把握.....	260
(1) 地域活動への参加状況.....	260
(2) 地域に期待する支援（サービス）.....	261
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	262

XⅢ 「第13圏域」	263
1 家族構成や介護・生活状況.....	264
(1) 家族構成.....	264
(2) 日中独居の状況.....	264
(3) 日常生活における介護（介助）の状況.....	265
(4) 現在の経済状況.....	265
2 “3つの高齢者像” からみた地域分析.....	266
3 リスク別該当者の予測.....	267
4 地域資源等の把握.....	273
(1) 地域活動への参加状況.....	273
(2) 地域に期待する支援（サービス）.....	274
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）.....	275
第3章 一般高齢者調査結果.....	279
1 あなたのご家族や生活状況について.....	279
(1) 家族構成及び日中独居者の状況.....	279
(2) 日常生活における介護（介助）の状況.....	280
(3) 現在の経済状況.....	281
(4) 現在の居住環境.....	282
2 からだを動かすことについて.....	283
(1) 運動機能の状況.....	283
(2) 外出の状況.....	286
3 食べることについて.....	292
(1) 現在の肥満状況.....	292
(2) 歯・口腔の状況.....	293
(3) 食事の状況.....	295
4 毎日の生活について.....	297
(1) IADL（手段的自立度）の状況.....	297
(2) 社会参加（知的能動性）の状況.....	301
(3) 社会参加（社会的役割）の状況.....	303
(4) 老研指標総合評価.....	306
(5) こころの健康状態.....	307
(6) 物忘れの状況.....	309
(7) ゴミ出しの状況（市独自設問）.....	311

5	地域での活動について	312
	（1）グループ活動等の状況.....	312
	（2）地域づくりに対する参加意向.....	314
	（3）地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの.....	316
6	たすけあいについて	317
	（1）困った際に頼る相手または頼られる相手.....	317
	（2）友人・知人との交流状況.....	320
7	健康について.....	321
	（1）健康状態.....	321
	（2）疾病と喫煙や飲酒の関係.....	322
	（3）通院の状況.....	324
8	介護等が必要になった場合の生活について.....	325
	（1）生活場所やサービス利用の意向.....	325
	（2）近隣からの支援に望むこと.....	326
9	山形市の施策について	328
	（1）認知症予防への支援.....	328
	（2）高齢者保健福祉への取組.....	330
10	自動車の運転について	331
第4章 チェックリスト該当者調査結果.....		335
1	あなたのご家族や生活状況について	335
	（1）家族構成及び日中独居者の状況.....	335
	（2）日常生活における介護（介助）の状況.....	336
	（3）現在の経済状況.....	337
	（4）現在の居住環境.....	338
2	からだを動かすことについて.....	339
	（1）運動機能の状況.....	339
	（2）外出の状況.....	341
3	食べることについて	344
	（1）現在の肥満状況.....	344
	（2）歯・口腔の状況.....	345
	（3）食事の状況.....	347
4	毎日の生活について	349
	（1）IADL（手段的自立度）の状況.....	349

(2) 社会参加（知的能動性）の状況	352
(3) 社会参加（社会的役割）の状況	354
(4) 老研指標総合評価	356
(5) こころの健康状態	356
(6) 物忘れの状況	358
(7) ゴミ出しの状況（市独自設問）	360
5 地域での活動について	361
(1) グループ活動等の状況	361
(2) 地域づくりに対する参加意向	363
(3) 地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの	365
6 たすけあいについて	366
(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手	366
(2) 友人・知人との交流状況	369
7 健康について	370
(1) 健康状態	370
(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係	370
(3) 通院の状況	372
8 介護等が必要になった場合の生活について	373
(1) 生活場所やサービス利用の意向	373
(2) 近隣からの支援に望むこと	374
9 山形市の施策について	376
(1) 認知症予防への支援	376
(2) 高齢者保健福祉への取組	378
10 自動車の運転について	379
第5章 要支援者調査結果	383
1 あなたのご家族や生活状況について	383
(1) 家族構成及び日中独居者の状況	383
(2) 日常生活における介護（介助）の状況	384
(3) 現在の経済状況	385
(4) 現在の居住環境	386
2 からだを動かすことについて	387
(1) 運動機能の状況	387
(2) 外出の状況	389

3	食べることについて	392
	（1）現在の肥満状況	392
	（2）歯・口腔の状況	393
	（3）食事の状況	395
4	毎日の生活について	397
	（1）IADL（手段的自立度）の状況	397
	（2）社会参加（知的能動性）の状況	400
	（3）社会参加（社会的役割）の状況	402
	（4）老研指標総合評価	404
	（5）こころの健康状態	404
	（6）物忘れの状況	406
	（7）ゴミ出しの状況（市独自設問）	408
5	地域での活動について	409
	（1）グループ活動等の状況	409
	（2）地域づくりに対する参加意向	411
	（3）地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの	413
6	たすけあいについて	414
	（1）困った際に頼る相手または頼られる相手	414
	（2）友人・知人との交流状況	417
7	健康について	418
	（1）健康状態	418
	（2）疾病と喫煙や飲酒の関係	418
	（3）通院の状況	420
8	介護等が必要になった場合の生活について	421
	（1）生活場所やサービス利用の意向	421
	（2）近隣からの支援に望むこと	422
9	山形市の施策について	424
	（1）認知症予防への支援	424
	（2）高齢者保健福祉への取組	426
10	自動車の運転について	427
第6章 在宅介護実態調査結果		431
1	ご本人（要介護者）の状況について	431
	（1）要介護者の要介護度	431

(2) 要介護者の世帯状況.....	431
(3) 家族・親族による介護の頻度.....	432
2 主な介護者等の状況（属性等）について.....	434
(1) 主な介護者の状況.....	434
(2) 主な介護者の介護実態.....	435
(3) 家族介護のために離職した状況.....	437
3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて.....	440
(1) 在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス.....	440
(2) 介護保険サービスの利用状況.....	444
(3) 訪問診療の利用状況.....	446
4 主な介護者の就労状況について.....	448
(1) 主な介護者の勤務形態.....	448
(2) 継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向.....	448
5 介護生活を続ける際の不安や困りごと.....	450
(1) 主な介護者が不安に感じる介護の内容.....	450
6 介護離職の要因について.....	452
(1) 主な介護者を取り巻く介護環境等.....	452
(2) 就業中の主な介護者に関する就労環境.....	457
(3) 要介護者の様態と介護実態.....	460
(4) 介護給付サービス等の利用状況.....	461
7 山形市独自設問.....	463
(1) 近隣からの支援に関する意向.....	463
(2) 終末期に関する意向.....	464
(3) 高齢者保健福祉の施策について.....	465
資料編.....	469
1 電算処理の判定条件等.....	469
2 アンケート調査票.....	473
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	473
(2) 在宅介護実態調査.....	481

第1章

調査の実施概要

第1章 調査の実施概要

1 調査の目的

「山形市第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっては、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、本市における地域を含めた課題整理を行い、今後目指すべき地域包括ケアシステム構築のあり方とサービス基盤の方向性を検討する必要があります。

本調査は、計画策定に必要となる将来推計の基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査の内容

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

要介護状態になる前の高齢者に対する「要介護度の悪化につながるリスクの発生状況」及び「要介護度の悪化に影響を与える日常生活の状況」のアンケートを実施し、地域包括ケアシステム構築のための地域課題の抽出とサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象者	平成29年1月15日現在、山形市に居住する65歳以上の一般高齢者及び要支援1・2認定者（要介護1～5認定者を除く）6,000人を無作為抽出	6,000人
調査方法	平成29年3月6日～平成29年3月24日 郵送方式による調査	
調査票の設計	1 あなたのご家族や生活状況について	9設問
	2 からだを動かすことについて	14設問
	3 食べることについて	11設問
	4 毎日の生活について	25設問
	5 地域での活動について	4設問
	6 たすけあいについて	8設問
	7 健康について	9設問
	8 介護等が必要になった場合の生活について	4設問
	9 山形市の施策について	3設問
	10 自動車の運転について	2設問
	設問数合計	89設問

※調査票は資料編に掲載しています。

(2) 在宅介護実態調査

介護する家族に対するアンケートを実施し、「地域包括ケアの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を含めて、介護給付サービスをはじめ各種類の「量の見込み」を設定するための基礎資料を得ることを目的としています。

調査対象者	平成 29 年 1 月 15 日現在、山形市に居住する 65 歳以上の要支援 1・2 認定者及び要介護 1～5 認定者 1,400 人を無作為抽出	1,400 人
調査方法	平成 29 年 3 月 6 日～平成 29 年 3 月 24 日 郵送方式による調査	
調査票の設計	I ご本人（要介護者）の状況について	2 設問
	II 主な介護者等の状況（属性等）について	5 設問
	III 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて	7 設問
	IV 主な介護者の就労状況について	4 設問
	V 介護生活を続ける際の不安や困りごと	1 設問
	VI 山形市独自設問	4 設問
	設問数合計	23 設問

※調査票は資料編に掲載しています。

3 電算処理及び報告書の記載方法

(1) 電算処理

集計処理にあたっては、回答結果から世帯状況、健康自立度別高齢者像、運動器の機能低下リスク、口腔機能の低下リスク、低栄養の傾向リスク、閉じこもり傾向リスク、認知機能の低下リスク、うつ傾向リスク、CPSの判定条件を基に行いました。その条件内容は資料編に記載しています。

また、集計表やグラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

(2) 報告書の記載方法等

報告書の記載にあたっては、テーマごとに関連する設問を集約し分析を行っているため、調査票の設問番号順になっていません。グラフや表に記載しているタイトル番号は、調査票の設問番号を用いています。

また、年齢階級別での比較は対象者数が少ない年齢階級については、5歳階級別に記載していない場合があります。

第2章において地域差を算出するグラフ内「市平均値」は、市全域の出現率との差異を表すため0.0としています。

用語について

一般高齢者	要支援・要介護認定者を除いた65歳以上高齢者を称しています。
チェックリスト該当者	一般高齢者のうち、窓口でのチェックリストに該当し総合事業のサービスを受けている方を称しています。
要支援認定者	要支援1・2認定者 報告書では「要支援者」と略称を用いています。
要介護認定者	要介護1～5認定者 報告書では「要介護者」と略称を用いています。
健康高齢者	介護予防事業対象者、サービス事業対象者、認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者に該当していない健康で元気に暮らしている高齢者を称しています。
介護予防事業対象者	要支援・要介護認定者を除く65歳以上の高齢者のうち、要支援又は要介護状態になるおそれがあると判定された方を称しています。 (「運動器の機能低下」「口腔機能の低下」「低栄養の傾向」「閉じこもり傾向」「認知機能の低下」「うつ傾向」の各リスクに1つでも該当した方)
サービス事業対象者	介護予防事業対象者に該当している方の中で、「ひとり暮らし」「高齢者夫婦のみ」「日中独居になることがよくある」という条件を追加した方を称しています。
認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者	認知機能の障害程度がレベルⅠ(境界域)・レベルⅡ(軽度)に該当した高齢者を称し、認知症の予防効果が見込める軽度認知機能障害該当者として位置づけています。

4 調査票の配布と回答状況

(1) 有効回答者数と有効回答率

本調査の回答状況は以下のとおりです。

表 1.1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の回答状況

	調査対象者数	調査票の配布数	有効回答数	有効回答率
市全域	60,837 人	6,000 人	4,618 人	77.0%
第1圏域	6,084 人	470 人	373 人	79.4%
第2圏域	3,148 人	450 人	336 人	74.7%
第3圏域	6,070 人	470 人	362 人	77.0%
第4圏域	5,077 人	470 人	361 人	76.8%
第5圏域	3,428 人	450 人	368 人	81.8%
第6圏域	4,567 人	460 人	344 人	74.8%
第7圏域	3,544 人	450 人	352 人	78.2%
第8圏域	4,868 人	460 人	347 人	75.4%
第9圏域	7,691 人	480 人	369 人	76.9%
第10圏域	4,212 人	460 人	363 人	78.9%
第11圏域	4,206 人	460 人	347 人	75.4%
第12圏域	4,073 人	460 人	363 人	78.9%
第13圏域	3,869 人	460 人	333 人	72.4%

表 1.2 在宅介護実態調査の回答状況

	調査対象者数	調査票の配布数	有効回答数	有効回答率
市全域	11,264 人	1,400 人	872 人	62.3%
第1圏域	1,185 人	110 人	76 人	69.1%
第2圏域	628 人	105 人	72 人	68.6%
第3圏域	1,074 人	110 人	74 人	67.3%
第4圏域	869 人	110 人	65 人	59.1%
第5圏域	592 人	105 人	59 人	56.2%
第6圏域	979 人	110 人	73 人	66.4%
第7圏域	663 人	105 人	58 人	55.2%
第8圏域	1,060 人	110 人	63 人	57.3%
第9圏域	1,213 人	110 人	71 人	64.5%
第10圏域	692 人	110 人	63 人	57.3%
第11圏域	741 人	105 人	65 人	61.9%
第12圏域	757 人	105 人	62 人	59.0%
第13圏域	811 人	105 人	71 人	67.6%

(注) 回収した調査票の中に認定ソフト2009と突合できない方が3人いました。

(2) 有効回答者の年齢階級別の状況

表 1.3 市全域の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	4,454	536	542	461	304	151	43	592	606	536	399	211	73
	100.0	12.0	12.2	10.4	6.8	3.4	1.0	13.3	13.6	12.0	9.0	4.7	1.6
ニーズ調査 (要支援者)	164	5	2	8	11	13	7	2	12	15	30	34	25
	100.0	3.0	1.2	4.9	6.7	7.9	4.3	1.2	7.3	9.1	18.3	20.7	15.2
在宅介護 実態調査 (要支援者)	300	2	6	16	26	26	13	9	19	28	56	58	41
	100.0	0.7	2.0	5.3	8.7	8.7	4.3	3.0	6.3	9.3	18.7	19.3	13.7
在宅介護 実態調査 (要介護者)	572	14	28	27	38	46	37	8	10	43	69	97	155
	100.0	2.4	4.9	4.7	6.6	8.0	6.5	1.4	1.7	7.5	12.1	17.0	27.1

表 1.4 「第1圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	357	39	45	39	29	8	2	38	55	47	36	16	3
	100.0	10.9	12.6	10.9	8.1	2.2	0.6	10.6	15.4	13.2	10.1	4.5	0.8
ニーズ調査 (要支援者)	16	0	0	1	0	1	3	0	0	1	1	6	3
	100.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	18.8	0.0	0.0	6.3	6.3	37.5	18.8
在宅介護 実態調査 (要支援者)	24	0	0	0	2	4	1	0	2	0	4	5	6
	100.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	4.2	0.0	8.3	0.0	16.7	20.8	25.0
在宅介護 実態調査 (要介護者)	52	0	3	3	4	3	3	0	0	2	14	8	12
	100.0	0.0	5.8	5.8	7.7	5.8	5.8	0.0	0.0	3.8	26.9	15.4	23.1

表 1.5 「第2圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	325	40	34	37	19	12	4	48	41	36	33	16	5
	100.0	12.3	10.5	11.4	5.8	3.7	1.2	14.8	12.6	11.1	10.2	4.9	1.5
ニーズ調査 (要支援者)	11	0	0	1	3	0	1	0	1	2	1	2	0
	100.0	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1	18.2	0.0
在宅介護 実態調査 (要支援者)	23	0	1	0	1	1	1	1	1	3	5	7	2
	100.0	0.0	4.3	0.0	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	13.0	21.7	30.4	8.7
在宅介護 実態調査 (要介護者)	49	1	1	4	2	4	6	1	1	6	4	11	8
	100.0	2.0	2.0	8.2	4.1	8.2	12.2	2.0	2.0	12.2	8.2	22.4	16.3

表 1.6 「第3圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	345	37	44	35	30	10	2	56	45	40	26	15	5
	100.0	10.7	12.8	10.1	8.7	2.9	0.6	16.2	13.0	11.6	7.5	4.3	1.4
ニーズ調査 (要支援者)	17	0	0	2	0	4	0	0	2	2	3	2	2
	100.0	0.0	0.0	11.8	0.0	23.5	0.0	0.0	11.8	11.8	17.6	11.8	11.8
在宅介護 実態調査 (要支援者)	28	0	0	2	3	1	1	1	1	4	7	6	2
	100.0	0.0	0.0	7.1	10.7	3.6	3.6	3.6	3.6	14.3	25.0	21.4	7.1
在宅介護 実態調査 (要介護者)	72	1	3	0	4	3	4	0	0	5	8	9	9
	100.0	2.2	6.5	0.0	8.7	6.5	8.7	0.0	0.0	10.9	17.4	19.6	19.6

表 1.7 「第4圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	349	49	40	36	24	7	3	47	50	40	27	22	4
	100.0	14.0	11.5	10.3	6.9	2.0	0.9	13.5	14.3	11.5	7.7	6.3	1.1
ニーズ調査 (要支援者)	12	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	3	4
	100.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	25.0	33.3
在宅介護 実態調査 (要支援者)	20	0	1	2	1	3	0	0	0	3	4	4	2
	100.0	0.0	5.0	10.0	5.0	15.0	0.0	0.0	0.0	15.0	20.0	20.0	10.0
在宅介護 実態調査 (要介護者)	45	1	2	3	2	7	2	0	1	6	7	5	9
	100.0	2.2	4.4	6.7	4.4	15.6	4.4	0.0	2.2	13.3	15.6	11.1	20.0

表 1.8 「第5圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	352	41	43	28	23	21	6	45	47	37	34	19	8
	100.0	11.6	12.2	8.0	6.5	6.0	1.7	12.8	13.4	10.5	9.7	5.4	2.3
ニーズ調査 (要支援者)	16	0	1	0	0	1	1	0	2	2	5	3	1
	100.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	12.5	12.5	31.3	18.8	6.3
在宅介護 実態調査 (要支援者)	22	0	1	2	1	0	0	0	1	2	7	5	3
	100.0	0.0	4.5	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1	31.8	22.7	13.6
在宅介護 実態調査 (要介護者)	37	0	0	1	4	4	1	0	0	4	4	7	12
	100.0	0.0	0.0	2.7	10.8	10.8	2.7	0.0	0.0	10.8	10.8	18.9	32.4

表 1.9 「第6圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	333	44	45	29	24	10	1	49	30	49	29	13	10
	100.0	13.2	13.5	8.7	7.2	3.0	0.3	14.7	9.0	14.7	8.7	3.9	3.0
ニーズ調査 (要支援者)	11	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	4	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3	36.4	9.1
在宅介護 実態調査 (要支援者)	21	0	0	0	3	2	2	1	3	2	5	2	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	14.3	9.5	9.5	4.8	14.3	9.5	23.8	9.5	4.8
在宅介護 実態調査 (要介護者)	52	3	2	0	4	5	3	2	0	4	1	11	17
	100.0	5.8	3.8	0.0	7.7	9.6	5.8	3.8	0.0	7.7	1.9	21.2	32.7

表 1.10 「第7圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	340	41	39	35	21	12	3	46	46	34	41	16	6
	100.0	12.1	11.5	10.3	6.2	3.5	0.9	13.5	13.5	10.0	12.1	4.7	1.8
ニーズ調査 (要支援者)	12	0	0	1	0	1	0	0	0	2	3	2	3
	100.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0	16.7	25.0
在宅介護 実態調査 (要支援者)	24	1	0	0	1	4	2	0	2	0	6	6	2
	100.0	4.2	0.0	0.0	4.2	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	25.0	25.0	8.3
在宅介護 実態調査 (要介護者)	34	1	0	2	2	1	3	0	1	1	3	9	11
	100.0	2.9	0.0	5.9	5.9	2.9	8.8	0.0	2.9	2.9	8.8	26.5	32.4

表 1.11 「第8圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	336	39	42	40	19	13	2	40	49	49	27	13	3
	100.0	11.6	12.5	11.9	5.7	3.9	0.6	11.9	14.6	14.6	8.0	3.9	0.9
ニーズ調査 (要支援者)	11	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	2	3
	100.0	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	18.2	27.3
在宅介護 実態調査 (要支援者)	21	0	0	1	3	0	3	3	2	0	4	1	4
	100.0	0.0	0.0	4.8	14.3	0.0	14.3	14.3	9.5	0.0	19.0	4.8	19.0
在宅介護 実態調査 (要介護者)	42	2	2	1	3	5	3	1	0	3	5	7	10
	100.0	4.8	4.8	2.4	7.1	11.9	7.1	2.4	0.0	7.1	11.9	16.7	23.8

表 1.12 「第 9 圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	362	46	42	34	30	8	2	53	50	45	32	14	6
	100.0	12.7	11.6	9.4	8.3	2.2	0.6	14.6	13.8	12.4	8.8	3.9	1.7
ニーズ調査 (要支援者)	7	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1
	100.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3
在宅介護 実態調査 (要支援者)	22	1	0	3	0	1	1	1	0	1	3	9	2
	100.0	4.5	0.0	13.6	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	13.6	40.9	9.1
在宅介護 実態調査 (要介護者)	49	0	4	1	2	3	5	2	2	2	6	5	17
	100.0	0.0	8.2	2.0	4.1	6.1	10.2	4.1	4.1	4.1	12.2	10.2	34.7

表 1.13 「第 10 圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	346	40	36	41	27	9	4	42	51	38	35	17	6
	100.0	11.6	10.4	11.8	7.8	2.6	1.2	12.1	14.7	11.0	10.1	4.9	1.7
ニーズ調査 (要支援者)	17	1	0	0	1	1	0	1	2	0	3	6	2
	100.0	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	11.8	0.0	17.6	35.3	11.8
在宅介護 実態調査 (要支援者)	24	0	0	4	1	3	1	1	0	5	3	0	6
	100.0	0.0	0.0	16.7	4.2	12.5	4.2	4.2	0.0	20.8	12.5	0.0	25.0
在宅介護 実態調査 (要介護者)	39	2	3	2	4	2	1	0	3	3	3	5	11
	100.0	5.1	7.7	5.1	10.3	5.1	2.6	0.0	7.7	7.7	7.7	12.8	28.2

表 1.14 「第 11 圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	336	48	42	34	16	13	4	46	45	36	29	18	5
	100.0	14.3	12.5	10.1	4.8	3.9	1.2	13.7	13.4	10.7	8.6	5.4	1.5
ニーズ調査 (要支援者)	11	1	1	0	1	1	0	0	1	2	1	1	2
	100.0	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1	9.1	18.2
在宅介護 実態調査 (要支援者)	28	0	0	1	4	3	0	0	3	4	2	6	5
	100.0	0.0	0.0	3.6	14.3	10.7	0.0	0.0	10.7	14.3	7.1	21.4	17.9
在宅介護 実態調査 (要介護者)	37	1	2	3	2	3	1	1	0	1	6	6	11
	100.0	2.7	5.4	8.1	5.4	8.1	2.7	2.7	0.0	2.7	16.2	16.2	29.7

表 1.15 「第12 圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	350 100.0	29 8.3	41 11.7	36 10.3	18 5.1	17 4.9	10 2.9	46 13.1	48 13.7	46 13.1	32 9.1	20 5.7	7 2.0
ニーズ調査 (要支援者)	13 100.0	1 7.7	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0	1 7.7	3 23.1	3 23.1	1 7.7	1 7.7
在宅介護 実態調査 (要支援者)	23 100.0	0 0.0	2 8.7	1 4.3	3 13.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	2 8.7	3 13.0	4 17.4	4 17.4	3 13.0
在宅介護 実態調査 (要介護者)	39 100.0	0 0.0	0 0.0	2 5.1	3 7.7	5 12.8	3 7.7	0 0.0	1 2.6	1 2.6	3 7.7	5 12.8	16 41.0

表 1.16 「第13 圏域」の調査別性別年齢階級別有効回答者 単位：上段/人、下段/%

調査対象者	計	男性						女性					
		65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
ニーズ調査 (一般高齢者)	323 100.0	43 13.3	49 15.2	37 11.5	24 7.4	11 3.4	0 0.0	36 11.1	49 15.2	39 12.1	18 5.6	12 3.7	5 1.5
ニーズ調査 (要支援者)	10 100.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0
在宅介護 実態調査 (要支援者)	20 100.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	3 15.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	3 15.0	3 15.0
在宅介護 実態調査 (要介護者)	51 100.0	2 3.9	6 11.8	5 9.8	2 3.9	1 2.0	2 3.9	1 2.0	1 2.0	5 9.8	5 9.8	9 17.6	12 23.5

(3) 有効回答者の属性

本調査における有効回答者の属性は以下のとおりです。

① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図 1.1 回答者区分

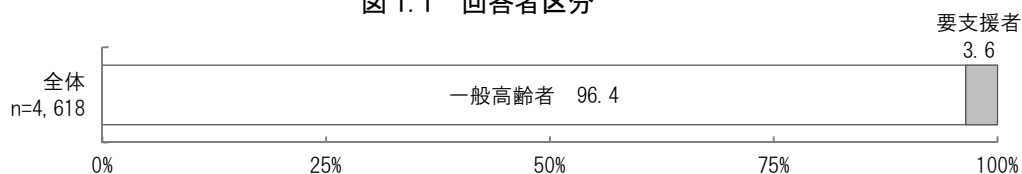
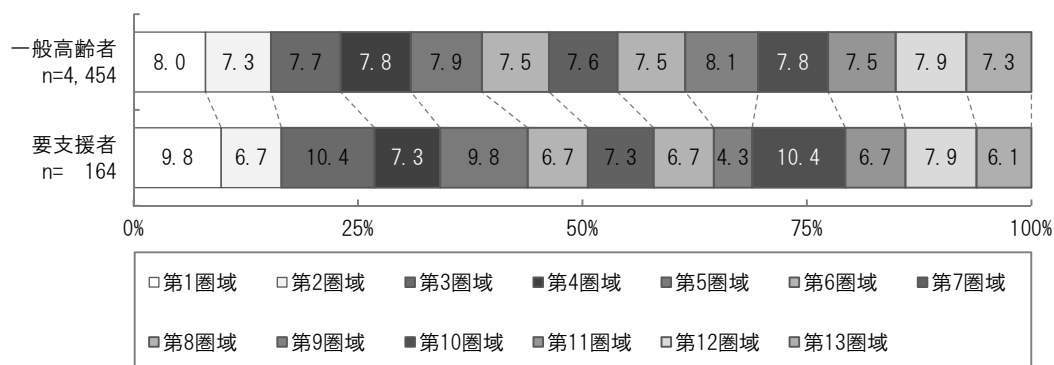
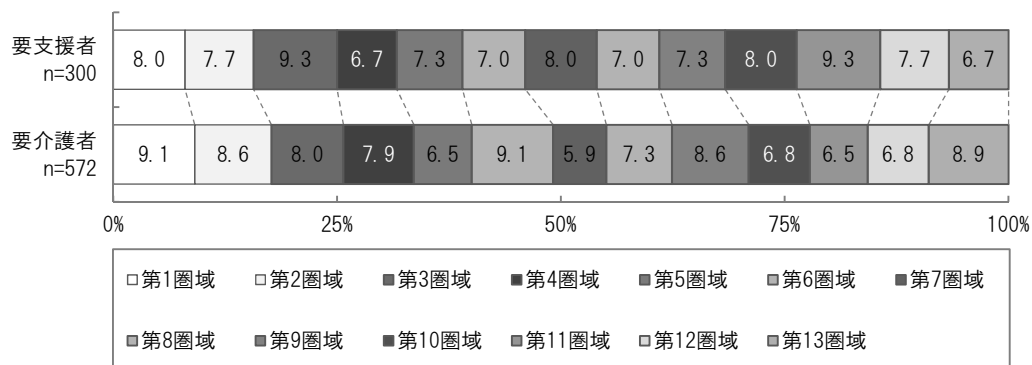


図 1.2 日常生活圏域別回答者割合

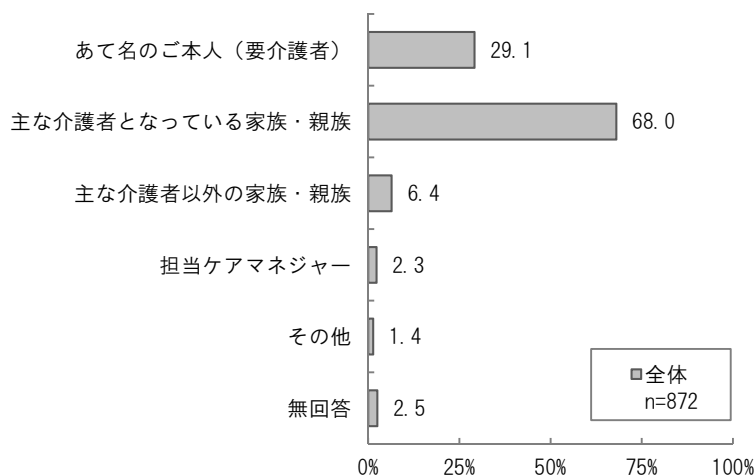


② 在宅介護実態調査

図 1.3 日常生活圏域別回答者割合



問 A 調査回答者



第2章

日常生活圏域別地域分析

第2章 日常生活圏域別地域分析

第2章は調査結果から13の圏域別に市全域と比較しながら、高齢者の健康自立度や生活実態、地域の活動やたすけあいの状況、在宅介護の状況など、各圏域の地域特性を分析しました。

日常生活地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
市全域	249,072	69,567	27.9	33,419	36,148	52.0
第1圏域	21,313	7,012	32.9	3,246	3,766	53.7
第2圏域	9,857	3,642	36.9	1,683	1,959	53.8
第3圏域	23,947	6,867	28.7	3,365	3,502	51.0
第4圏域	23,996	5,739	23.9	2,870	2,869	50.0
第5圏域	13,935	3,866	27.7	1,796	2,070	53.5
第6圏域	17,639	5,382	30.5	2,526	2,856	53.1
第7圏域	14,860	4,047	27.2	1,928	2,119	52.4
第8圏域	21,644	5,715	26.4	2,632	3,083	53.9
第9圏域	31,929	8,637	27.1	4,308	4,329	50.1
第10圏域	16,236	4,705	29.0	2,194	2,511	53.4
第11圏域	17,220	4,759	27.6	2,386	2,373	49.9
第12圏域	18,408	4,637	25.2	2,117	2,520	54.3
第13圏域	18,088	4,559	25.2	2,368	2,191	48.1

日常生活地区名	一般高齢者 (人)	要支援 認定者 (人)	要介護 認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
市全域	58,303	2,534	8,730	16.2	4,149	6.0
第1圏域	5,827	257	928	16.9	470	6.7
第2圏域	3,014	134	494	17.2	265	7.3
第3圏域	5,793	277	797	15.6	340	5.0
第4圏域	4,870	207	662	15.1	265	4.6
第5圏域	3,274	154	438	15.3	180	4.7
第6圏域	4,403	164	815	18.2	457	8.5
第7圏域	3,384	160	503	16.4	214	5.3
第8圏域	4,655	213	847	18.5	410	7.2
第9圏域	7,424	267	946	14.0	372	4.3
第10圏域	4,013	199	493	14.7	234	5.0
第11圏域	4,018	188	553	15.6	292	6.1
第12圏域	3,880	193	564	16.3	228	4.9
第13圏域	3,748	121	690	17.8	422	9.3

※上記の数値は平成29年1月15日現在

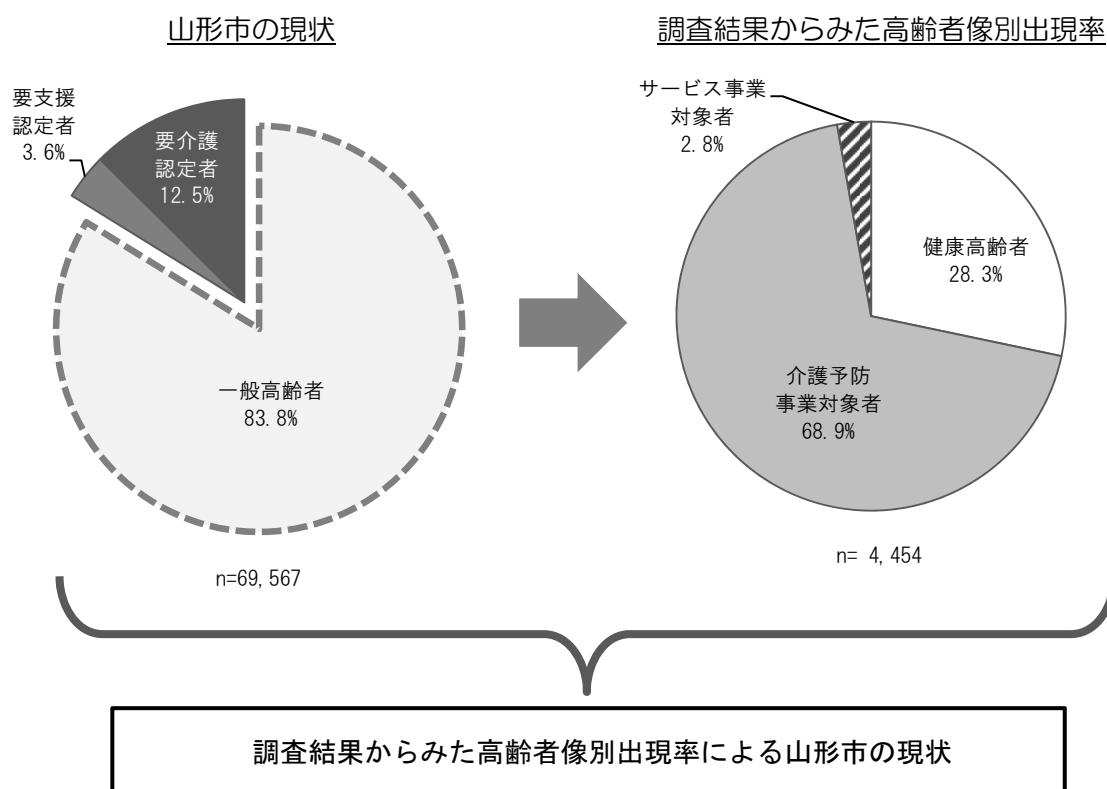
1 “3つの高齢者像”からみた地域分析

本市における平成29年1月15日現在の認定者数は11,264人、認定率は要支援認定者が3.6%、要介護認定者は12.5%となっています。

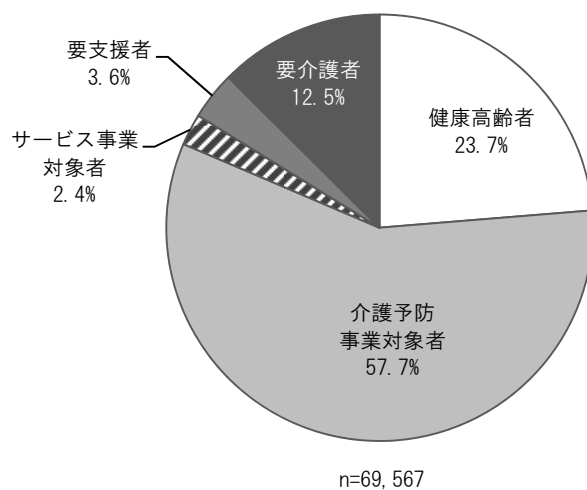
また、認定者を除いた一般高齢者の調査結果から見た高齢者像別にみると、健康高齢者は28.3%、介護予防事業対象者は68.9%、サービス事業対象者は2.8%となっています。

山形市の一般高齢者（83.8%）を調査結果による出現率から高齢者像別にみると、健康高齢者は23.7%、介護予防事業対象者は57.7%、サービス事業対象者は2.4%となっています。

図 2.1 高齢者像別出現率



調査結果からみた山形市の現状（高齢者像別出現率）



○3つの高齢者像別出現率でみると、市全域で健康高齢者は28.3%となり、介護予防事業対象者は68.9%、サービス事業対象者は2.8%となっています。

○地域差をみると、健康高齢者では〈第3圏域〉が32.2%と最も高く市平均値を3.9ポイント上回っている一方、〈第2圏域〉〈第4圏域〉〈第6圏域〉〈第7圏域〉〈第11圏域〉〈第12圏域〉では市平均値より低くなっています。

○また、介護予防事業対象者で出現率が市平均値を上回っているのは、〈第2圏域〉〈第4圏域〉〈第6圏域〉〈第11圏域〉〈第12圏域〉、サービス事業対象者では〈第4圏域〉〈第7圏域〉〈第8圏域〉〈第10圏域〉〈第13圏域〉となっています。

図 2.2 3つの高齢者像別出現率

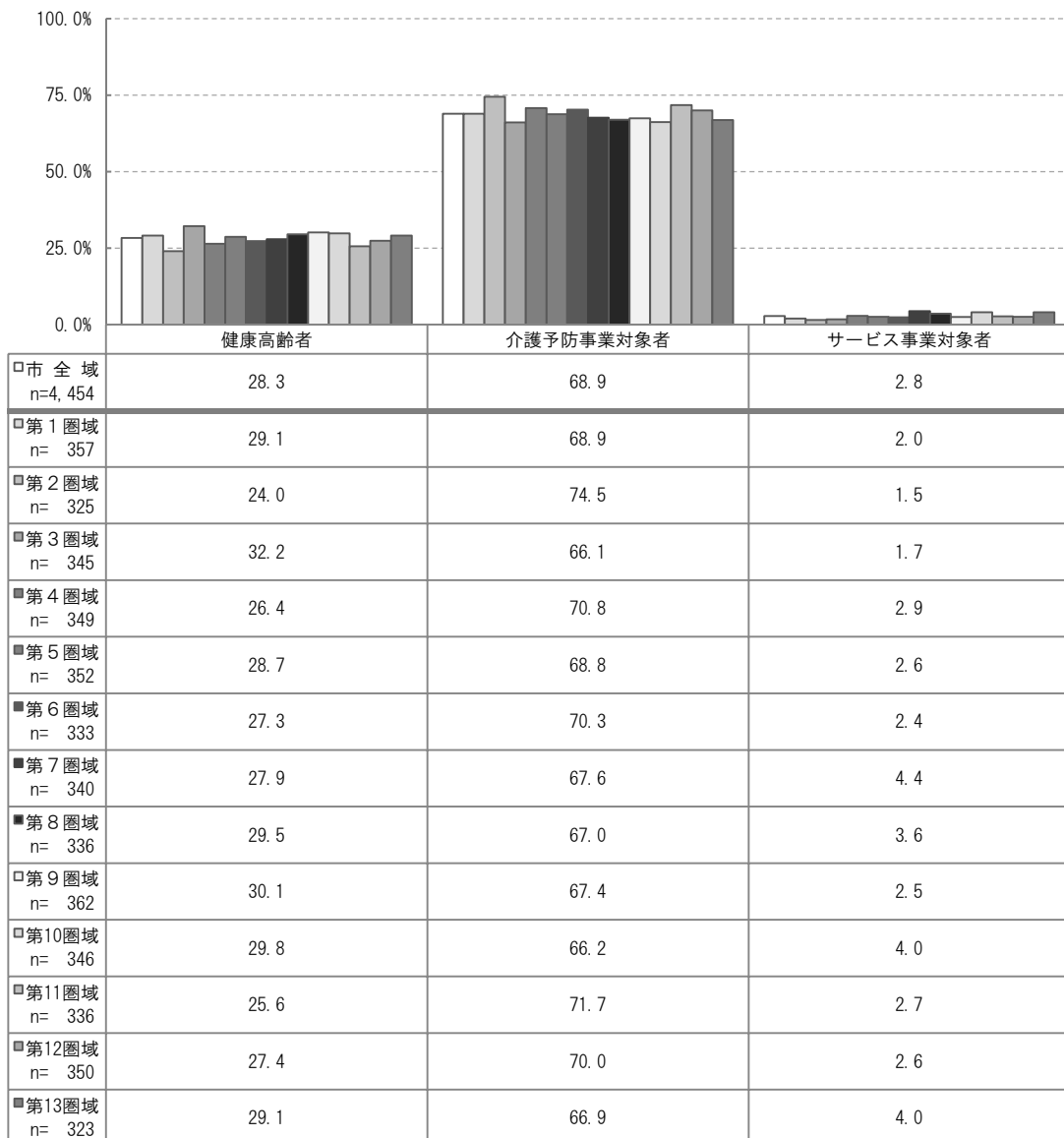
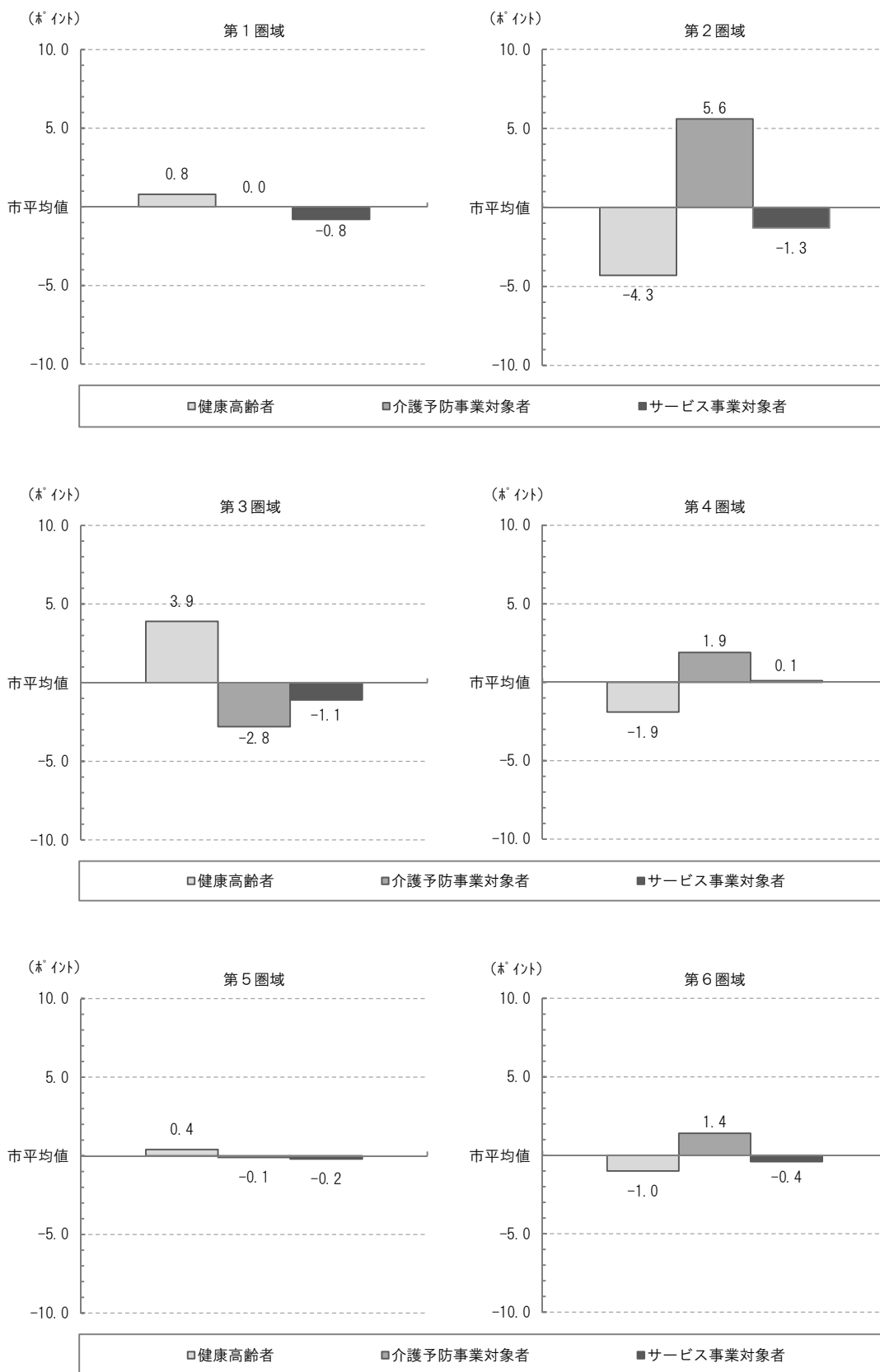
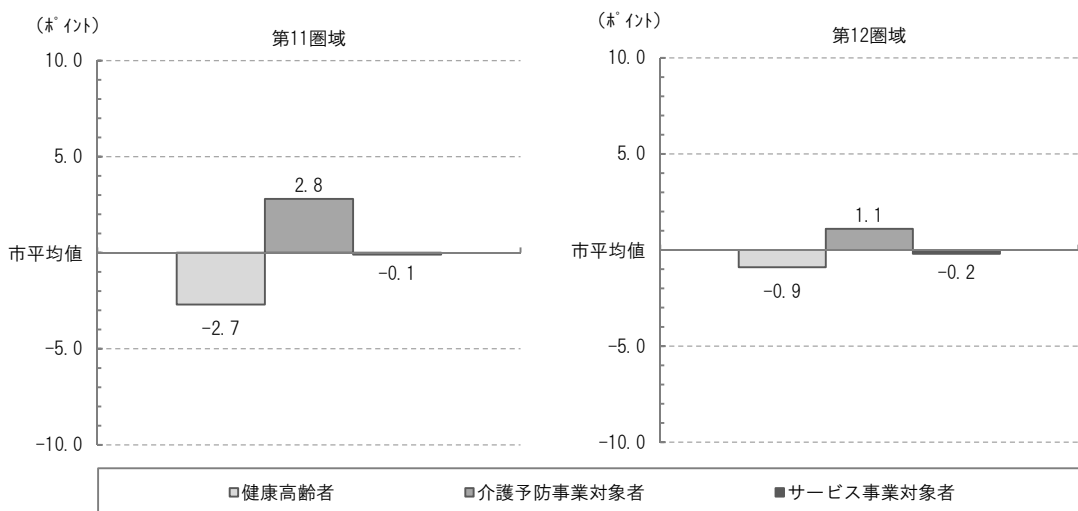
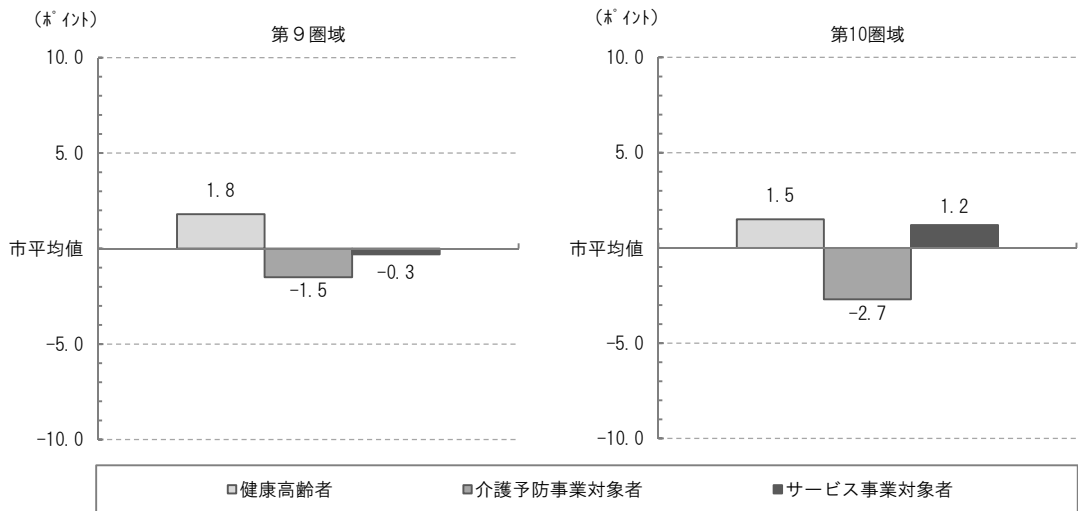
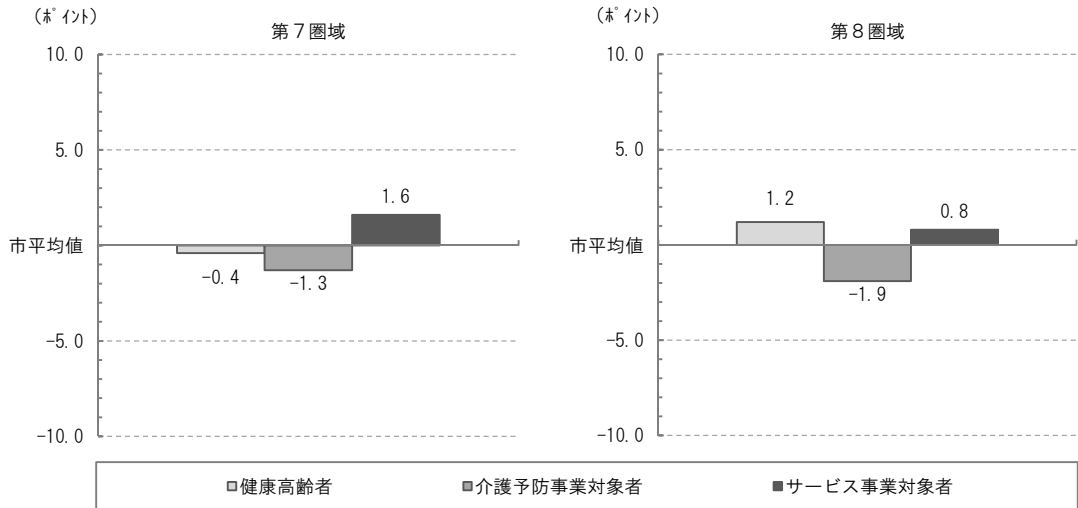
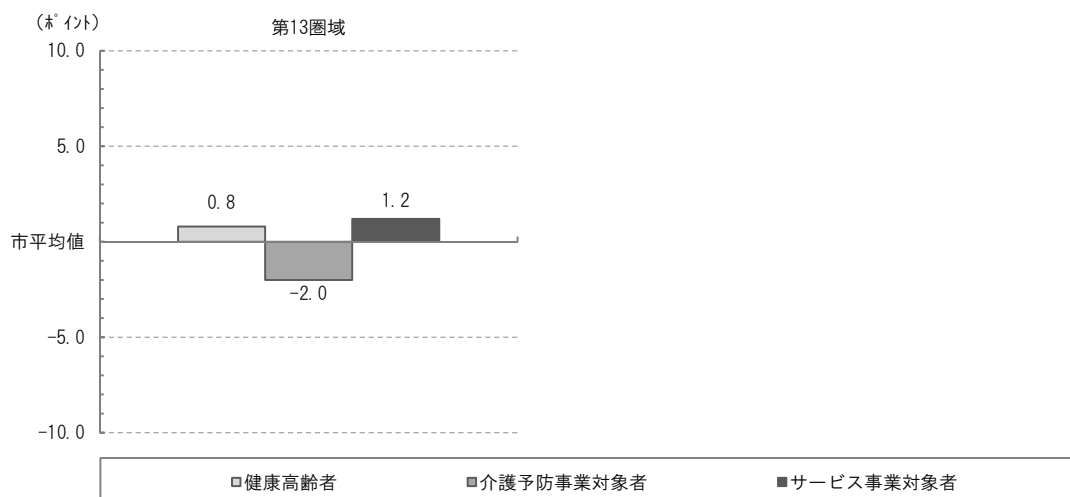


図 2.3 3つの高齢者像別出現率の地域差







2 介護予防事業に関するニーズ

(1) 介護予防事業対象者出現率

○介護予防事業対象者の出現率をみると、市全域で68.9%となっています。

○出現率が市平均値を上回っているのは、〈第2圏域〉〈第4圏域〉〈第6圏域〉〈第11圏域〉〈第12圏域〉となっています。

○また、出現率の地域差をみると〈第2圏域〉で74.5%と最も高く、一方〈第3圏域〉で66.1%と最も低くなっており、地域差は最大で8.4ポイントとなっています。

図 2.4 介護予防事業対象者出現率

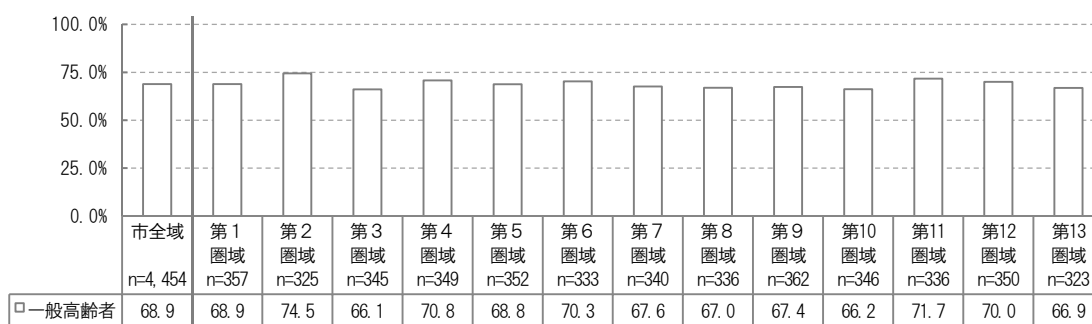
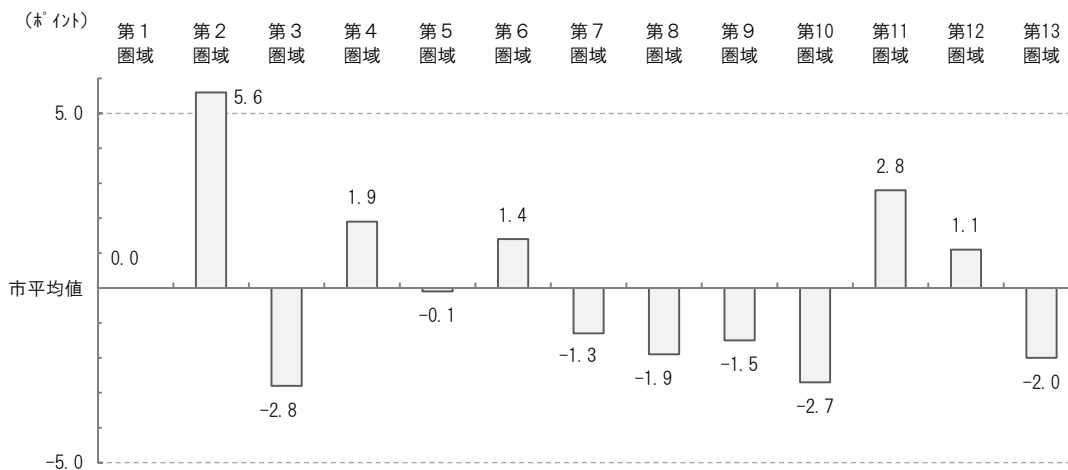


図 2.5 介護予防事業対象者出現率の地域差



(2) リスク別該当者出現率

○リスク項目別に出現率をみると、市全域で「うつ傾向」「認知機能の低下」「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」「運動器の機能低下」「低栄養の傾向」の順に高くなっています。

○「運動器の機能低下」リスクの出現率をみると、〈第2圏域〉が18.8%と最も高く、最も低い〈第4圏域〉(11.2%)との地域差は7.6ポイントとなっています。

運動器の機能低下

図 2.6 運動器の機能低下リスク該当者出現率

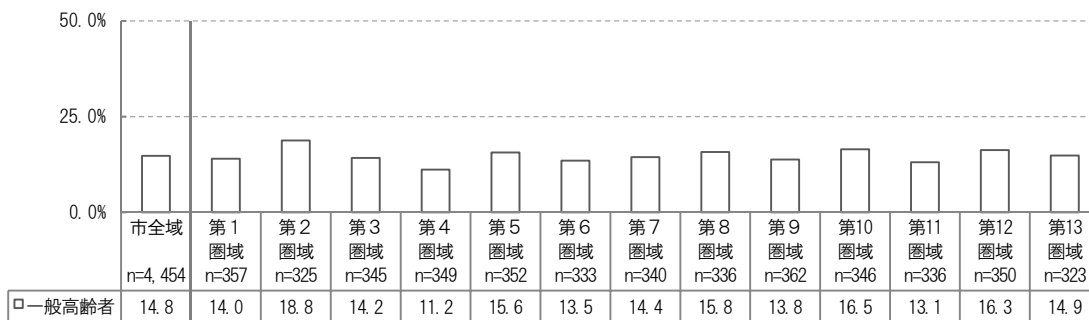
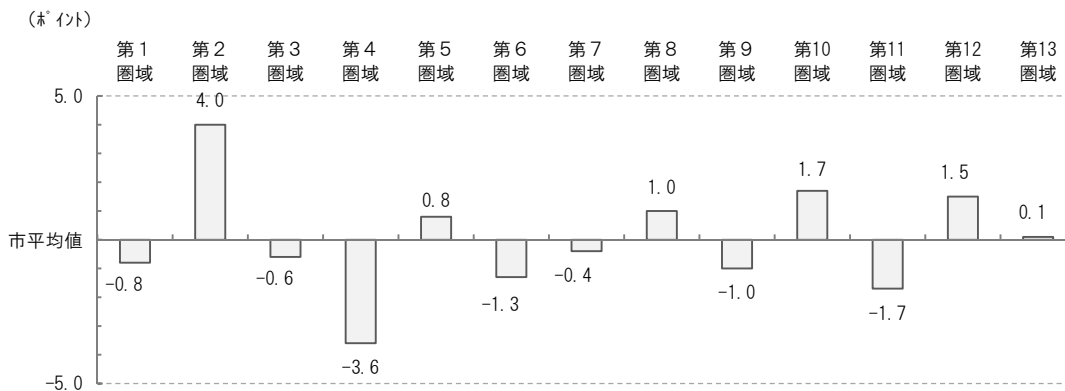
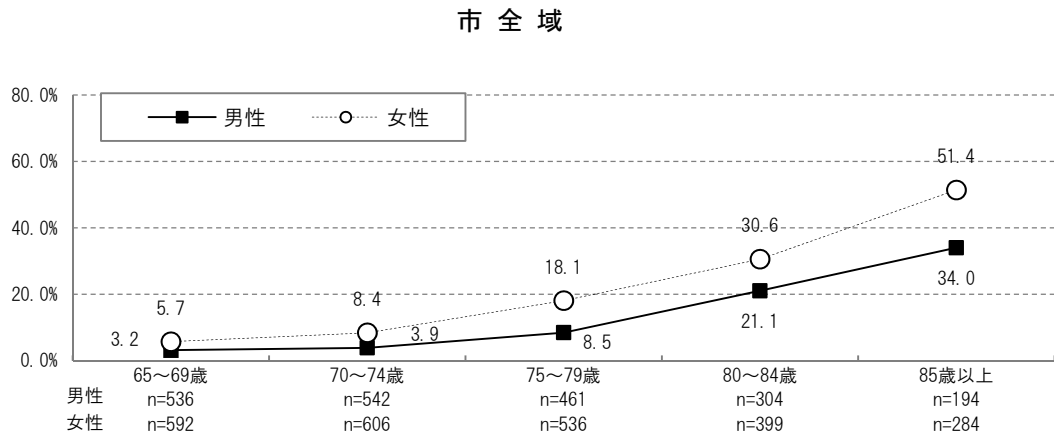


図 2.7 運動器の機能低下リスク該当者出現率の地域差



〇市全域の「運動器の機能低下」リスクの出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも加齢とともに高くなり、特に80歳から大きく上昇します。また、全年齢階級で女性の割合が男性を上回っています。

図 2.8 運動器の機能低下リスク該当者の性別年齢階級別出現率



○「低栄養の傾向」リスクの出現率をみると、〈第12圏域〉（1.7%）で最も高くなっています。

○また、〈第3圏域〉〈第5圏域〉〈第6圏域〉〈第8圏域〉〈第9圏域〉〈第12圏域〉で市平均値を上回っています。

低栄養の傾向

図 2.9 低栄養の傾向リスク該当者出現率

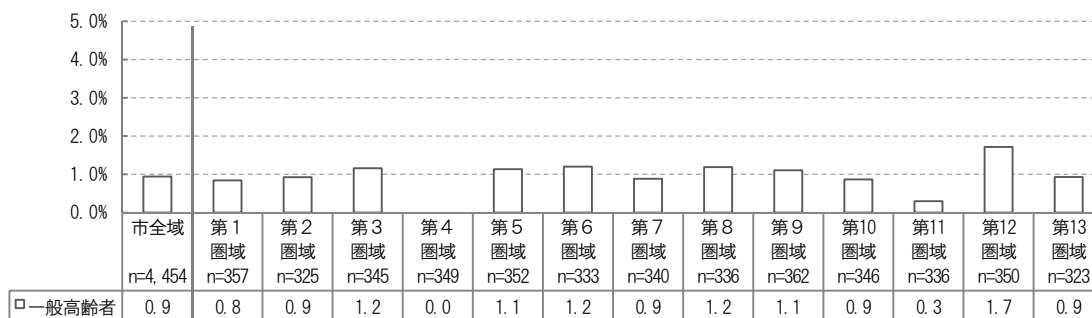
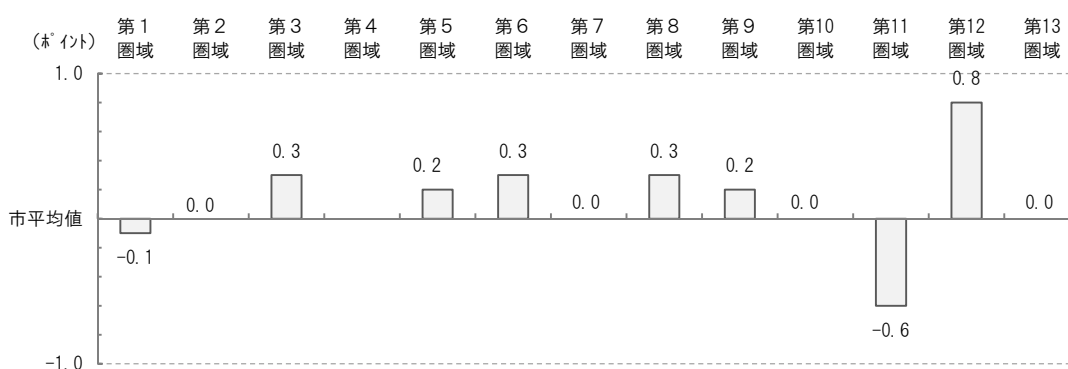
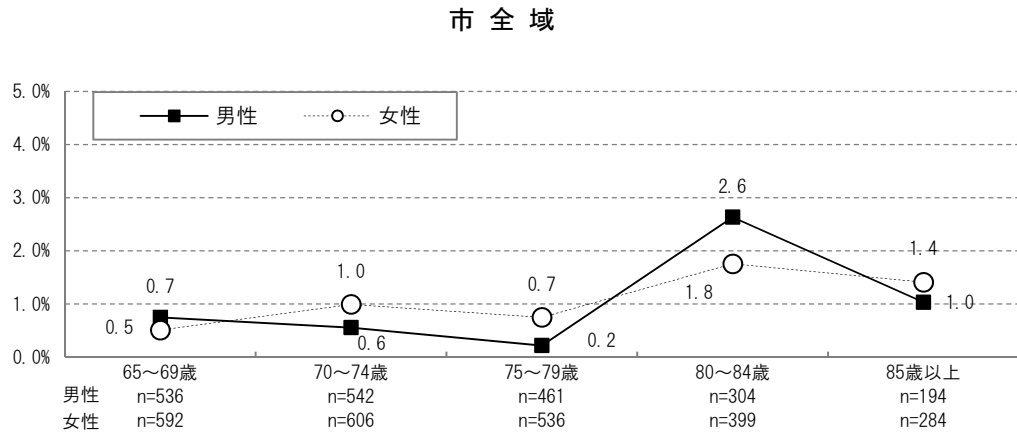


図 2.10 低栄養の傾向リスク該当者出現率の地域差



〇市全域の「低栄養の傾向」リスクの出現率を性別年齢階級別にみると、男女ともに80～84歳で最も高くなっています。

図 2.11 低栄養の傾向リスク該当者の性別年齢階級別出現率



○「口腔機能の低下」リスクの出現率をみると、〈第2圏域〉が24.3%と最も高く、最も低い〈第13圏域〉(17.6%)との地域差は6.7^{ポイント}となっています。

口腔機能の低下

図 2.12 口腔機能の低下リスク該当者出現率

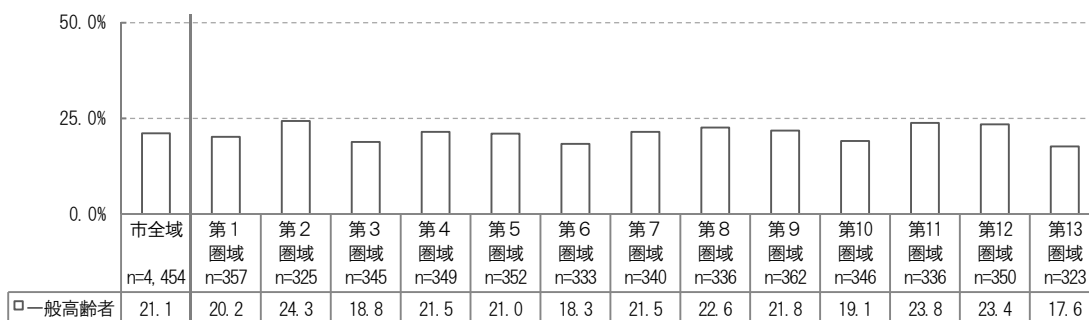
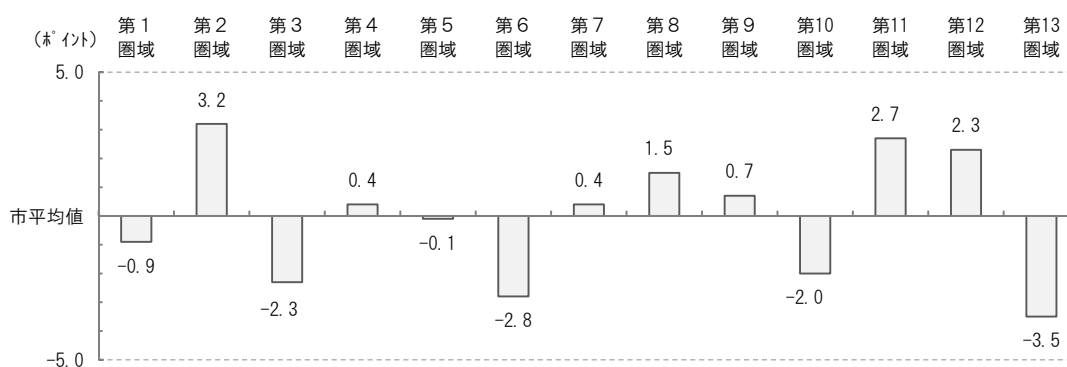
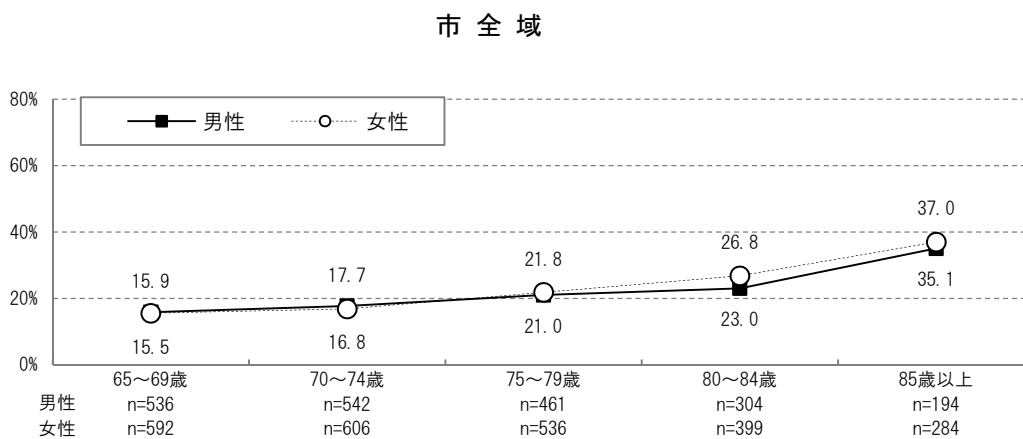


図 2.13 口腔機能の低下リスク該当者出現率の地域差



〇市全域の「口腔機能の低下」リスクの出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも加齢とともに高くなっています。また、いずれの年齢階級も男女での差は3.8^{ポイント}以内となっています。

図 2.14 口腔機能の低下リスク該当者の性別年齢階級別出現率



○「閉じこもり傾向」リスクの出現率をみると、〈第2圏域〉が23.1%と最も高く、最も低い〈第5圏域〉(13.1%)との地域差は10.0ポイントとなっています。

閉じこもり傾向

図 2.15 閉じこもり傾向リスク該当者出現率

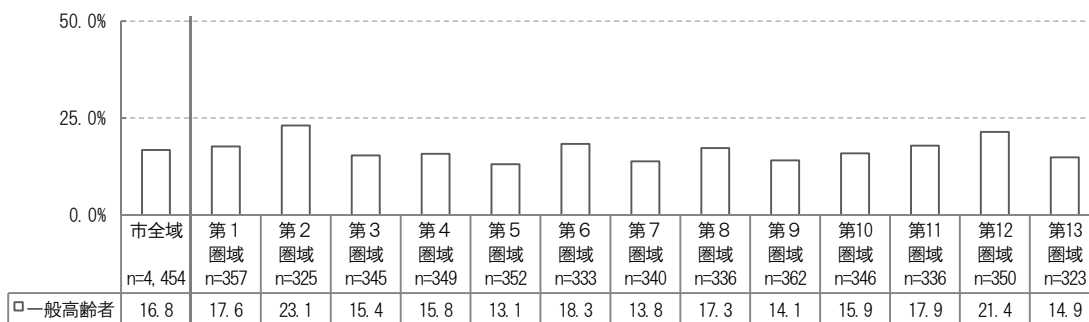
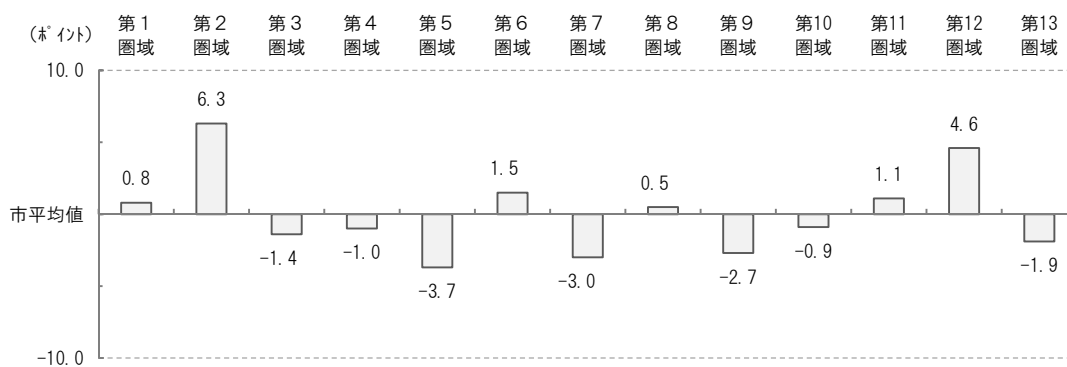
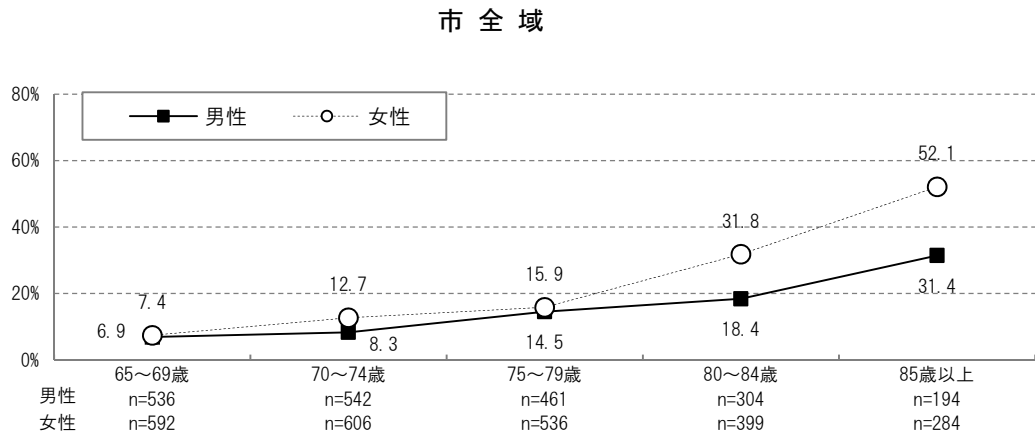


図 2.16 閉じこもり傾向リスク該当者出現率の地域差



〇市全域の「閉じこもり傾向」リスクの出現率を性別年齢階級別にみると、男女とも加齢とともに高くなり、特に女性は80～84歳で3割以上、85歳以上で5割を超えています。また、全年齢階級で女性の割合が男性を上回っています。

図 2.17 閉じこもり傾向リスク該当者の性別年齢階級別出現率



○「認知機能の低下」リスクの出現率をみると、〈第12圏域〉が40.3%と最も高く、最も低い〈第9圏域〉（34.5%）との地域差は5.8ポイントとなっています。

認知機能の低下

図 2.18 認知機能の低下リスク該当者出現率

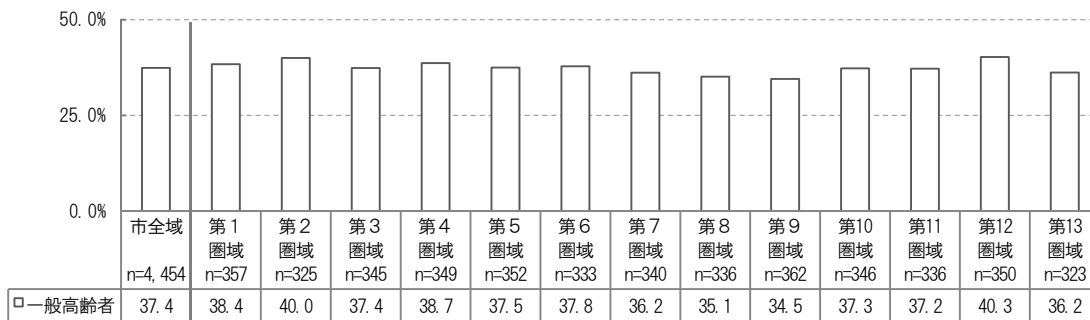
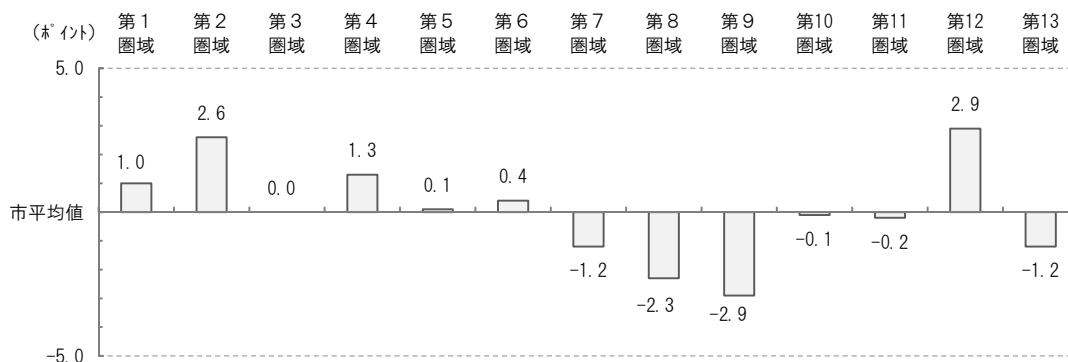
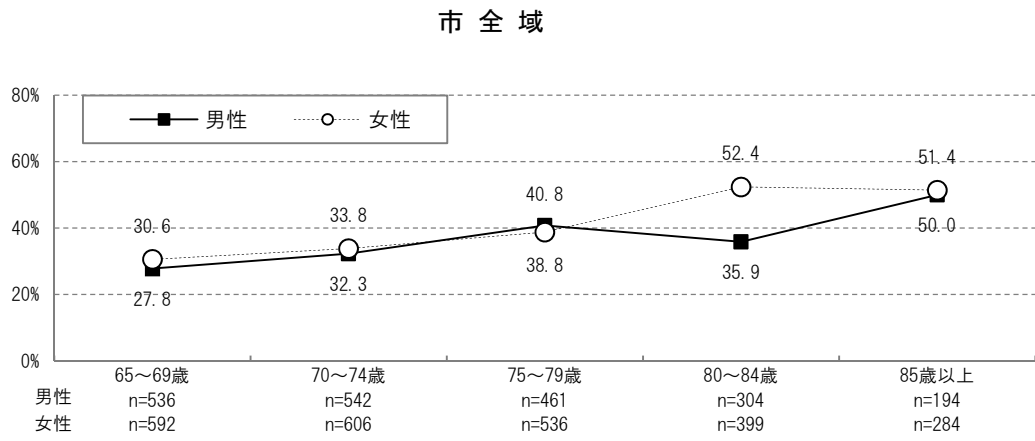


図 2.19 認知機能の低下リスク該当者出現率の地域差



〇市全域の「認知機能の低下」リスクの出現率を性別年齢階級別にみると、男女ともに70歳以上では3割を超え高くなっています。

図 2.20 認知機能の低下リスク該当者の性別年齢階級別出現率



○「うつ傾向」リスクの出現率をみると、〈第11圏域〉が47.0%と最も高く、最も低い〈第1圏域〉(37.8%)との地域差は9.2ポイントとなっています。

うつ傾向

図 2.21 うつ傾向リスク該当者出現率

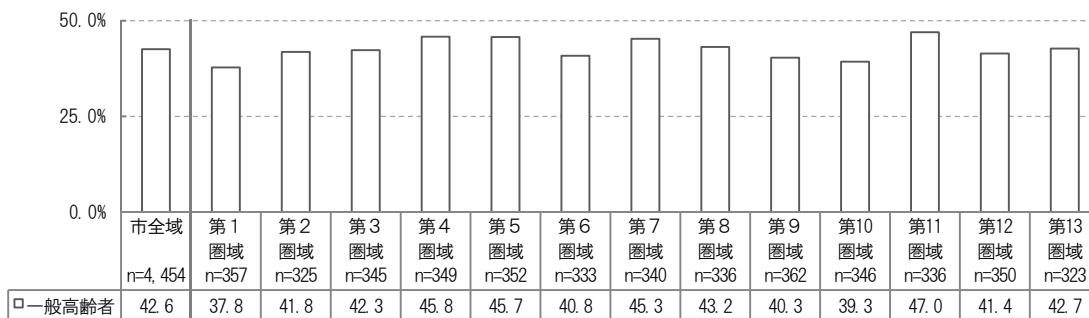
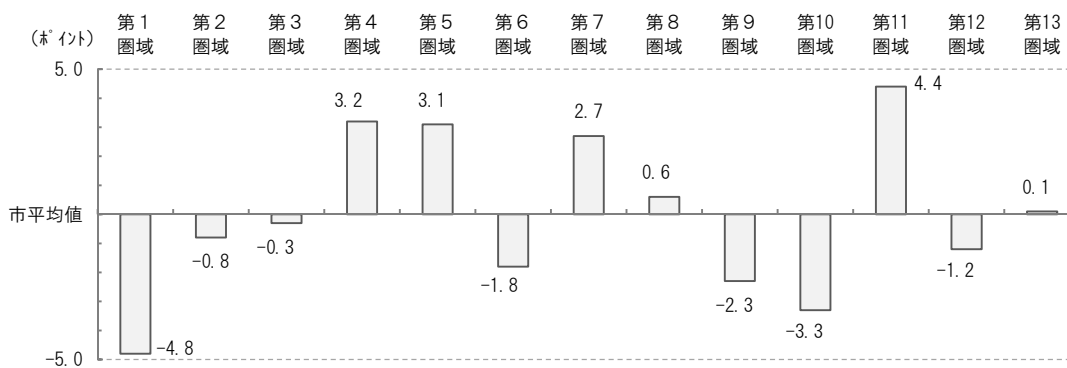
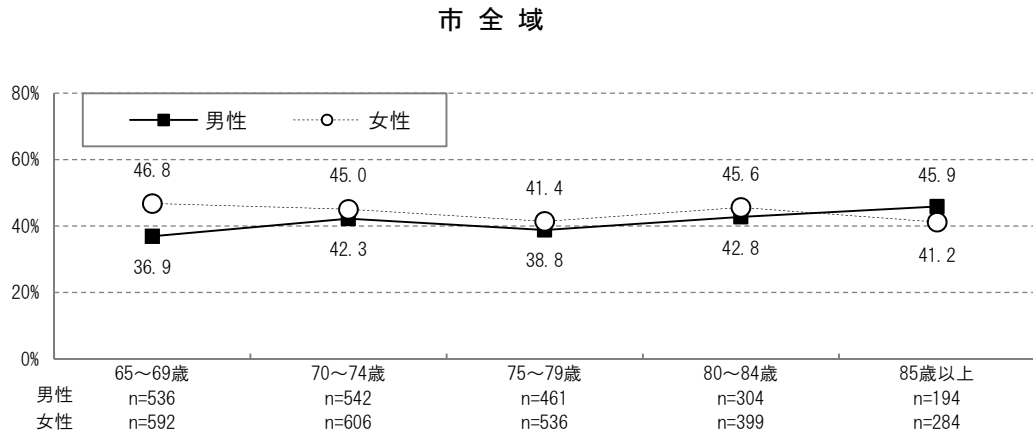


図 2.22 うつ傾向リスク該当者出現率の地域差



〇市全域の「うつ傾向」リスクの出現率を性別年齢階級別にみると、女性は全年齢階級で、男性もほとんどの年齢階級で4割を超えています。

図 2.23 うつ傾向リスク該当者の性別年齢階級別出現率



3 認知症高齢者対策に関するニーズ

ここでは、認知機能の障害程度の指標として有用とされるCPS(Cognitive Performance Scale) に準じた設問により判定（判定ルールは資料編に記載）されたレベル0（障害なし）～レベルⅥ（最重度の障害がある）の方のうち、レベルⅠ・Ⅱの軽度認知機能障害該当者の状況を記載しています。

(1) 認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者数の状況

○認知機能レベルⅠ・Ⅱに該当した高齢者の出現率の地域差をみると、〈第2圏域〉で市平均値より3.6ポイント、〈第1圏域〉で2.9ポイント、〈第13圏域〉で1.9ポイント高く、各圏域の出現率（17.6～23.4％）の差は5.8ポイント以内となっています。

○〈第1圏域〉〈第2圏域〉〈第4圏域〉〈第10圏域〉〈第11圏域〉〈第13圏域〉では、市平均値より出現率が高くなっています。

図 2.24 認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者の出現率

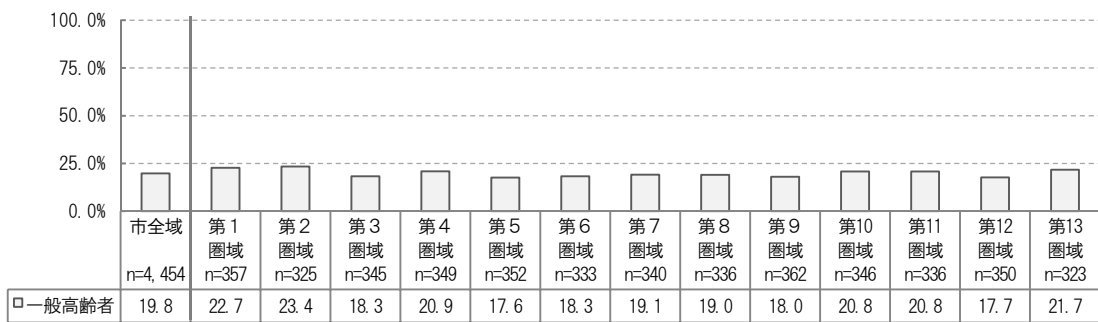
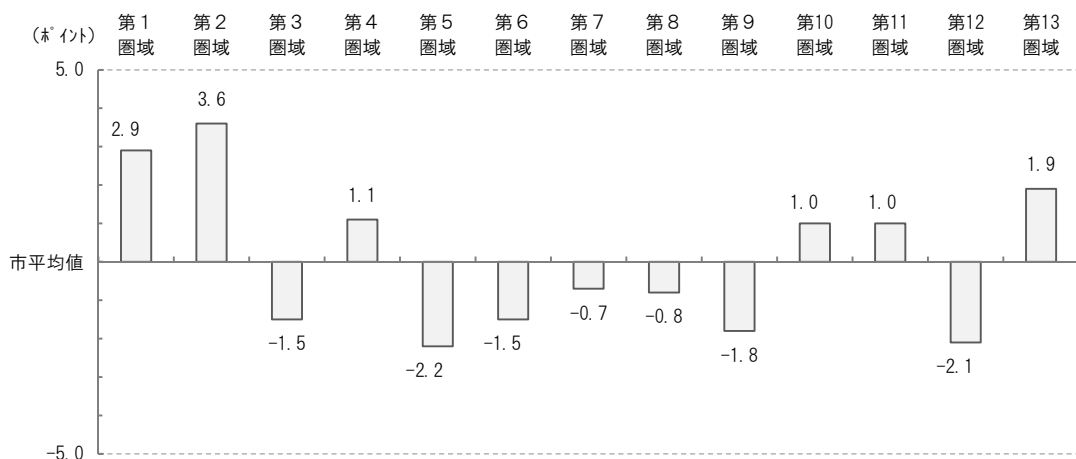


図 2.25 認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者出現率の地域差



4 日常生活支援総合事業に関するニーズ

(1) サービス事業対象者出現率

○サービス事業対象者の出現率をみると、市全域で2.8%となっています。

○出現率は〈第7圏域〉で4.4%と最も高く、一方〈第2圏域〉で1.5%と最も低くなっており、地域差は最大で2.9ポイントとなっています。

図 2.26 サービス事業対象者出現率

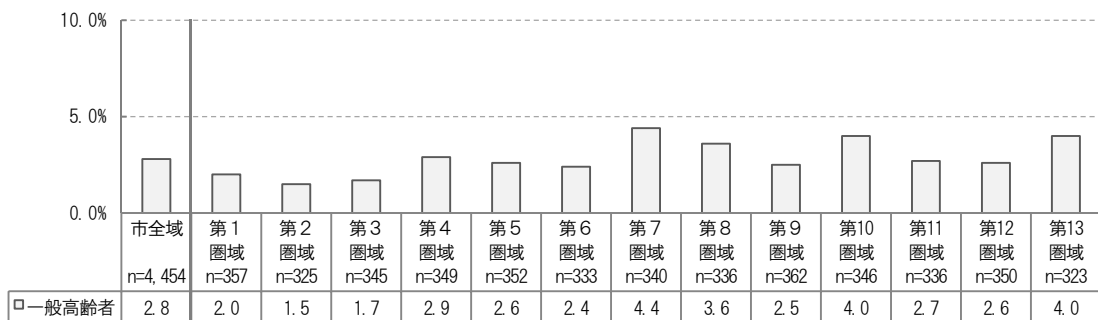
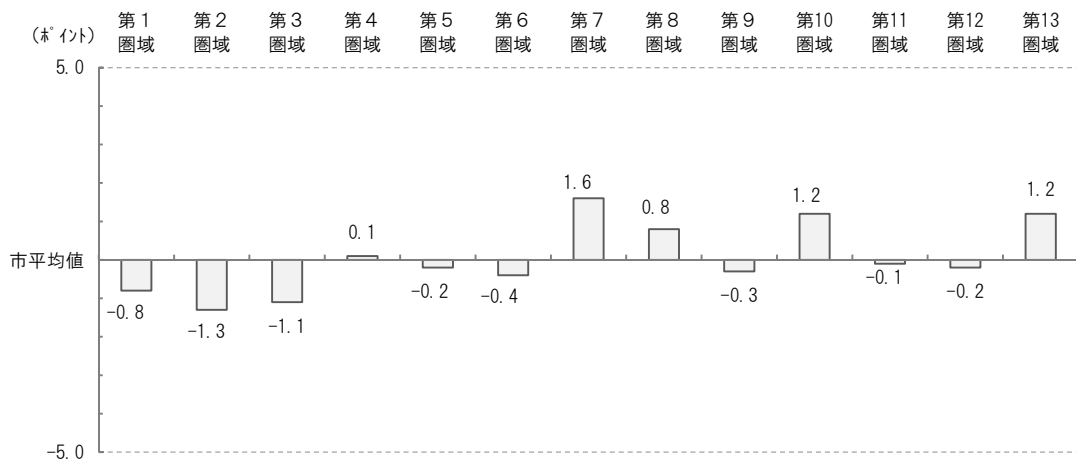


図 2.27 サービス事業対象者出現率の地域差



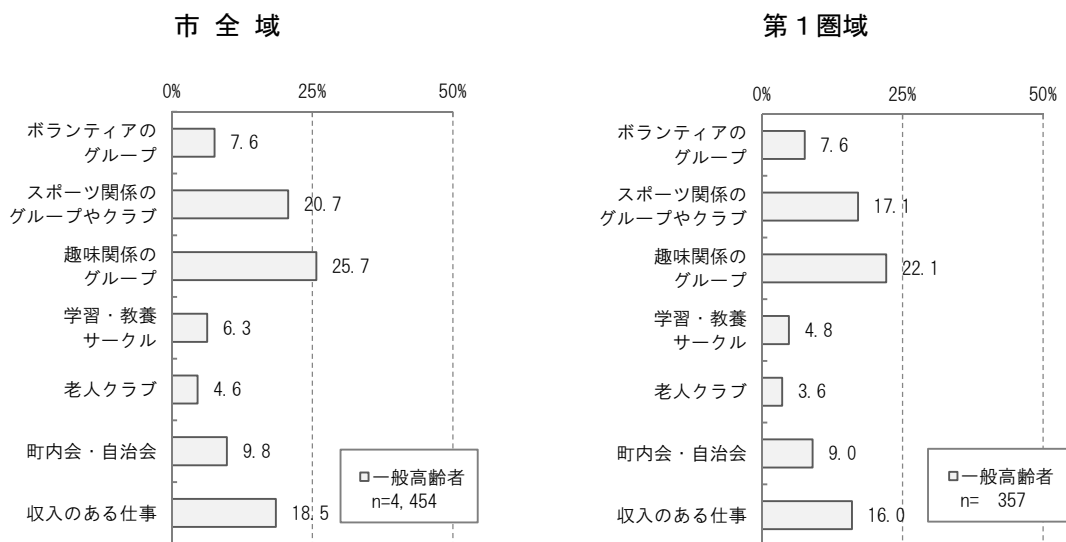
5 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○地域活動への参加状況をみると、市全域では「趣味関係のグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「収入のある仕事」の順に25.7～18.5%の方が参加しています。全ての圏域で「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。

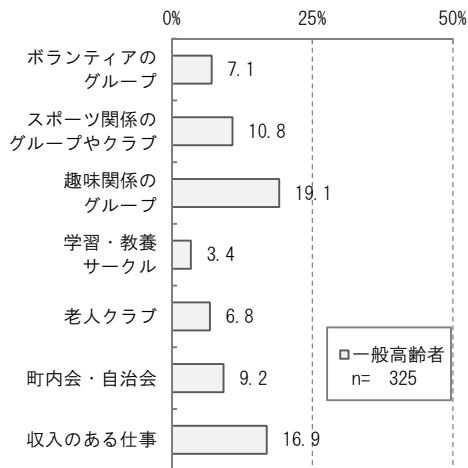
○参加割合が高い項目を圏域別にみると、「趣味関係のグループ」は〈第7圏域〉(31.2%)で最も高く、〈第2圏域〉(19.1%)で最も低くなっており地域差は最大で12.1^{ポイント}、「スポーツ関係のグループやクラブ」では〈第9圏域〉(25.7%)で最も高く、〈第2圏域〉(10.8%)で最も低くなっており地域差は最大で14.9^{ポイント}、「収入のある仕事」では〈第11圏域〉(22.6%)で最も高く、〈第9圏域〉(14.9%)で最も低くなっており地域差は最大で7.7^{ポイント}となっています。

図 2.28 高齢者の活動状況

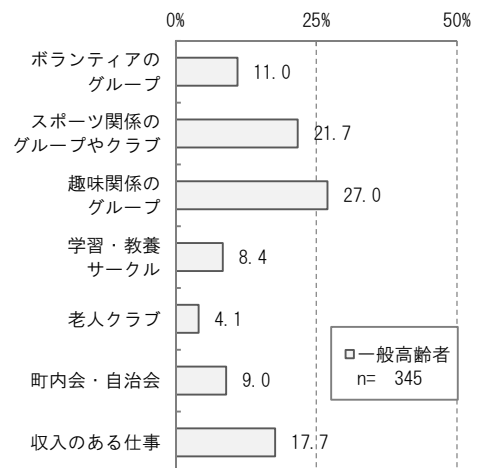


※問5(1) ①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤老人クラブ、⑥町内会・自治会、⑦収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合です。

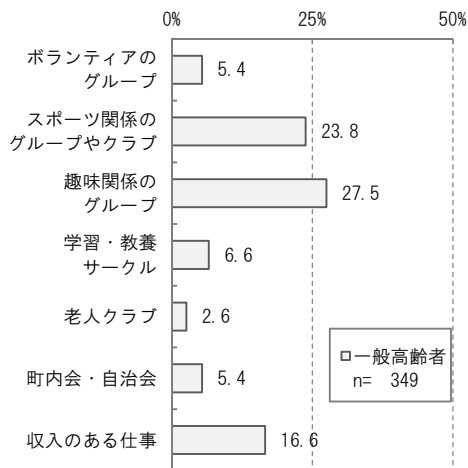
第2圏域



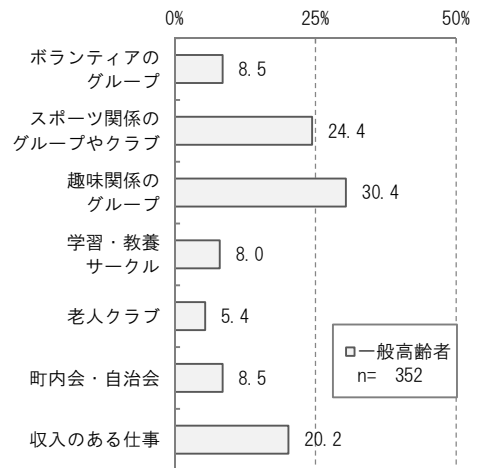
第3圏域



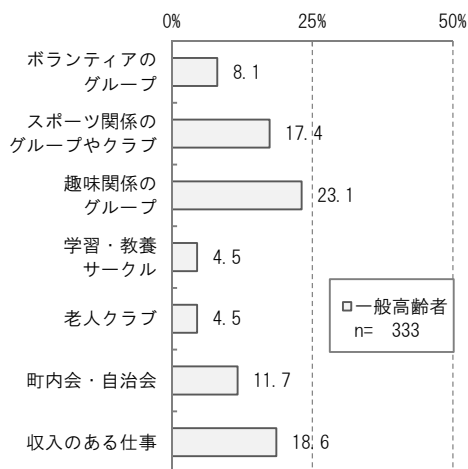
第4圏域



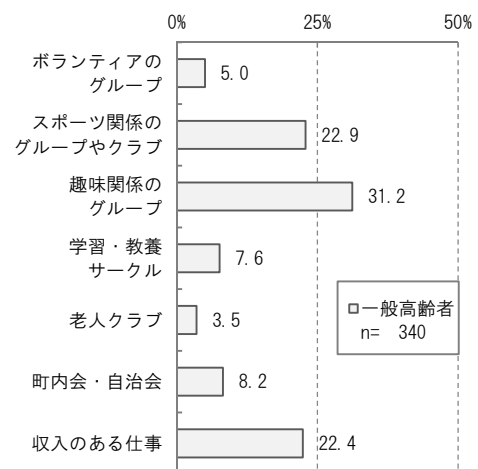
第5圏域



第6圏域

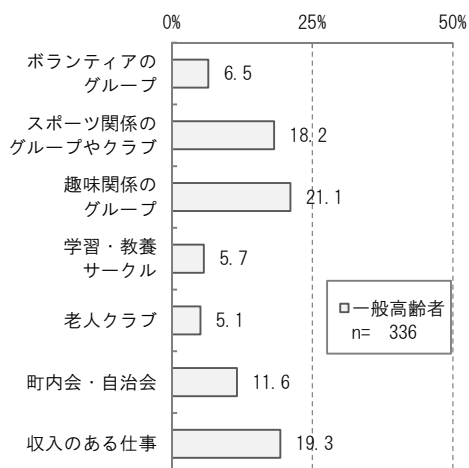


第7圏域

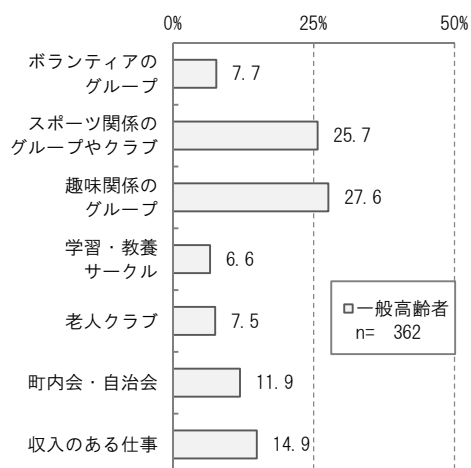


※問5(1) ①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤老人クラブ、⑥町内会・自治会、⑦収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合です。

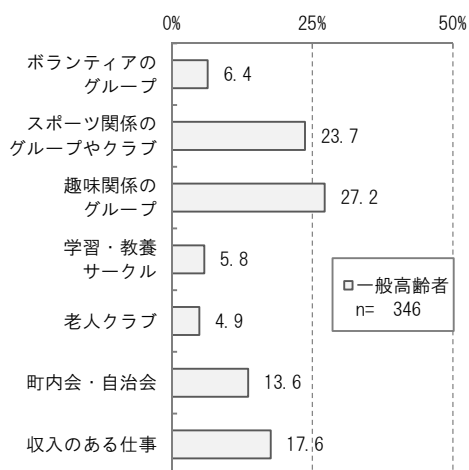
第8圏域



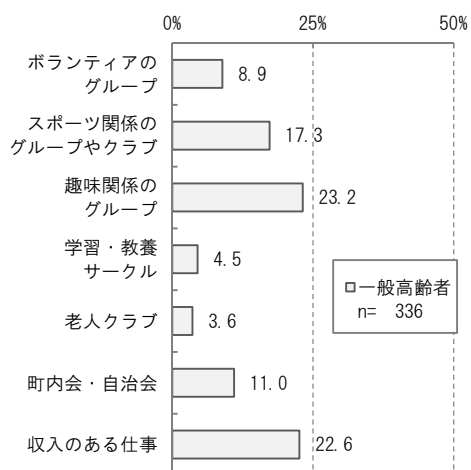
第9圏域



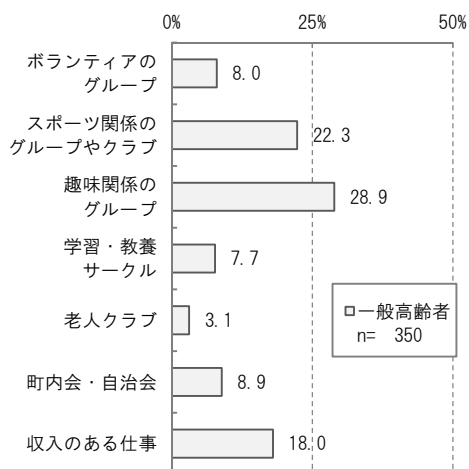
第10圏域



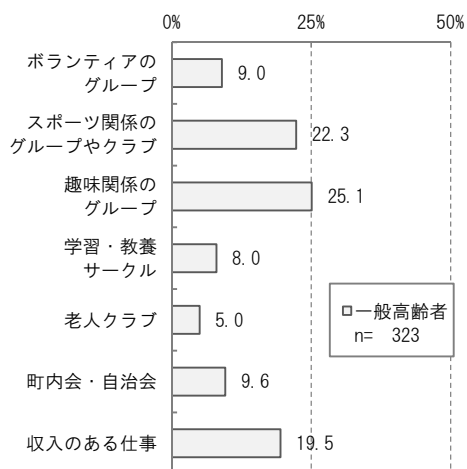
第11圏域



第12圏域



第13圏域

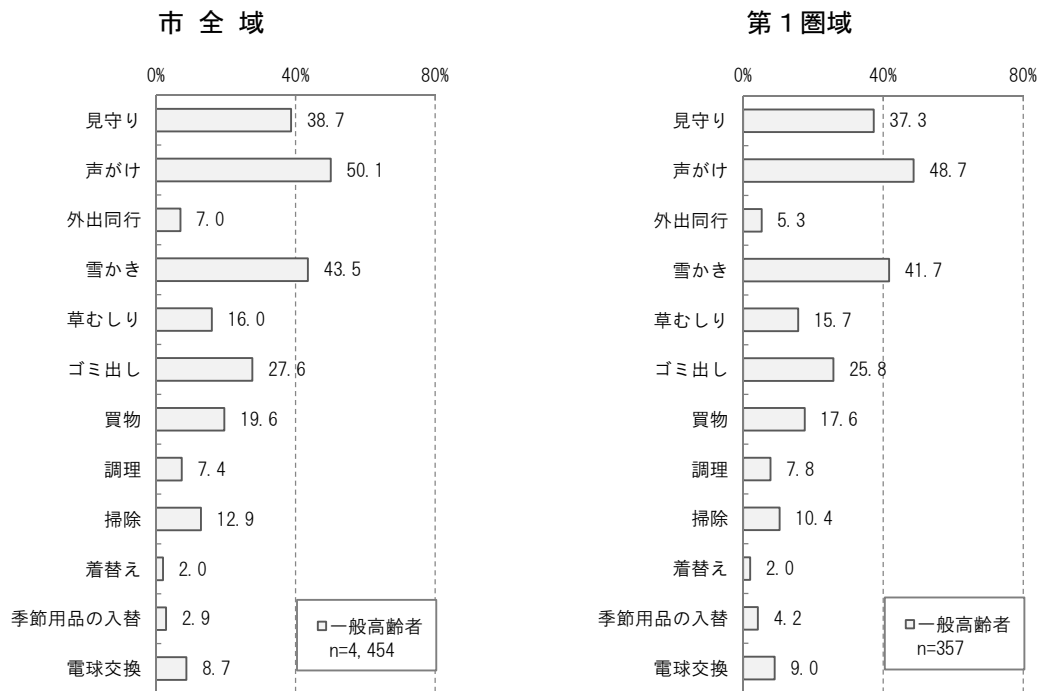


※問5(1) ①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤老人クラブ、⑥町内会・自治会、⑦収入のある仕事で、「週4回以上」～「月に1～3回」のいずれかに回答した割合です。

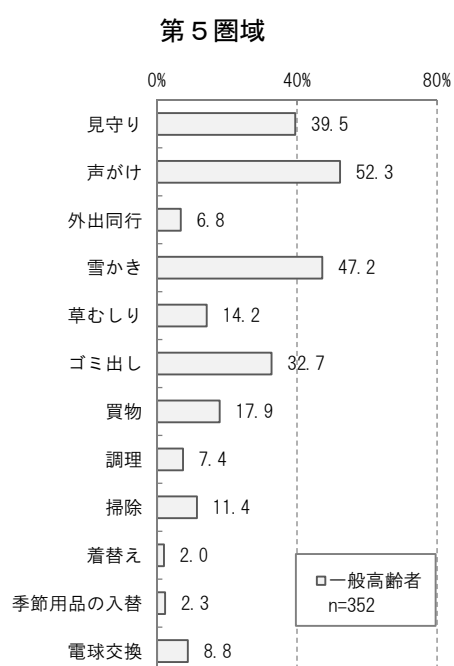
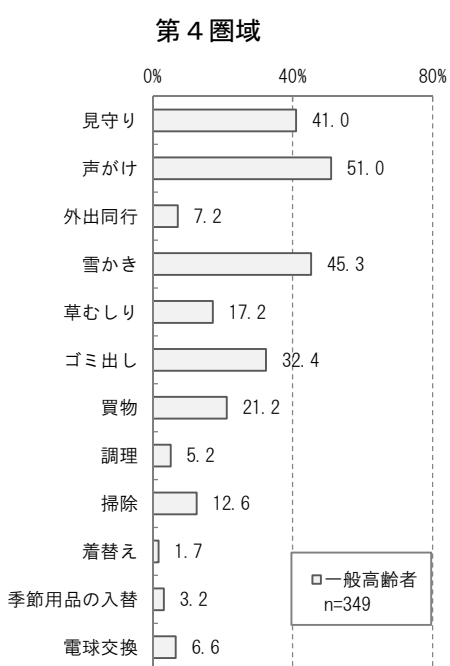
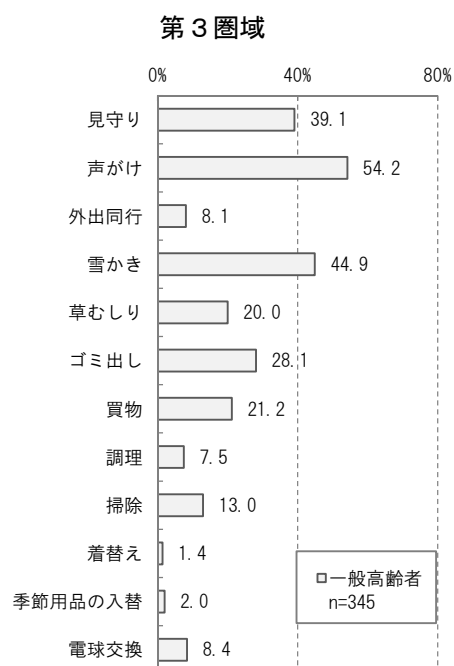
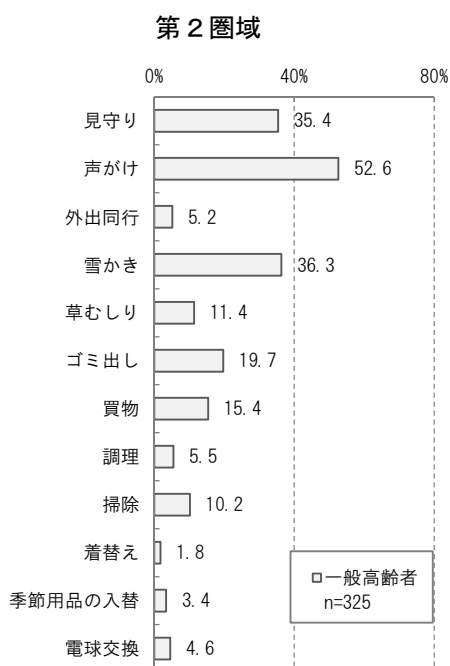
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○近隣の人をお願いしたい支援項目をみると、市全域では「声がけ」（50.1%）、「雪かき」（43.5%）、「見守り」（38.7%）、「ゴミ出し」（27.6%）の順に高くなっています。

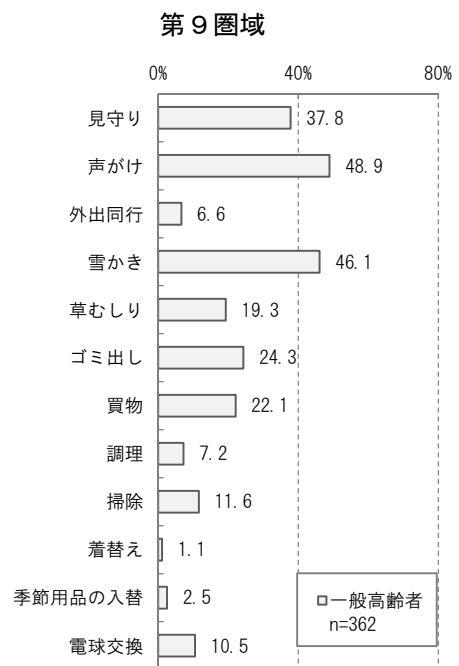
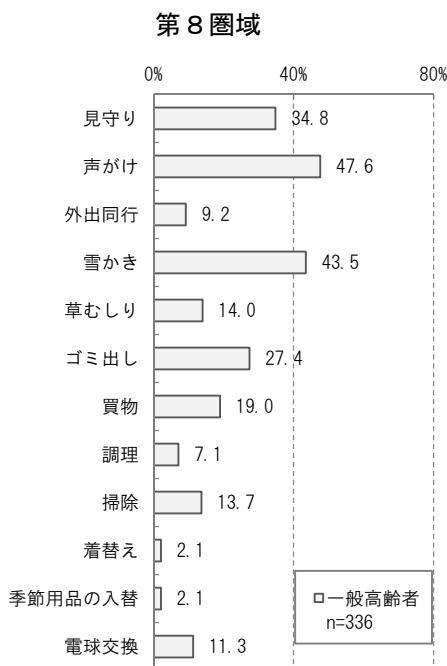
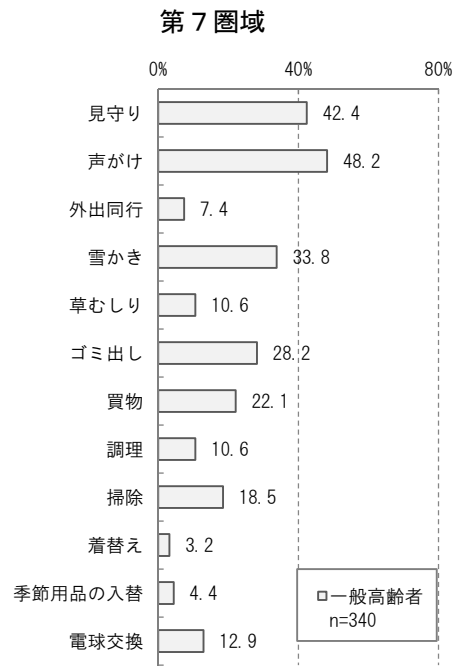
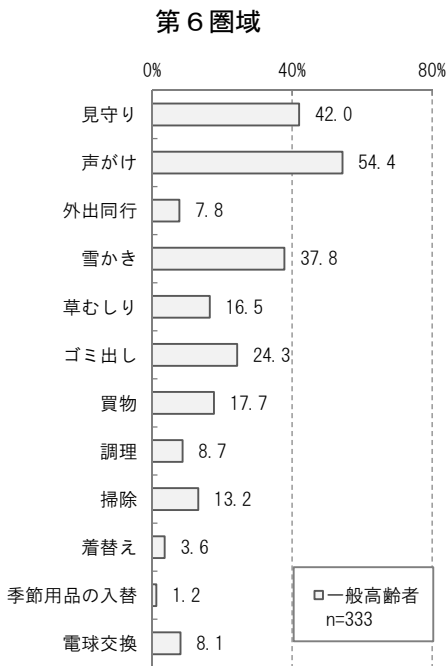
図 2.29 近隣住民をお願いしたい支援



- 〈第2圏域〉の「声かけ」「季節用品の入替」で市平均値を上回るもののその他の項目は下回っており、特に「雪かき」「ゴミ出し」では市平均値を7.2・7.9^{ポイント}下回っています。
- 〈第3圏域〉の市全域で意向割合上位4位の「見守り」「声かけ」「雪かき」「ゴミ出し」を含む9項目で市平均値を上回っています。
- 〈第4圏域〉の市全域で意向割合上位4位の「見守り」「声かけ」「雪かき」「ゴミ出し」を含む8項目で市平均値を上回っています。
- 〈第5圏域〉の市全域で上位4位を占める「見守り」「声かけ」「雪かき」「ゴミ出し」ともに市平均値を上回っています。

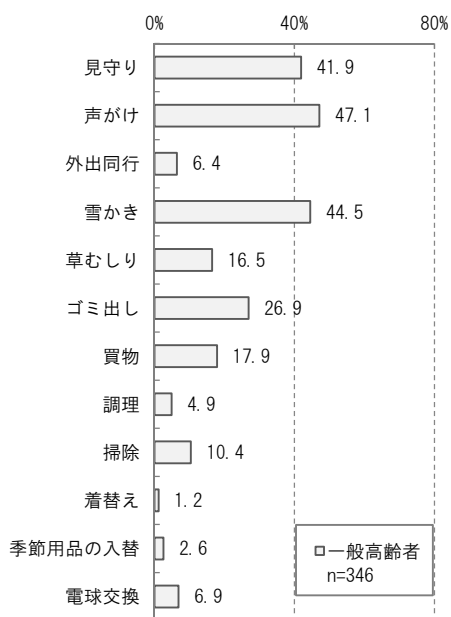


- 〈第6圏域〉の市全域で上位4位を占める項目の、「見守り」「声がけ」は市平均値を上回るものの、「雪かき」「ゴミ出し」は下回っています。
- 〈第7圏域〉の「掃除」「電球交換」の13圏域の中で最も支援希望割合が高くなっています。
- 〈第8圏域〉の「外出同行」「掃除」「着替え」「電球交換」で支援希望割合が市平均値を上回っています。
- 〈第9圏域〉の「雪かき」「草むしり」「買物」「電球交換」で市平均値を上回っています。

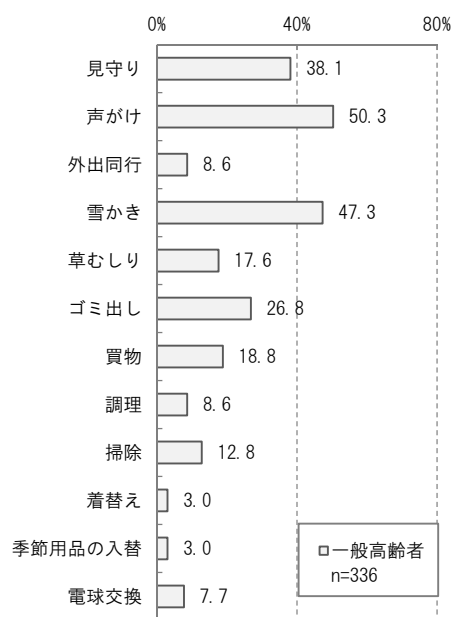


- 〈第10圏域〉の「見守り」「雪かき」「草むしり」で市平均値を上回っています。
- 〈第11圏域〉の市全域で上位4位を占める項目の「声がけ」「雪かき」は市平均値を上回るものの、「見守り」「ゴミ出し」では下回っています。
- 〈第13圏域〉の「外出同行」「着替え」を除く項目すべてで市平均値を上回っており、支援希望割合の高い圏域となっています。

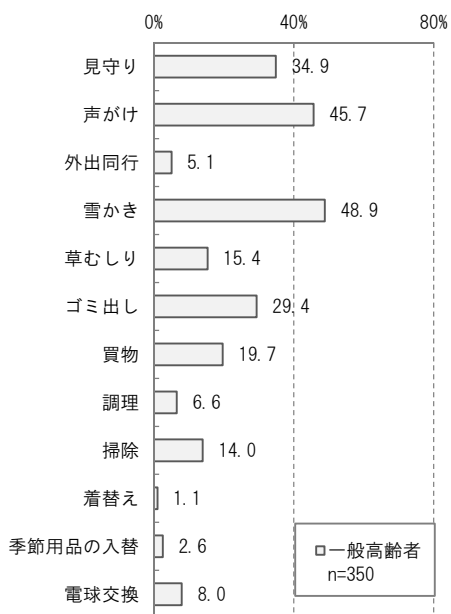
第10圏域



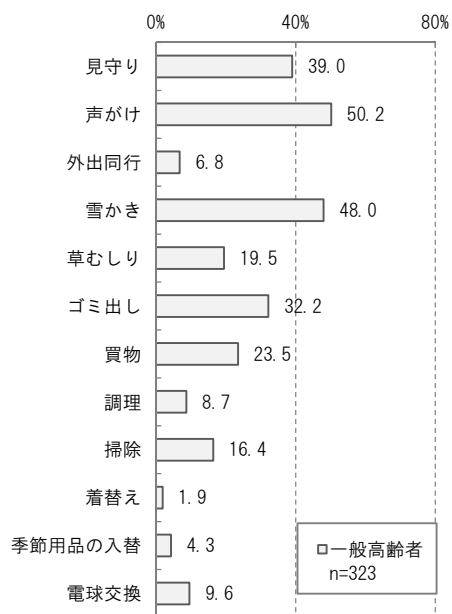
第11圏域



第12圏域



第13圏域



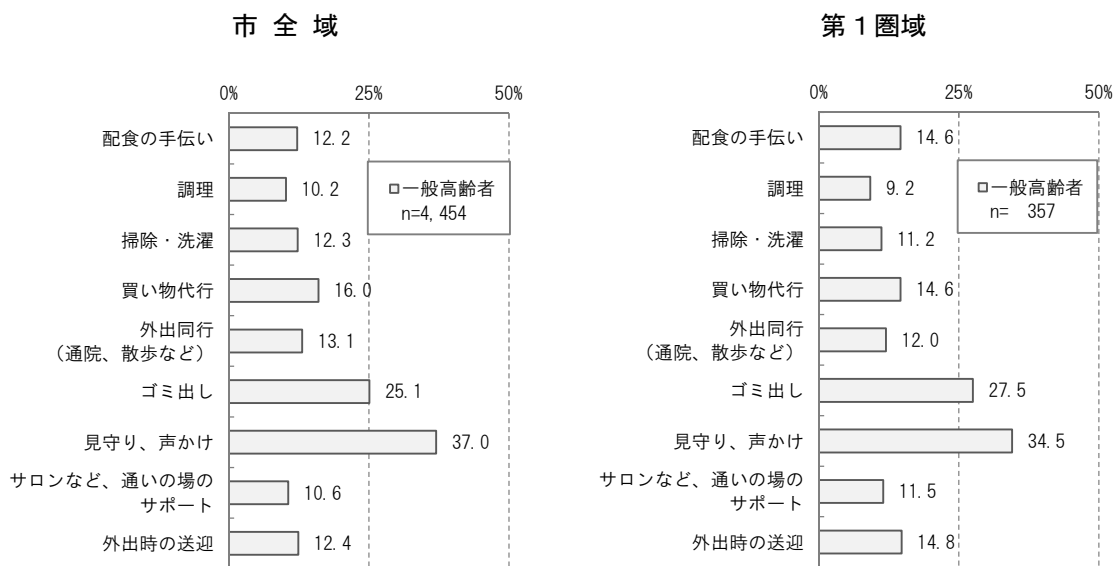
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○支援できると回答したサービスをみると、市全域では「見守り、声かけ」（37.0%）、「ゴミ出し」（25.1%）、「買い物代行」（16.0%）、「外出同行（通院、散歩など）」（13.1%）の順に高くなっています。

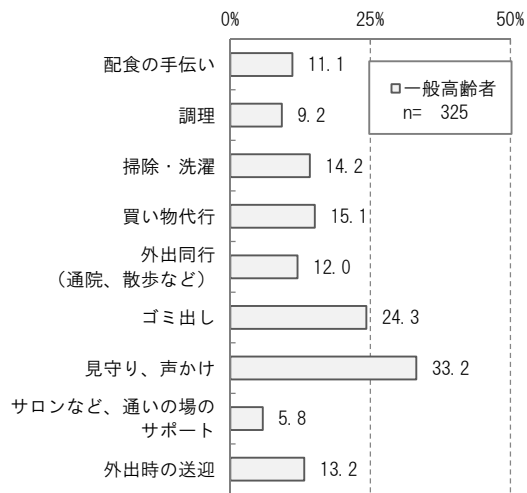
○圏域別にみると、〈第4圏域〉〈第6圏域〉〈第7圏域〉〈第11圏域〉〈第13圏域〉では「見守り、声かけ」（39.0～37.4%）、「ゴミ出し」（28.5～23.4%）、「買い物代行」（19.2～16.0%）、「外出同行（通院、散歩など）」（16.8～14.3%）が市全域と同様上位4位となっています。

○市全域で上位4位を占めるサービスについて、各圏域でこれを上回るサービスをみると、〈第7圏域〉で4サービス全て、〈第3圏域〉〈第6圏域〉〈第11圏域〉〈第13圏域〉で「見守り、声かけ」「買い物代行」「外出同行（通院、散歩など）」、〈第4圏域〉で「見守り、声かけ」「ゴミ出し」「外出同行（通院、散歩など）」、〈第9圏域〉で「見守り、声かけ」「ゴミ出し」「買い物代行」、〈第1圏域〉〈第12圏域〉で「ゴミ出し」となっています。

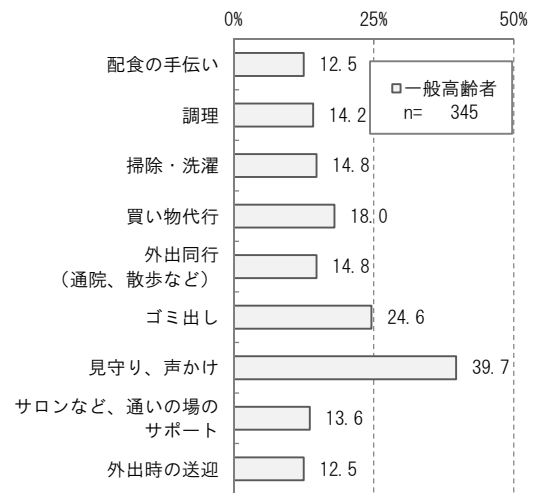
図 2.30 高齢者の地域支援意向



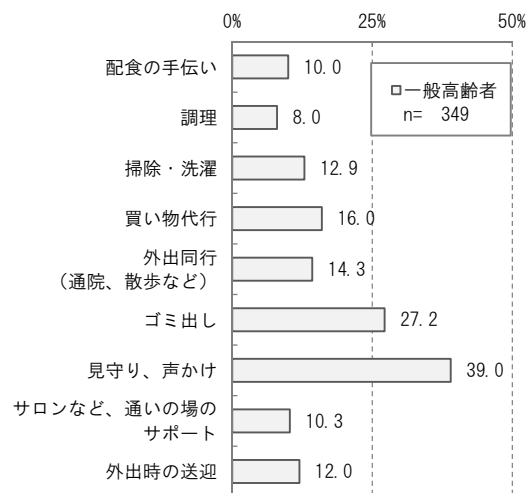
第2圏域



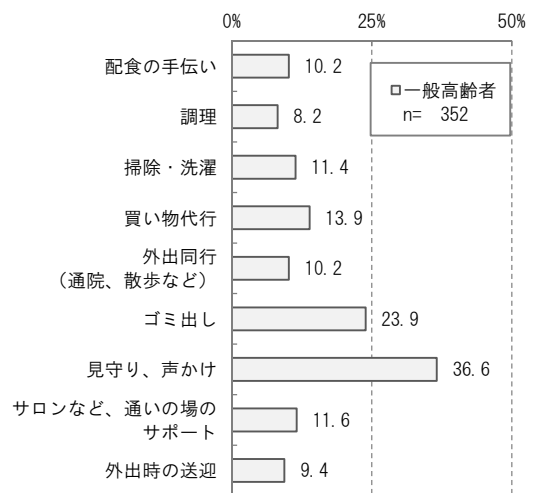
第3圏域



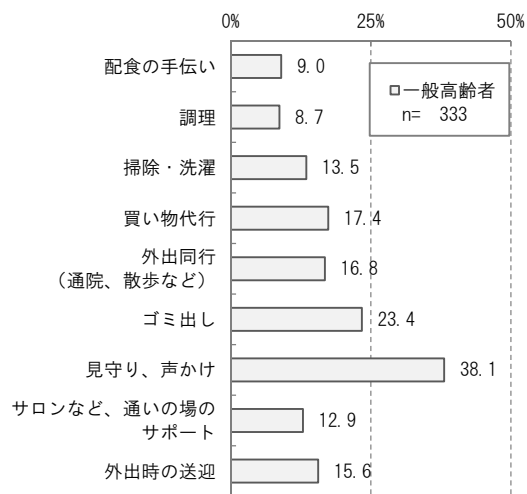
第4圏域



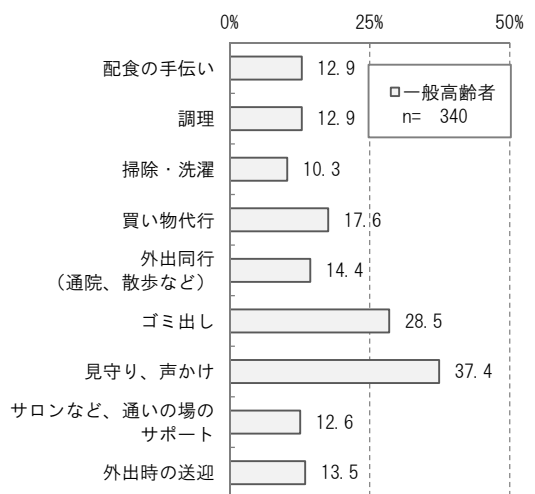
第5圏域



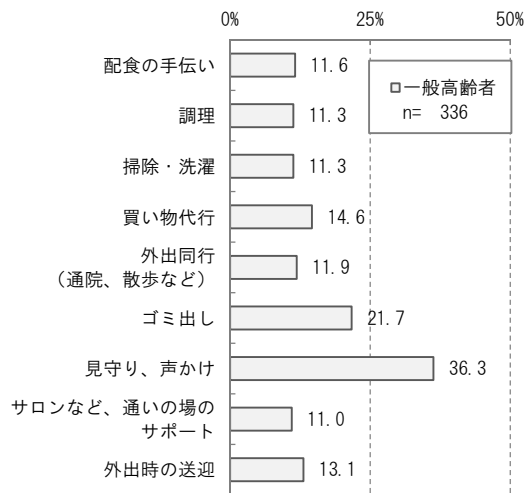
第6圏域



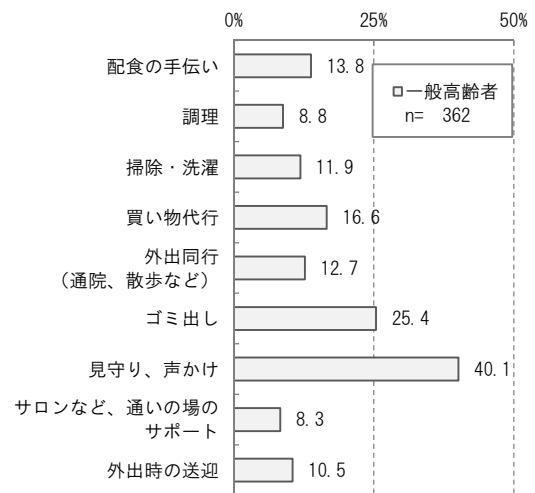
第7圏域



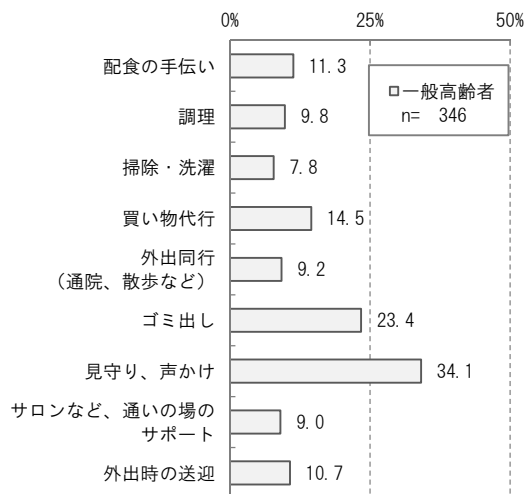
第8圏域



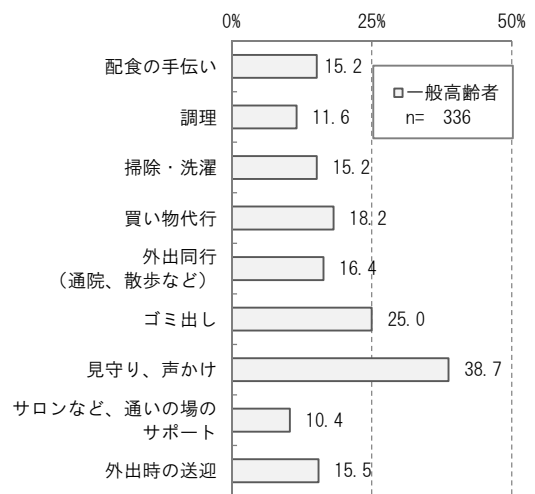
第9圏域



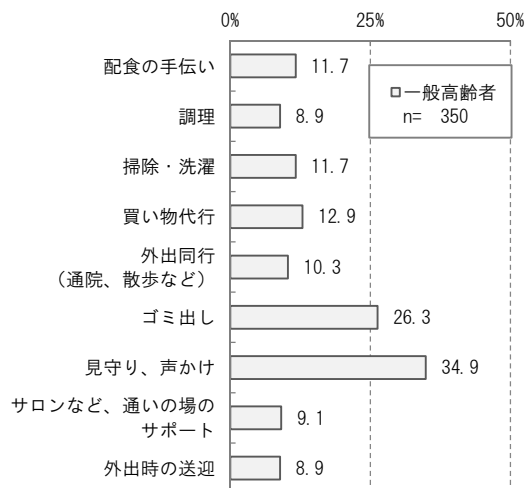
第10圏域



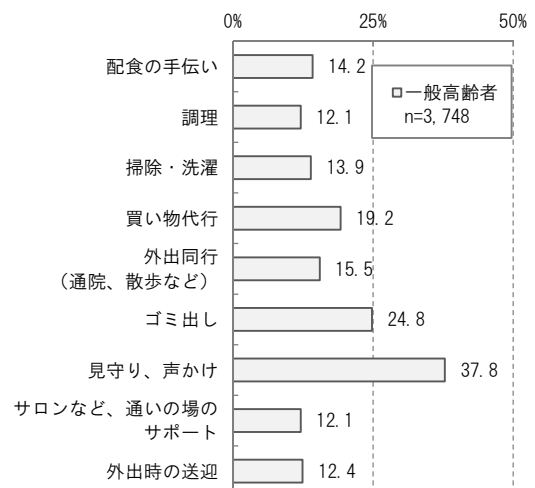
第11圏域



第12圏域



第13圏域



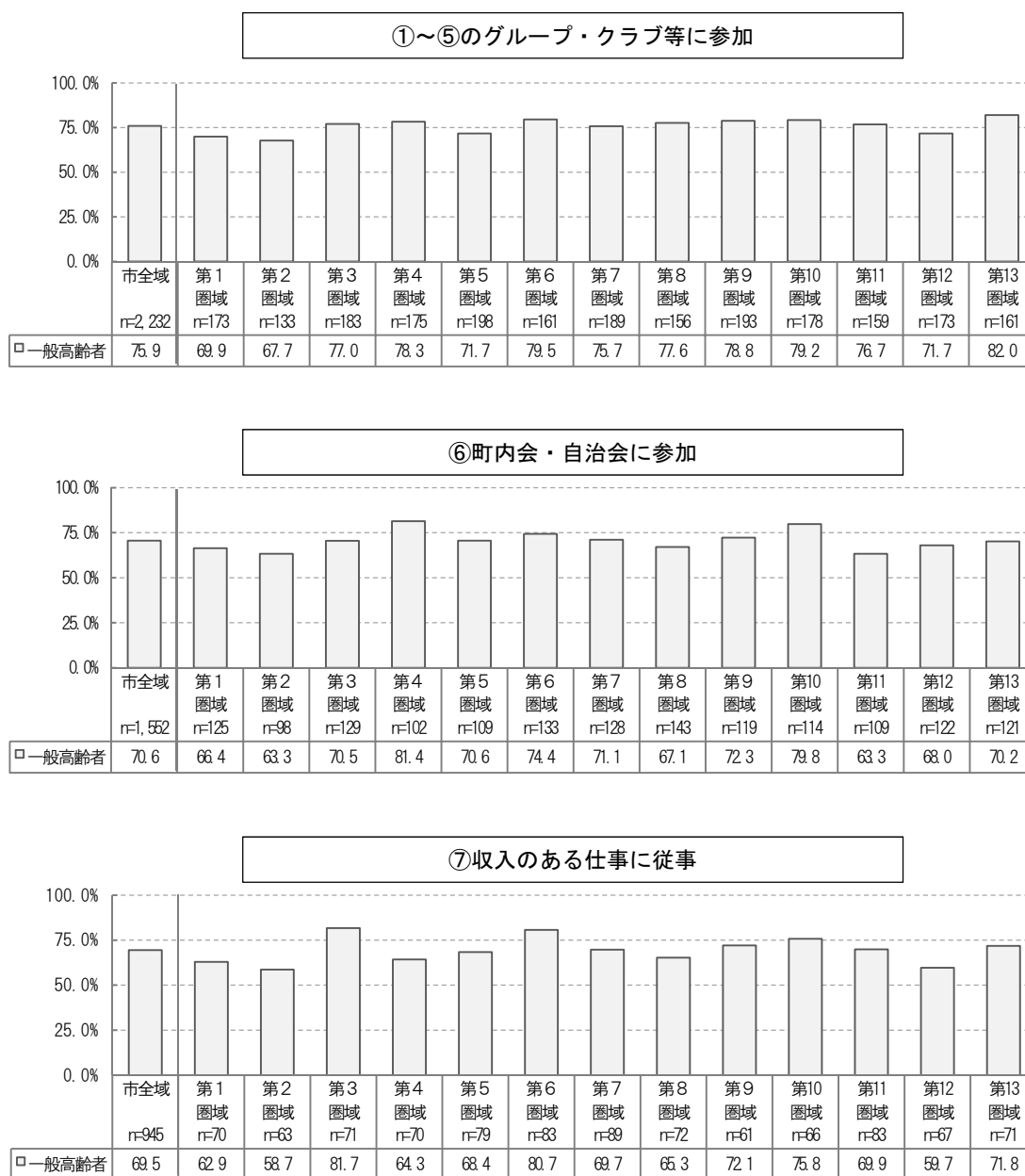
(4) 社会参加と生きがい

○参加している地域活動の種類別に生きがい感をみると、「①～⑤（①ボランティアのグループ、②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、④学習・教養 サークル、⑤老人クラブ）のグループ・クラブ等」では7割前後の方々が生きがいを感じていると回答しています。

○「⑥町内会・自治会に参加」では〈第4圏域〉〈第6圏域〉〈第7圏域〉〈第9圏域〉〈第10圏域〉で市全域より高くなっています。

○「⑦収入のある仕事に従事」では〈第3圏域〉〈第6圏域〉〈第7圏域〉〈第9圏域〉〈第10圏域〉〈第11圏域〉〈第13圏域〉で市全域より高くなっています。

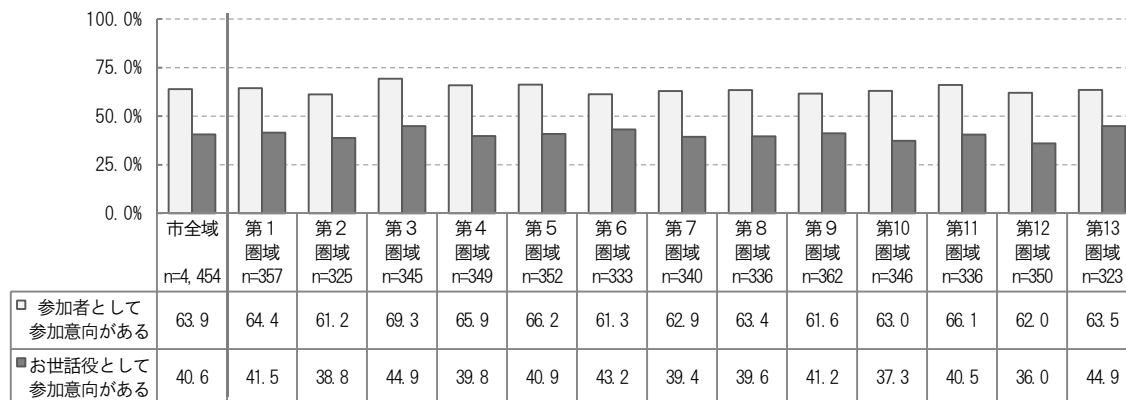
図 2.31 地域活動参加者が生きがいを感じている割合



○地域活動に対する参加意向をみると、「参加者として活動等への参加意向がある」では〈第1圏域〉〈第3圏域〉〈第4圏域〉〈第5圏域〉〈第11圏域〉で市全域より高くなっています。

○また、「お世話役として活動等への参加意向がある」でも〈第1圏域〉〈第3圏域〉〈第5圏域〉〈第6圏域〉〈第9圏域〉〈第13圏域〉で市全域より高くなっています。

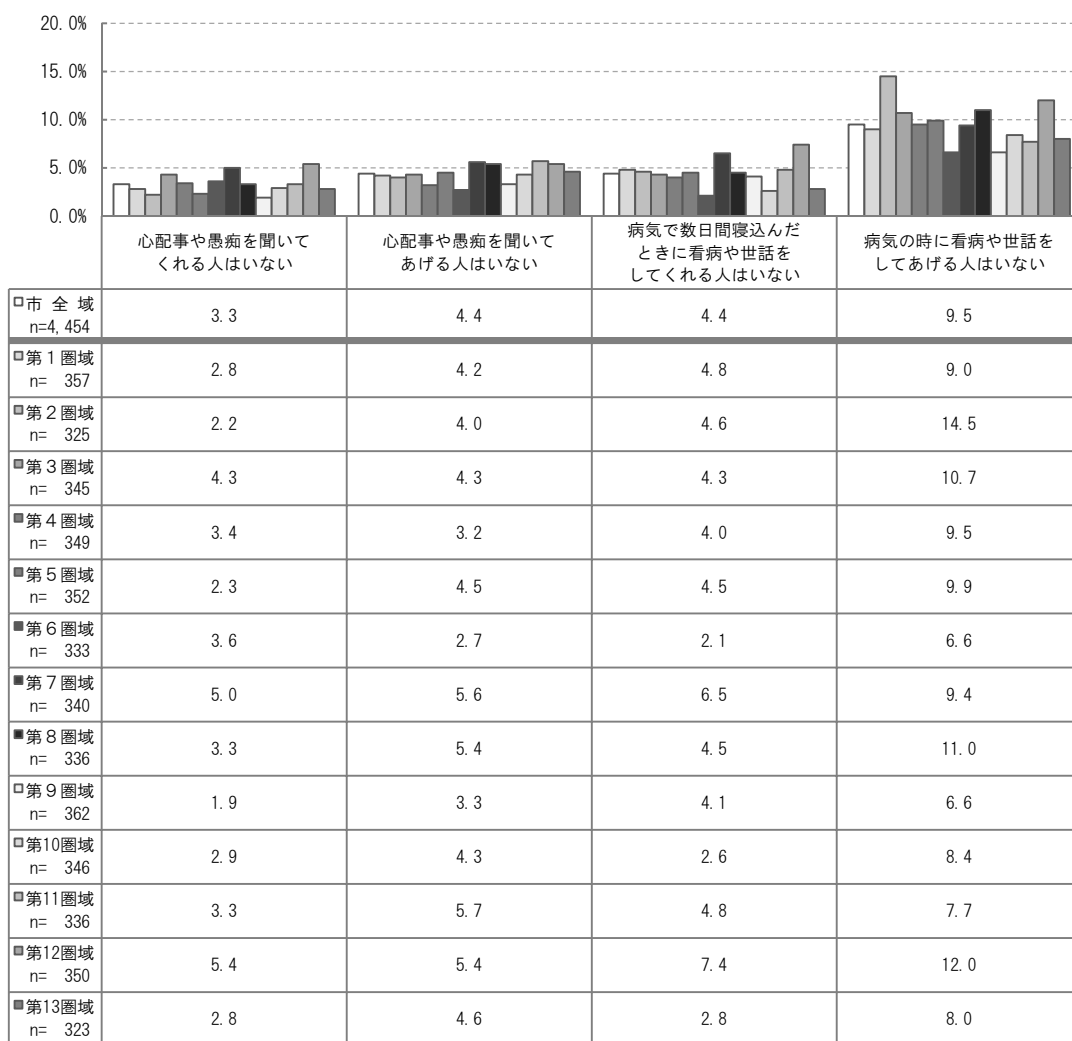
図 2.32 地域づくりに対する参加意向



○たすけあいの状況をみると、市全域では「病気の時に看病や世話をしてあげる人はいない」、「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」、「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」、「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」の順に高くなっています。

○圏域別にみると、「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」では〈第12圏域〉、「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」では〈第11圏域〉、「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」では〈第12圏域〉、「病気の時に看病や世話をしてあげる人はいない」では〈第2圏域〉で最も高くなっています。また、〈第9圏域〉〈第10圏域〉では全ての状況で市全域より低くなっています。

図 2.33 たすけあいの状況



6 高齢者の公共交通機関の利用状況

○外出する際の公共交通機関の利用率をみると、〈第3圏域〉〈第4圏域〉〈第5圏域〉〈第7圏域〉〈第8圏域〉〈第10圏域〉〈第11圏域〉〈第12圏域〉では市全域（19.6%）より高くなっています。

図 2.34 高齢者の公共交通利用率

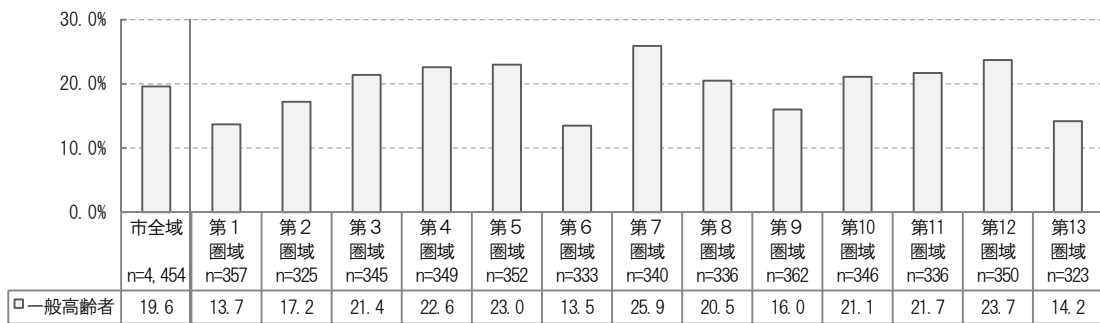
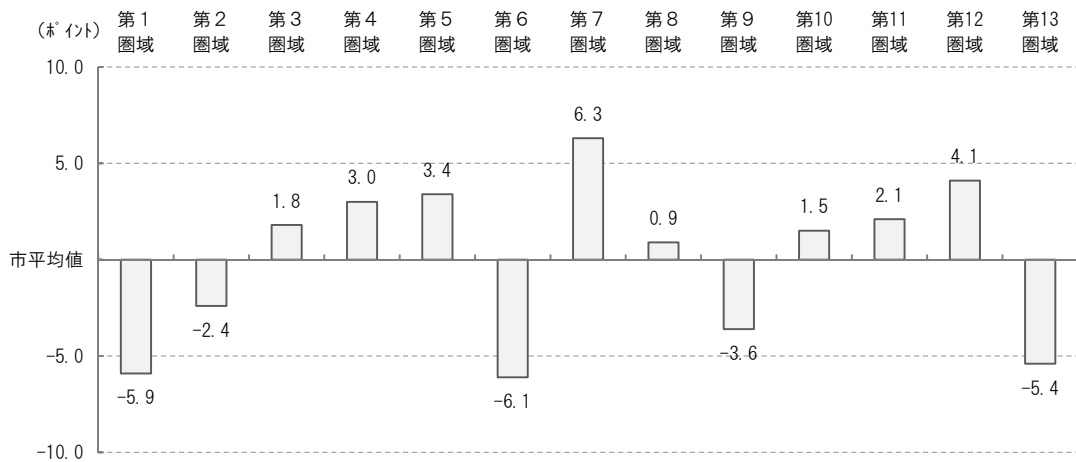


図 2.35 高齢者の公共交通利用率の地域差



7 健康について

(1) 高齢者の健康感や幸福感

① 主観的健康感

○主観的健康感をみると、市全域では「まあよい」(67.3%)が最も高く、次いで「あまりよくない」(15.7%)、「とてもよい」(11.0%)の順となり、圏域別でも同様の傾向となっています。

○また、主観的健康感で「あまりよくない」と「よくない」の合計の地域差を圏域別にみると、〈第2圏域〉〈第3圏域〉で市全域より2.7ポイント高く、〈第1圏域〉では2.5ポイント、〈第13圏域〉では1.8ポイント低くなっています。

図 2.36 主観的健康感

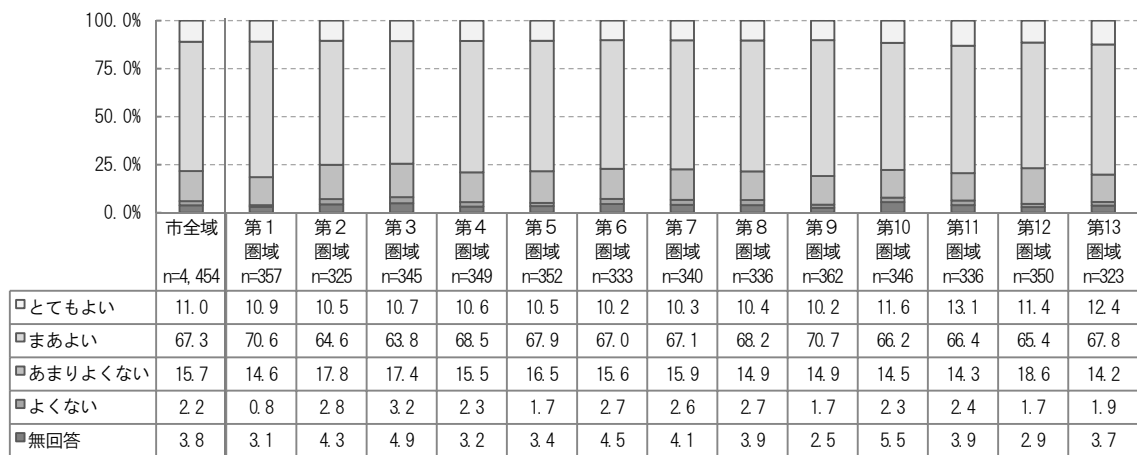
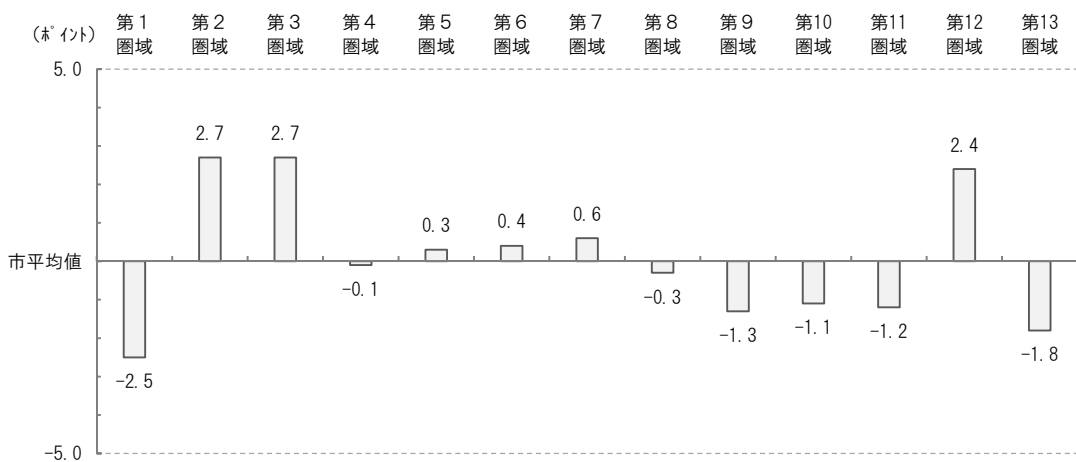


図 2.37 主観的健康感（「あまりよくない」+「よくない」）の地域差



② 主観的幸福感

○主観的幸福感の平均点数をみると、各圏域の平均点数の地域差は0.3ポイントと差異は大きくありません。

図 2.38 主観的幸福感（平均点数）

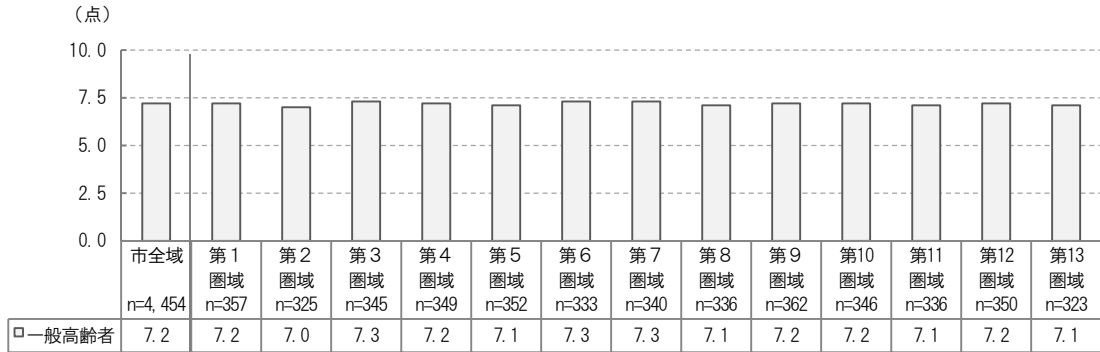
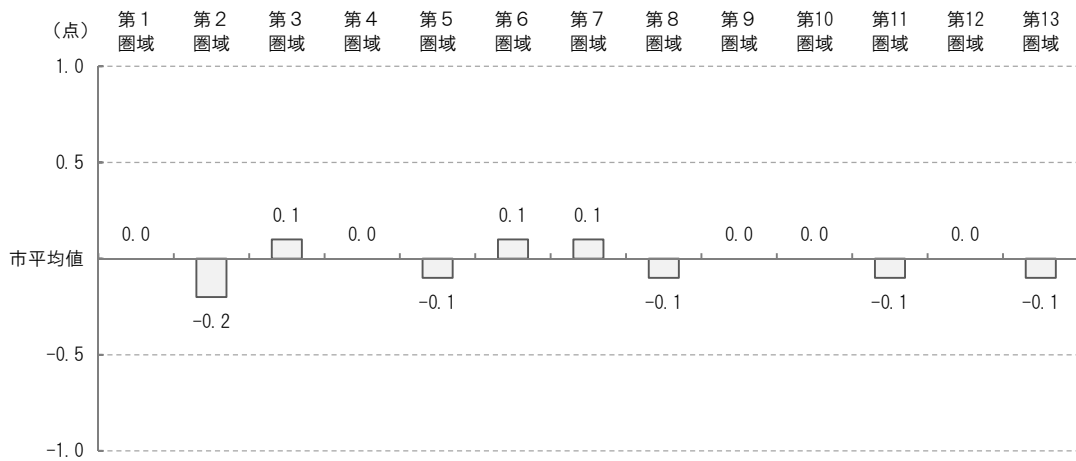


図 2.39 主観的幸福感の地域差



(2) 誰かとともに食事をする頻度

○誰かとともに食事をする頻度をみると、市全域では「毎日ある」(58.5%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(15.0%)、「年に何度かある」(9.5%)の順となり、〈第1圏域〉〈第3圏域〉〈第4圏域〉〈第5圏域〉〈第6圏域〉〈第9圏域〉〈第11圏域〉〈第13圏域〉で同様の傾向となっています。

○「ほとんどない」は市全域で6.0%、地域差をみると〈第4圏域〉〈第7圏域〉〈第8圏域〉〈第11圏域〉〈第12圏域〉で市平均値より高くなっています。

図 2.40 誰かとともに食事をする頻度

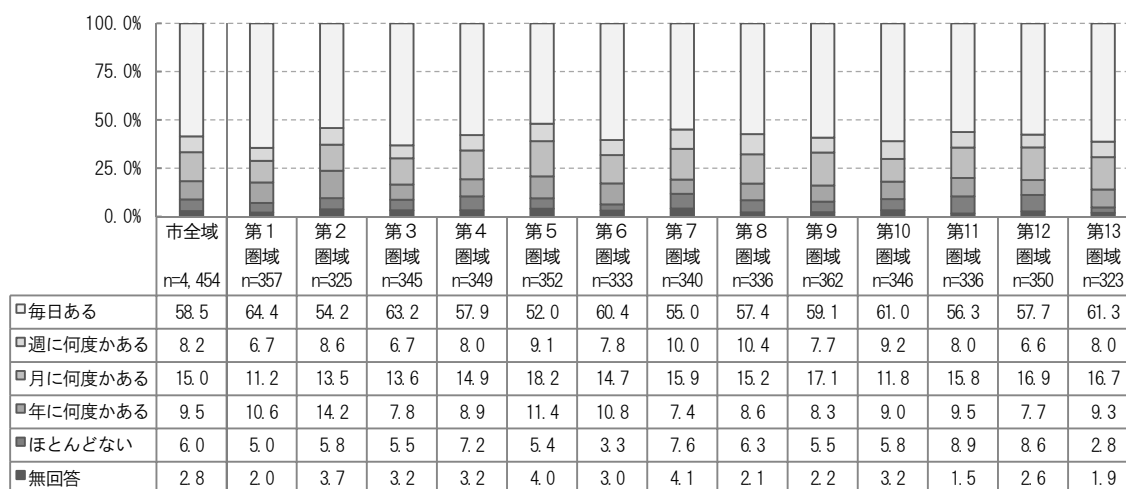
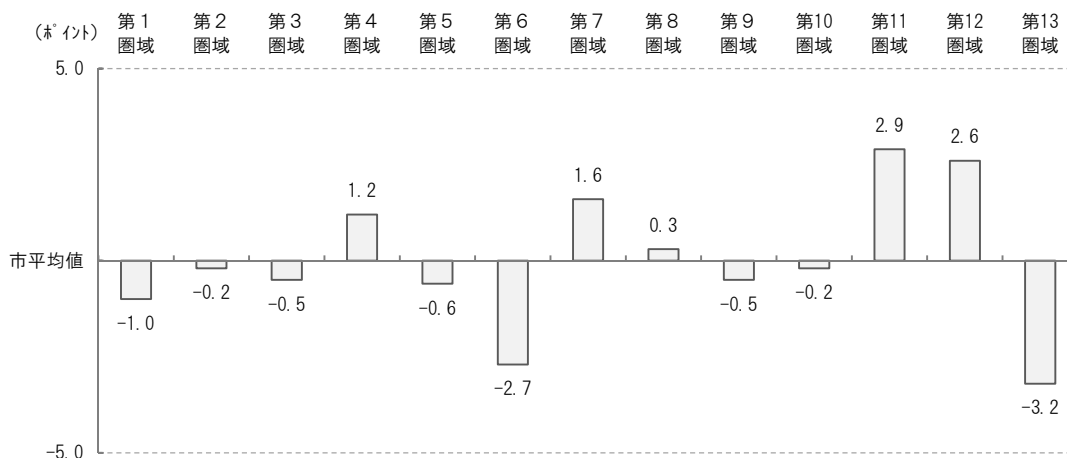


図 2.41 誰かとともに食事をする事ができない回答者の地域差

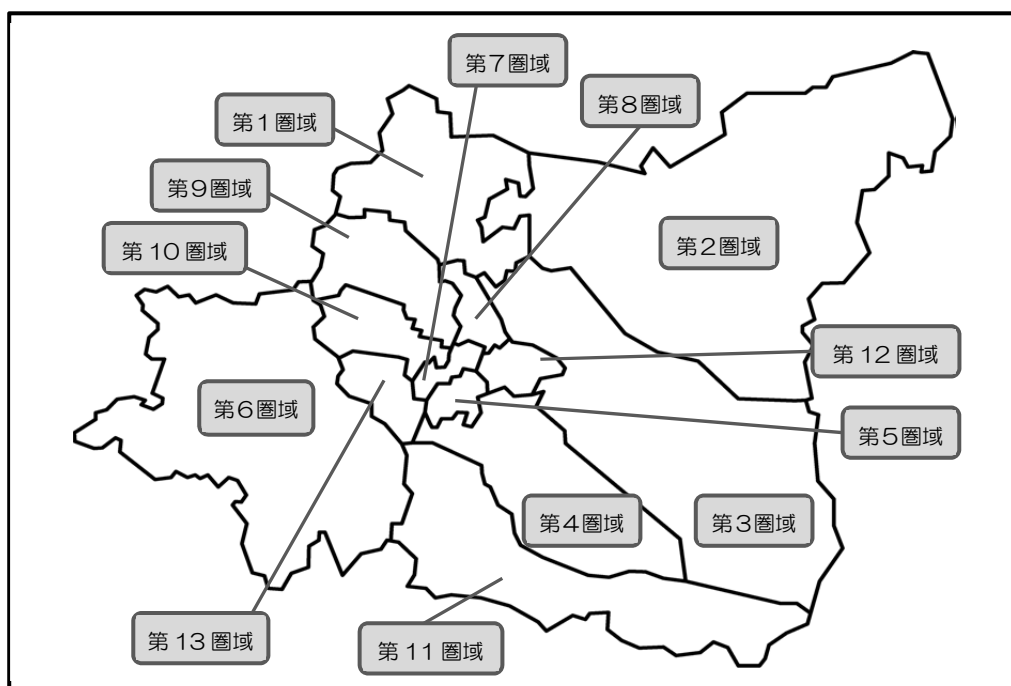


※問3(4)で、「ほとんどない」に回答した割合の差です。

8 地域特性のまとめ

本市の地域課題をはじめとする特性の抽出にあたっては、「1 高齢者像からみた地域分析」、「2 地域での活動」、「3 健康感や幸福感」、「4 公共交通の利用状況」の4つの分析項目について、調査結果から市平均値を算出し、13の圏域の調査結果と比較しながら少しでもマイナスとなる数値は〈弱み〉として市平均値との差異を、一方プラスとなる数値は現状の維持を目指し〈強み〉として記載しています。（但し、弱み・強みの判断ができない項目は現状としてあります。）

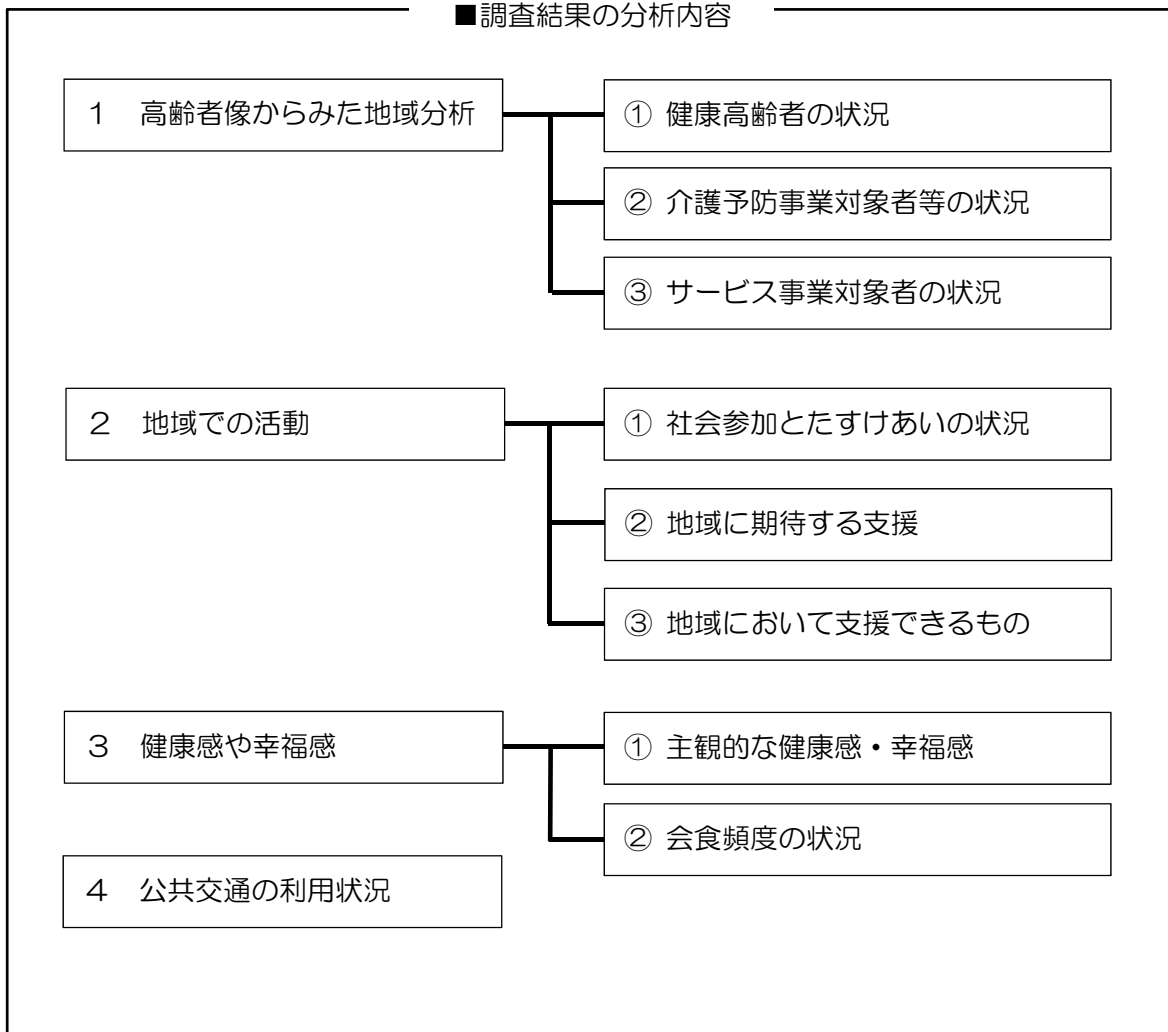
それぞれの分析項目に対し、各圏域の現状把握及び改善のための施策整備検討材料となる調査報告書として作成しました。



圏域名	地区名
第1圏域	出羽地区・大郷地区・明治地区 千歳地区
第2圏域	楯山地区・高瀬地区・山寺地区
第3圏域	東沢地区・鈴川地区
第4圏域	滝山地区
第5圏域	第六地区
第6圏域	南山形地区・本沢地区・大曽根 地区 西山形地区・村木沢地区
第7圏域	第一地区・第二地区

圏域名	地区名
第8圏域	第三地区・第四地区・第九地区
第9圏域	第七地区・金井地区
第10圏域	第十地区・飯塚地区・樺沢地区
第11圏域	蔵王地区
第12圏域	第五地区・第八地区
第13圏域	南沼原地区

■調査結果の分析内容



(1) 「第1圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市平均値より0.8^{ポイント}高い。
	介護予防事業 対象者等の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市平均値より0.8^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「低栄養の傾向リスク」出現率は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市平均値より0.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市内で最も低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市平均値より0.8^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市平均値より1.0^{ポイント}高い。 <hr/> <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市内で2番目に高い。
	サービス事業 対象者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市内で3番目に低い。
地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市平均値より1.0^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市平均値より0.8^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の就業率は市内で2番目に低い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市平均値より0.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市内で3番目に高い。 <hr/> <p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.5^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」

		<p>い」方の割合は市平均値より0.2^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしあける人はいない」方の割合は市平均値より0.5^{ポイント}低い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で3番目に高い。</p>
	地域に期待する支援	<p><現状></p> <p>○一般高齢者の「見守り」支援希望は市平均値より1.4^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市平均値より1.4^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市内で3番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市平均値より1.8^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市内で3番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「買物」支援希望は市内で2番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「調理」支援希望は市平均値より0.4^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「掃除」支援希望は市内で2番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市内で3番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}高い。</p>
	地域において支援できるもの	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市内で2番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市内で2番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市平均値より0.9^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市内で3番目に高い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の「調理」支援意向は市平均値より1.0^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市内で3番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市平均値より1.4^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市平均値より1.1^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市内で3番目に低い。</p>

健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	<強み> ○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より最も低い。
	会食の頻度	<強み> ○一般高齢者の「誰かとともに食事することがほとんどない方」の割合は市内で3番目に低い。
公共交通の利用状況		<現状> ○一般高齢者の公共交通利用率は市平均値より5.9 ^{ポイント} 低い。

(2) 「第2圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><弱み> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市内で最も低い。</p>
	介護予防事業 対象者等の状況	<p><弱み> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市内で最も高い。</p>
		<p><強み> ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市平均値より0.8ポイント低い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市内でも最も高い。 ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市内で2番目に高い。</p>
		<p><弱み> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市内で最も高い。</p>
サービス事業 対象者の状況	<p><強み> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市内で最も低い。</p>	
地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	<p><強み> ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市内で2番目に高い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「ボランティアグループ」への参加率は市平均値より0.5ポイント低い。 ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市平均値より0.6ポイント低い。 ○一般高齢者の就業率は市平均値より1.6ポイント低い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市内で最も低い。 ○一般高齢者の地域づくりに対する「お世話役として参加」の意向割合は市内で3番目に低い。</p>

		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市平均値より0.4^{ポイント}低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.2^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で最も高い。
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「調理」支援希望は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「着替え」支援希望は市平均値より0.2^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市平均値より0.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市内で最も低い。
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市平均値より0.8^{ポイント}高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市平均値より1.1^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「調理」支援意向は市平均値より1.0^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市平均値より0.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市平均値より1.1^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市平均値より0.8^{ポイント}低い。

		<p>○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市内で最も低い。</p> <p>○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市内で最も低い。</p>
健康感や幸福感	主観的な健康感・幸福感	<p><弱み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市内で最も高い。</p> <p>○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市内で最も低い。</p>
	会食の頻度	<p><強み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市平均値より0.2^{ポイント}低い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通利用率は市平均値より2.4^{ポイント}低い。</p>

(3) 「第3圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市内で最も高い。</p>
	介護予防事業 対象者等の状況	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市内で最も低い。</p>
		<p><強み></p> <p>○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市平均値より0.6^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市内で3番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市平均値より1.4^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市平均値より0.3^{ポイント}低い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の「低栄養の傾向リスク」出現率は市内で2番目に高い。</p>
		<p><強み></p> <p>○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市平均値より1.5^{ポイント}低い。</p>
サービス事業 対象者の状況	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市内で2番目に低い。</p>	
地域での活動	<p>社会参加と たすけあいの状況</p> <p><強み></p> <p>○一般高齢者の「ボランティアグループ」への参加率は市内で最も高い。</p> <p>○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市平均値より1.0^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市平均値より1.3^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市内で最も高い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市平均値より0.5^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市平均値より0.8^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の就業率は市平均値より0.8^{ポイント}低い。</p>	

		<p><強み> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市内で最も高い。</p> <hr/> <p><強み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市平均値より0.1^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.1^{ポイント}低い。 <弱み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてあげる人はいない」方の割合は市平均値より1.2^{ポイント}高い。</p>
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市平均値より0.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市平均値より1.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市平均値より0.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「調理」支援希望は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「着替え」支援希望は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}低い。</p>
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市平均値より0.3^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「調理」支援意向は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市内で3番目に高い。</p>

		<p>○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市平均値より1.7^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市内で2番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市内で最も高い。</p> <p>○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市平均値より0.1^{ポイント}高い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市平均値より0.5^{ポイント}低い。</p>
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市内で最も高い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合は市内で最も高い。</p>
	会食の頻度	<p><強み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市平均値より0.5^{ポイント}低い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通利用率は市平均値より1.8^{ポイント}高い。</p>

(4) 「第4圏域」の特性

調査結果分析		特性	
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市内で3番目に低い。 	
	介護予防事業 対象者等の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市内で3番目に高い。 <hr/> <p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「低栄養の傾向リスク」は該当者がいない。 ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市平均値より1.0^{ポイント}低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市平均値より0.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市内で2番目に高い。 <hr/> <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市平均値より1.1^{ポイント}高い。 	
		サービス事業 対象者の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市平均値より0.1^{ポイント}高い。
		地域での活動	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市平均値より1.8^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市平均値より0.3^{ポイント}高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「ボランティアのグループ」への参加率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の就業率は市内で3番目に低い。

		<p><強み> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市平均値より2.0^{ポイント}高い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市平均値より0.8^{ポイント}低い。</p> <hr/> <p><強み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市内で2番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.4^{ポイント}低い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.1^{ポイント}高い。</p>
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市平均値より2.3^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市平均値より0.9^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市平均値より0.2^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市平均値より1.8^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市平均値より1.2^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市内で2番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「買物」支援希望は市内で3番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「調理」支援希望は市内で2番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「掃除」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「着替え」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市内で2番目に低い。</p>
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み> ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市平均値より0.6^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市平均値より1.2^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市内で3番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市内で3番目に高い。</p> <p><弱み></p>

		<p>○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市内で2番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「調理」支援意向は市内で最も低い。</p> <p>○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市平均値より0.3^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市平均値より0.4^{ポイント}低い。</p>
健康感や幸福感	主観的な健康感・幸福感	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より0.1^{ポイント}低い。</p>
	会食の頻度	<p><弱み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市平均値より1.2^{ポイント}高い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通利用率は市平均値より3.0^{ポイント}高い。</p>

(5) 「第5圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市平均値より0.4^{ポイント}高い。
	介護予防事業 対象者等の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市平均値より0.1^{ポイント}低い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市平均値より0.1^{ポイント}低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市平均値より0.8^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「低栄養の傾向リスク」出現率は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市内で3番目に高い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市内で最も低い。
サービス事業 対象者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市平均値より0.2^{ポイント}低い。 	
地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「ボランティアのグループ」への参加率は市平均値より0.9^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の就業率は市内で3番目に高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「町内会・自治会」は市内で3番目に低い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市内で2番目に高い。

		<p>○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市平均値より0.3^{ポイント}高い。</p> <hr/> <p><強み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市内で3番目に低い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてあげる人はいない」方の割合は市平均値より0.4^{ポイント}高い。</p>
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市平均値より0.8^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市平均値より2.2^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市平均値より0.2^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市平均値より3.7^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市平均値より1.8^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市平均値より1.7^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市平均値より0.6^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市平均値より0.1^{ポイント}高い。</p>
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み> ○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市平均値より1.0^{ポイント}高い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「調理」支援意向は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市平均値より0.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市内で3番目に低い。</p>

		<p>○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市平均値より0.4^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市内で2番目に低い。</p>
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	<p><弱み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より0.3^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市内で2番目に低い。</p>
	会食の頻度	<p><強み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市平均値より0.6^{ポイント}低い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通利用率は市内で3番目に高い。</p>

(6) 「第6圏域」の特性

調査結果分析		特性	
高齢者像からみた地域分析	健康高齢者の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市平均値より1.0^{ポイント}低い。 	
	介護予防事業対象者等の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市平均値より1.4^{ポイント}高い。 <hr/> <p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市平均値より1.8^{ポイント}低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「低栄養の傾向リスク」出現率は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市平均値より0.4^{ポイント}高い。 <hr/> <p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市平均値より1.5^{ポイント}低い。 	
		サービス事業対象者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市平均値より0.4^{ポイント}低い。
		地域での活動	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「ボランティアのグループ」への参加率は市平均値より0.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の就業率は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市平均値より3.3^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市平均値より2.6^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市平均値より0.1^{ポイント}低い。 <hr/> <p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市内で2番目に高い。

		<p><弱み> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市内で2番目に低い。</p> <p><強み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてあげる人はいない」方の割合は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方は市内で最も低い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.3^{ポイント}高い。</p>
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市平均値より0.8^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市平均値より0.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「調理」支援希望は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「着替え」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市平均値より0.6^{ポイント}低い。</p>
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み> ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市平均値より1.2^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市平均値より1.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「見守り、声がけ」支援意向は市平均値より1.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市内で2番目に高い。</p>

		<p>○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市内で最も高い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市内で最も低い。</p> <p>○一般高齢者の「調理」支援意向は市内で3番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市内で2番目に低い。</p>
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市内で最も高い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より0.4^{ポイント}高い。</p>
	会食の頻度	<p><強み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市内で2番目に低い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通利用率は市内で最も低い。</p>

(7) 「第7圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><弱み> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市平均値より0.4^{ポイント}低い。</p>
	介護予防事業 対象者等の状況	<p><強み> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市平均値より1.3^{ポイント}低い。</p>
		<p><強み> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市平均値より0.4^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市内で3番目に低い。</p>
		<p><弱み> ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市平均値より0.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市平均値より2.7^{ポイント}高い。</p>
サービス事業 対象者の状況	<p><弱み> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市内で最も高い。</p>	
地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	<p><強み> ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市平均値より2.2^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市平均値より1.3^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の就業率は市内で2番目に高い。</p>
		<p><弱み> ○一般高齢者の「ボランティアのグループ」への参加率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市内で2番目に低い。</p>
		<p><弱み> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市平均値より1.0^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市平均値より1.2^{ポイント}低い。</p>
		<p><強み> ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.1^{ポイント}低い。</p>

		<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で2番目に高い。
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市平均値より1.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市平均値より0.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市平均値より0.6^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「調理」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「着替え」支援希望は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市内で最も高い。
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市平均値より0.7^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「調理」支援意向は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市平均値より1.6^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市平均値より1.3^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市平均値より0.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市平均値より1.1^{ポイント}高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市内で2番目に低い。
<p>健康感や幸福感</p>	<p>主観的な健康感・幸福感</p>	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の主観的健康感の平均点数は市内で最も高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市内で3番目に高い。

	会食の頻度	<弱み> ○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市内で3番目に高い。
	公共交通の利用状況	<現状> ○一般高齢者の公共交通利用率は市内で最も高い。

(8) 「第8圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像からみた地域分析	健康高齢者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市平均値より1.2^{ポイント}高い。
	介護予防事業対象者等の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市平均値より1.9^{ポイント}低い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市内で2番目に低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市平均値より1.0^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「低栄養の傾向リスク」出現率は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市平均値より1.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市平均値より0.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市平均値より0.6^{ポイント}高い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市平均値より0.8^{ポイント}低い。
サービス事業対象者の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市内で3番目に高い。 	
地域での活動	社会参加とたすけあいの状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市平均値より0.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市平均値より1.8^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の就業率は市平均値より0.8^{ポイント}高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「ボランティアのグループ」への参加率は市平均値より1.1^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市平均値より2.5^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市平均値より0.6^{ポイント}低い。

		<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市平均値より0.5^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市平均値より1.0^{ポイント}低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で3番目に高い。
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市平均値より0.2^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市平均値より0.6^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「調理」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市平均値より0.8^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「着替え」支援希望は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市内で2番目に高い。
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「調理」支援意向は市平均値より1.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市平均値より0.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市平均値より0.7^{ポイント}高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市平均値より0.6^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市平均値より1.0^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市平均値より1.4^{ポイント}低い。

		<p>○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市平均値より1.2^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市内で最も低い。</p> <p>○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市平均値より0.7^{ポイント}低い。</p>
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より0.3^{ポイント}低い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市内で2番目に低い。</p>
	会食の頻度	<p><弱み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市平均値より0.3^{ポイント}高い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通利用率は市平均値より0.9^{ポイント}高い。</p>

(9) 「第9圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市内で2番目に高い。
	介護予防事業 対象者等の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市平均値より1.5^{ポイント}低い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市平均値より1.0^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市内で3番目に低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「低栄養の傾向リスク」出現率市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市平均値より0.7^{ポイント}高い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市内で3番目に低い。
サービス事業 対象者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市平均値より0.3^{ポイント}低い。 	
地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「ボランティアのグループ」への参加率は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市平均値より1.9^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市平均値より0.3^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市内で2番目に高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の就業率は市内で最も低い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市平均値より0.6^{ポイント}高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市内で3番目に低い。

		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.3^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてあげる人はいない」方の割合は市内で最も低い。
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市平均値より0.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市平均値より1.2^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市平均値より0.4^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市平均値より2.6^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「調理」支援希望は市平均値より0.2^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市平均値より1.3^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「着替え」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市平均値より0.4^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市内で3番目に高い。
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市平均値より1.6^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市平均値より0.6^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市平均値より0.3^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市内で最も高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「調理」支援意向は市平均値より1.4^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市平均値より0.4^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市平均値より0.4^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市内で2番目に低い。

		○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市内で3番目に低い。
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	<強み> ○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市内で3番目に低い。
	会食の頻度	<強み> ○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市平均値より0.5 ^{ポイント} 低い。
公共交通の利用状況		<現状> ○一般高齢者の公共交通利用率は市平均値より3.6 ^{ポイント} 低い。

(10) 「第10圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市内で3番目に高い。
	介護予防事業 対象者等の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市内で2番目に低い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市平均値より2.0^{ポイント}低い ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市平均値より0.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市平均値より0.1^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市内で2番目に低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市内で2番目に高い。
		<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市平均値より1.0^{ポイント}高い。
サービス事業 対象者の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市内で2番目に高い。 	
地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市平均値より3.0^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市平均値より1.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市平均値より0.3^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市内で最も高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「ボランティアのグループ」への参加率は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市平均値より0.5^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の就業率は市平均値より0.9^{ポイント}低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市平均値より0.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市内で2番目に低い。

		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.4^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市平均値より0.1^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてあげる人はいない」方の割合は市平均値より1.1^{ポイント}低い。
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市平均値より0.6^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市平均値より1.0^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市平均値より0.5^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市平均値より0.7^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市平均値より1.7^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「調理」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「着替え」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市内で3番目に低い。
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市平均値より0.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「調理」支援意向は市平均値より0.4^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市内で2番目に低い。

		<p>○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市内で3番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市平均値より1.7^{ポイント}低い。</p>
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より1.1^{ポイント}低い。</p>
	会食の頻度	<p><強み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市平均値より0.2^{ポイント}低い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通利用率は市平均値より1.5^{ポイント}高い。</p>

(11) 「第11圏域」の特性

調査結果分析		特性	
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><弱み> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市内で2番目に低い。</p>	
	介護予防事業 対象者等の状況	<p><弱み> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市内で2番目に高い。</p> <p>-----</p> <p><強み> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「低栄養の傾向リスク」出現率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市平均値より0.2^{ポイント}低い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市平均値より1.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市内で最も高い。</p> <p>-----</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市平均値より1.0^{ポイント}高い。</p>	
		サービス事業 対象者の状況	<p><強み> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市平均値より0.1^{ポイント}低い。</p>
		地域での活動	<p><強み> ○一般高齢者の「ボランティアグループ」への参加率は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市平均値より1.2^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の就業率は市内で最も高い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市内で3番目に低い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市平均値より2.5^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市平均値より1.0^{ポイント}低い。</p> <p>-----</p> <p><強み> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市内で3番目に高い。</p>

		<p><弱み> ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市平均値より0.1^{ポイント}低い。</p> <hr/> <p><強み> ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で2番目に低い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で3番目に高い。</p>
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市平均値より0.6^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市平均値より0.2^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市平均値より1.6^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市平均値より0.8^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市平均値より0.8^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「調理」支援希望は市平均値より1.2^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市平均値より0.1^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「着替え」支援希望は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市平均値より1.0^{ポイント}低い。</p>
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「調理」支援意向は市平均値より1.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市内で2番目に高い。</p>

		<p>○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市平均値より1.7^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市内で2番目に高い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市平均値より0.1^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市平均値より0.2^{ポイント}低い。</p>
健康感や幸福感	主観的な健康感・幸福感	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市平均値より1.2^{ポイント}低い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市内で2番目に低い。</p>
	会食の頻度	<p><弱み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市内で最も高い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通利用率は市平均値より2.1^{ポイント}高い。</p>

(12) 「第12圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像から みた地域分析	健康高齢者の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市平均値より0.9ポイント低い。
	介護予防事業 対象者の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市平均値より1.1ポイント高い。 <hr/> <p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市平均値より1.2ポイント低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「低栄養の傾向リスク」出現率は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「閉じこもりリスク」出現率は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市内で最も高い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者」出現率は市内で2番目に低い。
		サービス事業 対象者の状況
地域での活動	社会参加と たすけあいの状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「ボランティアのグループ」への参加率は市平均値より0.4ポイント高い。 ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市平均値より1.6ポイント高い。 ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率3番目に高い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率3番目に高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市平均値より0.9ポイント低い。 ○一般高齢者の就業率は市平均値より0.5ポイント低い。

		<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市平均値より1.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市内で最も低い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてあげる人はいない」方の割合は市内で2番目に高い。
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市内で2番目に低い。 ○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市内で最も高い。 ○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市平均値より0.6^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市平均値より1.8^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「買物」支援希望は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「調理」支援希望は市平均値より0.8^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「掃除」支援希望は市内で3番目に高い。 ○一般高齢者の「着替え」支援希望は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市平均値より0.7^{ポイント}低い。
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市平均値より1.2^{ポイント}高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市平均値より0.5^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「調理」支援意向は市平均値より1.3^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市平均値より0.6^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向

		<p>は市内で3番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市平均値より2.1^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市平均値より1.5^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「外出時の送迎」支援意向は市内で最も低い。</p>
健康感や 幸福感	主観的な 健康感・幸福感	<p><弱み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市内で2番目に高い。</p>
	会食の頻度	<p><弱み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市内で2番目に高い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通利用率は市内で2番目に高い。</p>

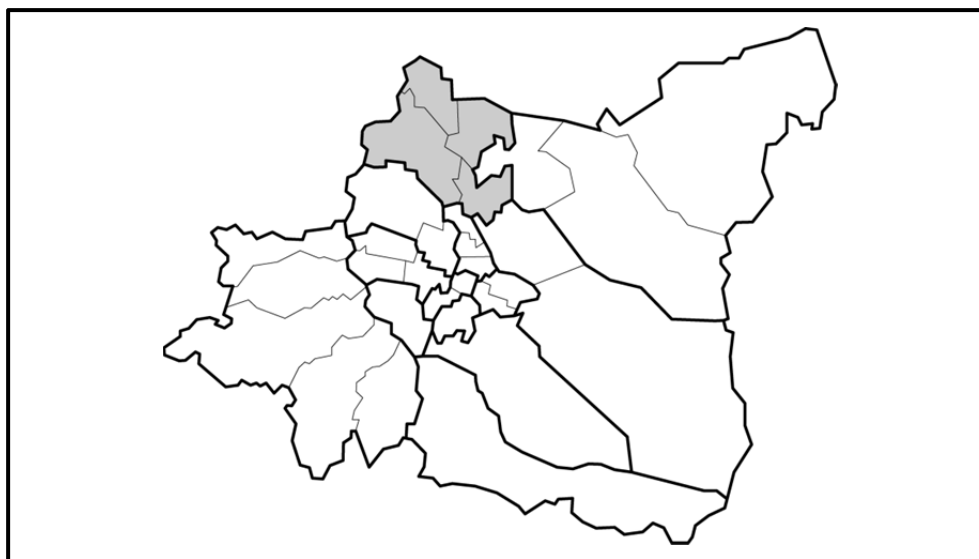
(13) 「第13圏域」の特性

調査結果分析		特性
高齢者像からみた地域分析	健康高齢者の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「健康高齢者」出現率は市平均値より0.8^{ポイント}高い。
	介護予防事業対象者等の状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「介護予防事業対象者」出現率は市内で3番目に低い。
		<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「口腔機能の低下リスク」出現率は市内で最も低い。 ○一般高齢者の「閉じこもり傾向リスク」出現率は市平均値より1.9^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「認知機能の低下リスク」出現率は市内で3番目に低い。
		<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「運動器の機能低下リスク」出現率は市平均値より0.1^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「うつ傾向リスク」出現率は市平均値より0.1^{ポイント}高い。
サービス事業対象者の状況	<p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「サービス事業対象者」出現率は市内で2番目に高い。 	
地域での活動	社会参加とたすけあいの状況	<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「ボランティアグループ」への参加率は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「スポーツ関係のグループやクラブ」への参加率は市平均値より1.6^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の「学習・教養サークル」への参加率は市内で2番目に高い。 ○一般高齢者の「老人クラブ」への参加率は市平均値より0.4^{ポイント}高い。 ○一般高齢者の就業率は市平均値より1.0^{ポイント}高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般高齢者の「趣味関係のグループ」への参加率は市平均値より0.6^{ポイント}低い。 ○一般高齢者の「町内会・自治会」への参加率は市平均値より0.2^{ポイント}低い。

		<p><強み> ○一般高齢者の「お世話役として参加意向がある」方の割合は市内で最も高い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「参加者として参加意向がある」方の割合は市平均値より0.4^{ポイント}低い。</p> <hr/> <p><強み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてくれる人はいない」方の割合は市平均値より0.5^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいない」方の割合は市内で3番目に低い。</p> <p>○一般高齢者の「病気の時に看病や世話をしてあげる人はいない」方の割合は市内で3番目に低い。</p> <p><弱み> ○一般高齢者の「心配事や愚痴を聞いてあげる人はいない」方の割合は市平均値より0.2^{ポイント}高い。</p>
	<p>地域に期待する支援</p>	<p><現状> ○一般高齢者の「見守り」支援希望は市平均値より0.3^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「声がけ」支援希望は市平均値より0.1^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「外出同行」支援希望は市平均値より0.2^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「雪かき」支援希望は市内で2番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「草むしり」支援希望は市内で2番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援希望は市内で3番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「買物」支援希望は市内で最も高い。</p> <p>○一般高齢者の「調理」支援希望は市内で2番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「掃除」支援希望は市内で2番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「着替え」支援希望は市平均値より0.1^{ポイント}低い。</p> <p>○一般高齢者の「季節用品の入替」支援希望は市内で2番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「電球交換」支援希望は市平均値より0.9^{ポイント}高い。</p>
	<p>地域において支援できるもの</p>	<p><強み> ○一般高齢者の「配食の手伝い」支援意向は市内で3番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「調理」支援意向は市内で3番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「掃除・洗濯」支援意向は市平均値より1.6^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「買い物代行」支援意向は市内で最も高い。</p>

		<p>○一般高齢者の「外出同行（通院、散歩など）」支援意向は市内で3番目に高い。</p> <p>○一般高齢者の「見守り、声かけ」支援意向は市平均値より0.8^{ポイント}高い。</p> <p>○一般高齢者の「サロンなど、通いの場のサポート」支援意向は市平均値より1.5^{ポイント}高い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の「ゴミ出し」支援意向は市平均値より0.3低い。</p>
健康感や幸福感	主観的な健康感・幸福感	<p><強み></p> <p>○一般高齢者の主観的健康感で「あまりよくない」+「よくない」の割合計は市内で2番目に低い。</p> <p><弱み></p> <p>○一般高齢者の主観的幸福感の平均点数は市内で2番目に低い。</p>
	会食の頻度	<p><強み></p> <p>○一般高齢者のどなたかとともに食事することが「ほとんどない」方の割合が市内で最も低い。</p>
公共交通の利用状況		<p><現状></p> <p>○一般高齢者の公共交通機関利用率は市内で3番目に低い。</p>

I 「第1圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率 (%)
第1圏域	21,313	7,012	32.9	3,246	3,766	53.7
出羽地区	6,679	2,225	33.3	1,092	1,133	50.9
大郷地区	4,157	1,493	35.9	627	866	58.0
明治地区	2,264	687	30.3	366	321	46.7
千歳地区	8,213	2,607	31.7	1,161	1,446	55.5

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第1圏域	5,827	257	928	16.9	470	6.7
出羽地区	1,930	77	218	13.3	99	4.4
大郷地区	1,178	42	273	21.1	157	10.5
明治地区	588	28	71	14.4	29	4.2
千歳地区	2,131	110	366	18.3	185	7.1

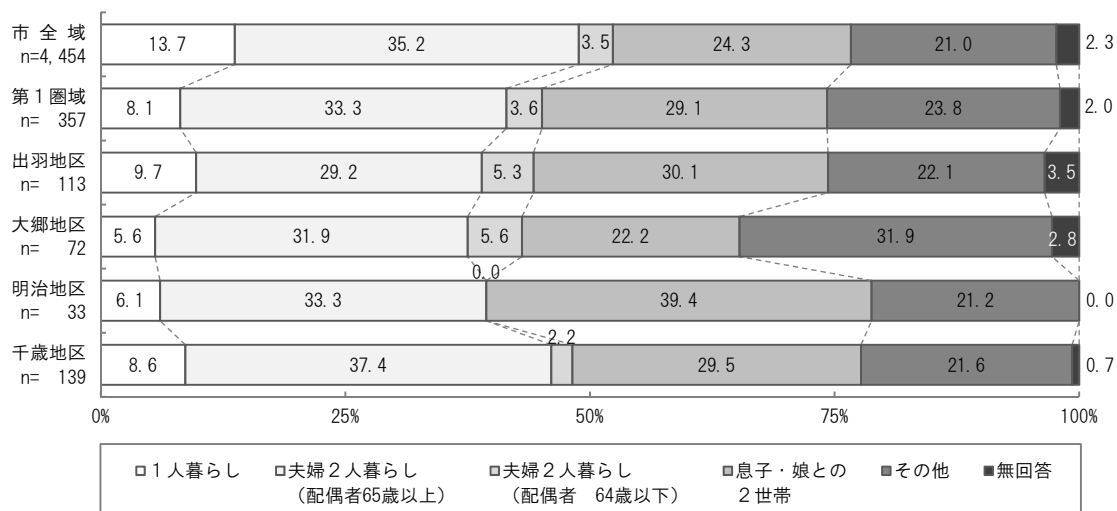
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
2カ所	7カ所	0カ所	5カ所	9カ所	8カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
3カ所	0カ所	25カ所	2カ所	10カ所	13カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第1圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、〈大郷地区〉〈千歳地区〉で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（31.9%・37.4%）、〈出羽地区〉〈明治地区〉で「息子・娘との2世帯」（30.1%・39.4%）が最も高くなっています。

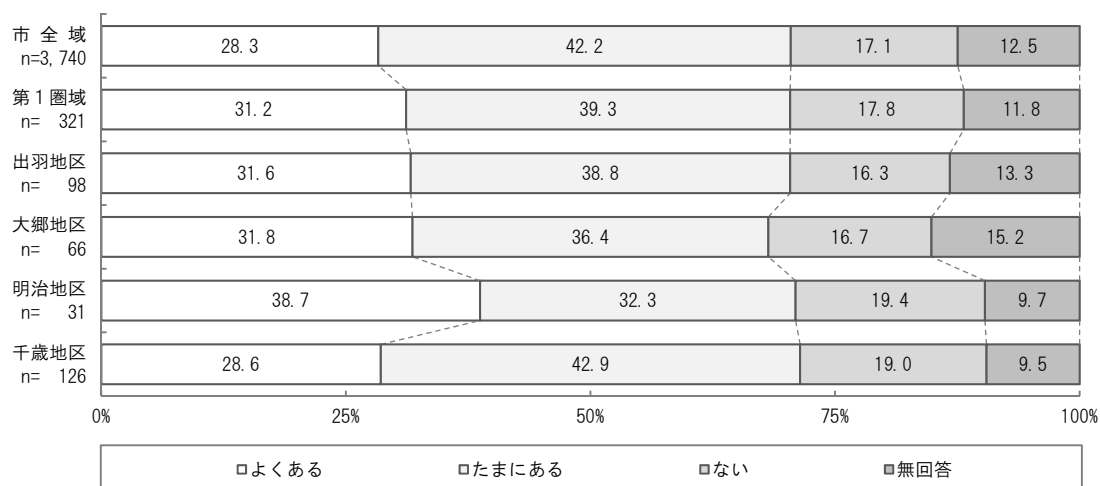
図 2-1.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第1圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈出羽地区〉〈大郷地区〉〈千歳地区〉で「たまにある」（42.9~36.4%）、〈明治地区〉で「よくある」（38.7%）が最も高くなっています。

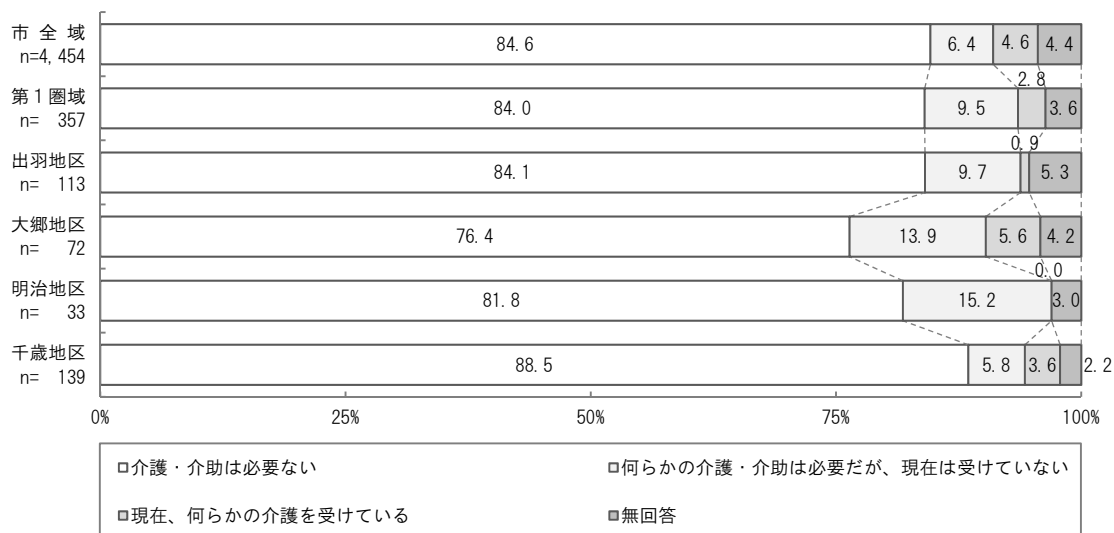
図 2-1.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第1圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、全ての地区で「介護・介助は必要ない」（76.4～88.5%）が最も高くなっています。

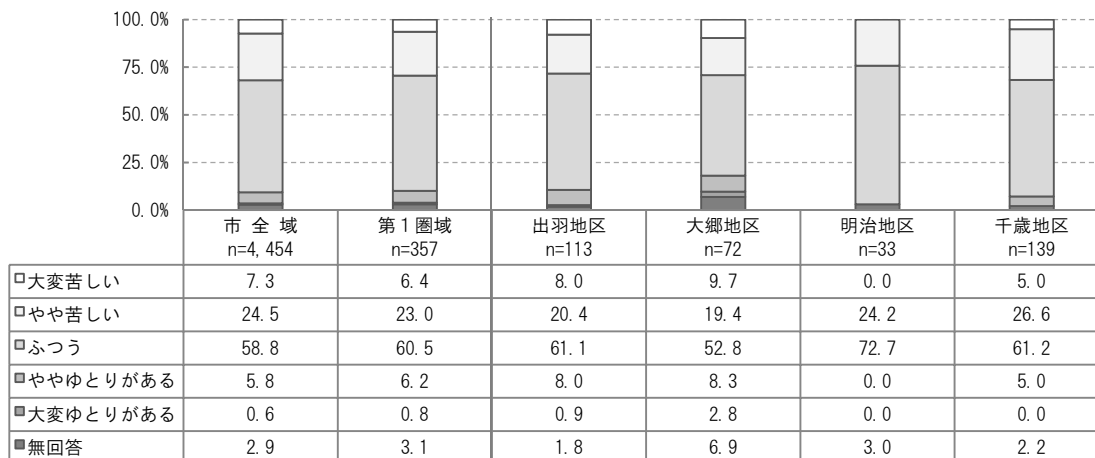
図 2-1.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第1圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、全ての地区で「ふつう」（52.8～72.7%）が最も高くなっています。〈第1圏域〉の「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた割合が7.0%となっている一方で、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた割合が29.4%と高くなっています。

図 2-1.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

- 〈第1圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、健康高齢者では〈千歳地区〉〈出羽地区〉、介護予防事業対象者では〈明治地区〉〈大郷地区〉〈出羽地区〉、サービス事業対象者では〈大郷地区〉で市平均値を上回っています。

図 2-1.5 3つの高齢者像別出現率

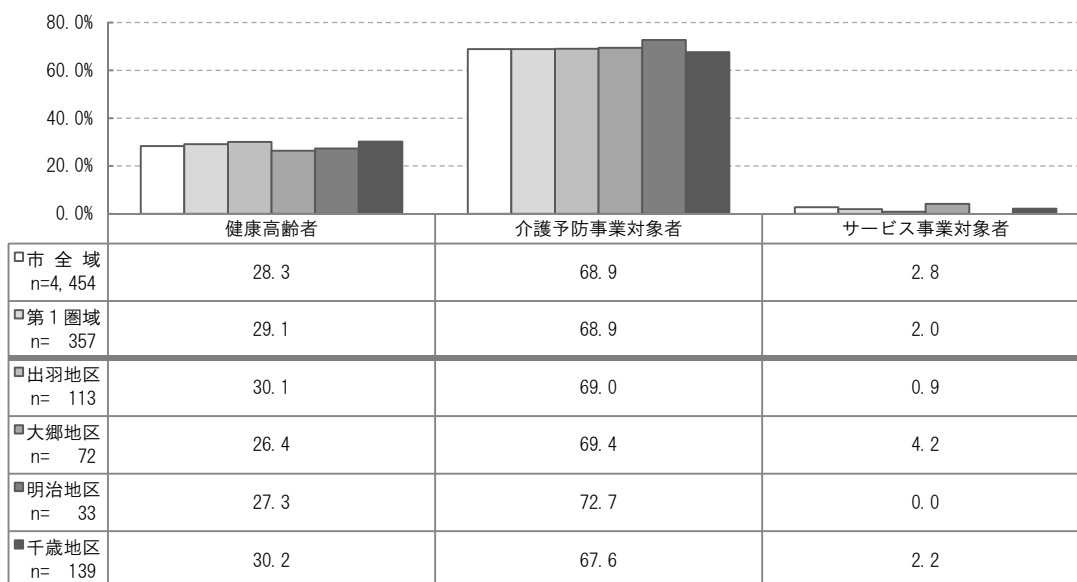
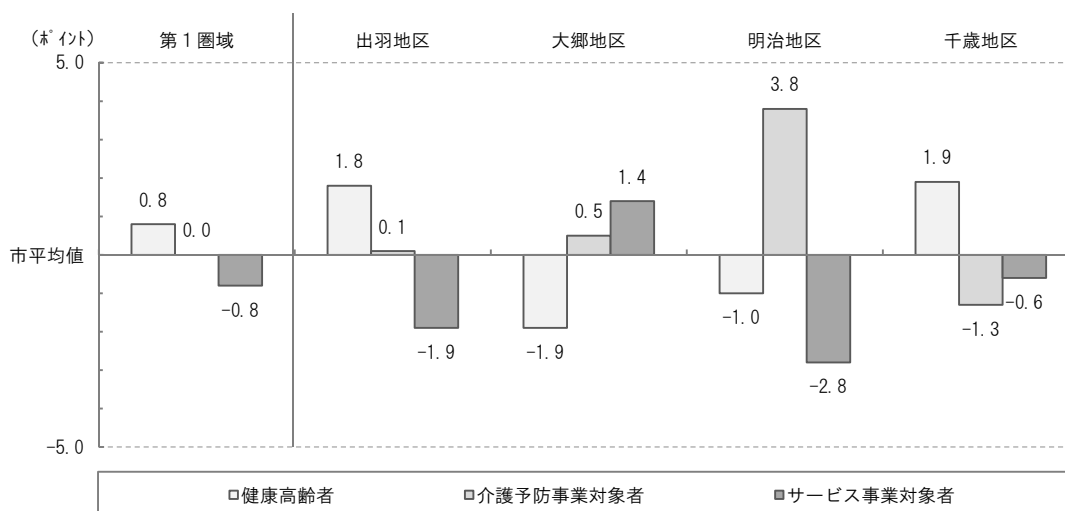


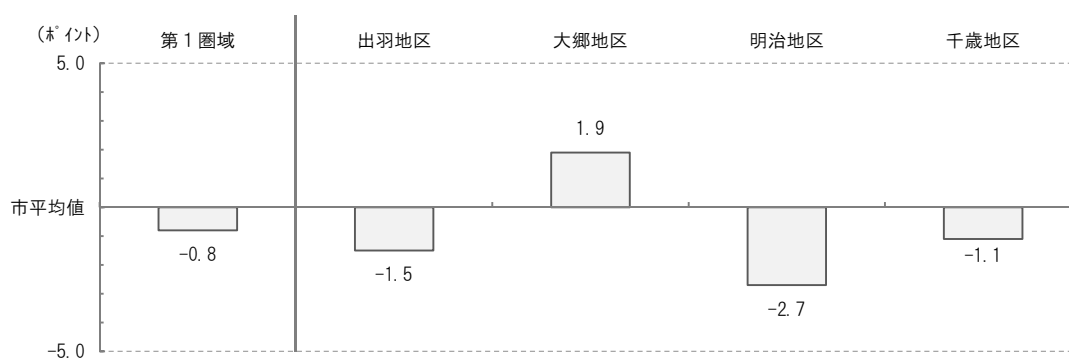
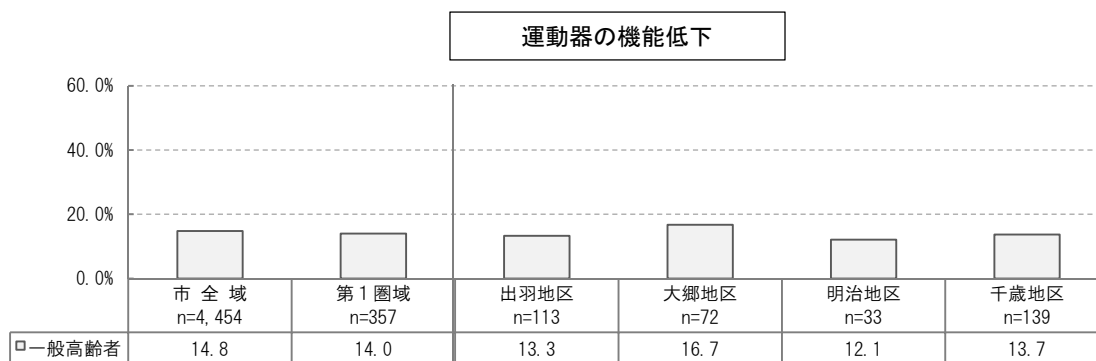
図 2-1.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



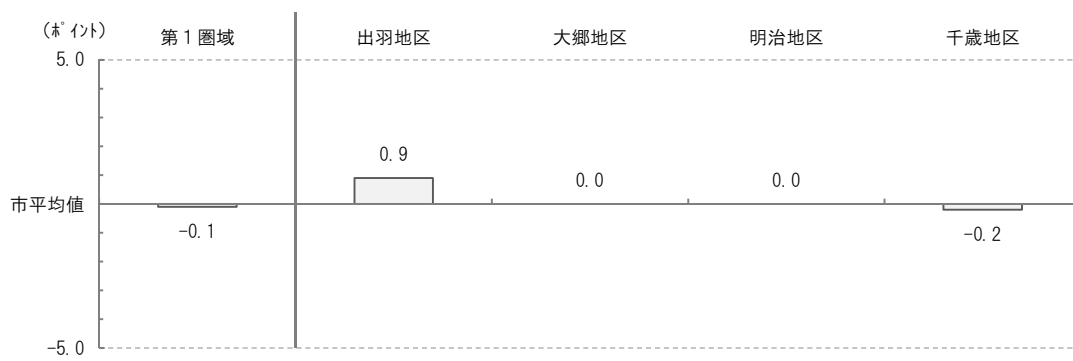
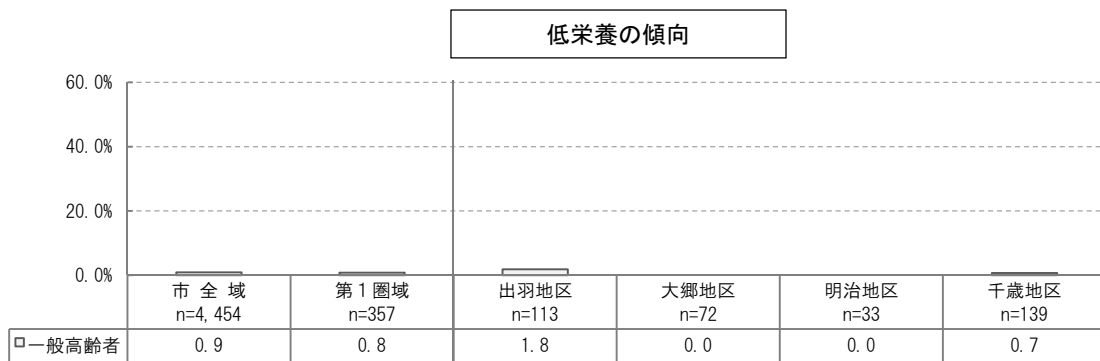
3 リスク別該当者の予測

○〈第1圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈大郷地区〉4.6ポイントが最も高くなっています。

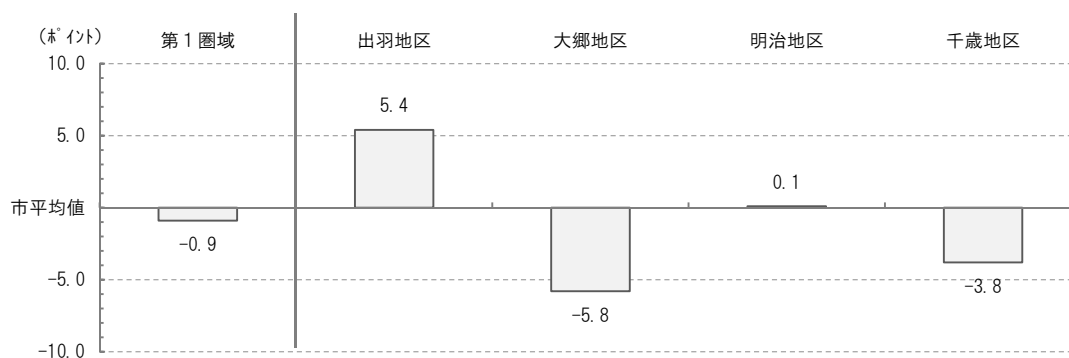
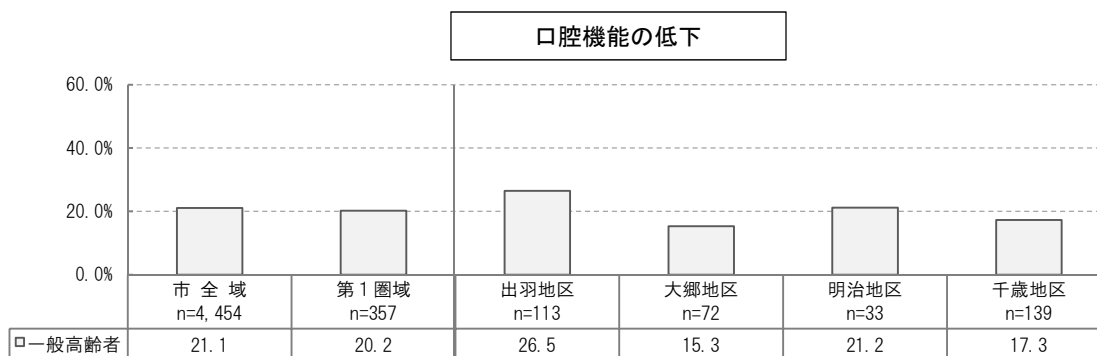
図 2-1.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



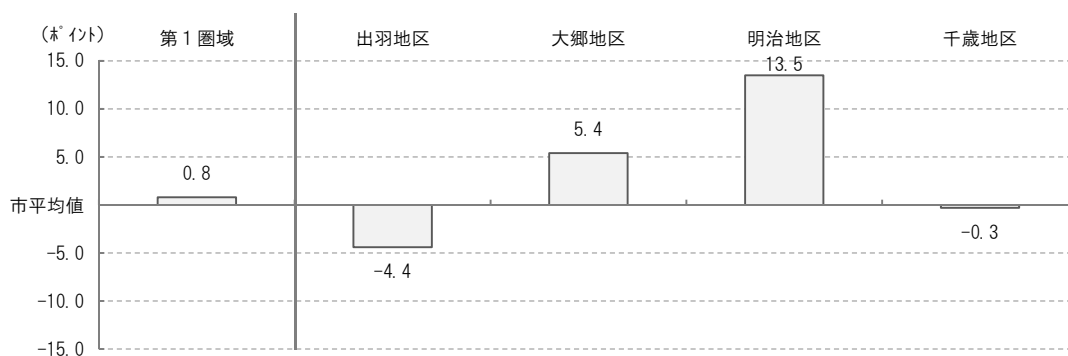
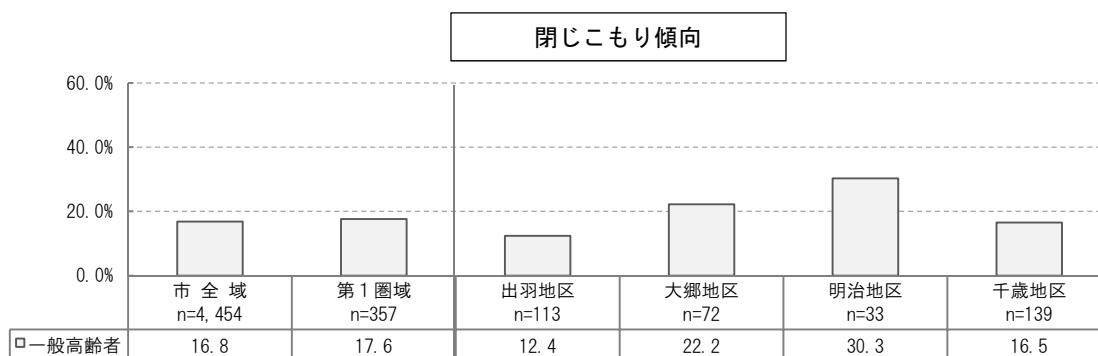
○〈第1圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈出羽地区〉の1.8^{ポイント}が最も高くなっています。



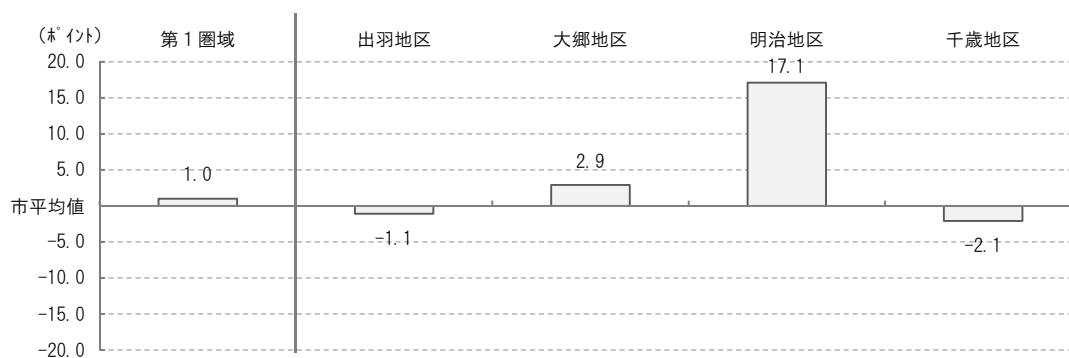
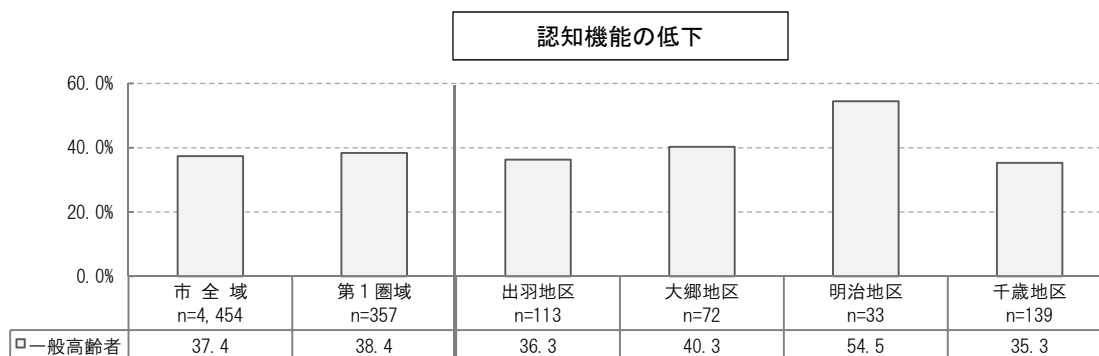
○〈第1圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈出羽地区〉で市平均値より5.4ポイント、〈明治地区〉で0.1ポイント高く、各地区の出現率は15.3～26.5%で、地区差の最大値は11.2ポイントとなっています。



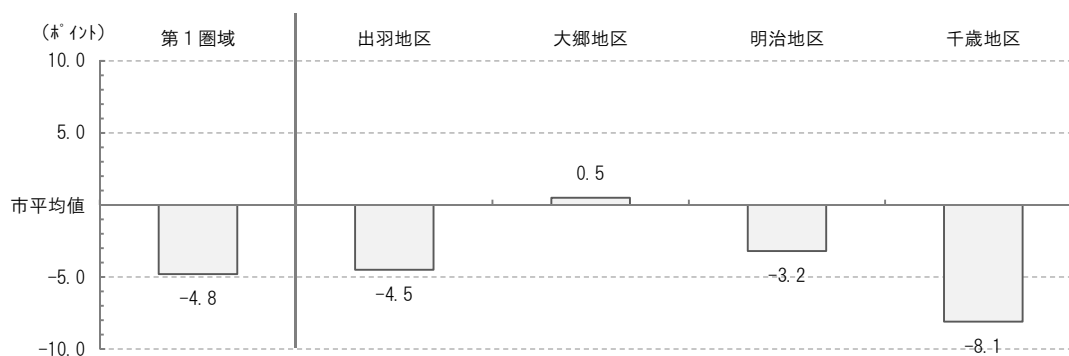
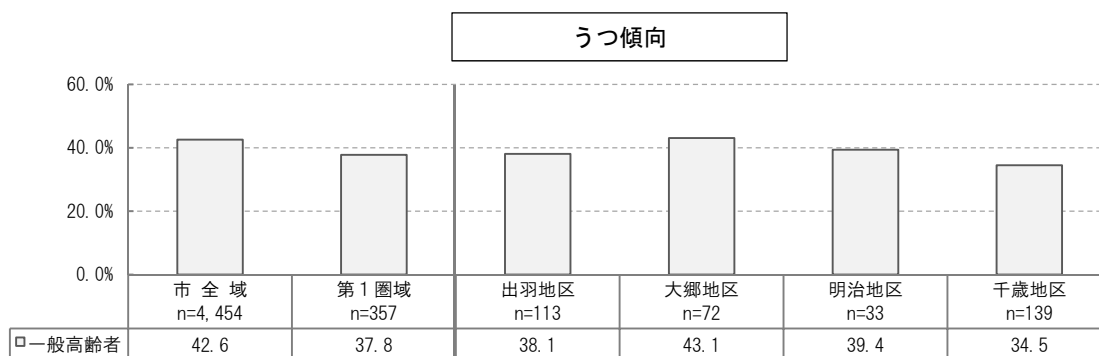
○〈第1圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈明治地区〉で市平均値より13.5ポイント、〈大郷地区〉で5.4ポイント高く、各地区の出現率は12.4～30.3%で、地区差の最大値は17.9ポイントとなっています。



○〈第1圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈明治地区〉で市平均値より17.1ポイント、〈大郷地区〉で2.9ポイント高く、各地区の出現率は35.3～54.5%で、地区差の最大値は19.2ポイントとなっています。



○〈第1圏域〉の「うつ傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈大郷地区〉で市平均値より0.5ポイント高く、各地区の出現率は34.5～43.1%で、地区差の最大値は8.6ポイントとなっています。

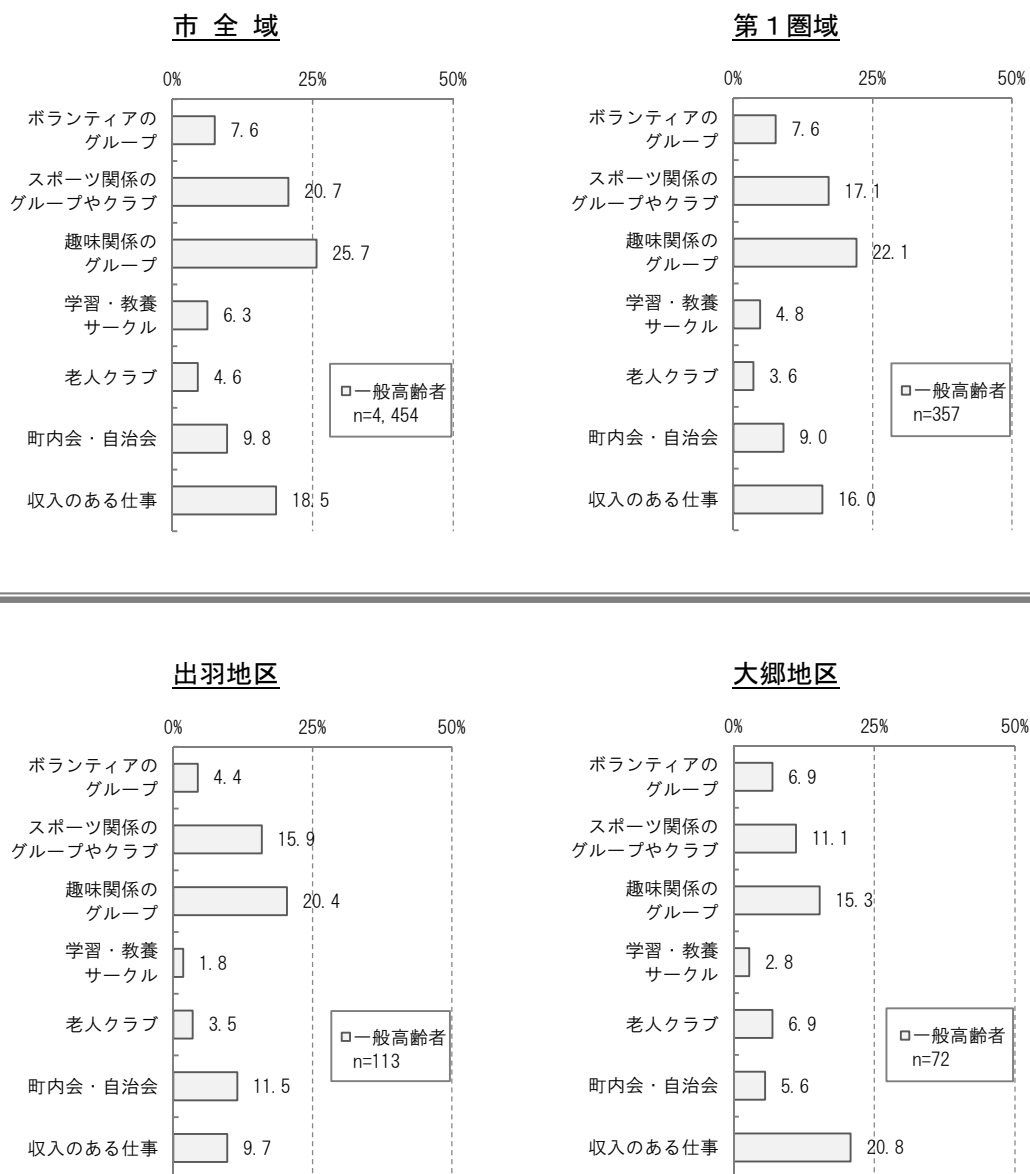


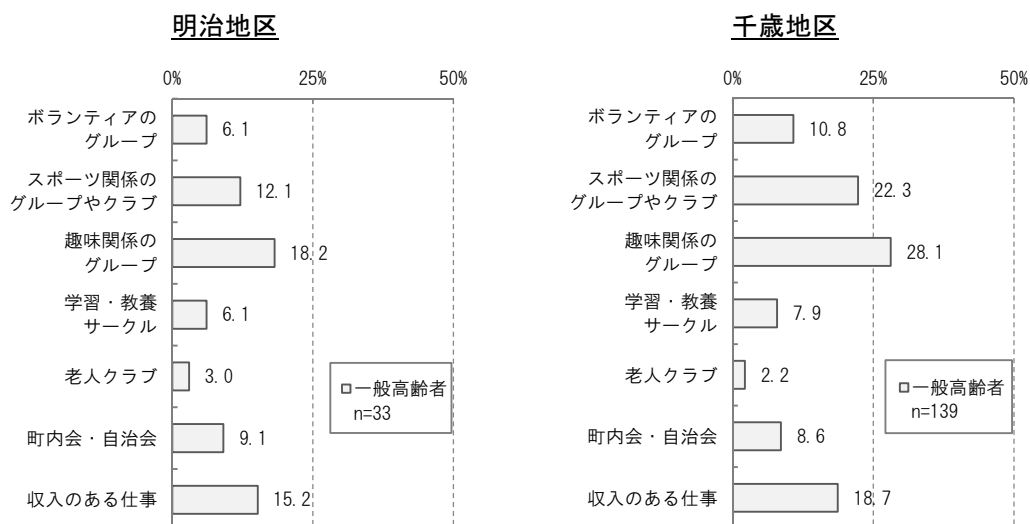
4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第1圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、〈出羽地区〉〈明治地区〉〈千歳地区〉で「趣味関係のグループ」、〈大郷地区〉で「収入のある仕事」が最も高くなっています。

図 2-1.8 地域活動への参加状況

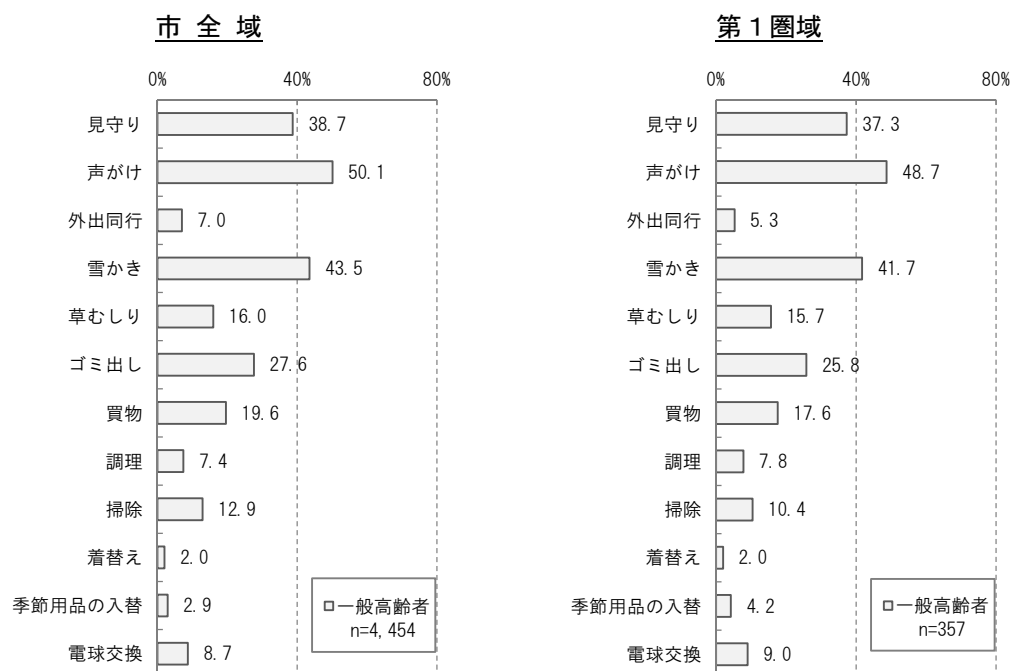




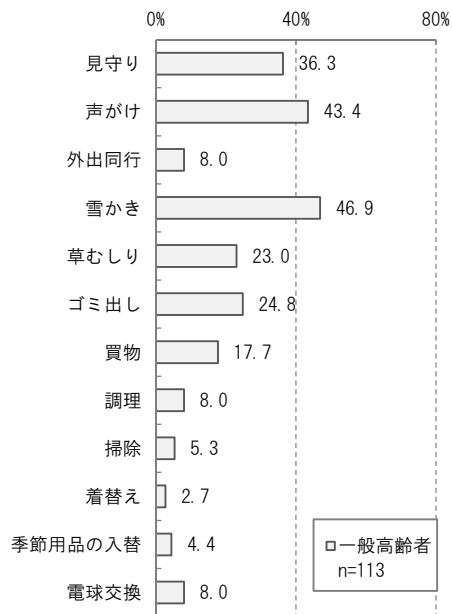
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第1圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、〈大郷地区〉〈明治地区〉〈千歳地区〉では「声かけ」が最も高くなっています。〈出羽地区〉では「雪かき」が最も高くなっています。

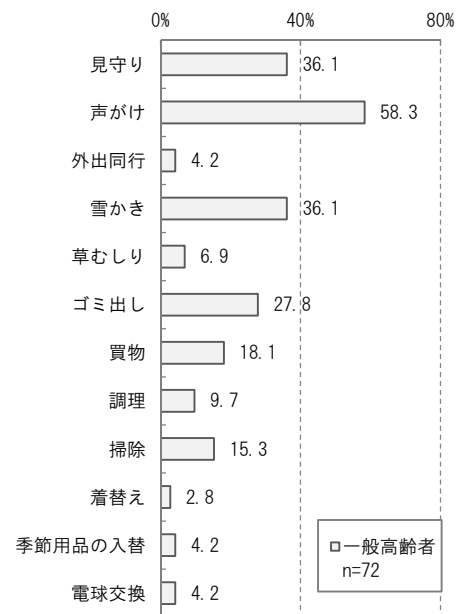
図 2-1.9 近隣住民をお願いしたい支援



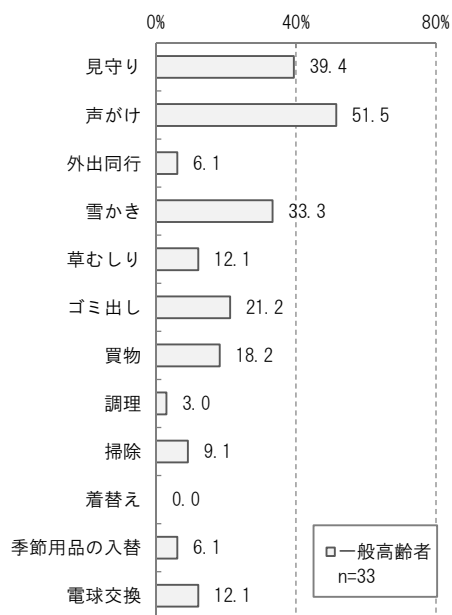
出羽地区



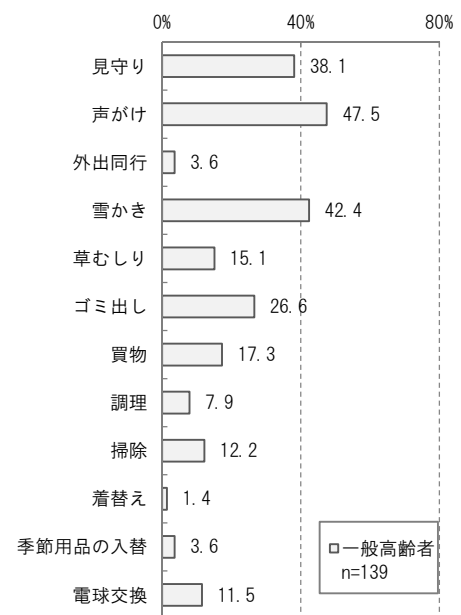
大郷地区



明治地区



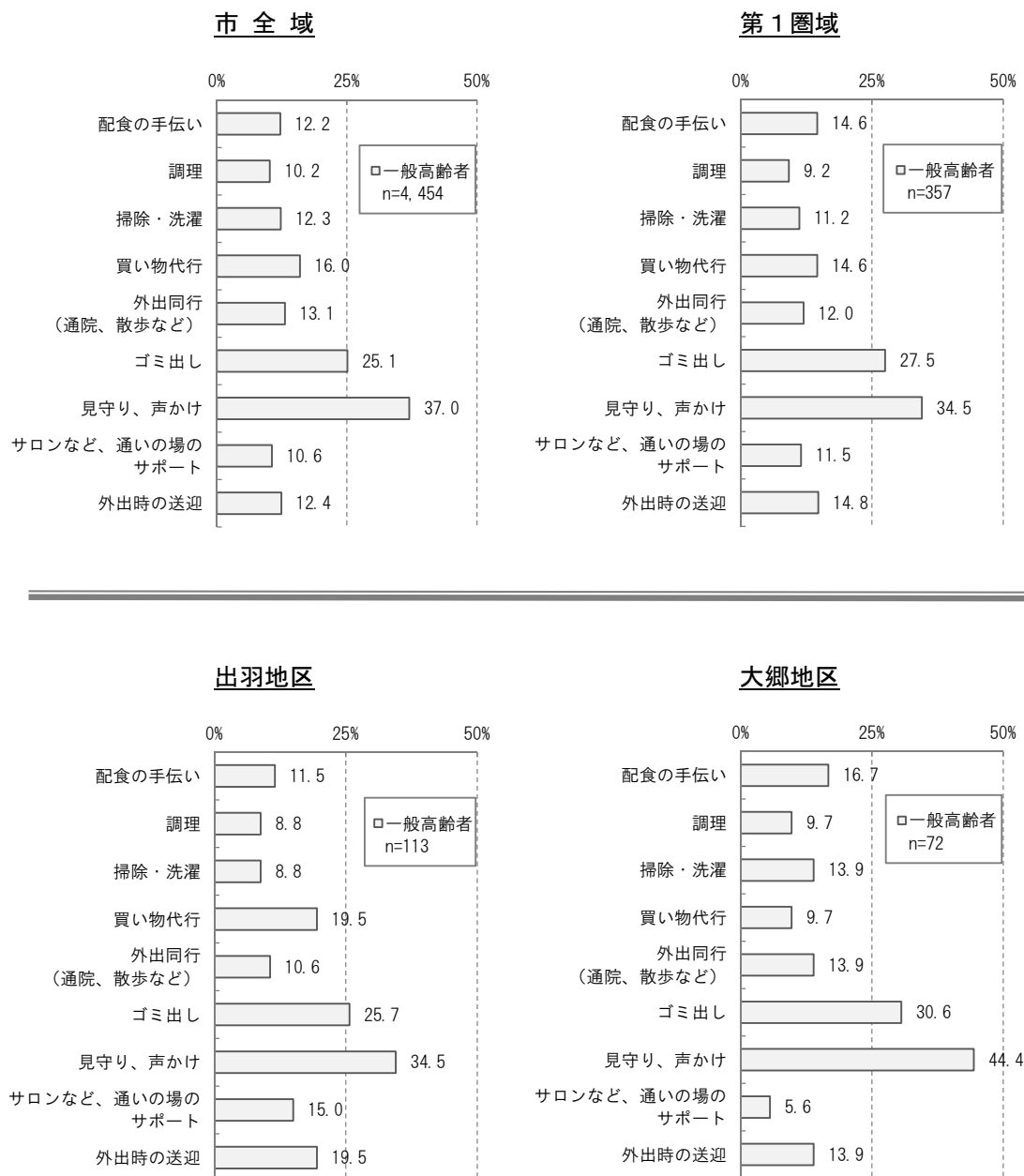
千歳地区

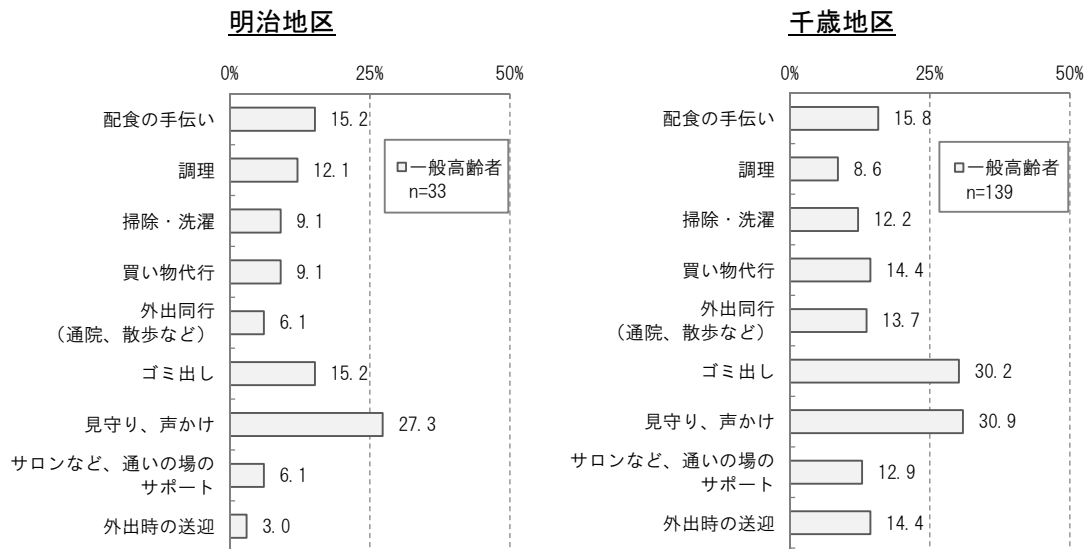


(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

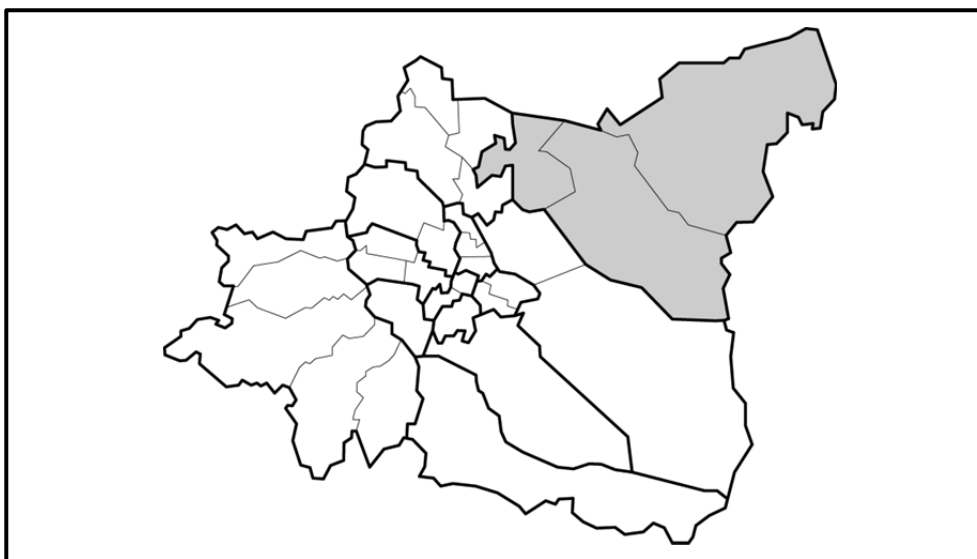
○〈第1圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで〈出羽地区〉〈大郷地区〉〈千歳地区〉では「ゴミ出し」、〈明治地区〉では「配食の手伝い」「ゴミ出し」となっています。

図 2-1.10 高齢者の地域支援意向





II 「第2圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第2圏域	9,857	3,642	36.9	1,683	1,959	53.8
楯山地区	4,937	1,742	35.3	843	899	51.6
高瀬地区	3,684	1,386	37.6	606	780	56.3
山寺地区	1,236	514	41.6	234	280	54.5

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第2圏域	3,014	134	494	17.2	265	7.3
楯山地区	1,509	58	175	13.4	83	4.8
高瀬地区	1,080	49	257	22.1	155	11.2
山寺地区	425	27	62	17.3	27	5.3

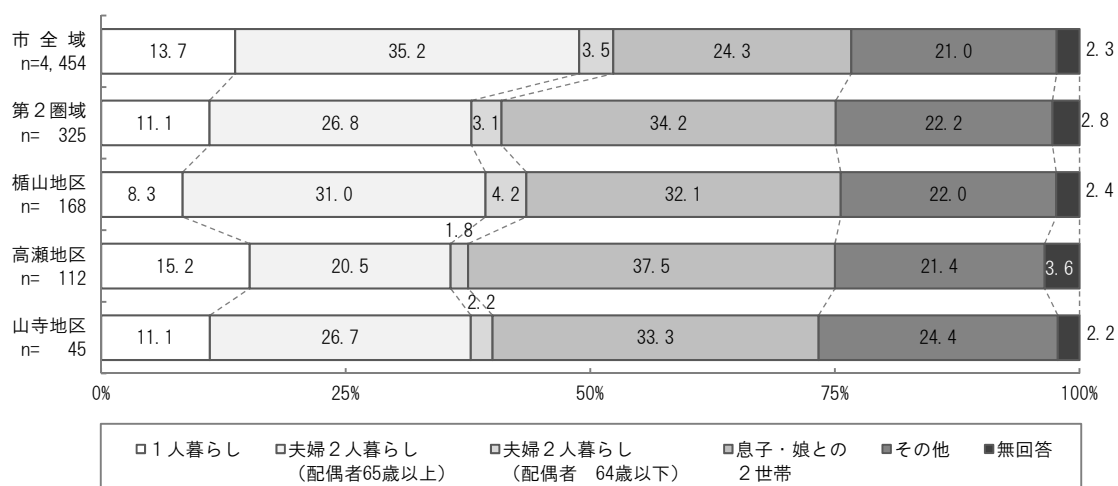
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	5カ所	3カ所	3カ所	1カ所	5カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
4カ所	1カ所	19カ所	2カ所	6カ所	4カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第2圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、全ての地区で「息子・娘との2世帯」(32.1~37.5%)が最も高くなっています。

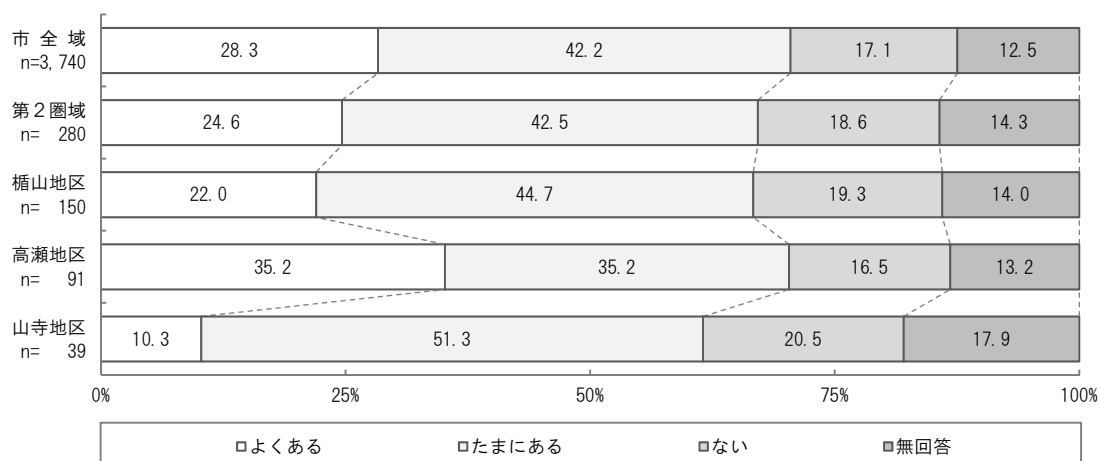
図 2-2.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第2圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈高瀬地区〉を除いた地区で「たまにある」(51.3~44.7%)、〈高瀬地区〉で「よくある」(各35.2%)が最も高くなっています。

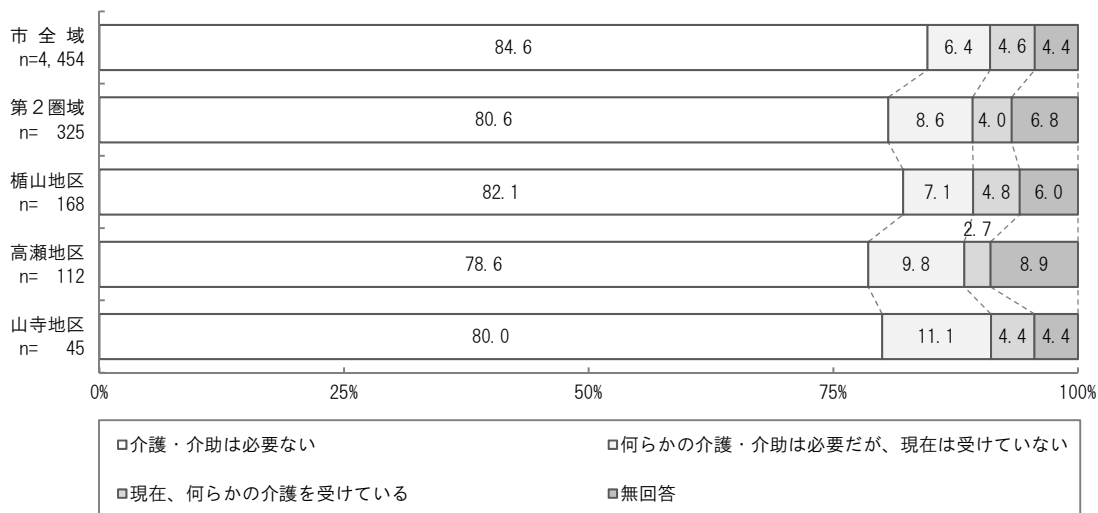
図 2-2.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第2圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、全ての地区で「介護・介助は必要ない」（78.6～82.1％）が最も高くなっています。

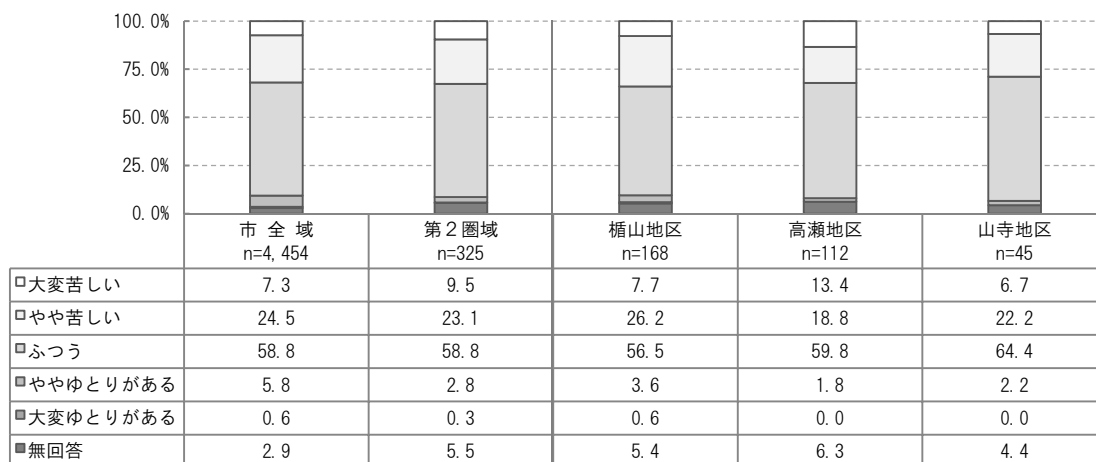
図 2-2.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第2圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、全ての地区で「ふつう」（56.5～64.4％）が最も高くなっています。〈第2圏域〉の「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた割合が6.4％となっている一方で、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた割合が31.8％と高くなっています。

図 2-2.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像” からみた地域分析

○〈第2圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、介護予防事業対象者では全ての地区で市平均値を上回っています。サービス事業対象者では〈楯山地区〉で市平均値を上回っています。健康高齢者は全ての地区で市平均値を下回っています。

図 2-2.5 3つの高齢者像別出現率

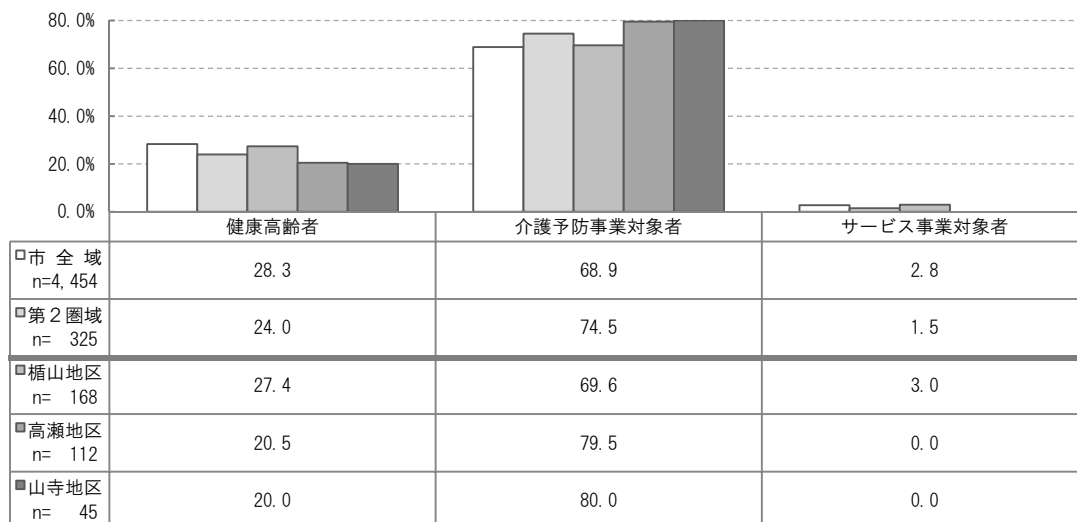
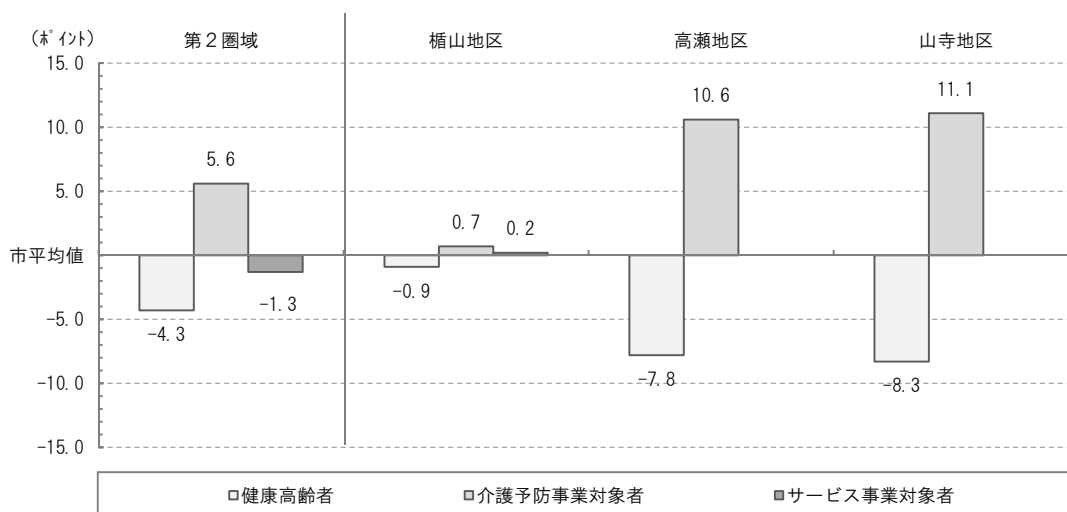


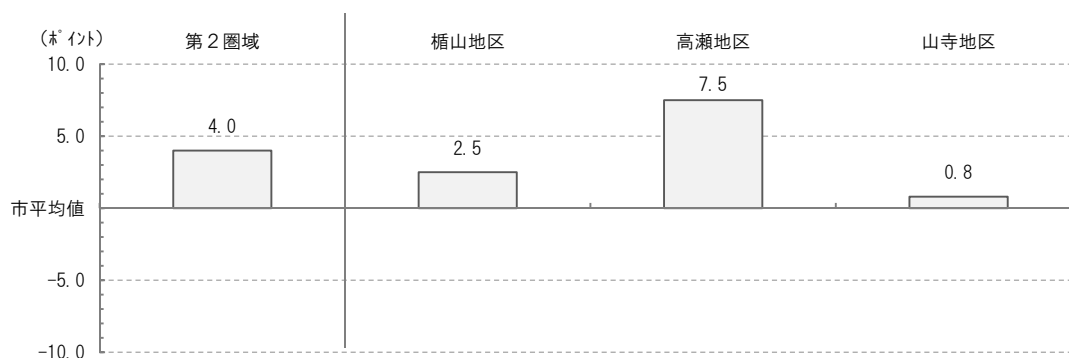
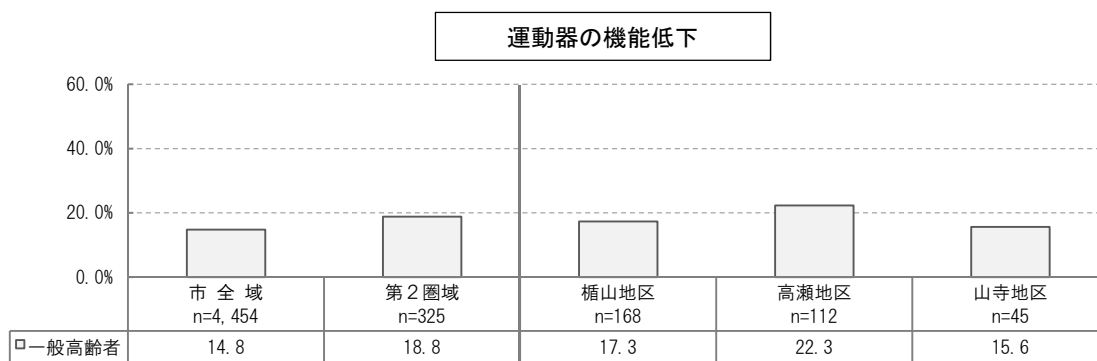
図 2-2.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



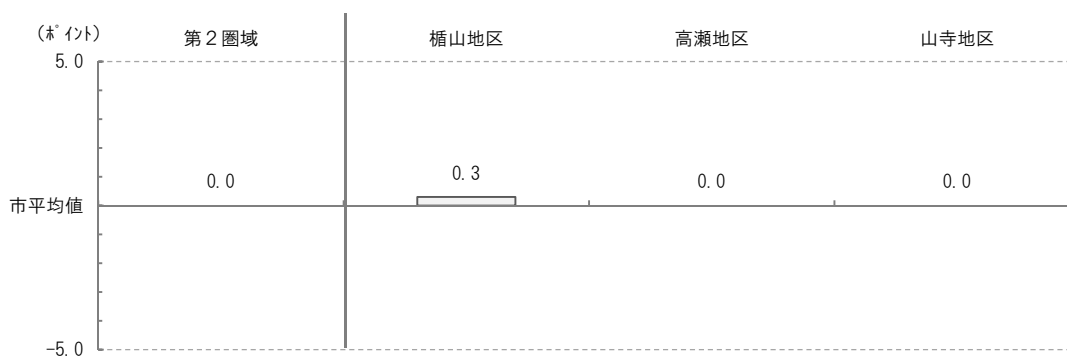
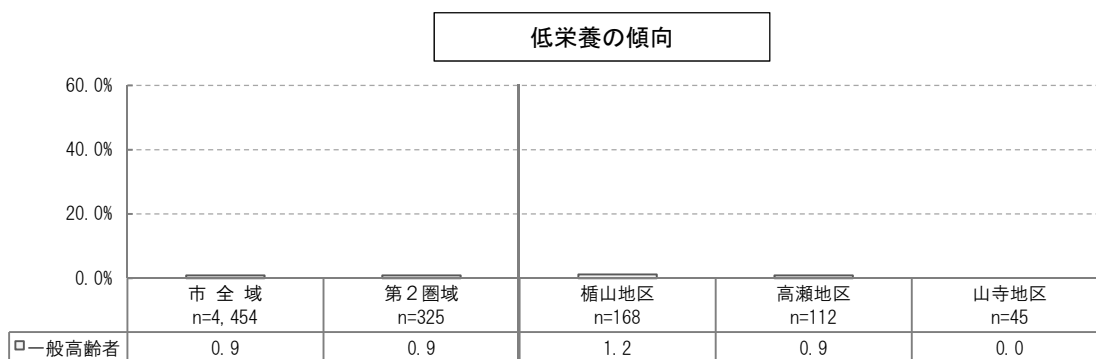
3 リスク別該当者の予測

○〈第2圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈高瀬地区〉で市平均値より7.5ポイント、〈楯山地区〉では2.5ポイント、〈山寺地区〉では0.8ポイント高く、各地区の出現率は15.6~22.3%で、地区差の最大値は6.7ポイントとなっています。

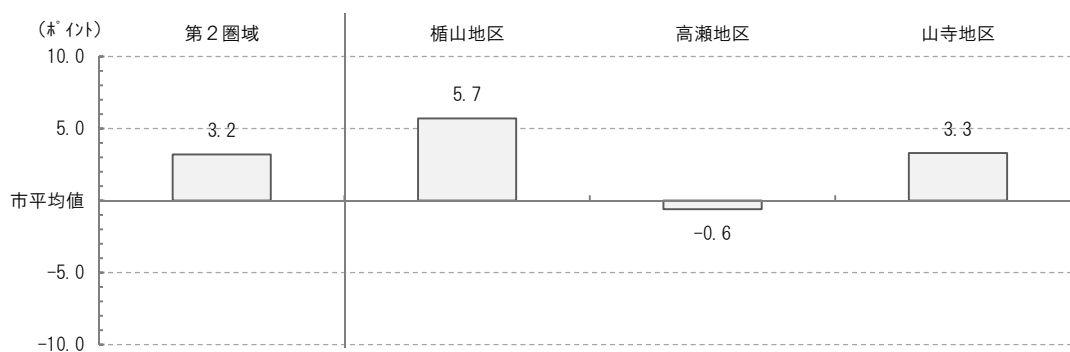
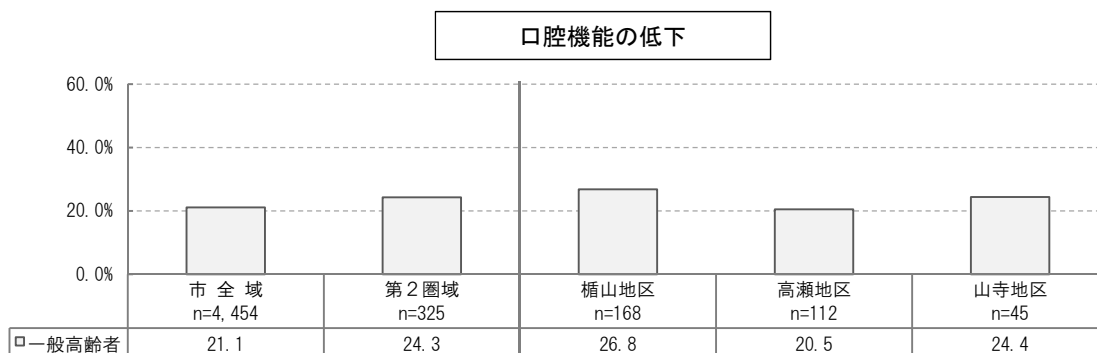
図 2-2.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



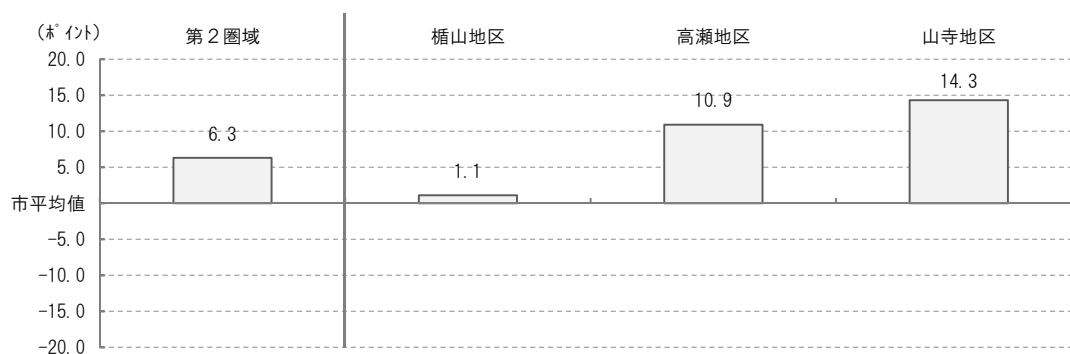
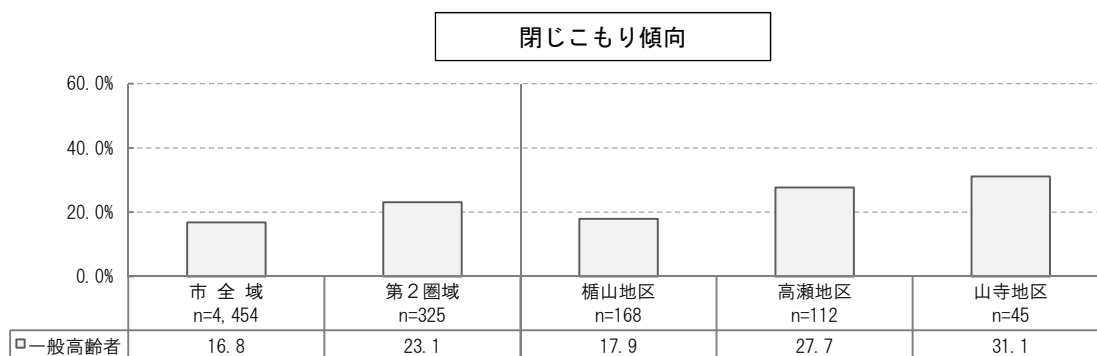
○〈第2圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈楯山地区〉で市平均値より0.3ポイント高く、各地区の出現率は0.0～1.2%で、地区差の最大値は1.2ポイントとなっています。



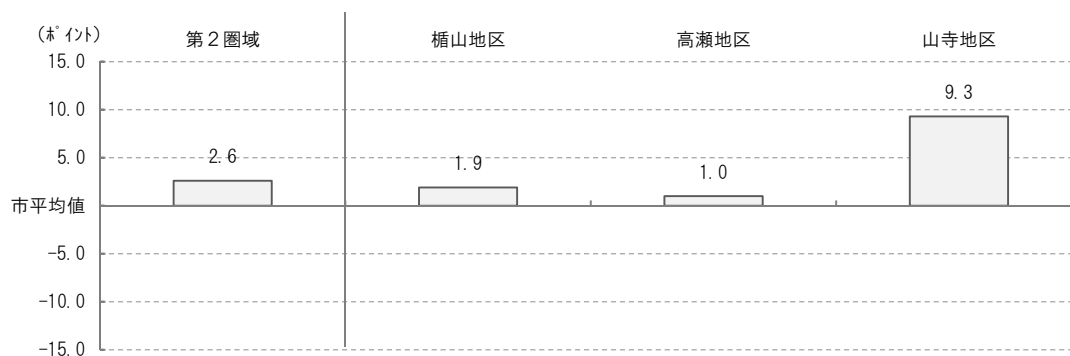
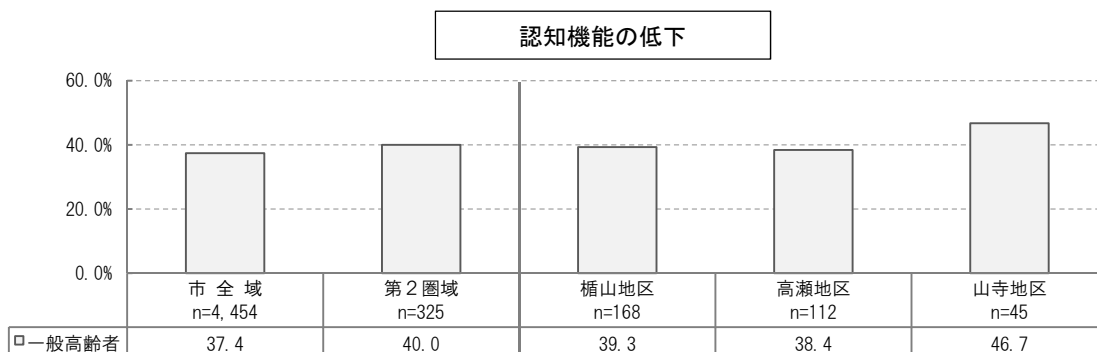
○ 〈第2圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈楯山地区〉で市平均値より5.7ポイント高く、〈山寺地区〉で3.3ポイント高く、各地区の出現率は20.5～26.8%で、地区差の最大値は6.3ポイントとなっています。



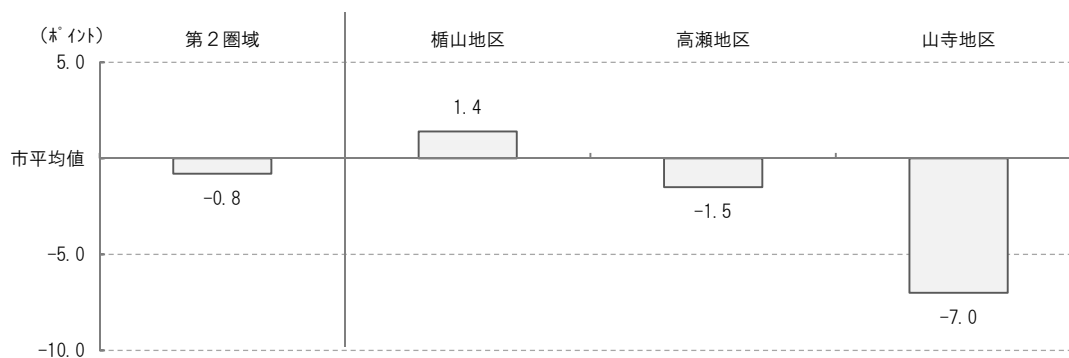
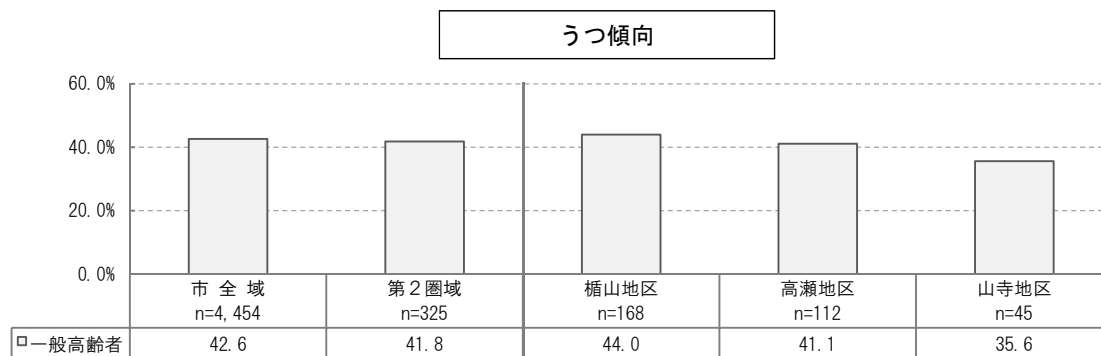
○ 〈第2圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈山寺地区〉で市平均値より14.3ポイント、〈高瀬地区〉で10.9ポイント、〈楯山地区〉で1.1ポイント高く、各地区の出現率は17.9～31.1%で、地区差の最大値は13.2ポイントとなっています。



○〈第2圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈山寺地区〉で市平均値より9.3ポイント、〈高瀬地区〉で1.0ポイント、〈楯山地区〉で1.9ポイント、〈高瀬地区〉で1.0ポイント高く、各地区の出現率は38.4～46.7%で、地区差の最大値は8.3ポイントとなっています。



○ 〈第2圏域〉の「うつ傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈楯山地区〉で市平均値より1.4ポイント高く、〈山寺地区〉で市平均値より7.0ポイント、〈高瀬地区〉で1.5ポイント低くなっています。各地区の出現率は35.6～44.0%で、地区差の最大値は8.4ポイントとなっています。

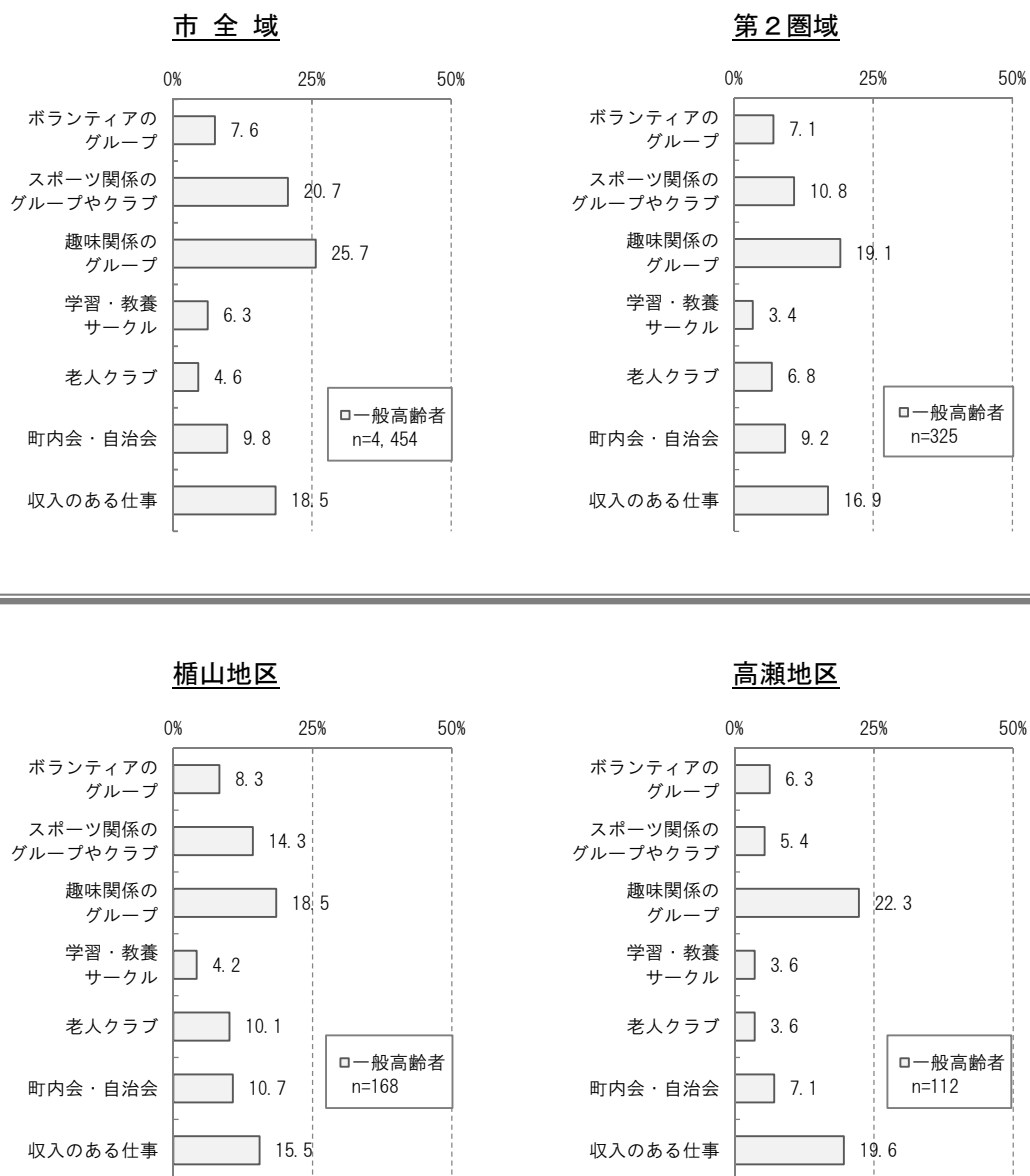


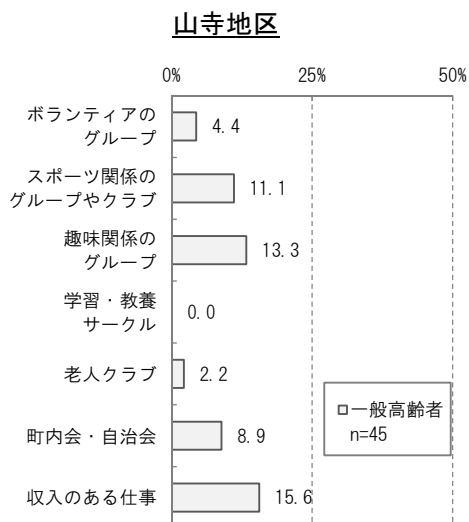
4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第2圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、〈楯山地区〉〈高瀬地区〉で「趣味関係のグループ」、〈山寺地区〉で「収入のある仕事」が最も高くなっています。

図 2-2.8 地域活動への参加状況

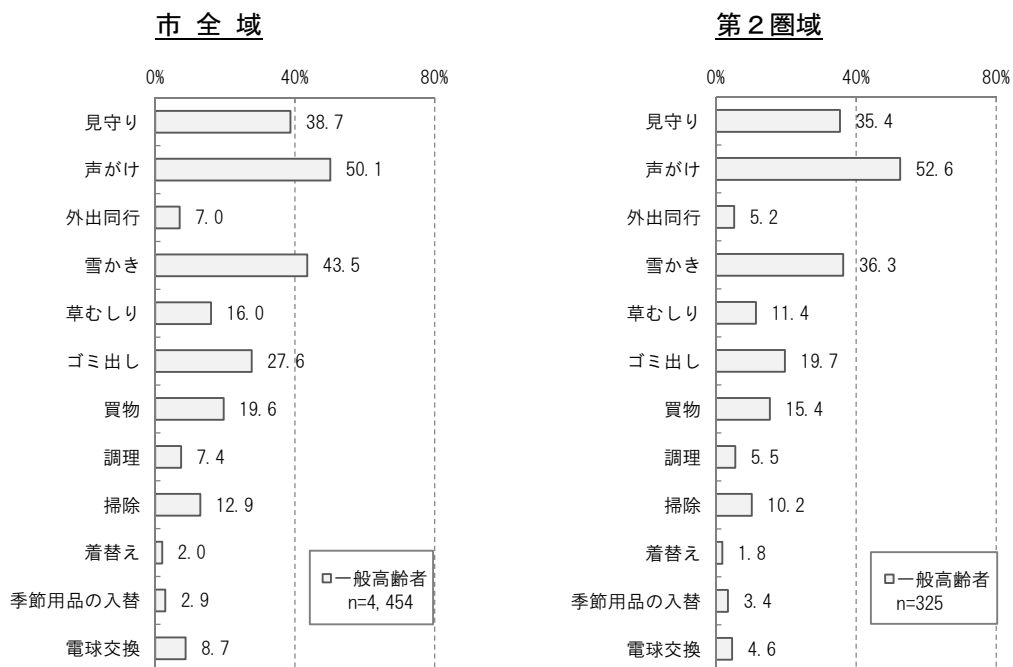




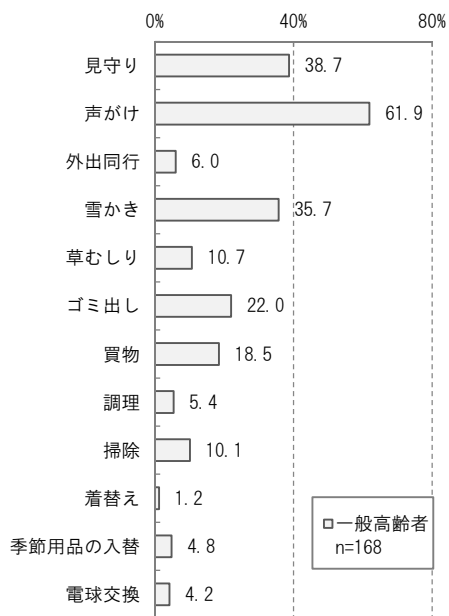
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第2圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、全ての地区で「声かけ」が最も高く、次いで〈楯山地区〉〈山寺地区〉で「見守り」、〈高瀬地区〉で「雪かき」となっています。

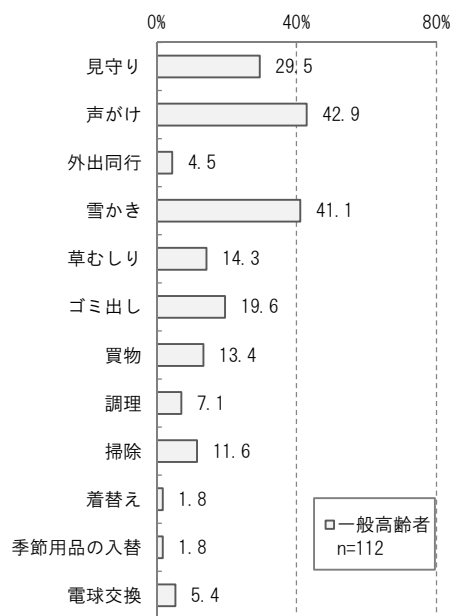
図 2-2.9 近隣住民をお願いしたい支援



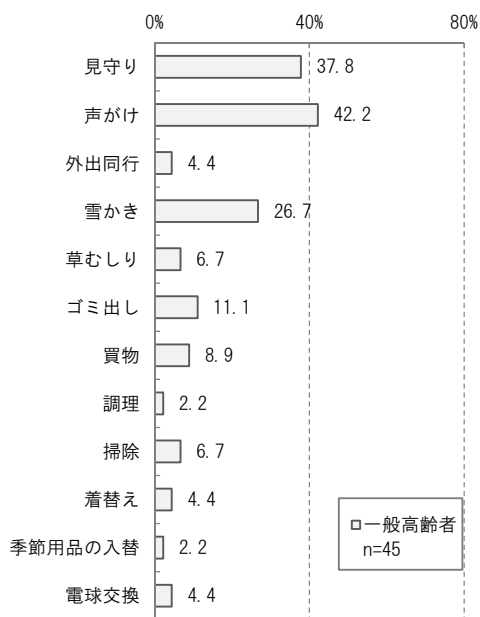
楯山地区



高瀬地区



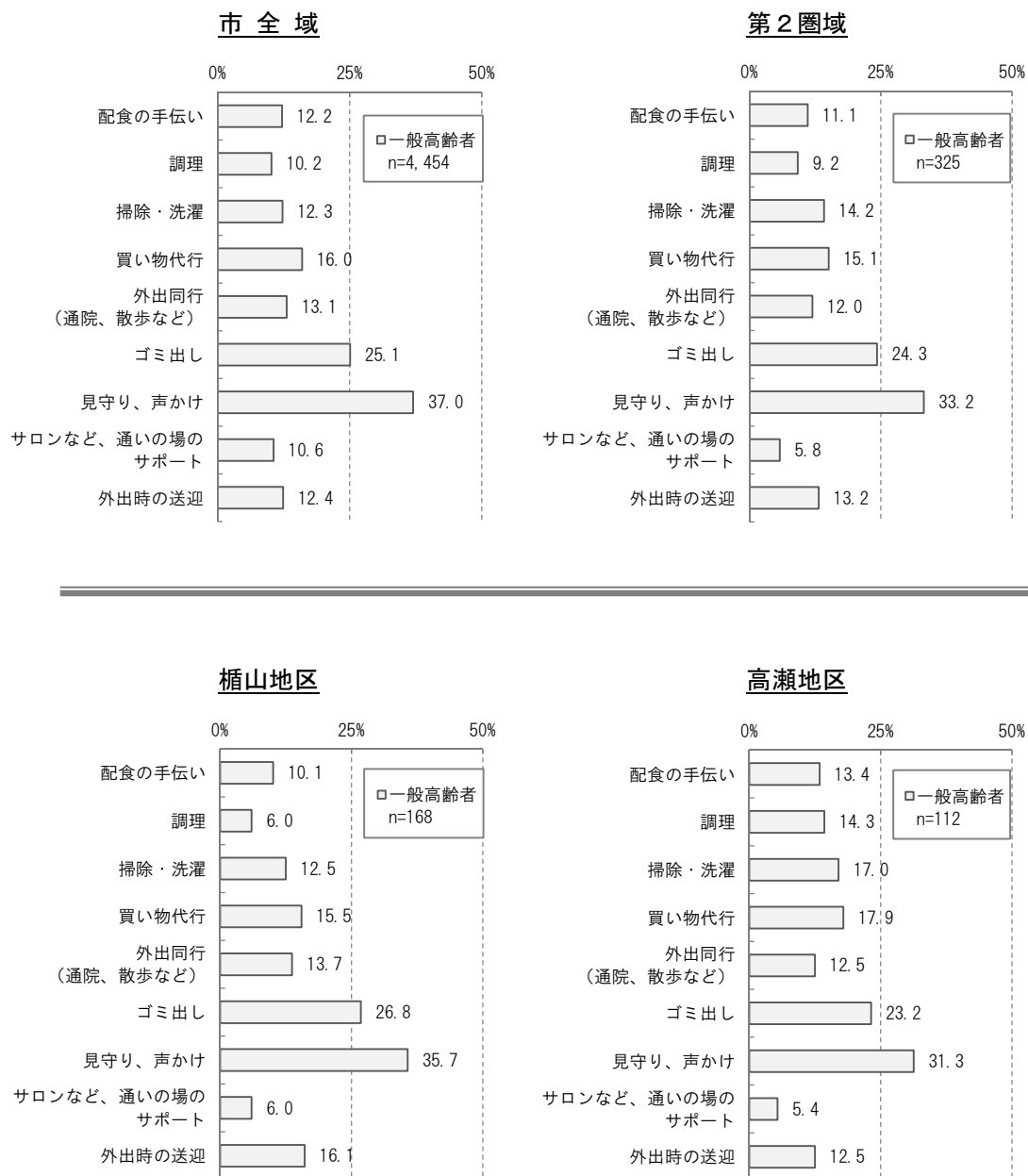
山寺地区



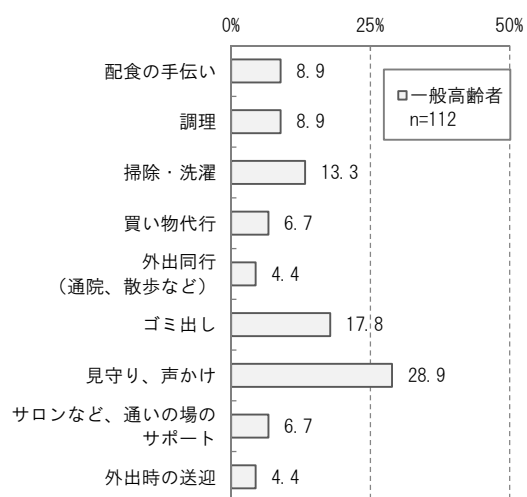
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第2圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」の順となっています。

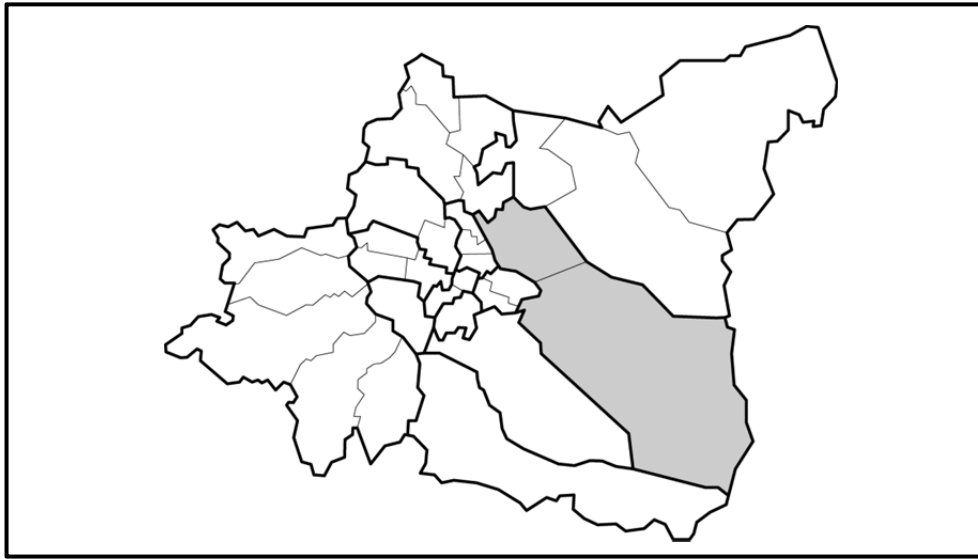
図 2-2. 10 高齢者の地域支援意向



山寺地区



Ⅲ 「第3圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第3圏域	23,947	6,867	28.7	3,365	3,502	51.0
東沢地区	4,875	1,530	31.4	754	776	50.7
鈴川地区	19,072	5,337	28.0	2,611	2,726	51.1

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第3圏域	5,793	277	797	15.6	340	5.0
東沢地区	1,239	56	235	19.0	130	8.5
鈴川地区	4,554	221	562	14.7	210	3.9

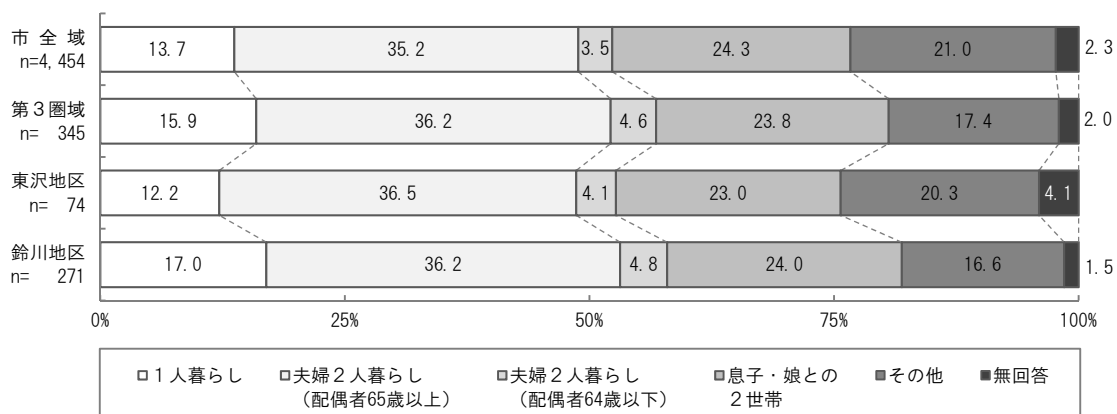
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	13カ所	3カ所	11カ所	10カ所	9カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
2カ所	1カ所	28カ所	1カ所	11カ所	14カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第3圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（36.5%・36.2%）が最も高くなっています。

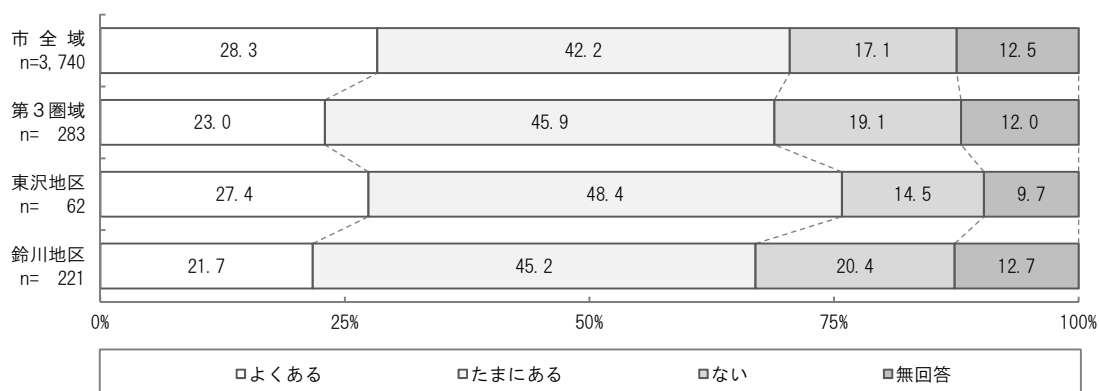
図 2-3.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第3圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに「たまにある」（48.4%・45.2%）が最も高くなっています。

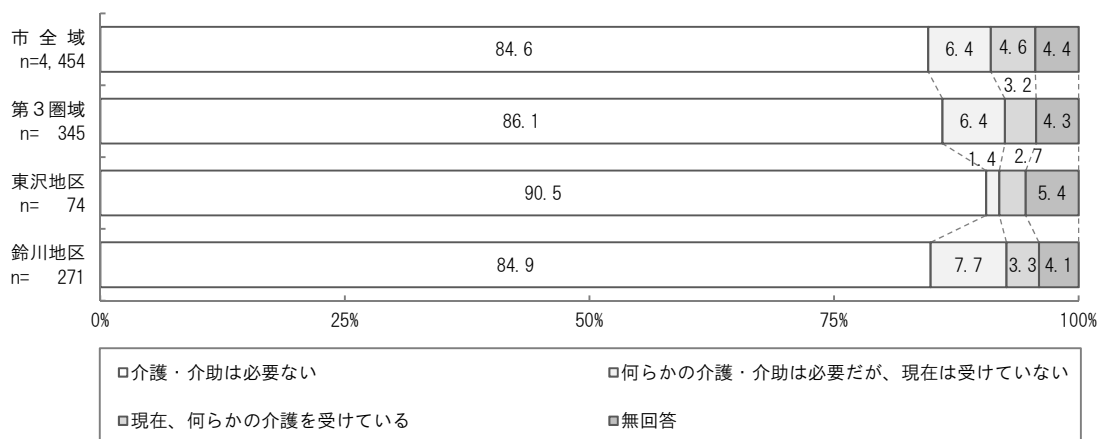
図 2-3.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第3圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況をみると、〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに「介護・介助は必要ない」（90.5%・84.9%）が最も高くなっています。

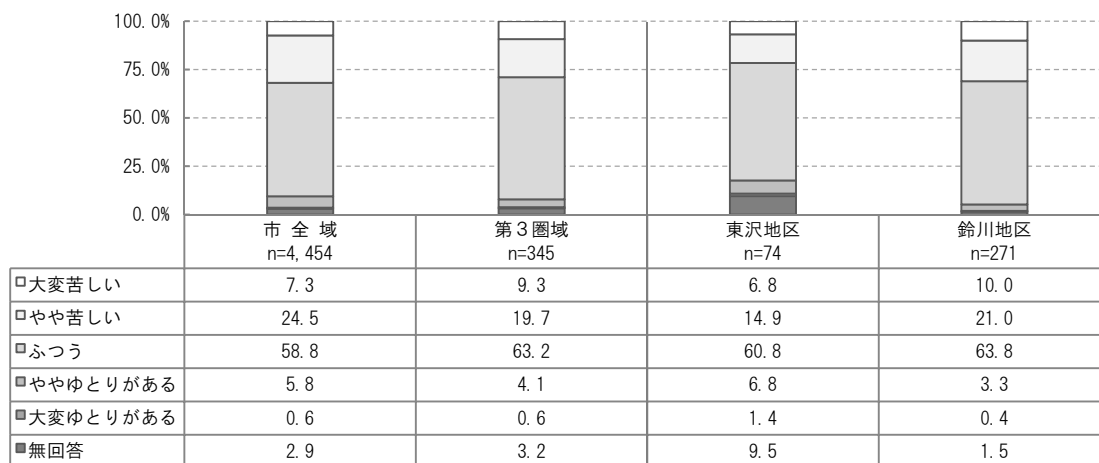
図 2-3.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第3圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況をみると、〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに「ふつう」（60.8%・63.8%）が最も高くなっています。

図 2-3.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

- 〈第3圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、健康高齢者では〈東沢地区〉〈鈴川地区〉で市平均値を上回っています。介護予防事業対象者・サービス事業対象者では〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに市平均値を下回っています。

図 2-3.5 3つの高齢者像別出現率

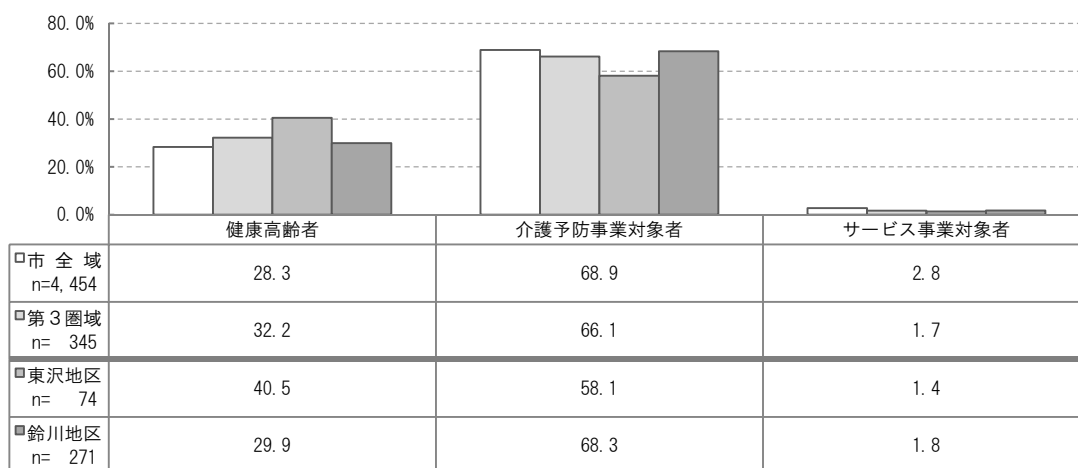
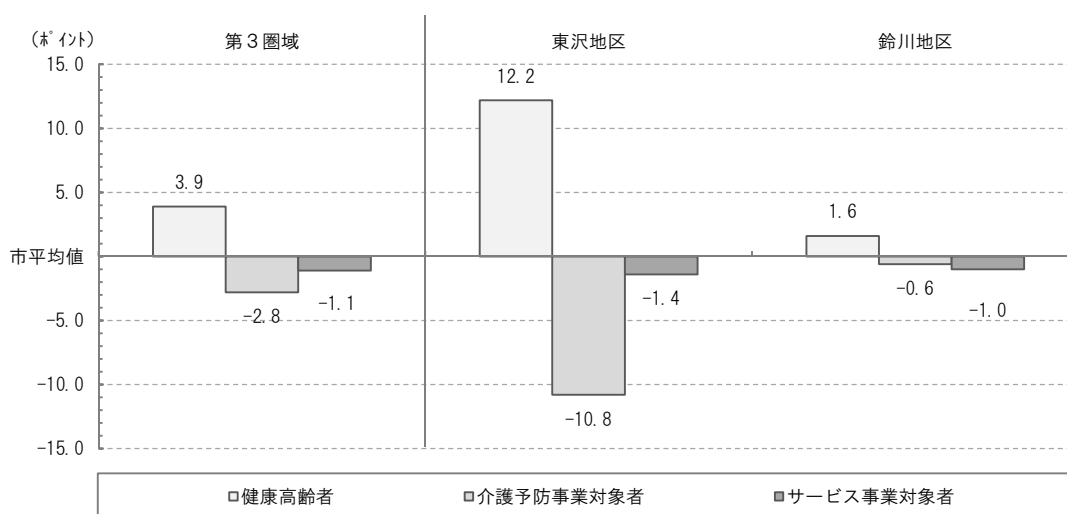


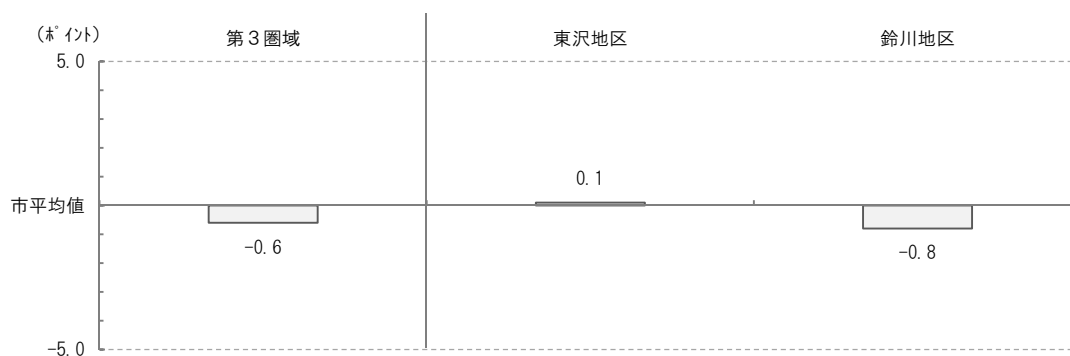
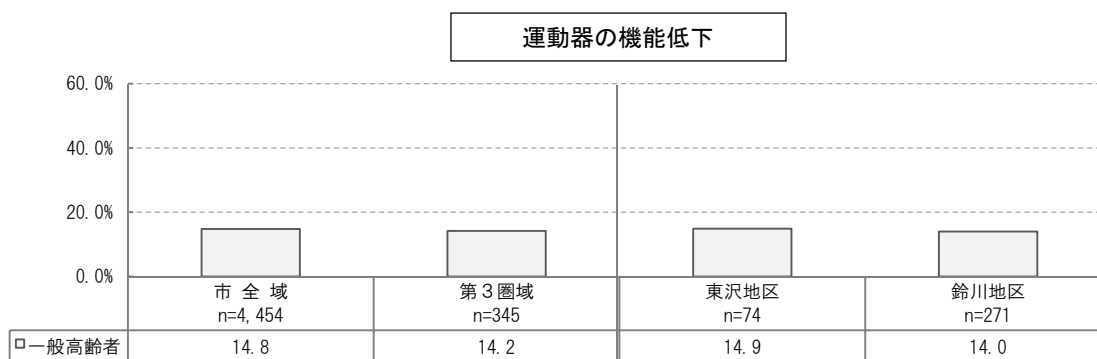
図 2-3.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



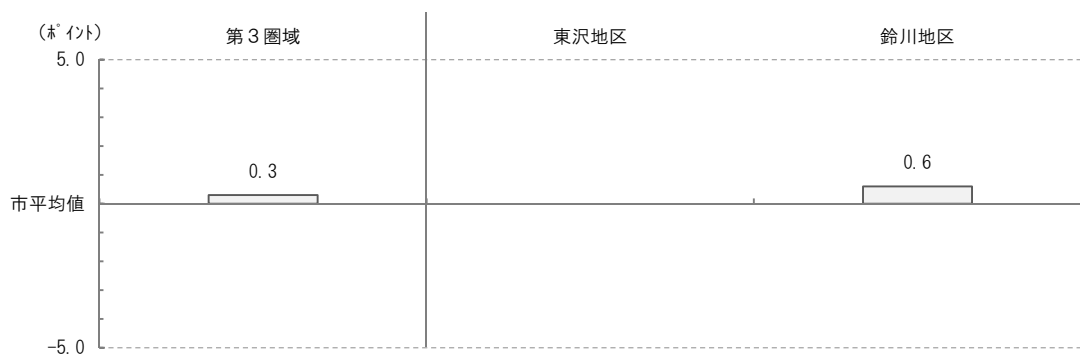
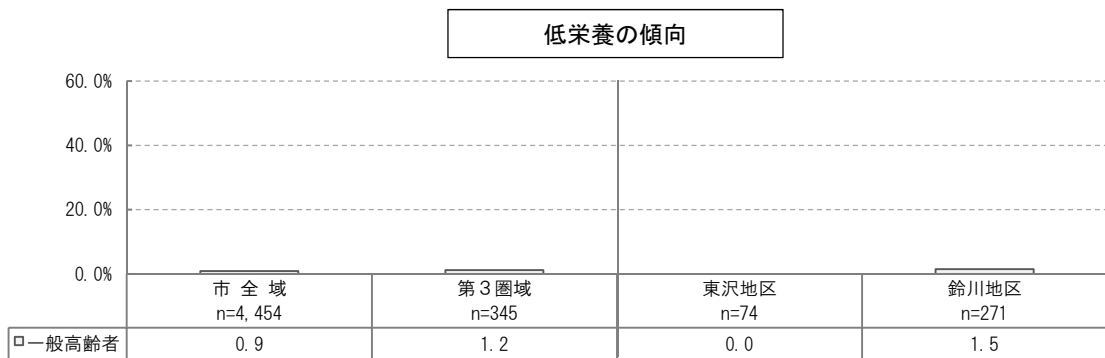
3 リスク別該当者の予測

○〈第3圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈東沢地区〉で市平均値より0.1ポイント高く、各地区の出現率（14.0・14.9％）の差は0.9ポイントとなっています。

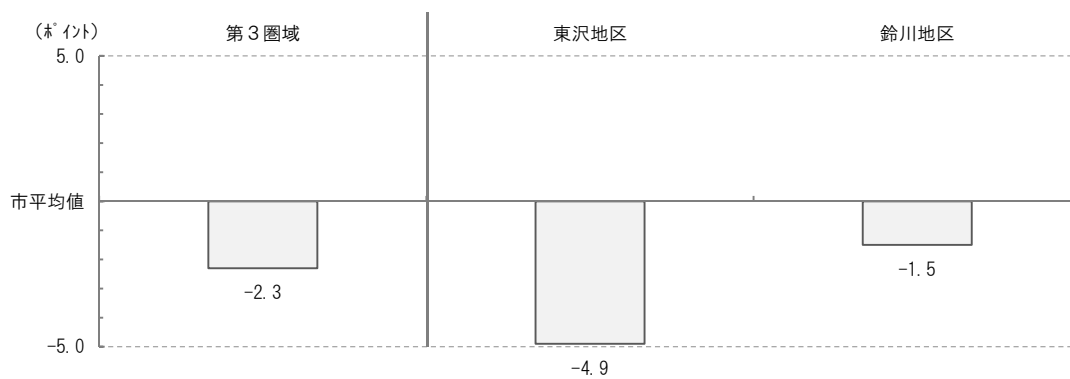
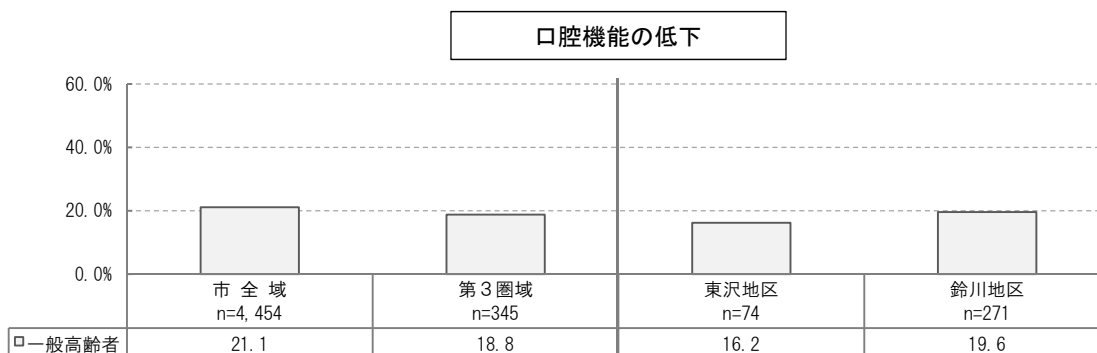
図 2-3.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



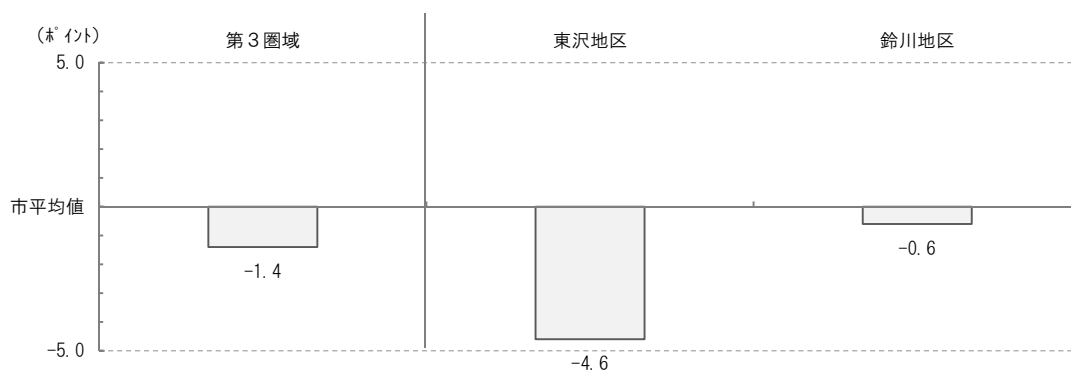
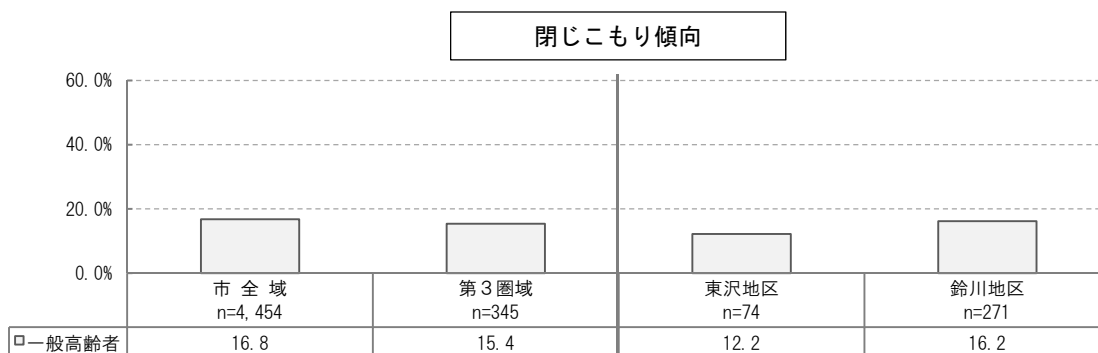
○〈第3圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈鈴川地区〉で市平均値より0.6ポイント高くなっています。



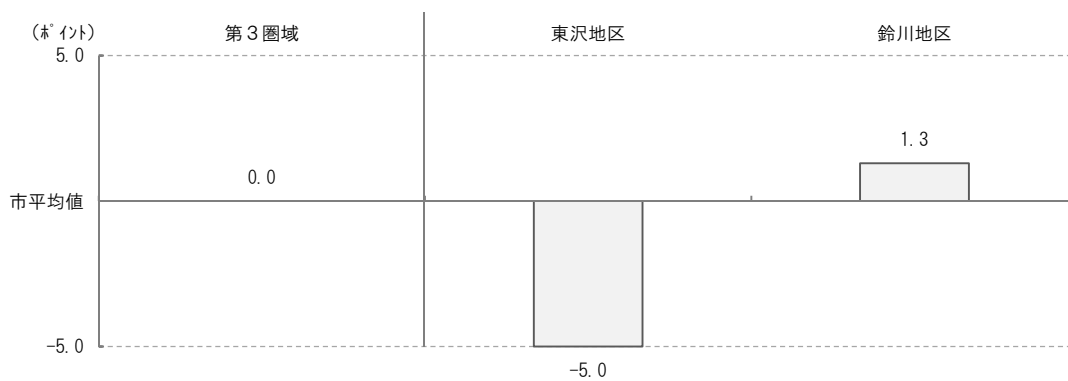
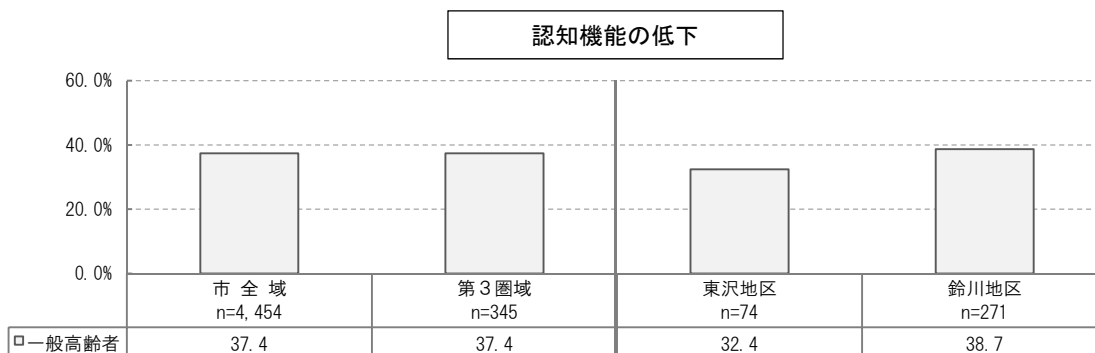
○ 〈第3圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、市平均値を上回る地区はなく、各地区の出現率（16.2・19.6%）の差は3.4^{ポイント}となっています。



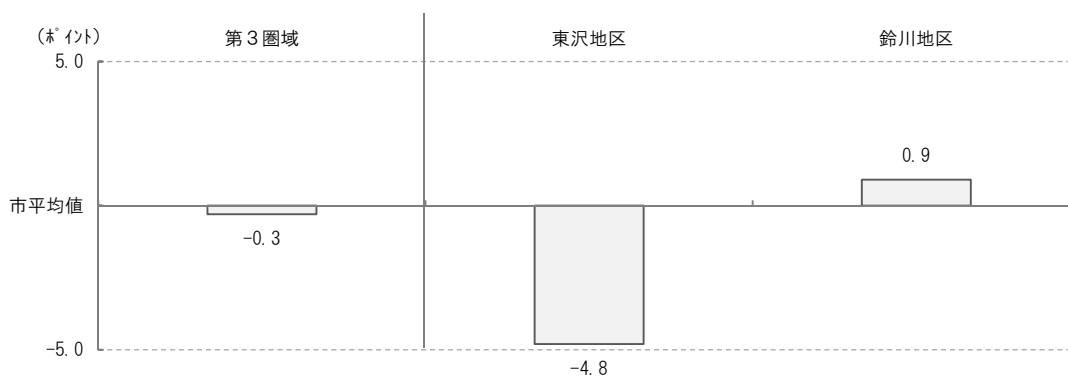
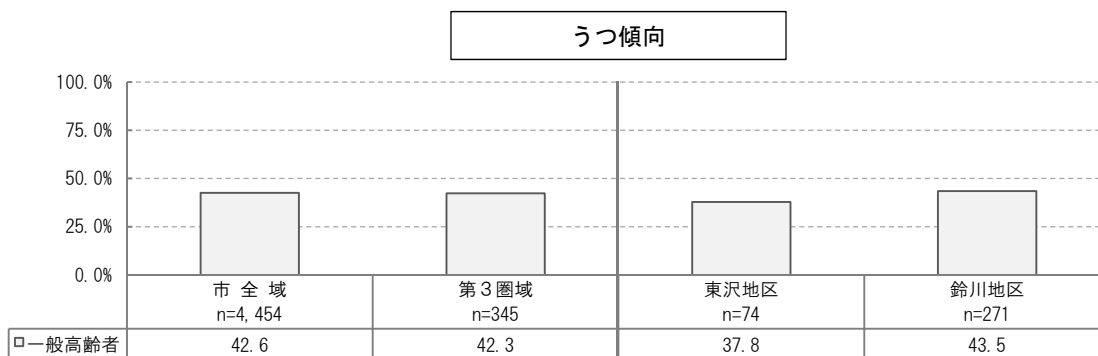
○ 〈第3圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、市平均値を上回る地区はなく、各地区の出現率（12.2・16.2%）の差は4.0^{ポイント}となっています。



○ 〈第3圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈鈴川地区〉で市平均値より1.3ポイント高く、各地区の出現率（32.4・38.7%）の差は6.3ポイントとなっています。



○ 〈第3圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈鈴川地区〉で市平均値より0.9ポイント高く、各地区の出現率（37.8・43.5%）の差は5.7ポイントとなっています。

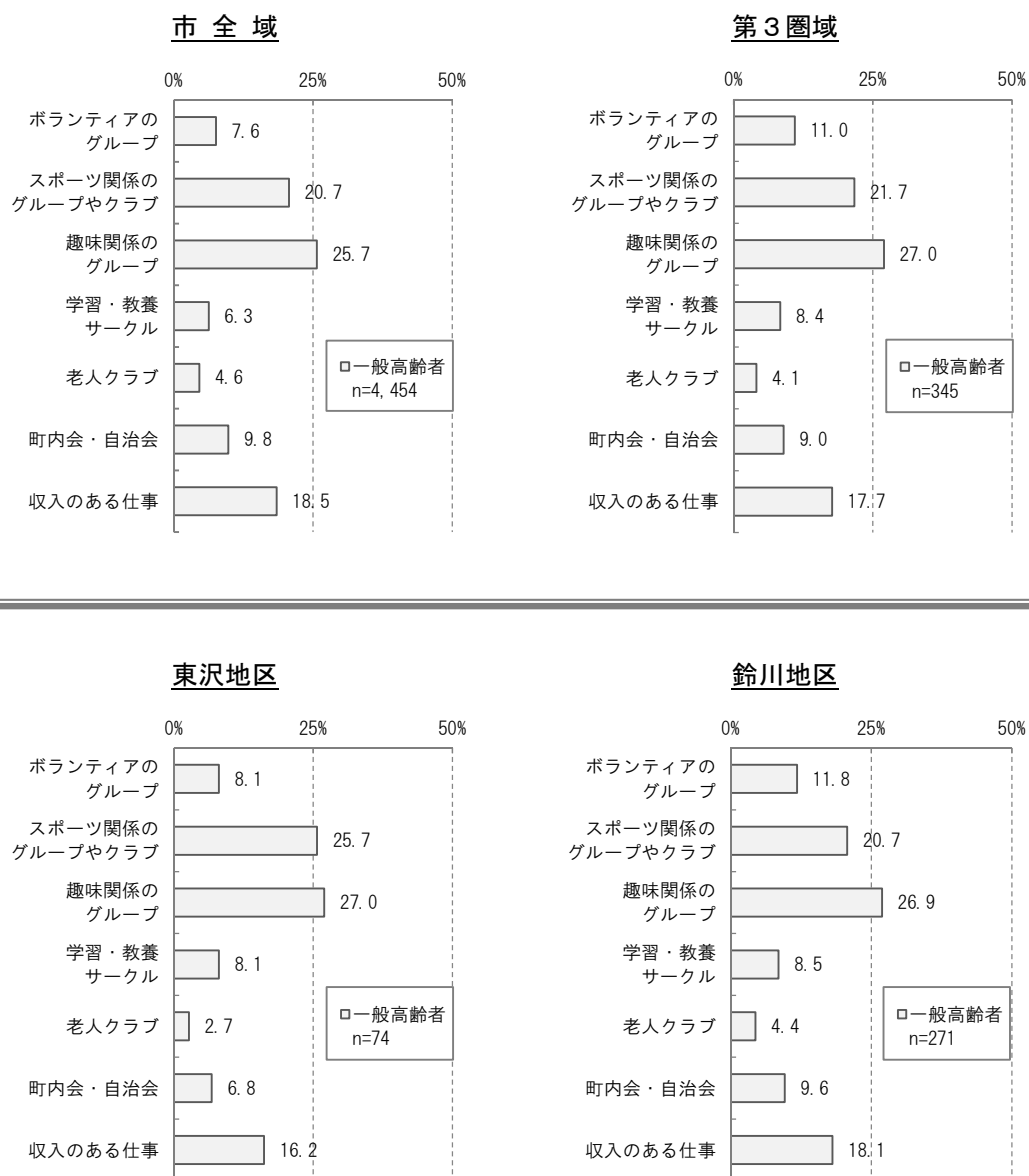


4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第3圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、全ての地区で「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。

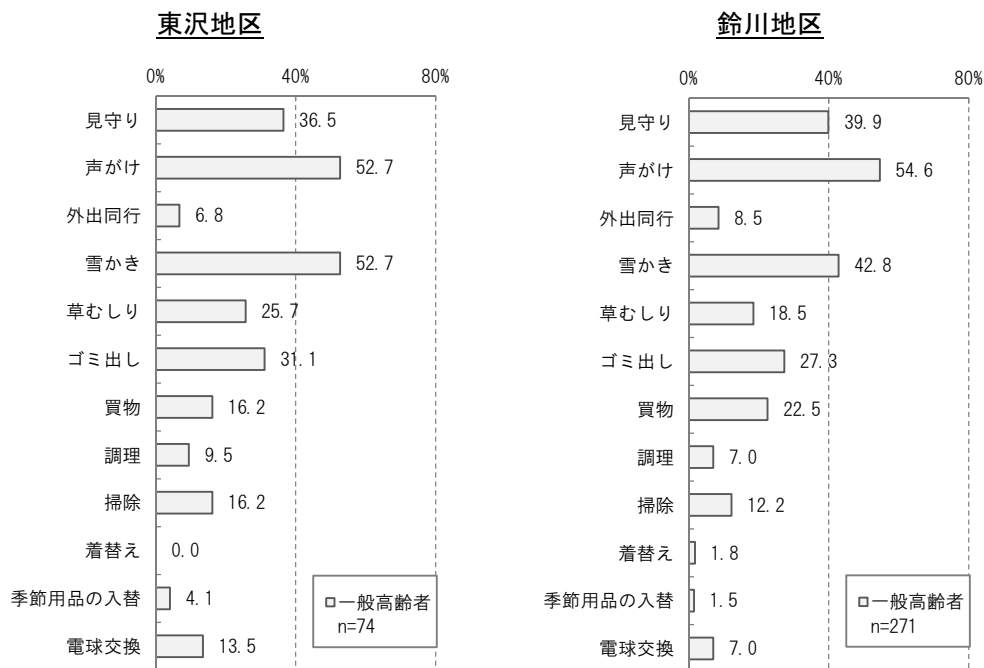
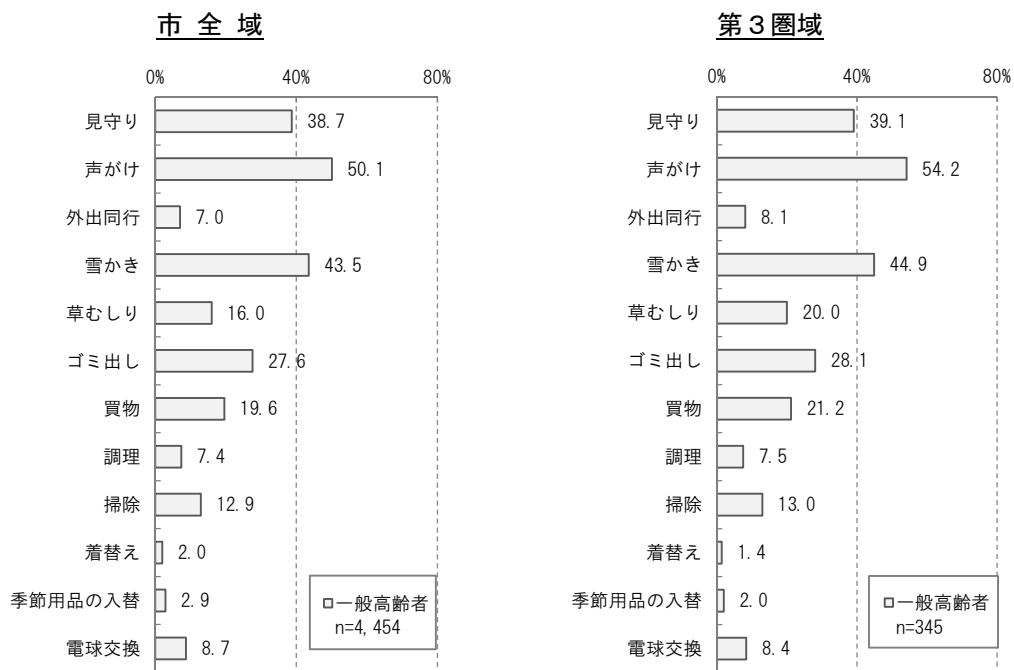
図 2-3.8 地域活動への参加状況



(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第3圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、全ての地区で「声かけ」が最も高く、次いで「雪かき」となっています。

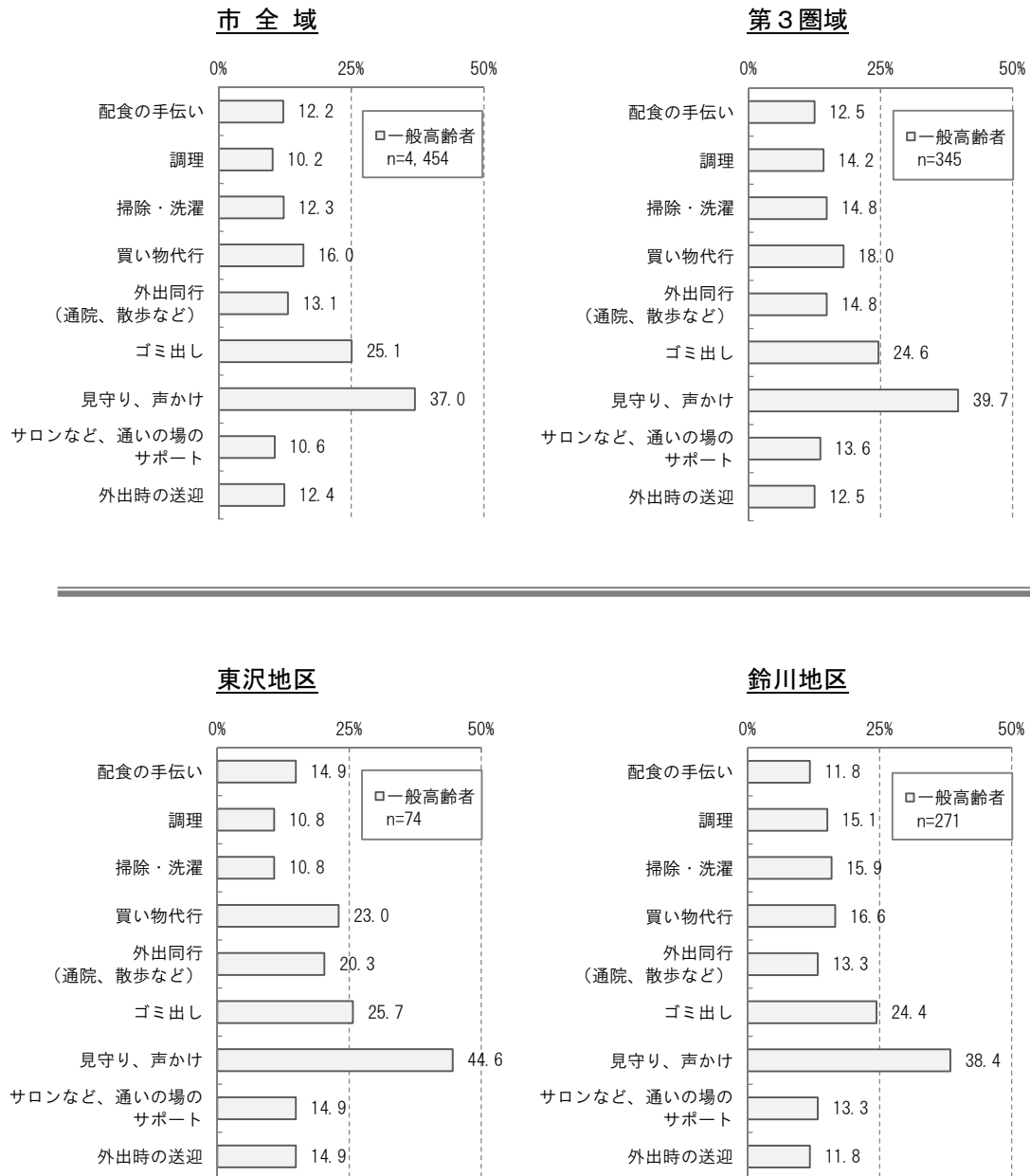
図 2-3.9 近隣住民をお願いしたい支援



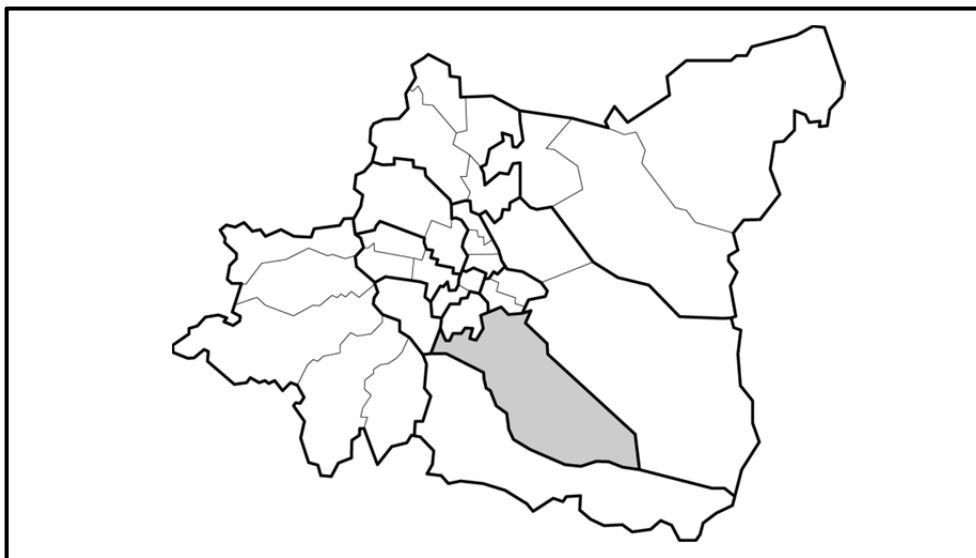
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第3圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

図 2-3.10 高齢者の地域支援意向



IV 「第4圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率 (%)
第4圏域	23,996	5,739	23.9	2,870	2,869	50.0
滝山地区	23,996	5,739	23.9	2,870	2,869	50.0

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第4圏域	4,870	207	662	15.1	265	4.6
滝山地区	4,870	207	662	15.1	265	4.6

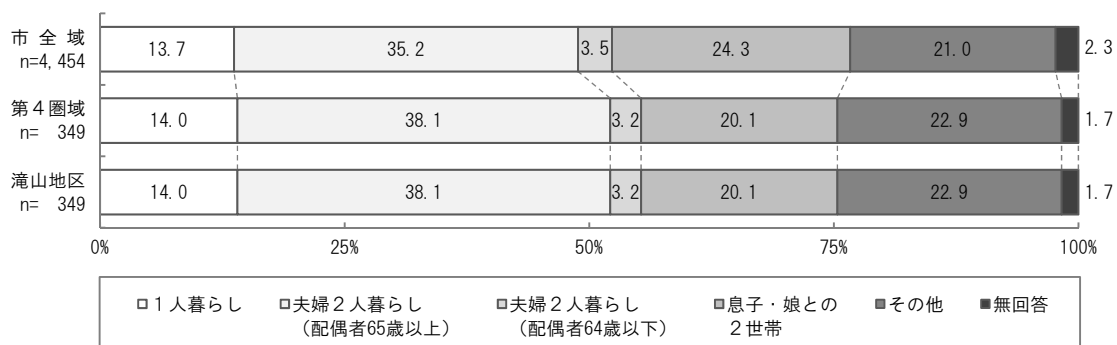
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
0カ所	17カ所	4カ所	7カ所	12カ所	8カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
0カ所	3カ所	32カ所	0カ所	10カ所	11カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第4圏域〉〈滝山地区〉における一般高齢者の家族構成をみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（38.1%）が最も高くなっています。

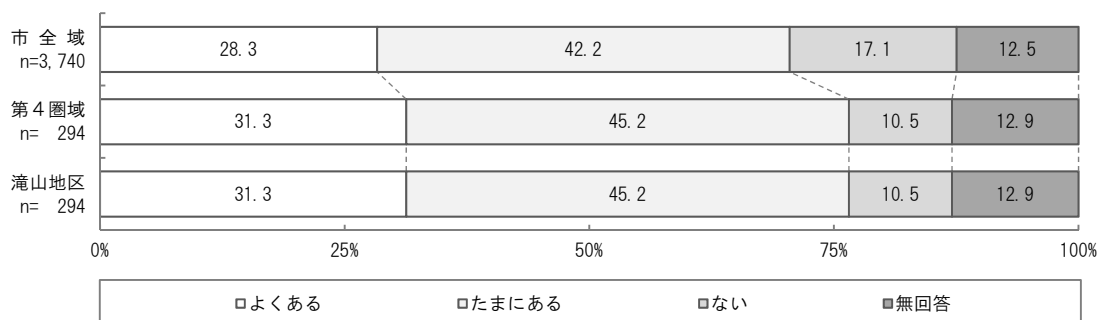
図 2-4.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第4圏域〉〈滝山地区〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかをみると、「たまにある」（45.2%）が最も高くなっています。

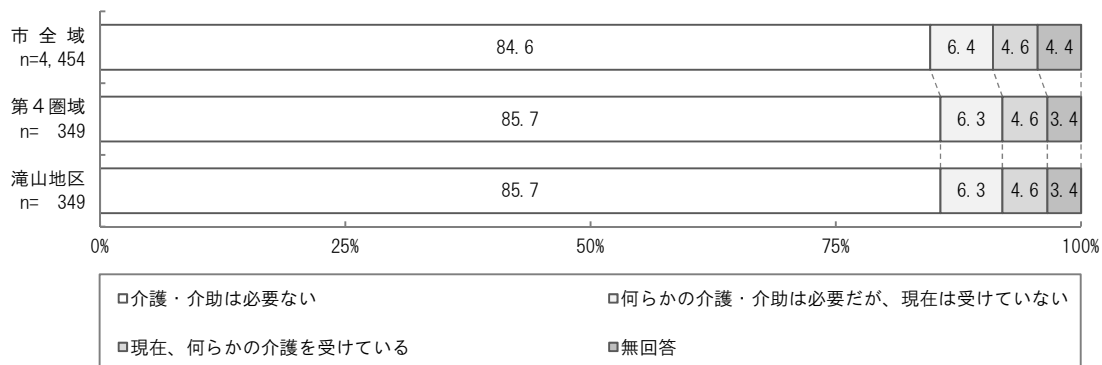
図 2-4.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第4圏域〉〈滝山地区〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況をみると、「介護・介助は必要ない」（85.7%）が最も高くなっています。

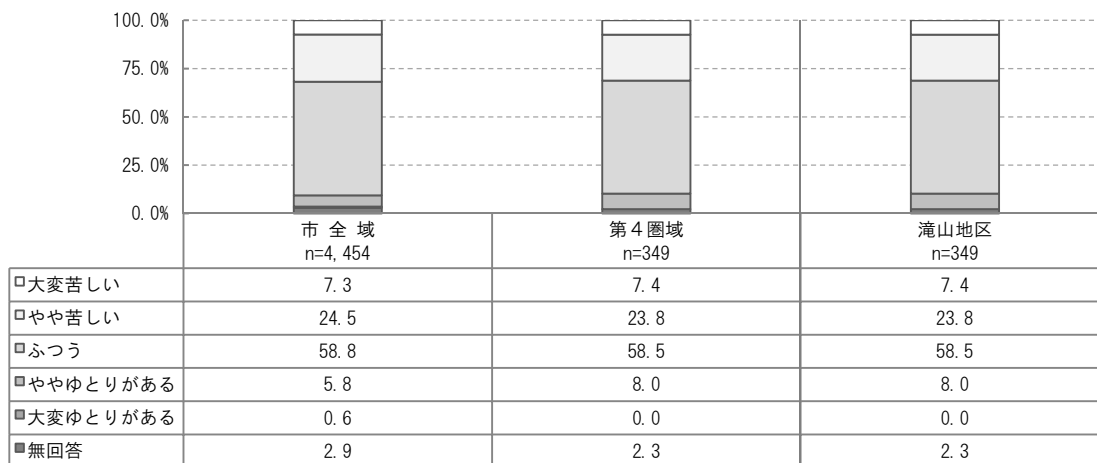
図 2-4.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第4圏域〉〈滝山地区〉における一般高齢者の現在の経済的状況をみると、「ふつう」（58.5%）が最も高くなっています。

図 2-4.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像” からみた地域分析

- 〈第4圏域〉〈滝山地区〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差をみると、介護予防事業対象者・サービス事業対象者は市平均値を上回り、健康高齢者は市平均値を下回っています。

図 2-4.5 3つの高齢者像別出現率

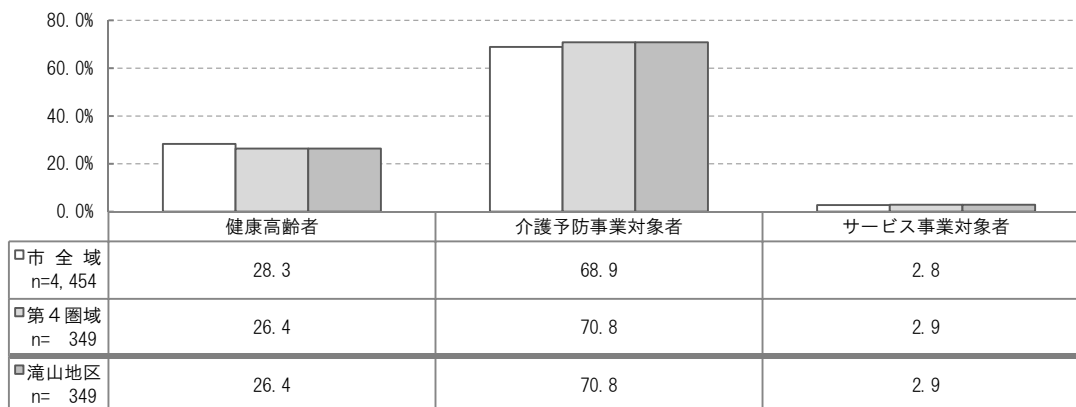
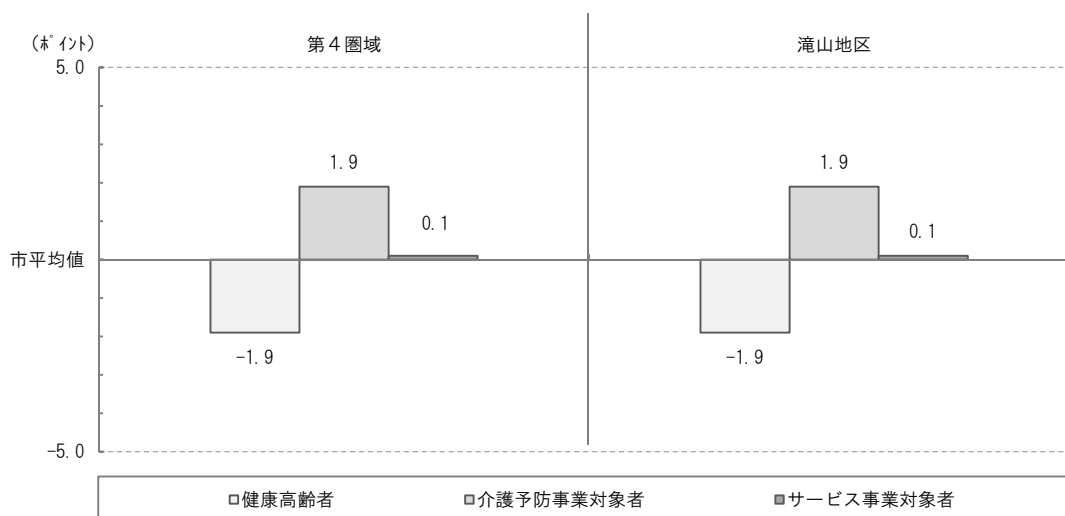


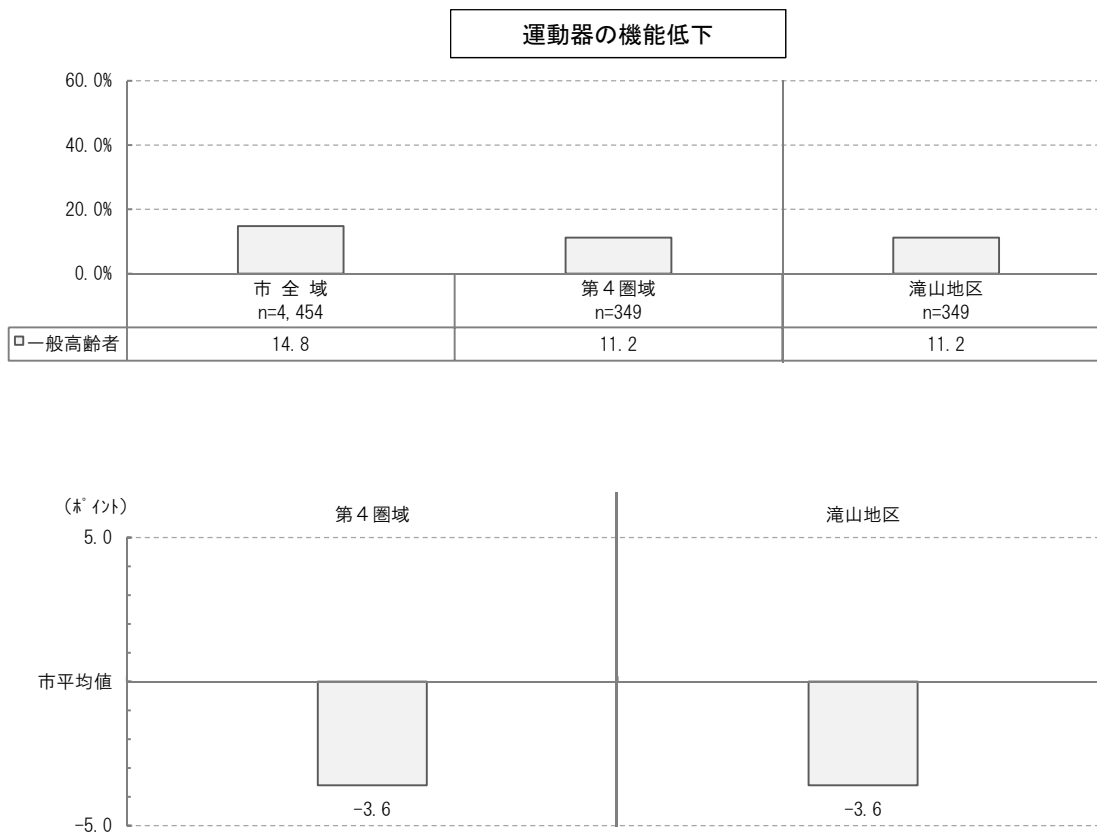
図 2-4.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



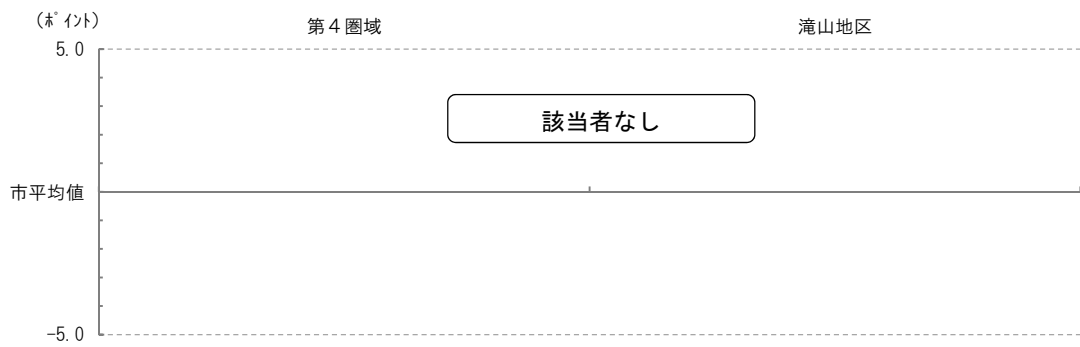
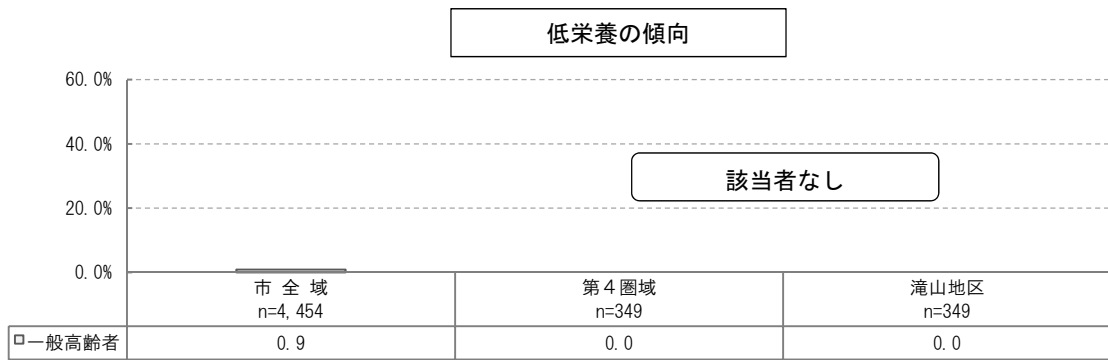
3 リスク別該当者の予測

○ 〈第4圏域〉〈滝山地区〉の「運動器の機能低下」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市平均値より3.6ポイント低くなっています。

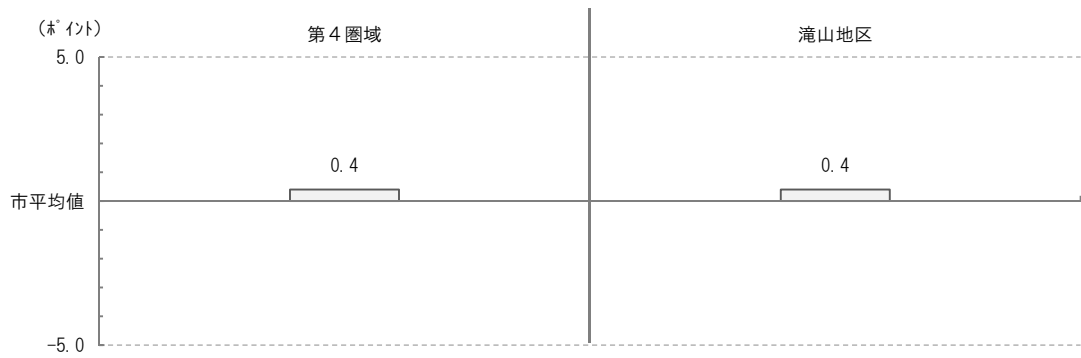
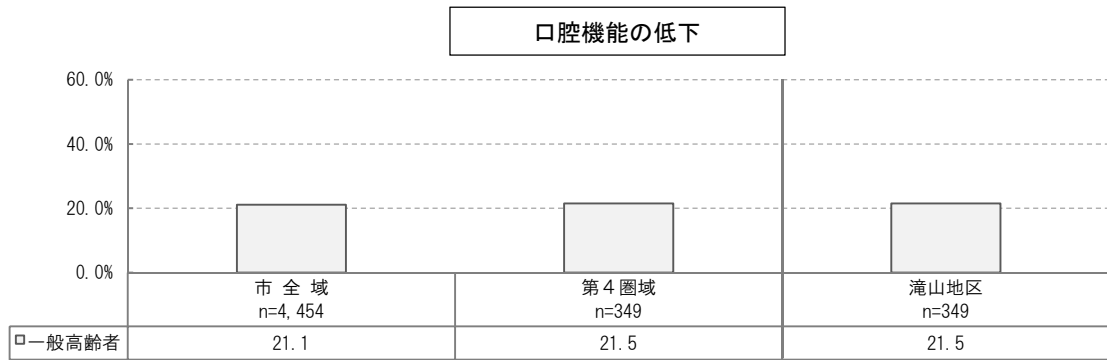
図 2-4.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



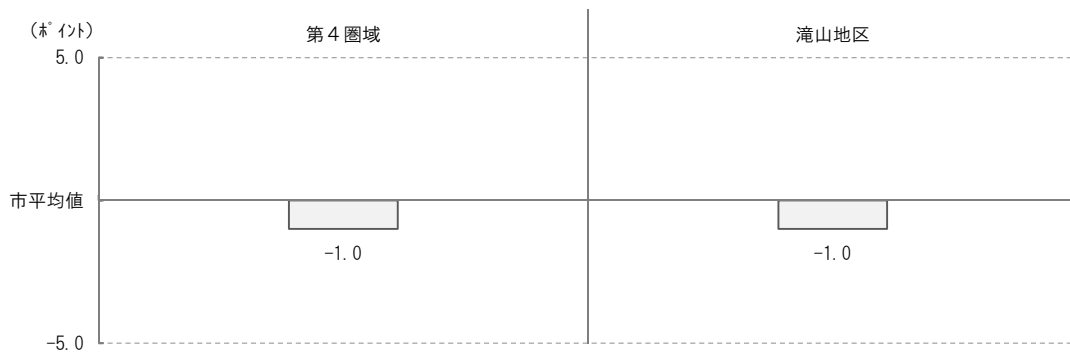
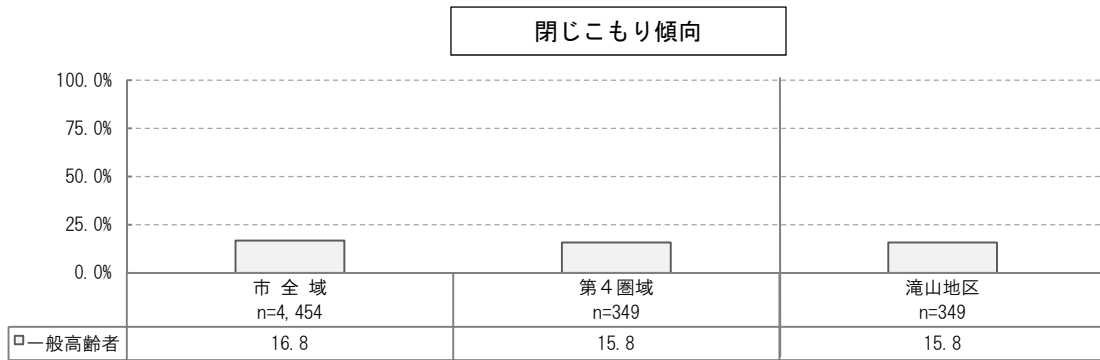
○〈第4圏域〉〈滝山地区〉では「低栄養の傾向」リスク該当高齢者はいません。



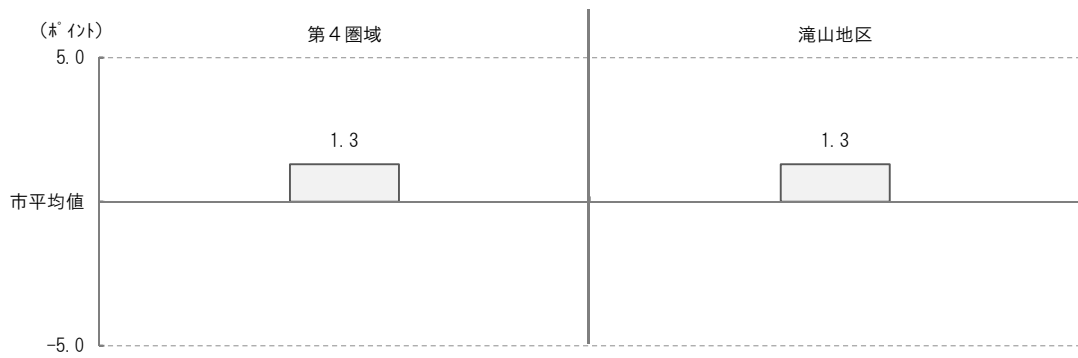
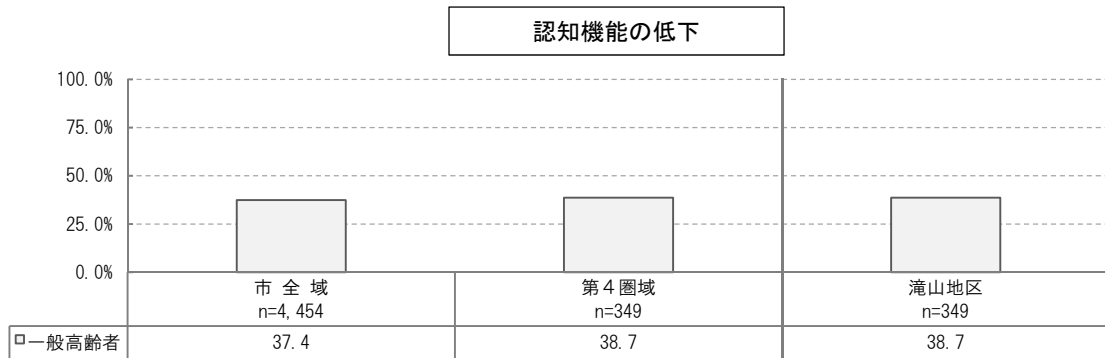
○ 〈第4圏域〉〈滝山地区〉の「口腔機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市平均値より0.4^{ポイント}高くなっています。



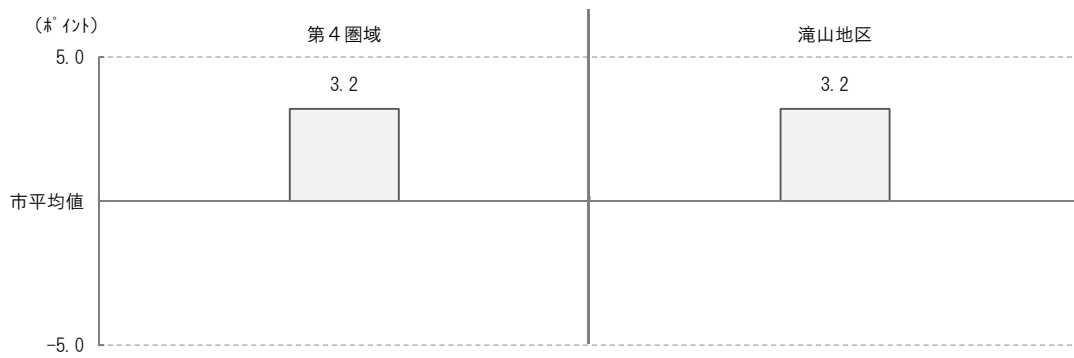
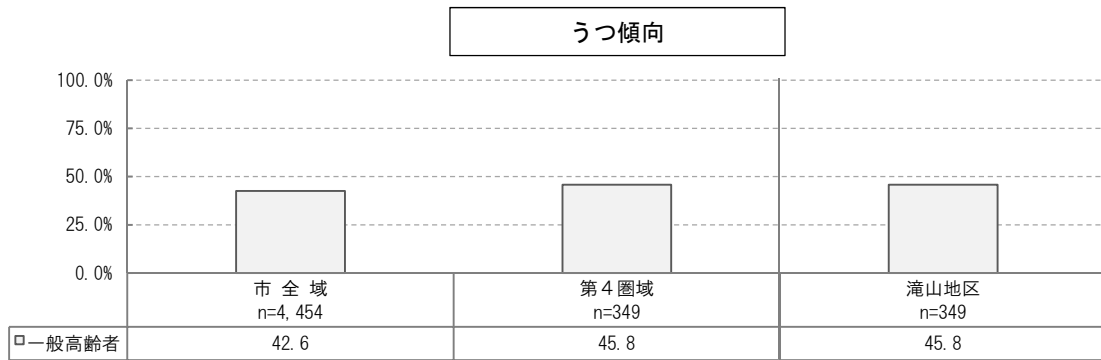
○ 〈第4圏域〉〈滝山地区〉の「閉じこもり傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市平均値より1.0ポイント低くなっています。



○ 〈第4圏域〉〈滝山地区〉の「認知機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市平均値より1.3^{ポイント}高くなっています。



○〈第4圏域〉〈滝山地区〉の「うつ傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市
 平均値より3.2ポイント高くなっています。

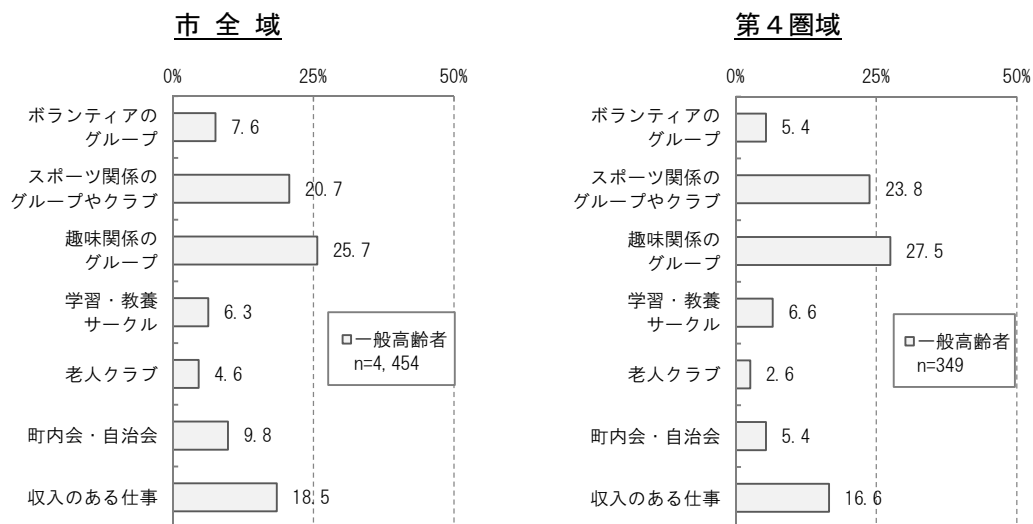


4 地域資源等の把握

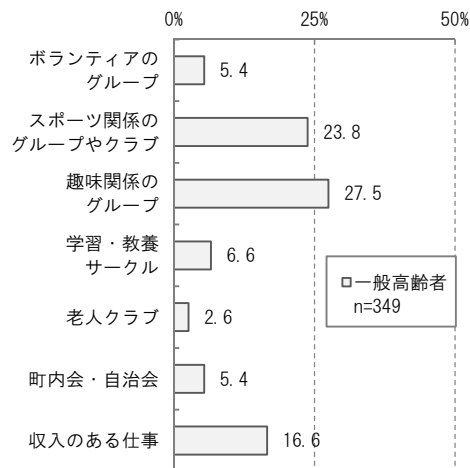
(1) 地域活動への参加状況

○〈第4圏域〉〈滝山地区〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。

図 2-4.8 地域活動への参加状況



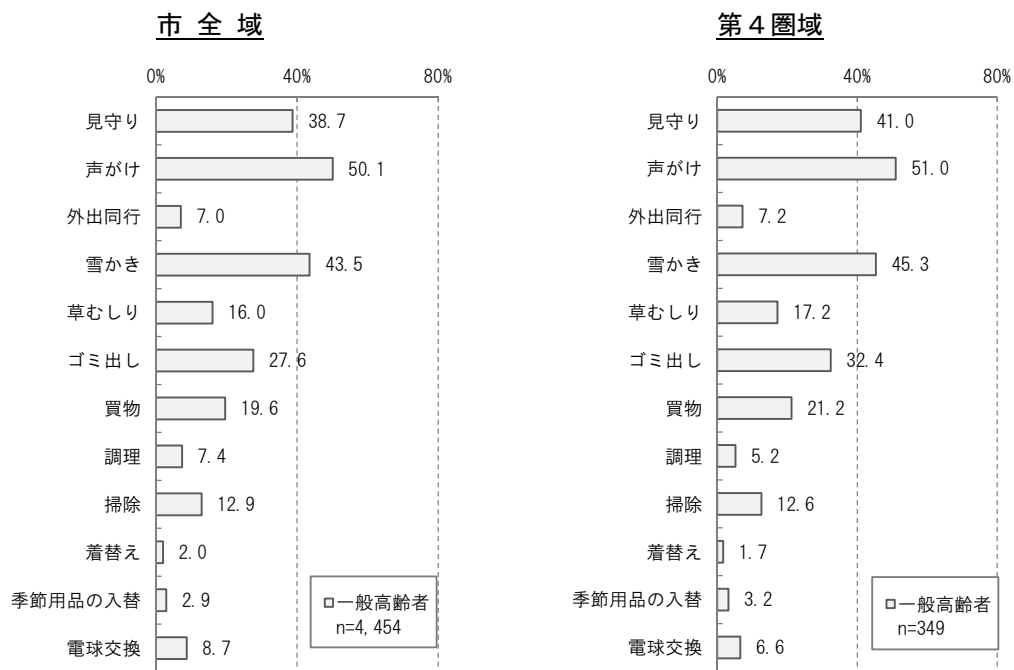
滝山地区



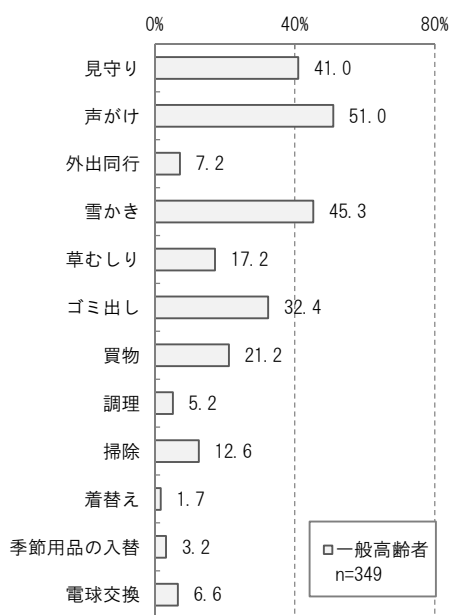
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○ 〈第4圏域〉〈滝山地区〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、「声がけ」が最も高く、次いで「雪かき」「見守り」となっています。

図 2-4.9 近隣住民をお願いしたい支援



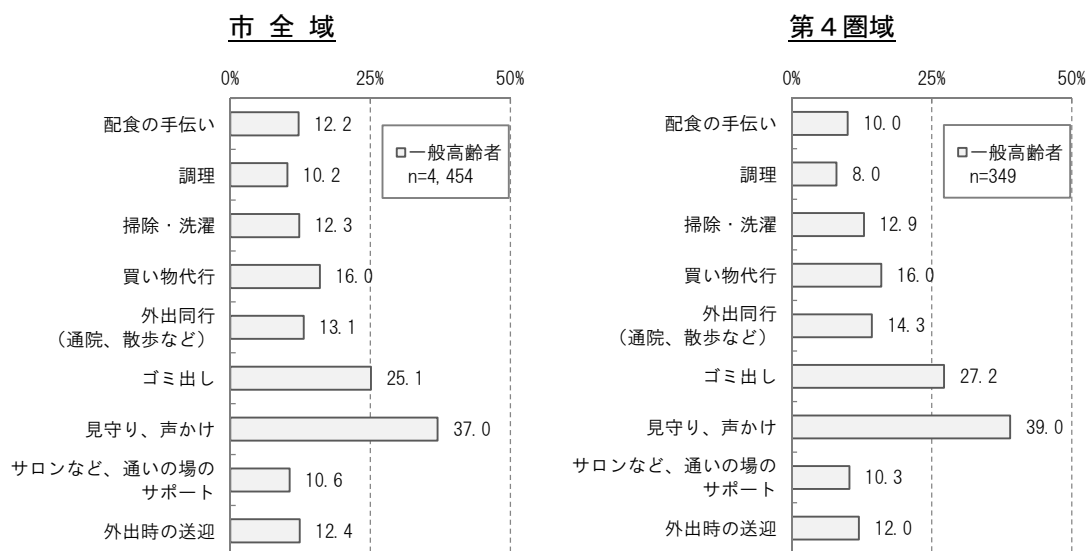
滝山地区



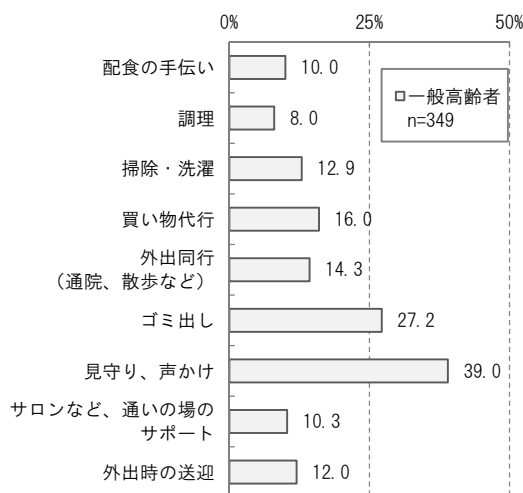
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第4圏域〉〈滝山地区〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

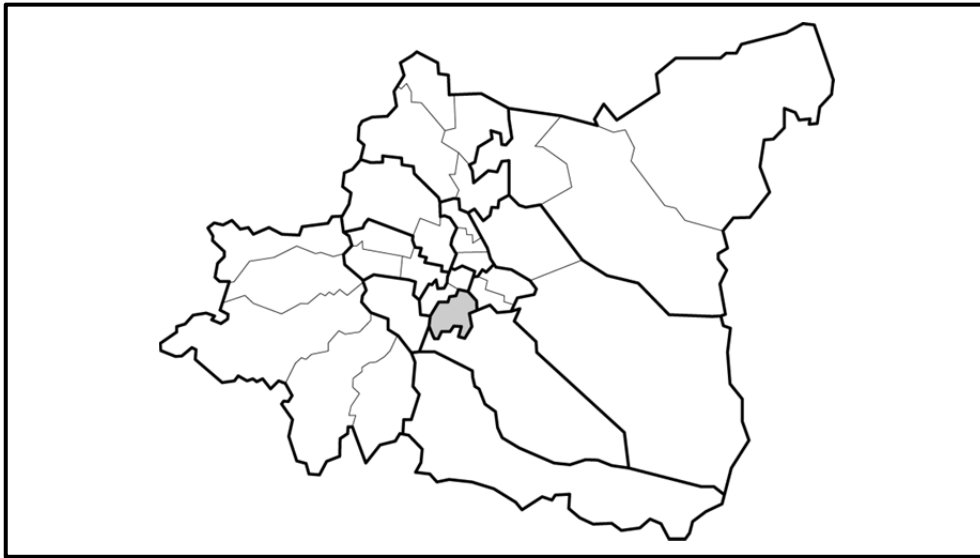
図 2-4.10 高齢者の地域支援意向



滝山地区



V 「第5圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第5圏域	13,935	3,866	27.7	1,796	2,070	53.5
第六地区	13,935	3,866	27.7	1,796	2,070	53.5

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第5圏域	3,274	154	438	15.3	180	4.7
第六地区	3,274	154	438	15.3	180	4.7

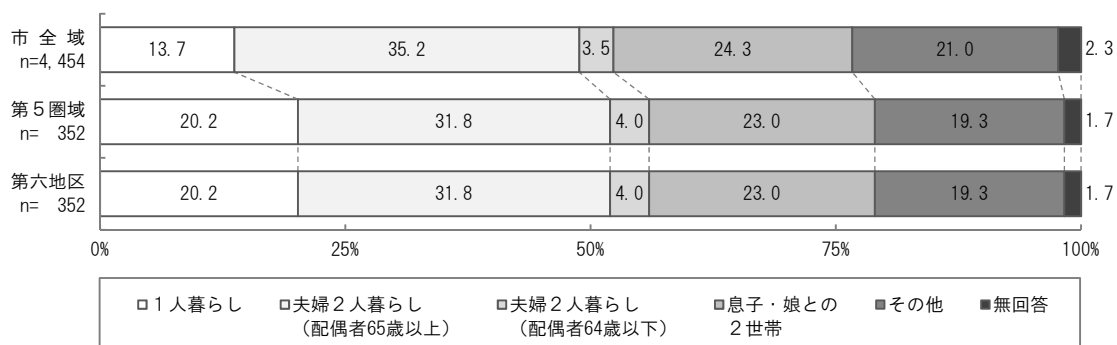
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	20カ所	7カ所	10カ所	22カ所	12カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
1カ所	1カ所	40カ所	0カ所	7カ所	5カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第5圏域〉〈第六地区〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（31.8%）が最も高くなっています。

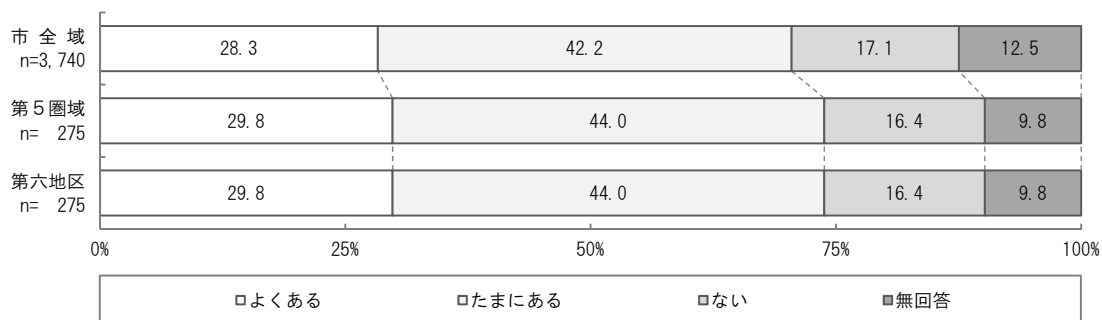
図 2-5.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第5圏域〉〈第六地区〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、「たまにある」（44.0%）が最も高くなっています。

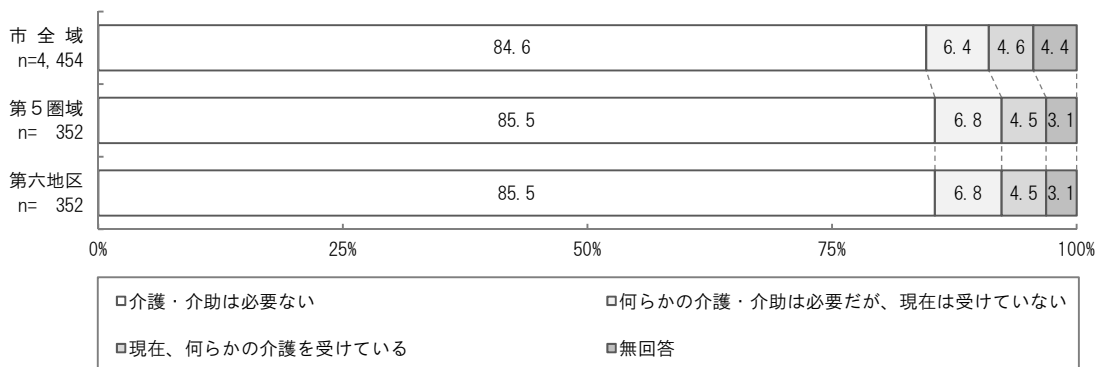
図 2-5.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第5圏域〉〈第六地区〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、「介護・介助は必要ない」（85.5%）が最も高くなっています。

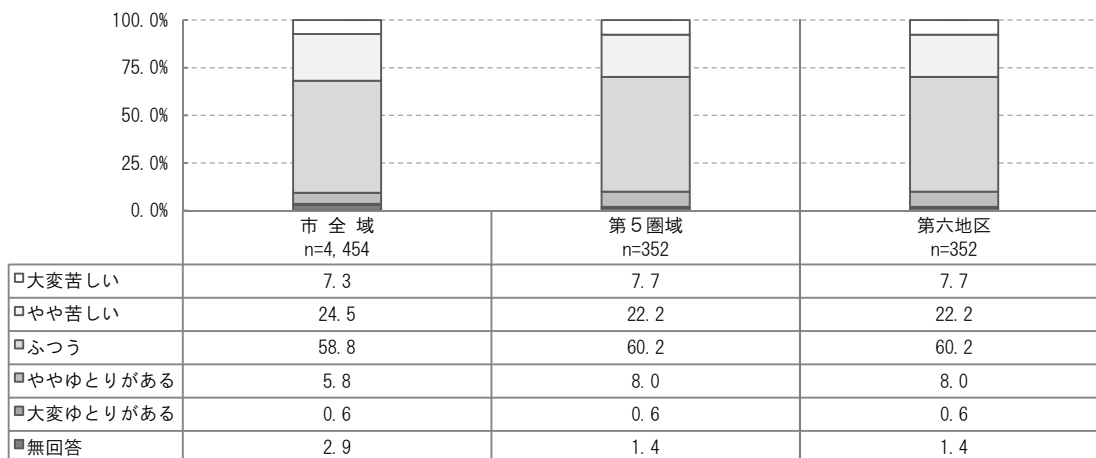
図 2-5.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第5圏域〉〈第六地区〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、「ふつう」（60.2%）が最も高くなっています。

図 2-5.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

○〈第5圏域〉〈第六地区〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差をみると、健康高齢者は市平均値を上回り、介護予防事業対象者・サービス事業対象者は市平均値を下回っています。

図 2-5.5 3つの高齢者像別出現率

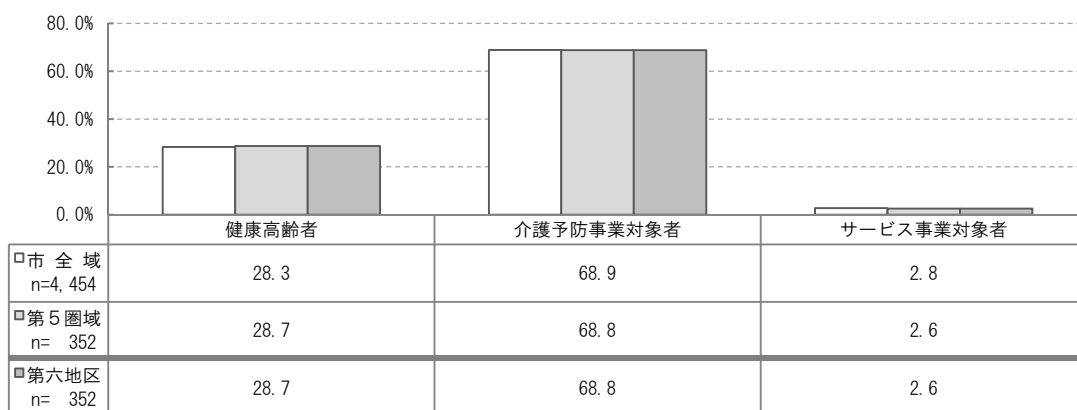
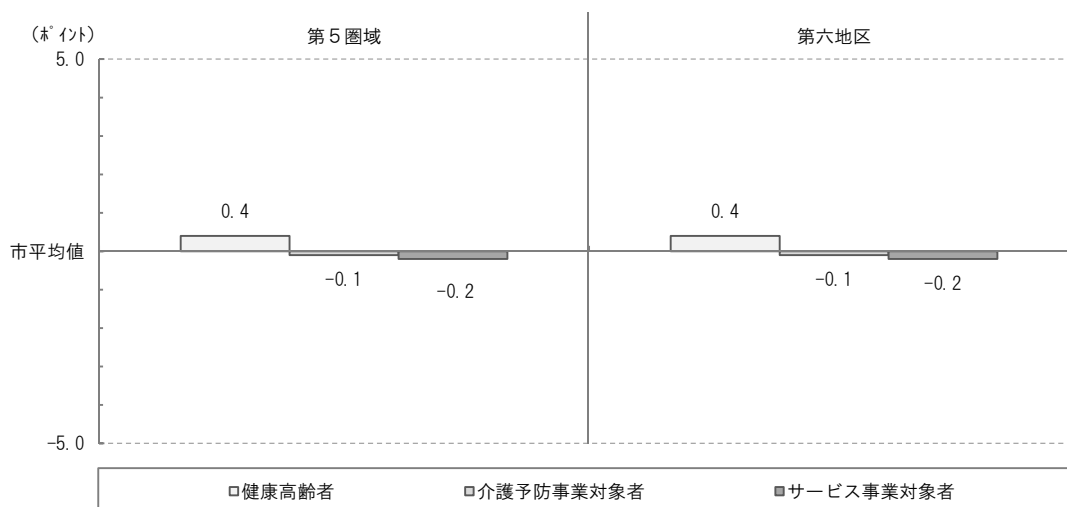


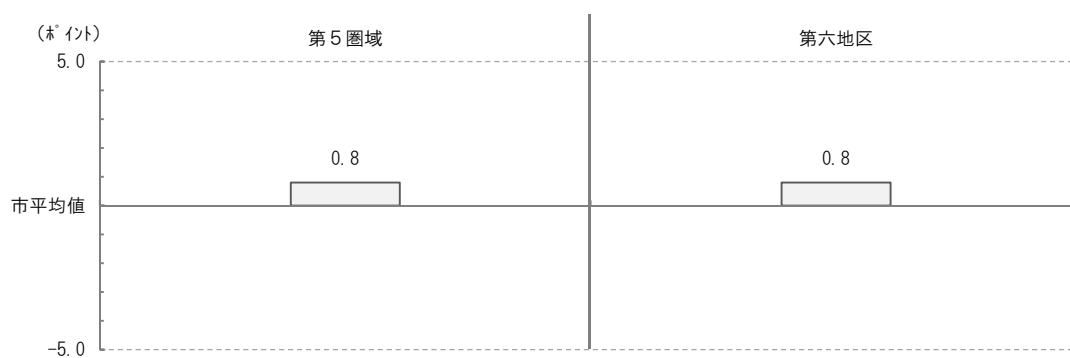
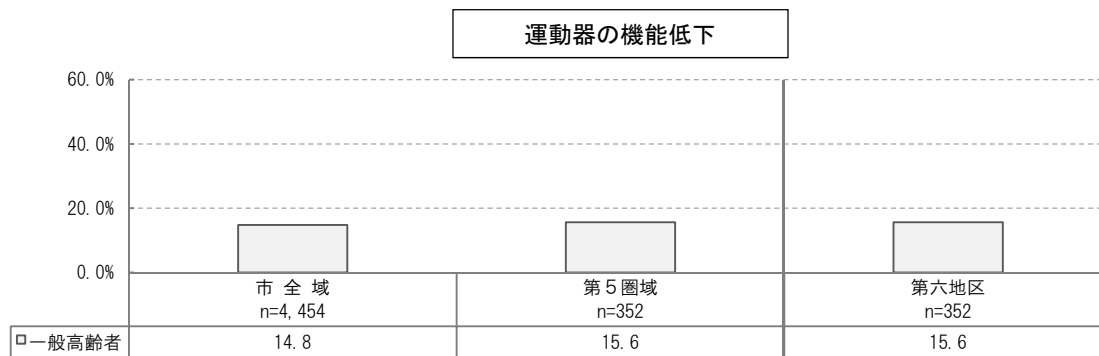
図 2-5.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



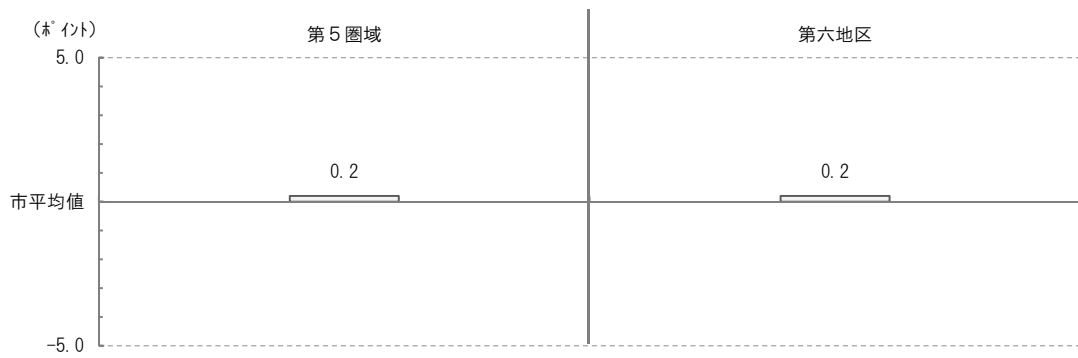
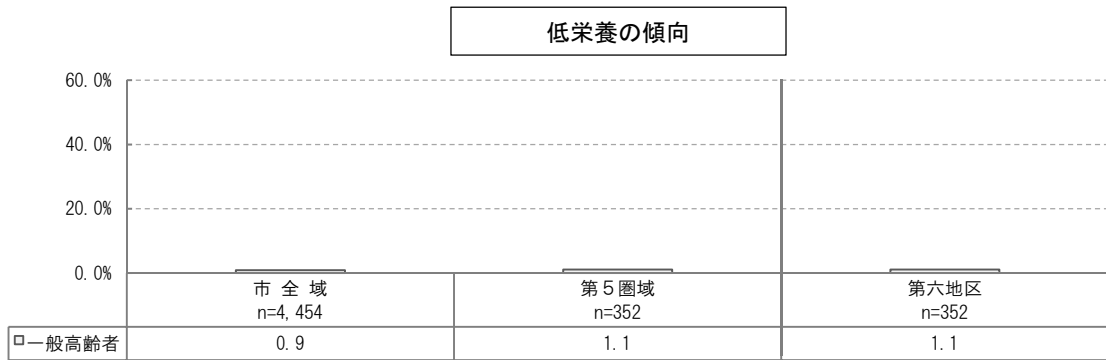
3 リスク別該当者の予測

○ 〈第5圏域〉〈第六地区〉の「運動器の機能低下」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市平均値より0.8ポイント高くなっています。

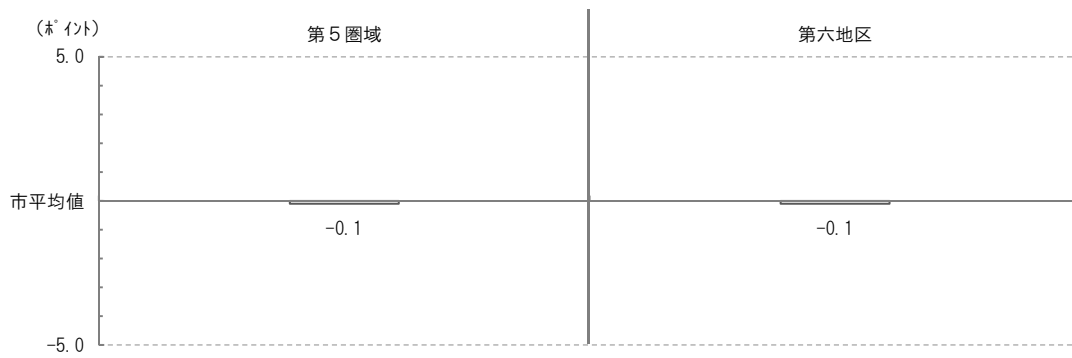
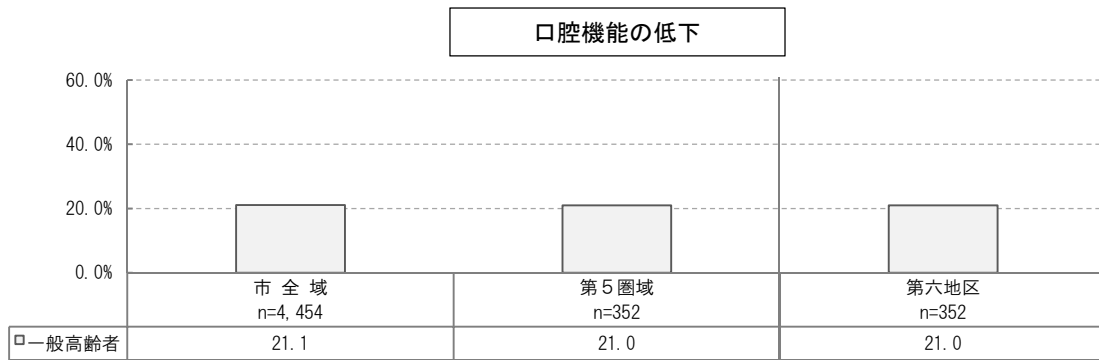
図 2-5.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



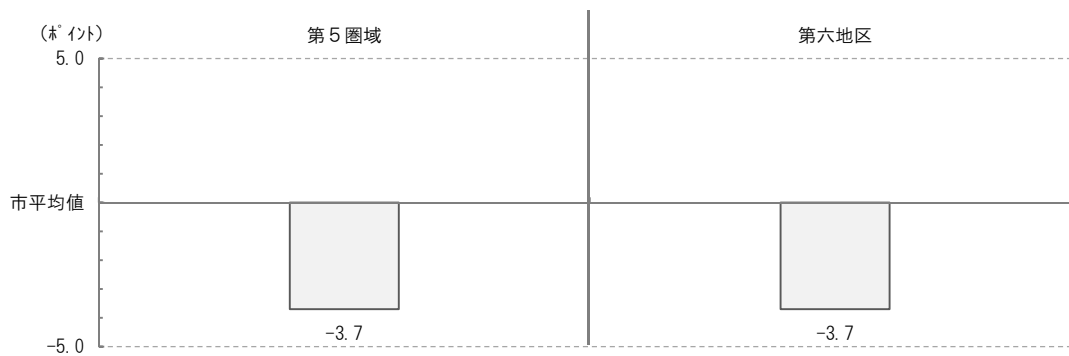
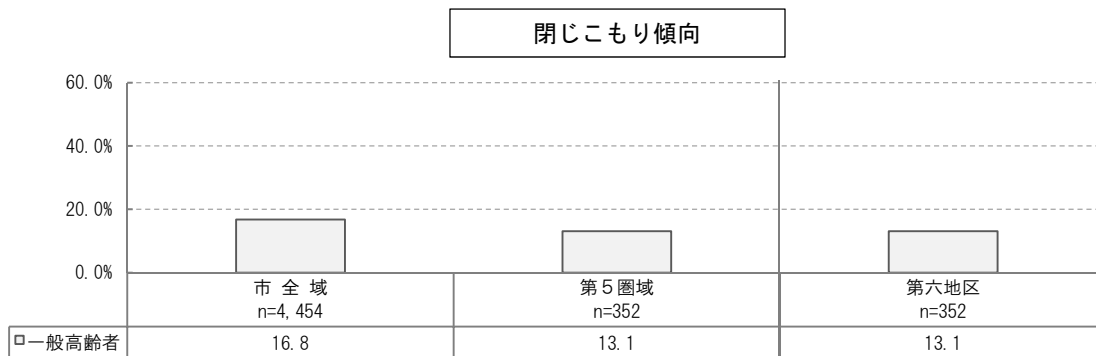
○〈第5圏域〉〈第六地区〉の「低栄養の傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市平均値より0.2ポイント高くなっています。



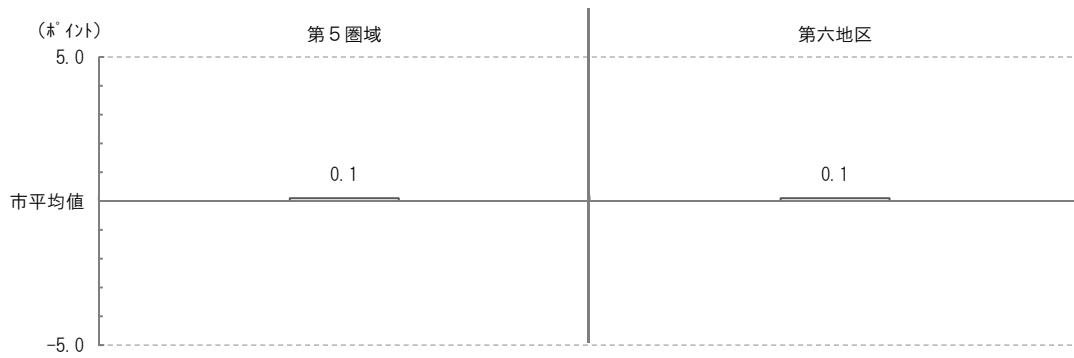
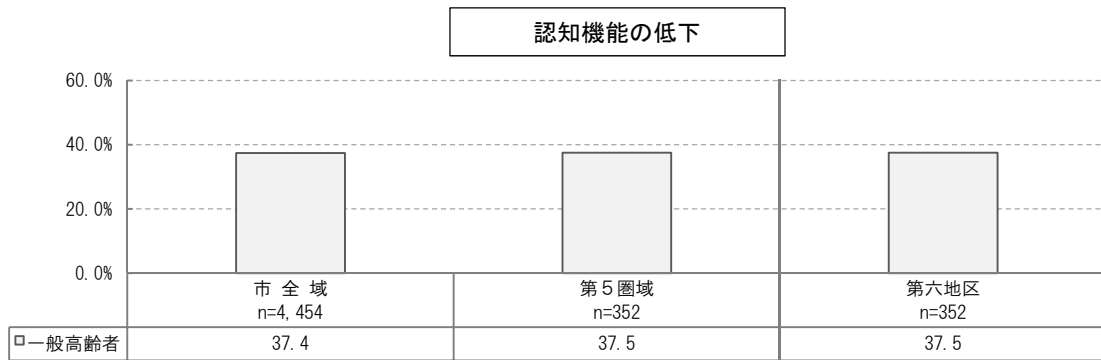
○ 〈第5圏域〉〈第六地区〉の「口腔機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市平均値より0.1ポイント低くなっています。



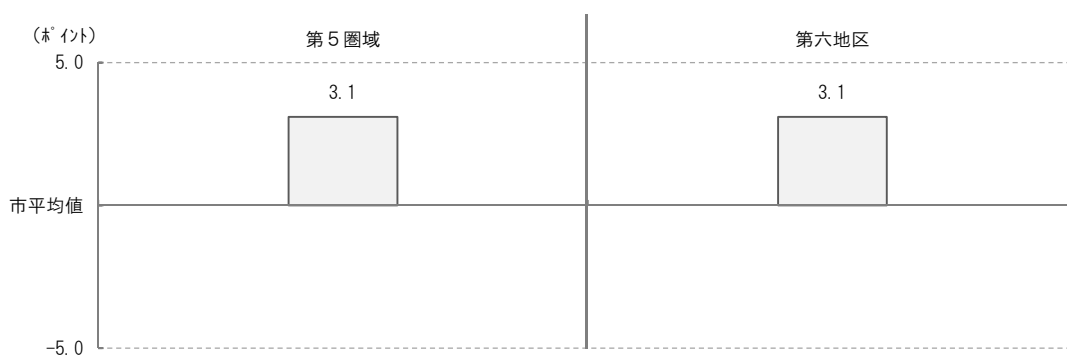
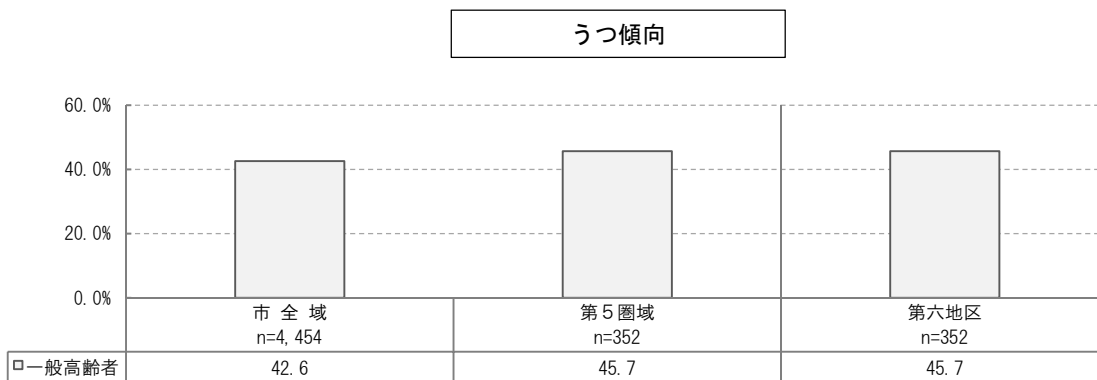
○ 〈第5圏域〉〈第六地区〉の「閉じこもり傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市平均値より3.7ポイント低くなっています。



○ 〈第5圏域〉〈第六地区〉の「認知機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市平均値より0.1^{ポイント}高くなっています。



○ 〈第5圏域〉〈第六地区〉の「うつ傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差をみると、市
 平均値より3.1ポイント高くなっています。

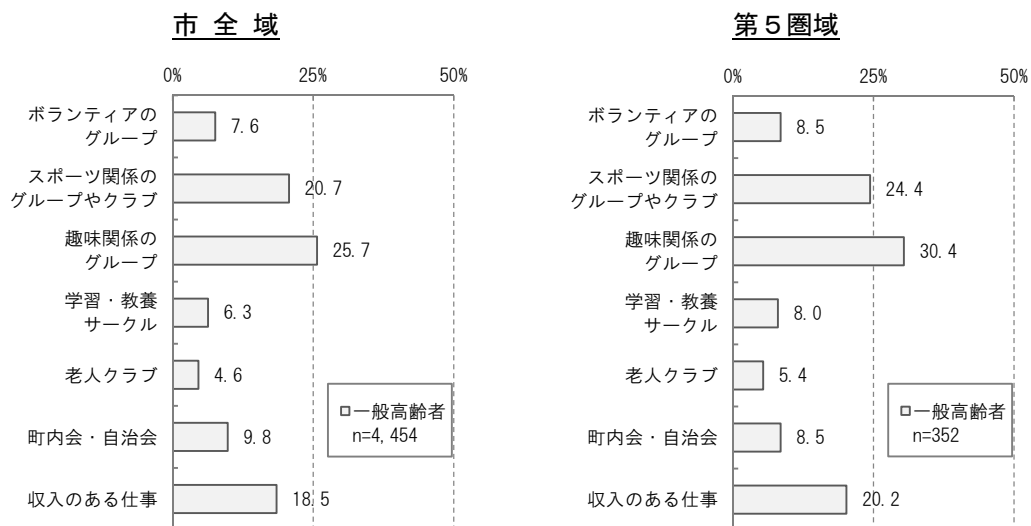


4 地域資源等の把握

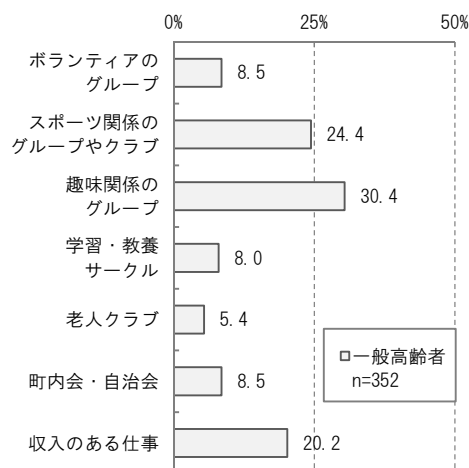
(1) 地域活動への参加状況

○〈第5圏域〉〈第六地区〉における一般高齢者の地域活動への参加状況をみると、「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。

図 2-5.8 地域活動への参加状況



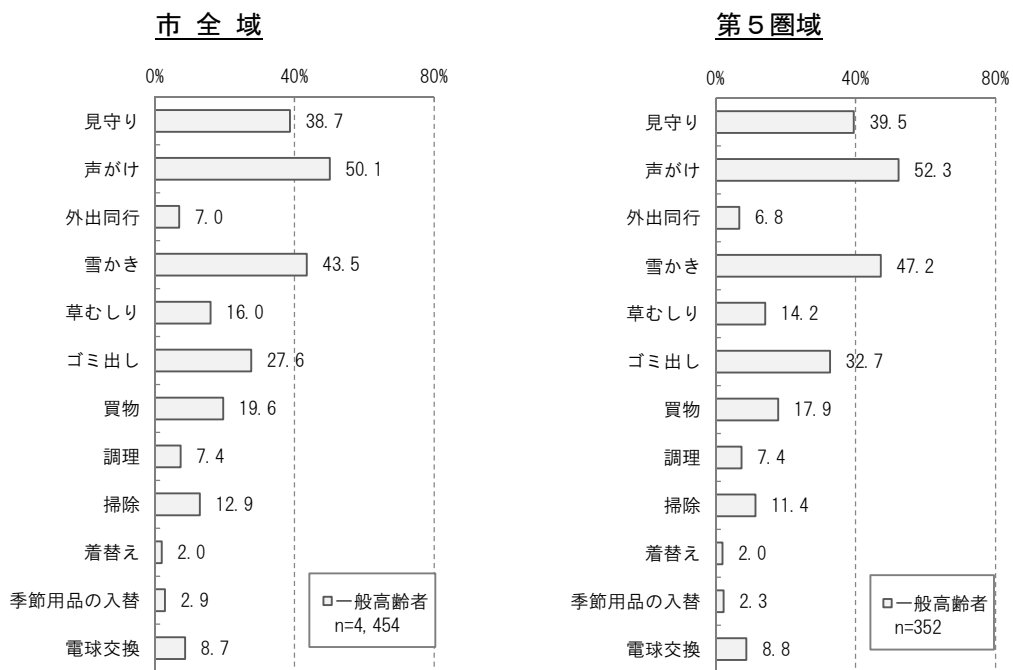
第六地区



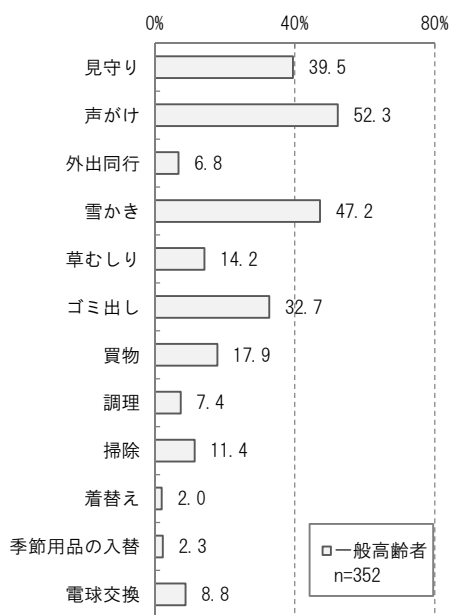
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第5圏域〉〈第六地区〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目をみると、「声かけ」が最も高く、次いで「雪かき」「見守り」「ゴミ出し」となっています。

図 2-5.9 近隣住民をお願いしたい支援



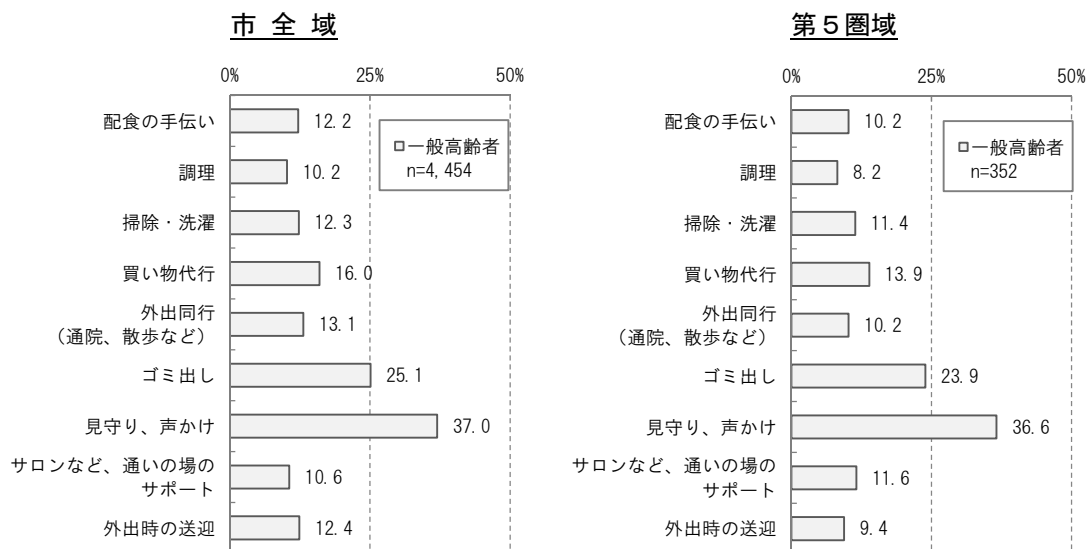
第六地区



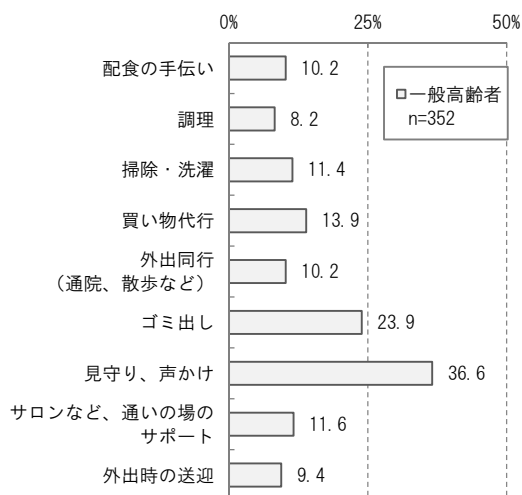
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第5圏域〉〈第六地区〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスをみると、「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

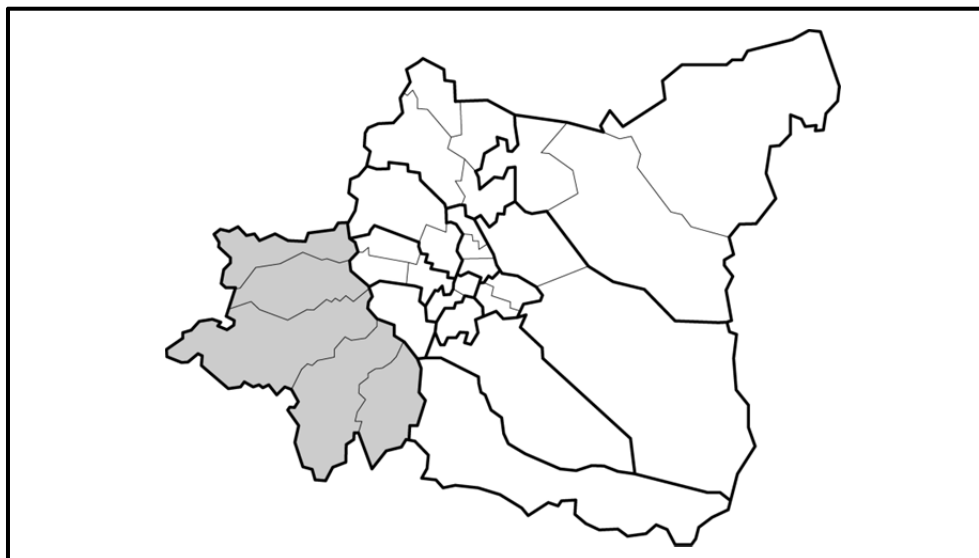
図 2-5.10 高齢者の地域支援意向



第六地区



VI 「第6圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率 (%)
第6圏域	17,639	5,382	30.5	2,526	2,856	53.1
南山形地区	9,141	2,251	24.6	1,181	1,070	47.5
本沢地区	2,962	1,101	37.2	509	592	53.8
大曽根地区	1,428	539	37.7	231	308	57.1
西山形地区	2,169	861	39.7	335	526	61.1
村木沢地区	1,939	630	32.5	270	360	57.1

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定 者認定率 (%)
第6圏域	4,403	164	815	18.2	457	8.5
南山形地区	1,876	68	307	16.7	170	7.6
本沢地区	883	25	193	19.8	118	10.7
大曽根地区	431	18	90	20.0	47	8.7
西山形地区	677	28	156	21.4	91	10.6
村木沢地区	536	25	69	14.9	31	4.9

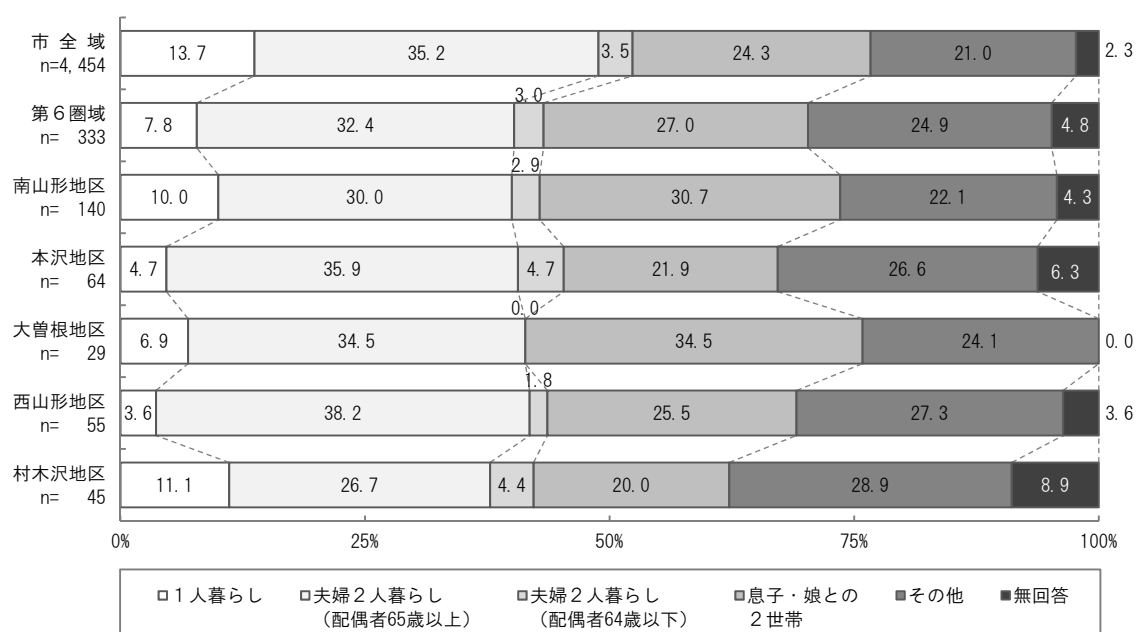
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	5カ所	4カ所	5カ所	12カ所	7カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
5カ所	0カ所	23カ所	5カ所	8カ所	11カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第6圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、〈南山形地区〉で「息子・娘との2世帯」(30.7%)、〈本沢地区〉〈西山形地区〉で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(35.9%・38.2%)、〈大曽根地区〉で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」「息子・娘との2世帯」(各34.5%)、〈村木沢地区〉で「その他」(28.9%)が最も高くなっています。

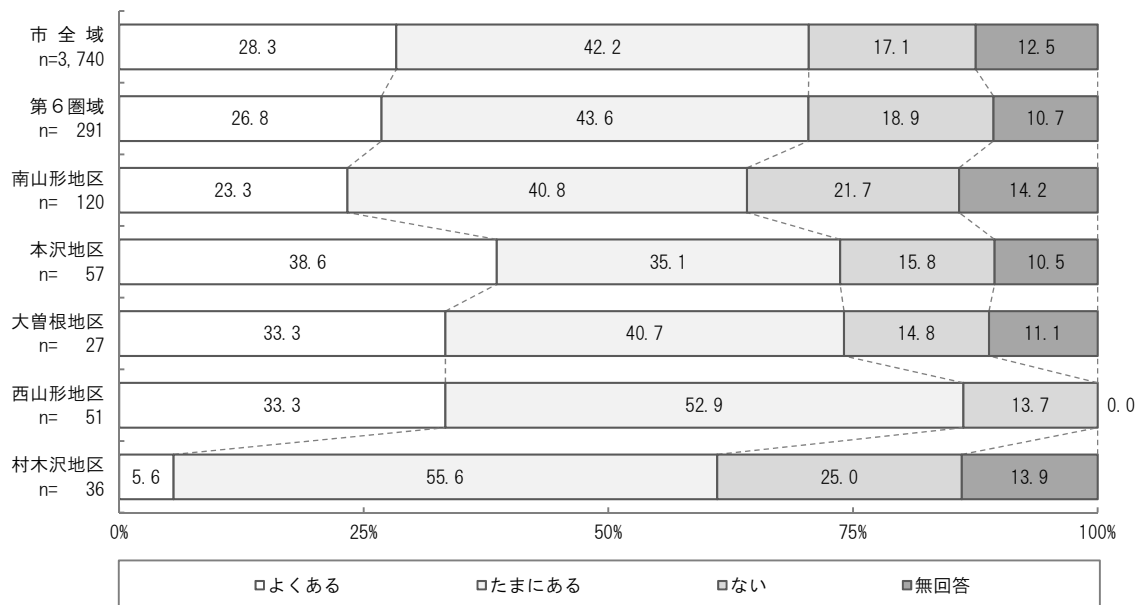
図 2-6.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第6圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈南山形地区〉〈大曽根地区〉〈西山形地区〉〈村木沢地区〉で「たまにある」(40.7~55.6%)、本沢地区で「よくある」(38.6%)が最も高くなっています。

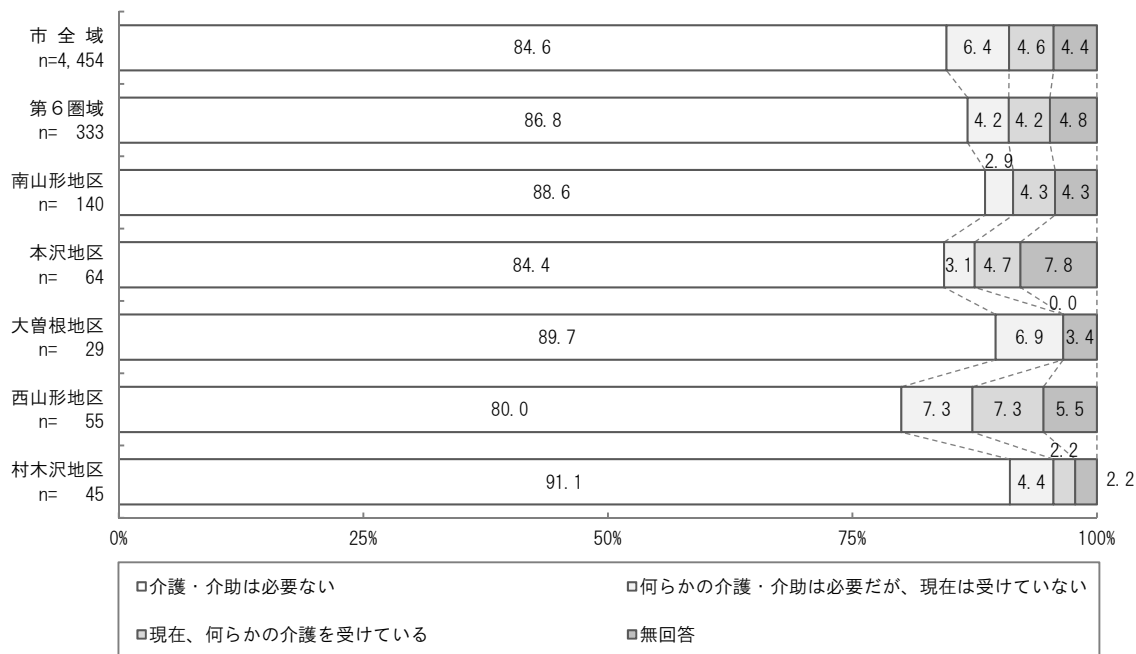
図 2-6.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第6圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、全ての地区で「介護・介助は必要ない」（80.0～91.1%）が最も高くなっています。

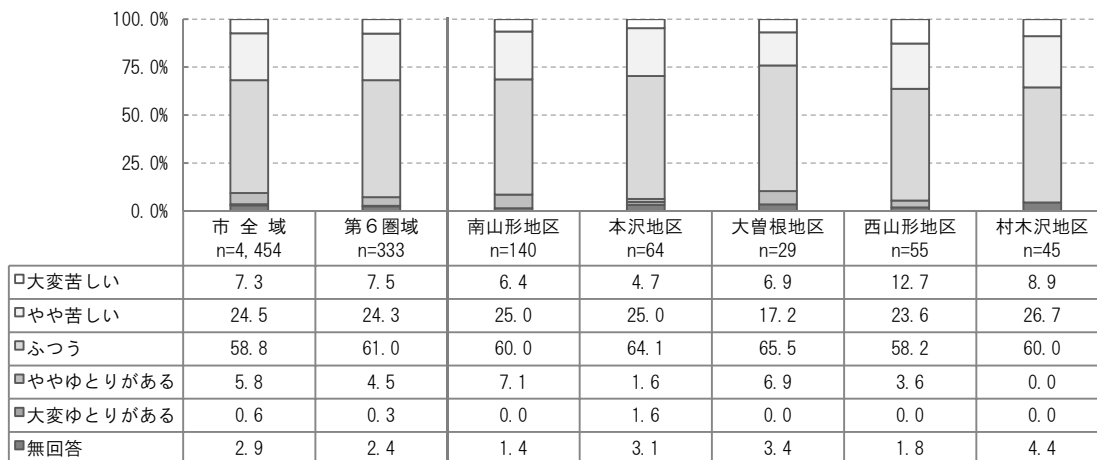
図 2-6.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第6圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、全ての地区で「ふつう」（58.2～65.5%）が最も高くなっています。

図 2-6.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

○〈第6圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、健康高齢者では〈大曽根地区〉〈南山形地区〉〈村木沢地区〉、介護予防事業対象者では〈西山形地区〉〈本沢地区〉〈村木沢地区〉〈南山形地区〉、サービス事業対象者では〈西山形地区〉〈本沢地区〉で市平均値を上回っています。

図 2-6.5 3つの高齢者像別出現率

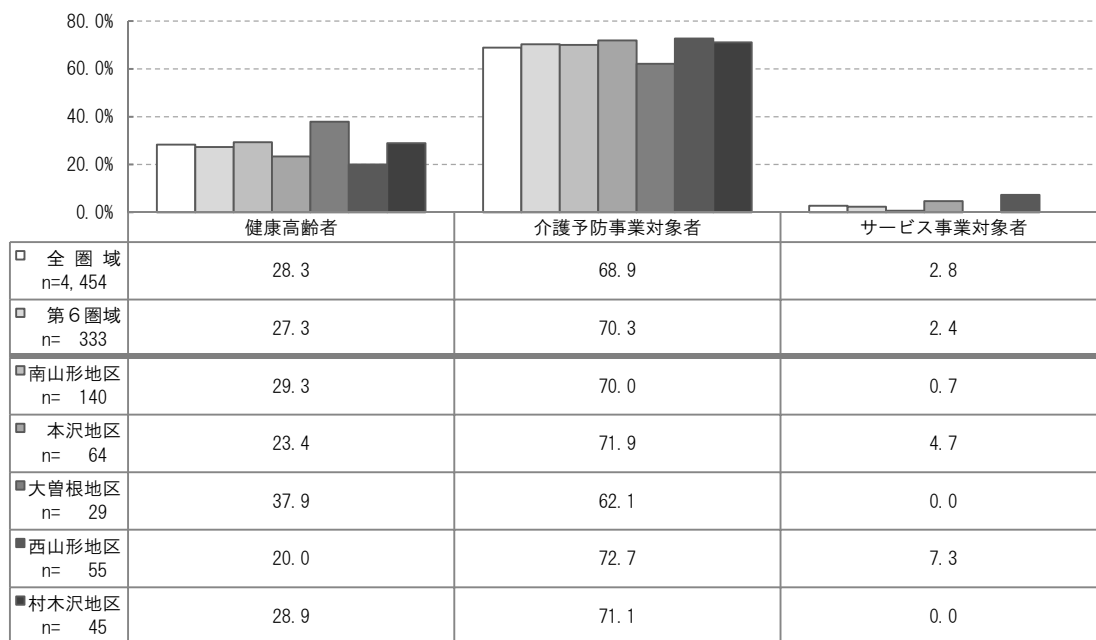
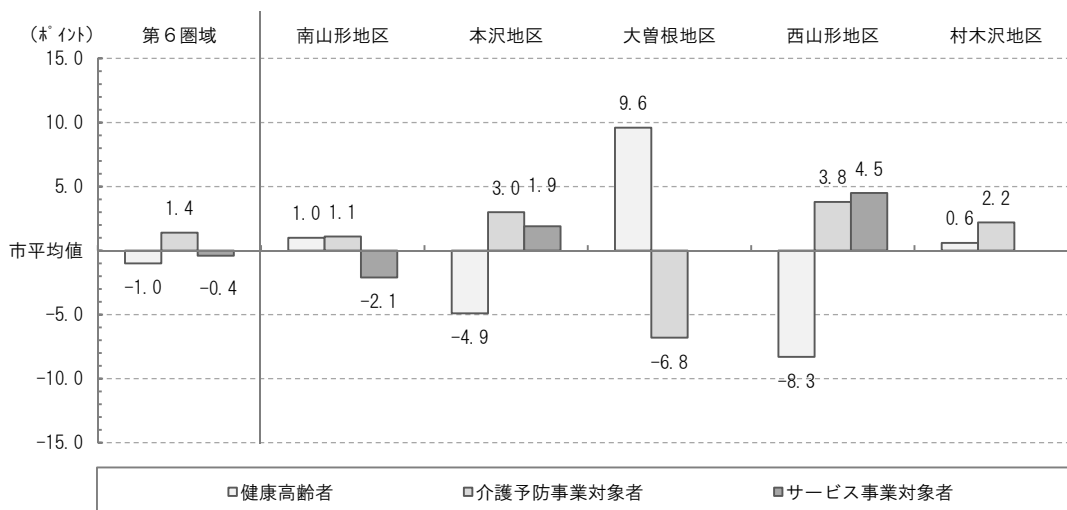


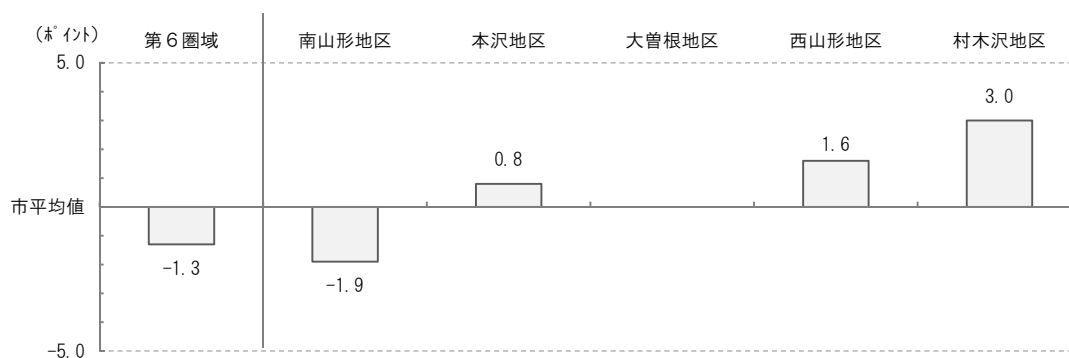
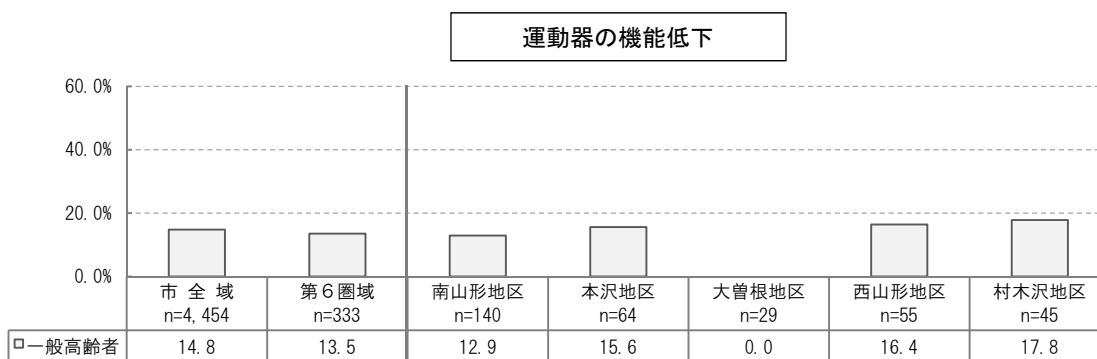
図 2-6.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



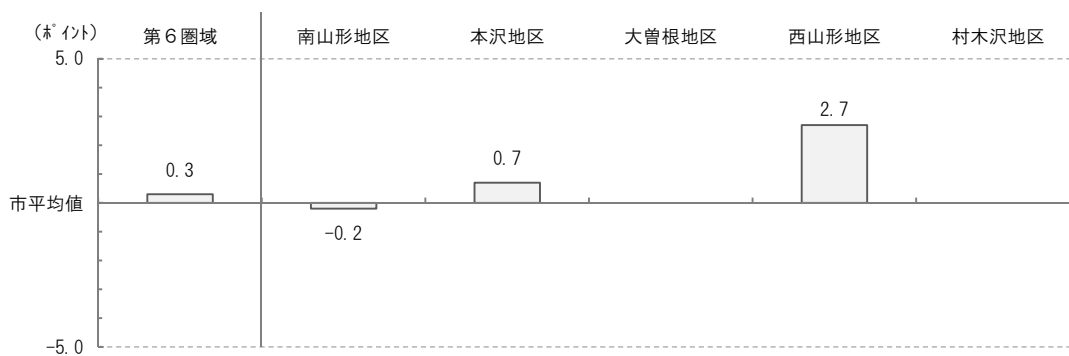
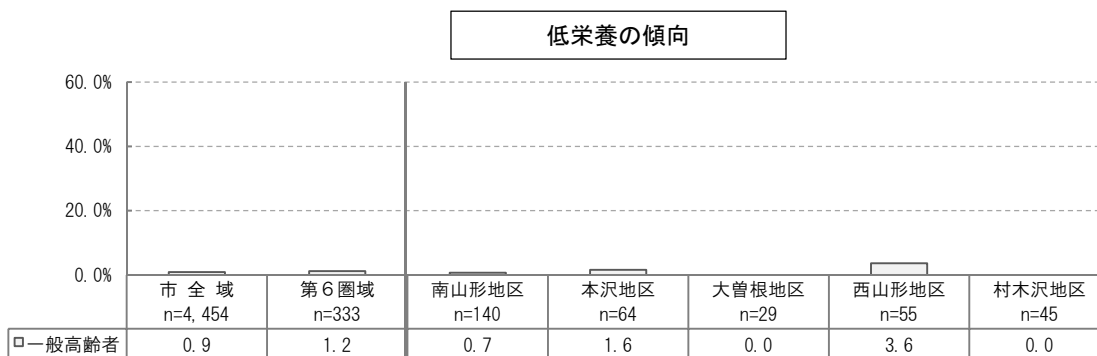
3 リスク別該当者の予測

○〈第6圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈村木沢地区〉で市平均値より3.0ポイント、〈西山形地区〉で1.6ポイント、〈本沢地区〉で0.8ポイント高く、各地区の出現率は12.9～17.8%で、地区差の最大値は4.9ポイントとなっています。

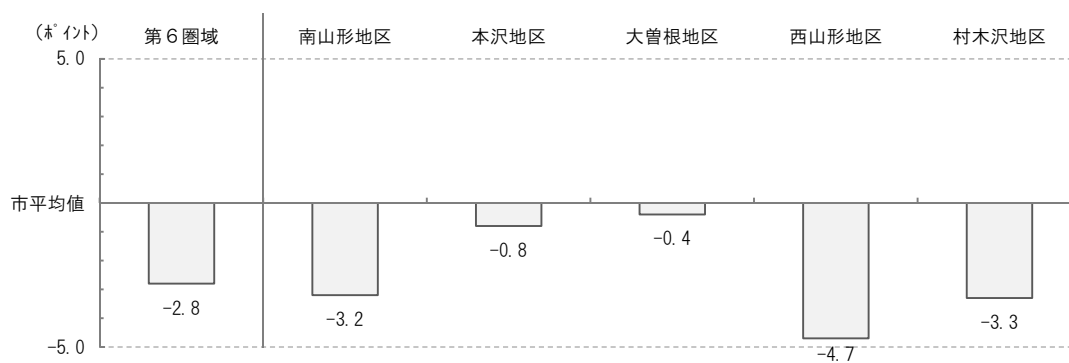
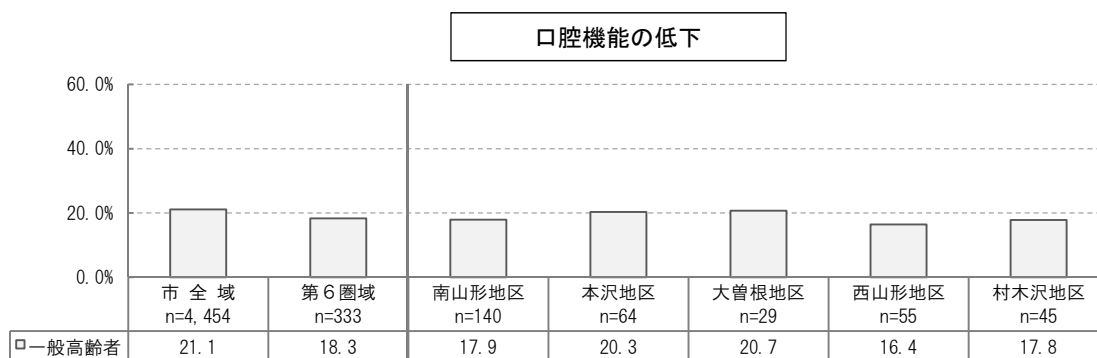
図 2-6.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



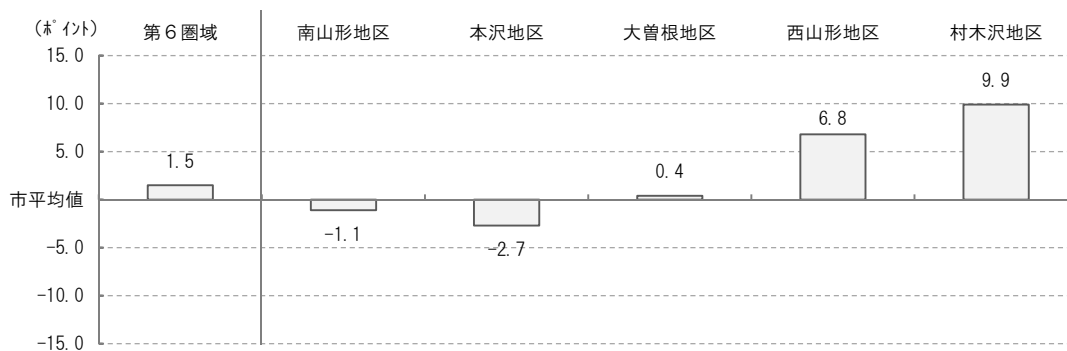
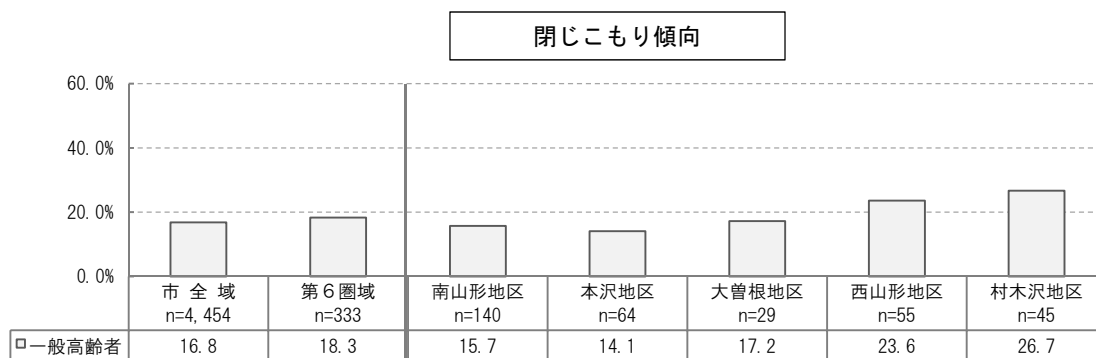
○〈第6圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈西山形地区〉で市平均値より2.7ポイント、〈本沢地区〉で0.7ポイント高く、各地区の出現率は0.7~3.6%で、地区差の最大値は2.9ポイントとなっています。



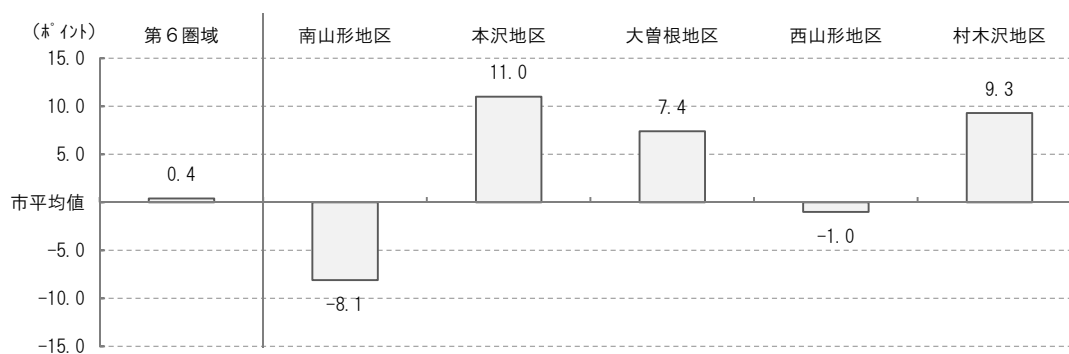
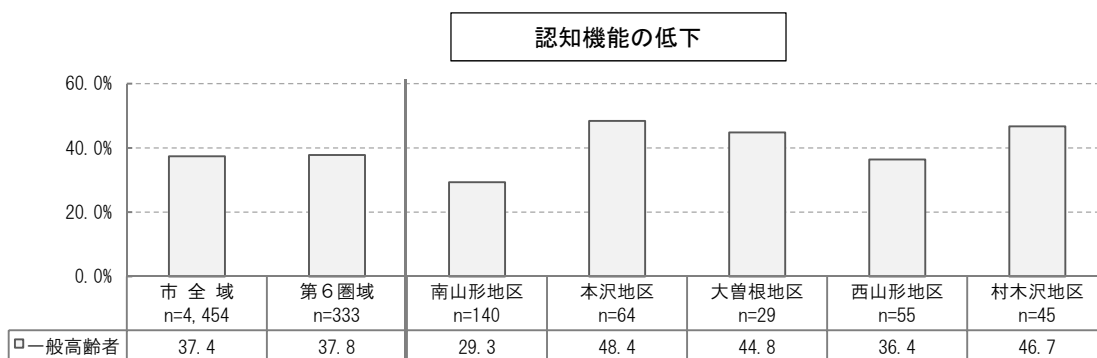
○〈第6圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、市平均値を上回る地区はなく、各地区の出現率は16.4～20.7%で、地区差の最大値は4.3ポイントとなっています。



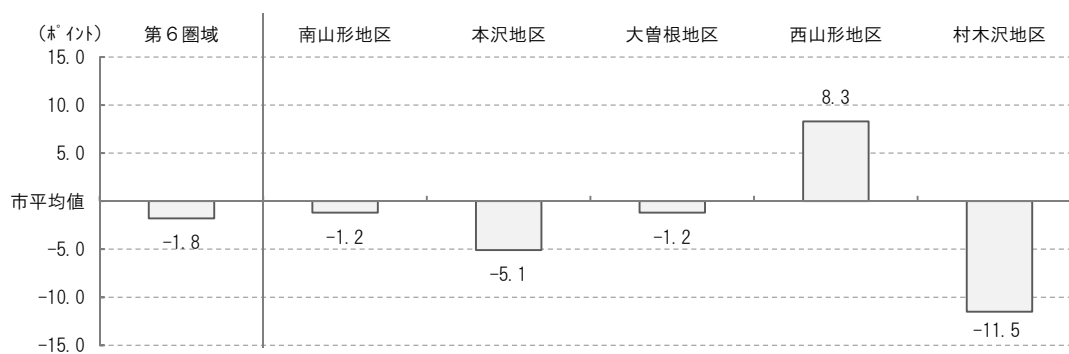
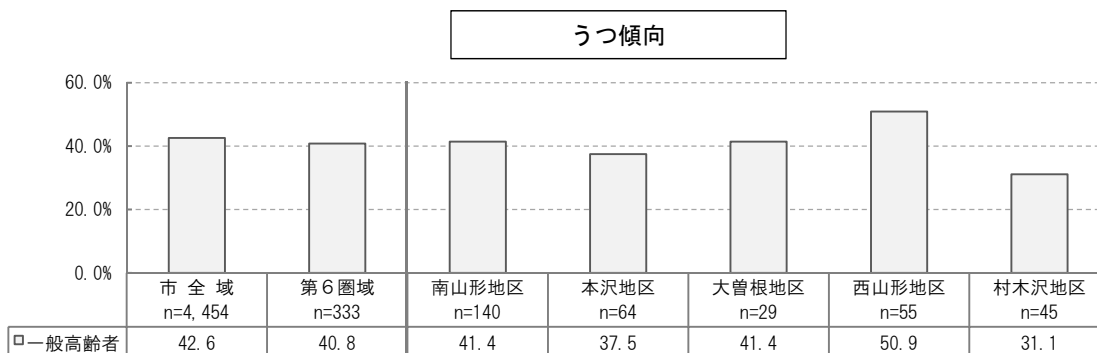
○〈第6圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈村木沢地区〉で市平均値より9.9ポイント、〈西山形地区〉で6.8ポイント、〈大曽根地区〉で0.4ポイント高く、各地区の出現率は14.1～26.7%で、地区差の最大値は12.6ポイントとなっています。



○〈第6圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈本沢地区〉で市平均値より11.0ポイント、〈村木沢地区〉で9.3ポイント、〈大曾根地区〉で7.4ポイント高く、各地区の出現率は29.3～48.4%で、地区差の最大値は19.1ポイントとなっています。



○〈第6圏域〉の「うつ傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈西山形地区〉で市平均値より8.3ポイント高く、各地区の出現率は31.1～50.9%で、地区差の最大値は19.8ポイントとなっています。

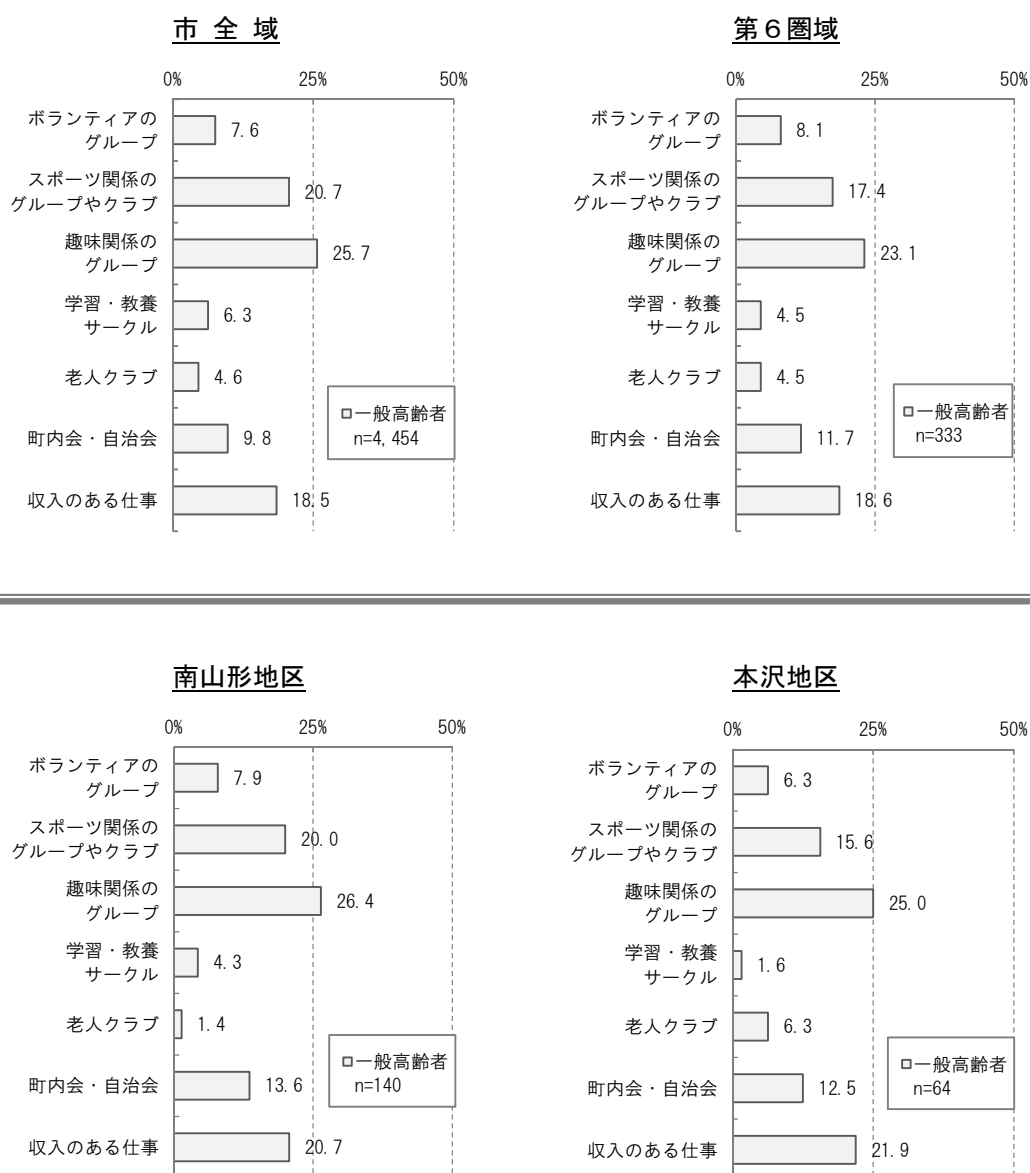


4 地域資源等の把握

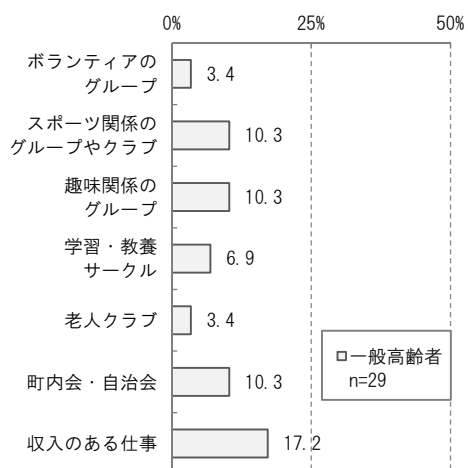
(1) 地域活動への参加状況

○〈第6圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、〈南山形地区〉〈本沢地区〉〈西山形地区〉で「趣味関係のグループ」、〈大曾根地区〉で「収入のある仕事」、〈村木沢地区〉で「趣味関係のグループ」「収入のある仕事」が最も高くなっています。

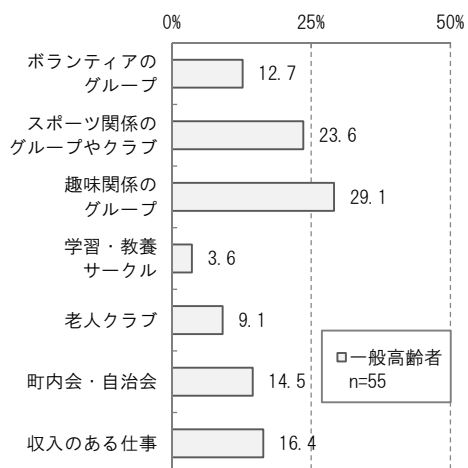
図 2-6.8 地域活動への参加状況



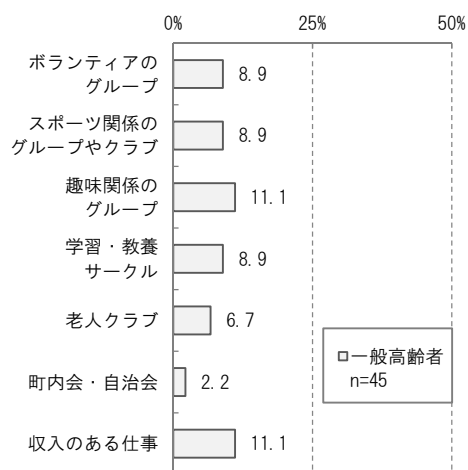
大曽根地区



西山形地区



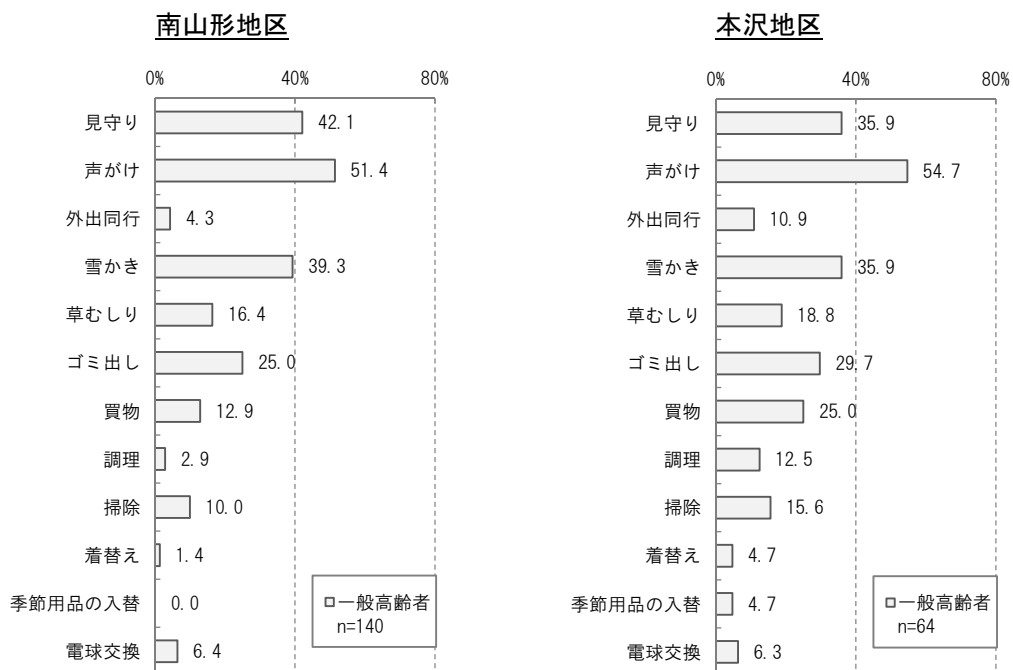
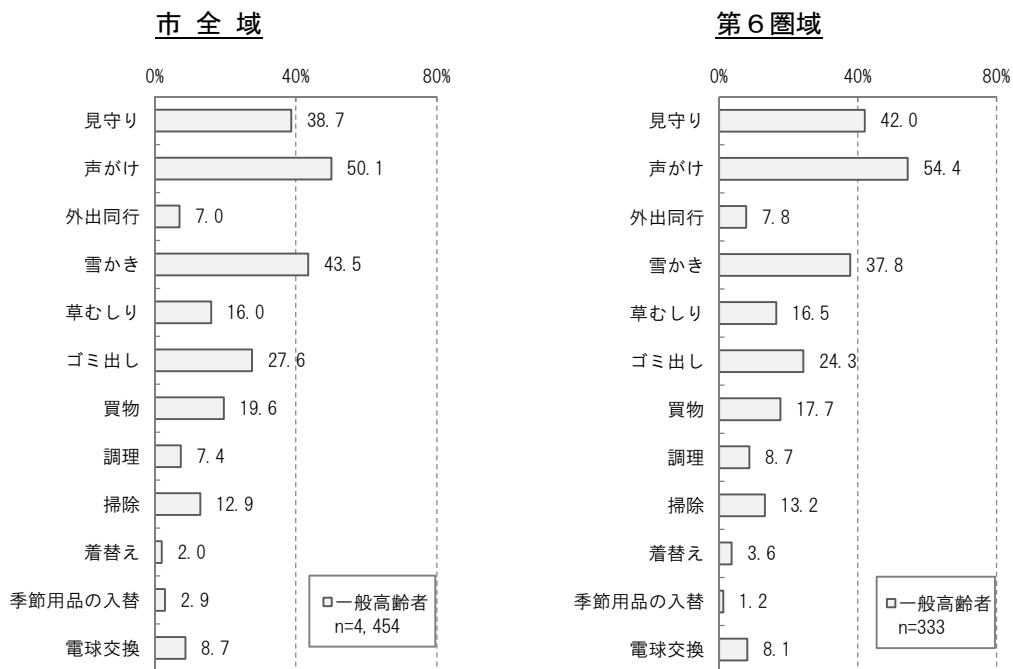
村木沢地区



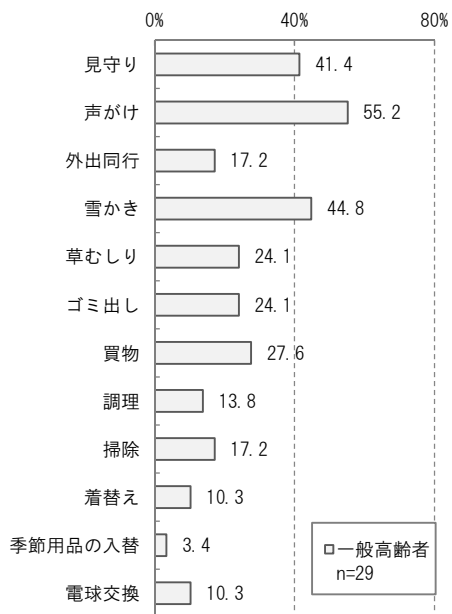
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第6圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、全ての地区で「声かけ」が最も高く、次いで〈南山形地区〉〈西山形地区〉〈村木沢地区〉で「見守り」、〈大曾根地区〉で「雪かき」、〈本沢地区〉で「見守り」「雪かき」となっています。

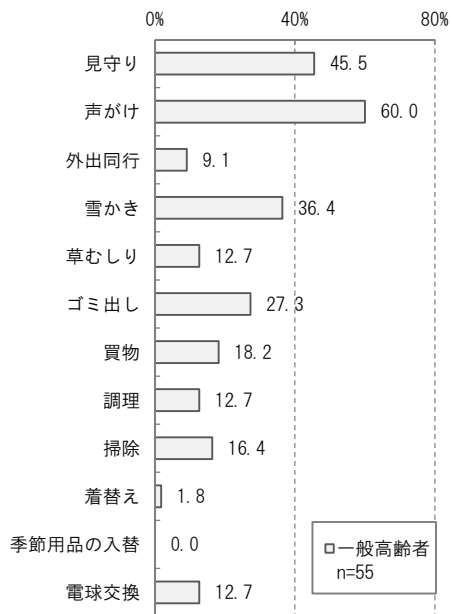
図 2-6.9 近隣住民をお願いしたい支援



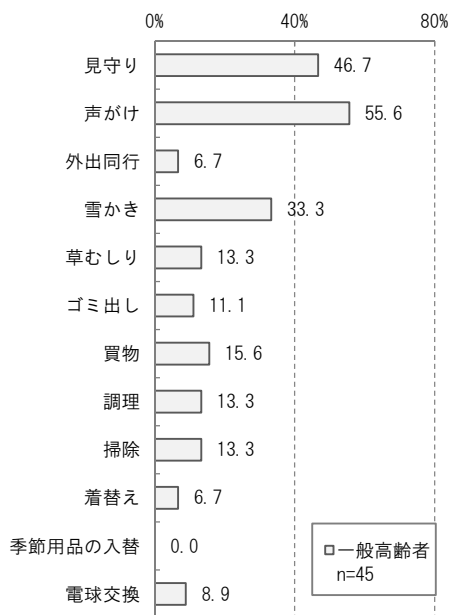
大曽根地区



西山形地区



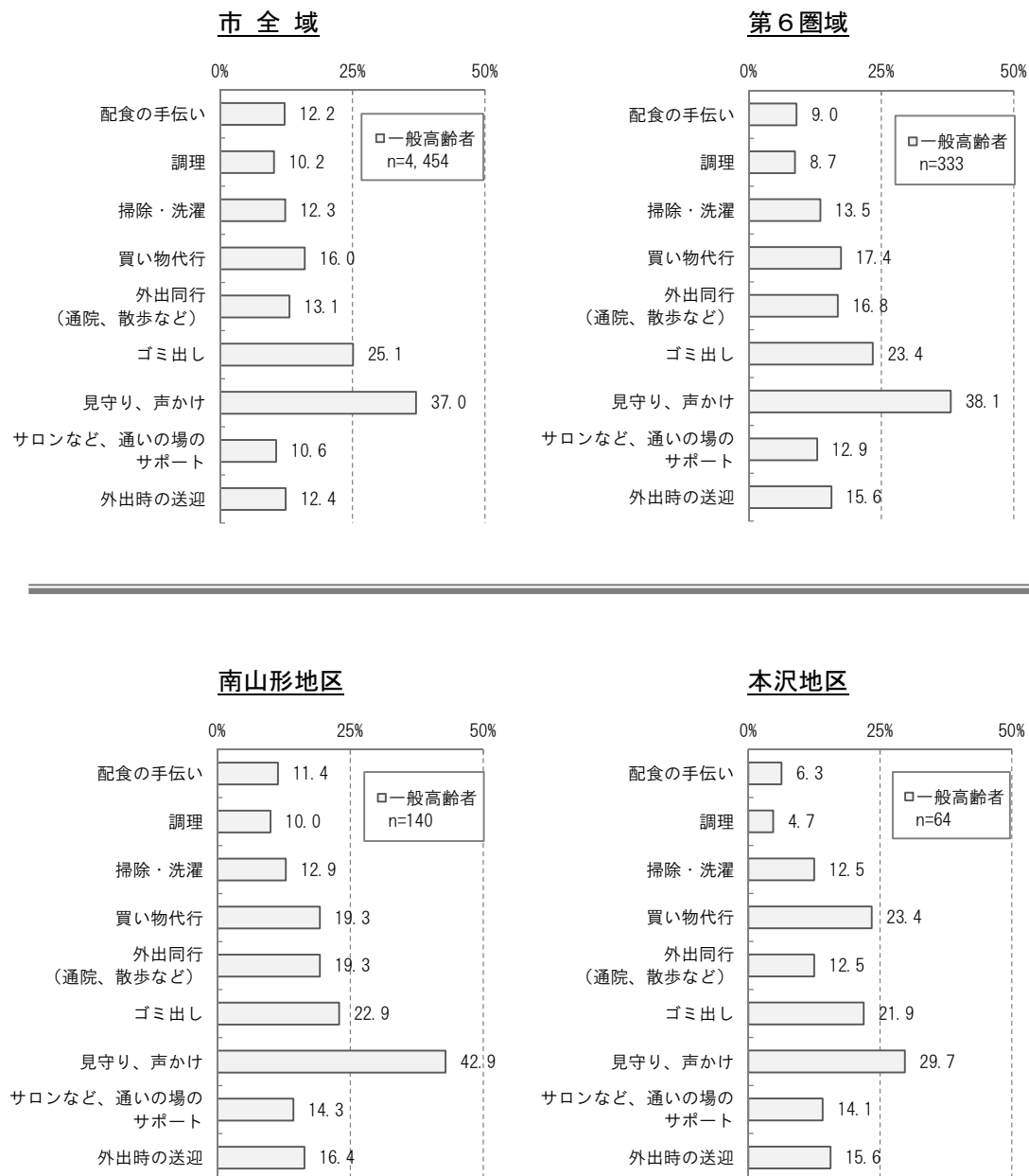
村木沢地区



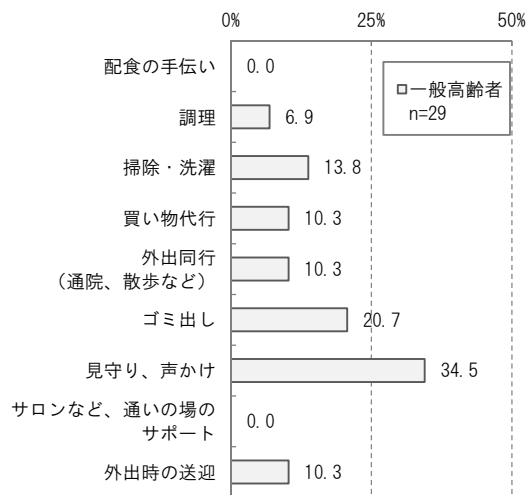
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第6圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声掛け」が最も高く、次いで〈南山形地区〉〈大曾根地区〉〈西山形地区〉〈村木沢地区〉で「ゴミ出し」、〈本沢地区〉で「買い物代行」となっています。。

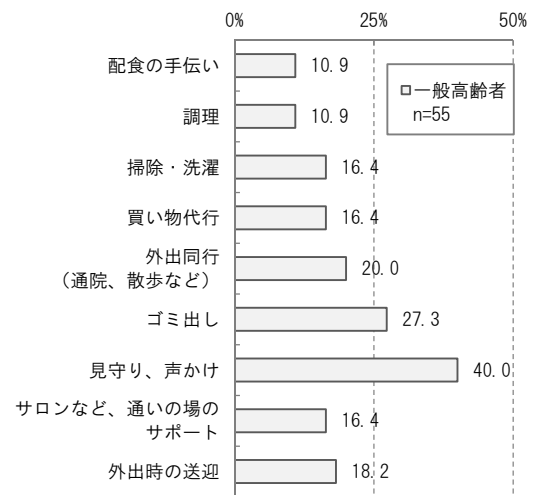
図 2-6.10 高齢者の地域支援意向



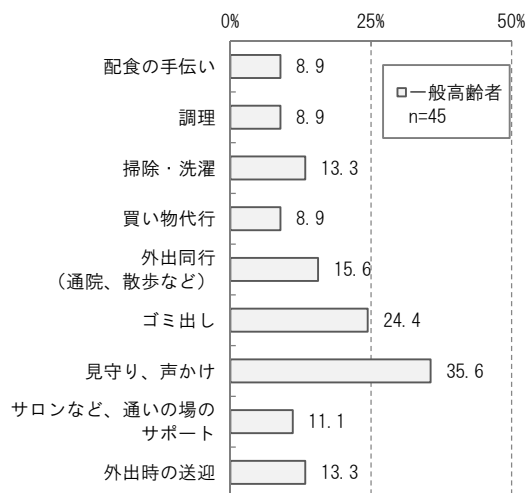
大曽根地区



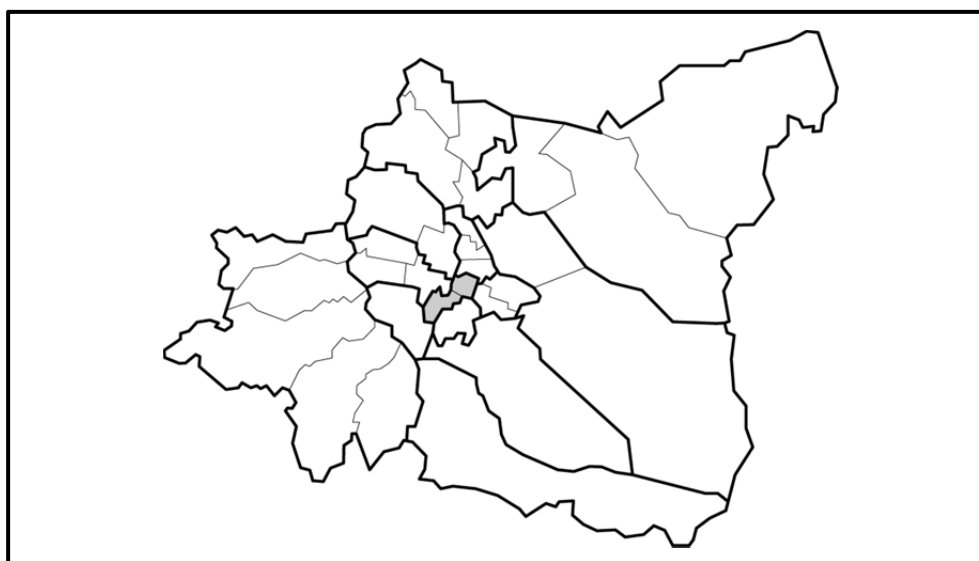
西山形地区



村木沢地区



VII 「第7圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第7圏域	14,860	4,047	27.2	1,928	2,119	52.4
第一地区	4,656	1,428	30.7	679	749	52.5
第二地区	10,204	2,619	25.7	1,249	1,370	52.3

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第7圏域	3,384	160	503	16.4	214	5.3
第一地区	1,185	57	186	17.0	89	6.2
第二地区	2,199	103	317	16.0	125	4.8

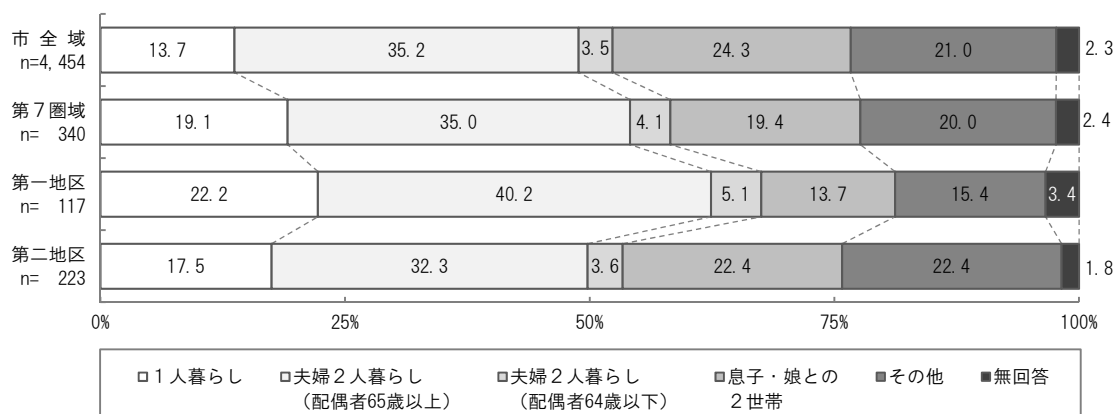
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
5カ所	25カ所	3カ所	23カ所	23カ所	19カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
1カ所	0カ所	66カ所	1カ所	7カ所	9カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第7圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、〈第一地区〉〈第二地区〉ともに「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（40.2%・32.3%）が最も高くなっています。

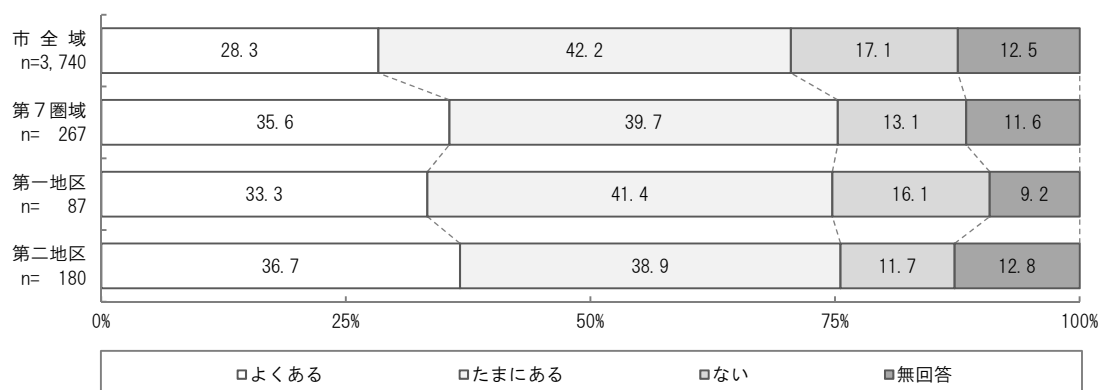
図 2-7.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第7圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈第一地区〉〈第二地区〉ともに「たまにある」（41.4%・38.9%）が最も高くなっています。

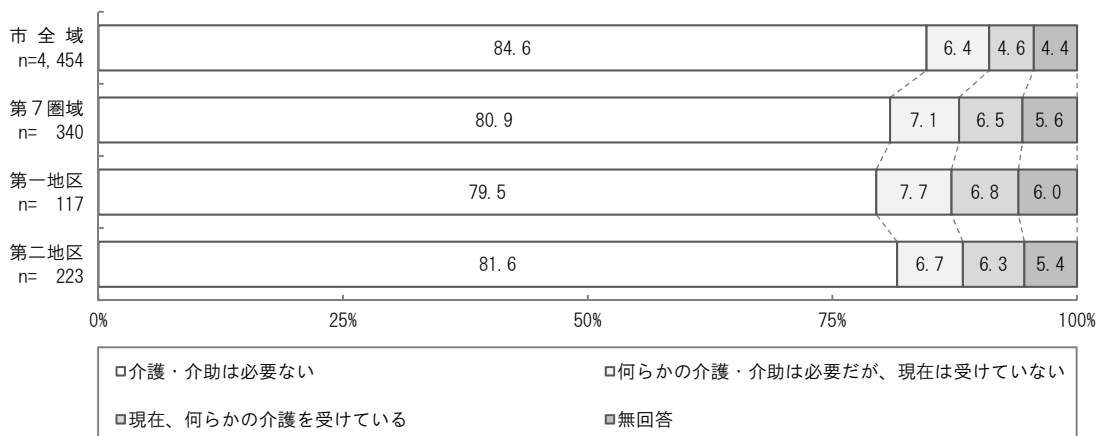
図 2-7.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第7圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、〈第一地区〉〈第二地区〉ともに「介護・介助は必要ない」(79.5%・81.6%)が最も高くなっています。

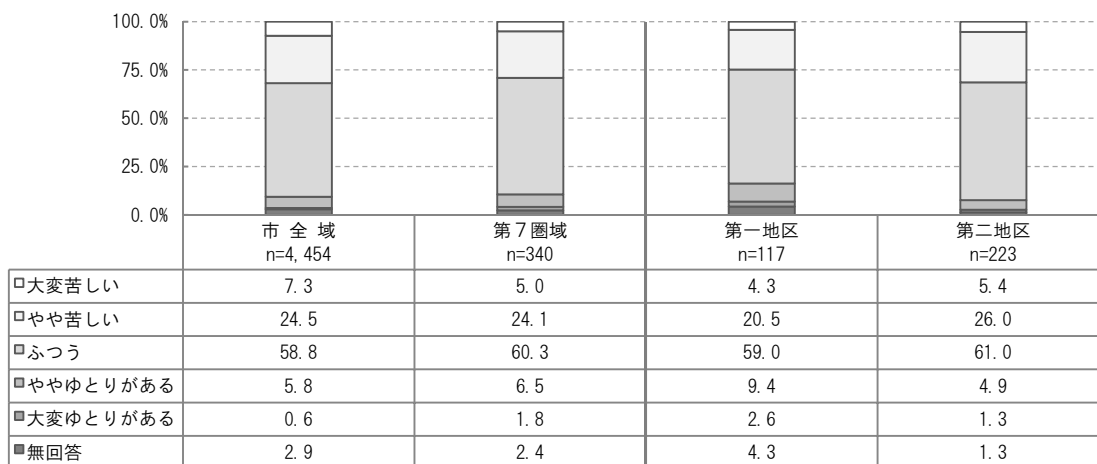
図 2-7.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第7圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、〈第一地区〉〈第二地区〉ともに「ふつう」(59.0%・61.0%)が最も高くなっています。

図 2-7.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

- 〈第7圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、サービス事業対象者は〈第一地区〉〈第二地区〉で市平均値を上回っています。健康高齢者・介護予防事業対象者では〈第一地区〉〈第二地区〉ともに市平均値を下回っています。

図 2-7.5 3つの高齢者像別出現率

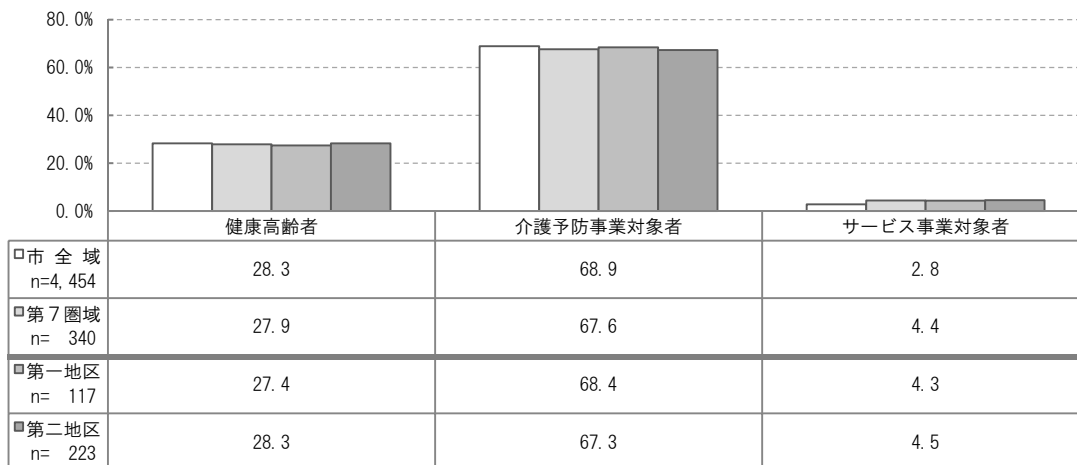
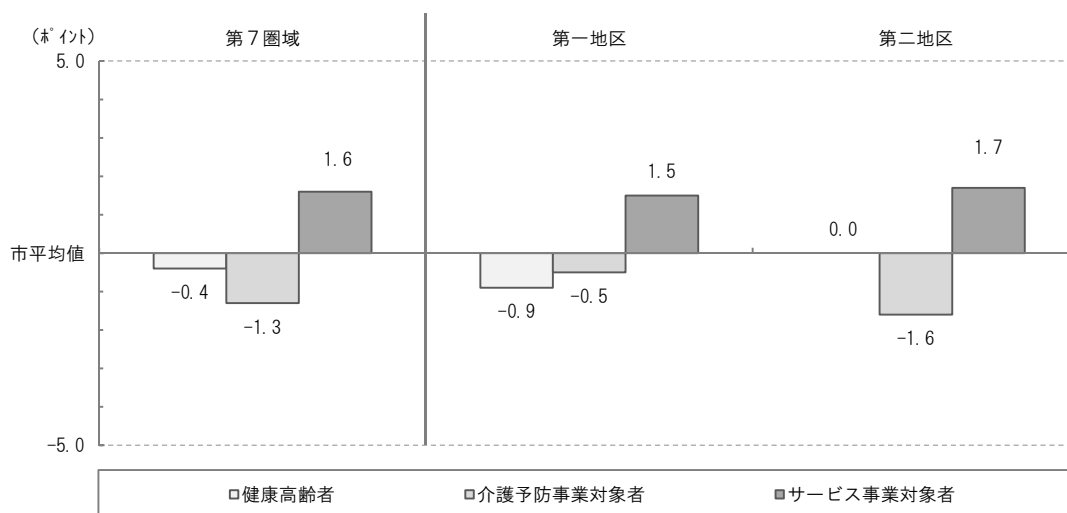


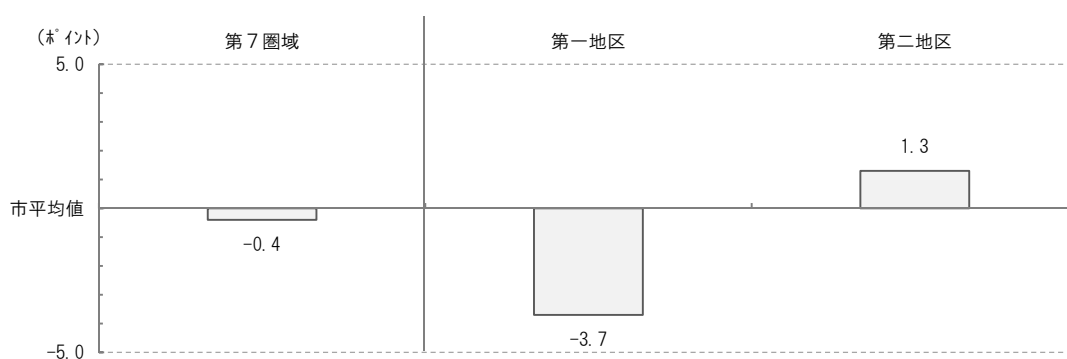
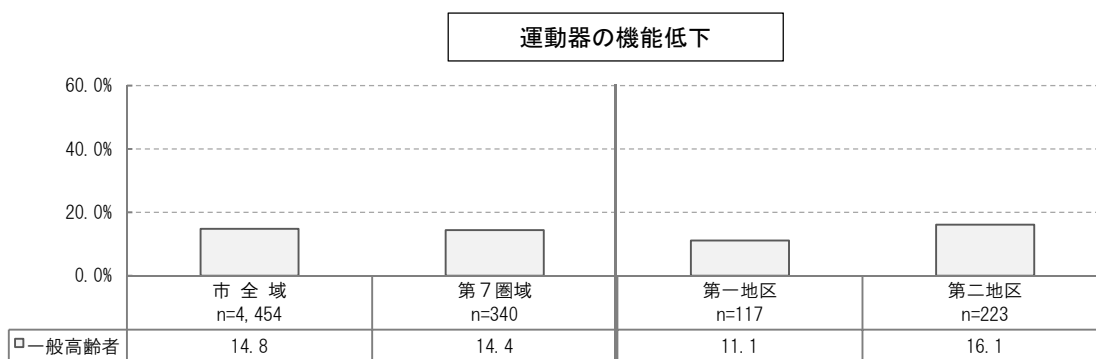
図 2-7.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



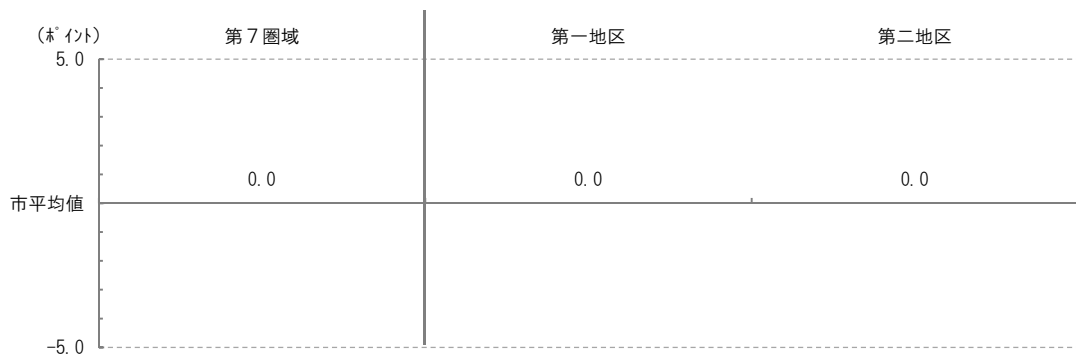
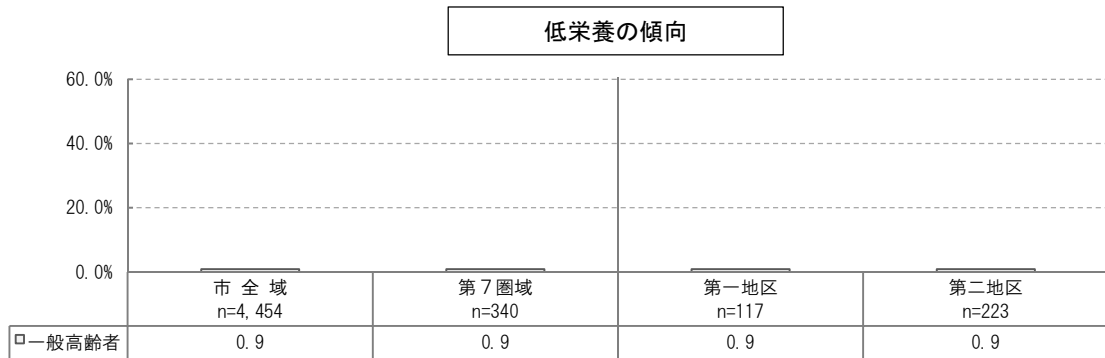
3 リスク別該当者の予測

○〈第7圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第二地区〉で市平均値より1.3ポイント高く、各地区の出現率（11.1%・16.1%）の差は5.0ポイントになっています。

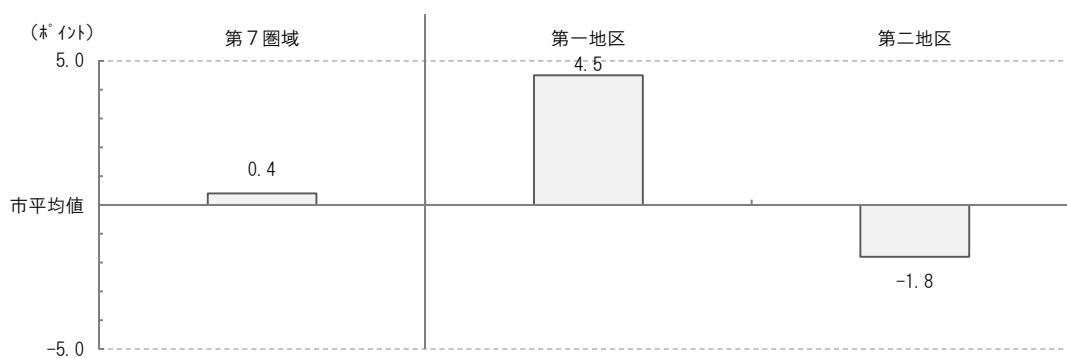
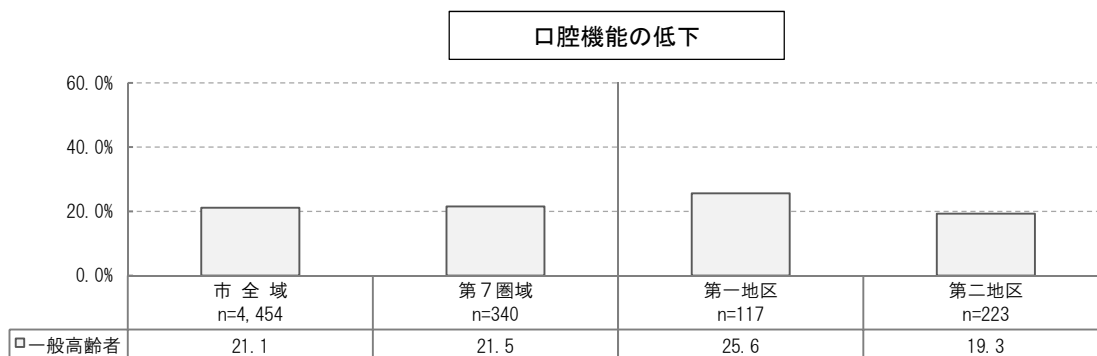
図 2-7.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



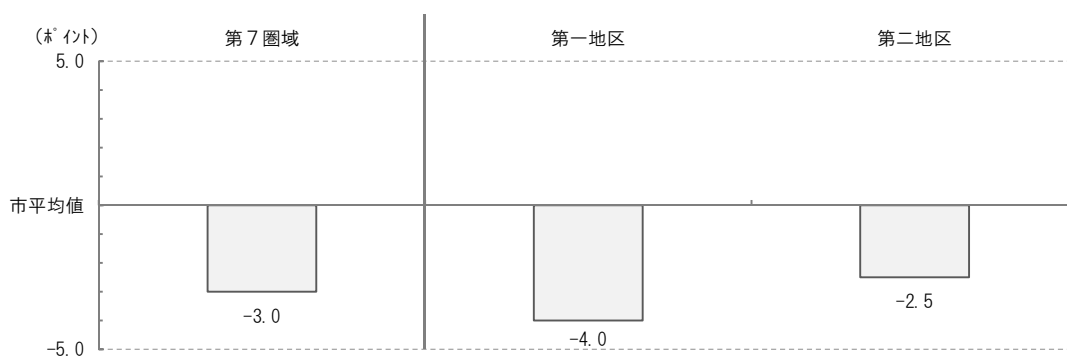
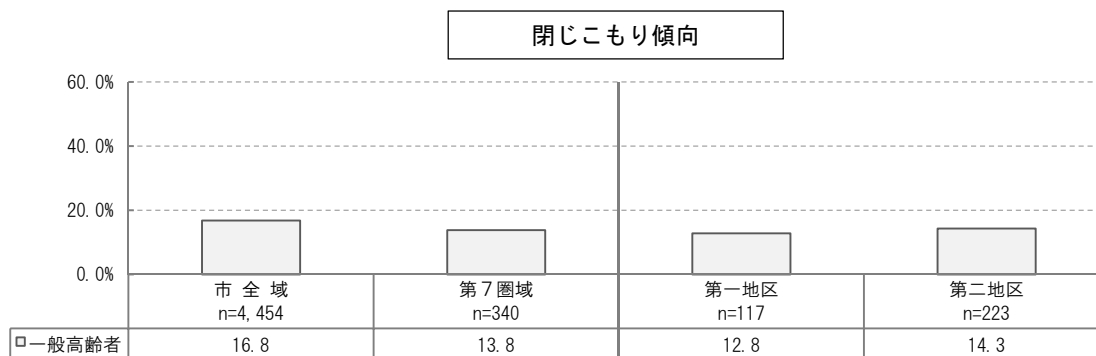
○〈第7圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第一地区〉〈第二地区〉ともに市平均値と同じ値となっています。



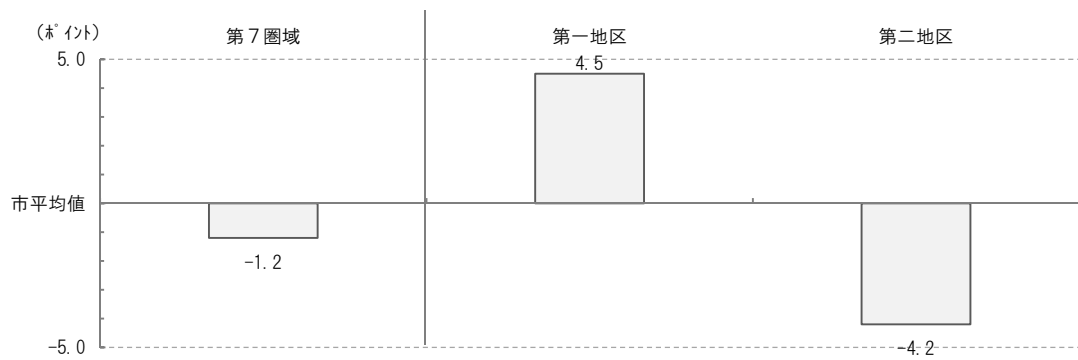
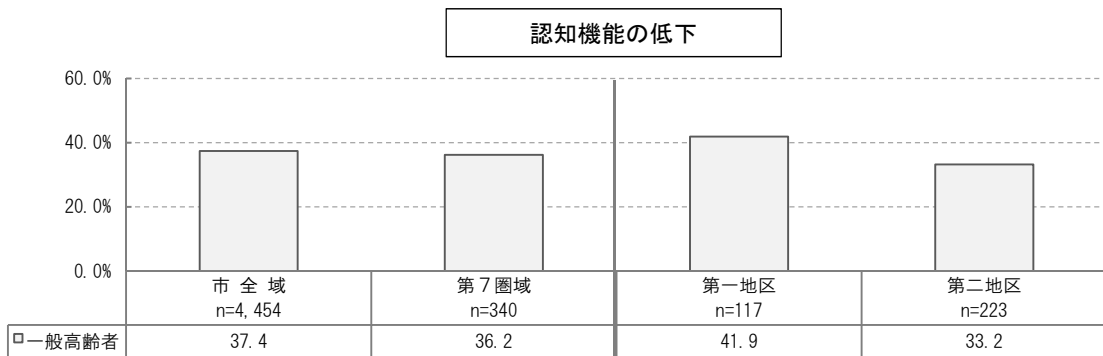
○ 〈第7圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第一地区〉で市平均値より4.5ポイント高く、各地区の出現率（25.6%・19.3%）の差は6.3ポイントとなっています。



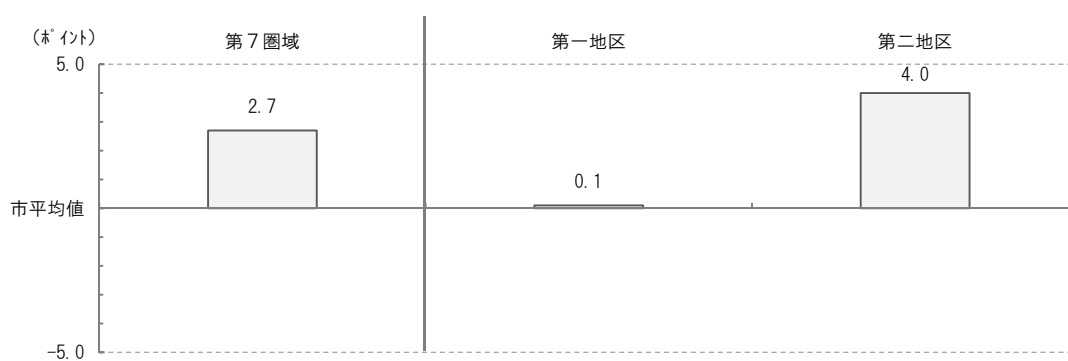
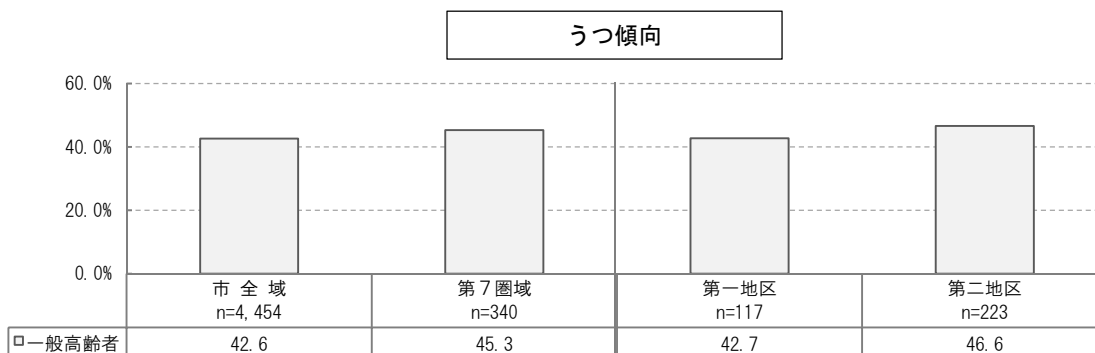
○〈第7圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当者の出現率の地域差を地区別にみると、〈第一地区〉〈第二地区〉ともに市平均値より低く、各地区の出現率（12.8%・14.3%）の差は1.5ポイントとなっています。



○〈第7圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当者の出現率の地域差を地区別にみると、〈第一地区〉で市平均値より4.5ポイント高く、各地区の出現率（41.9%・33.2%）の差は8.7ポイントとなっています。



○ 〈第7圏域〉の「うつ傾向」リスク該当者の出現率の地域差を地区別にみると、〈第一地区〉で市平均値より0.1ポイント、〈第二地区〉で4.0ポイント高く、各地区の出現率(42.7%・46.6%)の差は3.9ポイントとなっています。

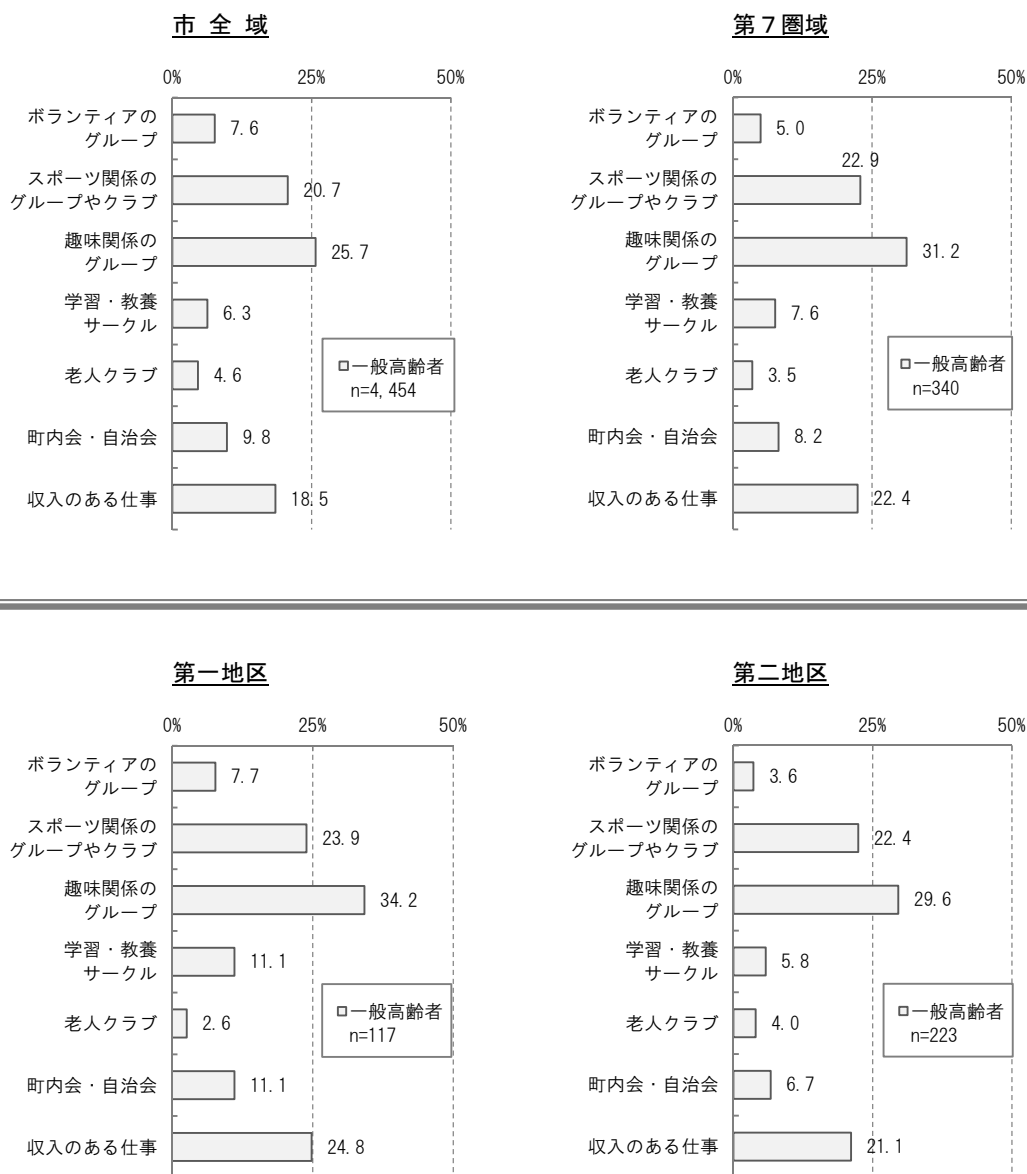


4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第7圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、全ての地区で「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。

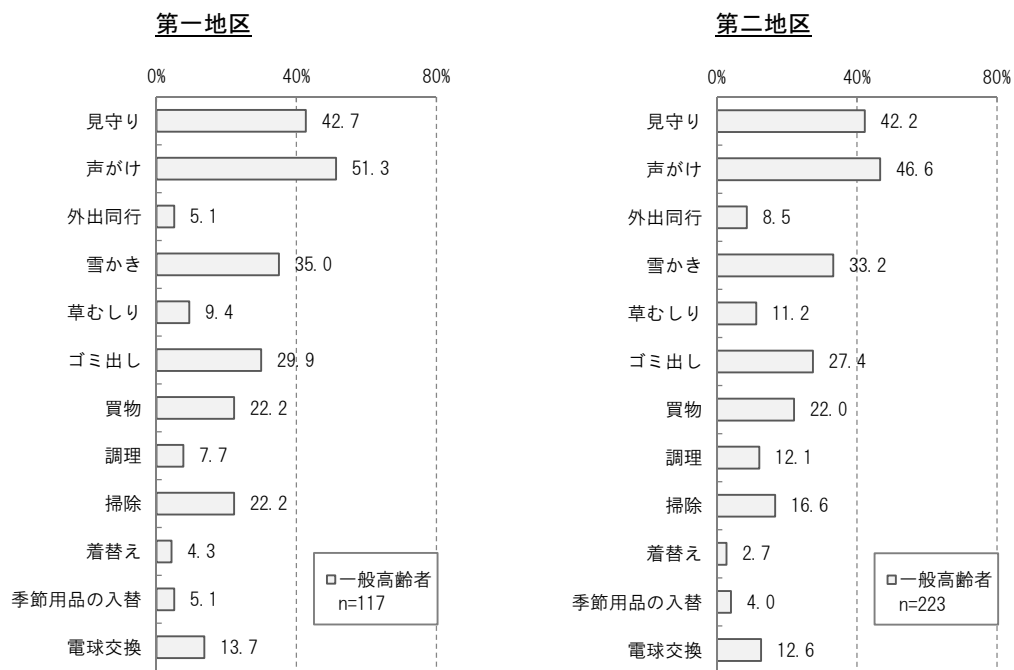
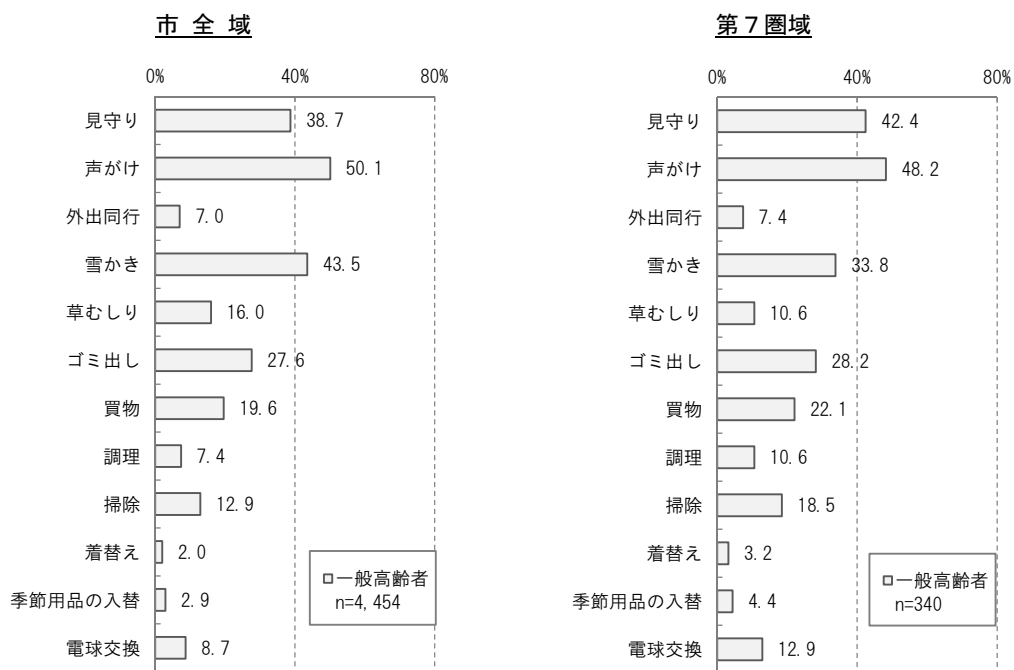
図 2-7.8 地域活動への参加状況



(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第7圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、全ての地区で「声かけ」が最も高く、次いで「見守り」となっています。

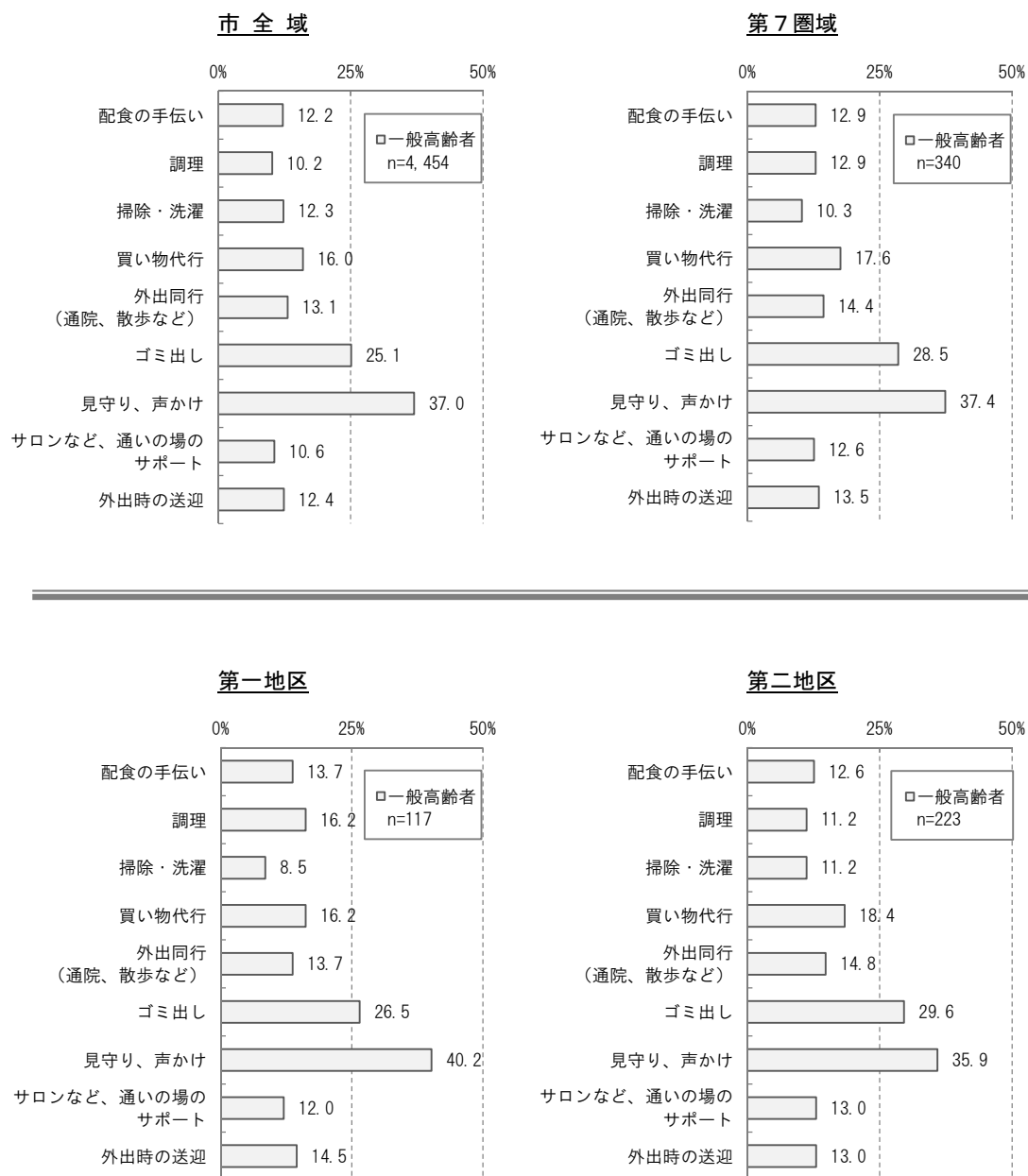
図 2-7.9 近隣住民をお願いしたい支援



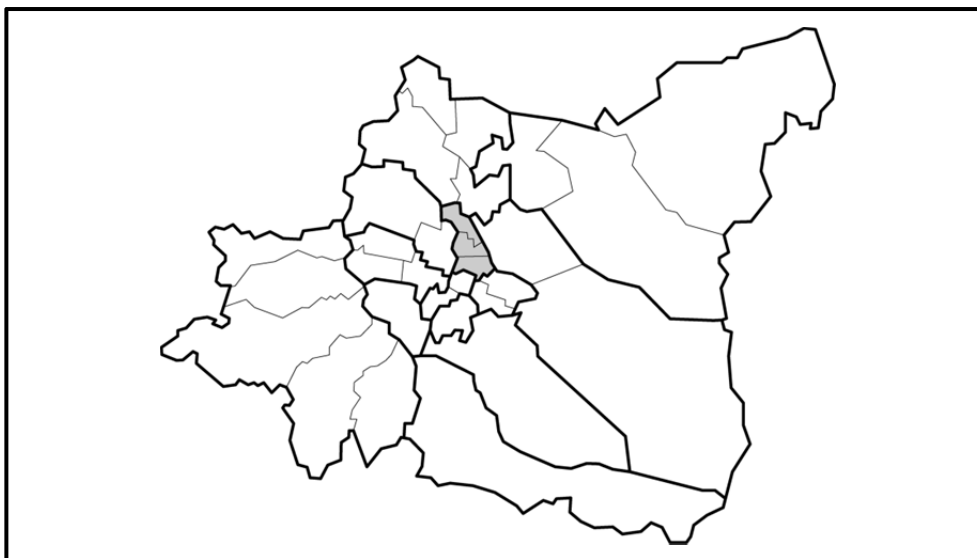
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第7圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

図 2-7.10 高齢者の地域支援意向



VIII 「第8圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率 (%)
第8圏域	21,644	5,715	26.4	2,632	3,083	53.9
第三地区	8,356	2,520	30.2	1,135	1,385	55.0
第四地区	5,931	2,068	34.9	890	1,178	57.0
第九地区	7,357	1,127	15.3	607	520	46.1

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第8圏域	4,655	213	847	18.5	410	7.2
第三地区	2,095	104	321	16.9	129	5.1
第四地区	1,608	80	380	22.2	215	10.4
第九地区	952	29	146	15.5	66	5.9

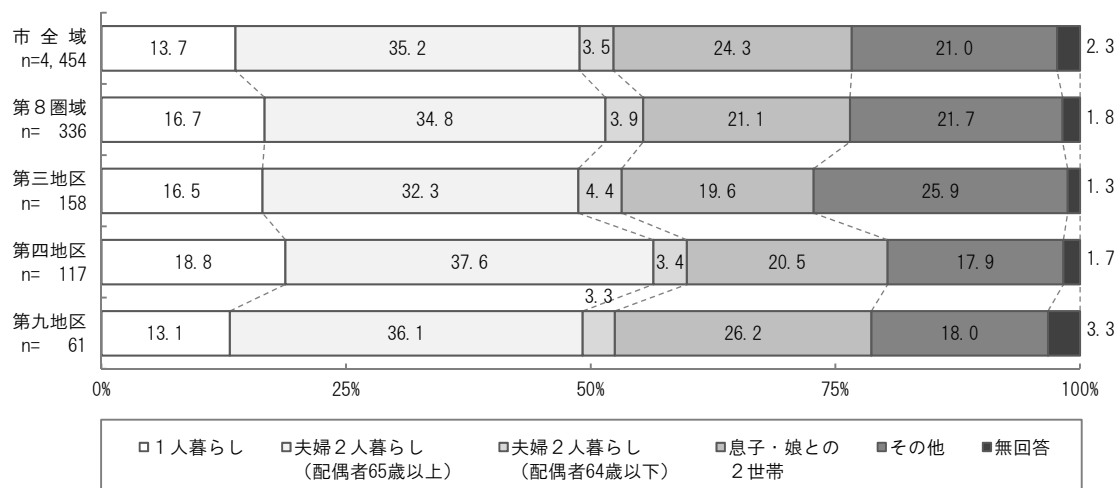
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	24カ所	9カ所	20カ所	17カ所	15カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
2カ所	5カ所	63カ所	2カ所	9カ所	12カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第8圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、全ての地区で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（32.3～37.6%）が最も高くなっています。

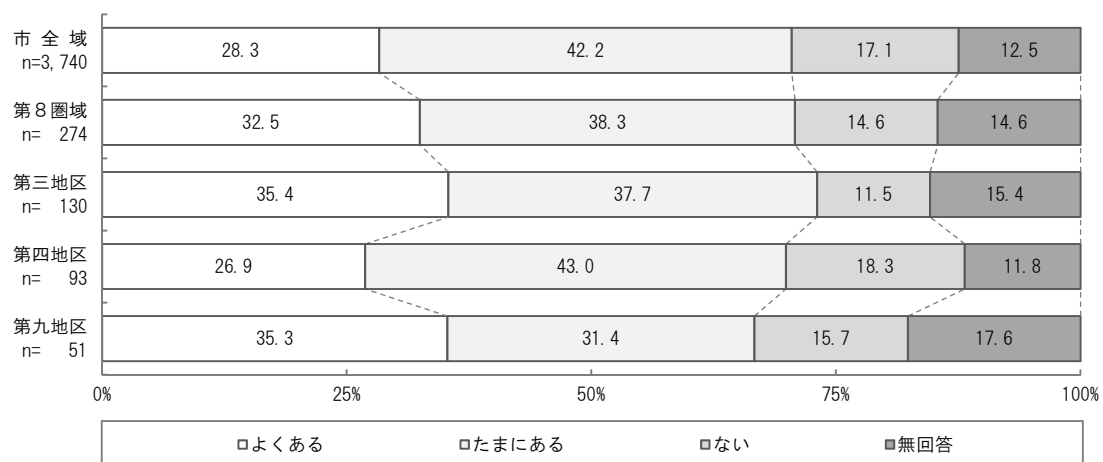
図 2-8.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第8圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈第三地区〉〈第四地区〉で「たまにある」（37.7%・43.0%）、〈第九地区〉で「よくある」（35.3%）が最も高くなっています。

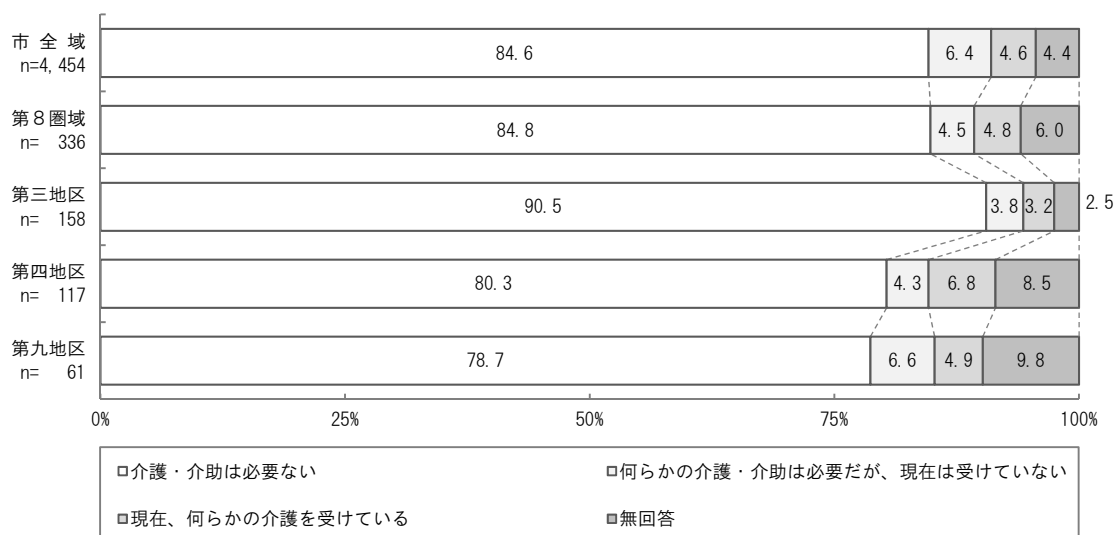
図 2-8.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第8圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、全ての地区で「介護・介助は必要ない」（78.7～90.5%）が最も高くなっています。

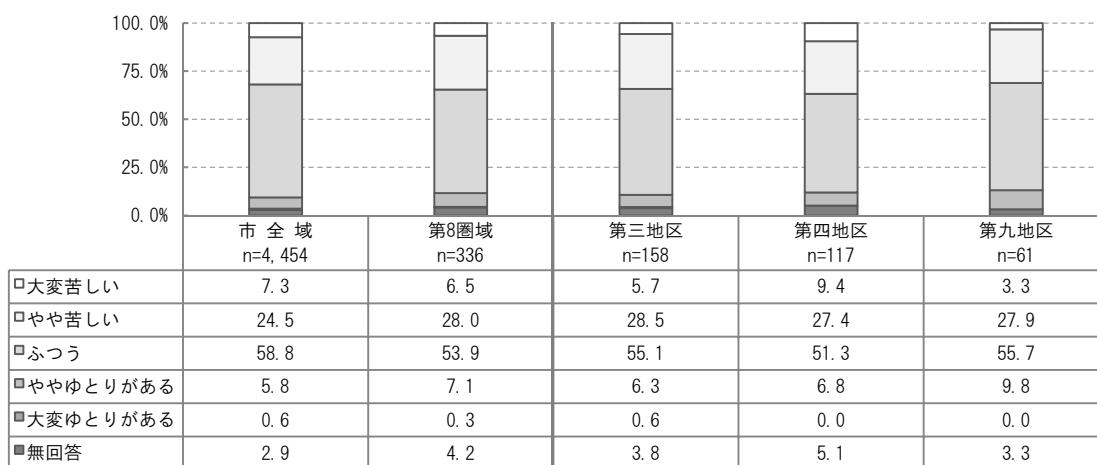
図 2-8.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第8圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、全ての地区で「ふつう」（51.3～55.7%）が最も高くなっています。

図 2-8.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像” からみた地域分析

- 〈第8圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、健康高齢者では〈第三地区〉、介護予防事業対象者では〈第四地区〉、サービス事業対象者では〈第四地区〉〈第九地区〉で市平均値を上回っています。

図 2-8.5 3つの高齢者像別出現率

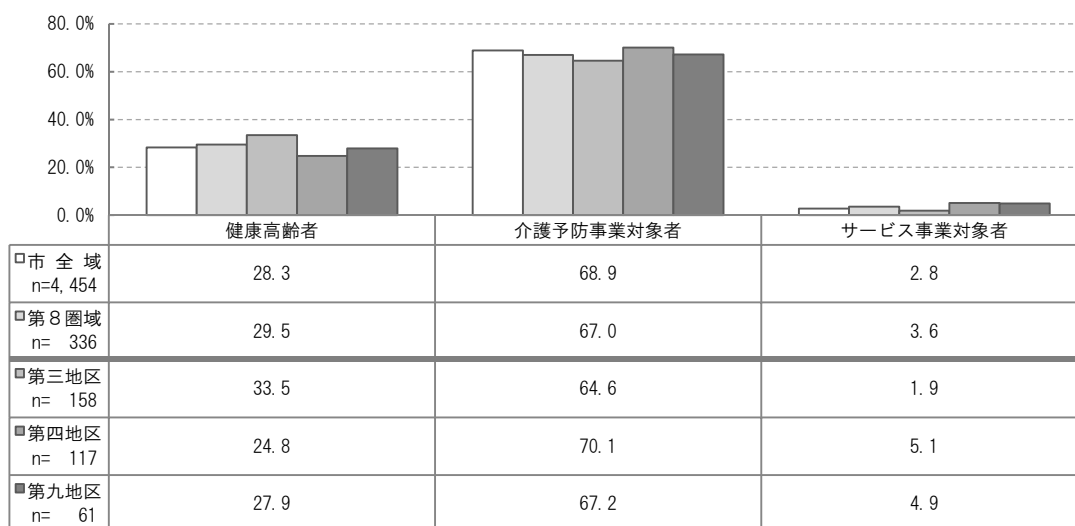
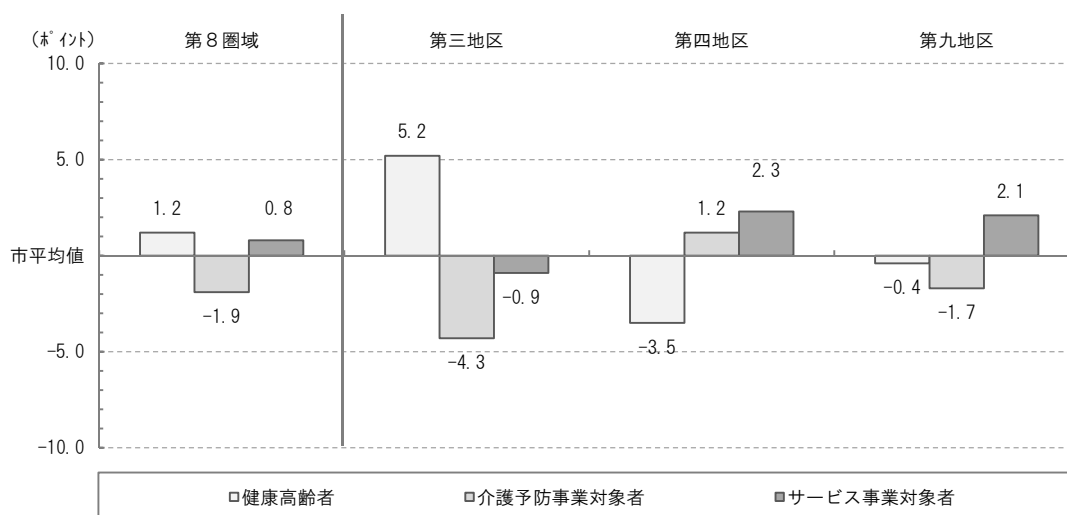


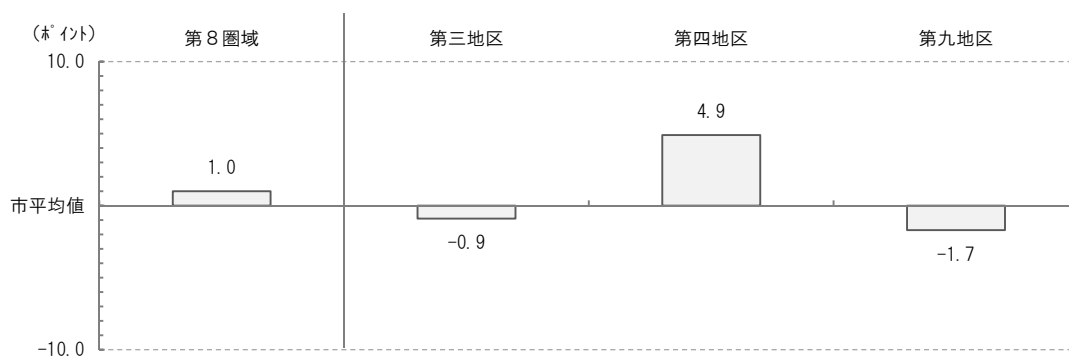
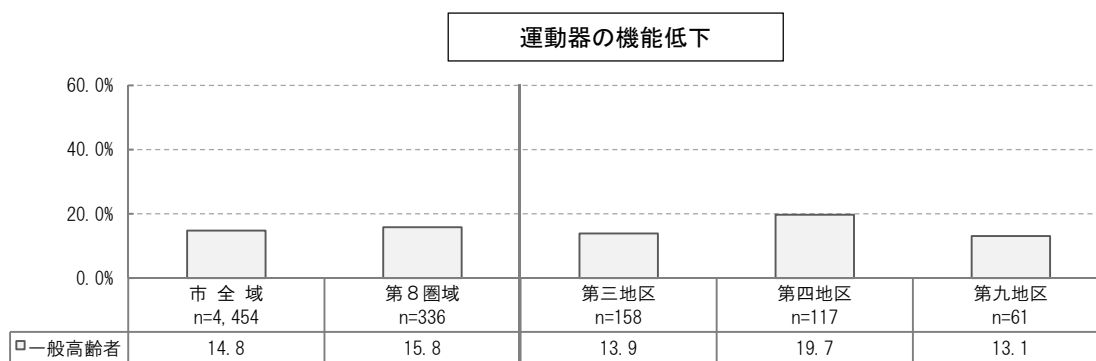
図 2-8.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



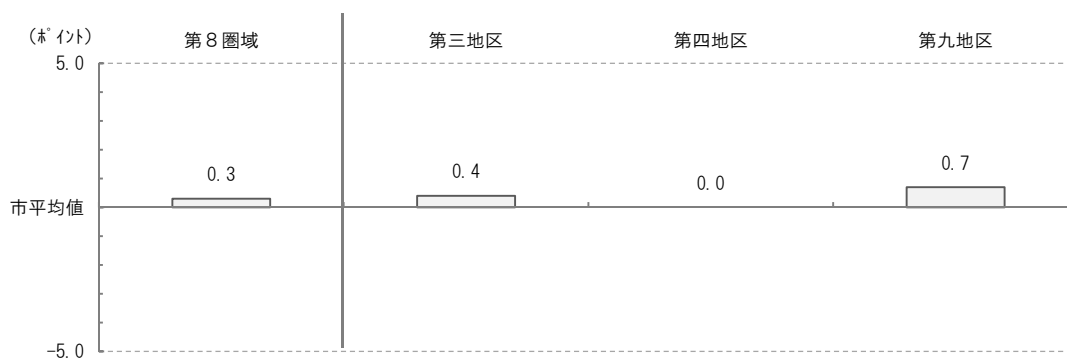
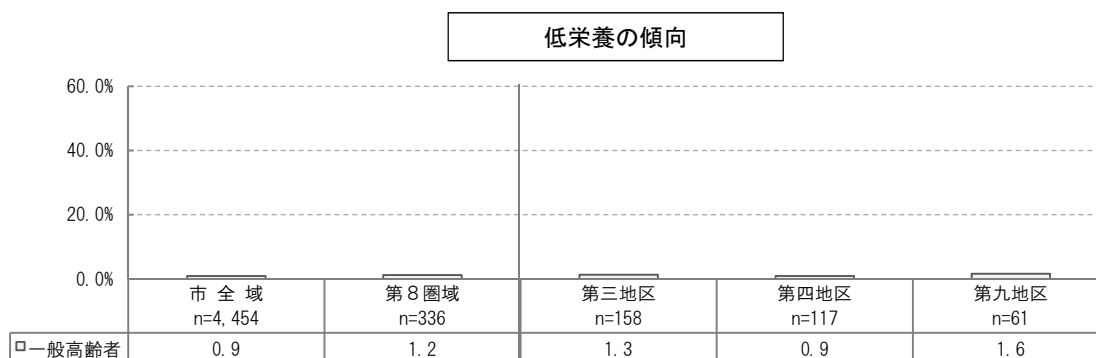
3 リスク別該当者の予測

○〈第8圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第4地区〉で市平均値より4.9ポイント高く、各地区の出現率は13.1～19.7%で、地区差の最大値は6.6ポイントとなっています。

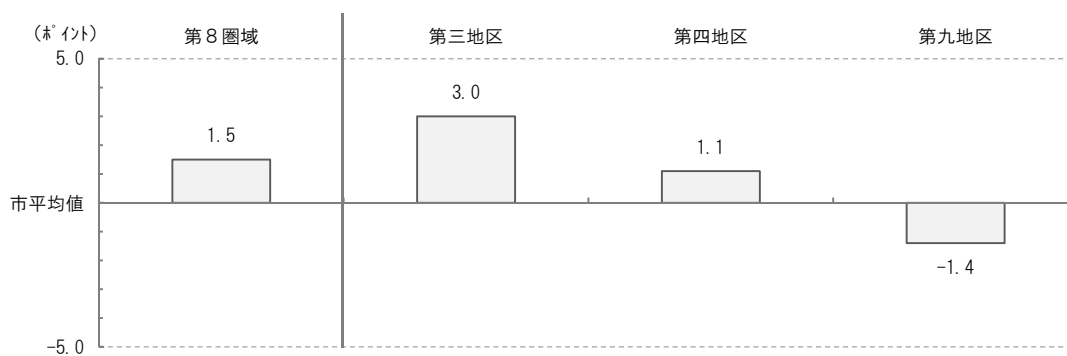
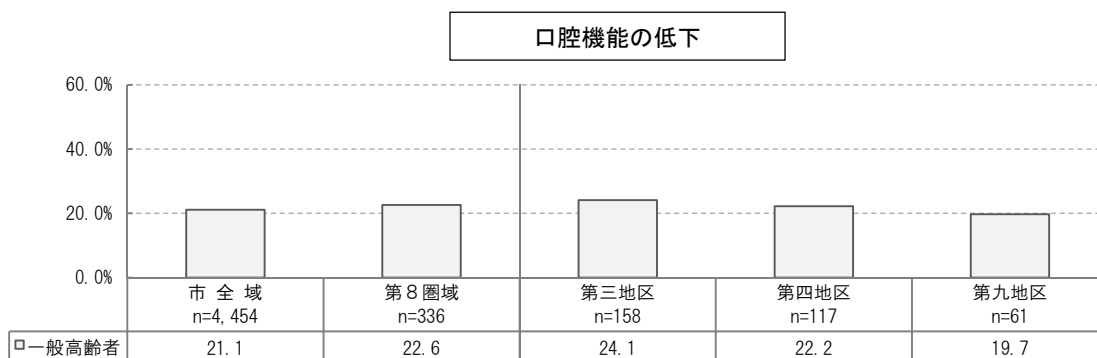
図 2-8.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



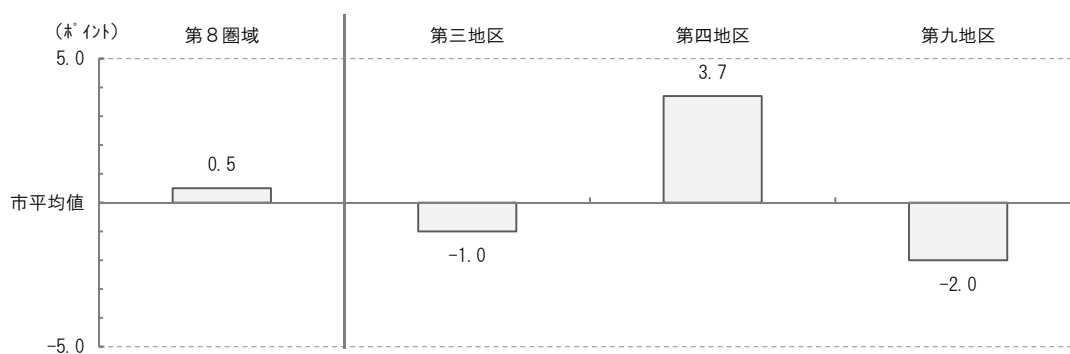
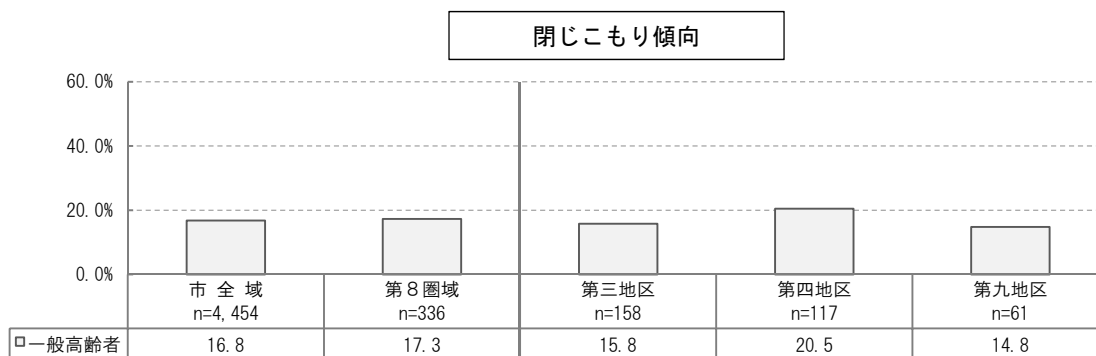
○ 〈第8圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第三地区〉で市平均値より0.4ポイント、〈第九地区〉で0.7ポイント高く、各地区の出現率は0.9～1.6%で、地区差の最大値は0.7ポイントとなっています。



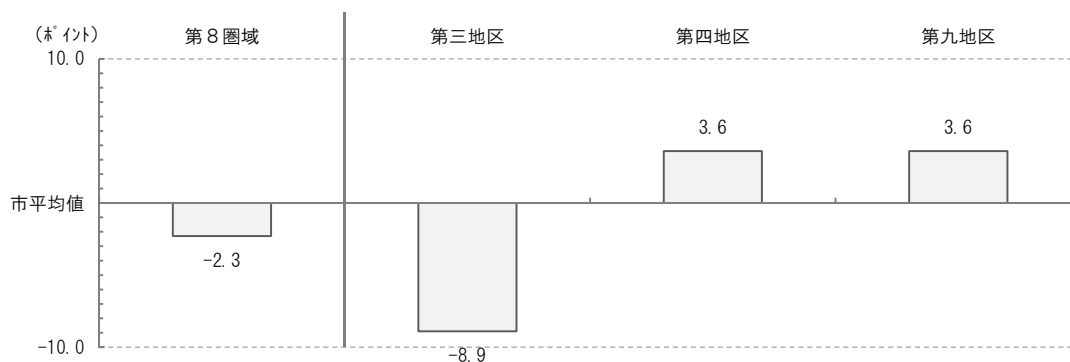
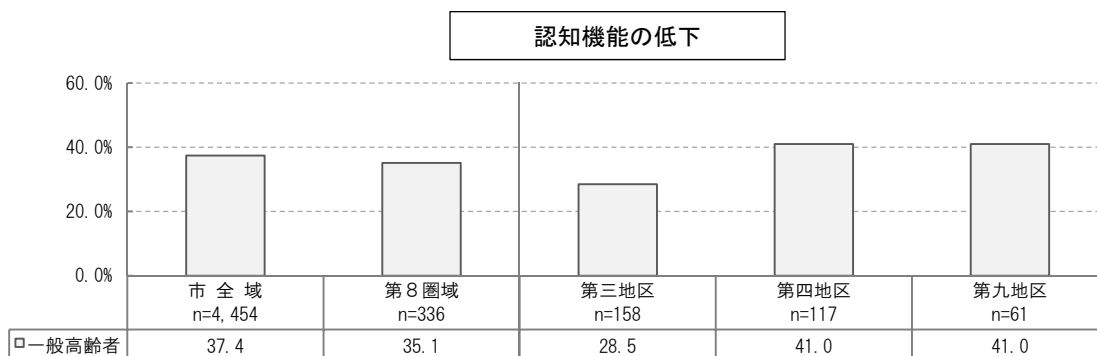
○〈第8圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第三地区〉で市平均値より3.0ポイント、〈第四地区〉で1.1ポイント高く、各地区の出現率は19.7～24.1%で、地区差の最大値は4.4ポイント以内となっています。



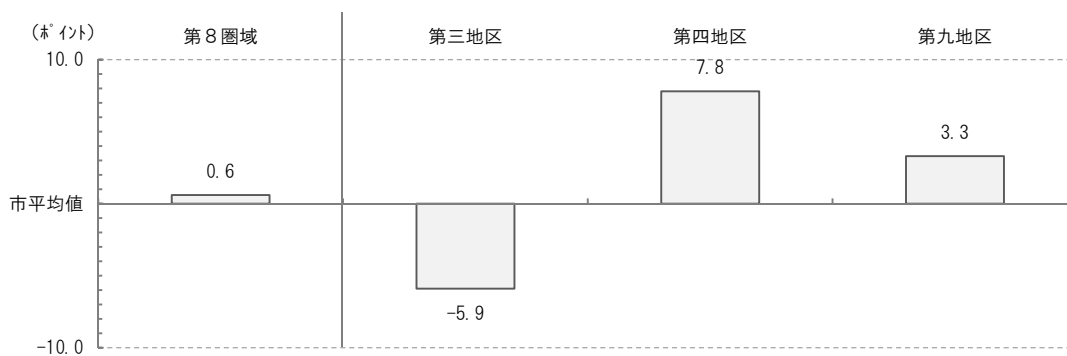
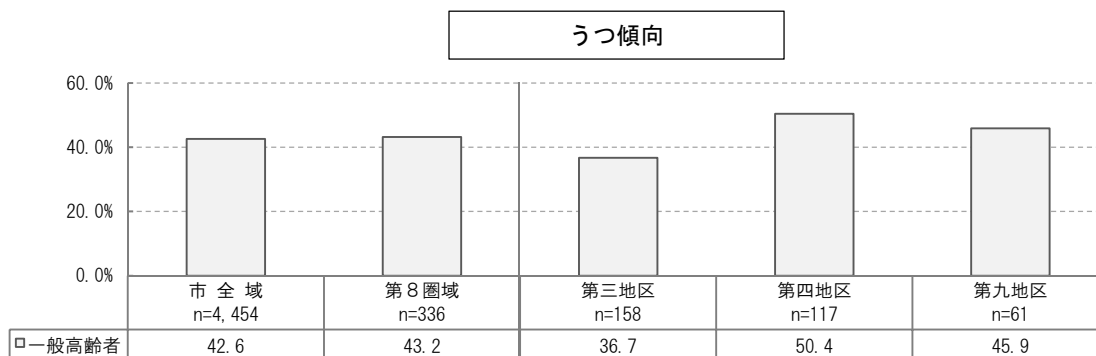
○ 〈第8圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第四地区〉で市平均値より3.7ポイント高く、各地区の出現率は14.8～20.5%で、地区差の最大値は5.7ポイントとなっています。



○ 〈第8圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第四地区〉〈第九地区〉ともに市平均値より3.6ポイント高く、各地区の出現率は28.5～41.0%で、地区差の最大値は12.5ポイント以内となっています。



○〈第8圏域〉の「うつ傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第四地区〉で市平均値より7.8ポイント、〈第九地区〉で3.3ポイント高く、各地区の出現率は36.7～50.4%で、地区差の最大値は13.7ポイント以内となっています。

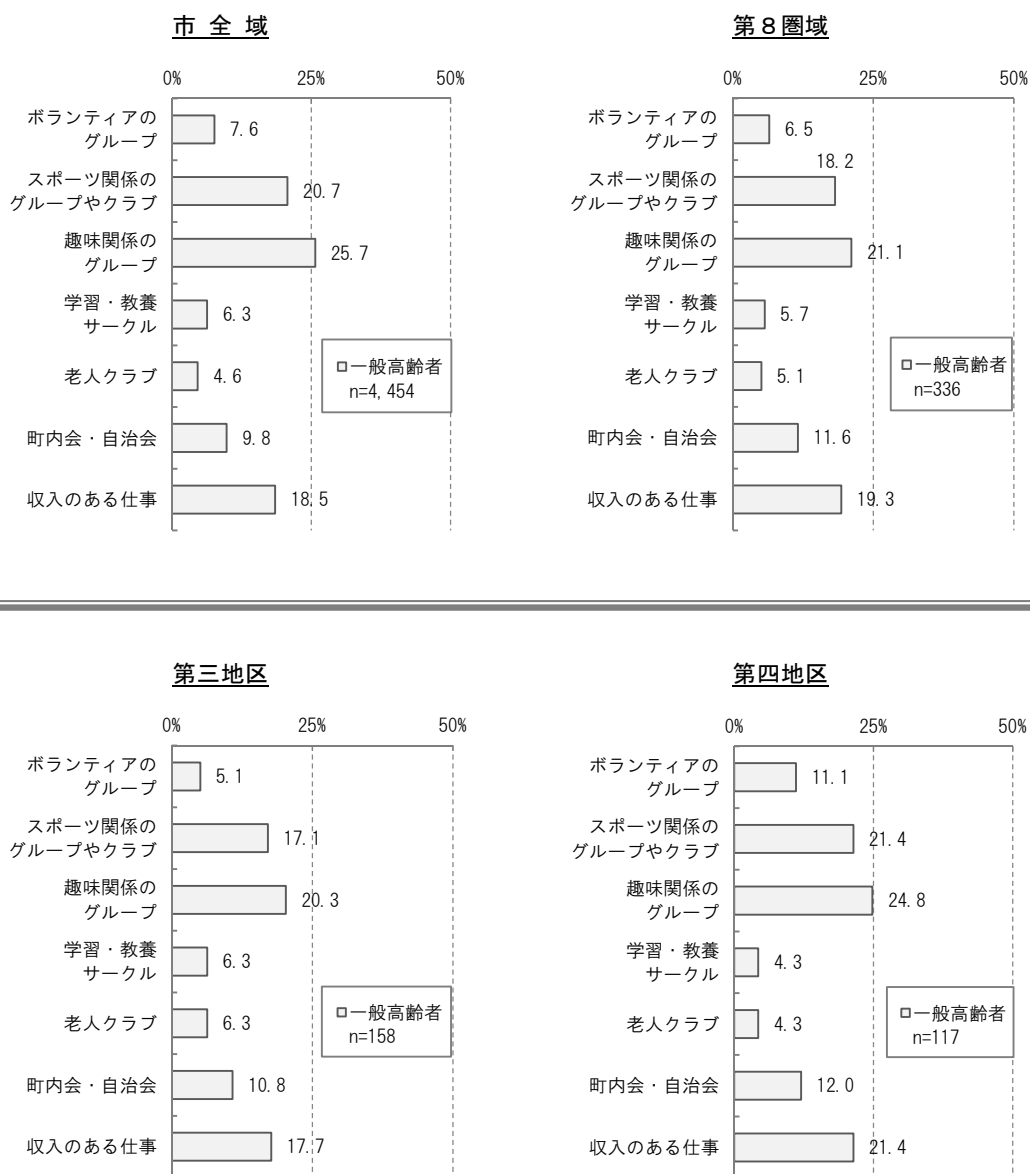


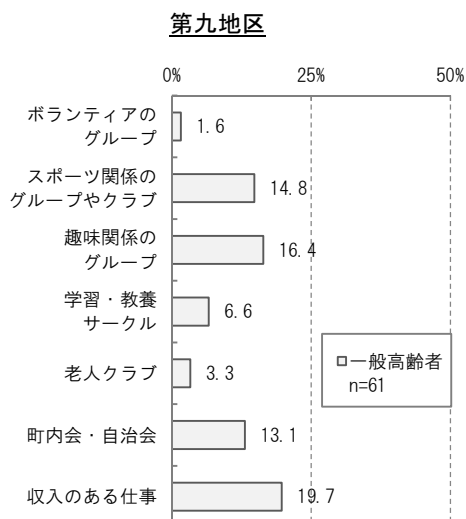
4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第8圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、〈第三地区〉〈第四地区〉で「趣味関係のグループ」、〈第九地区〉で「収入のある仕事」が最も高くなっています。

図 2-8.8 地域活動への参加状況

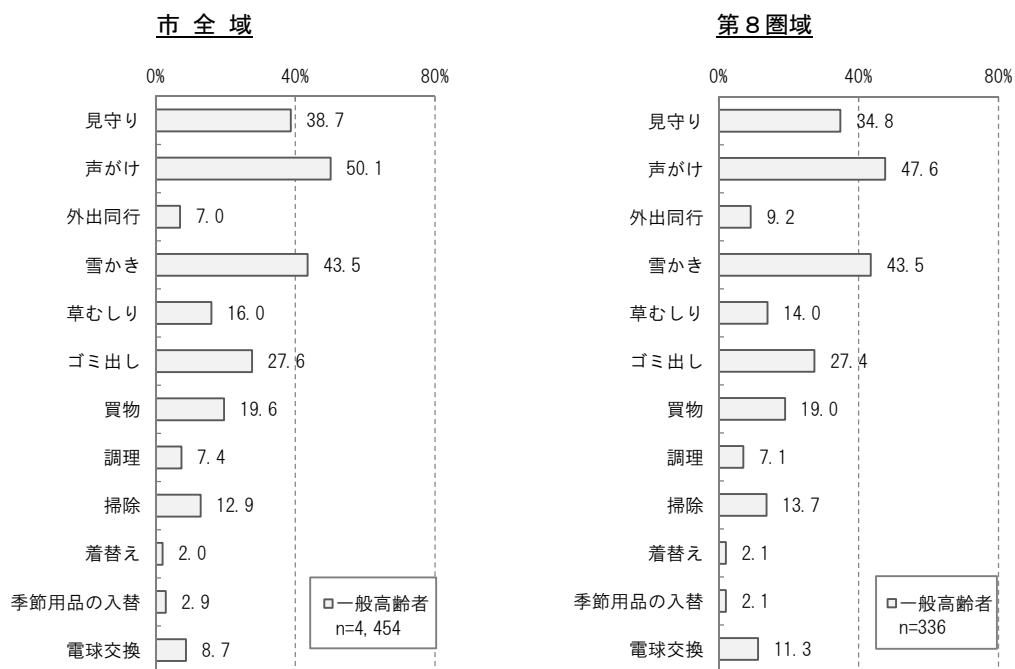




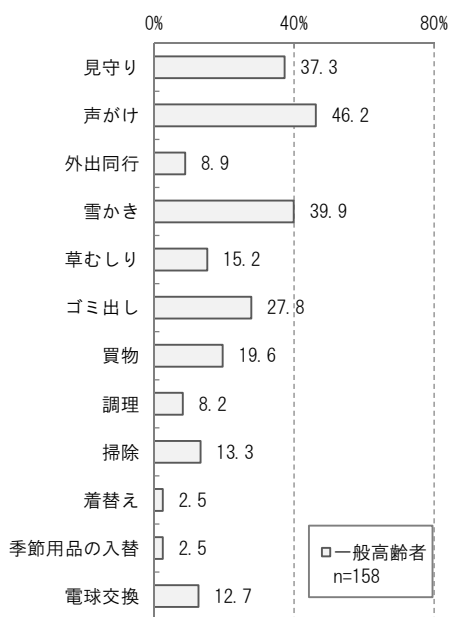
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○ 〈第8圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、〈第三地区〉〈第四地区〉で「声かけ」、〈第九地区〉で「声かけ」「雪かき」が最も高く、次いで〈第三地区〉〈第四地区〉で「雪かき」、〈第九地区〉で「見守り」となっています。

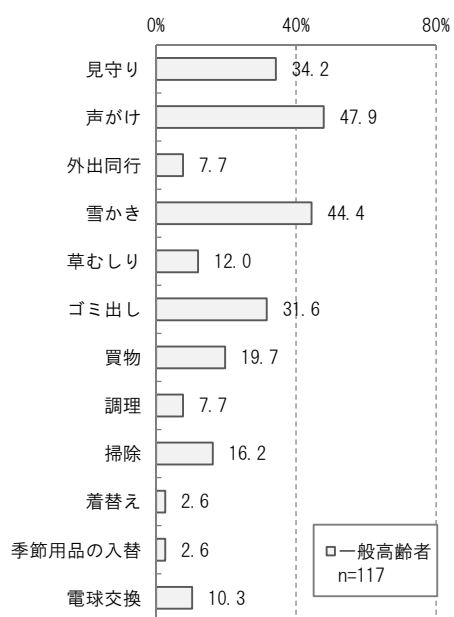
図 2-8.9 近隣住民をお願いしたい支援



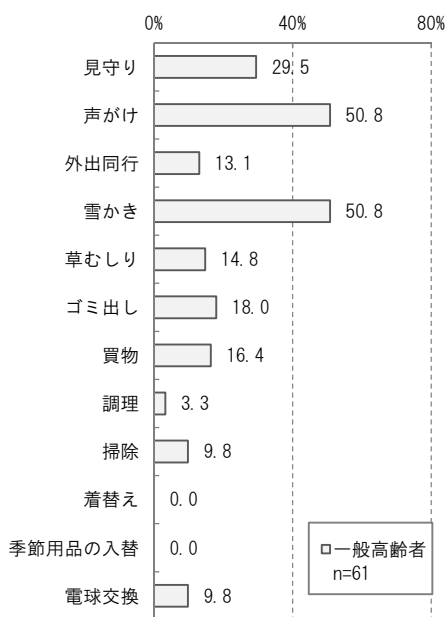
第三地区



第四地区



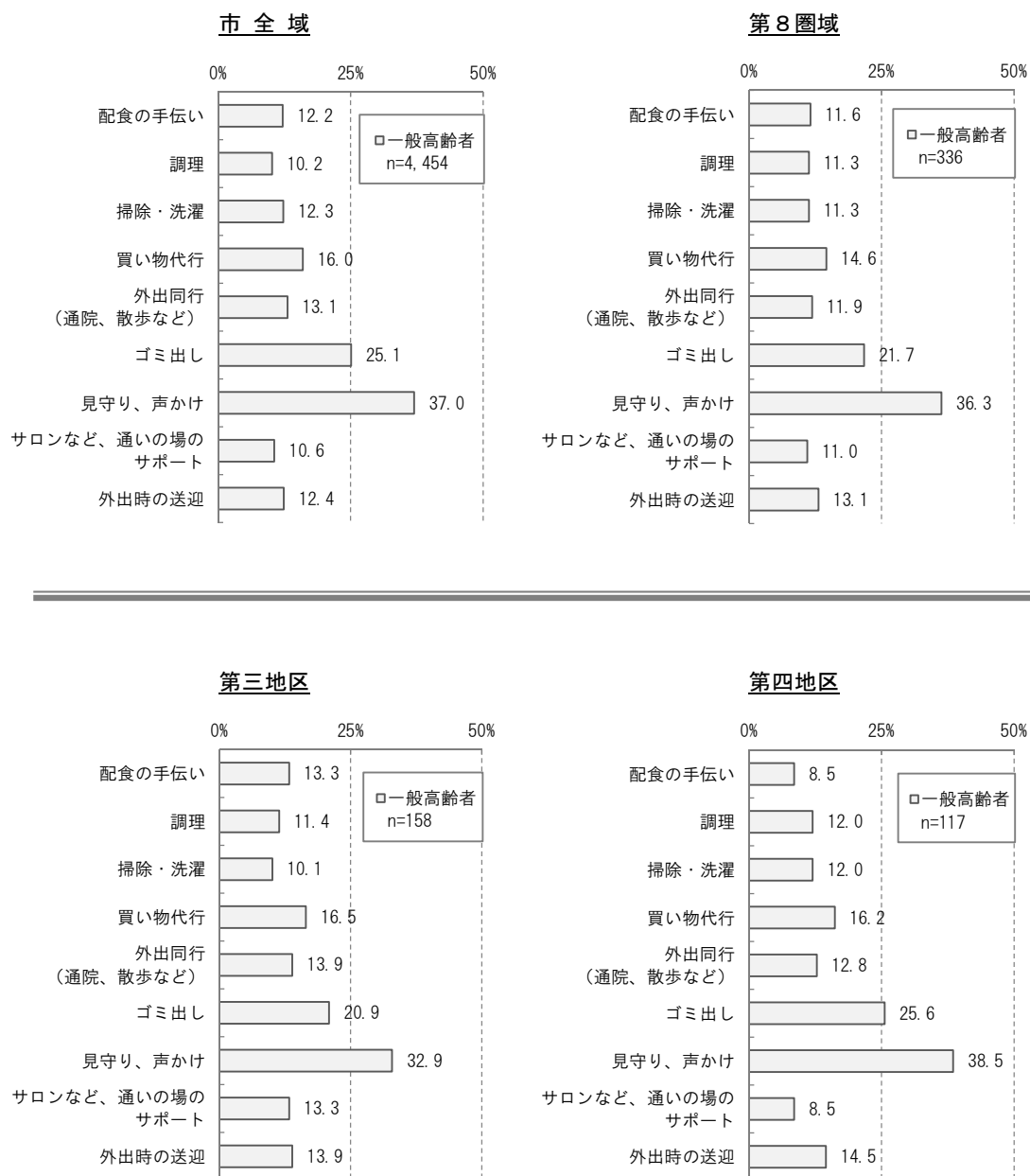
第九地区



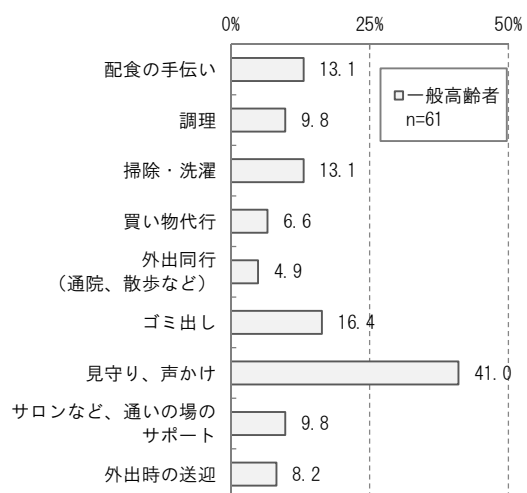
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第8圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

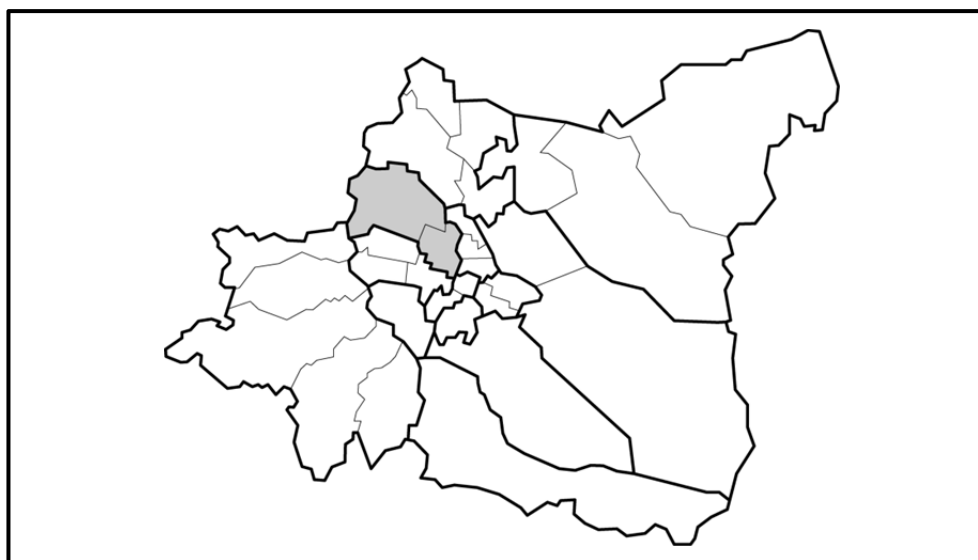
図 2-8.10 高齢者の地域支援意向



第九地区



IX 「第9圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率 (%)
第9圏域	31,929	8,637	27.1	4,308	4,329	50.1
第七地区	16,105	4,391	27.3	2,079	2,312	52.7
金井地区	15,824	4,246	26.8	2,229	2,017	47.5

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第9圏域	7,424	267	946	14.0	372	4.3
第七地区	3,746	147	498	14.7	194	4.4
金井地区	3,678	120	448	13.4	178	4.2

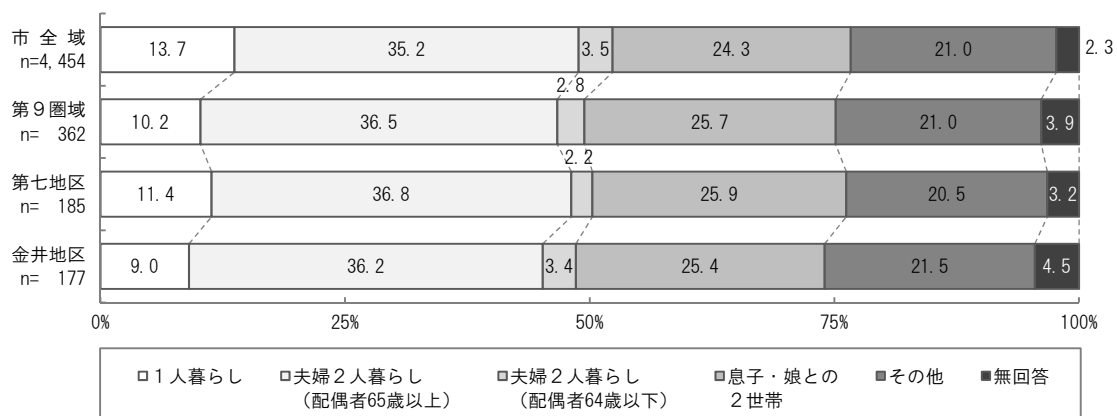
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	18カ所	4カ所	16カ所	23カ所	14カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
1カ所	2カ所	54カ所	0カ所	10カ所	18カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第9圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、〈第七地区〉〈金井地区〉ともに「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（36.8%・36.2%）が最も高くなっています。

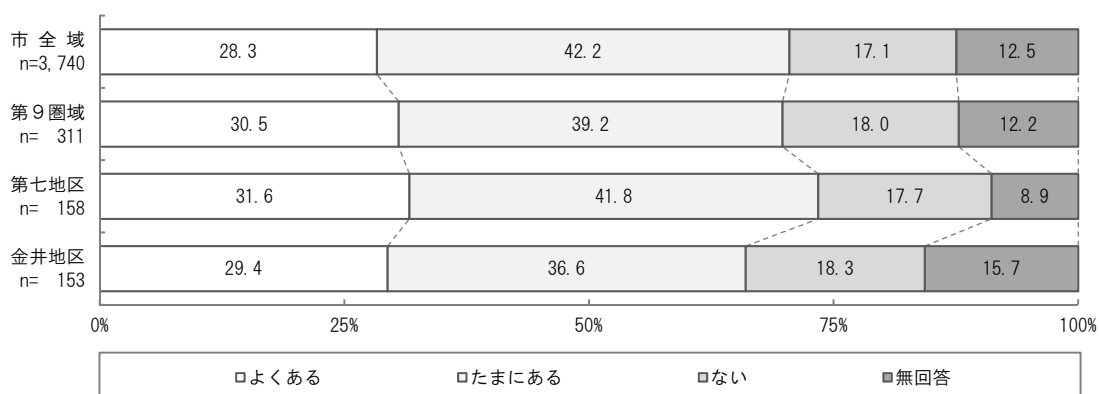
図 2-9.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第9圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈第七地区〉〈金井地区〉とも「たまにある」（41.8%・36.6%）が最も高くなっています。

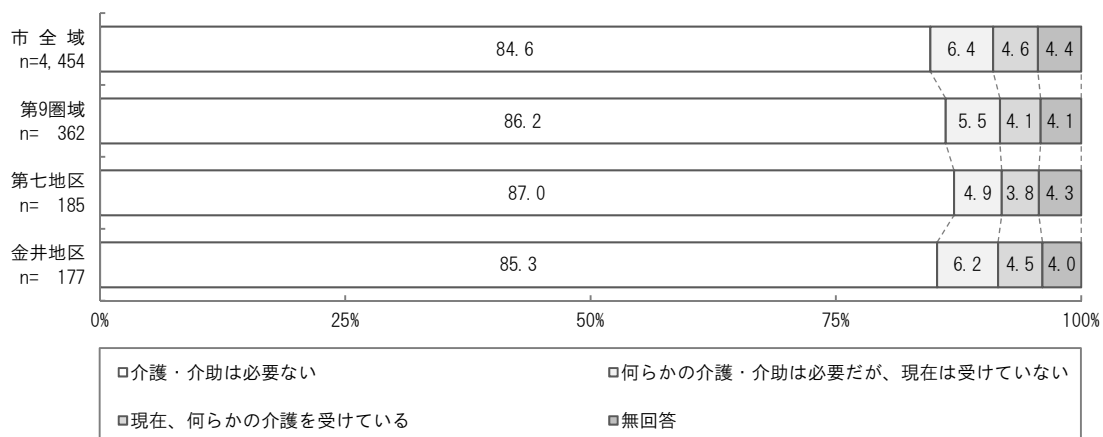
図 2-9.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第9圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、〈第七地区〉〈金井地区〉とも「介護・介助は必要ない」（87.0%・85.3%）が最も高くなっています。

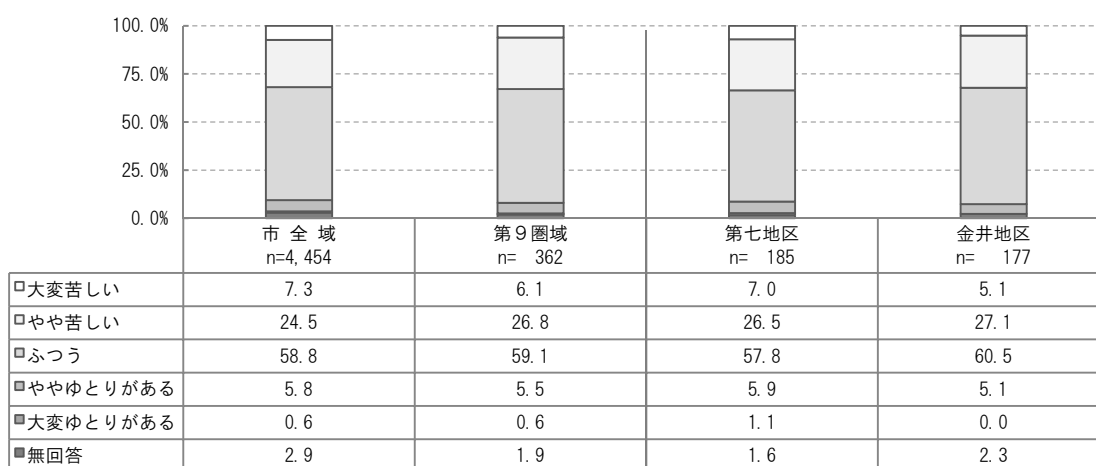
図 2-9.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第9圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、〈第七地区〉〈金井地区〉とも「ふつう」（57.8・60.5%）が最も高くなっています。

図 2-9.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

- 〈第9圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、健康高齢者では〈第七地区〉〈金井地区〉ともに市平均値を上回っており、介護予防事業対象者では〈第七地区〉、サービス事業対象者では〈金井地区〉で市平均値を上回っています。

図 2-9.5 3つの高齢者像別出現率

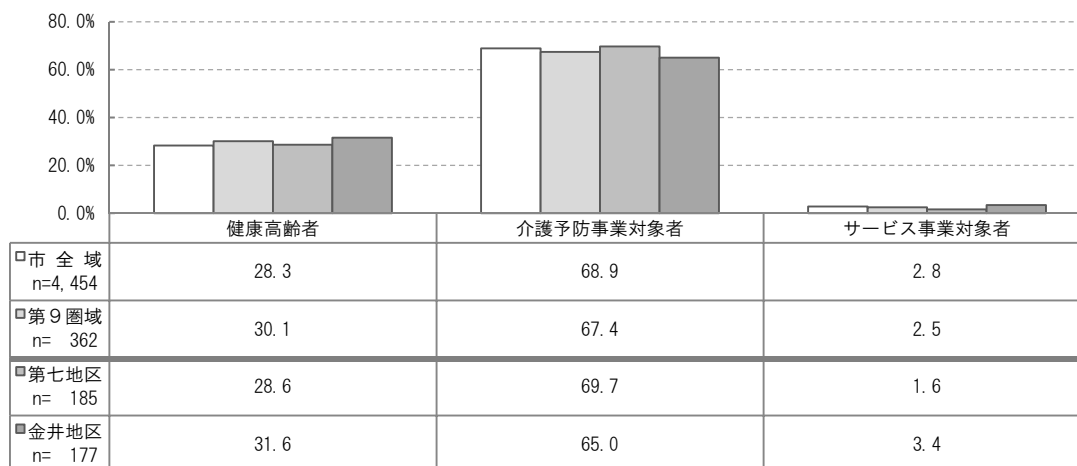
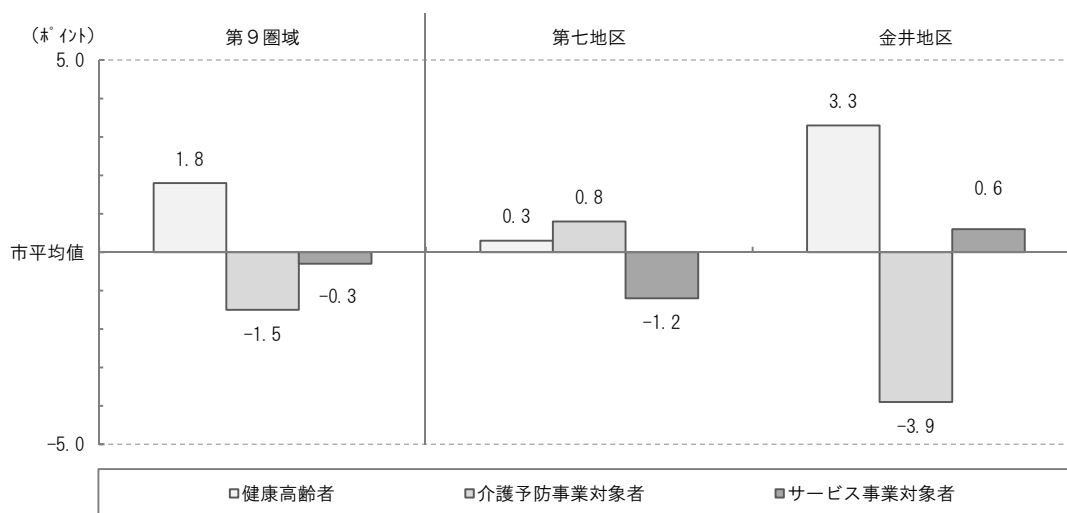


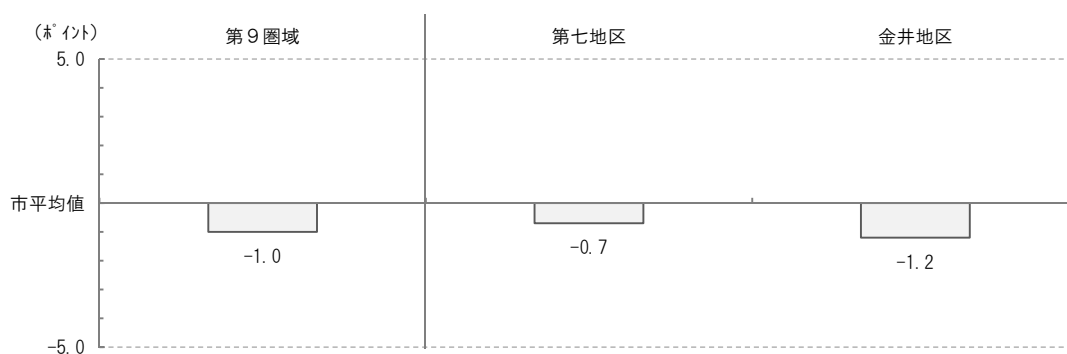
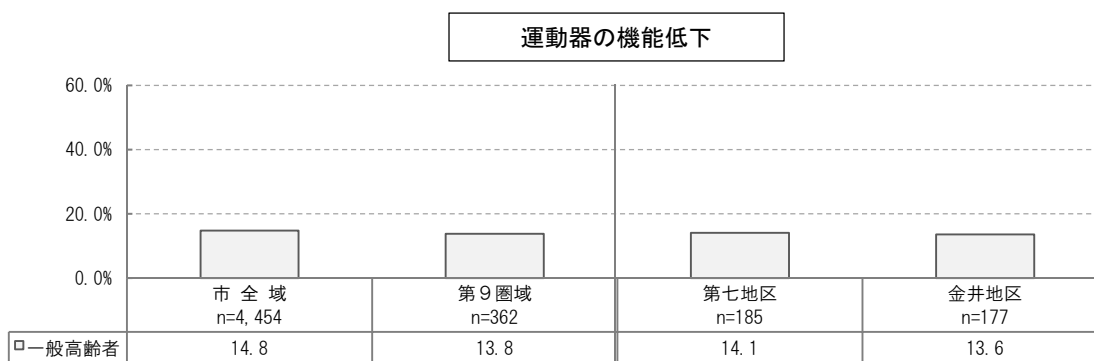
図 2-9.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



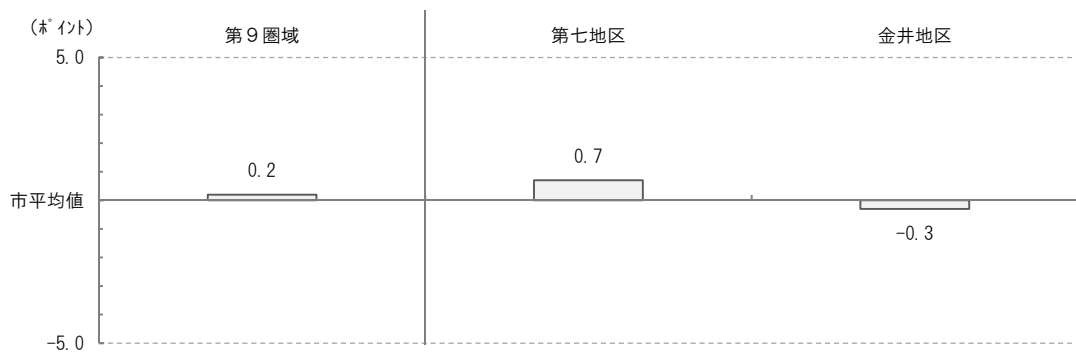
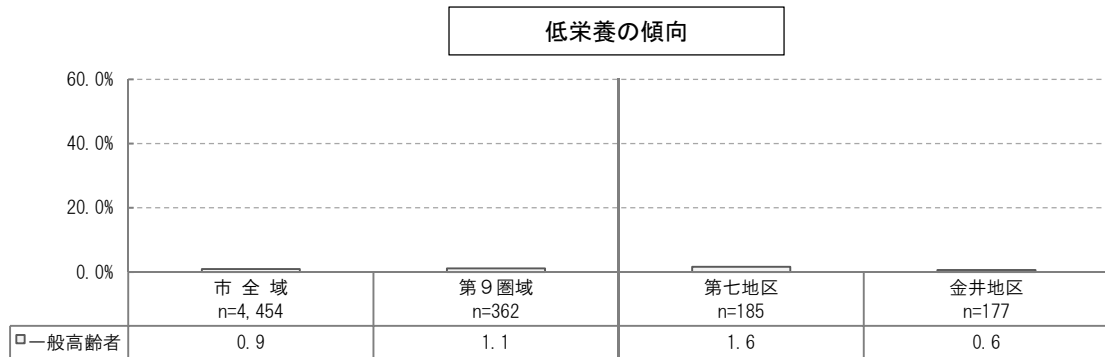
3 リスク別該当者の予測

○〈第9圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、市平均値を上回る地区はなく、各地区の出現率（13.6%・14.1%）の差は0.5ポイントとなっています。

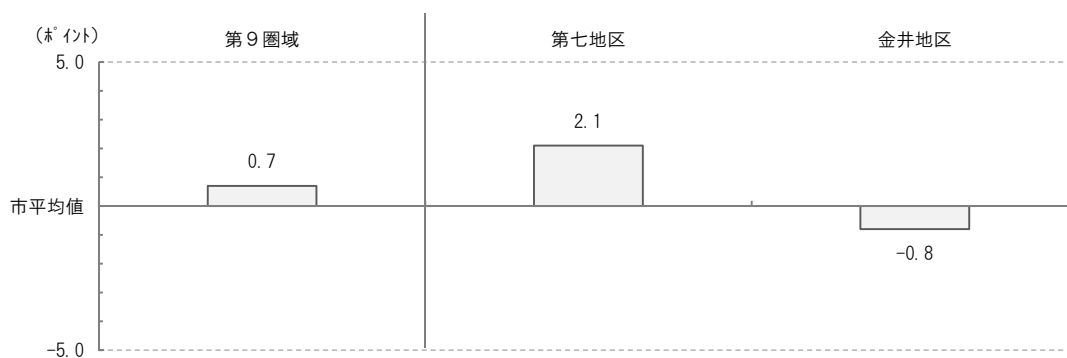
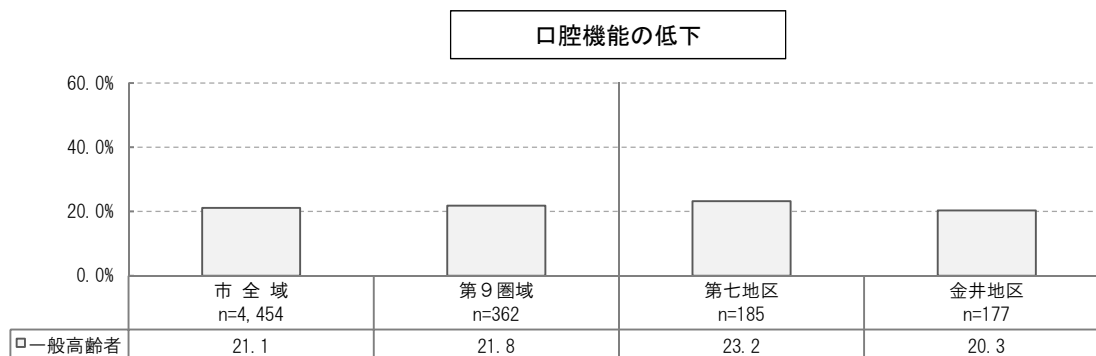
図 2-9.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



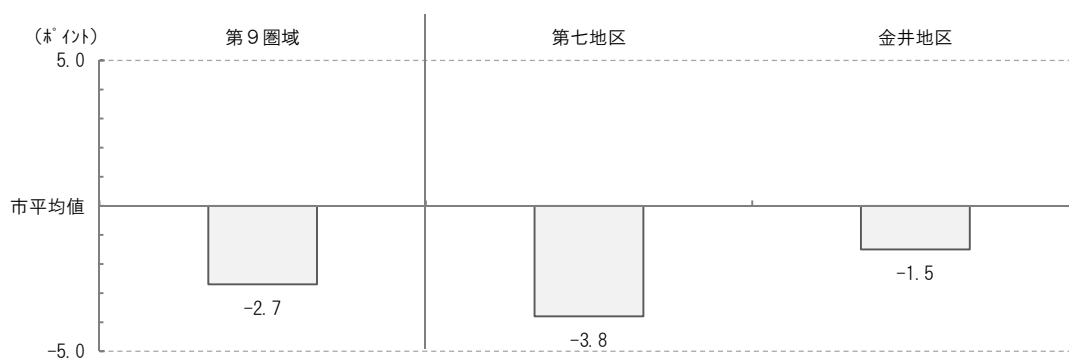
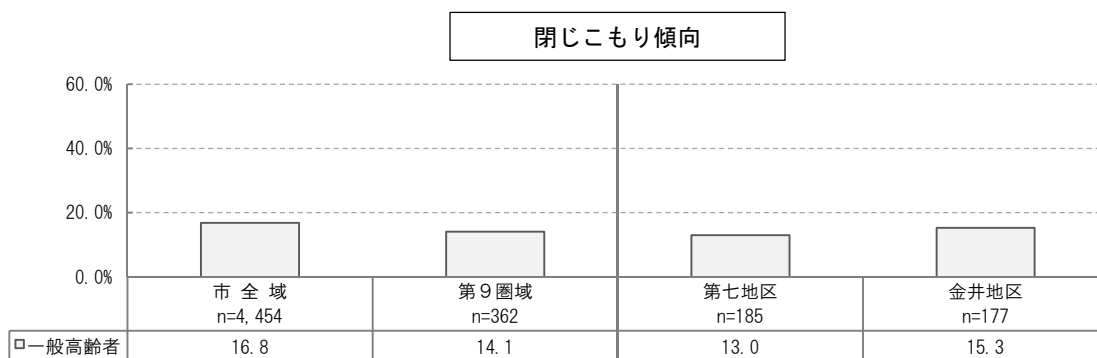
○〈第9圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第七地区〉で市平均値より0.7ポイント高く、各地区の出現率（1.6%・0.6%）の差は1.0ポイントとなっています。



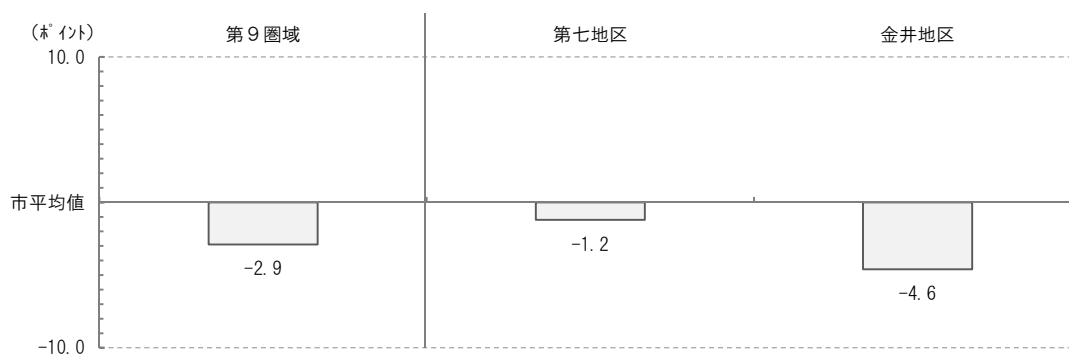
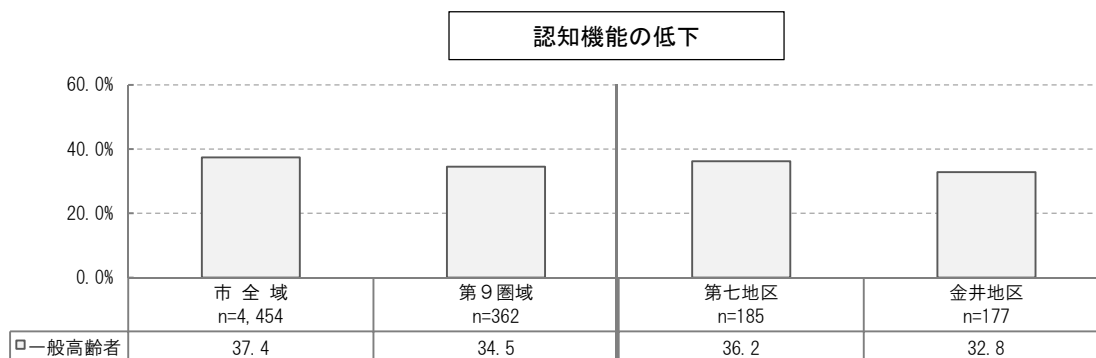
○ 〈第9圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第七地区〉で市平均値より2.1ポイント高く、各地区の出現率（23.2%・20.3%）の差は2.9ポイントとなっています。



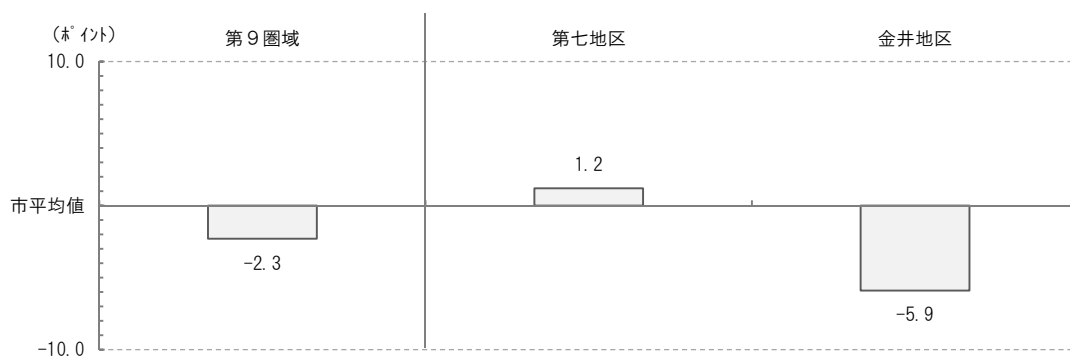
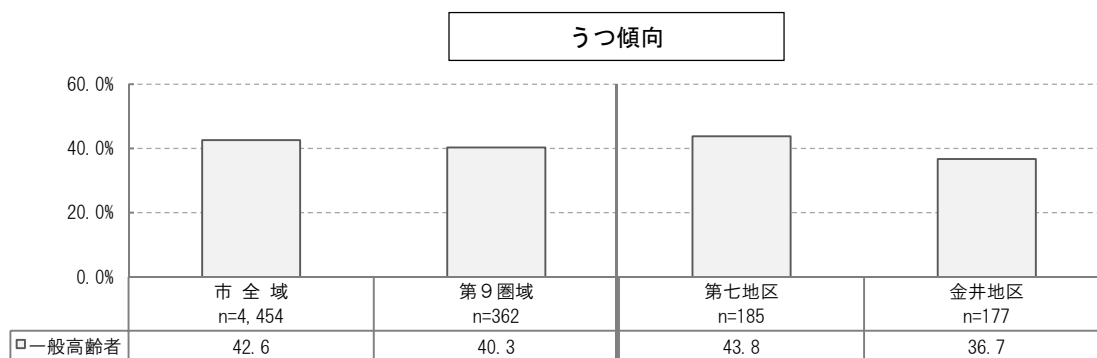
○〈第9圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、市平均値を上回る地区はなく、各地区の出現率（13.0%・15.3%）の差は2.3ポイントとなっています。



○〈第9圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、市平均値を上回る地区はなく、各地区の出現率（36.2%・32.8%）の差は3.4^{ポイント}となっています。



○〈第9圏域〉の「うつ傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第七地区〉で市平均値より1.2ポイント高く、各地区の出現率（43.8%・36.7%）の差は7.1ポイントとなっています。

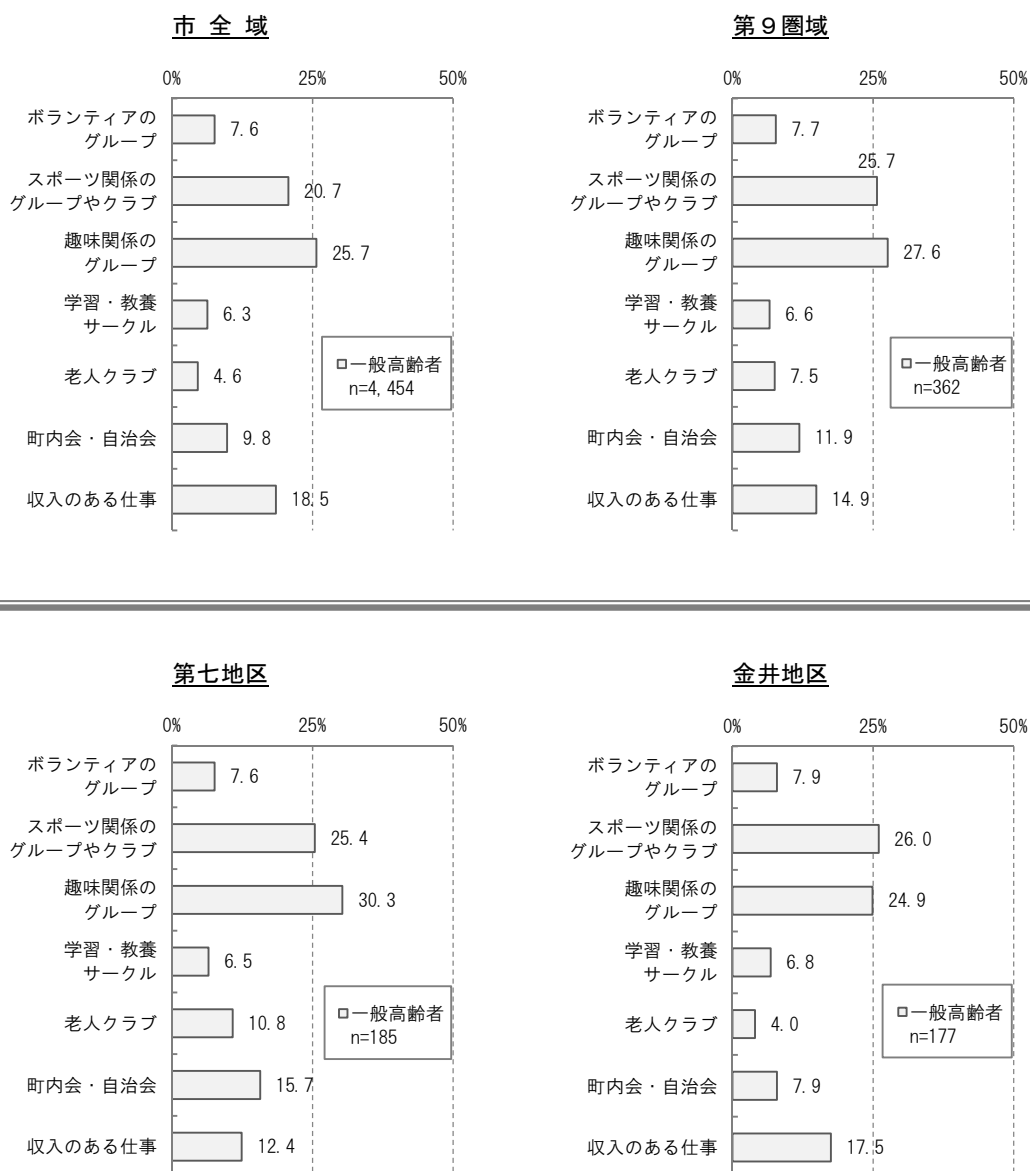


4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第9圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、〈第七地区〉で「趣味関係のグループ」、〈金井地区〉で「スポーツ関係のグループやクラブ」が最も高くなっています。

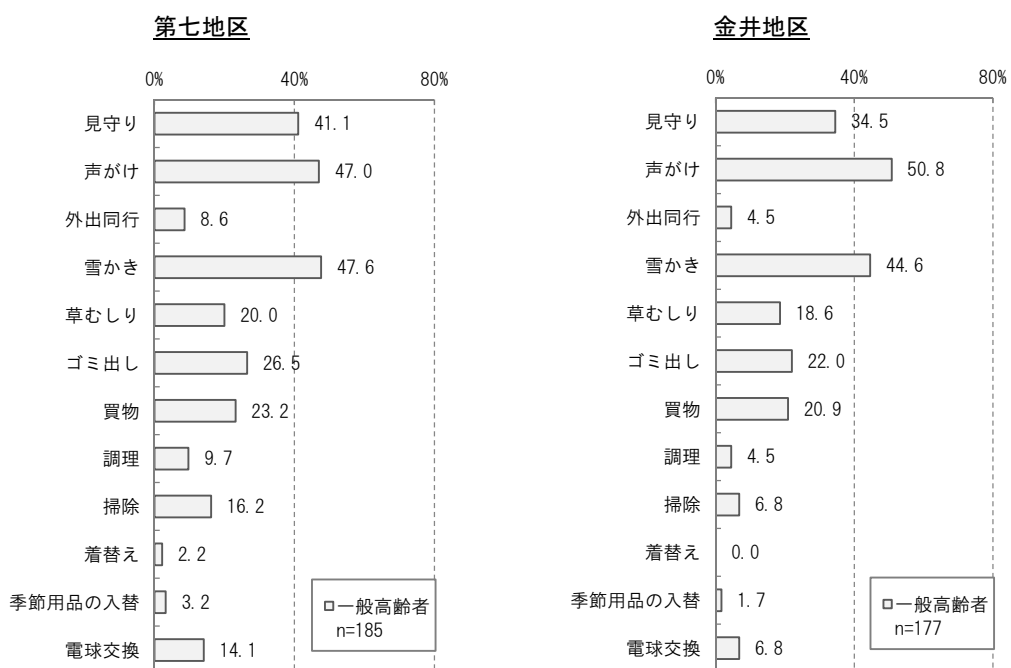
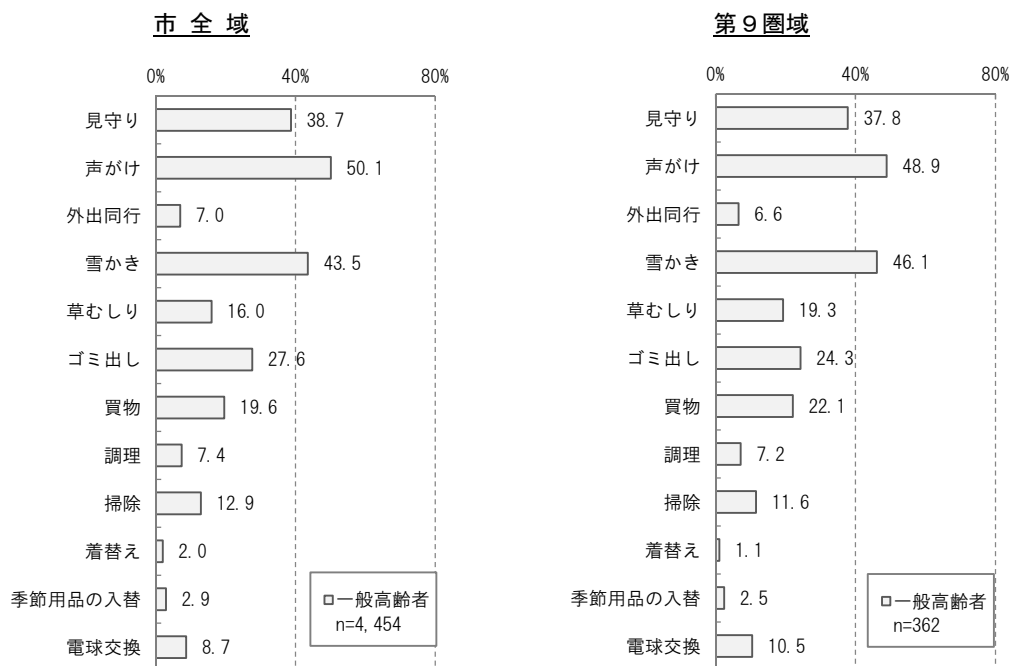
図 2-9.8 地域活動への参加状況



(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第9圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、〈第七地区〉で「雪かき」、〈金井地区〉で「声がけ」が最も高く、次いで〈第七地区〉で「声がけ」、〈金井地区〉で「雪かき」となっています。

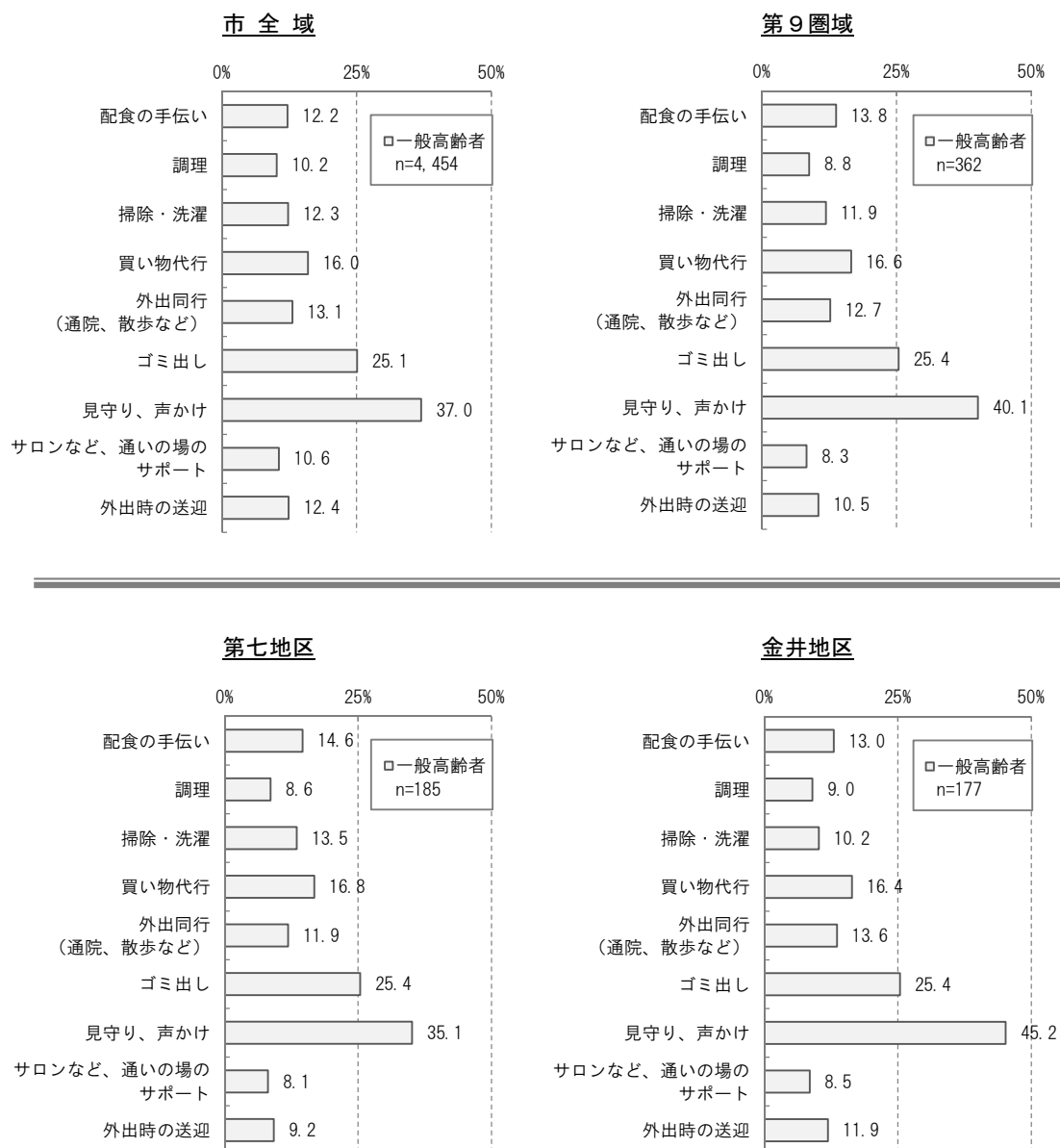
図 2-9.9 近隣住民をお願いしたい支援



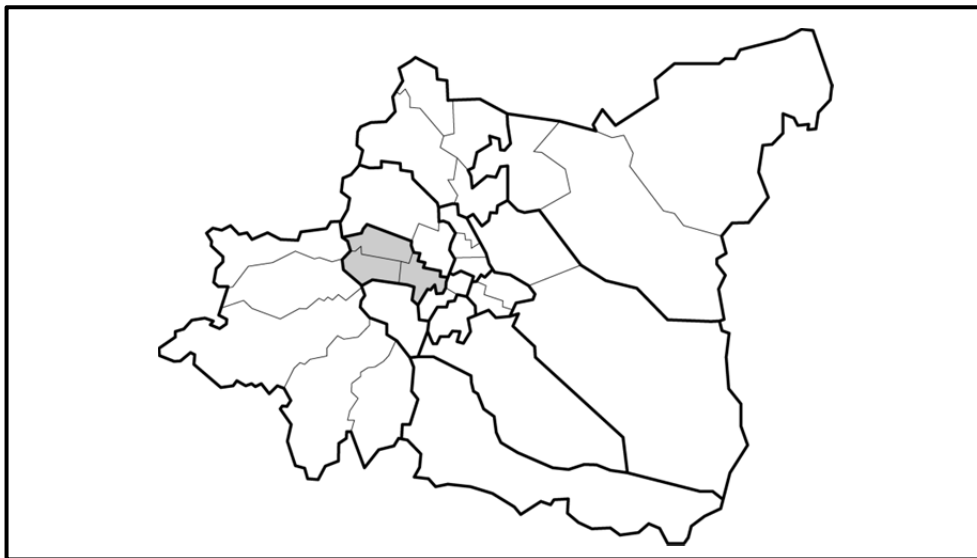
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第9圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

図 2-9.10 高齢者の地域支援意向



X 「第10圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第10圏域	16,236	4,705	29.0	2,194	2,511	53.4
第十地区	10,612	2,824	26.6	1,273	1,551	54.9
飯塚地区	3,572	1,122	31.4	544	578	51.5
榎沢地区	2,052	759	37.0	377	382	50.3

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第10圏域	4,013	199	493	14.7	234	5.0
第十地区	2,401	118	305	15.0	143	5.1
飯塚地区	944	60	118	15.9	62	5.5
榎沢地区	668	21	70	12.0	29	3.8

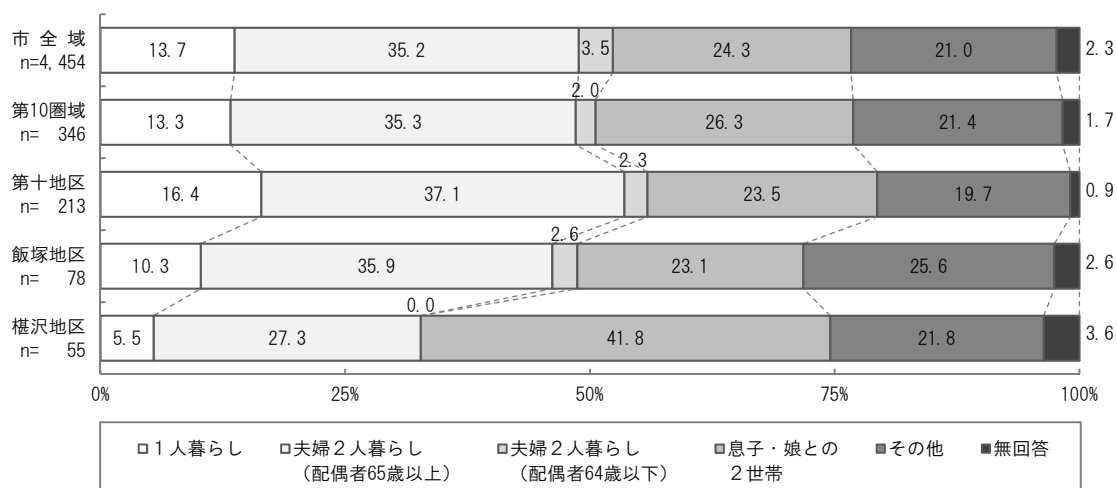
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
0カ所	13カ所	4カ所	9カ所	16カ所	9カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
1カ所	1カ所	34カ所	0カ所	10カ所	10カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第10圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、〈第十地区〉〈飯塚地区〉で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（37.1%・35.9%）、〈榎沢地区〉で「息子・娘との2世帯」（41.8%）が最も高くなっています。

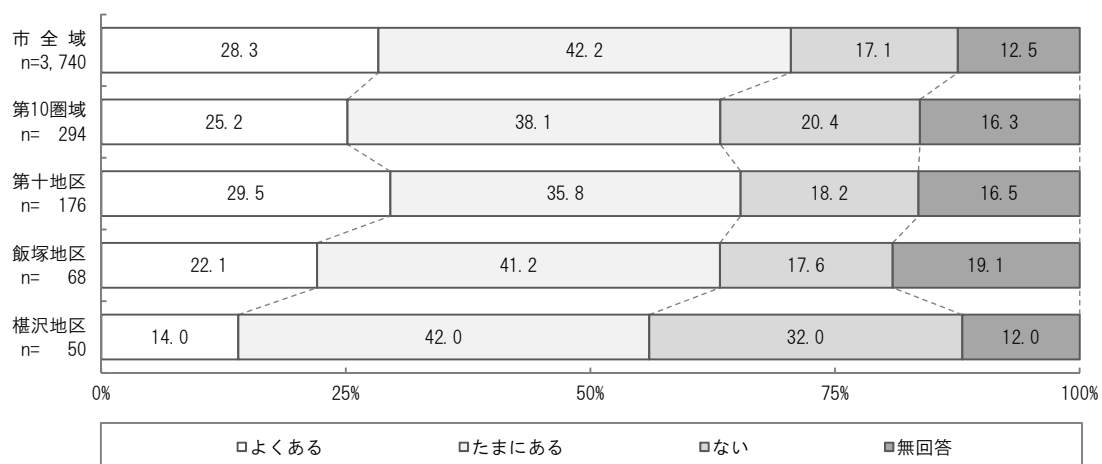
図 2-10.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第10圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、全ての地区で「たまにある」（42.0~35.8%）が最も高くなっています。

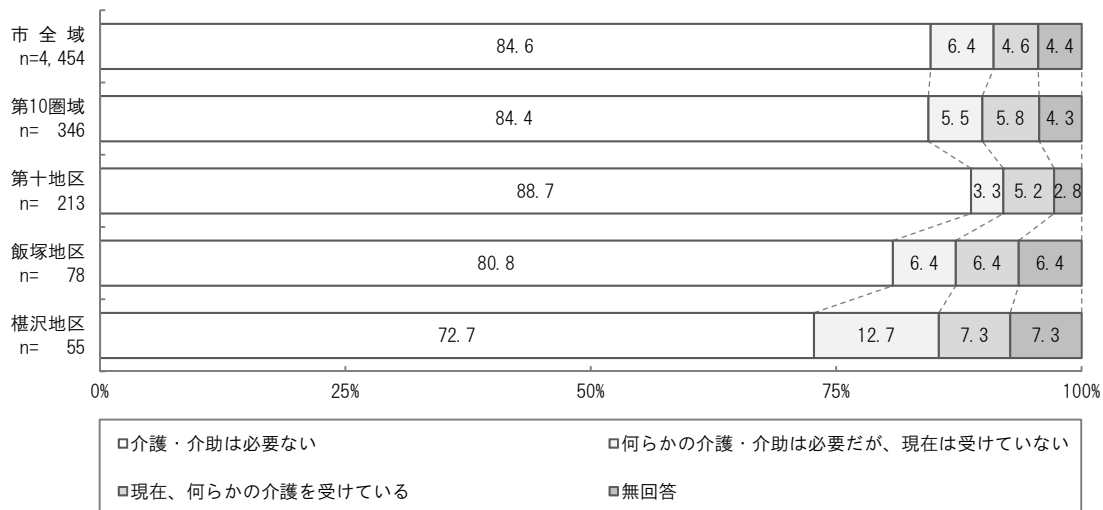
図 2-10.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第10圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、全ての地区で「介護・介助は必要ない」（72.7～88.7%）が最も高くなっています。

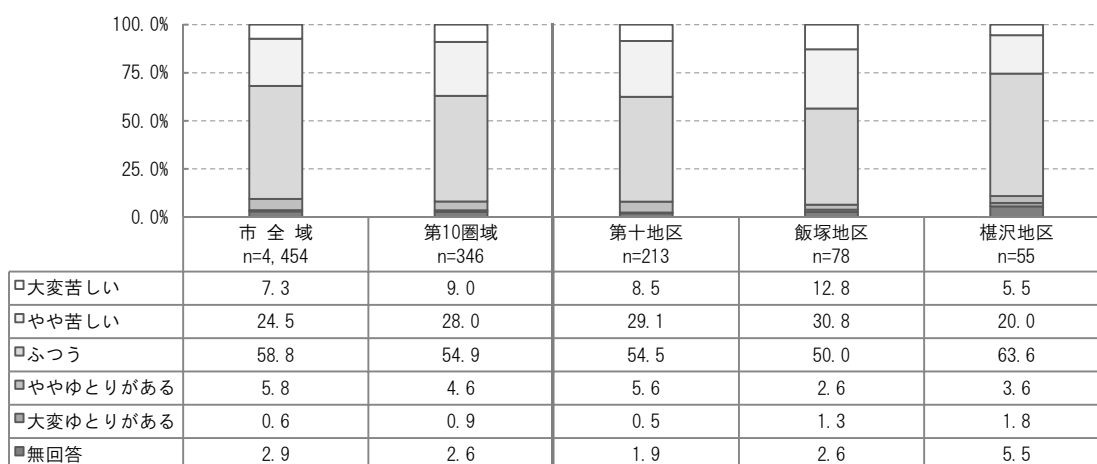
図 2-10.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第10圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、全ての地区で「ふつう」（50.5～63.6%）が最も高くなっています。

図 2-10.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像” からみた地域分析

○〈第10圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、健康高齢者では〈第十地区〉、介護予防事業対象者では〈飯塚地区〉〈榎沢地区〉、サービス事業対象者では〈飯塚地区〉〈第十地区〉〈榎沢地区〉で市平均値を上回っています。

図 2-10.5 3つの高齢者像別出現率

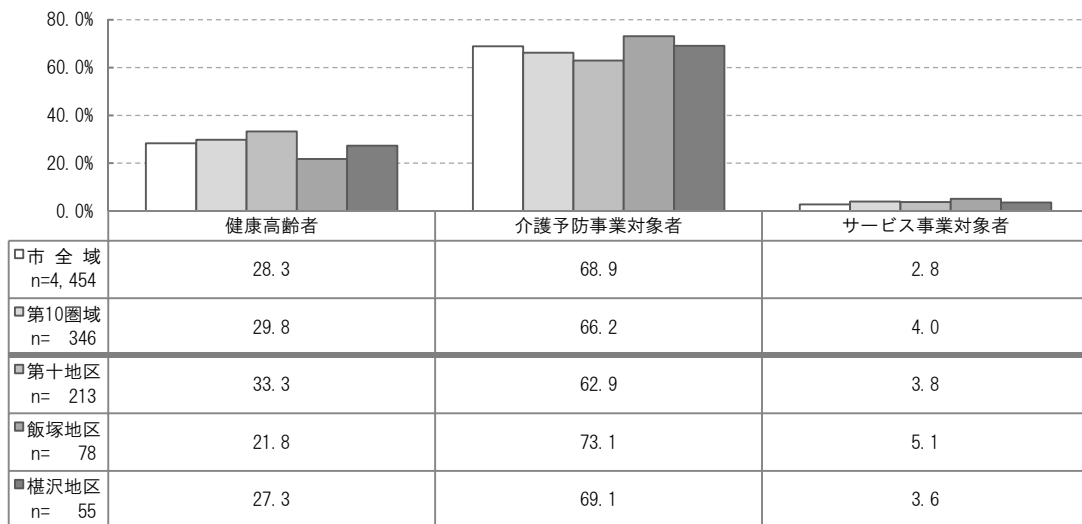
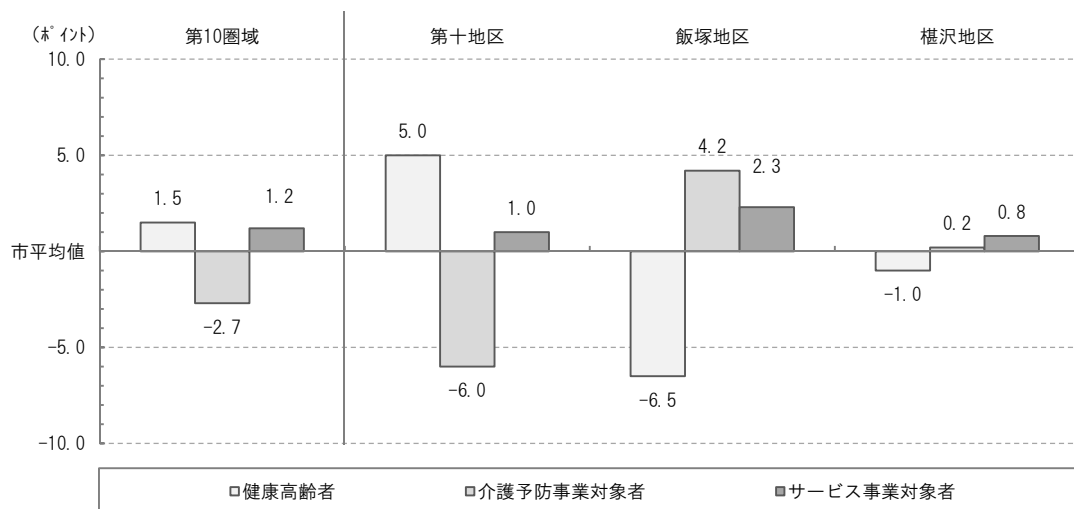


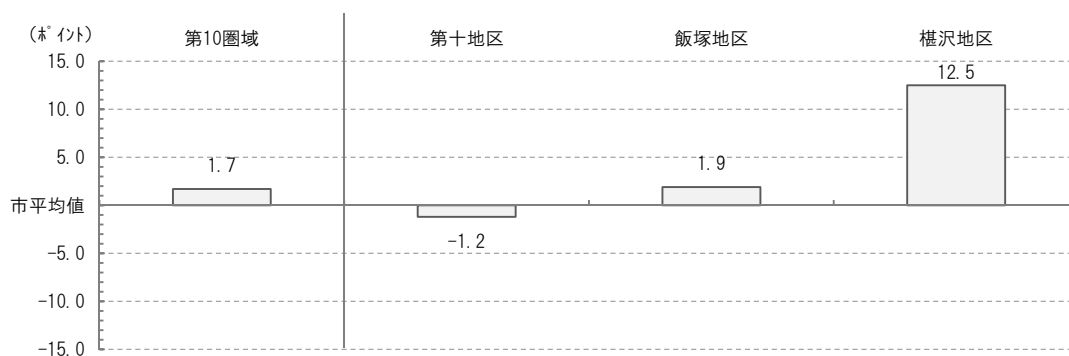
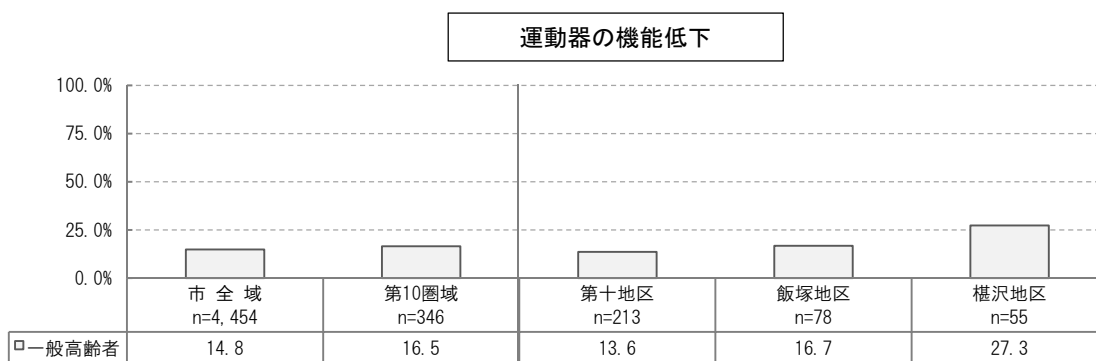
図 2-10.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



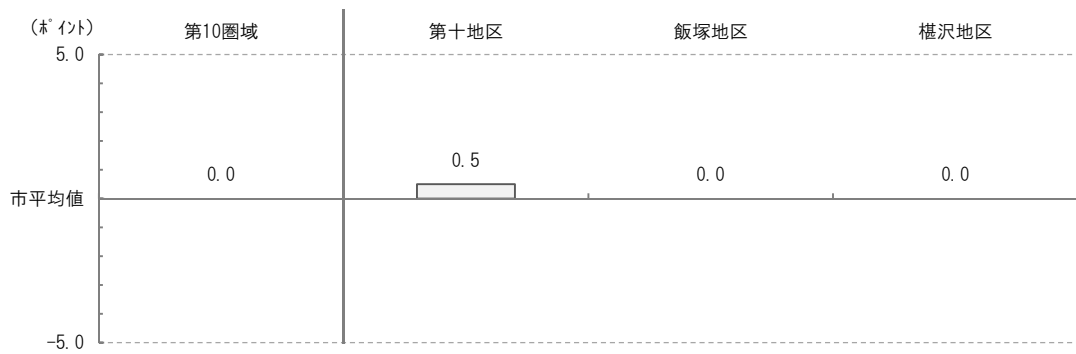
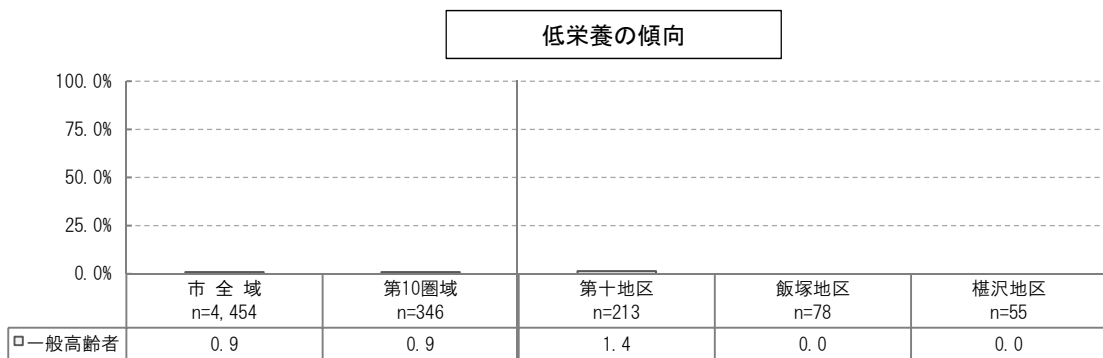
3 リスク別該当者の予測

○〈第10圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈榎沢地区〉で市平均値より12.5ポイント、〈飯塚地区〉で1.9ポイント高く、各地区の出現率は13.6～27.3%で、地区差の最大値は13.7ポイントとなっています。

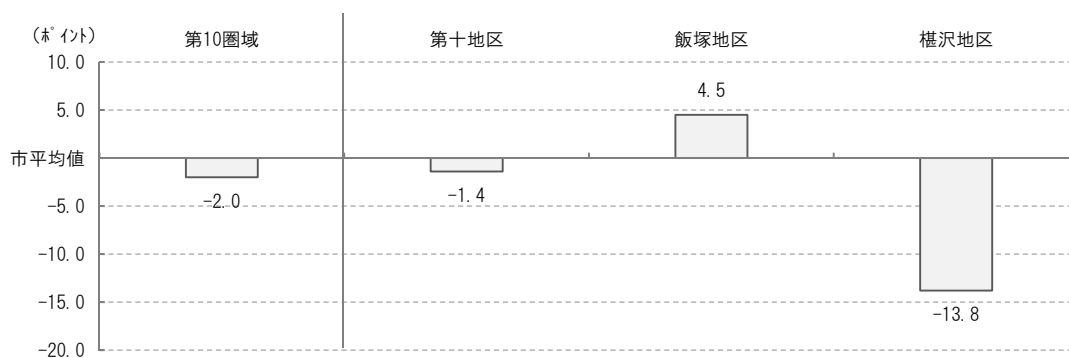
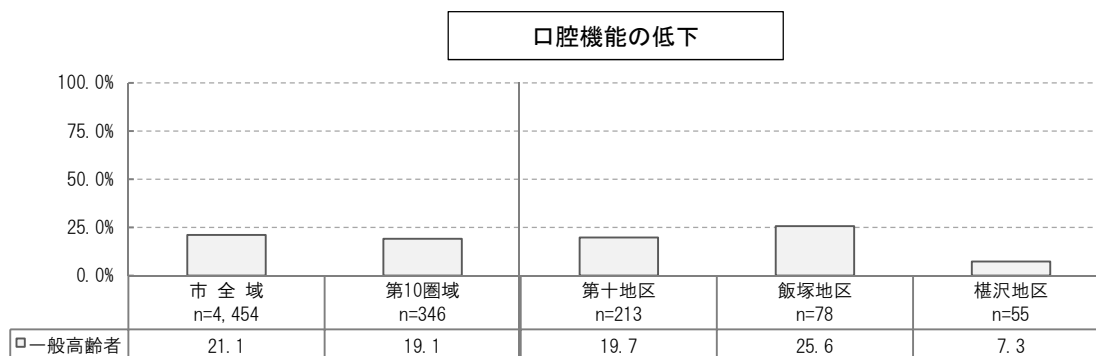
図 2-10.7 リスクに該当する高齢者の出現率



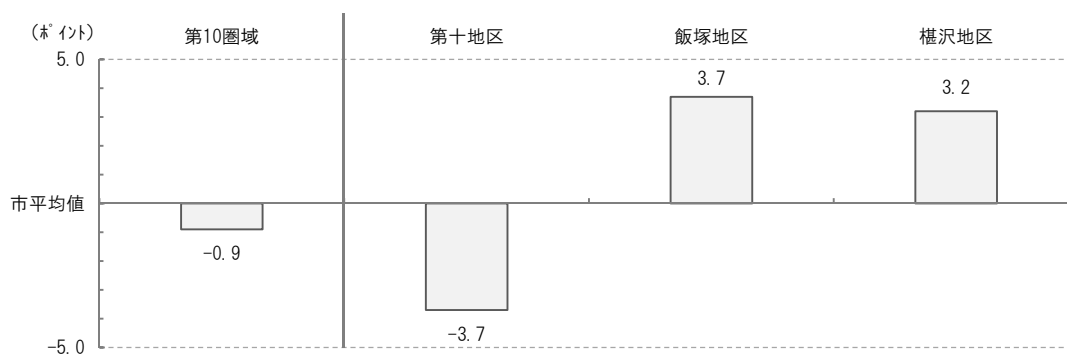
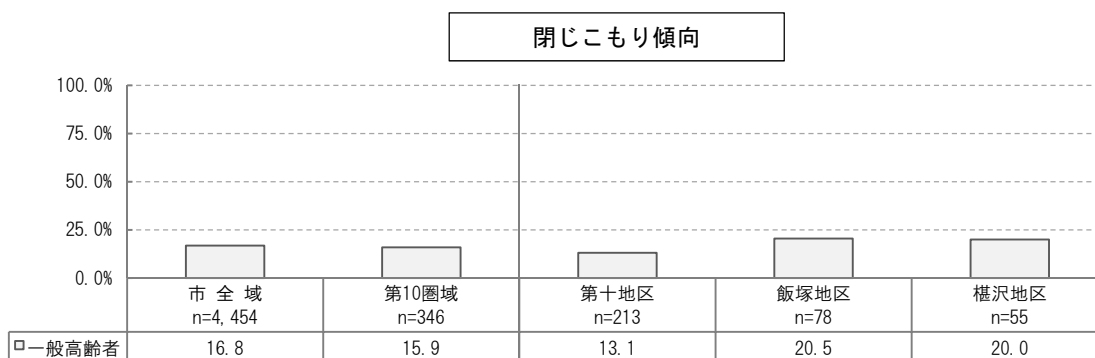
○〈第10圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第十地区〉で市平均値より0.5ポイント高く、その他の地区は該当者がいません。



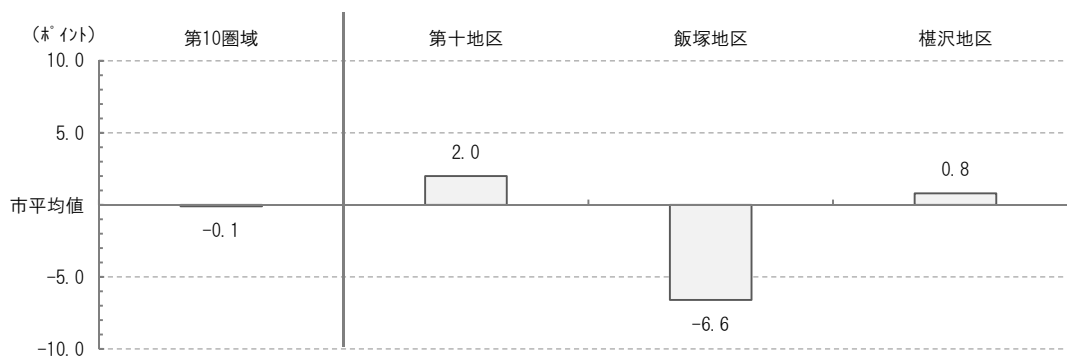
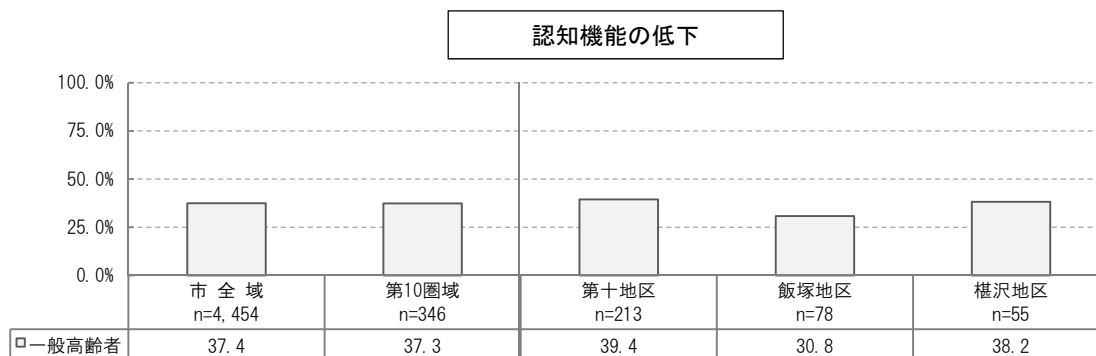
○〈第10圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈飯塚地区〉で市平均値より4.5ポイント高く、各地区の出現率は7.3~25.6%で、地区差の最大値は18.3ポイントとなっています。



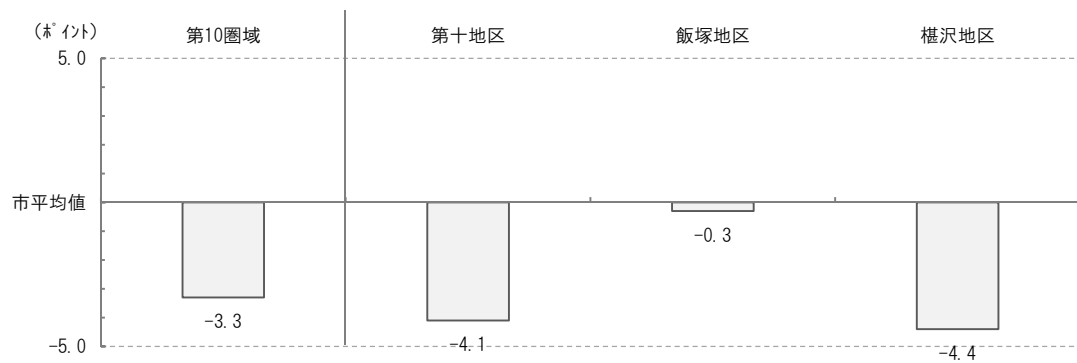
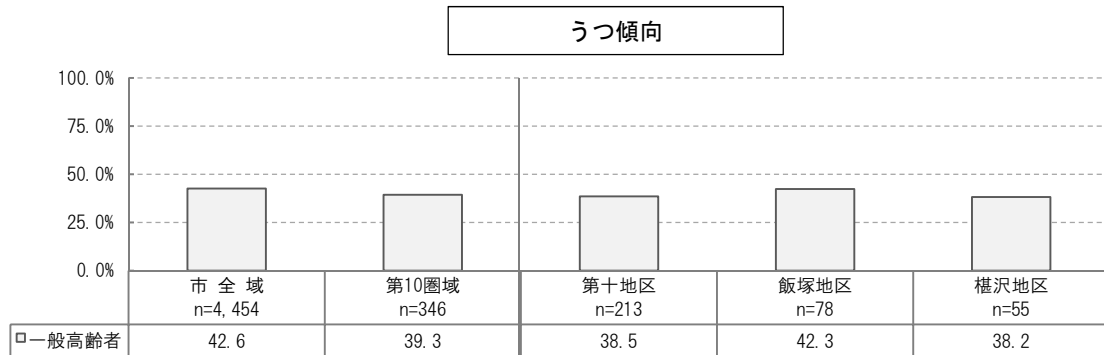
○〈第10圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈飯塚地区〉で市平均値より3.7ポイント、〈榎沢地区〉で3.2ポイント高く、各地区の出現率は13.1～20.5%で、地区差の最大値は7.4ポイント以内となっています。



○〈第10圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第十地区〉で市平均値より2.0ポイント、〈榎沢地区〉で0.8ポイント高く、各地区の出現率は30.8～39.4%で、地区差の最大値は8.6ポイント以内となっています。



○〈第10圏域〉の「うつ傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、市平均値を上回る地区はなく、各地区の出現率は38.2～42.3%で、地区差の最大値は4.1ポイントとなっています。

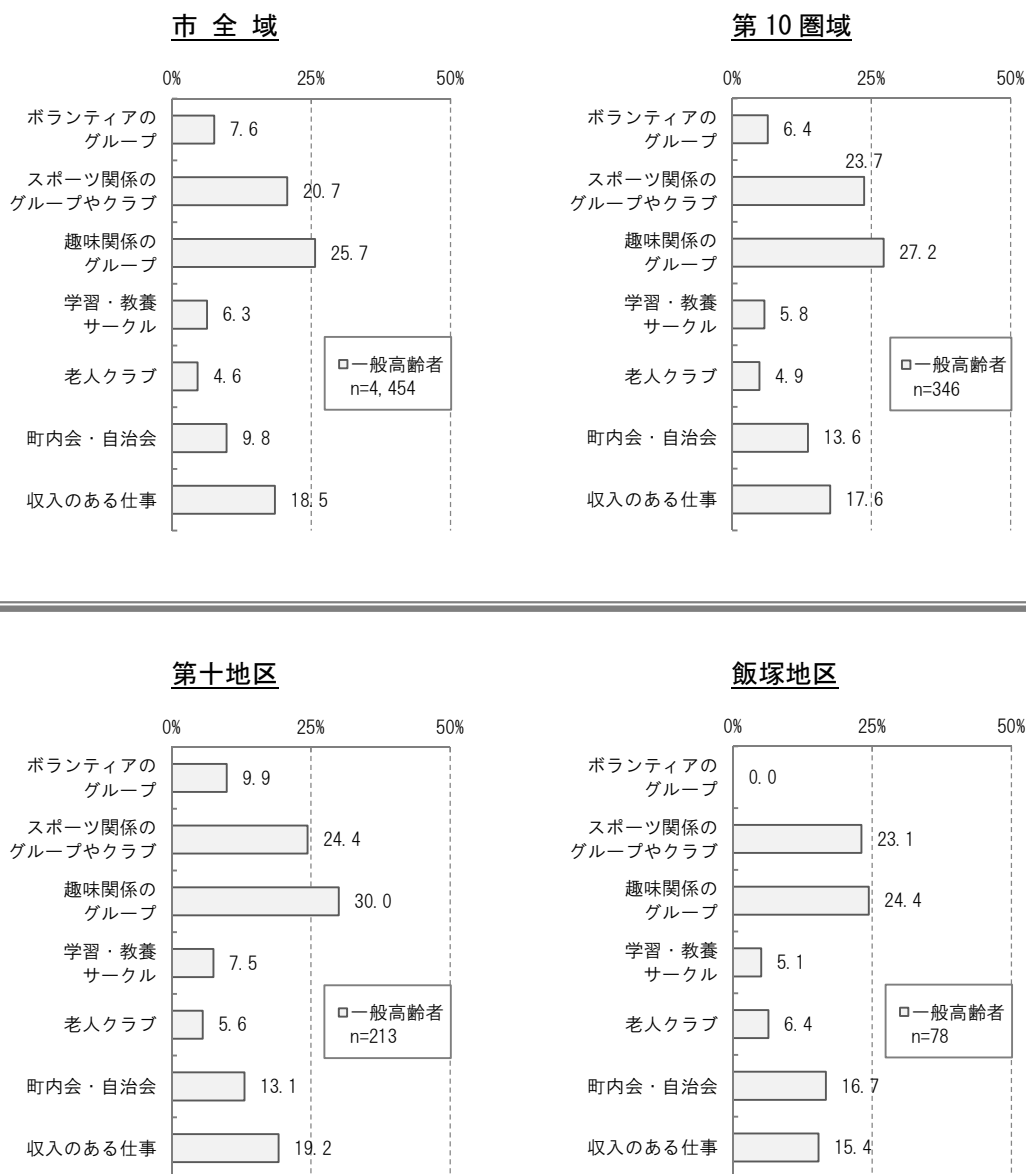


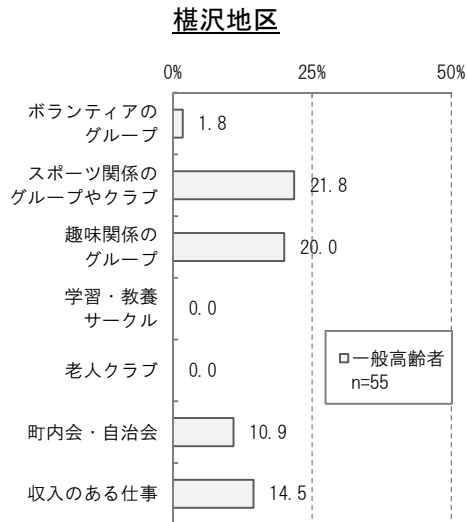
4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第10圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、〈第十地区〉〈飯塚地区〉で「趣味関係のグループ」、〈樺沢地区〉で「スポーツ関係のグループやクラブ」が最も高くなっています。

図 2-10.8 地域活動への参加状況

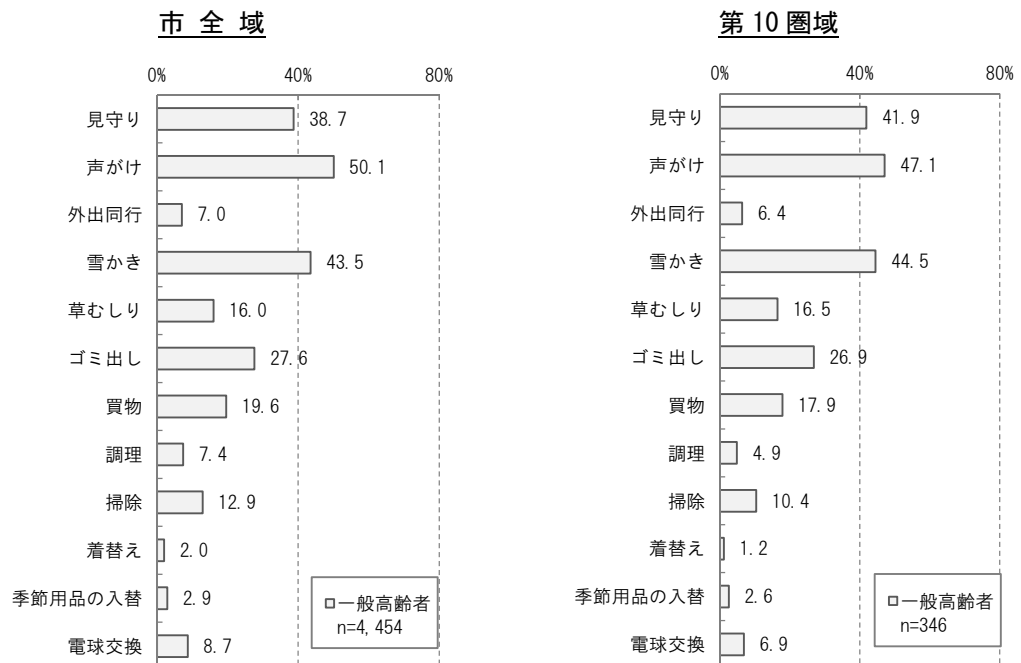




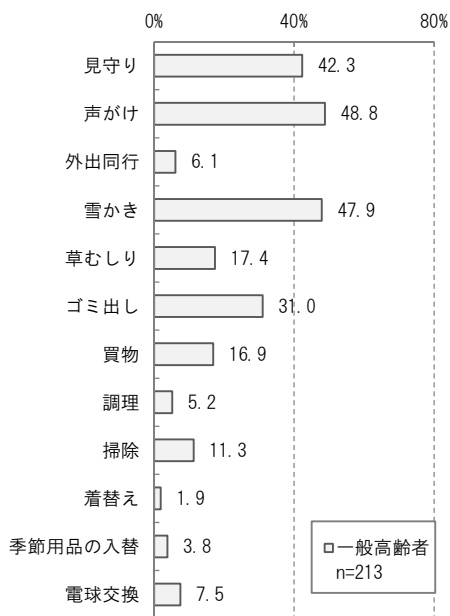
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第10圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、〈第十地区〉〈榎沢地区〉で「声かけ」、〈飯塚地区〉で「見守り」が最も高く、次いで〈第十地区〉〈飯塚地区〉で「雪かき」、〈榎沢地区〉で「見守り」となっています。

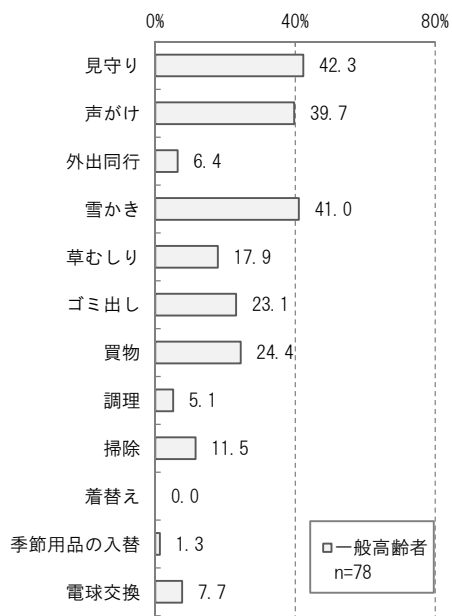
図 2-10.9 近隣住民をお願いしたい支援



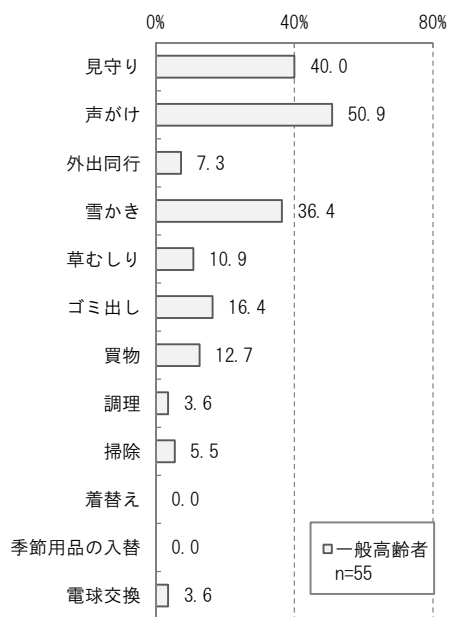
第十地区



飯塚地区



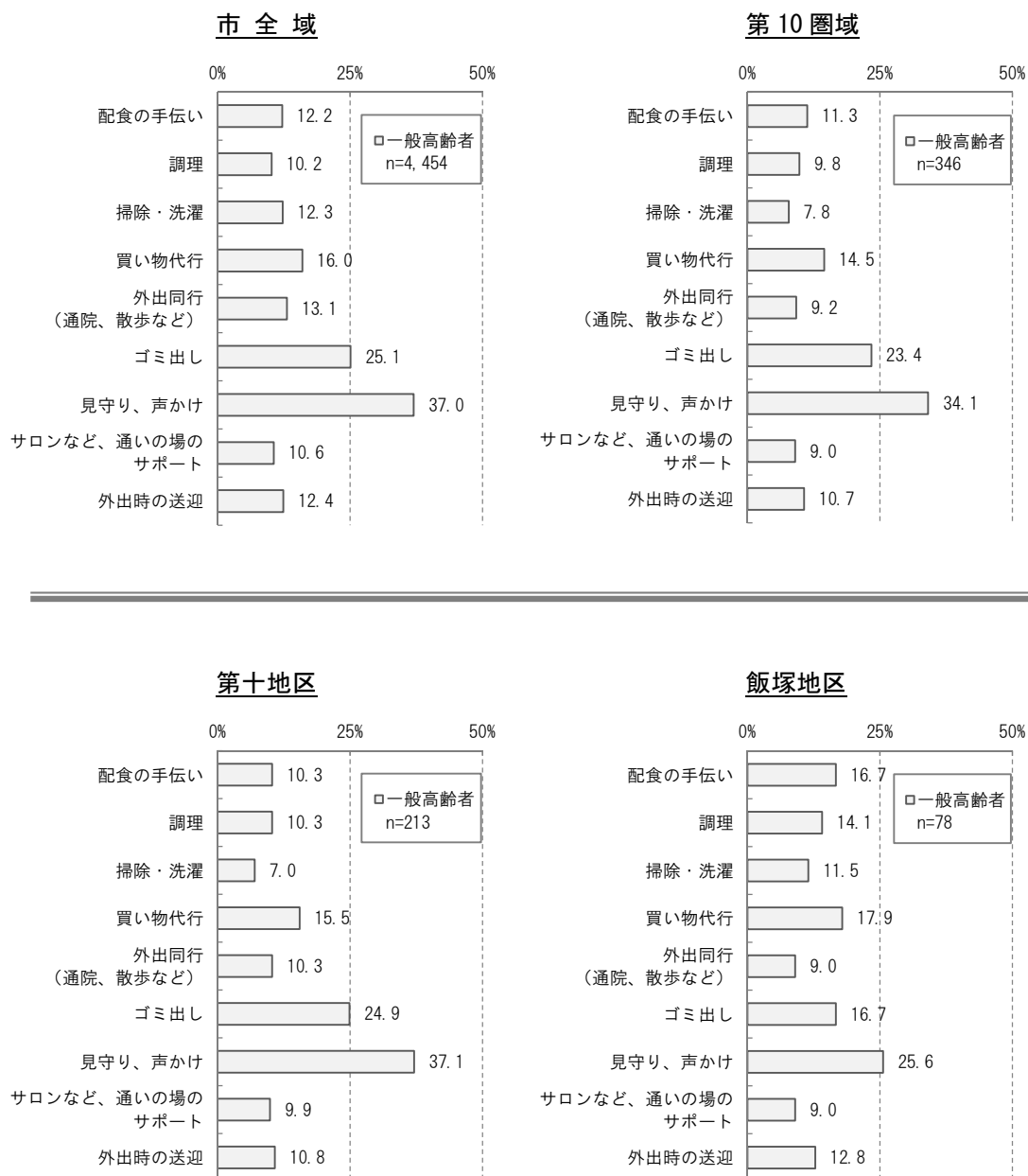
榎沢地区



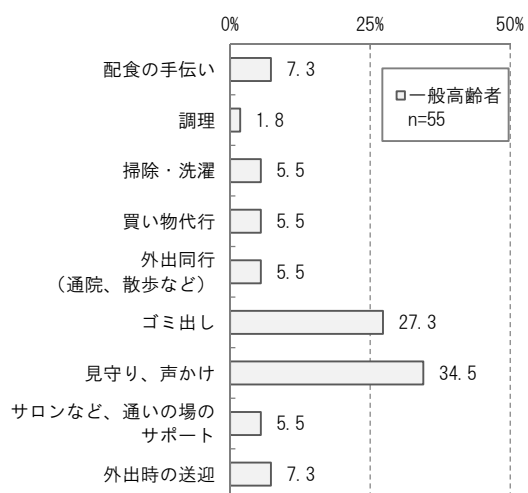
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第10圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで〈第十地区〉〈樺沢地区〉では「ゴミ出し」、〈飯塚地区〉では「買い物代行」となっています。

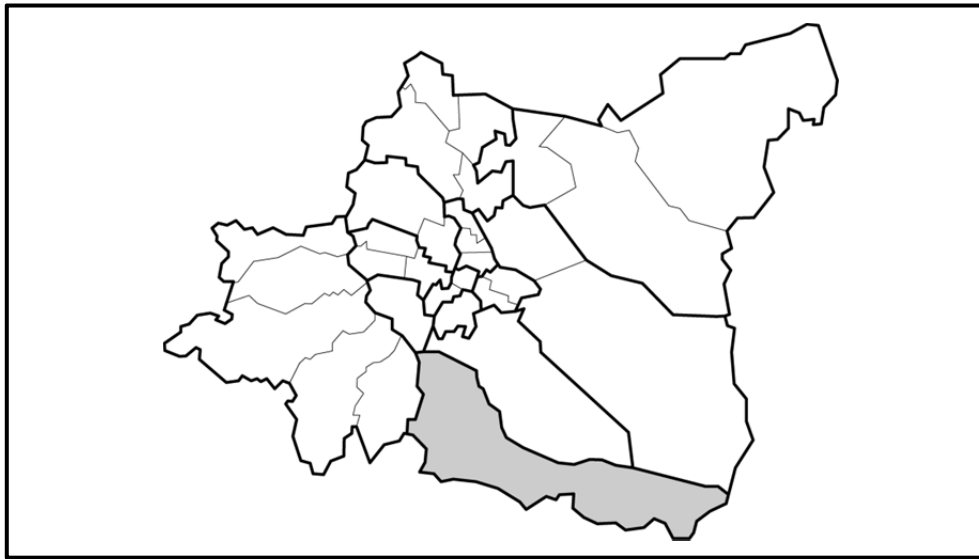
図 2-10.10 高齢者の地域支援意向



榊沢地区



XI 「第11圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第11圏域	17,220	4,759	27.6	2,386	2,373	49.9
蔵王地区	17,220	4,759	27.6	2,386	2,373	49.9

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第11圏域	4,018	188	553	15.6	292	6.1
蔵王地区	4,018	188	553	15.6	292	6.1

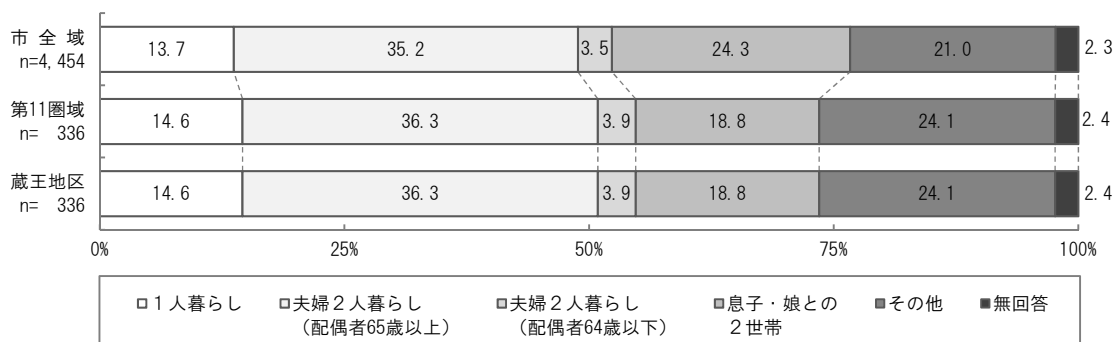
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
0カ所	12カ所	3カ所	10カ所	9カ所	13カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
4カ所	0カ所	42カ所	3カ所	6カ所	11カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉における一般高齢者の家族構成をみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（36.3%）が最も高くなっています。

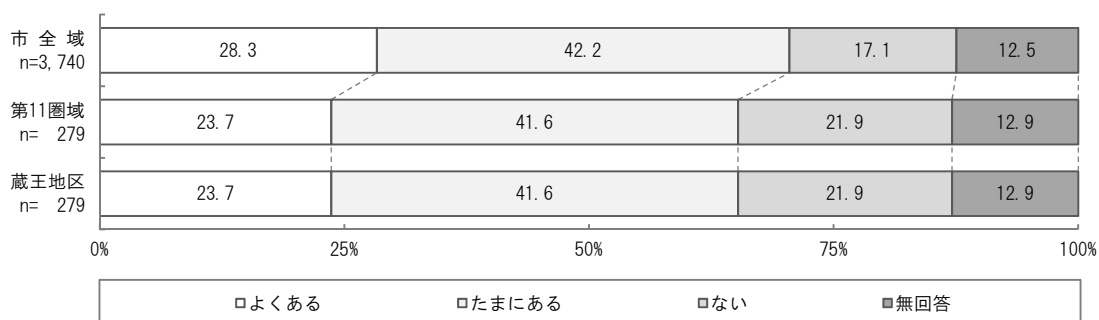
図 2-11.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかをみると、「たまにある」（41.6%）が最も高くなっています。

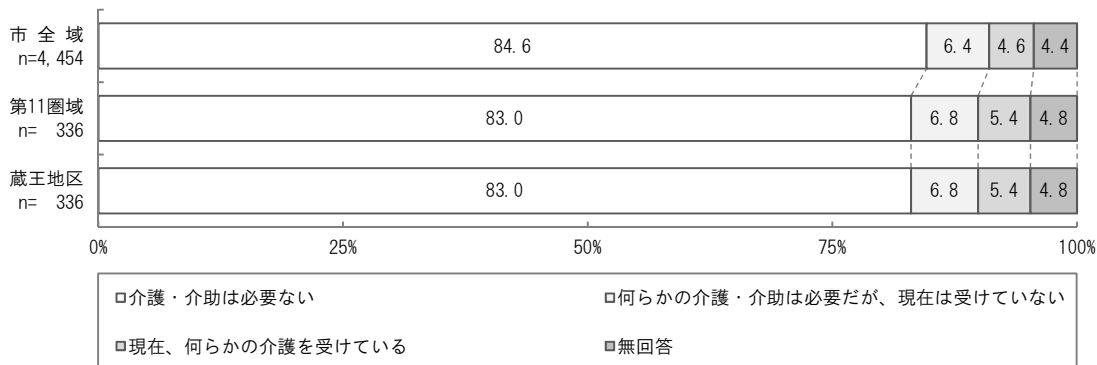
図 2-11.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況をみると、「介護・介助は必要ない」（83.0%）が最も高くなっています。

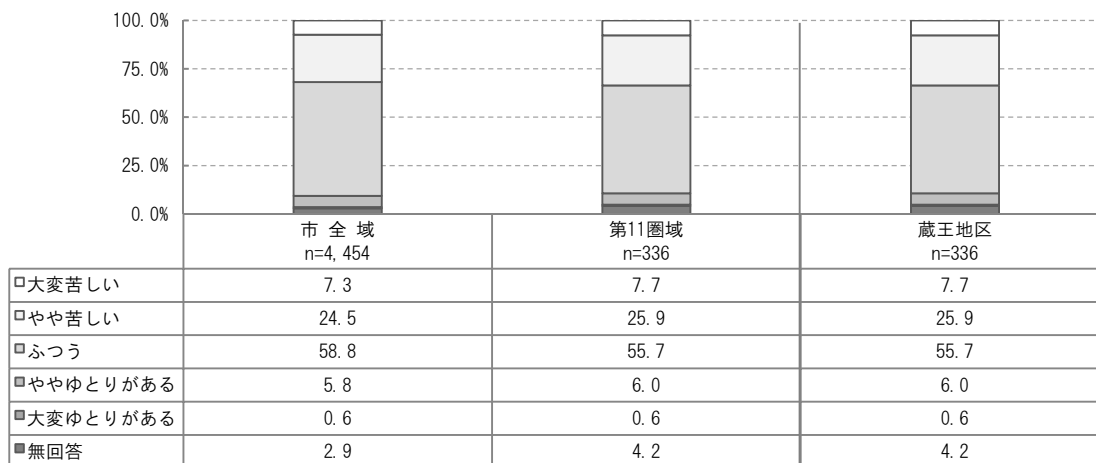
図 2-11.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉における一般高齢者の現在の経済的状況をみると、「ふつう」（55.7%）が最も高くなっています。

図 2-11.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差をみると、介護予防事業対象者で市平均値を上回り、健康高齢者・サービス事業対象者で市平均値を下回っています。

図 2-11.5 3つの高齢者像別出現率

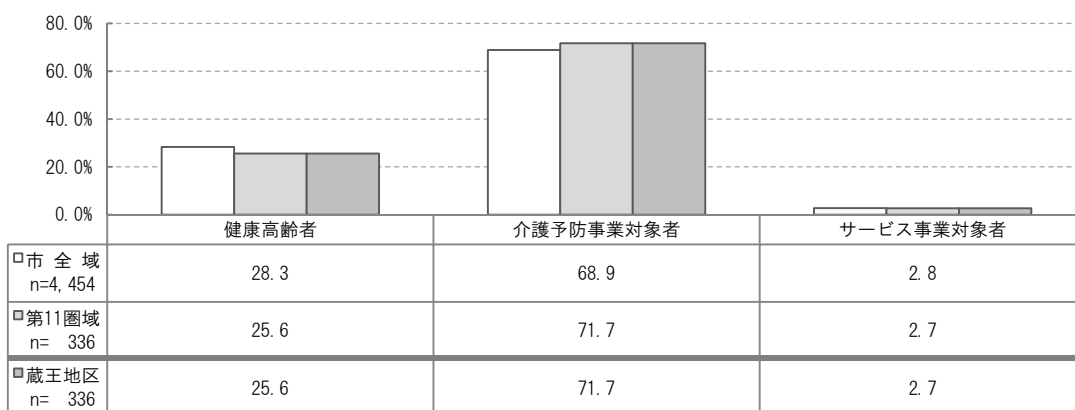
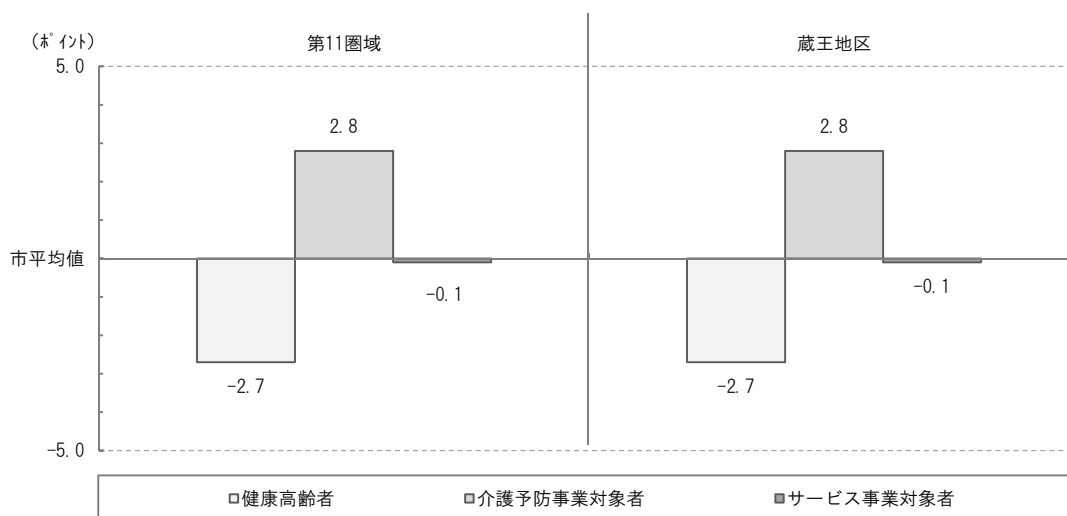


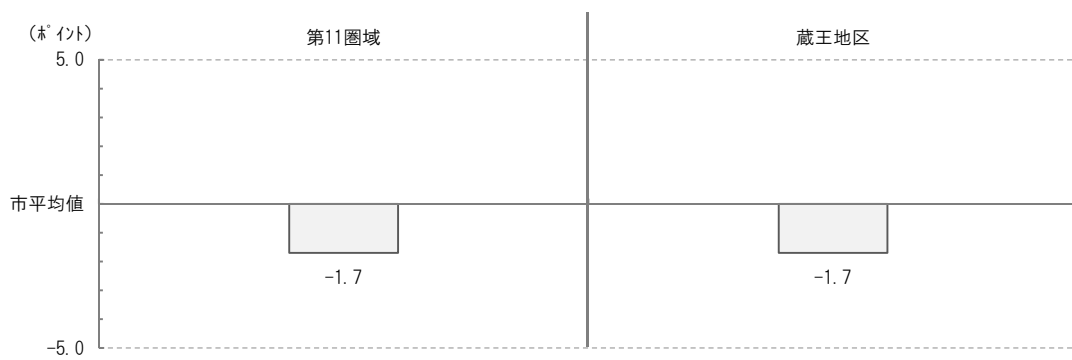
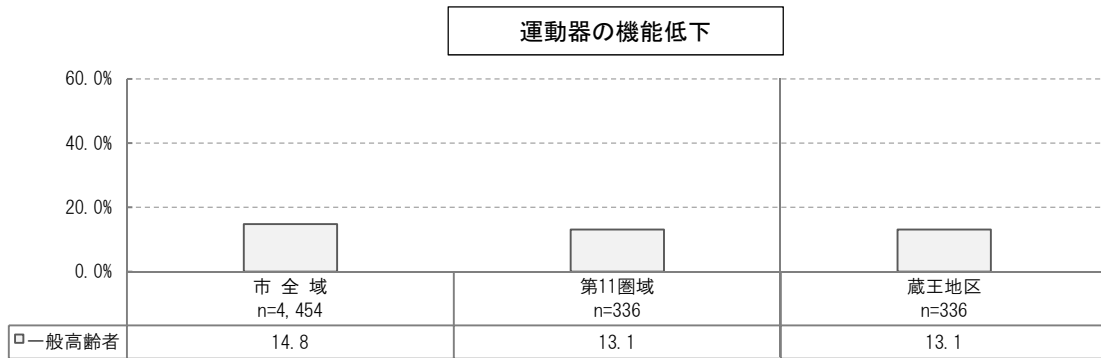
図 2-11.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



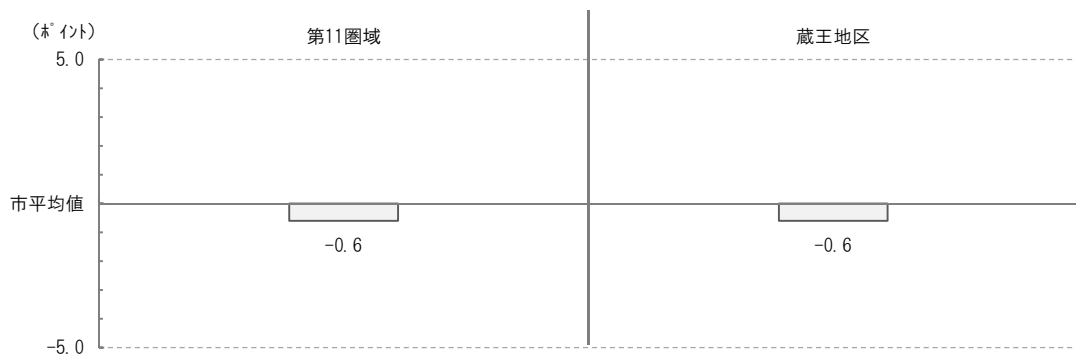
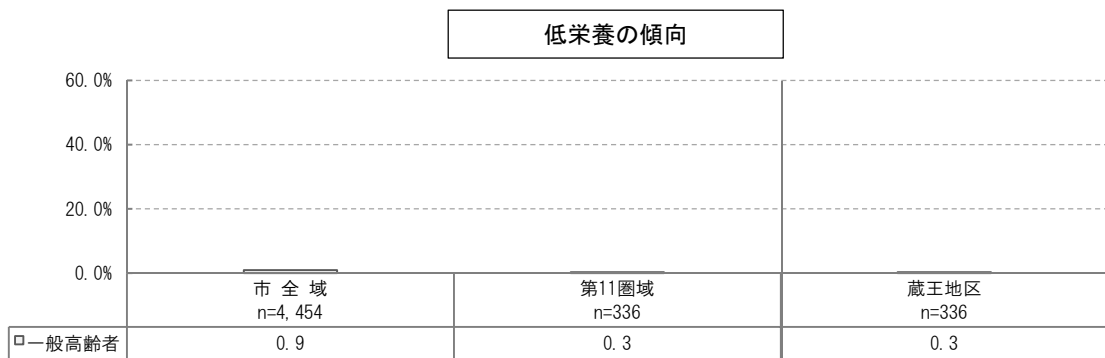
3 リスク別該当者の予測

○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より1.7ポイント低くなっています。

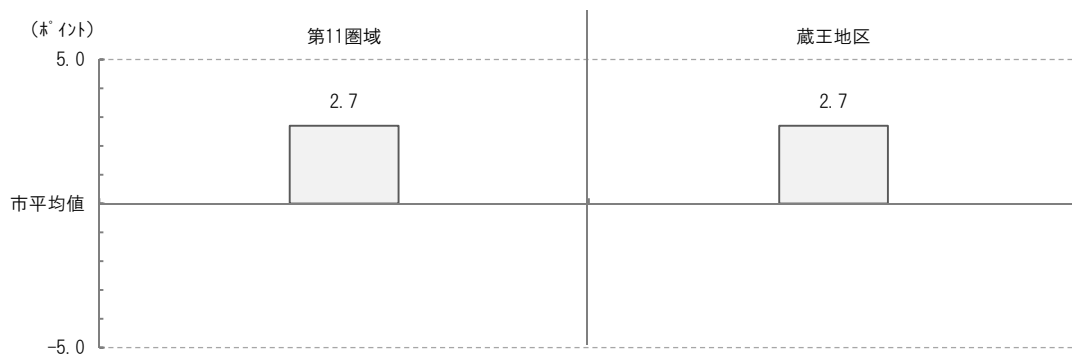
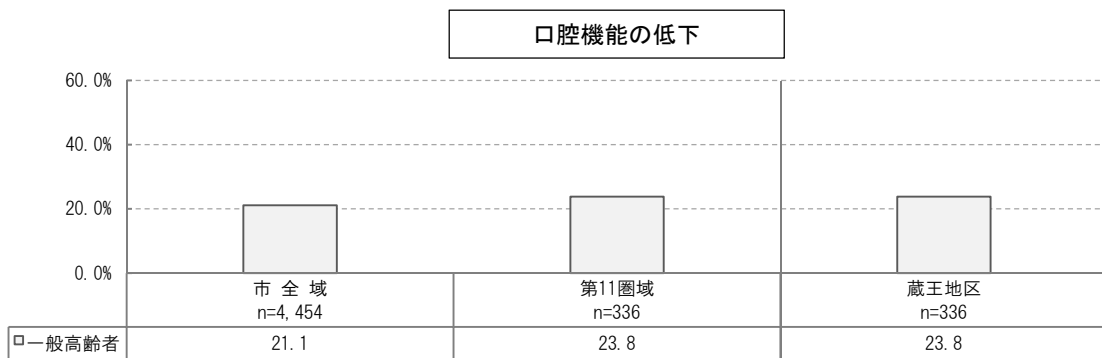
図 2-11.7 リスクに該当する高齢者の出現率



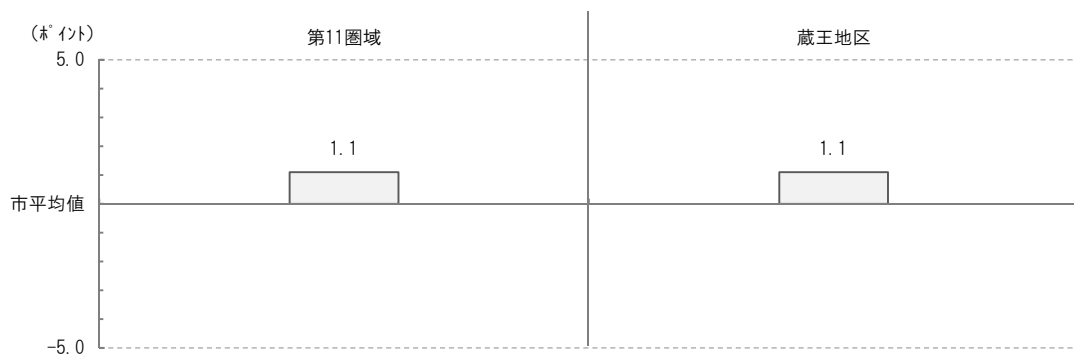
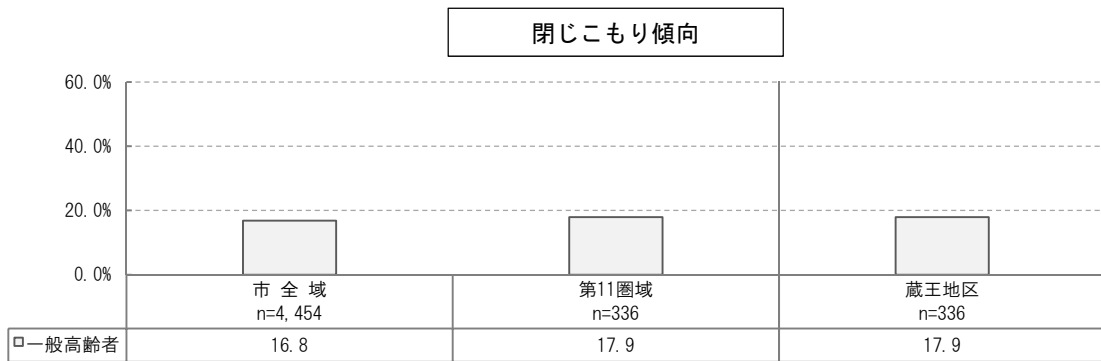
○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差をみると、市
 平均値より0.6ポイント低くなっています。



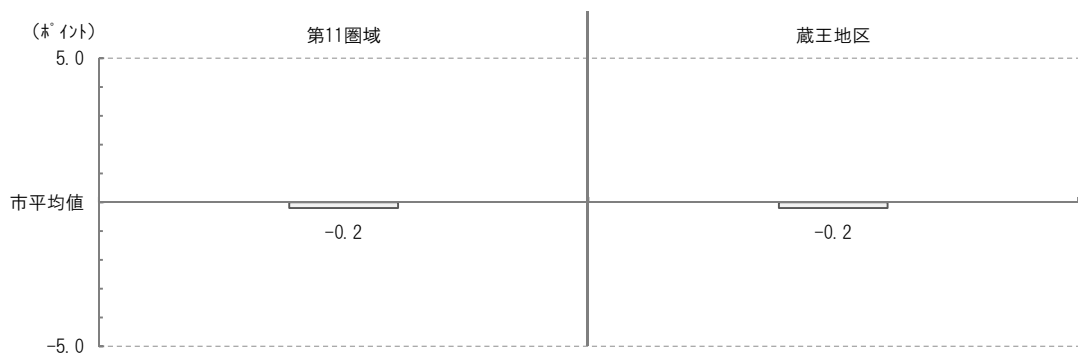
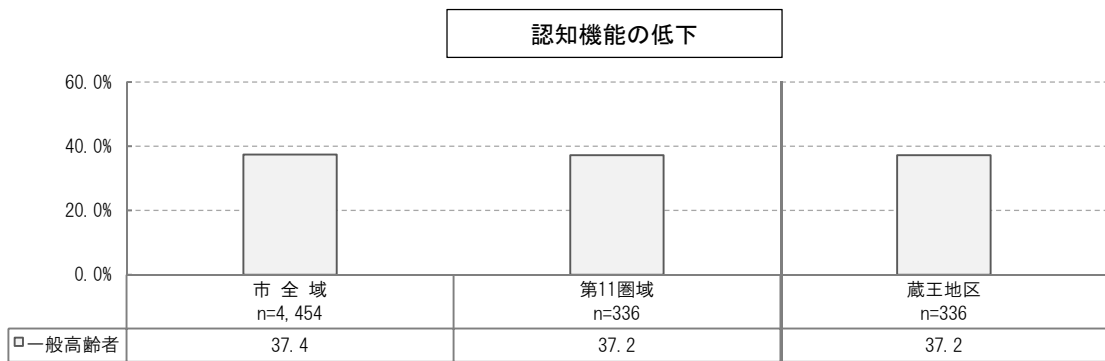
○ 〈第11圏域〉〈蔵王地区〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より2.7ポイント高くなっています。



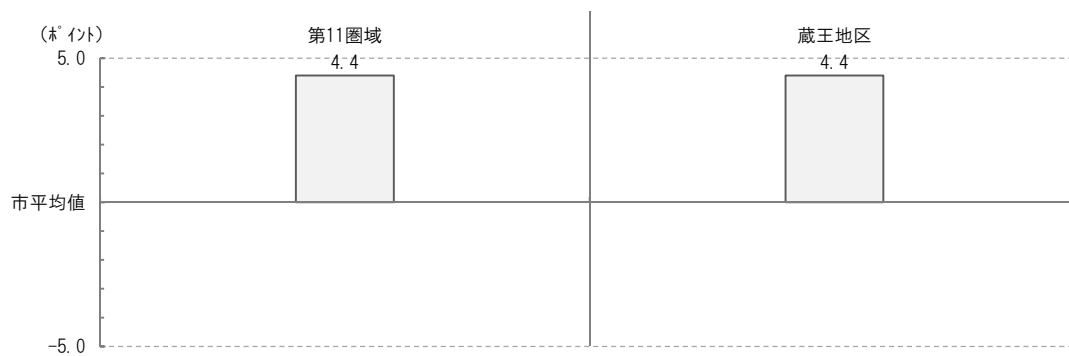
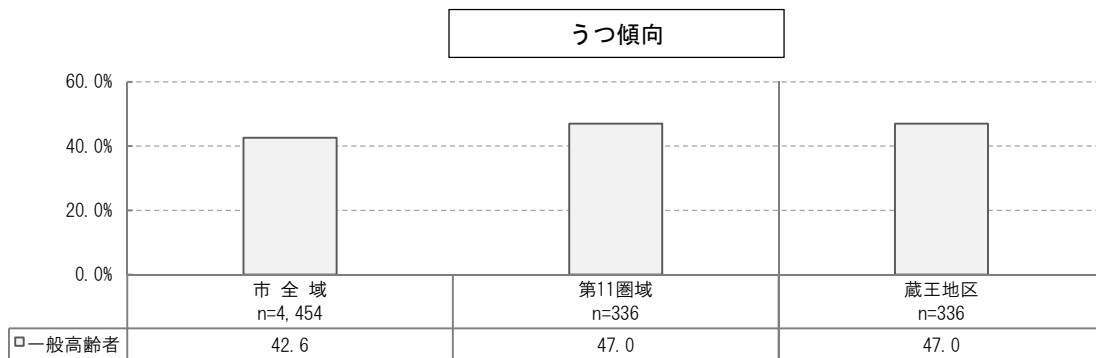
○ 〈第11圏域〉〈蔵王地区〉の「閉じこもり傾向」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より1.1^{ポイント}高くなっています。



○ 〈第11圏域〉〈蔵王地区〉の「認知機能の低下」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より0.2ポイント低くなっています。



○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より4.4^{ポイント}高くなっています。

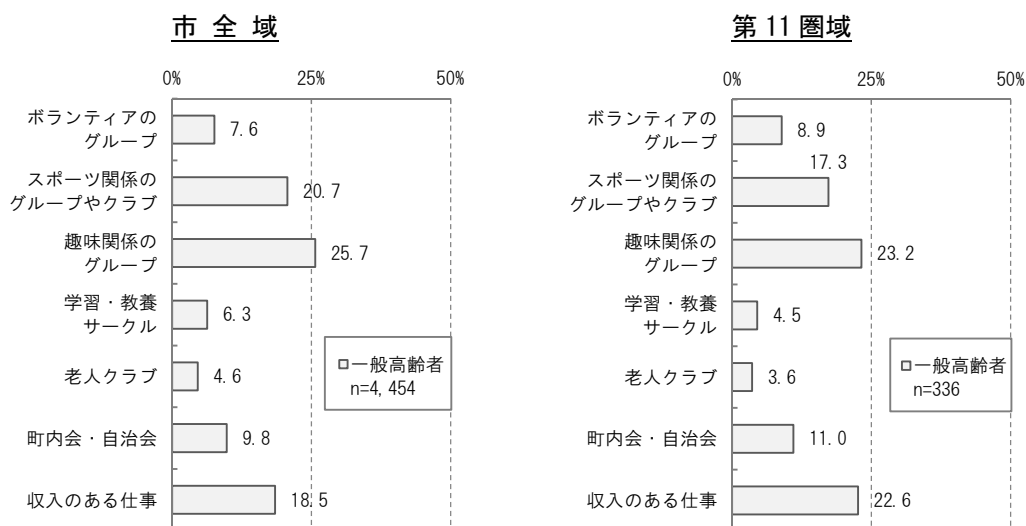


4 地域資源等の把握

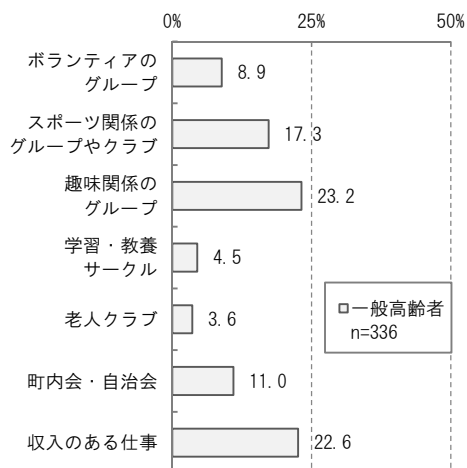
(1) 地域活動への参加状況

○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉における一般高齢者の地域活動への参加状況をみると、「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。

図 2-11.8 地域活動への参加状況



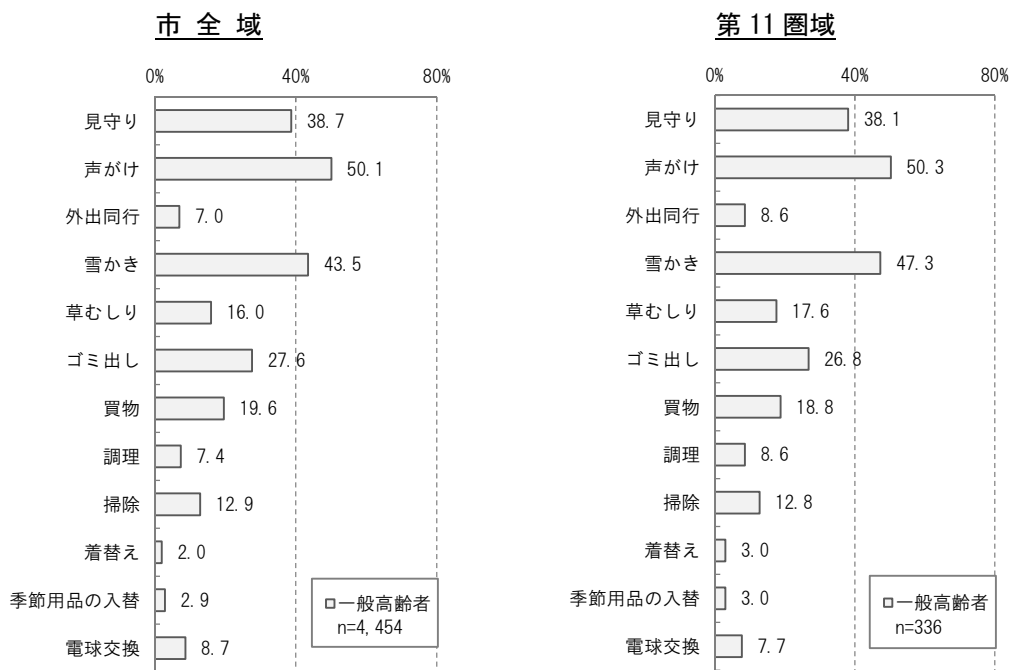
蔵王地区



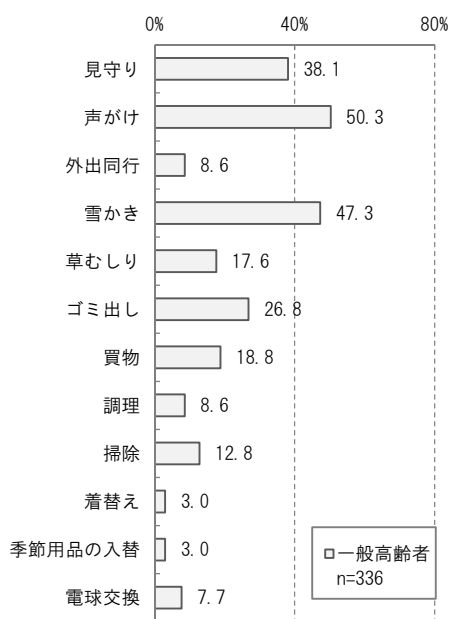
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目をみると、「声かけ」が最も高く、次いで「雪かき」となっています。

図 2-11.9 近隣住民をお願いしたい支援



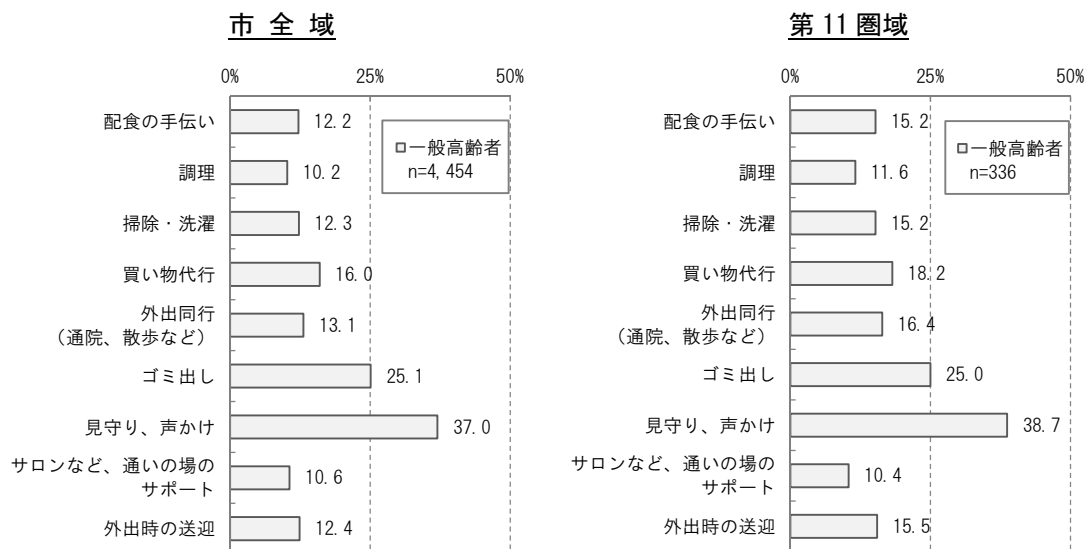
蔵王地区



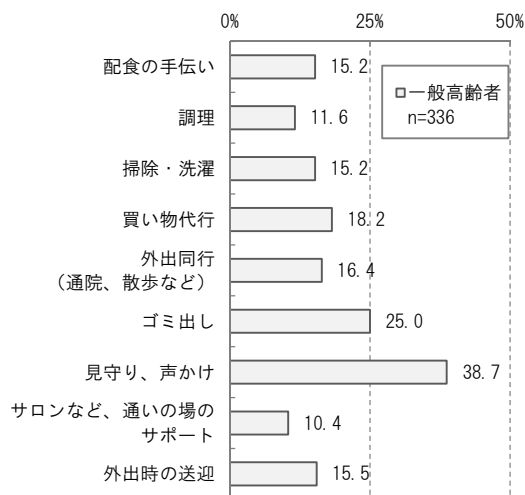
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第11圏域〉〈蔵王地区〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスをみると、「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

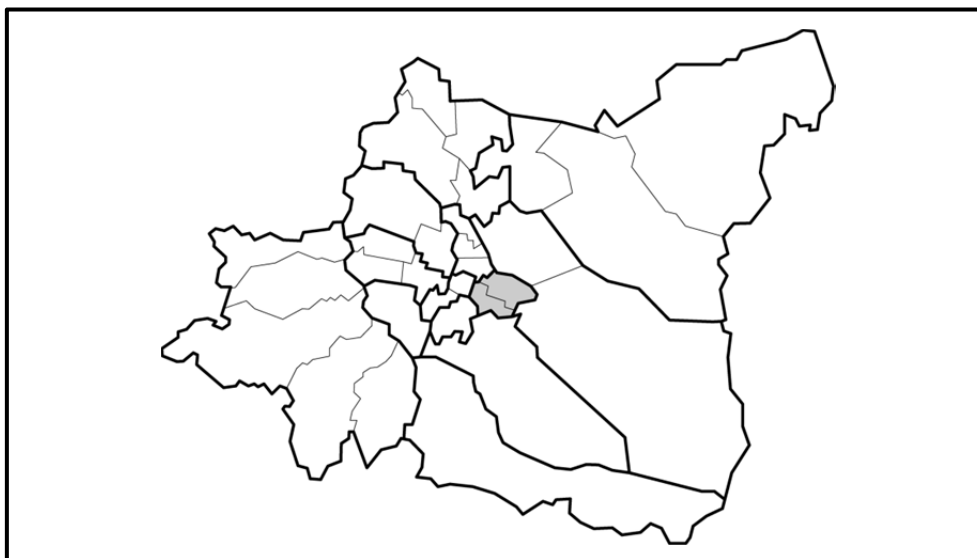
図 2-11.10 高齢者の地域支援意向（推計）



蔵王地区



XII 「第12圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第12圏域	18,408	4,637	25.2	2,117	2,520	54.3
第五地区	8,171	2,195	26.9	956	1,239	56.4
第八地区	10,237	2,442	23.9	1,161	1,281	52.5

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第12圏域	3,880	193	564	16.3	228	4.9
第五地区	1,826	104	265	16.8	93	4.2
第八地区	2,054	89	299	15.9	135	5.5

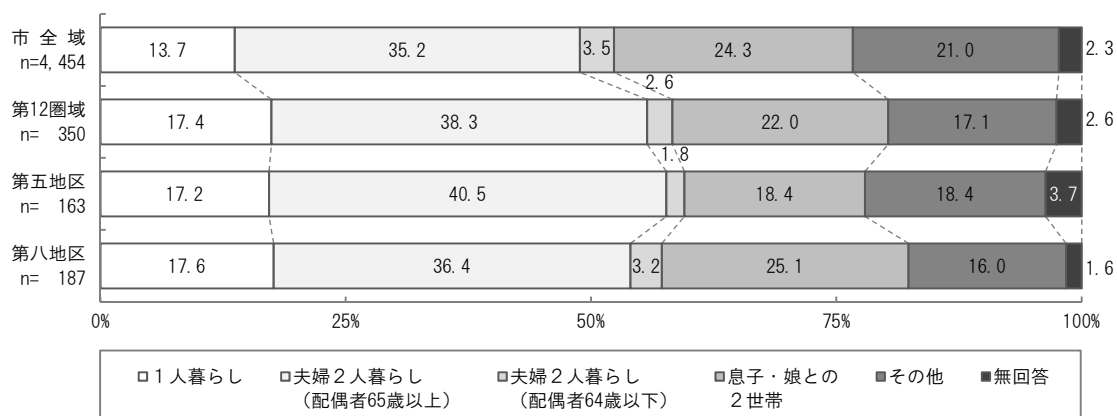
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	23カ所	6カ所	11カ所	10カ所	10カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
2カ所	0カ所	33カ所	3カ所	12カ所	9カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第12圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、〈第五地区〉〈第八地区〉ともに「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（40.5%・36.4%）が最も高くなっています。

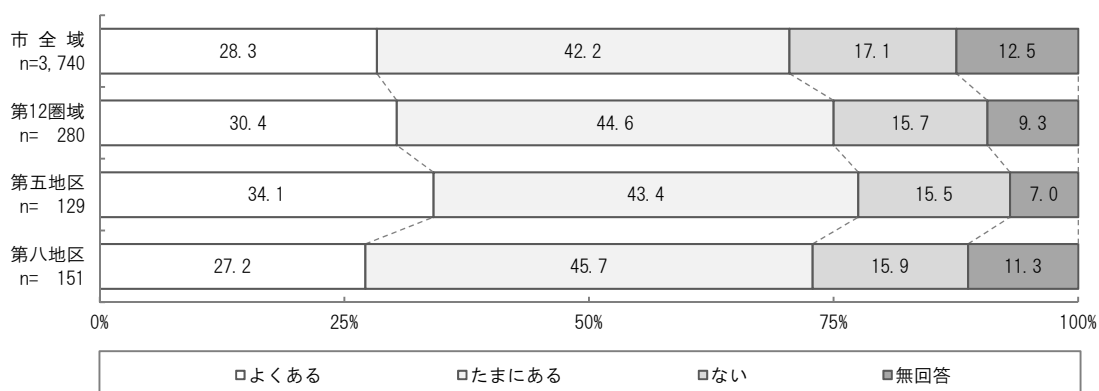
図 2-12.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第12圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈第五地区〉〈第八地区〉ともに「たまにある」（43.4%・45.7%）が最も高くなっています。

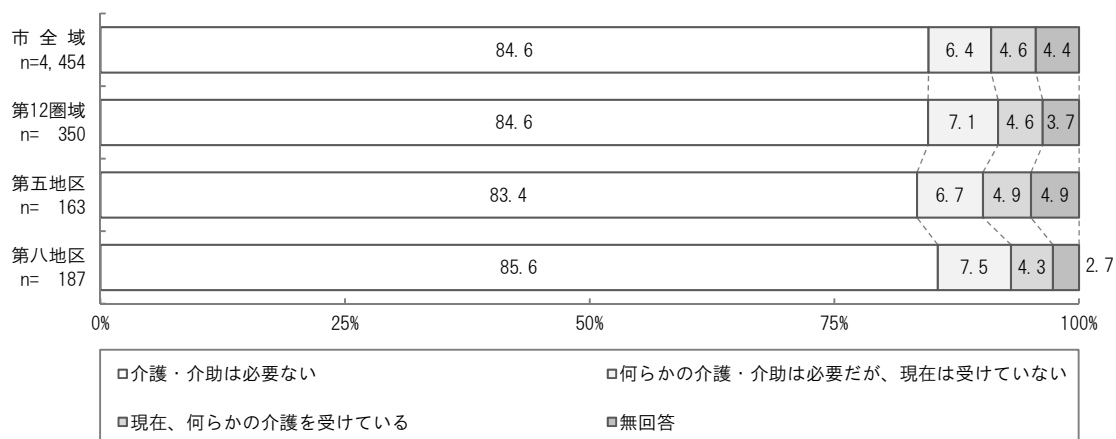
図 2-12.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第12圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、〈第五地区〉〈第八地区〉ともに「介護・介助は必要ない」（83.4%・85.6%）が最も高くなっています。

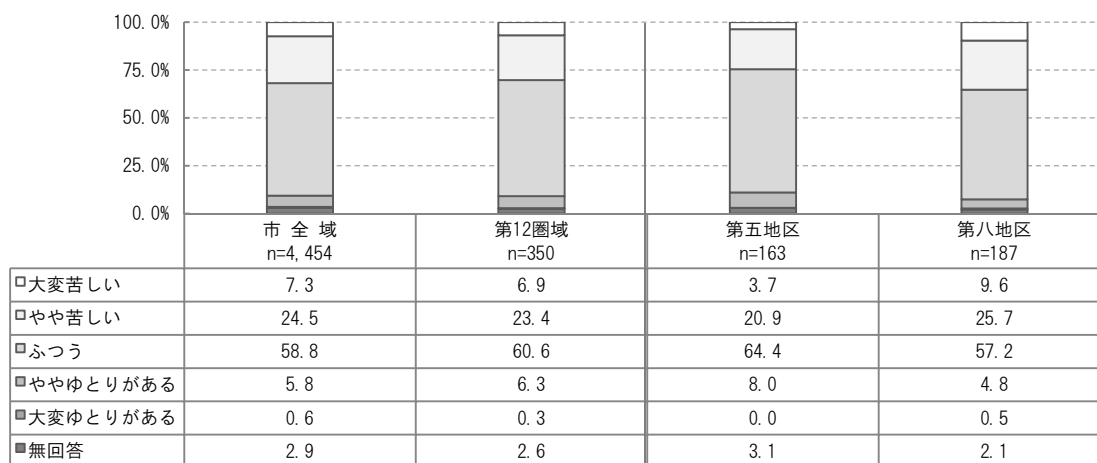
図 2-12.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第12圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、〈第五地区〉〈第八地区〉ともに「ふつう」（64.4%・57.2%）が最も高くなっています。

図 2-12.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像” からみた地域分析

○〈第12圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、健康高齢者・サービス事業対象者では〈第五地区〉、介護予防事業対象者では〈第八地区〉で市平均値を上回っています。

図 2-12.5 3つの高齢者像別出現率

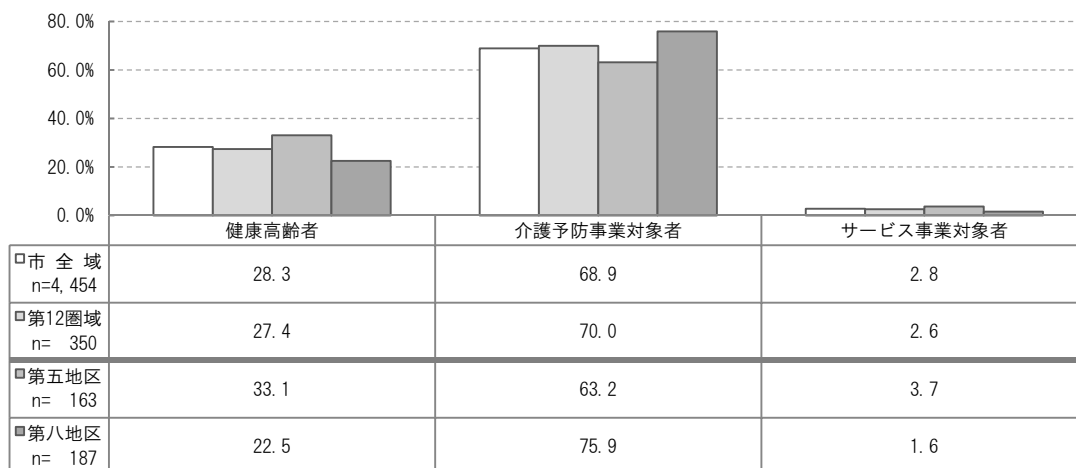
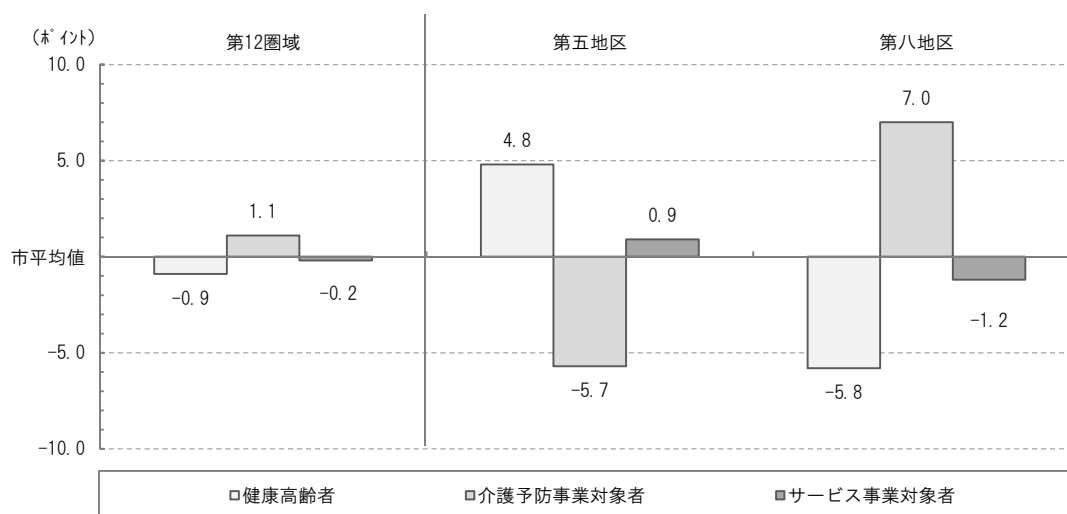


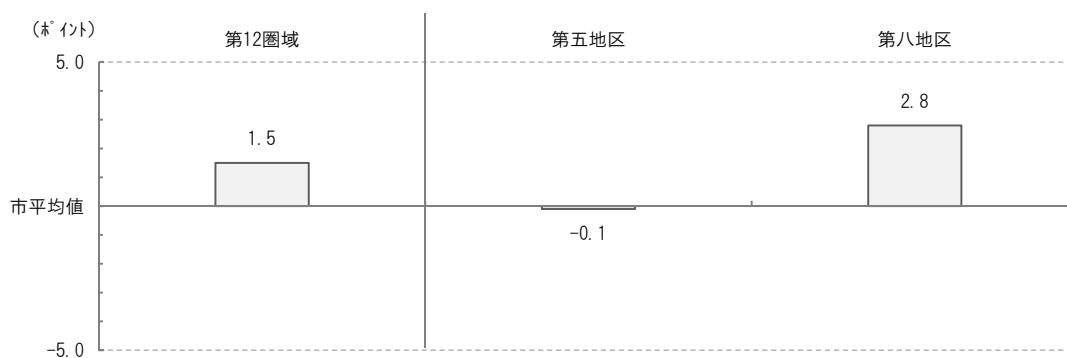
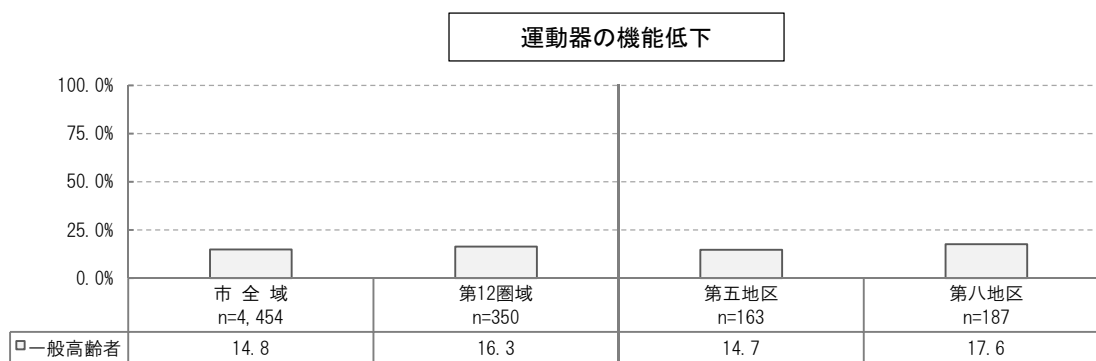
図 2-12.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



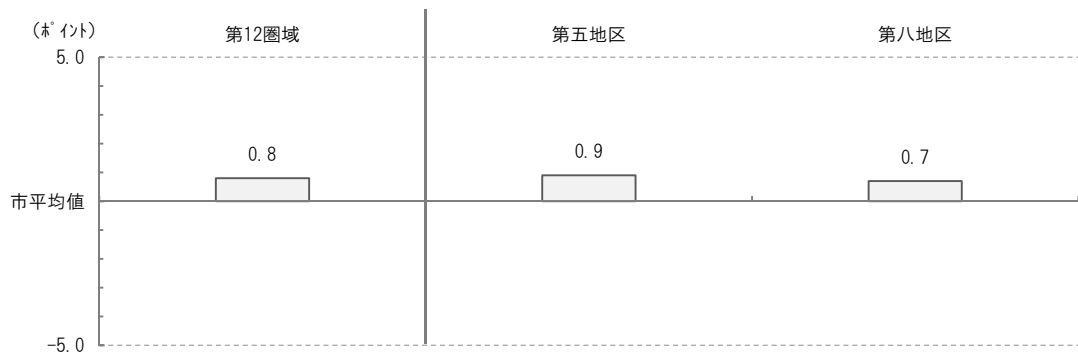
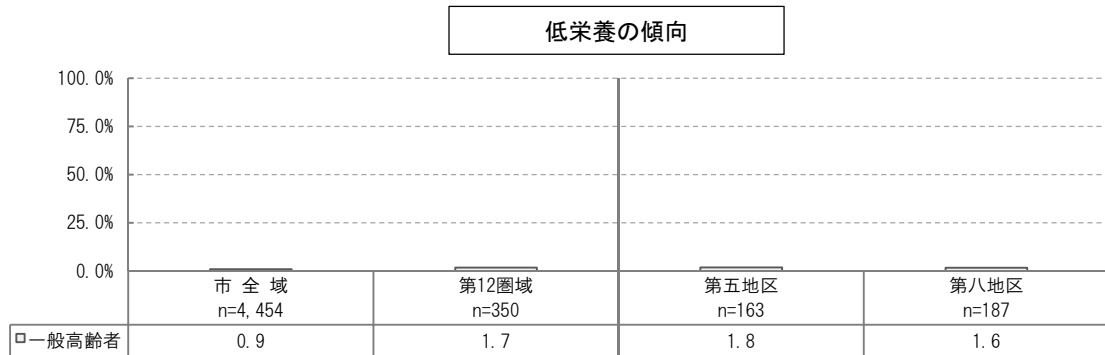
3 リスク別該当者の予測

○ 〈第12圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第八地区〉で市平均値より2.8ポイント高く、各地区の出現率（14.7%・17.6%）の差は2.9ポイントとなっています。

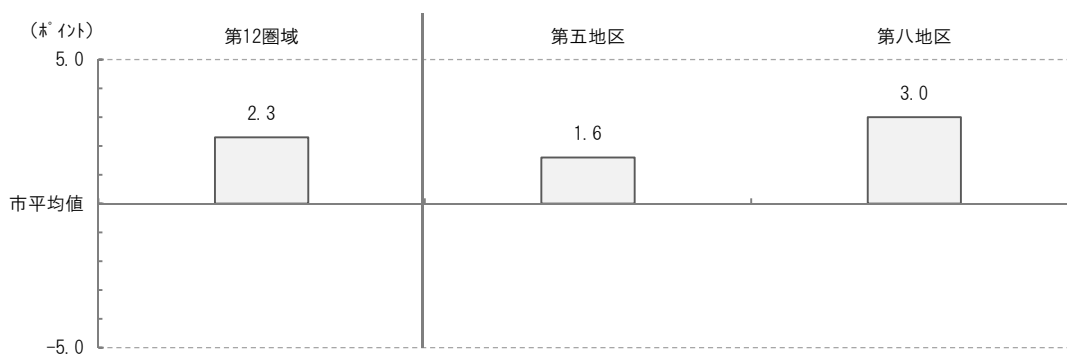
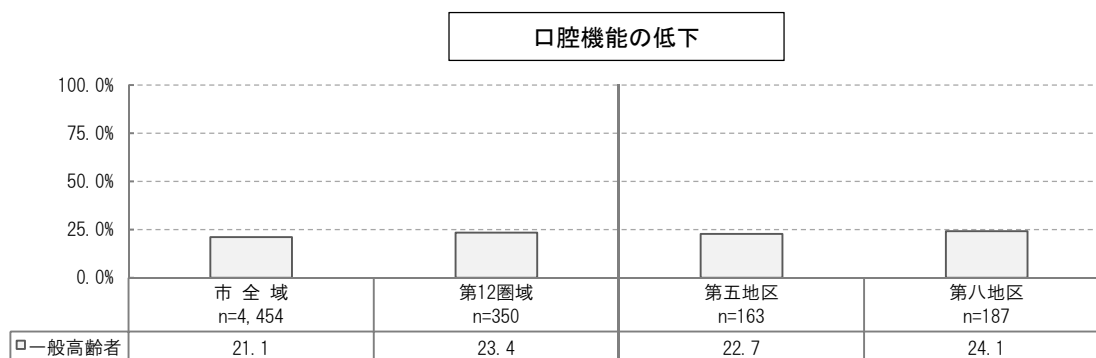
図 2-12.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



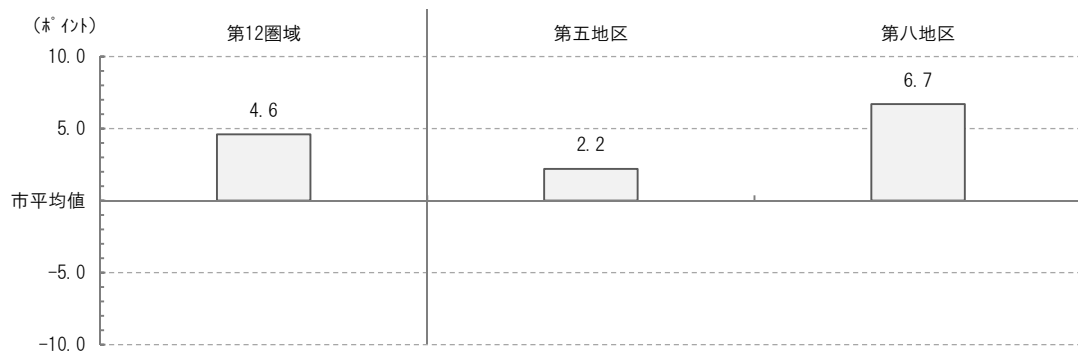
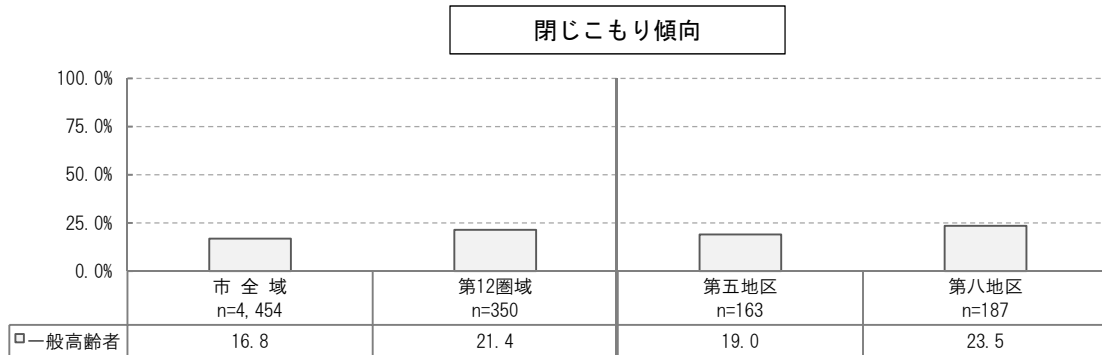
○〈第12圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第五地区〉で市平均値より0.9ポイント、〈第八地区〉で0.7ポイント高く、各地区の出現率（1.8%・1.6%）の差は0.2ポイントとなっています。



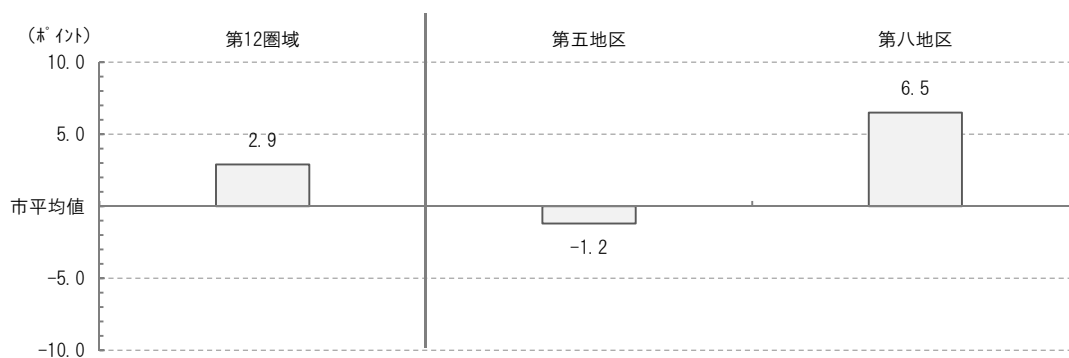
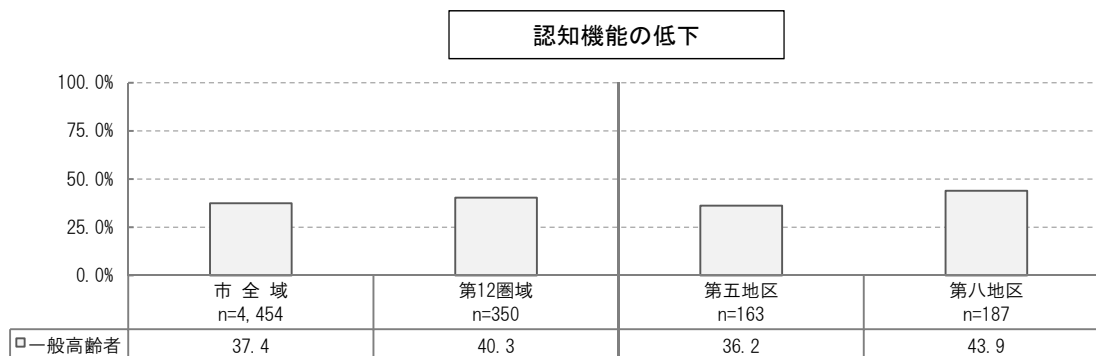
○〈第12圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第五地区〉で市平均値より1.6ポイント、〈第八地区〉で3.0ポイント高く、各地区の出現率（22.7%・24.1%）の差は1.4ポイントとなっています。



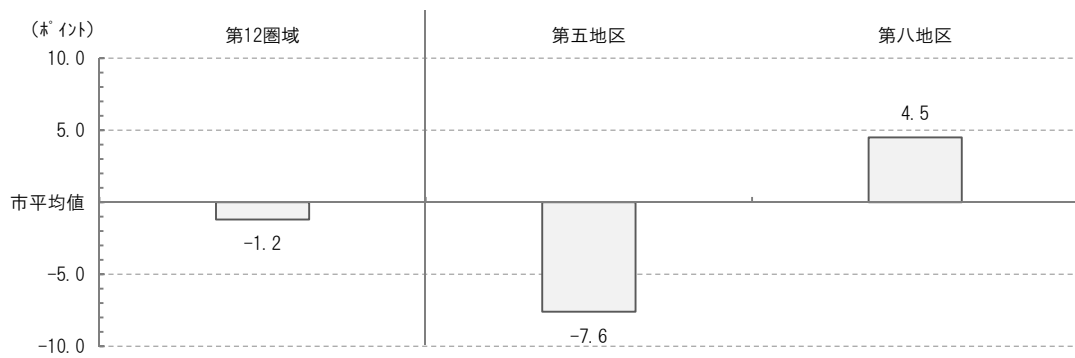
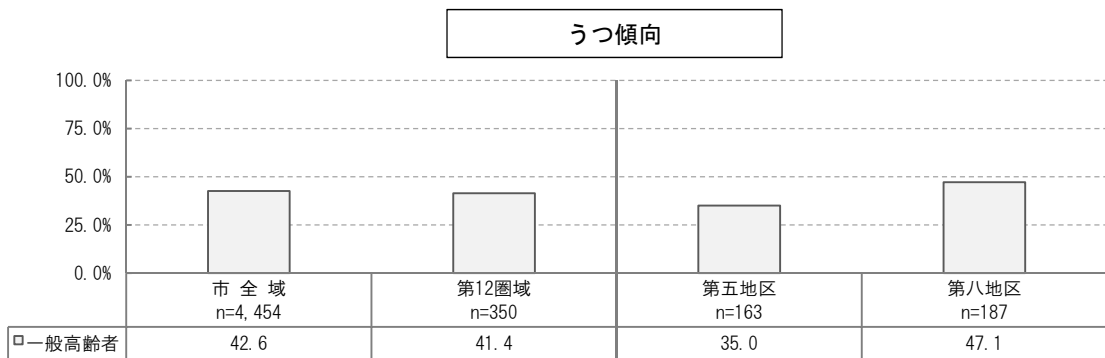
○〈第12圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第五地区〉で市平均値より2.2ポイント、〈第八地区〉で6.7ポイント高く、各地区の出現率（19.0%・23.5%）の差は4.5ポイントとなっています。



○〈第12圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第八地区〉で市平均値より6.5ポイント高く、各地区の出現率（36.2%・43.9%）の差は7.7ポイントとなっています。



○〈第12圏域〉の「うつ傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈第八地区〉で市平均値より4.5^{ポイント}高く、各地区の出現率（35.0%・47.1%）の差は12.1^{ポイント}となっています。

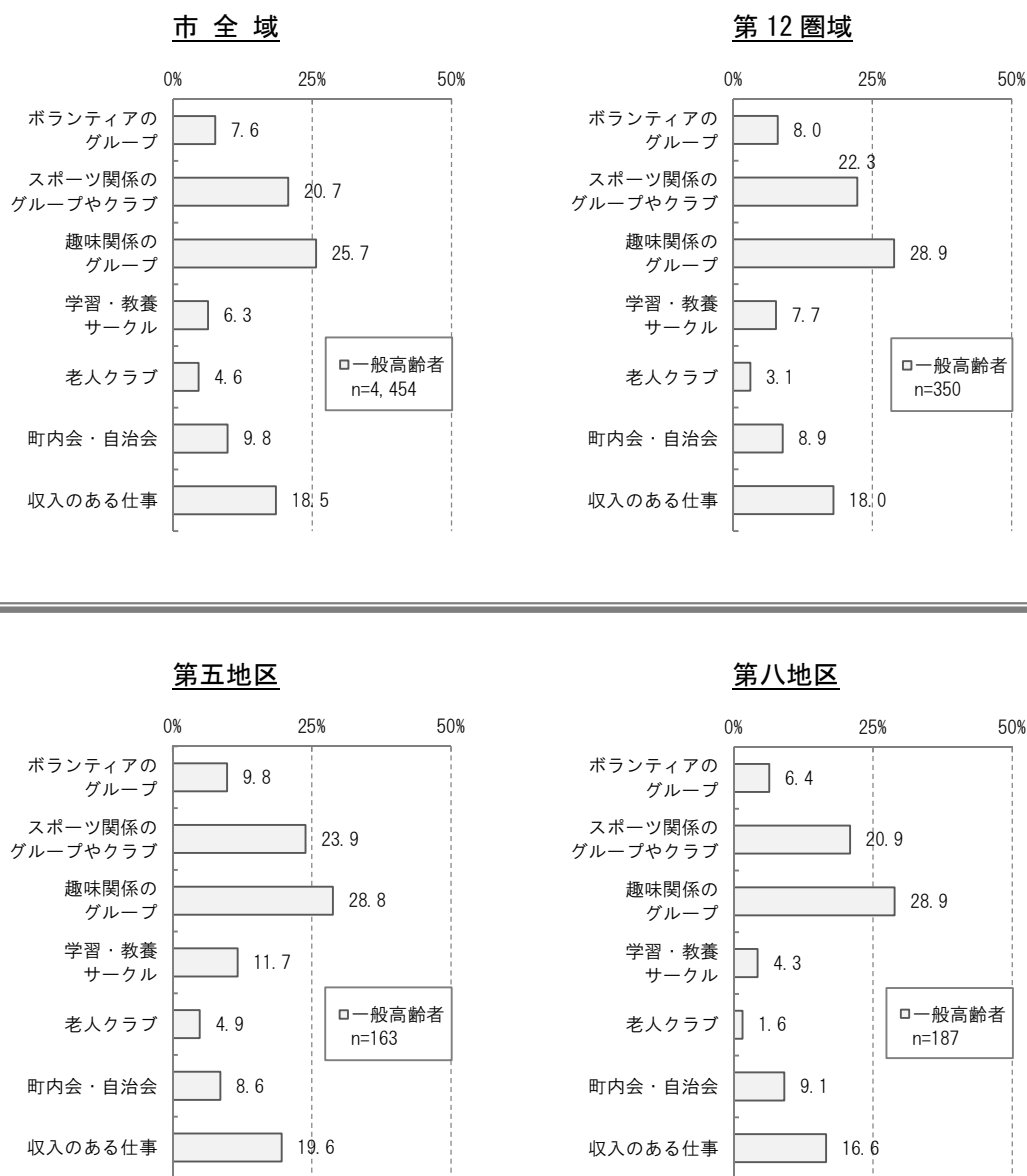


4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第12圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、全ての地区で「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。

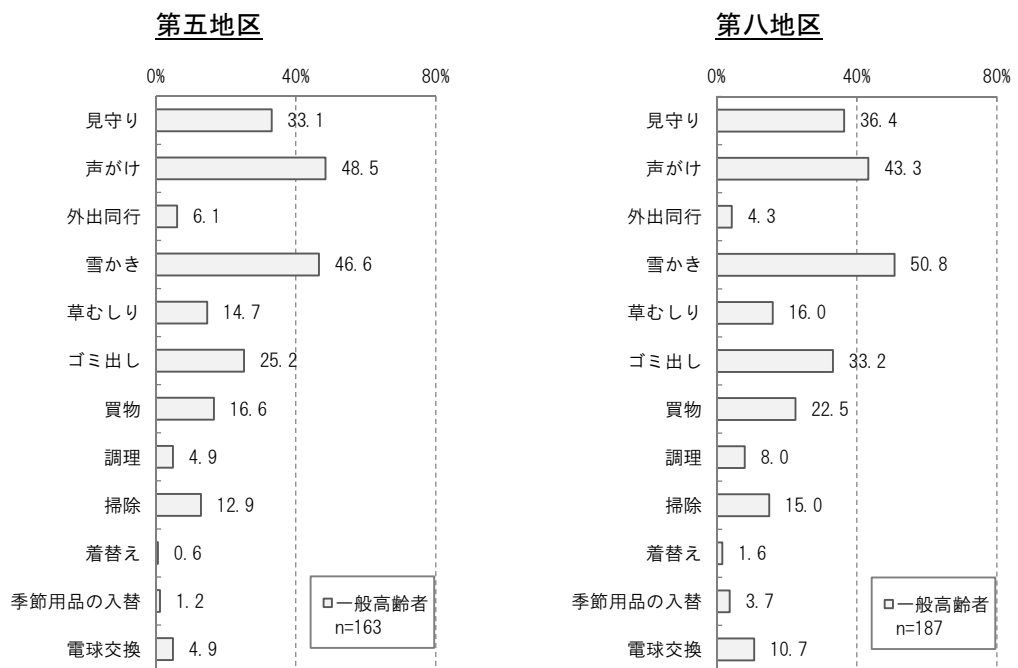
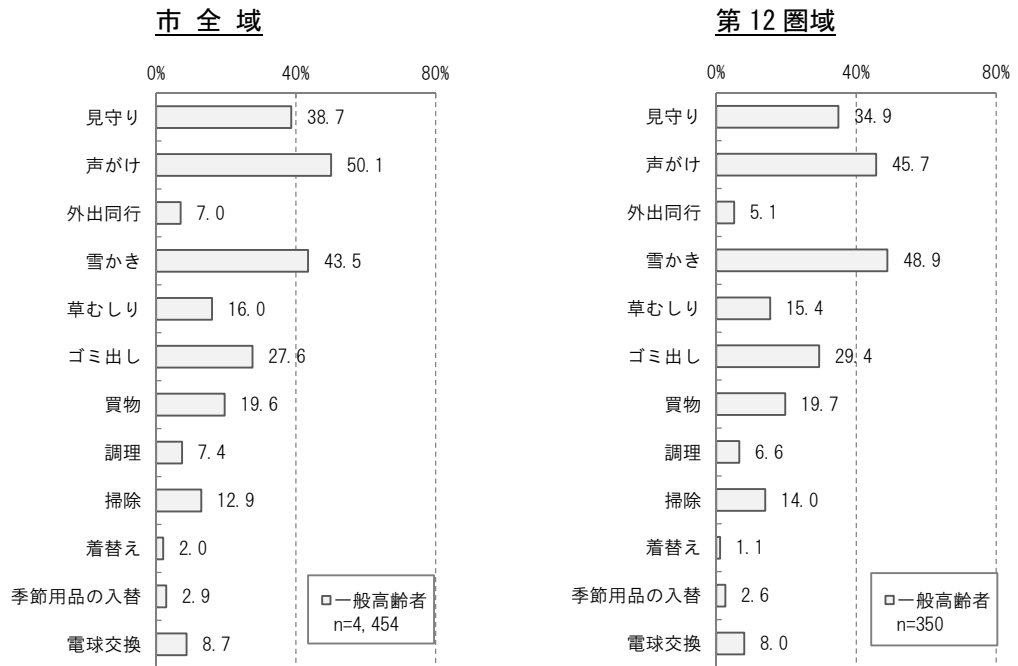
図 2-12.8 地域活動への参加状況



(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第12圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、〈第五地区〉で「声かけ」、〈第八地区〉で「雪かき」が最も高く、次いで〈第五地区〉で「雪かき」、〈第八地区〉で「声かけ」となっています。

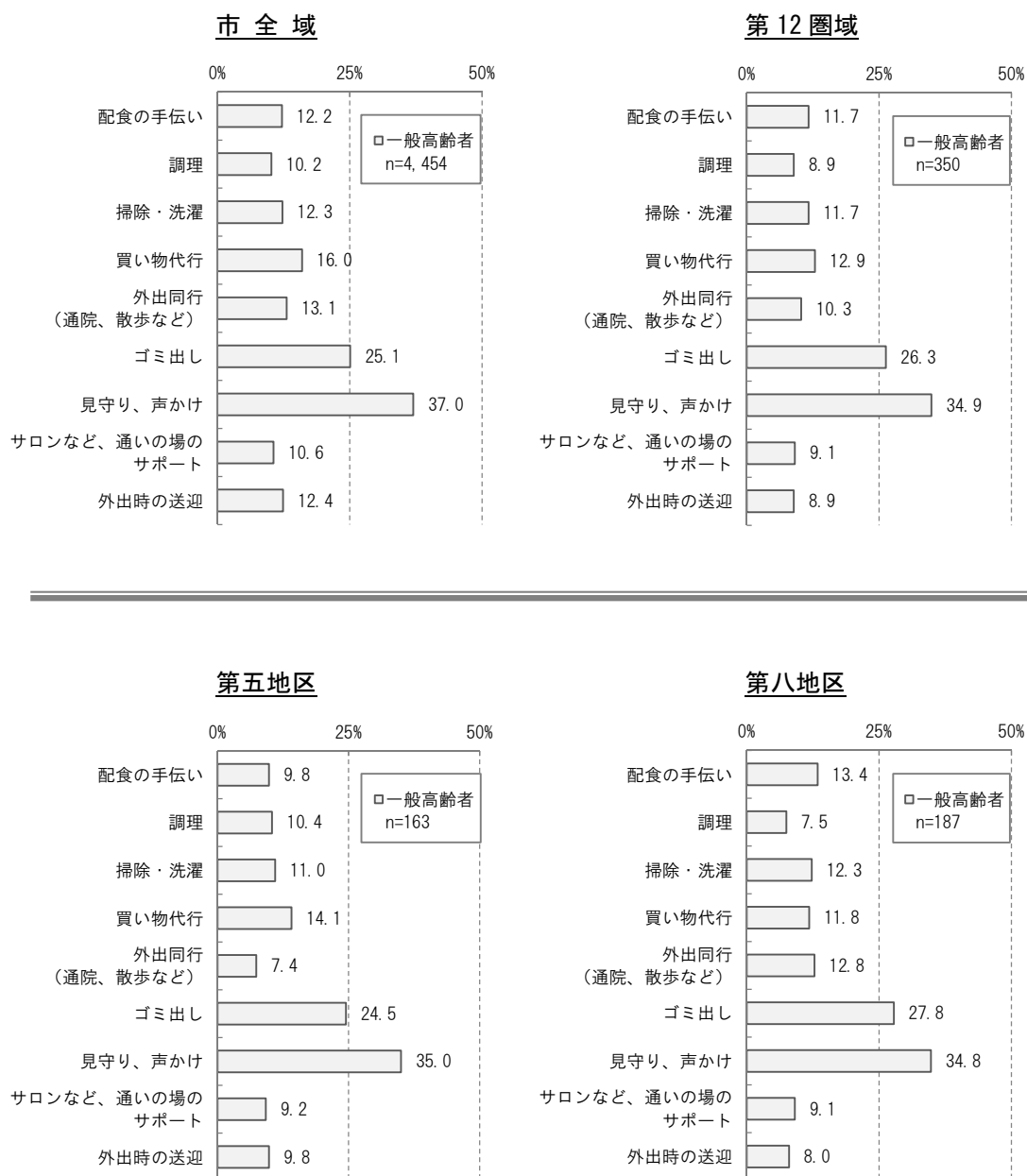
図 2-12.9 近隣住民をお願いしたい支援



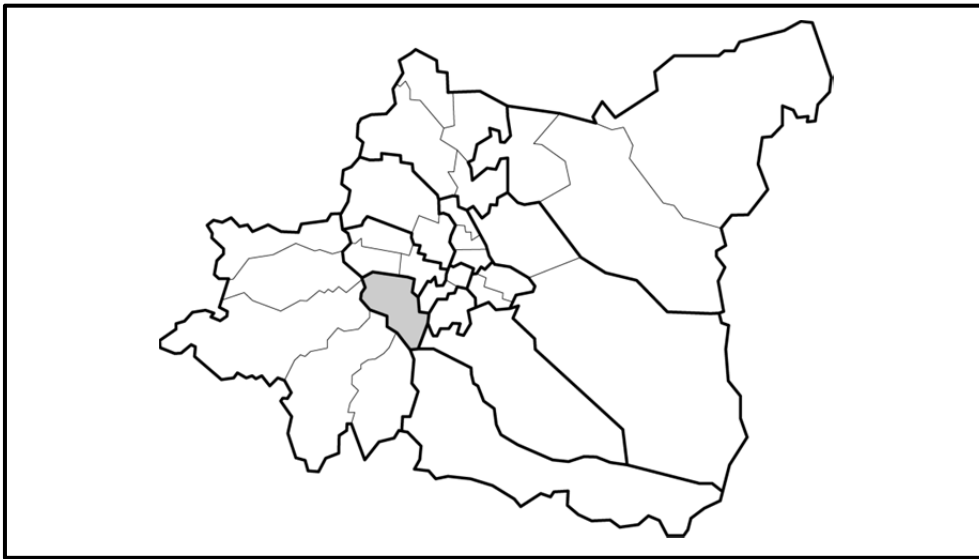
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第12圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

図 2-12. 10 高齢者の地域支援意向



XIII 「第13圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第13圏域	18,088	4,559	25.2	2,368	2,191	48.1
南沼原地区	18,088	4,559	25.2	2,368	2,191	48.1

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第13圏域	3,748	121	690	17.8	422	9.3
南沼原地区	3,748	121	690	17.8	422	9.3

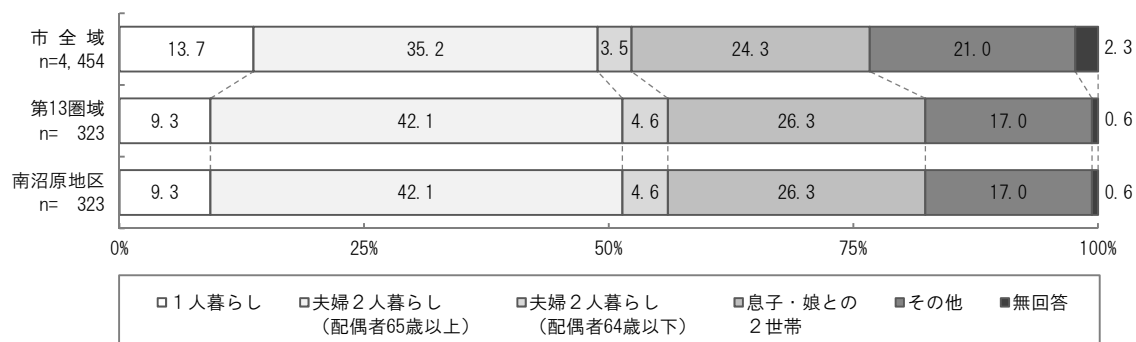
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	16カ所	2カ所	12カ所	14カ所	11カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
5カ所	1カ所	42カ所	3カ所	15カ所	15カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉における一般高齢者の家族構成をみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（42.1%）が最も高くなっています。

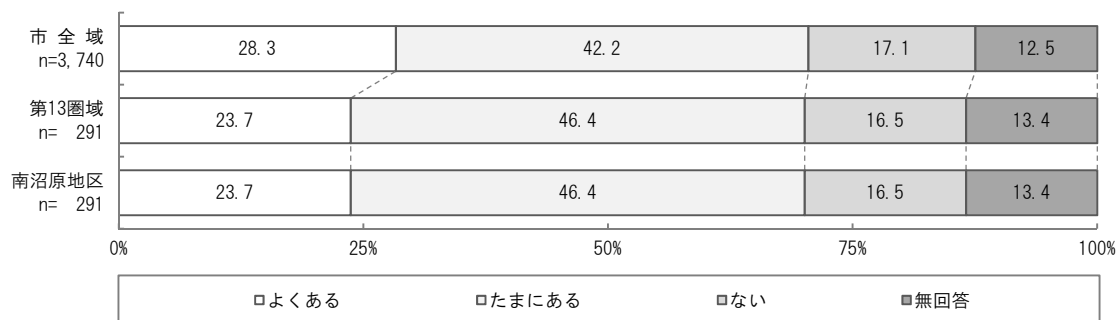
図 2-13.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかをみると、「たまにある」（46.4%）が最も高くなっています。

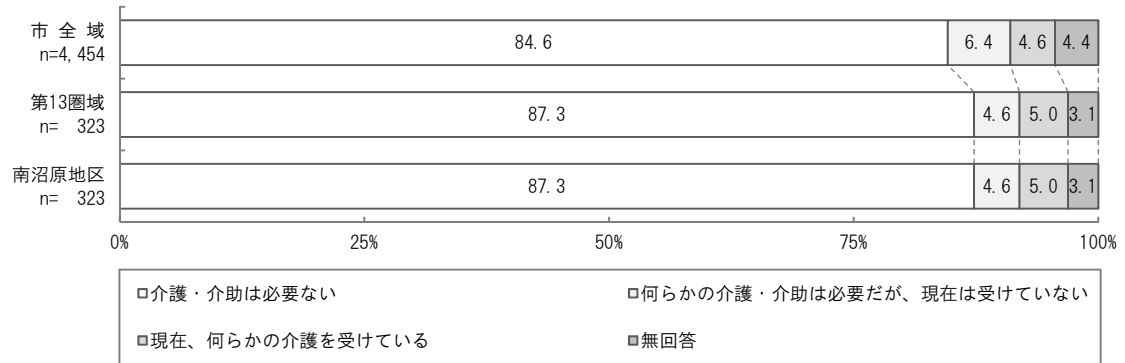
図 2-13.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況をみると、「介護・介助は必要ない」（87.3%）が最も高くなっています。

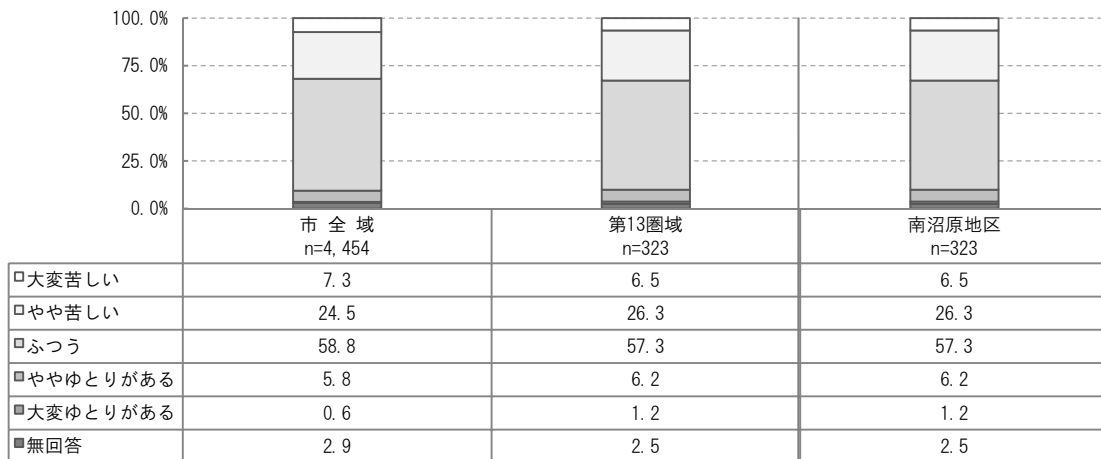
図 2-13.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉における一般高齢者の現在の経済的状況をみると、「ふつう」（57.3%）が最も高くなっています。

図 2-13.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差をみると、健康高齢者・サービス事業対象者で市平均値を上回り、介護予防事業対象者で市平均値を下回っています。

図 2-13.5 3つの高齢者像別出現率

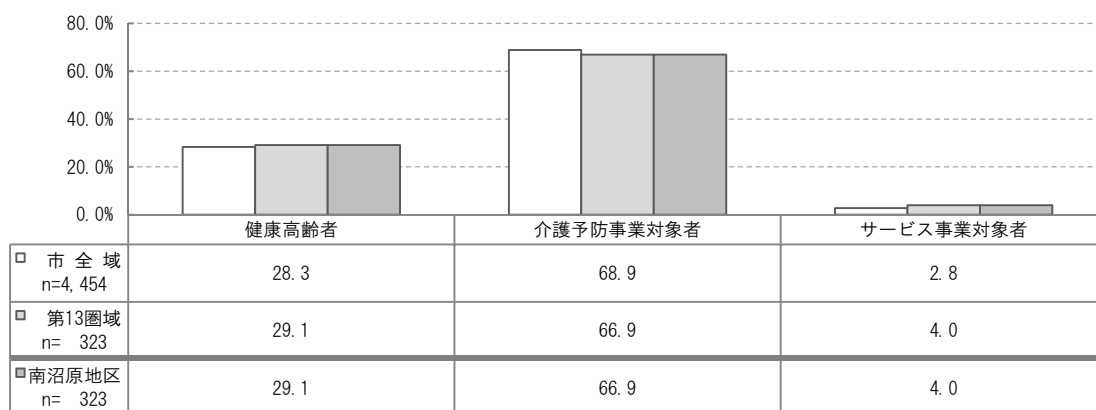
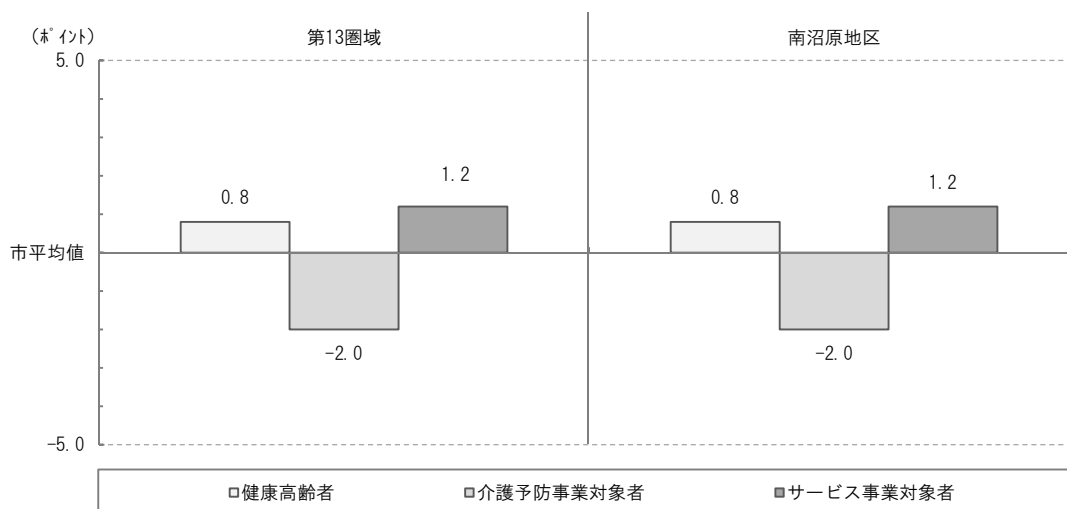


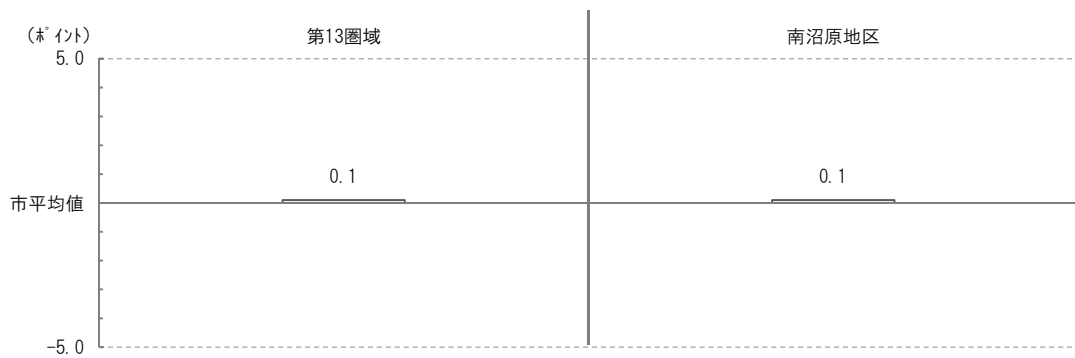
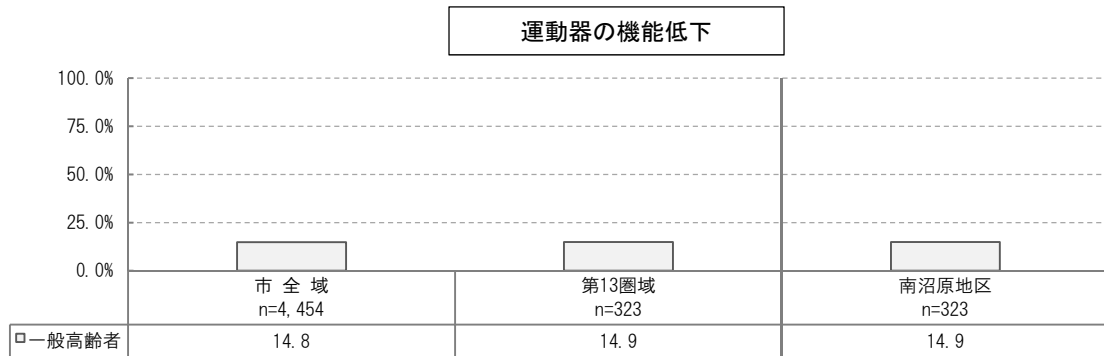
図 2-13.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



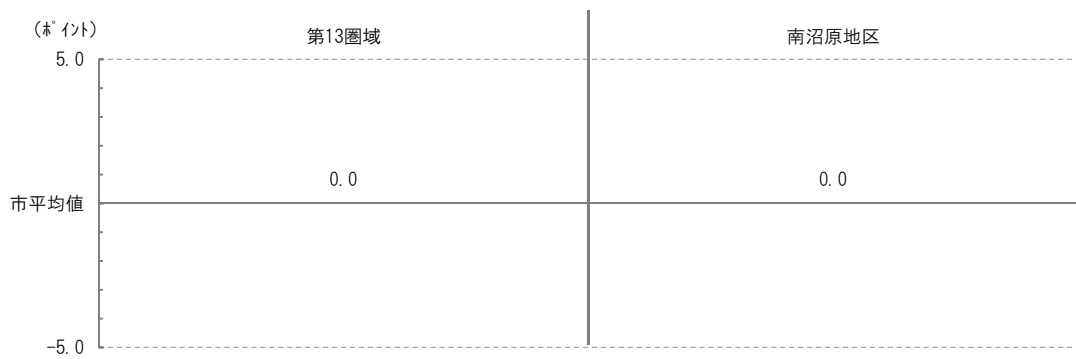
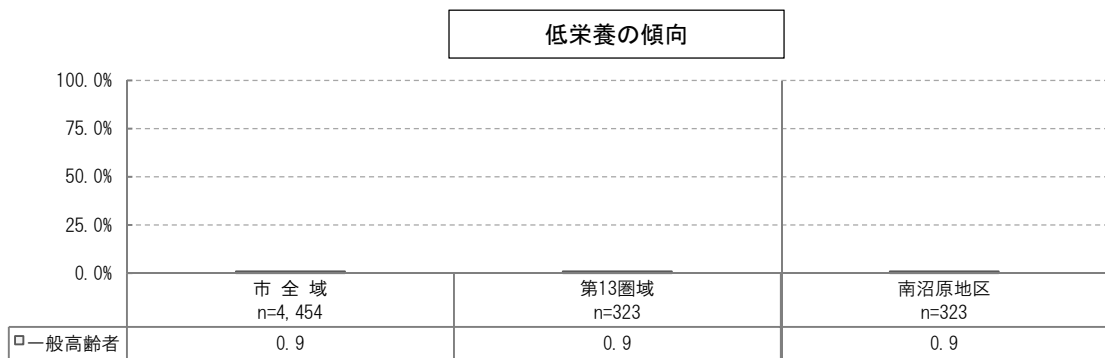
3 リスク別該当者の予測

○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より0.1^{ポイント}高くなっています。

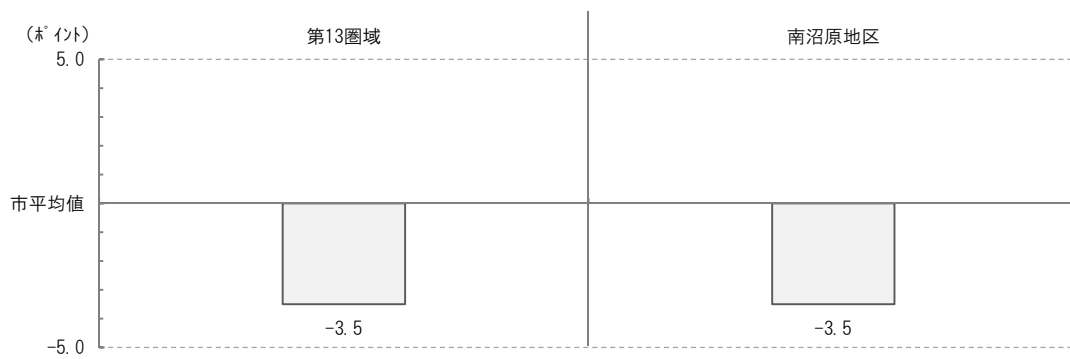
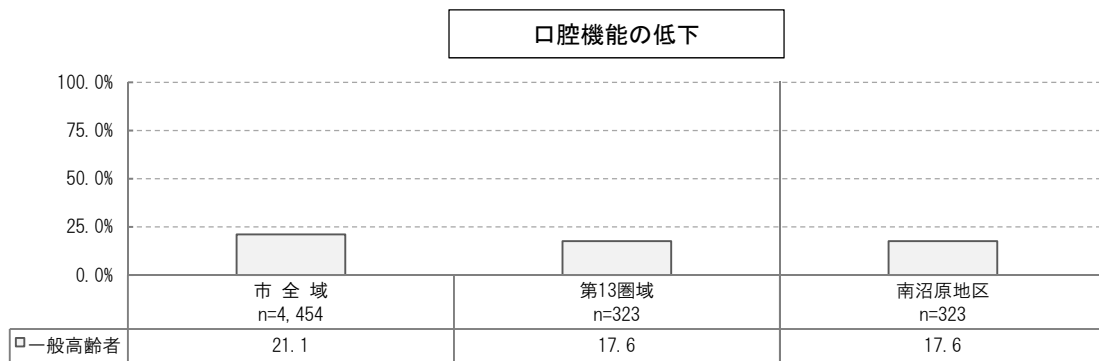
図 2-13.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



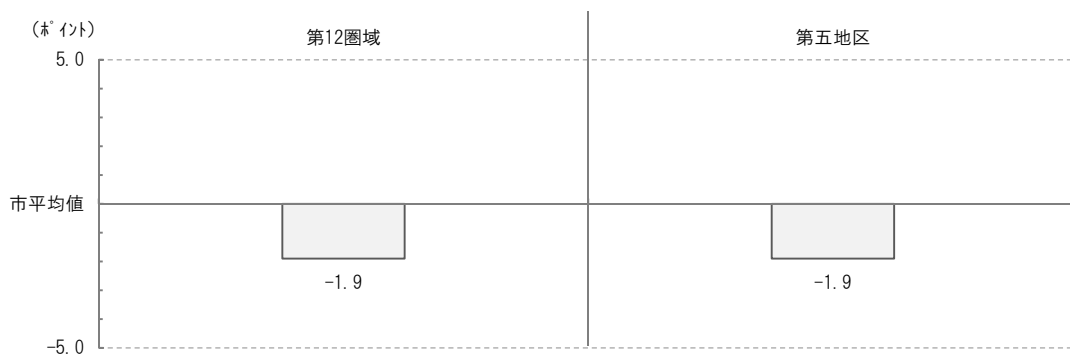
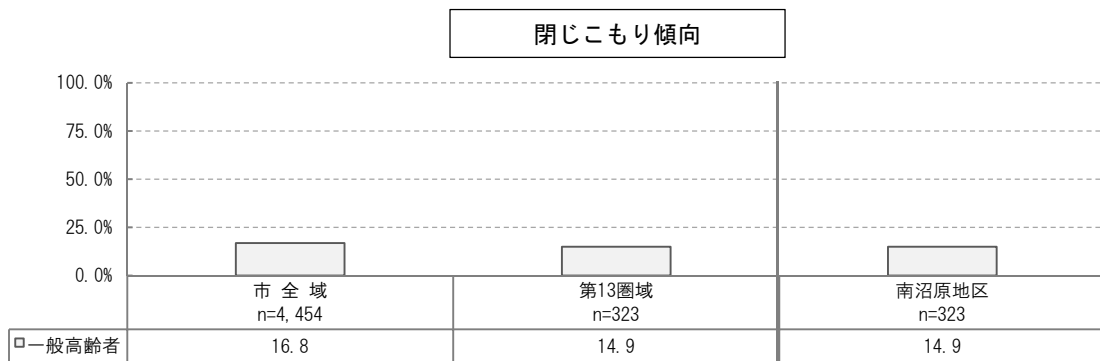
○ 〈第13圏域〉〈南沼原地区〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値と同じ値となっています。



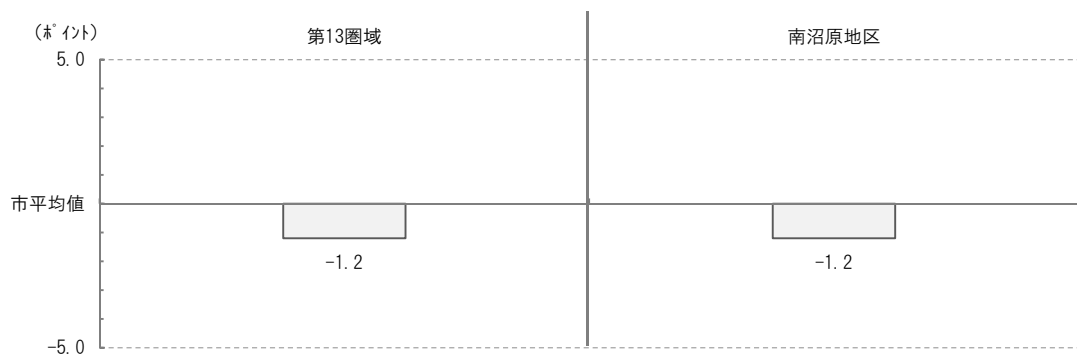
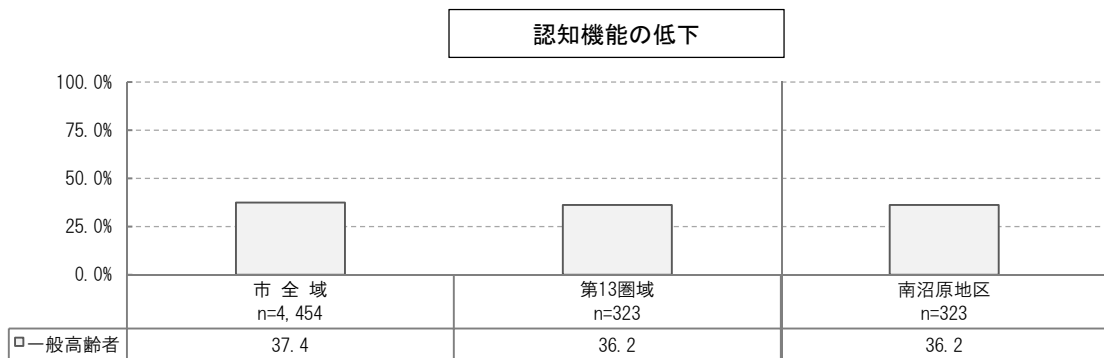
○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より3.5ポイント低くなっています。



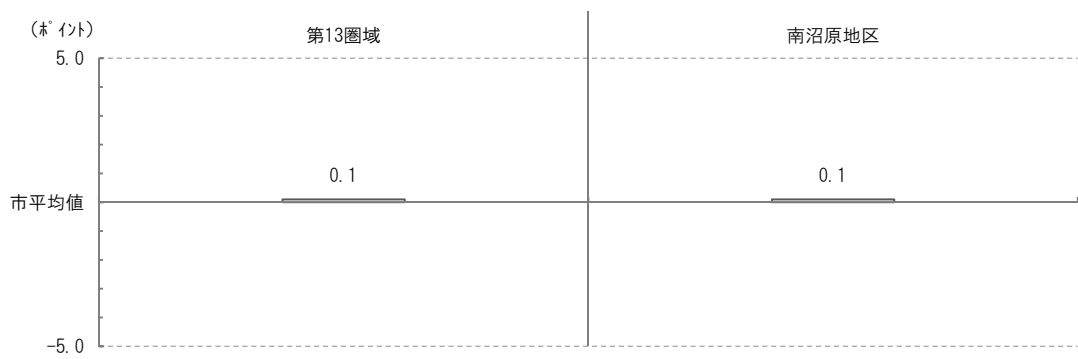
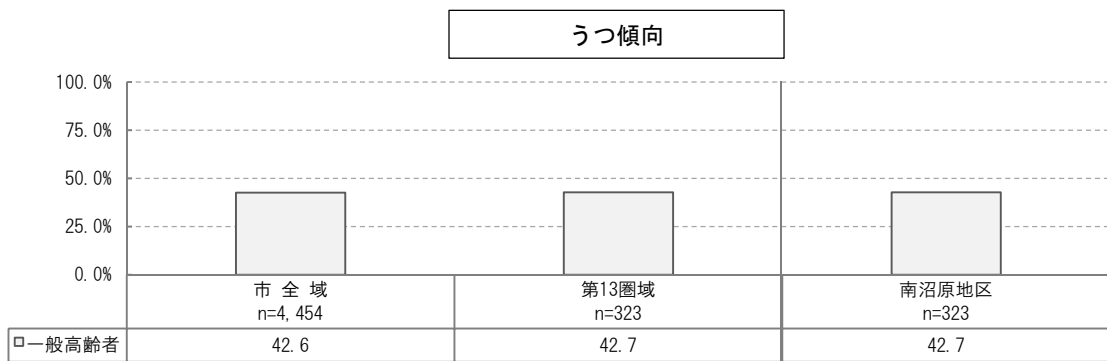
○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉の「閉じこもり傾向」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より1.9ポイント低くなっています。



○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉の「認知機能の低下」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より1.2ポイント低くなっています。



○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉の「うつ傾向」リスク該当者出現率の地域差をみると、市平均値より0.1^{ポイント}高くなっています。

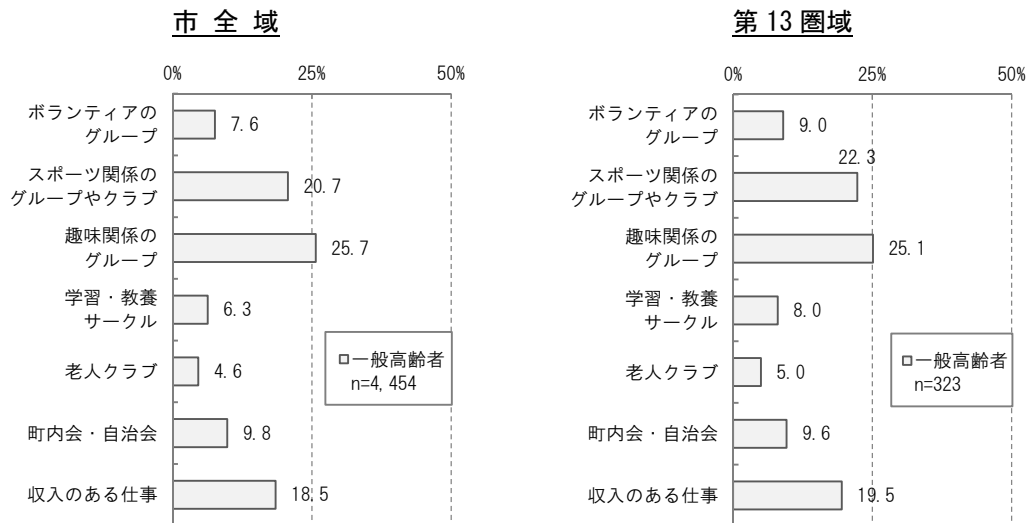


4 地域資源等の把握

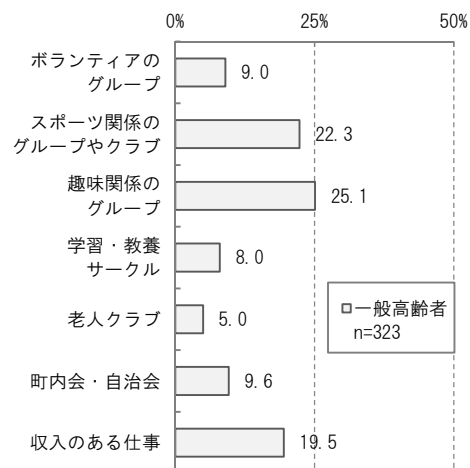
(1) 地域活動への参加状況

○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉における一般高齢者の地域活動への参加状況をみると、「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。

図 2-13.8 地域活動への参加状況



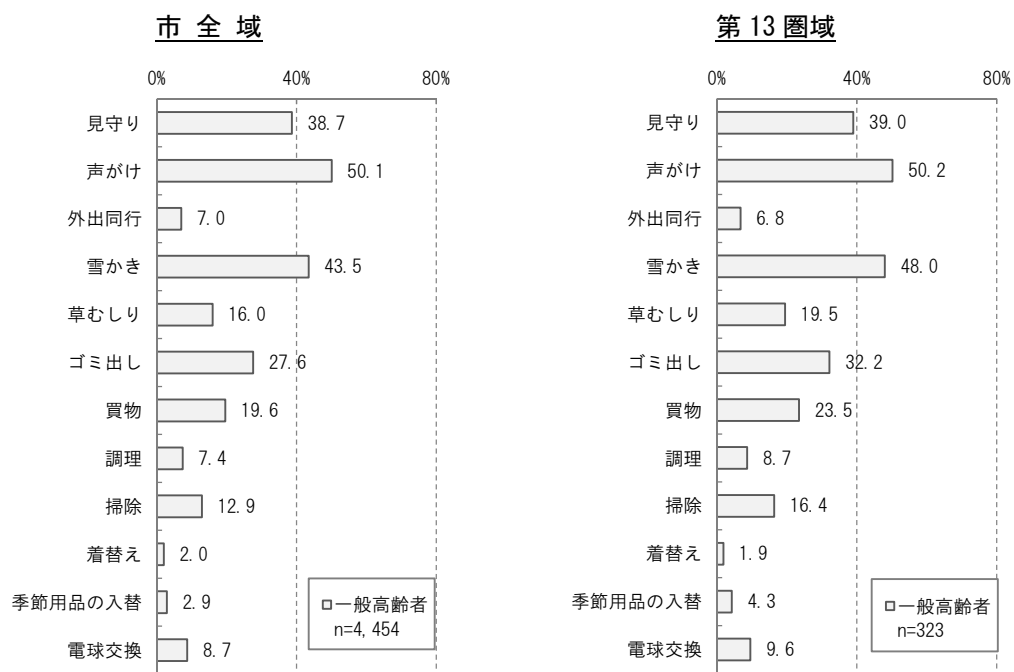
南沼原地区



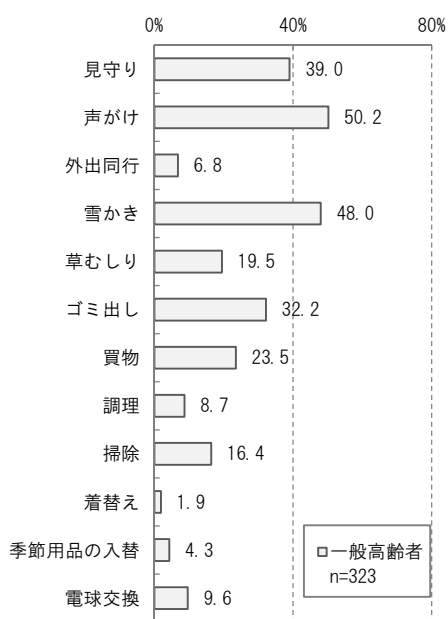
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○ 〈第13圏域〉〈南沼原地区〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目をみると、「声かけ」が最も高く、次いで「雪かき」「見守り」となっています。

図 2-13.9 近隣住民をお願いしたい支援



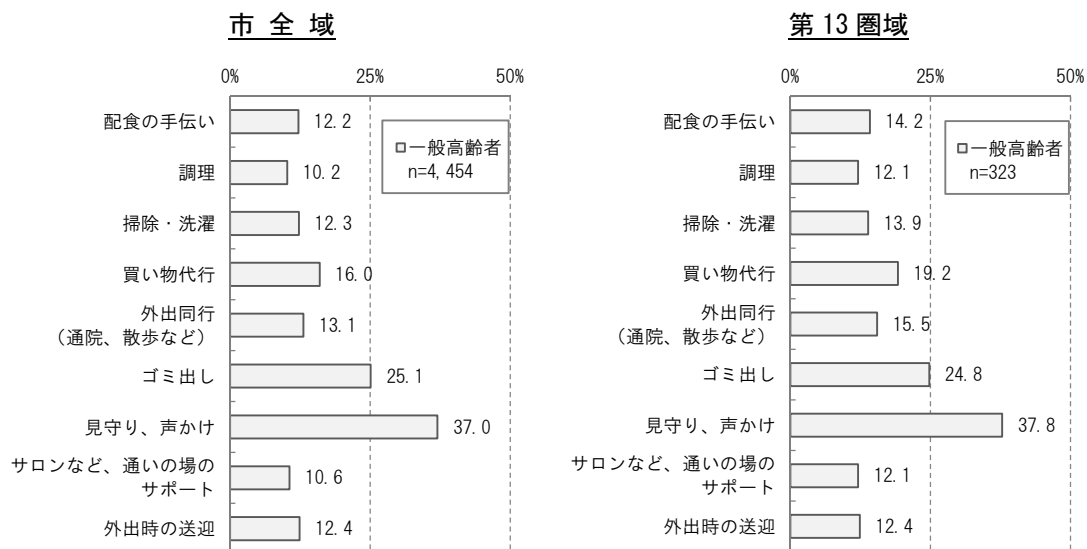
南沼原地区



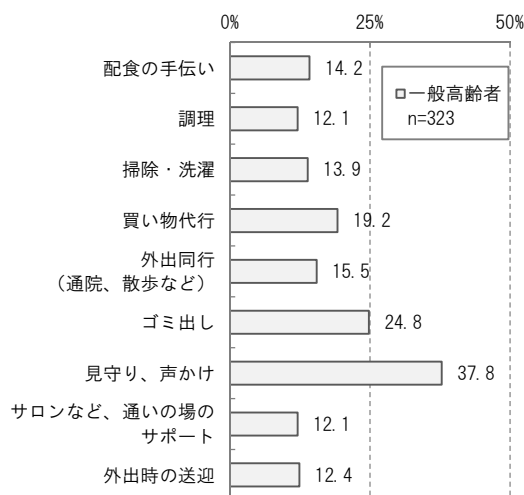
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第13圏域〉〈南沼原地区〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスをみると、「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

図 2-13.10 高齢者の地域支援意向



南沼原地区



第3章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(一般高齢者調査結果)

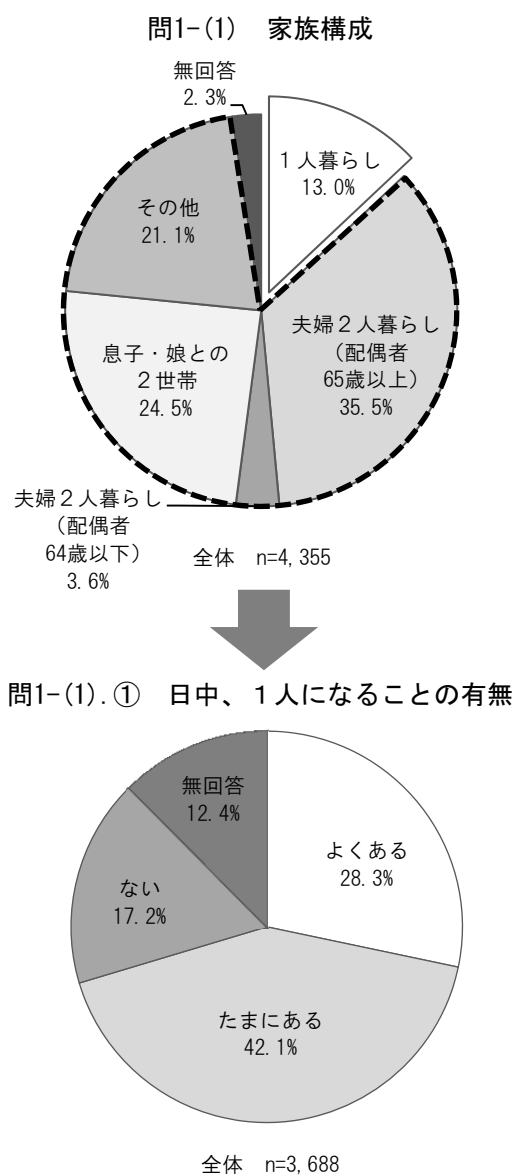
第3章 一般高齢者※調査結果

1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成及び日中独居者の状況

○一般高齢者※の家族構成をみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（35.5%）が最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」（24.5%）、「1人暮らし」（13.0%）となっています。

○日中に1人になることの有無は、「たまにある」（42.1%）が最も高く、「よくある」（28.3%）を合わせた7割以上が、日中に1人になることがあると回答しています。

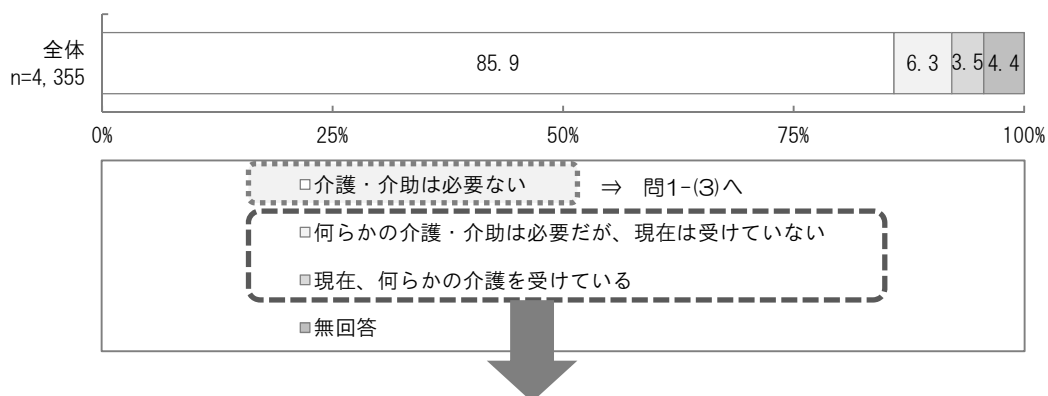


※ここでいう「一般高齢者」は「チェックリスト該当者」を除いた65歳以上の回答者を指します。

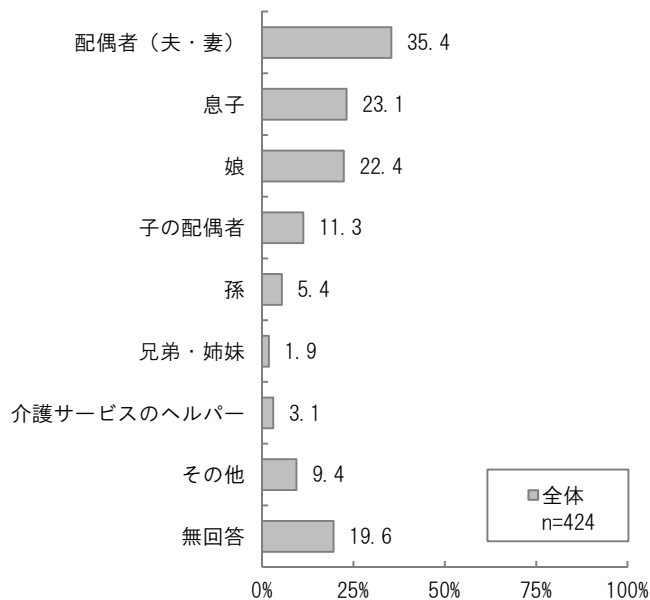
(2) 日常生活における介護（介助）の状況

- 一般高齢者の普段の生活における介護・介助の状況をみると、「介護・介助は必要ない」（85.9%）が最も高くなっています。
- 介護、介助をしてくれる人は、「配偶者（夫・妻）」（35.4%）が最も高く、次いで「息子」（23.1%）、「娘」（22.4%）の順となっています。
- 介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」（22.4%）が最も高く、次いで「関節の病気（リウマチ等）」（13.0%）、「心臓病」（12.7%）、「骨折・転倒」（12.3%）の順となっています。

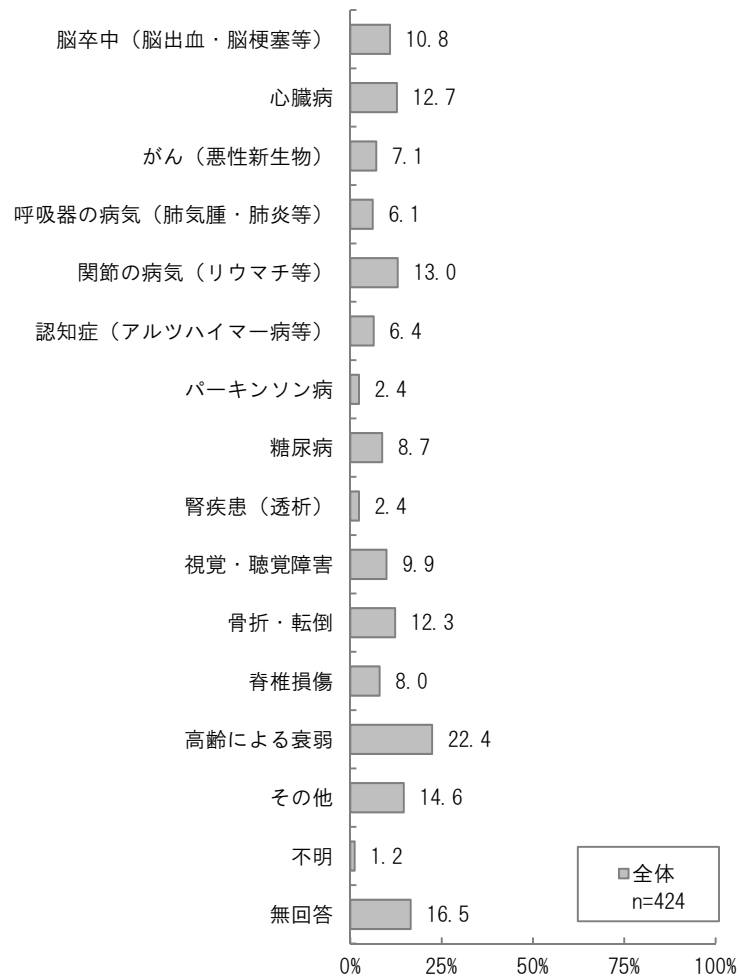
問1-(2) 普段の生活で介護・介助が必要か



問1-(2).② 介護、介助をしてくれる人



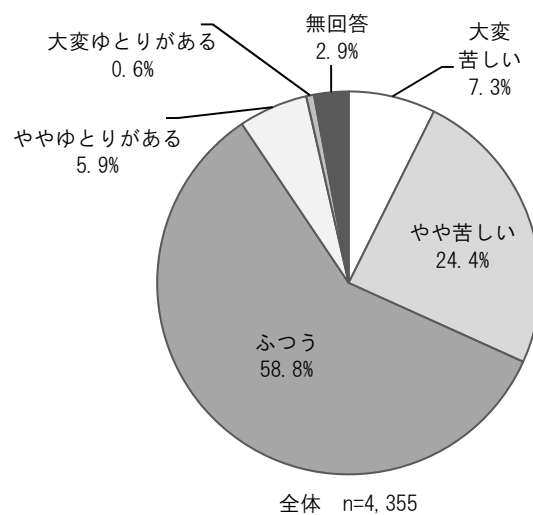
問1-(2).① 介護・介助が必要になった主な原因



(3) 現在の経済状況

○一般高齢者の現在の暮らしの経済状況をみると、「ふつう」（58.8%）が最も高く、次いで「やや苦しい」（24.4%）、「大変苦しい」（7.3%）の順となっています。

問1-(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみて

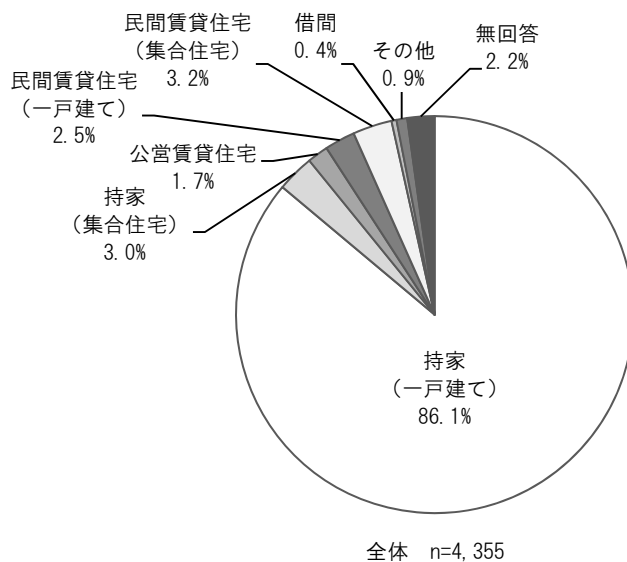


(4) 現在の居住環境

○一般高齢者の現在の暮らしている家の状況をみると、「持家（一戸建て）」（86.1%）が最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」（3.2%）、「持家（集合住宅）」（3.0%）、「民間賃貸住宅（一戸建て）」（2.5%）の順となっています。

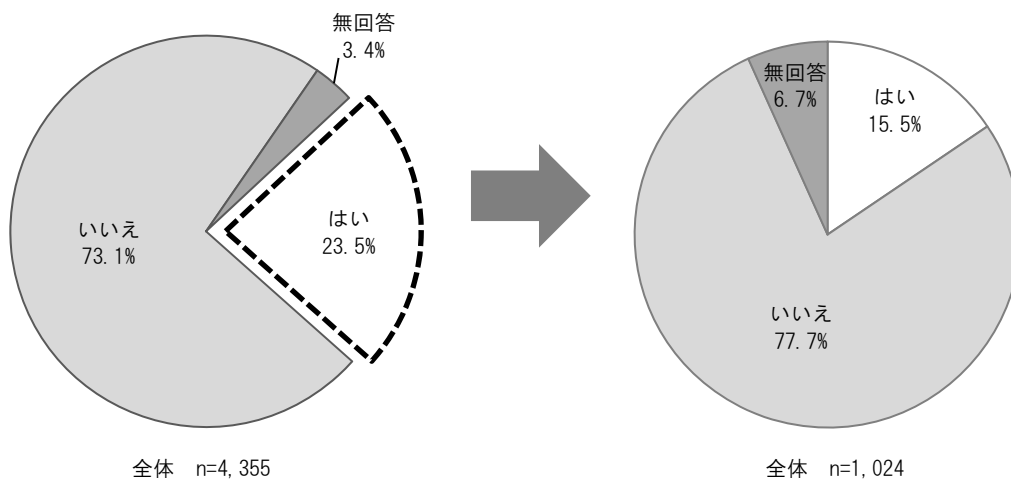
○居住環境（部屋）が2階以上であると回答した方は23.5%となっており、そのうちの77.7%はエレベーターが未設置であると回答しています。

問1-(4) 現在の暮らしている家の状況



問1-(5) 2階以上に生活する部屋があるか

図1-(5).① エレベーター設置の有無



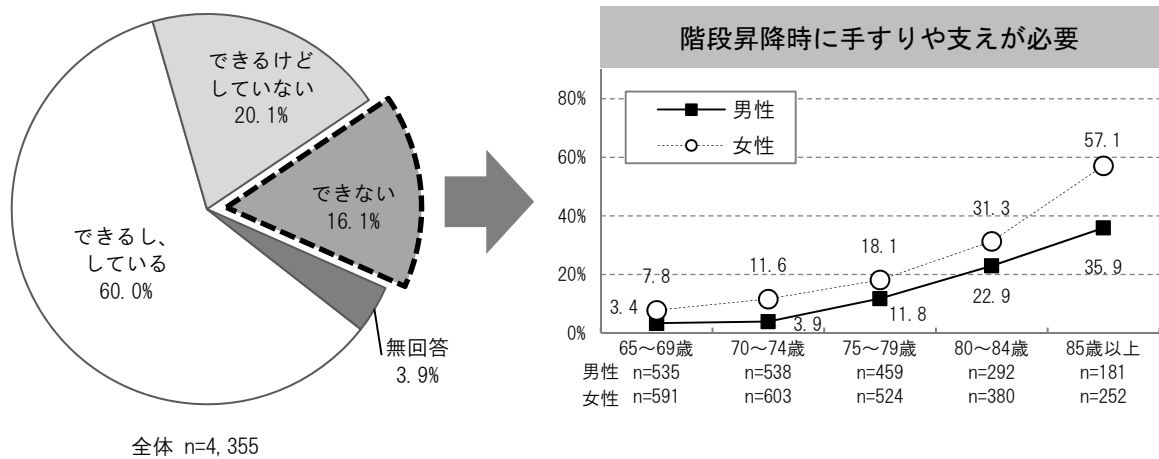
2 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

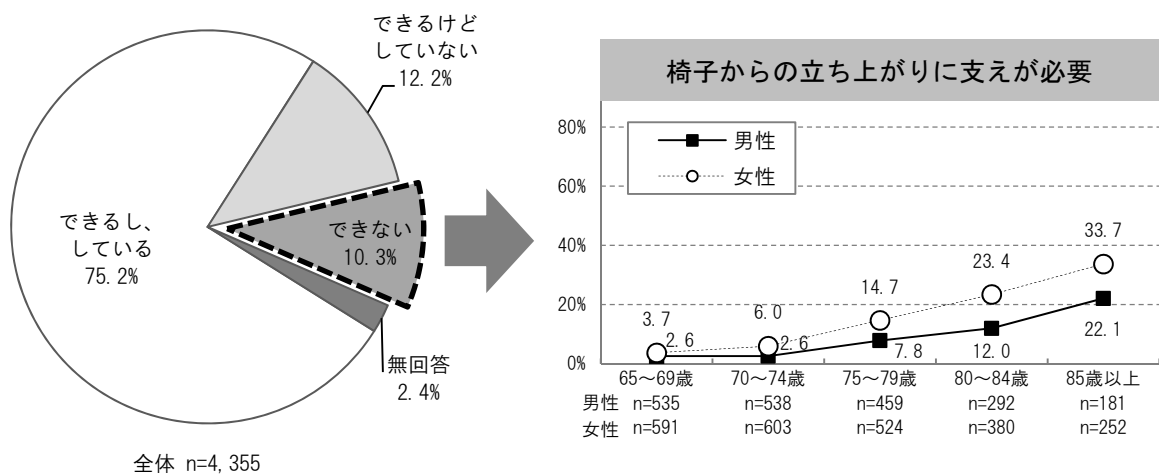
○一般高齢者の階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかでは、「できない」方は16.1%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかでは、「できない」方は10.3%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか



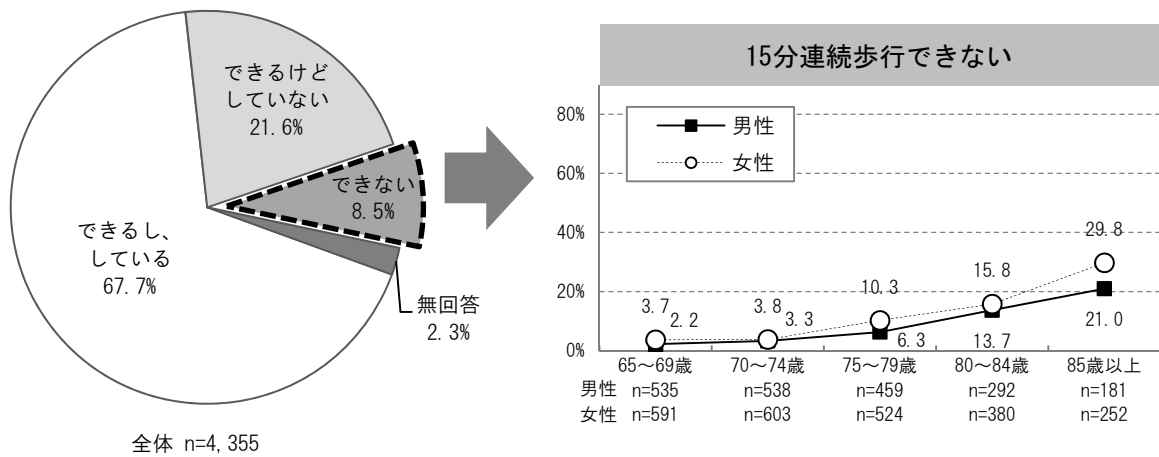
問2-(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか



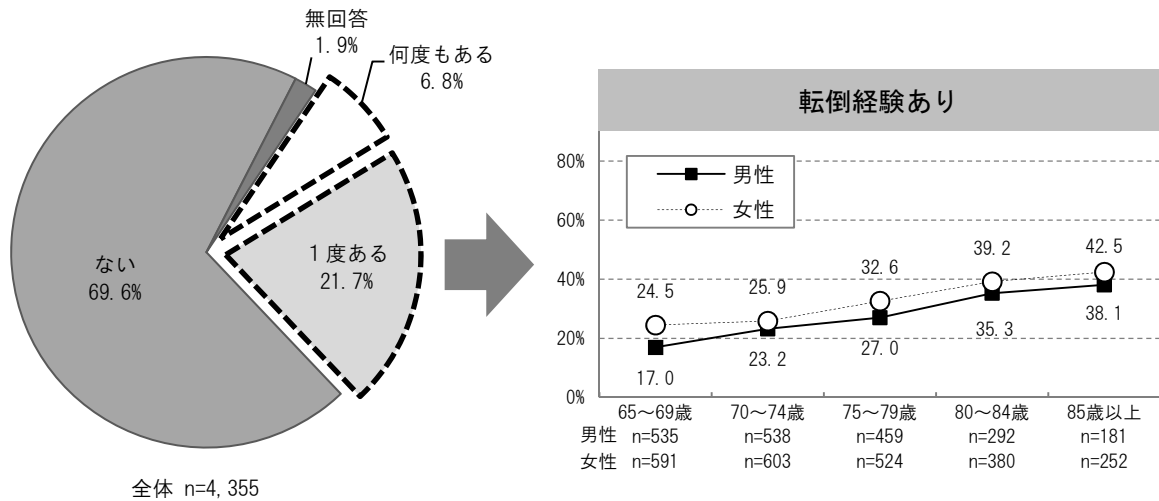
○一般高齢者の15分位続けて歩くことができるかでは、「できない」方は8.5%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

○一般高齢者の過去1年間に転んだ経験の有無では、「何度もある」(6.8%)と「1度ある」(21.7%)を合わせた28.5%の方が転んだ経験があると回答しており、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(3) 15分位続けて歩くことができるか



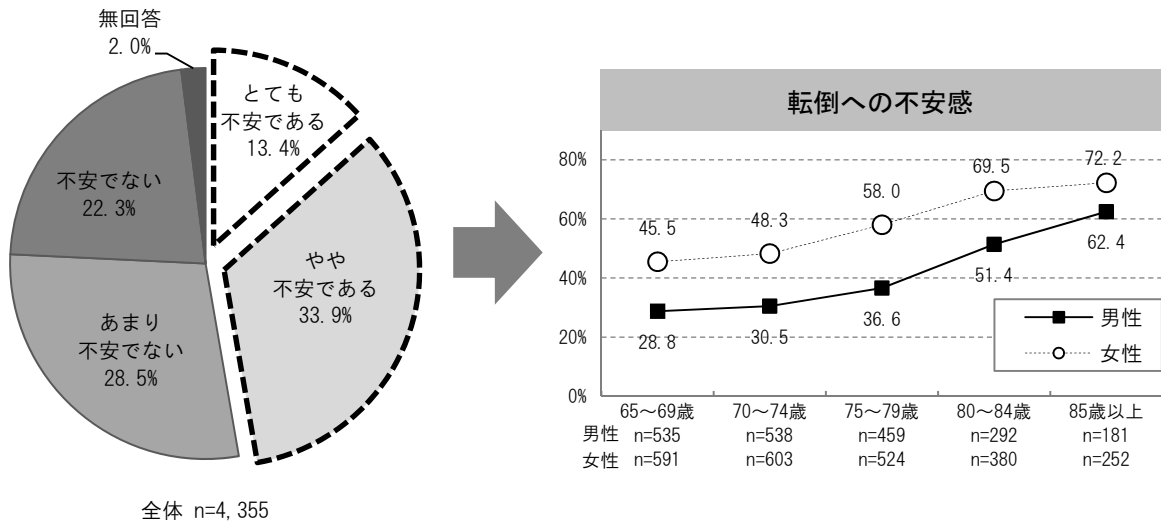
問2-(4) 過去1年間に転んだ経験の有無



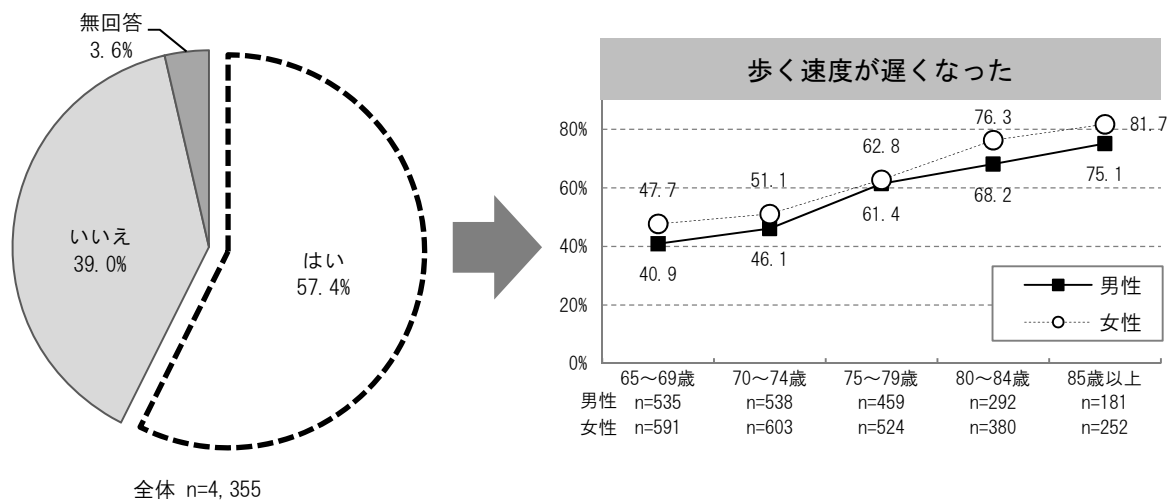
○一般高齢者の転倒に対する不安の有無では、「とても不安である」(13.4%)と「やや不安である」(33.9%)を合わせた47.3%の方が不安を感じており、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。また、女性の割合が10~20%前後、男性より高くなっています。

○以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うかでは、「はい」の方が57.4%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(5) 転倒に対する不安の有無

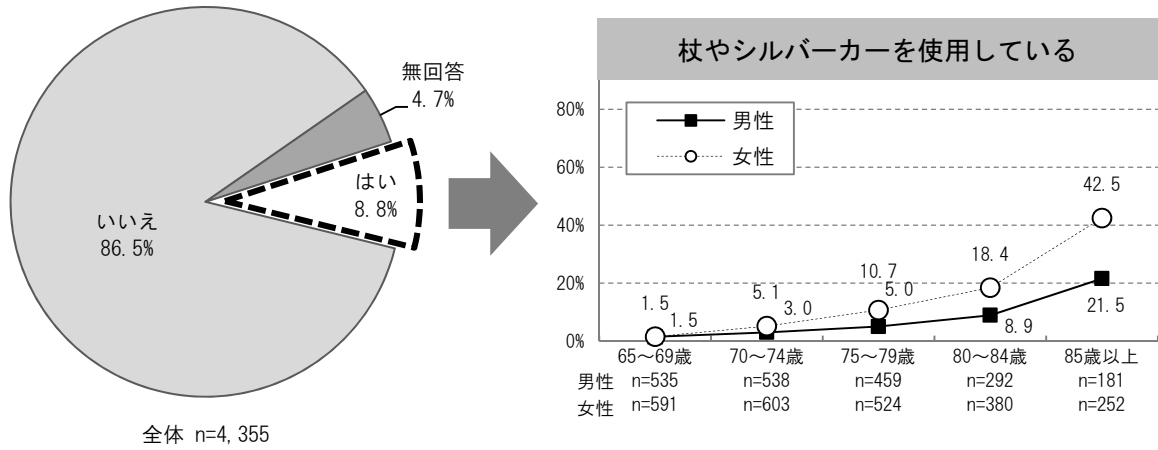


問2-(11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか



○一般高齢者の杖やシルバーカーの使用の有無では、「はい」の方が8.8%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

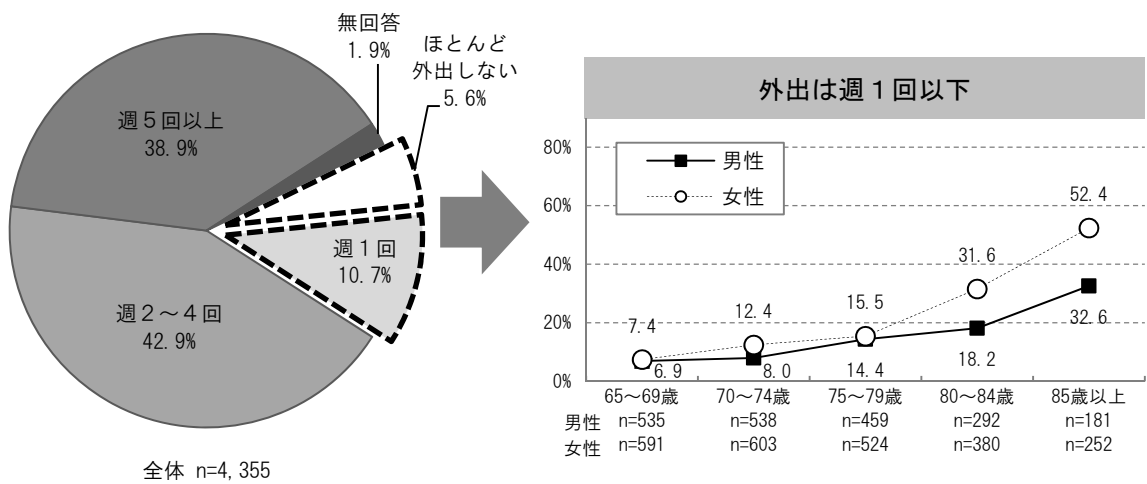
問2-(12) 杖やシルバーカーの使用の有無



(2) 外出の状況

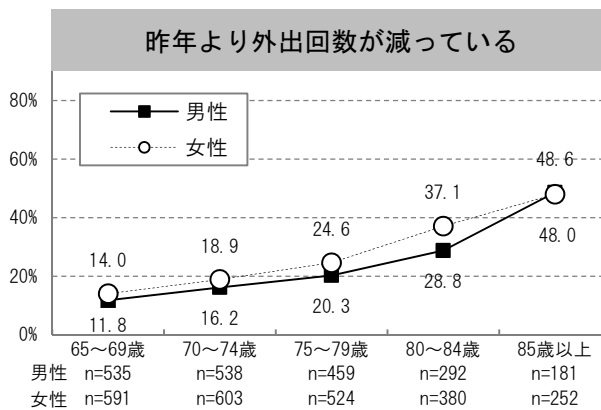
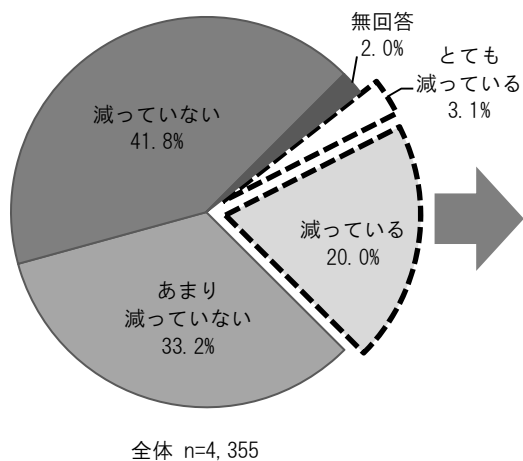
○一般高齢者の週に1回以上の外出の有無では、「週1回」(10.7%)と「ほとんど外出しない」(5.6%)を合わせた16.3%の方が週1回以下と回答しており、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(6) 週に1回以上の外出の有無



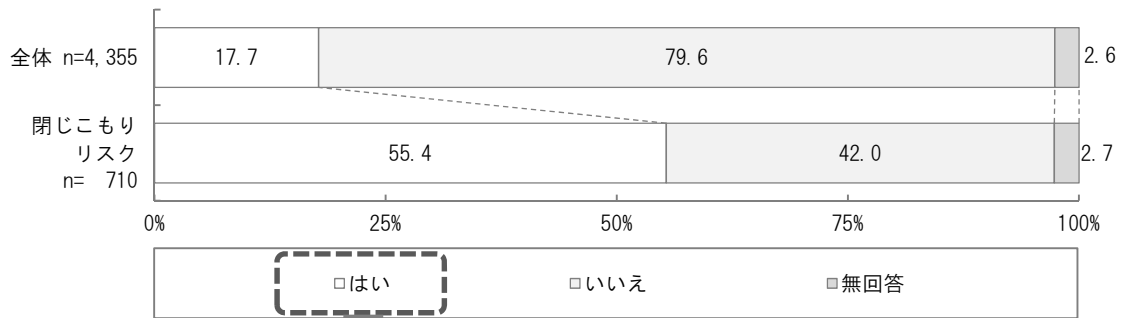
○一般高齢者の昨年と比べた外出の頻度をみると、「減っている」(20.0%)と「とても減っている」(3.1%)を合わせた23.1%の方が減っていると回答し、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問2-(7) 昨年と比べた外出の頻度

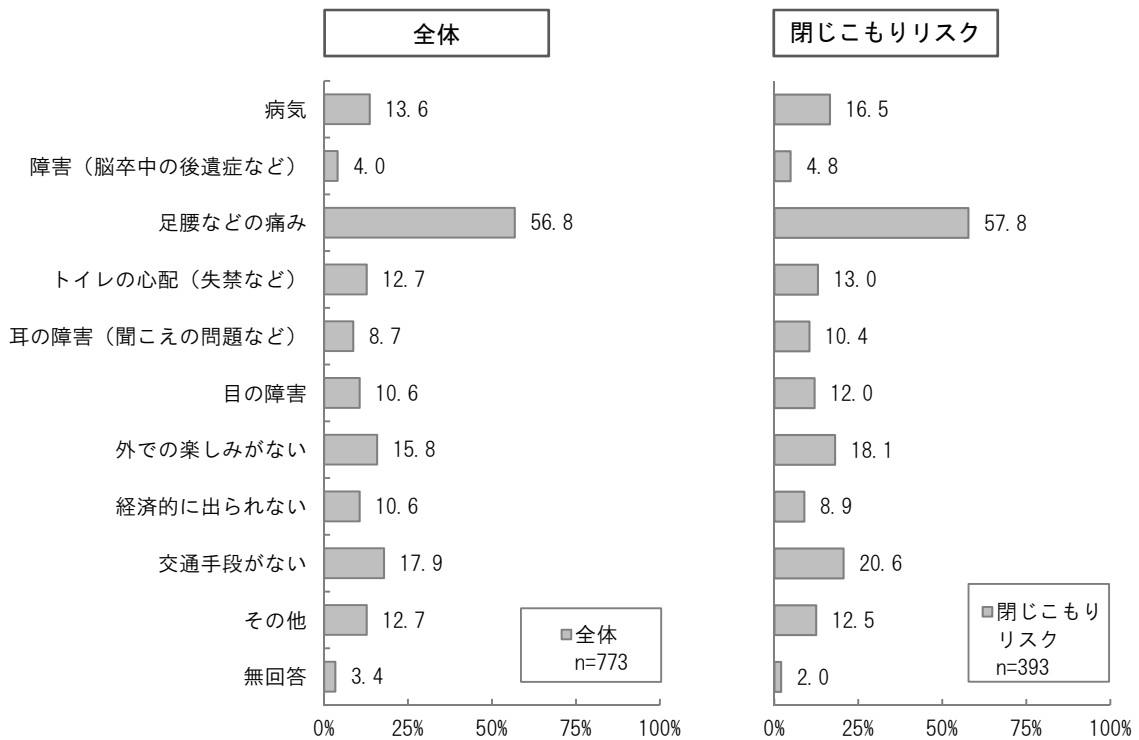


○一般高齢者が外出を控えているかをみると、全体では 17.7%の方が外出を控えていると回答しています。○一般高齢者の外出を控えている理由は、両者ともに「足腰などの痛み」(56.8%・57.8%)が最も高く、次いで「交通手段がない」(17.9%・20.6%)、「外での楽しみがない」(15.8%・18.1%)、「病気」(13.6%・16.5%)、「トイレの心配(失禁など)」(12.7%・13.0%)の順となっています。

問2-(8) 外出を控えているか (×「閉じこもりリスク者」)

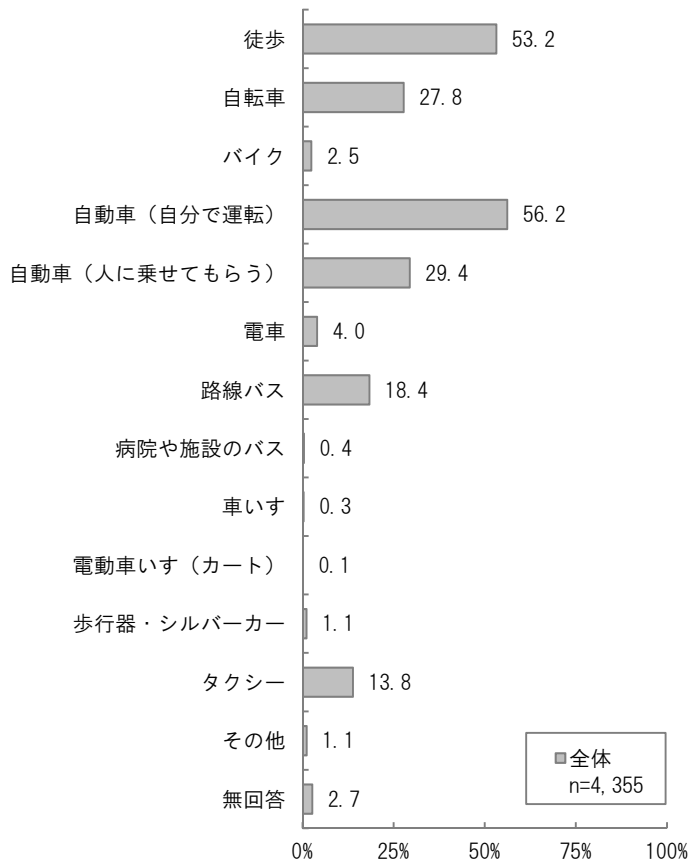


問2-(8).① 外出を控えている理由 (×「閉じこもりリスク者」)



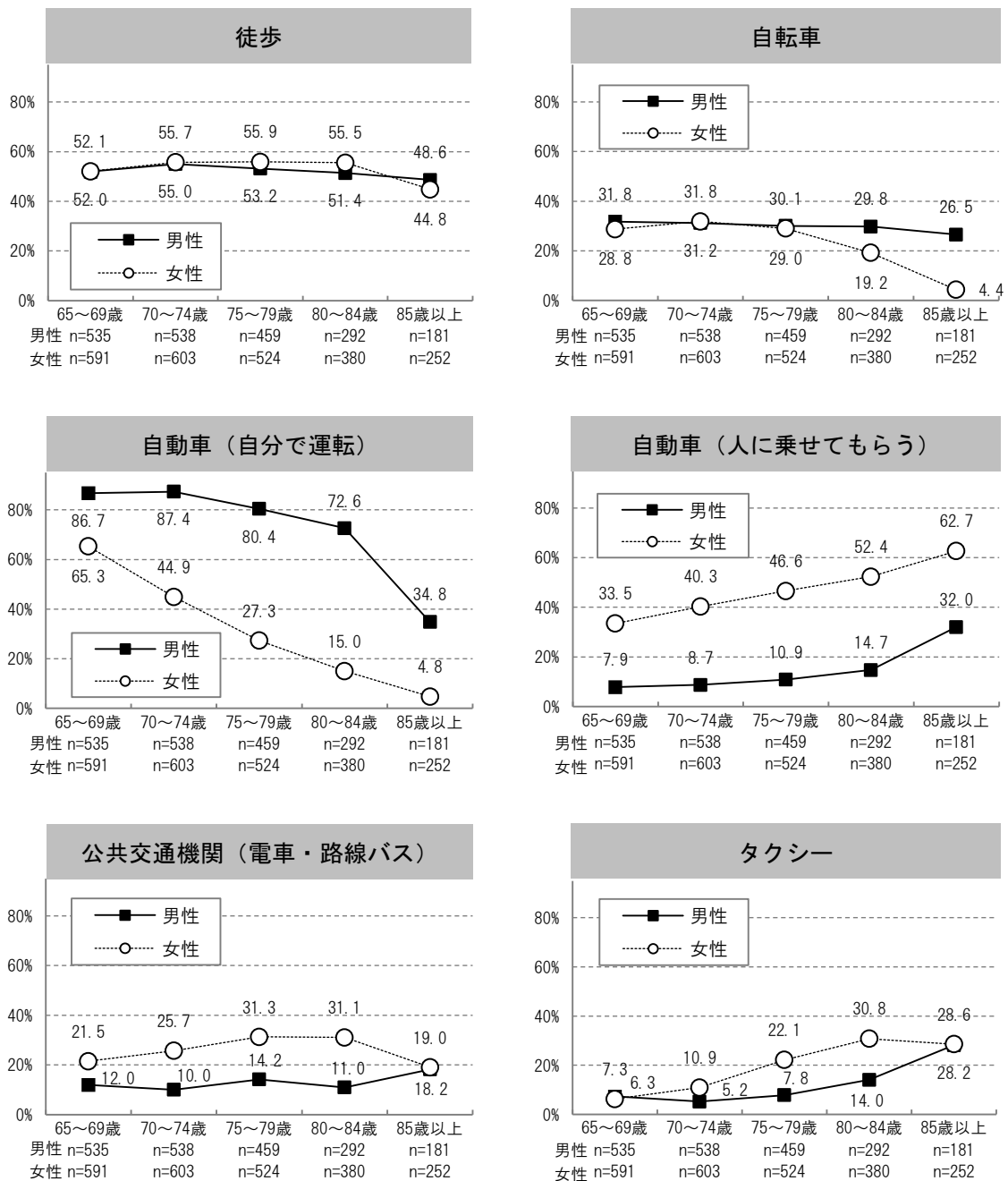
○一般高齢者の外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」（56.2%）が最も高く、次いで「徒歩」（53.2%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（29.4%）、「自転車」（27.8%）、「路線バス」（18.4%）、「タクシー」（13.8%）の順となっています。

問2-(9) 外出する際の移動手段



- 一般高齢者の外出する際の移動手段をそれぞれ年齢階級別にみると、「自転車」では男女ともに75歳以上で利用割合が低下しています。
- 「自動車（自分で運転）」では、男性は75歳以上、女性は加齢とともに利用割合が低くなっています。
- 一方、「自動車（人に乗せてもらう）」では、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。
- 「タクシー」では、男性は75歳以上で加齢とともに割合が高くなり、女性は80～84歳まで加齢とともに割合が高くなっています。

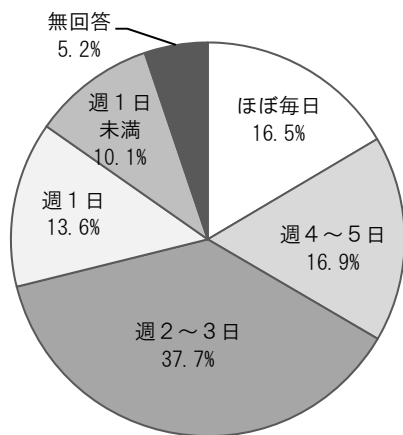
問2-(9) 外出する際の移動手段×年齢階級別



○一般高齢者の買物で外出する頻度は、「週2～3日」(37.7%)が最も高く、次いで「週4～5日」(16.9%)、「ほぼ毎日」(16.5%)、「週1日」(13.6%)の順となっています。

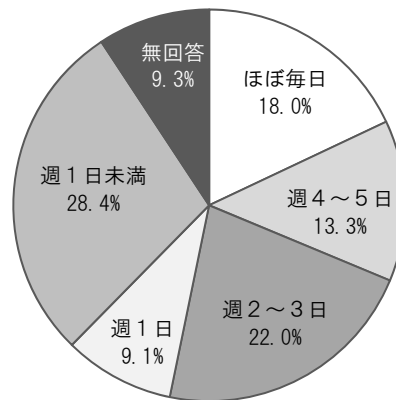
○また、散歩で外出する頻度は、「週1日未満」(28.4%)が最も高く、次いで「週2～3日」(22.0%)、「ほぼ毎日」(18.0%)、「週4～5日」(13.3%)の順となっています。

問2-(10).① 買物で外出する頻度



全体 n=4,355

問2-(10).② 散歩で外出する頻度



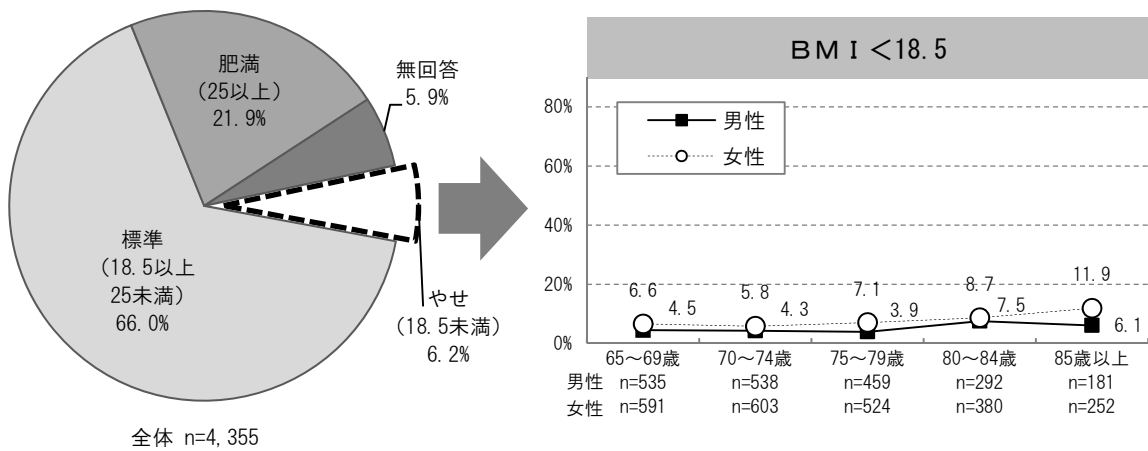
全体 n=4,355

3 食べることについて

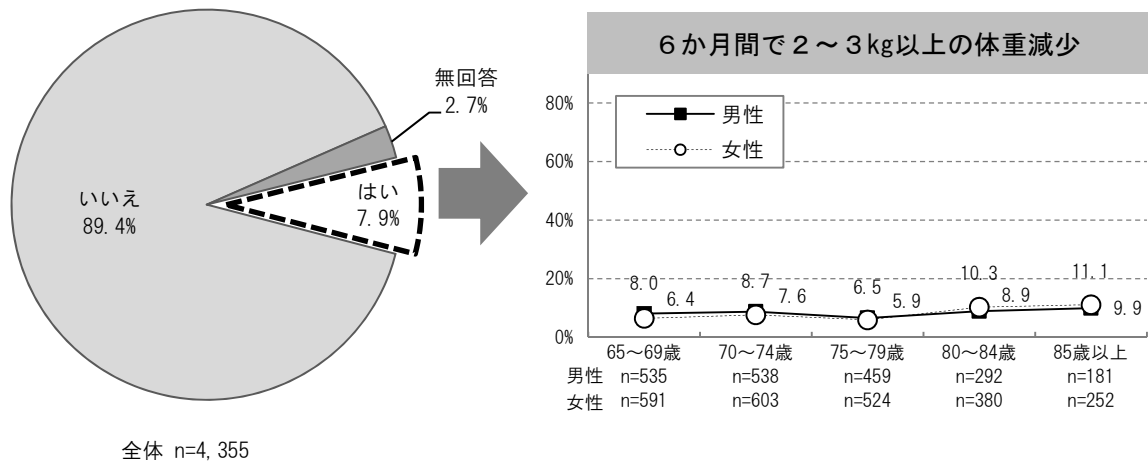
(1) 現在の肥満状況

- 一般高齢者の肥満状況をBMI指数でみると、「やせ(18.5未満)」の方は6.2%となり、男性は全年齢階級ともに1割未満、女性は85歳以上で1割を超えています、年齢による差は少ない状況です。
- 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無では、7.9%の方が減少したと回答しており、男性は全年齢階級ともに1割未満、女性は80歳以上で1割を超えており、年齢による差は少ない状況です。

問3-(1) BMI指数



問3-(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無



(2) 歯・口腔の状況

○一般高齢者の歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(36.1%)と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(13.8%)を合わせた49.9%の方が入れ歯を利用しています。

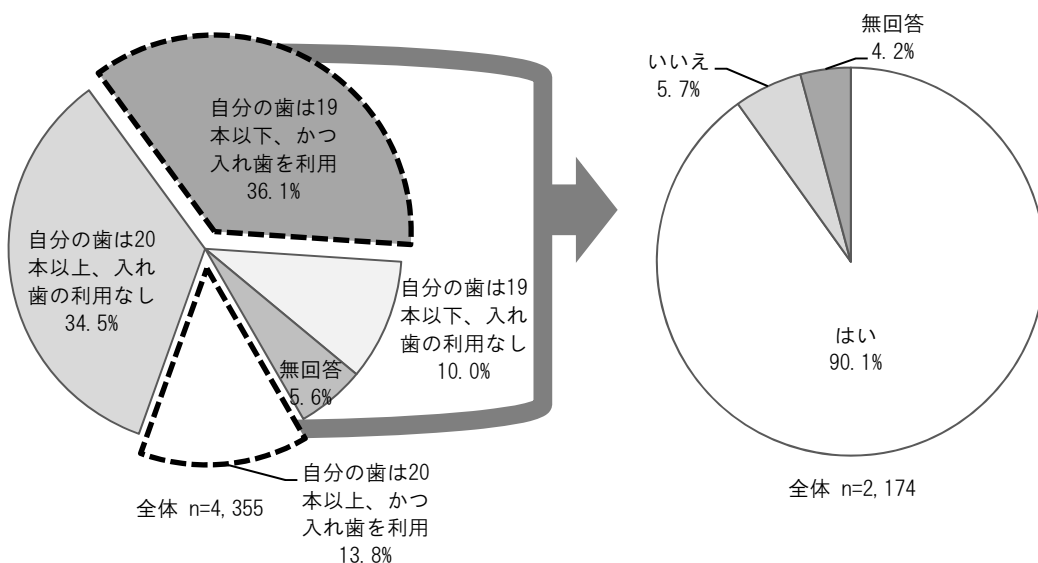
○また、入れ歯利用者のうち90.1%の方が、毎日入れ歯の手入れをしていると回答しています。

○噛み合わせについてみると、79.4%の方が良いと回答しています。

○歯磨きを毎日しているかでは、91.2%の方が「はい」と回答しています。

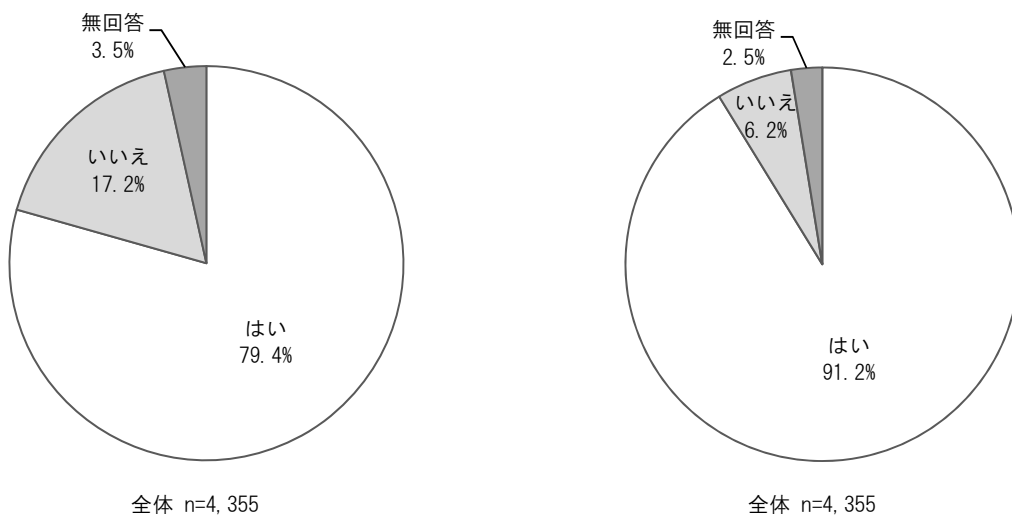
問 3-(3) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 3-(3).① 毎日入れ歯の手入れをしているか



問 3-(3).② 噛み合わせは良いか

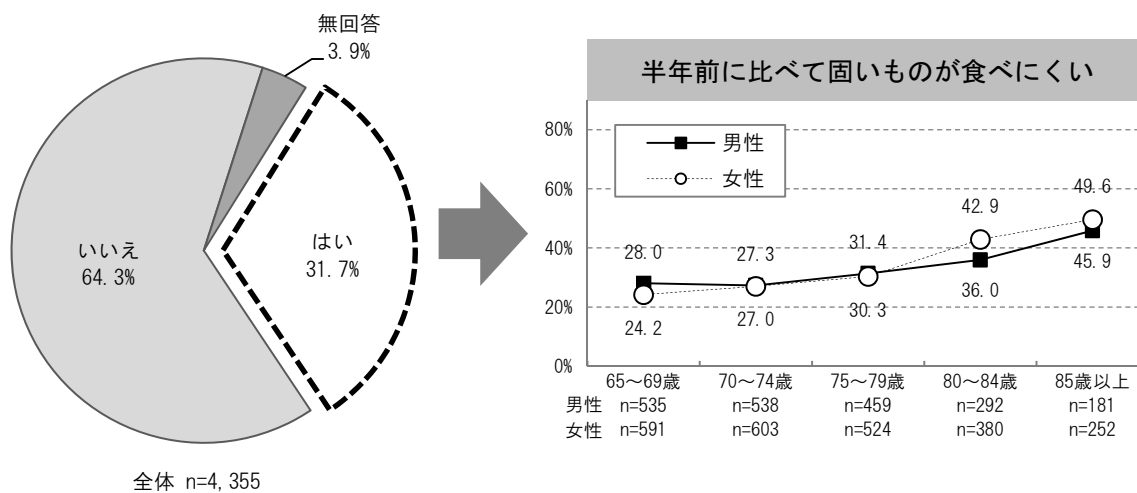
問 3-(7) 歯磨きを毎日しているか



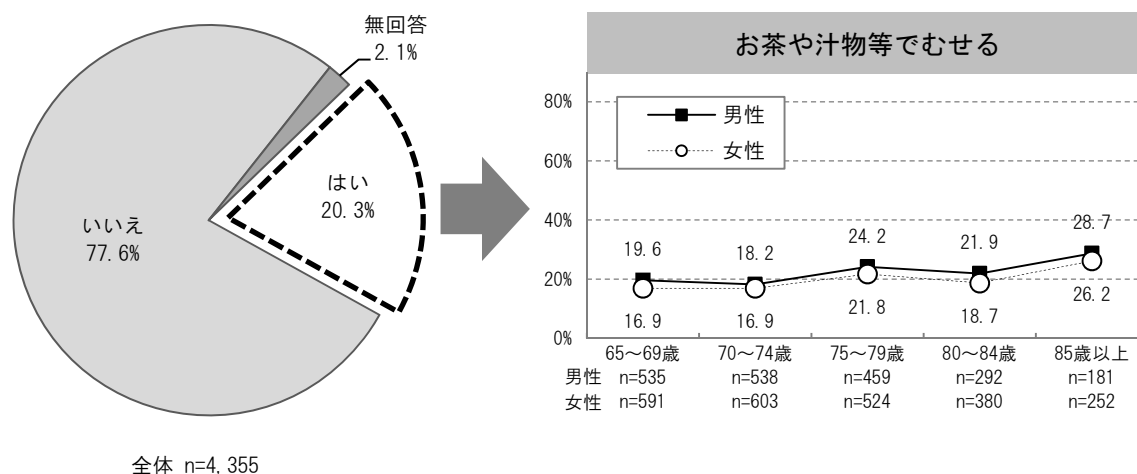
○一般高齢者の半年前に比べて固いものが食べにくくなったかでは、「はい」の方が31.7%となり、男女ともに年齢による差は少ない状況です。

○お茶や汁物等でむせることの有無では、20.3%の方があると回答しており、男女ともに75歳以上では2割前後となっているものの年齢による差は少ない状況です。

問3-(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなった

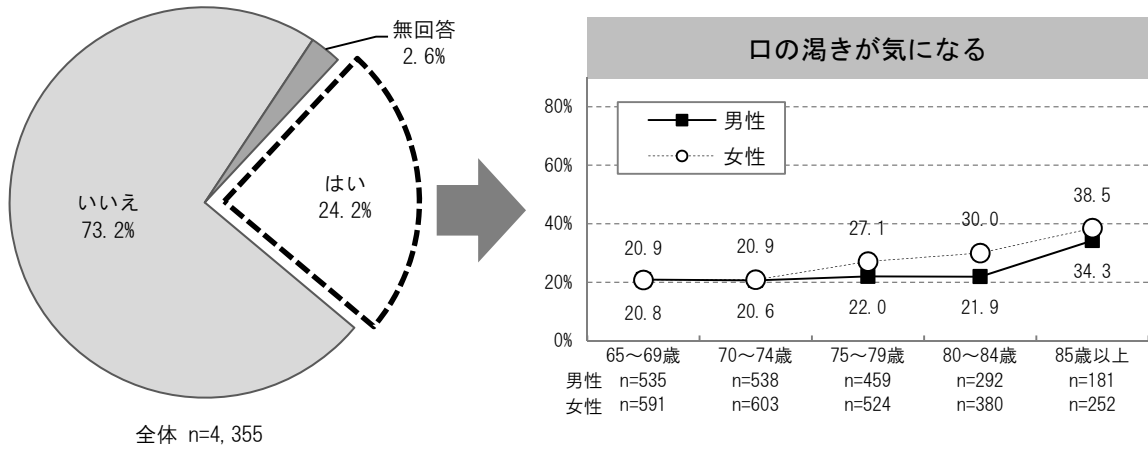


問3-(5) お茶や汁物等でむせることの有無



○一般高齢者の口の渇きが気になるかでは、24.2%の方が「はい」と回答しており、男女ともに85歳以上で割合が高くなっています。

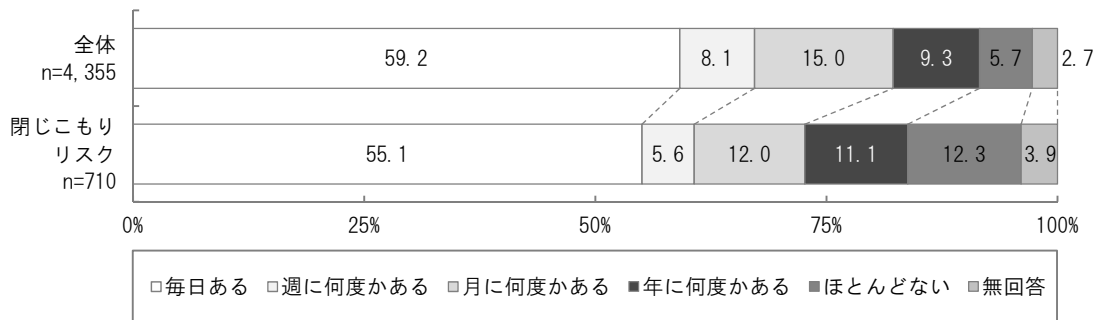
問3-(6) 口の渇きが気になるか



(3) 食事の状況

○一般高齢者のどなたかと食事をともしる機会の有無をみると、全体・閉じこもりリスク者ともに「毎日ある」(59.2%・55.1%)が最も高くなっています。

問3-(4) どなたかと食事をともしる機会の有無 (×「閉じこもりリスク者」)

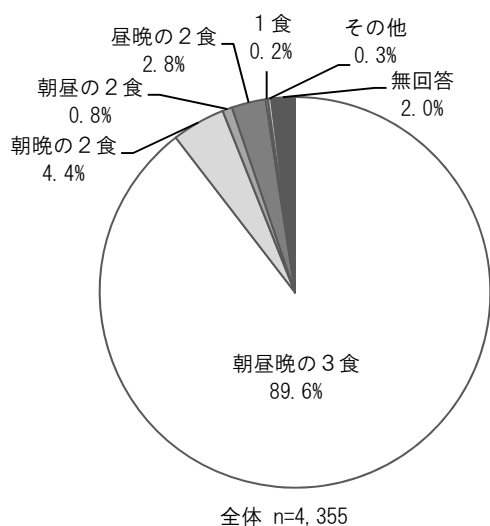


○一般高齢者の1日の食事の回数は、「朝昼晩の3食」(89.6%)が最も高くなっています。

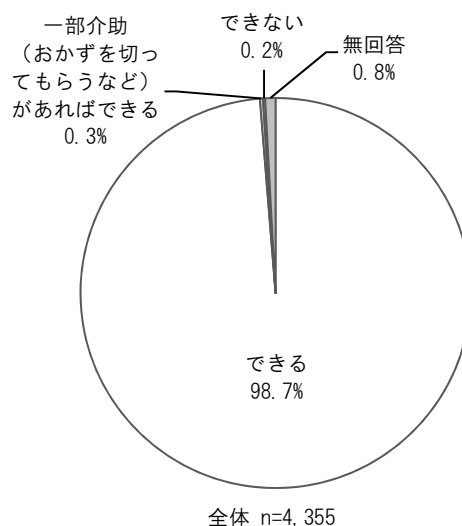
○食事は自分で食べられるかでは、「できる」(98.7%)が最も高くなっています。

○家事全般ができていないかでは、16.4%の方ができないと回答しており、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。なお、男性の割合が10~20%前後、女性より高くなっています。

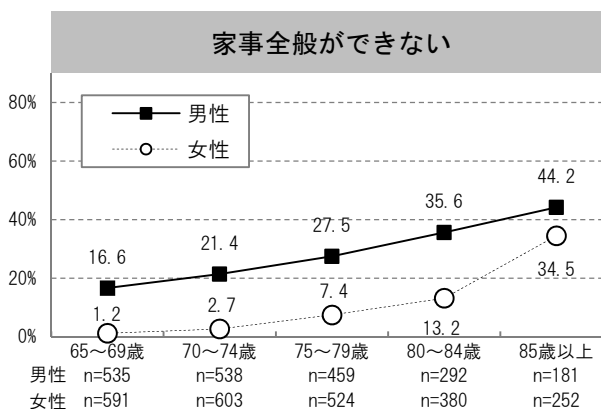
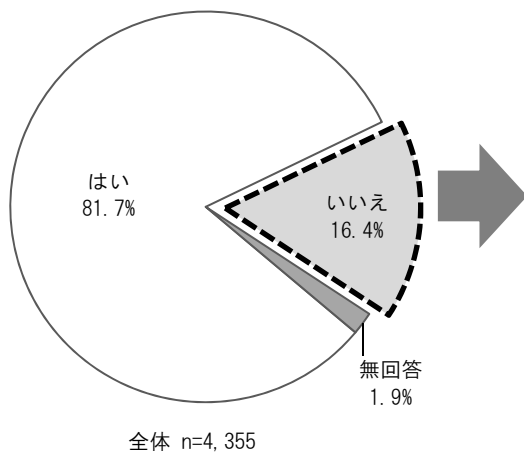
問3-(9) 1日の食事の回数



問4-(22) 食事は自分で食べられるか



問4-(23) 家事全般ができていないか



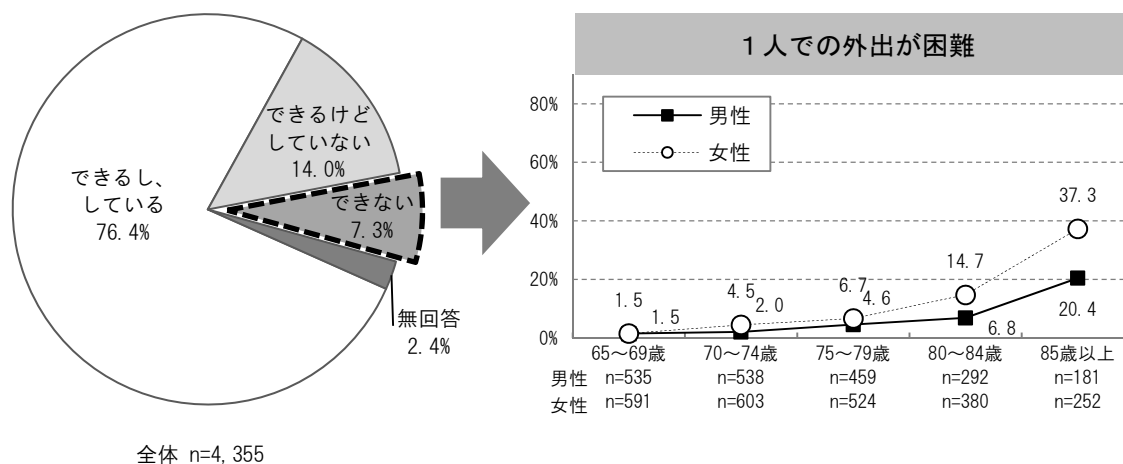
4 毎日の生活について

(1) IADL（手段的自立度）の状況

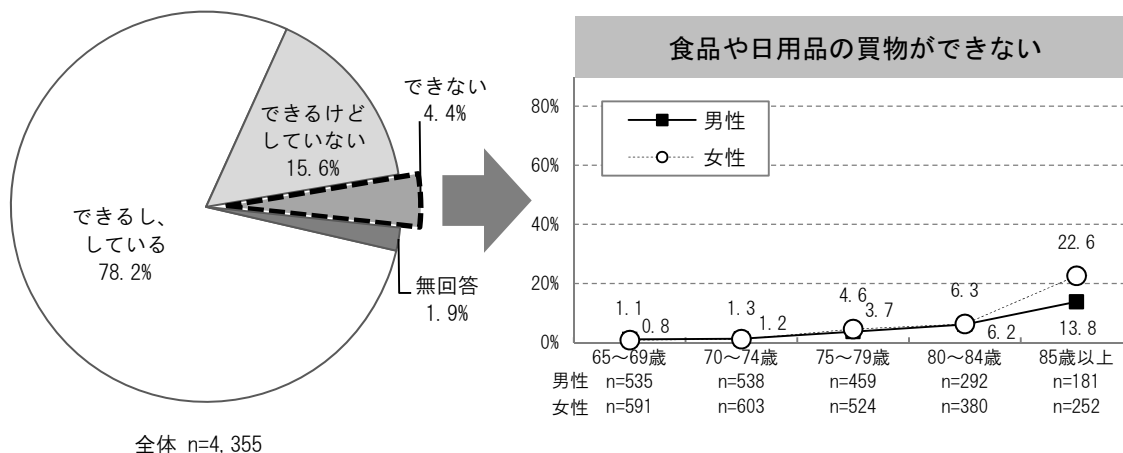
○一般高齢者のバスや電車を使って1人で外出しているかでは、「できない」方が7.3%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなり、85歳以上で割合が大きく上昇します。

○自分で食品・日用品の買物をしているかでは、「できない」方が4.4%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなり、85歳以上で割合が大きく上昇します。

問4-(2) バスや電車を使って1人で外出しているか



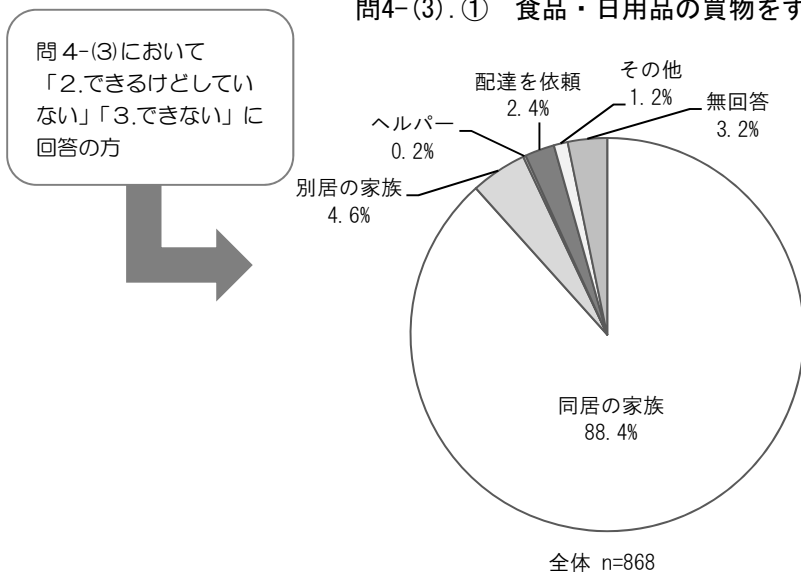
問4-(3) 自分で食品・日用品の買物をしているか



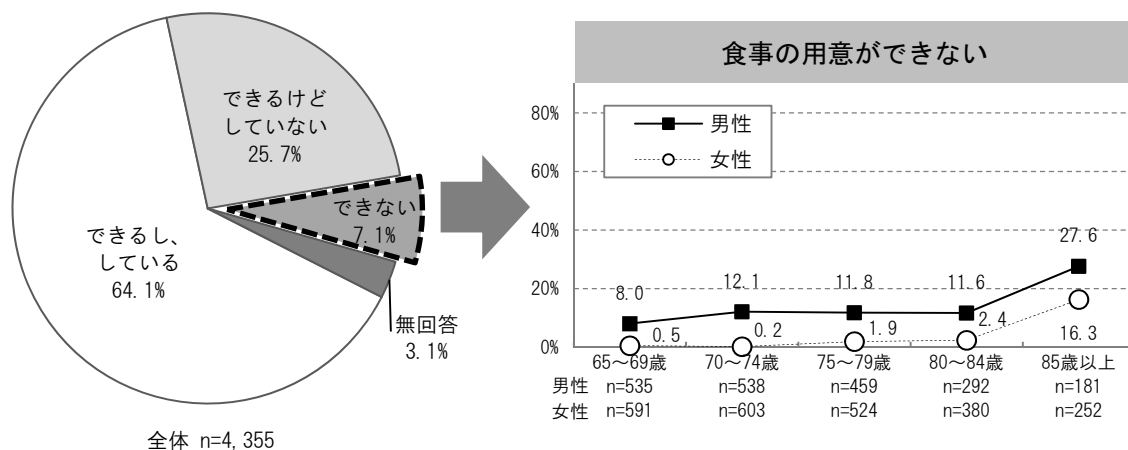
○一般高齢者の食品・日用品の買物をする人をみると、「同居の家族」(88.4%) が最も高くなっています。

○自分で食事の用意をしているかでは、「できない」方が 7.1%となり、男女ともに 85 歳以上で割合が高くなっています。

問4-(3). ① 食品・日用品の買物をする人

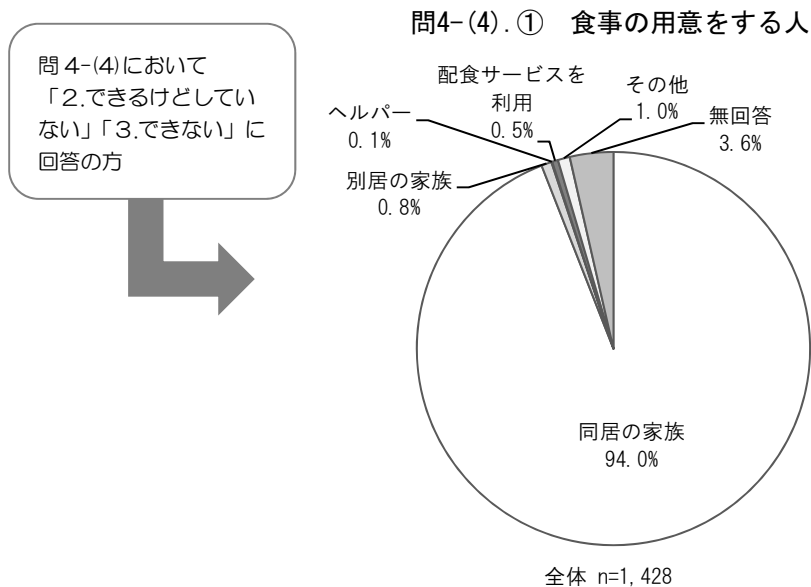


問4-(4) 自分で食事の用意をしているか

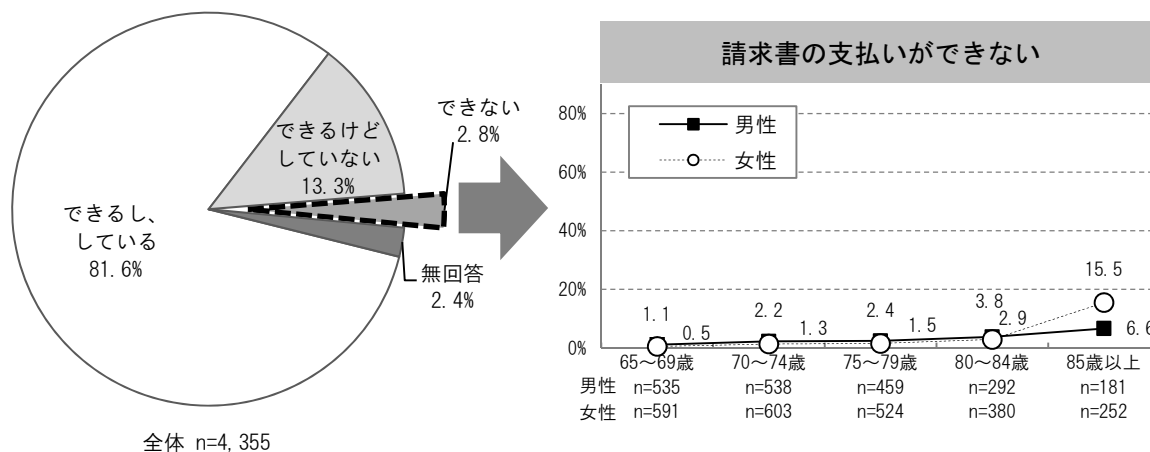


○一般高齢者の食事の用意をする人をみると、「同居の家族」(94.0%)が最も高くなっています。また、「配食サービスを利用」の方は0.5%とわずかな状況です。

○自分で請求書の支払いをしているかでは、「できない」方が2.8%となり、男性は全年齢階級で1割未満、女性は85歳以上で割合が高くなっています。

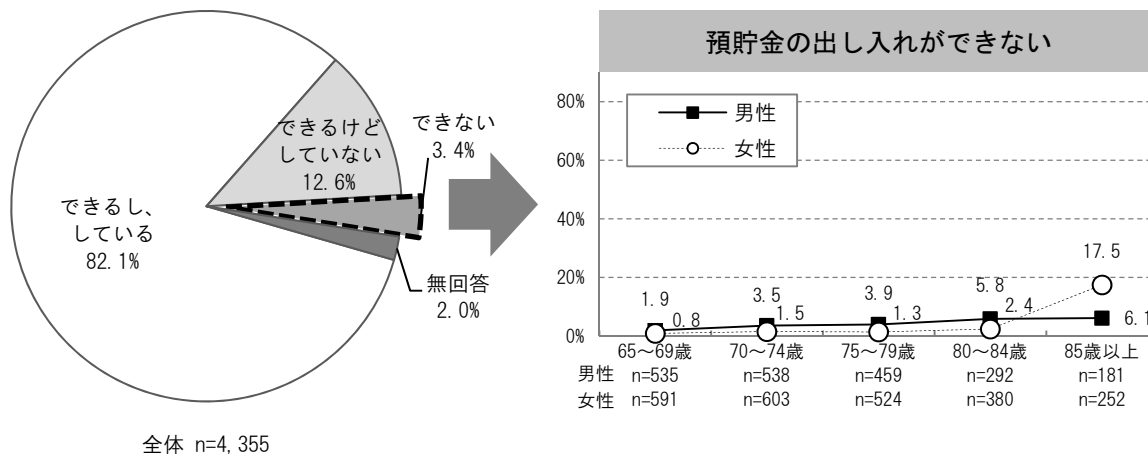


問4-(5) 自分で請求書の支払いをしているか



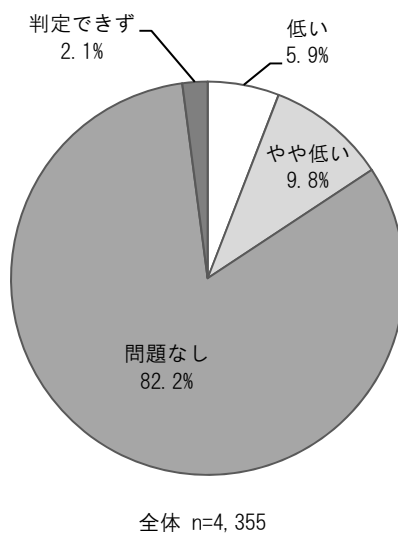
○一般高齢者の自分で預貯金の出し入れをしているかでは、「できない」方が3.4%となり、男性は全年齢階級で1割未満、女性は85歳以上で割合が高くなっています。

問4-(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか



○IADL（手段的自立度）の低下該当状況を見ると、「問題なし」（82.2%）が最も高く、次いで「やや低い」（9.8%）、「低い」（5.9%）となっています。

IADL（手段的自立度）の低下該当状況

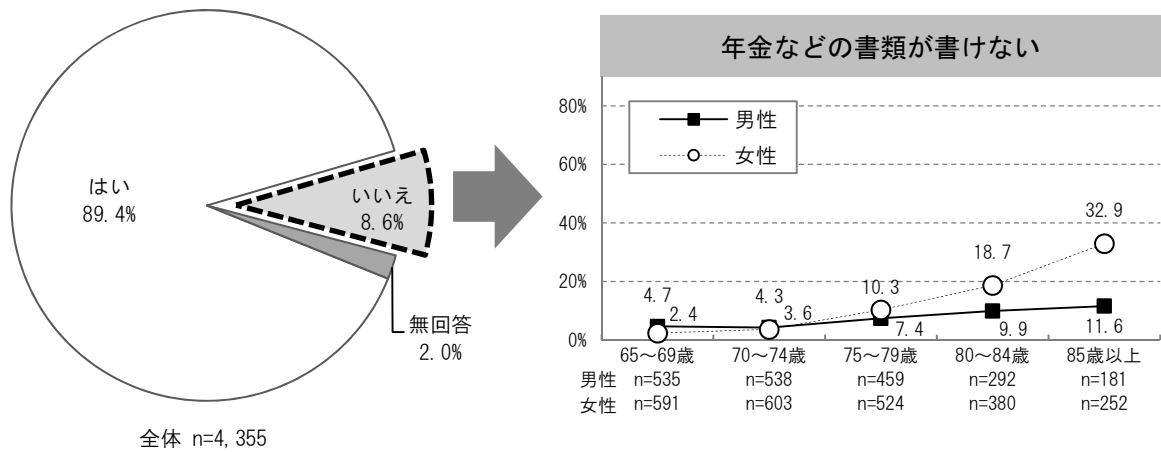


(2) 社会参加（知的能動性）の状況

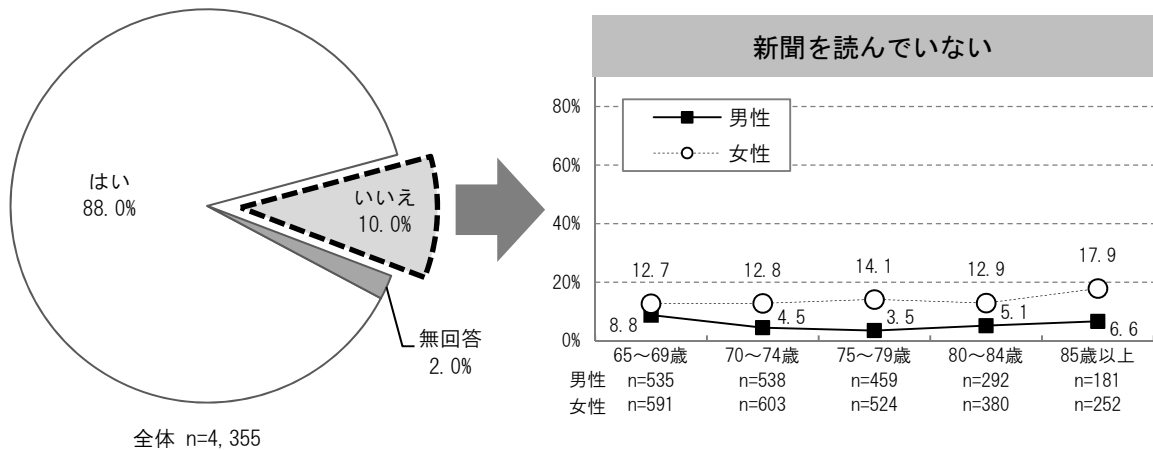
○一般高齢者の年金などの書類が書けるかでは、8.6%の方が書けないと回答しており、特に女性の75歳以上で割合が大きくなり上昇しています。

○一般高齢者の新聞を読んでいるかでは、10.0%の方が読んでいないと回答しており、男性は全年齢階級で1割未満、女性は1割台と性別による差は少ない状況です。

問4-(9) 年金などの書類が書けるか



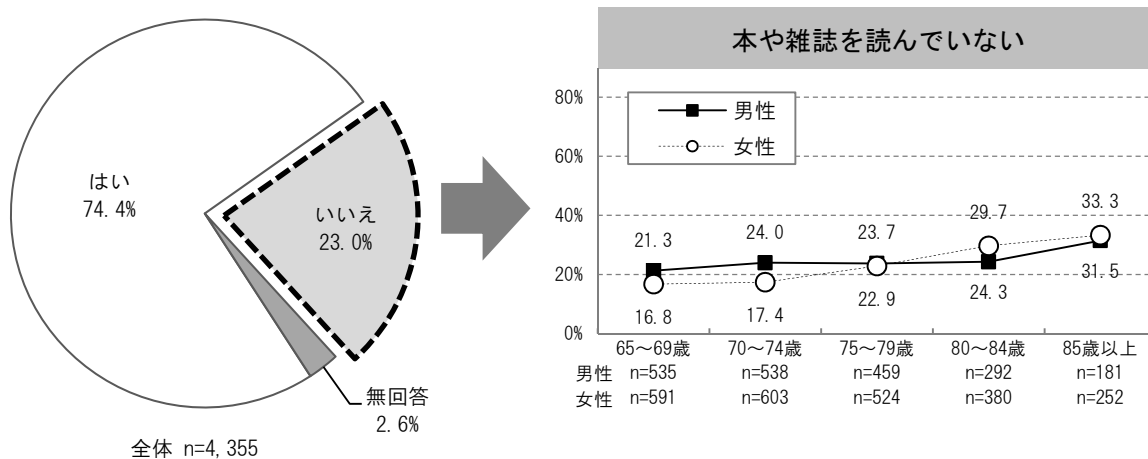
問4-(10) 新聞を読んでいるか



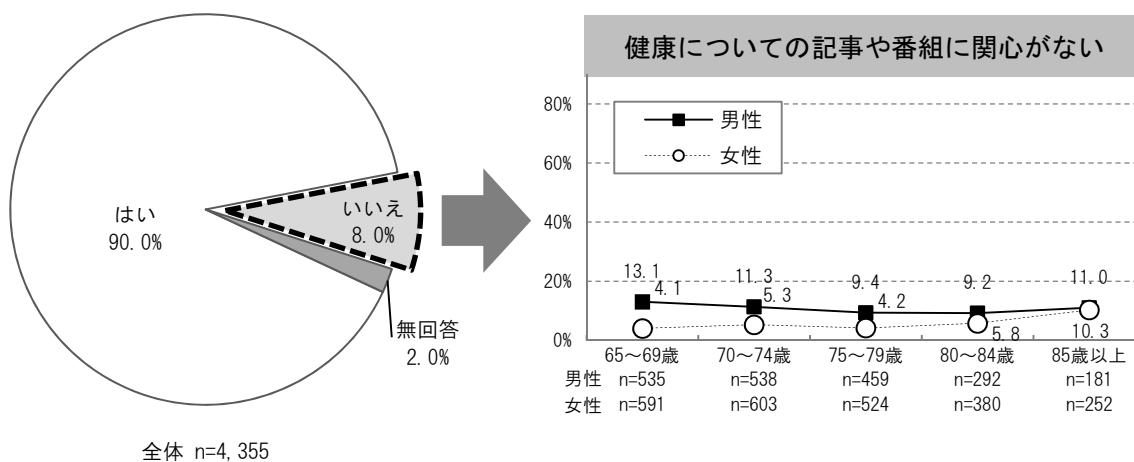
○本や雑誌を読んでいるかでは、23.0%の方が読んでいないと回答しており、男性は 85 歳以上、女性は 80 歳以上で割合が高くなっています。

○一般高齢者の健康についての記事や番組に関心があるかでは、8.0%の方が関心がないと回答しており、男女ともに全年齢階級で 1 割前後となっています。

問4-(11) 本や雑誌を読んでいるか

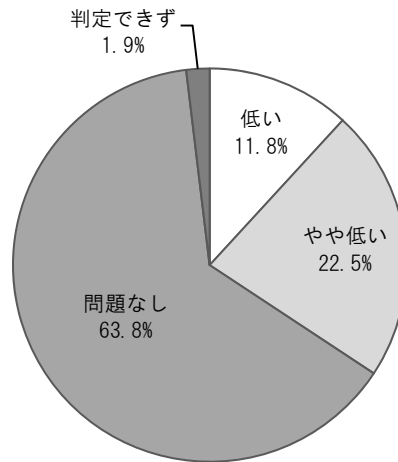


問4-(12) 健康についての記事や番組に関心があるか



○知的能動性の低下該当状況をみると、「問題なし」(63.8%)が最も高く、次いで「やや低い」(22.5%)、「低い」(11.8%)となっています。

知的能動性の低下該当状況

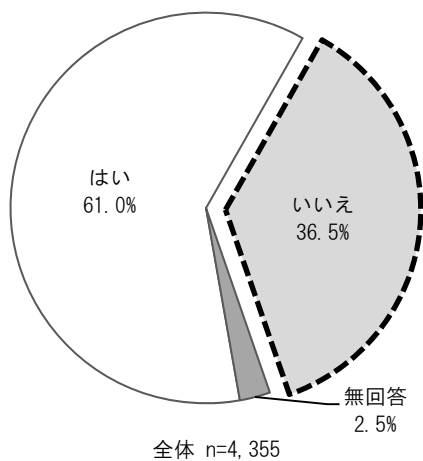


全体 n=4,355

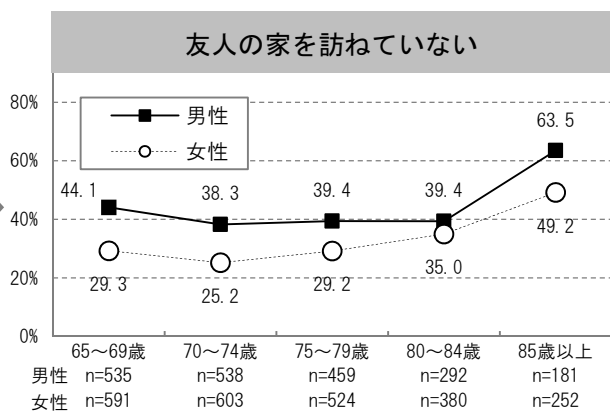
(3) 社会参加（社会的役割）の状況

○一般高齢者の友人の家を訪ねているかでは、36.5%の方が訪ねていないと回答しており、男女ともに85歳以上で割合が高くなっています。

問4-(13) 友人の家を訪ねているか



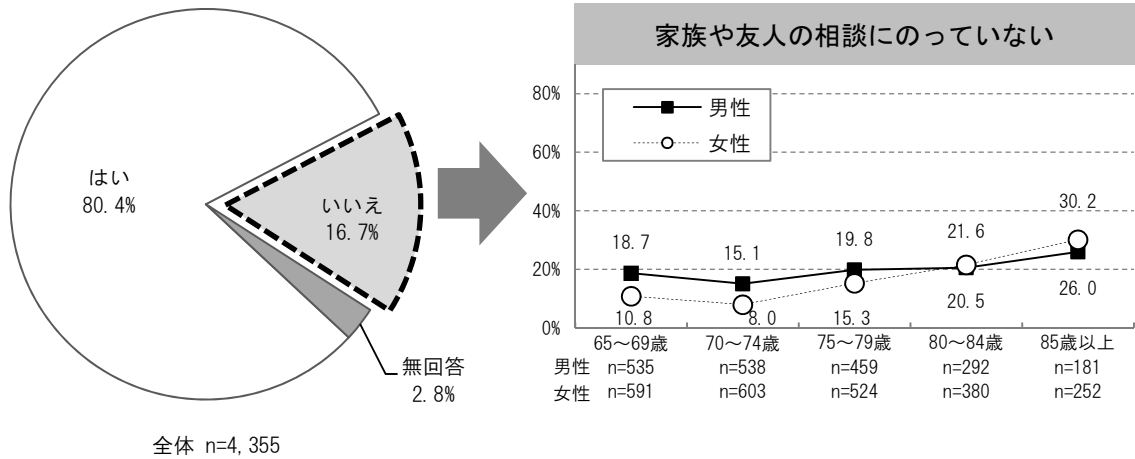
全体 n=4,355



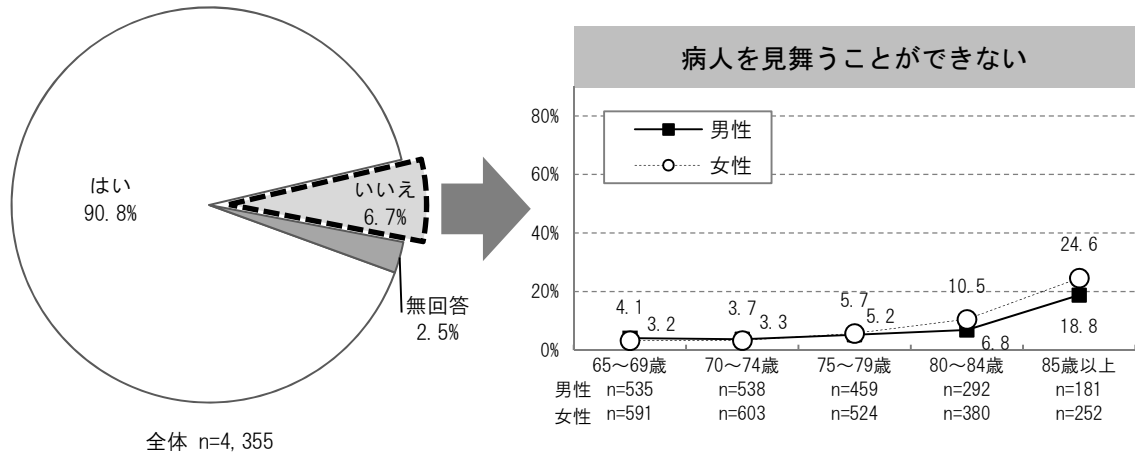
○一般高齢者の家族や友人の相談にのっているかでは、16.7%の方が相談にのっていないと回答しており、男女ともに75歳以上で高くなっています。

○病人を見舞うことができるかでは、6.7%の方が見舞うことができないと回答しており、男女ともに85歳以上で割合が高くなっています。

問4-(14) 家族や友人の相談にのっているか

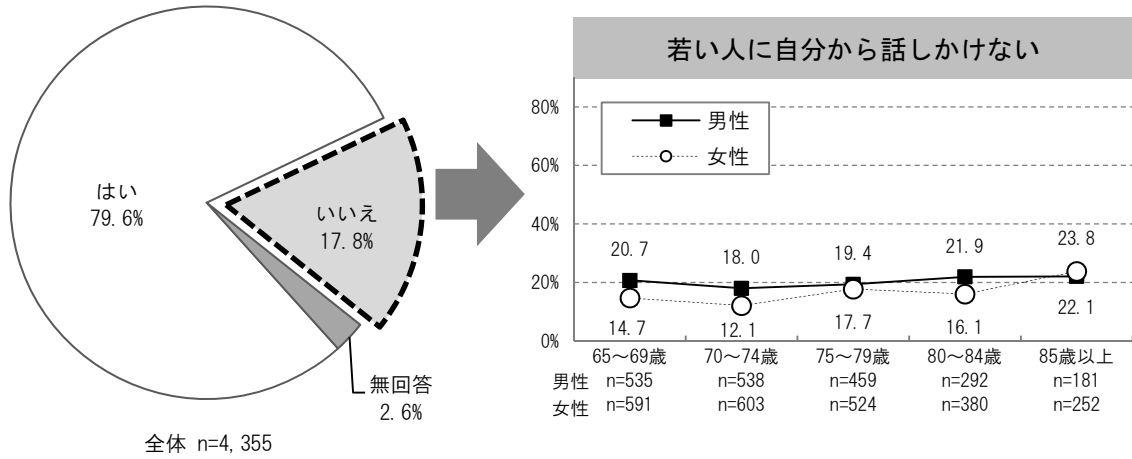


問4-(15) 病人を見舞うことができるか



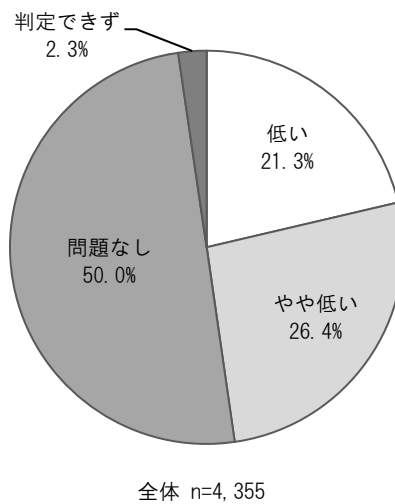
○一般高齢者の若い人に自分から話しかけることはあるかでは、17.8%の方が話しかけないと回答しており、男女ともに全年齢階級で2割前後となっています。

問4-(16) 若い人に自分から話しかけることはあるか



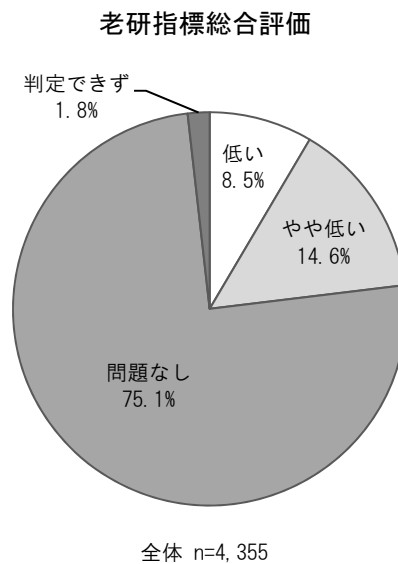
○社会的役割の低下該当状況をみると、「問題なし」(50.0%)が最も高く、次いで「やや低い」(26.4%)、「低い」(21.3%)となっています。

社会的役割の低下該当状況



(4) 老研指標総合評価

○ IADL（手段的自立度）、知的能動性、社会的役割の低下状況を老研指標総合評価で見ると、「問題なし」の方が75.1%を占めるものの、「低い」(8.5%)と「やや低い」(14.6%)を合わせた2割以上の方は低下状況にあります。

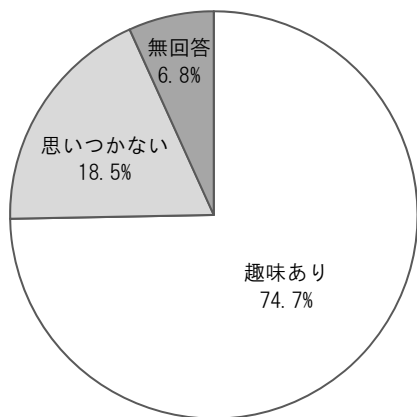


(5) こころの健康状態

○一般高齢者の趣味の有無では、74.7%の方があると回答しています。

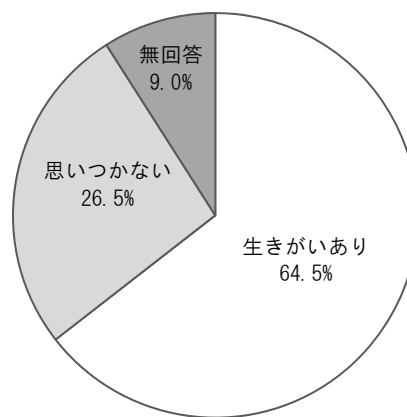
○生きがいの有無では、64.5%の方があると回答しています。

問 4-(17) 趣味はあるか



全体 n=4,355

問 4-(18) 生きがいはあるか



全体 n=4,355

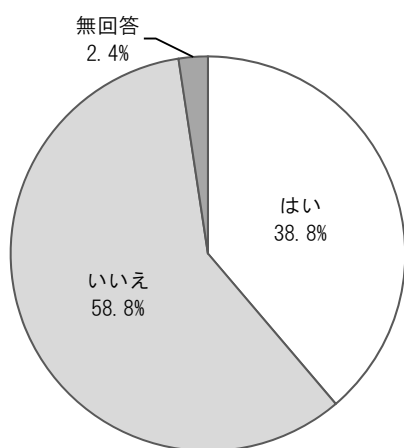
○一般高齢者のこの1か月間、気分が沈んだりすることの有無では、38.8%の方があると回答しています。

○この1か月間、物事に対して心から楽しめない感じの有無では、23.7%の方があると回答しています。

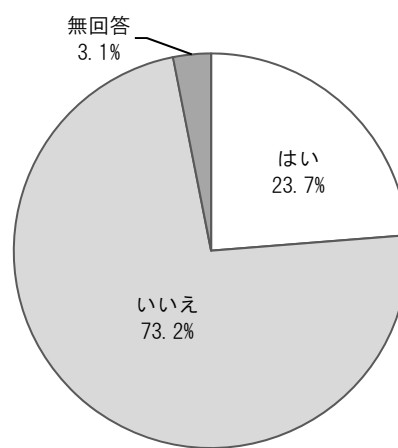
○現在の主観的幸福感では、「8点」(22.2%)が最も高く、次いで「5点」(17.9%)、「(とても幸せ) 10点」(16.3%)、「7点」(15.4%)の順となっています。また、平均点数は7.2点となっています。

問7-(3) この1か月間、気分が沈んだりする

問7-(4) この1か月間、物事に対して心から楽しめない

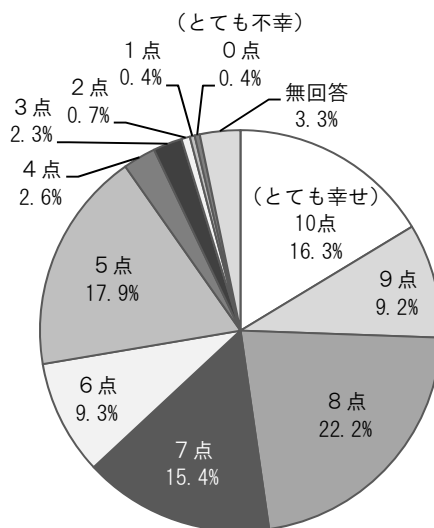


全体 n=4,355



全体 n=4,355

問7-(2) 現在どの程度幸せですか



全体 n=4,355



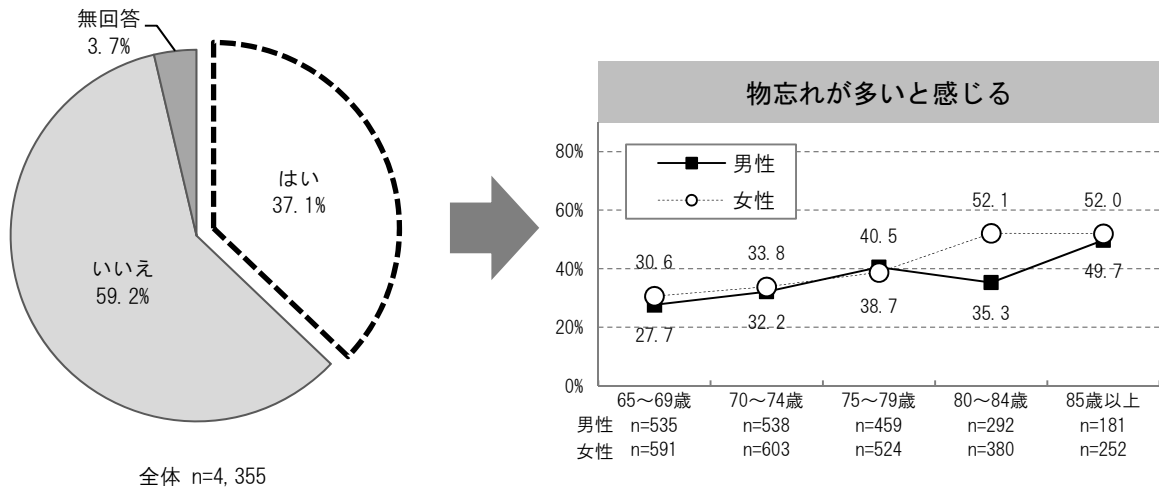
平均点数
7.2

(6) 物忘れの状況

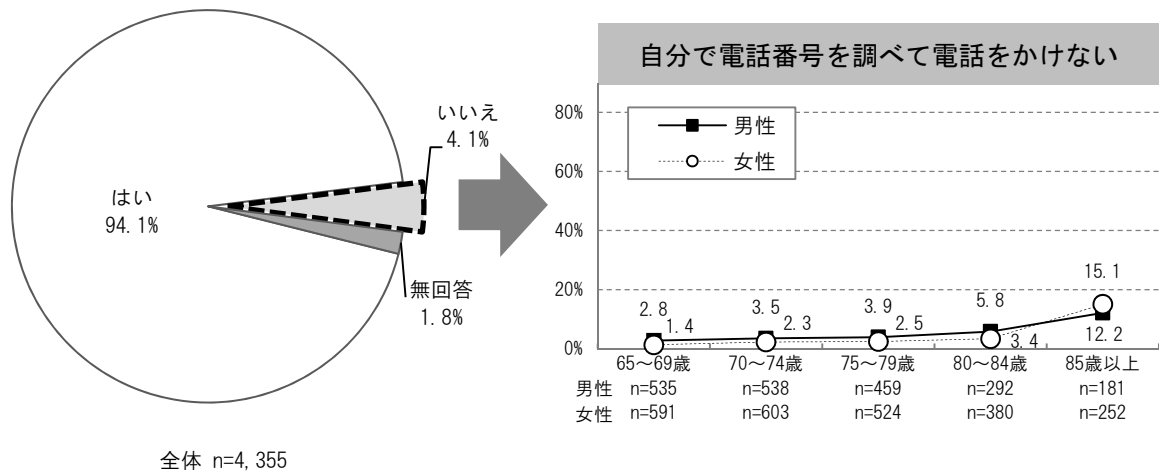
○一般高齢者の物忘れが多いと感じるかでは、「はい」の方が37.1%となり、女性は80～84歳での割合が最も高く、男性は85歳以上で割合が高くなっています。

○自分で電話番号を調べて電話をかけるかでは、「いいえ」の方が4.1%となり、男女とも加齢とともに割合が高くなっています。

問4-(1) 物忘れが多いと感じるか



問4-(7) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか

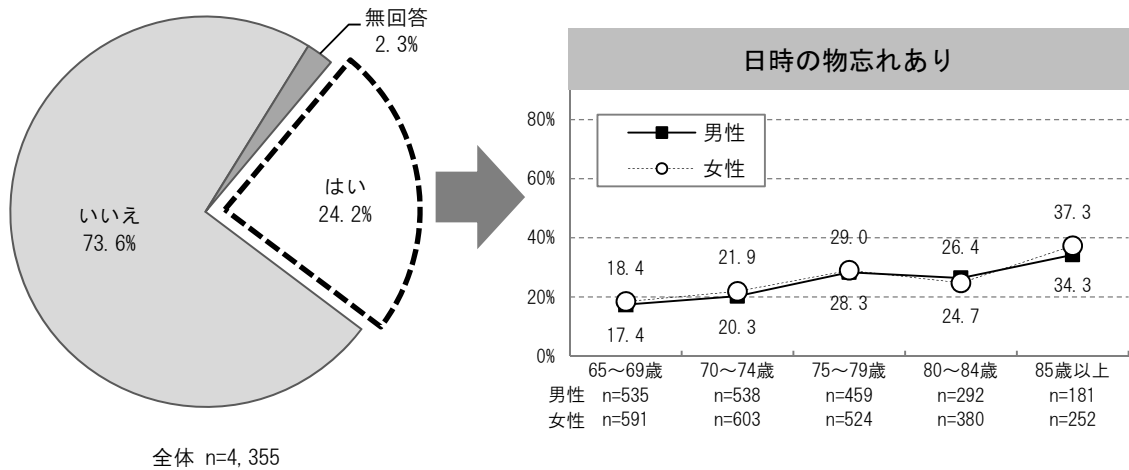


○一般高齢者の今日が何月何日かわからない時があるかでは、24.2%の方があると回答しており、男女ともに85歳以上で割合が高くなっています。

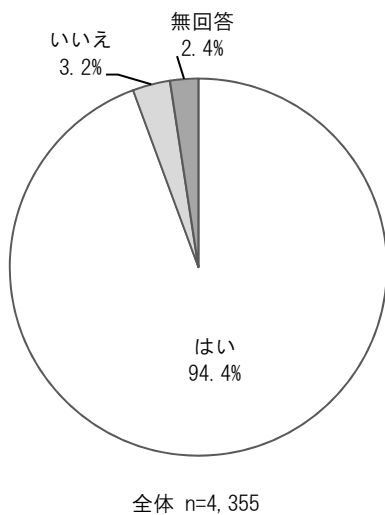
○5分前に自分が何をしていたか思い出せるかでは、3.2%の方が思い出せないと回答しています。

○その日の活動を自分で判断できるかでは、0.3%の方がほとんど判断できないと回答しています。

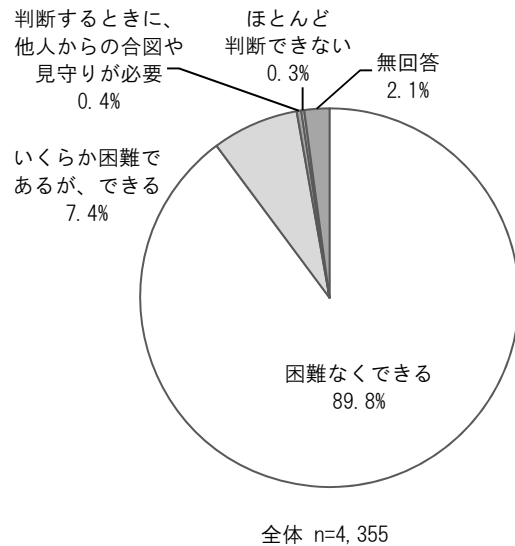
問4-(8) 今日が何月何日かわからない時があるか



問4-(19) 5分前に自分が何をしていたか思い出せるか

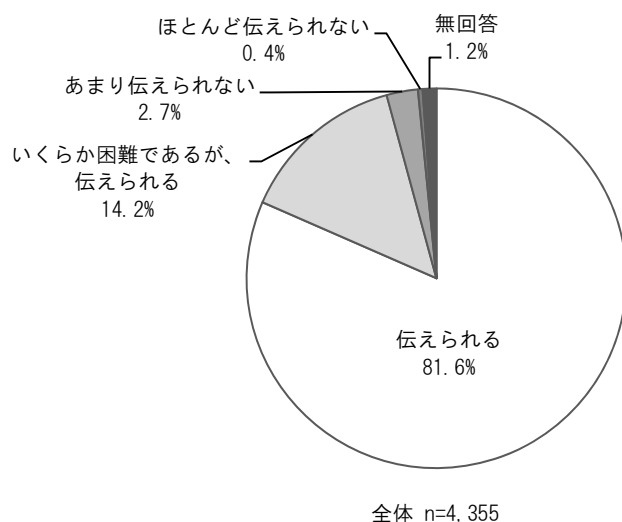


問4-(20) その日の活動を自分で判断できるか



○一般高齢者の人に自分の考えをうまく伝えられるかでは、「あまり伝えられない」(2.7%)と「ほとんど伝えられない」(0.4%)を合わせた3.1%が伝えられない状況です。

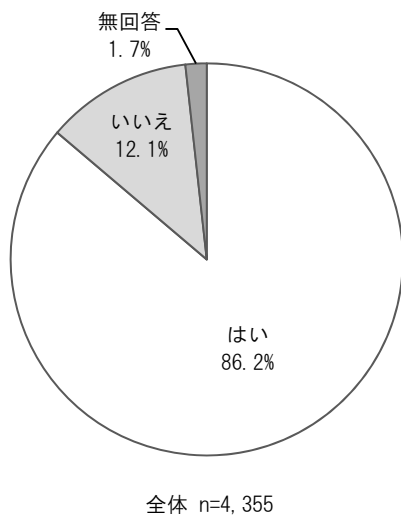
問4-(21) 人に自分の考えをうまく伝えられるか



(7) ゴミ出しの状況 (市独自設問)

○一般高齢者のゴミ出しができていないかをみると、12.1%の方ができていないと回答しています。

問4-(24) ゴミ出しができていないか

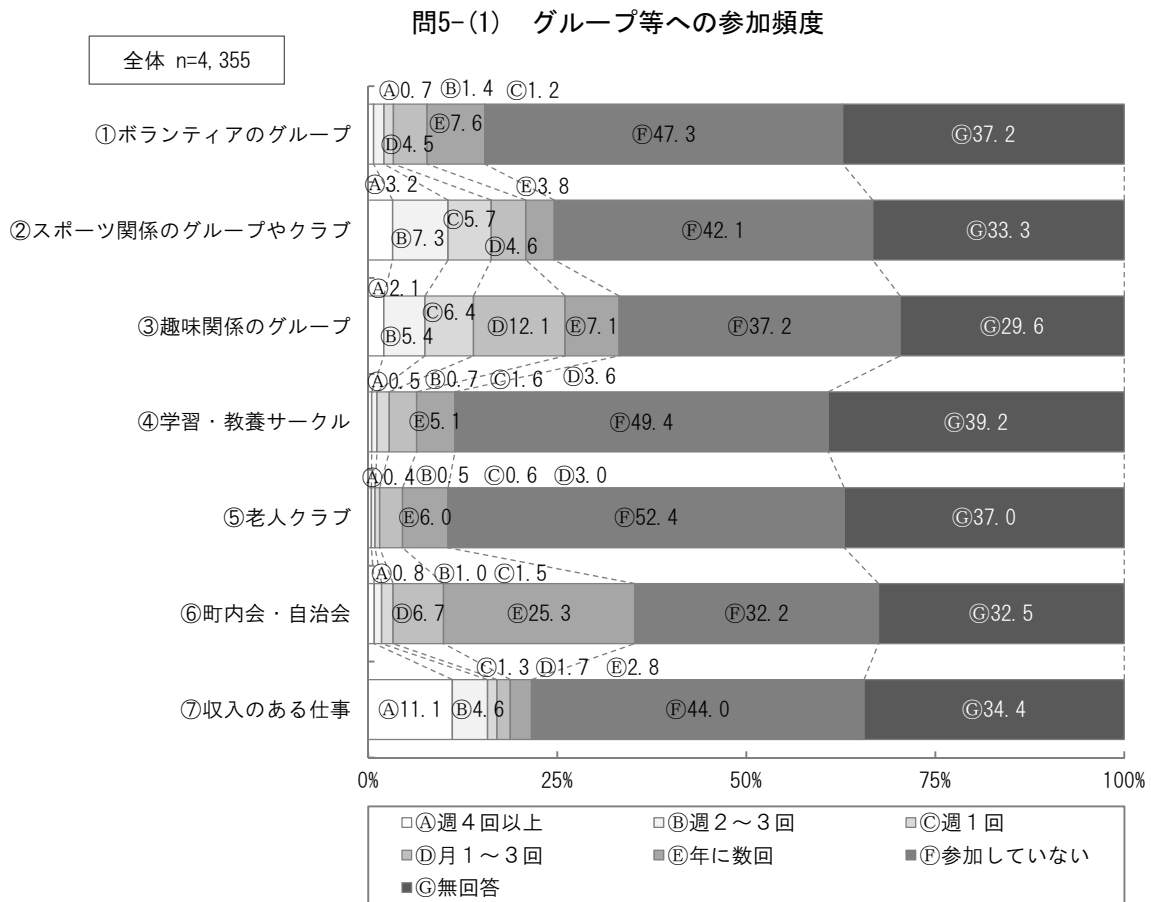


5 地域での活動について

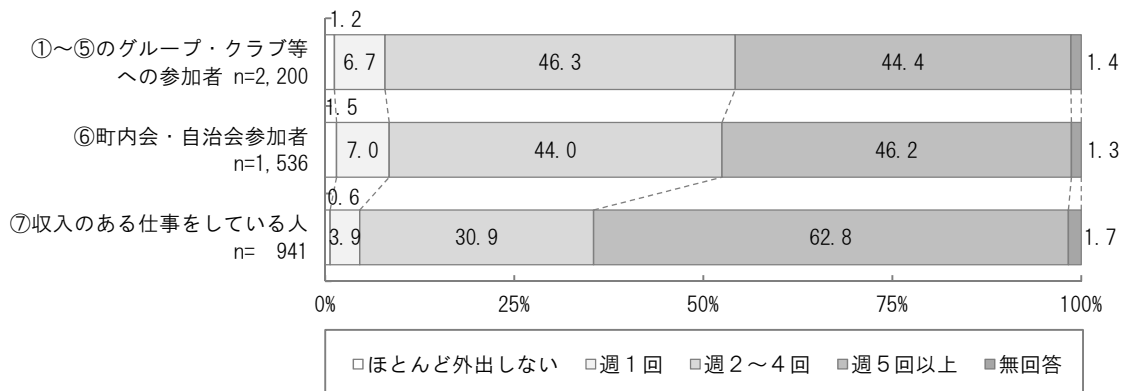
(1) グループ活動等の状況

○一般高齢者の週1回以上の就労またはグループ等への参加頻度をみると、「⑦収入のある仕事」(17.0%)、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(16.2%)、「③趣味関係のグループ」(13.9%)となっています。

○また、グループ等への参加者の外出頻度では、いずれの参加者も週1回以下の方は10%未満となっています。なお、「⑦収入のある仕事」をしている人では週5回以上が62.8%います。



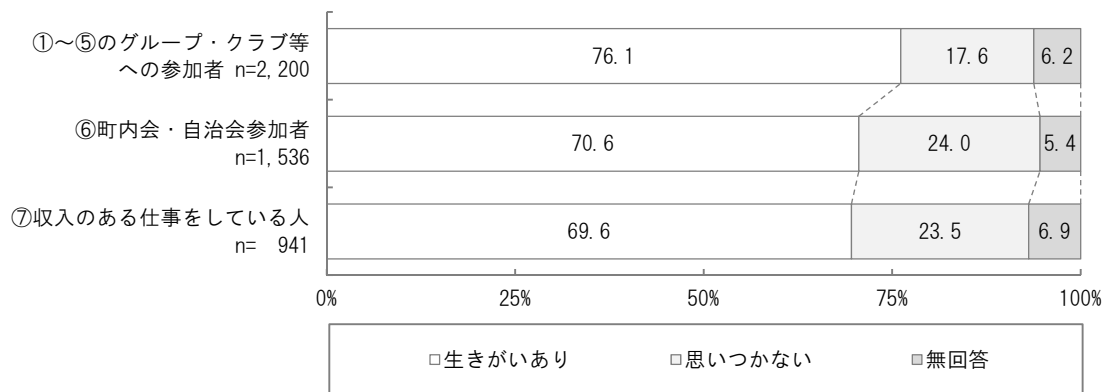
「問5-(1) グループ等への参加者」×「問2-(6) 外出頻度」



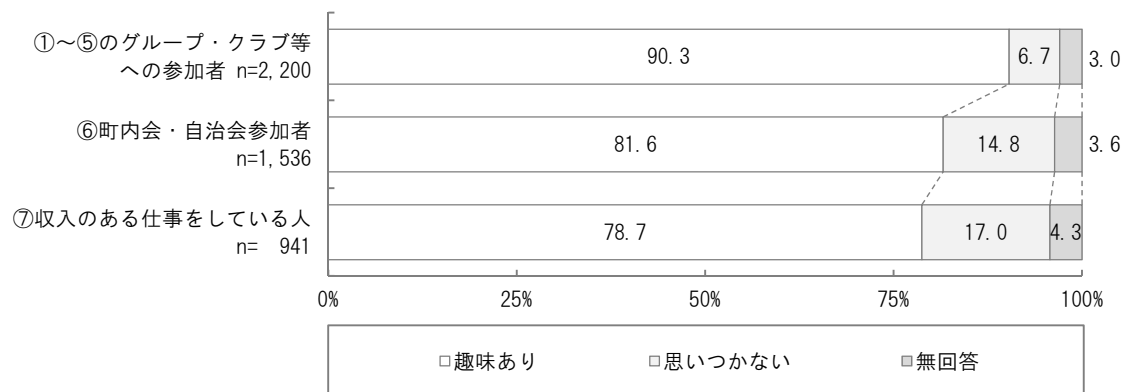
○一般高齢者のグループ等への参加者の生きがいの有無では、いずれの参加者も6割以上が生きがいがあると回答しています。

○グループ等への参加者の趣味の有無では、いずれの参加者も7割以上が趣味があると回答しています。

「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(18) 生きがいの有無」



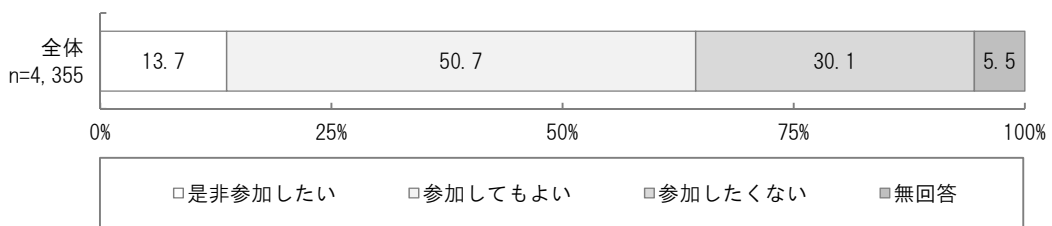
「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(17) 趣味の有無」



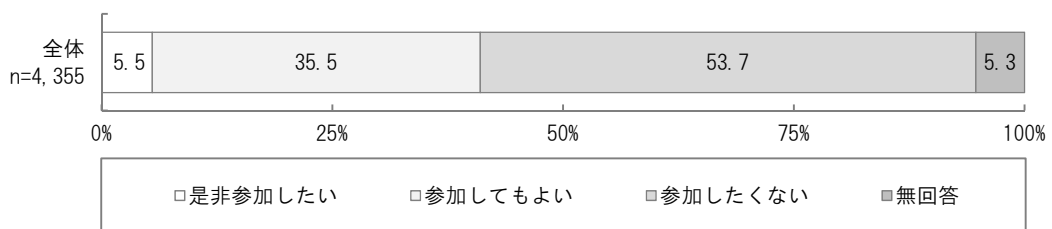
(2) 地域づくりに対する参加意向

- 一般高齢者の参加者としてグループ活動等に参加してみたいかでは、「是非参加したい」(13.7%)と「参加してもよい」(50.7%)を合わせた64.4%の方が参加の意向です。
- 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいかでは、「是非参加したい」(5.5%)と「参加してもよい」(35.5%)を合わせた41.0%の方が参加の意向です。一方、「参加したくない」は半数以上を占めています。
- グループ活動等への参加希望者と企画・運営への参加希望者の健康感をみると、両者とも「まあよい」(各72.6%)が最も高くなっています。なお、「とてもよい」では後者が2.2ポイント上回っています。

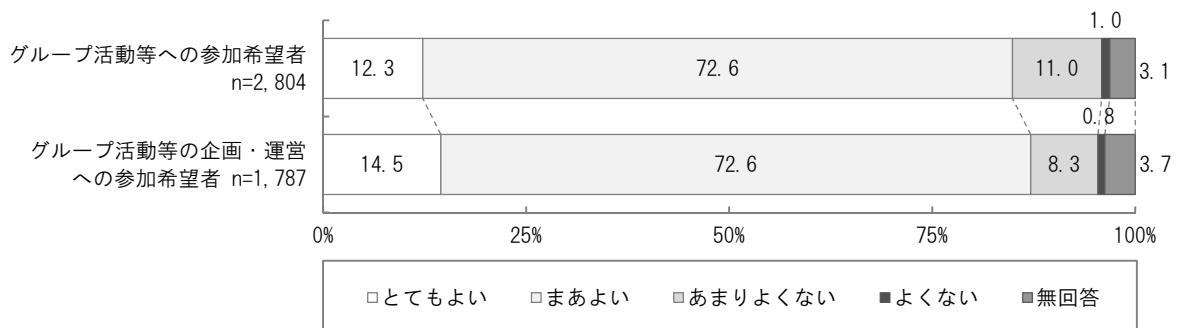
問5-(2) 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか



問5-(3) 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいか



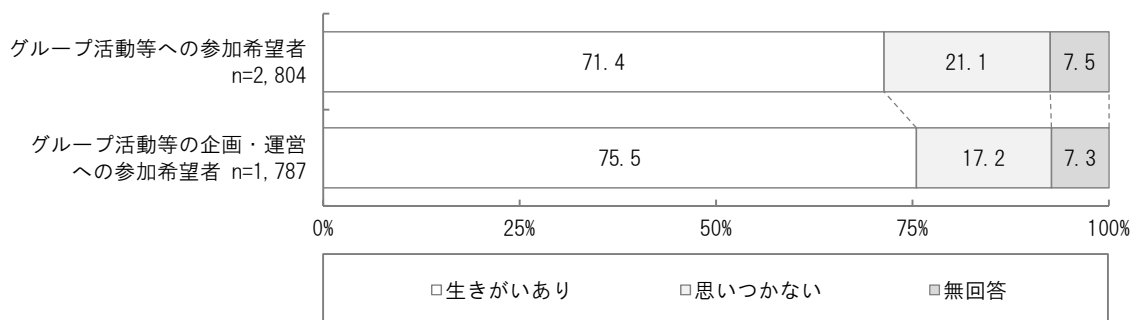
「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」
× 「問7-(1) 主観的健康感」



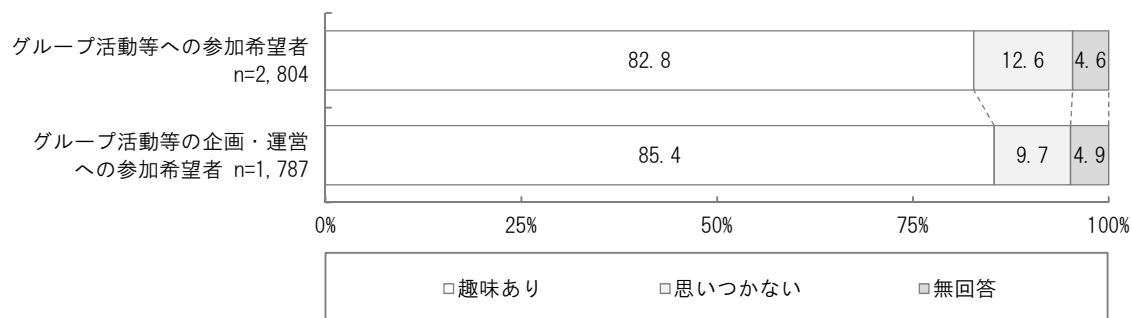
○一般高齢者のグループ活動等への参加希望者と企画・運営への参加希望者の生きがいの有無では、「生きがいあり」では前者が71.4%、後者が75.5%と4.1ポイント上回っています。

○グループ活動等への参加希望者と企画・運営への参加希望者の趣味の有無では、「趣味あり」では前者が82.8%、後者が85.4%と後者が2.6ポイント上回っています。

「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」
× 「問4-(18) 生きがいの有無」



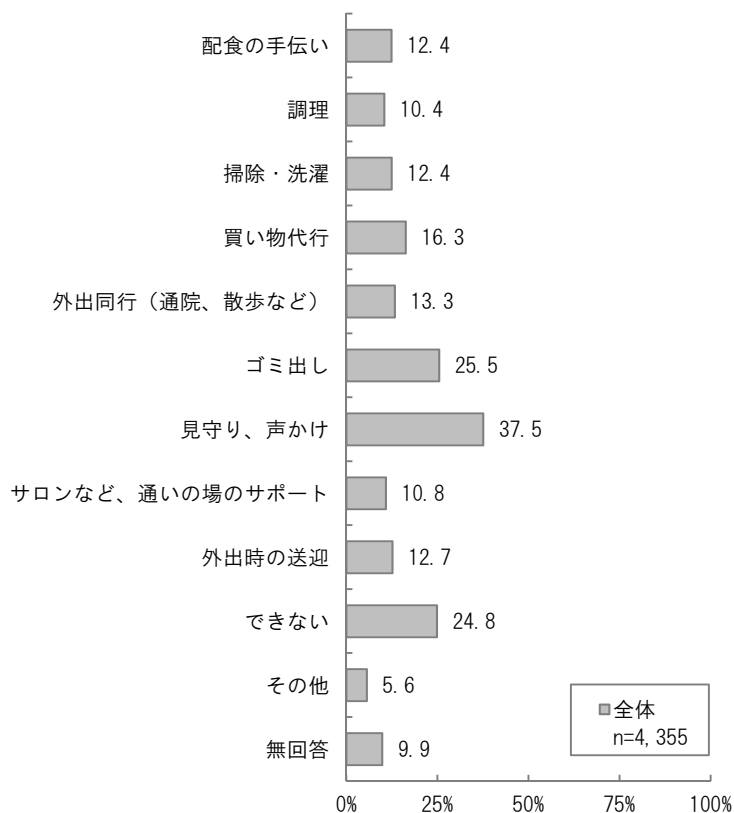
「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」
× 「問4-(17) 趣味の有無」



(3) 地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの

○一般高齢者の地域でできる支援では、「見守り、声かけ」(37.5%)が最も高く、次いで「ゴミ出し」(25.5%)、「買い物代行」(16.3%)、「外出同行(通院、散歩など)」(13.3%)、「外出時の送迎」(12.7%)、「掃除・洗濯」「配食の手伝い」(各12.4%)、「サロンなど、通いの場のサポート」(10.8%)の順となっています。一方、「できない」方は24.8%となっています。

問5-(4) 地域でできる支援内容

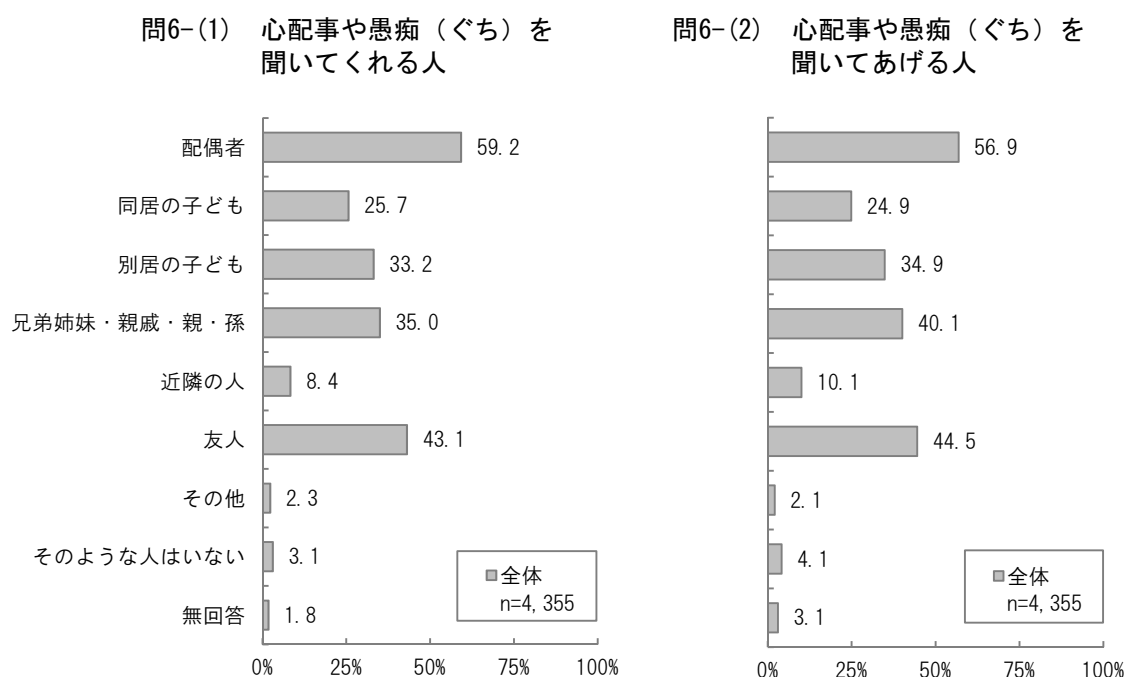


6 たすけあいについて

(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

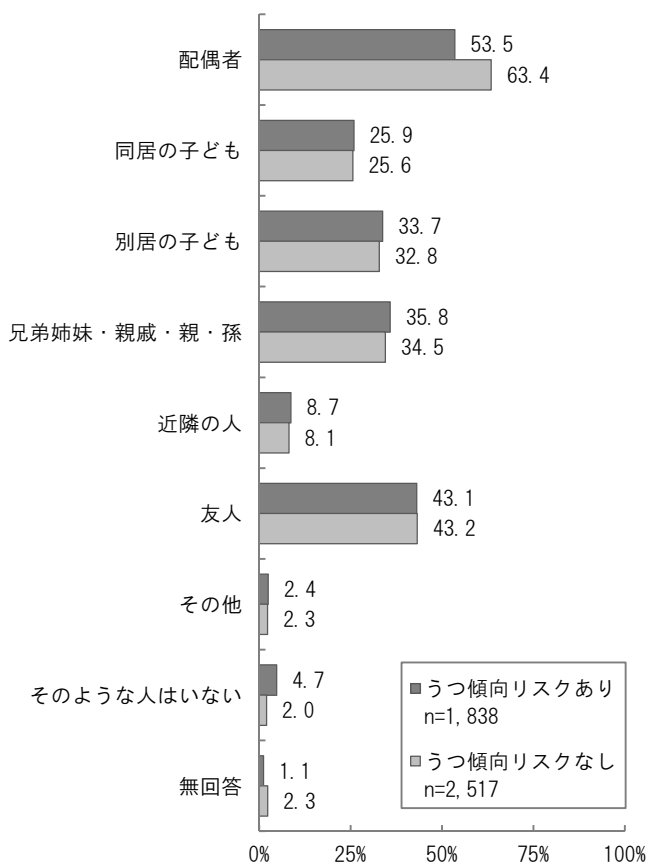
○一般高齢者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「配偶者」（59.2%）が最も高く、次いで「友人」（43.1%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（35.0%）、「別居の子ども」（33.2%）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は3.1%となっています。

○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「配偶者」（56.9%）が最も高く、次いで「友人」（44.5%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（40.1%）、「別居の子ども」（34.9%）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は4.1%となっています。



○一般高齢者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人をうつ傾向リスクのあり・なし別にみると、両者ともに「配偶者」（53.5%・63.4%）が最も高く、次いで「友人」（43.1%・43.2%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（35.8%・34.5%）、「別居の子ども」（33.7%・32.8%）、「同居の子ども」（25.9%・25.6%）を順に挙げています。一方、「そのような人はいない」は前者が4.7%、後者が2.0%と前者が2.7ポイント上回っています。

「問6-(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」×「うつ傾向リスク有無」



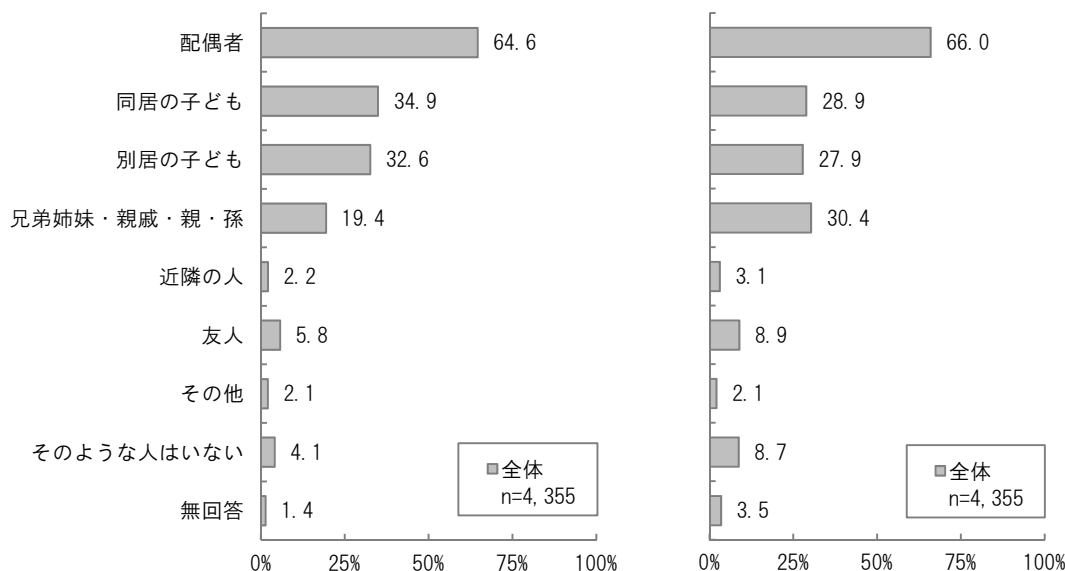
○一般高齢者の病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」(64.6%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(34.9%)、「別居の子ども」(32.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.4%)の順となっています。

○看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」(66.0%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.4%)、「同居の子ども」(28.9%)、「別居の子ども」(27.9%)の順となっています。

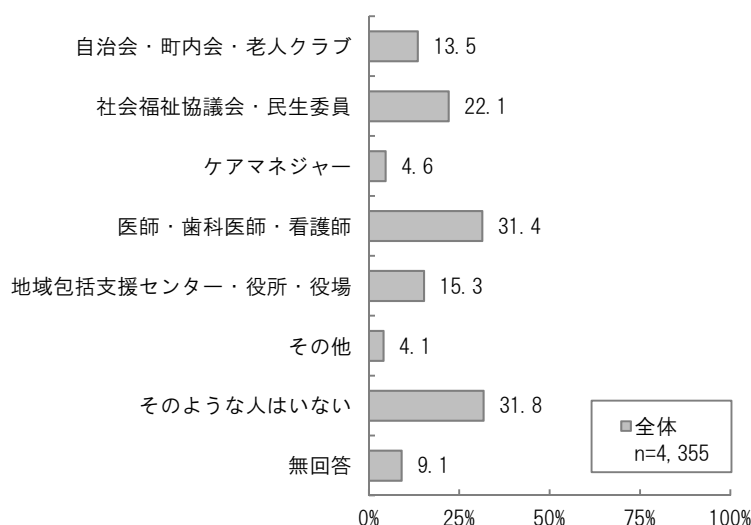
○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」(31.4%)が最も高く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」(22.1%)、「地域包括支援センター・役所・役場」(15.3%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(13.5%)の順となっています。また、「そのような人はいない」方は31.8%となっています。

問6-(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

問6-(4) 看病や世話をしてあげる人



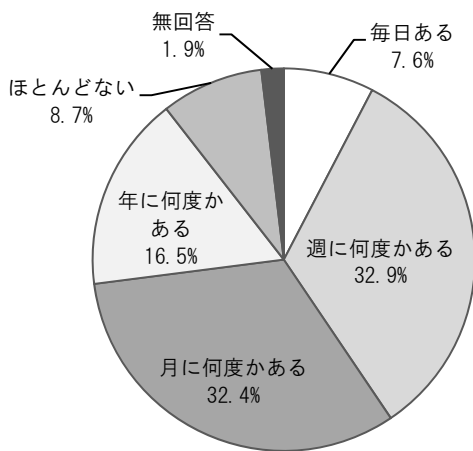
問6-(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



(2) 友人・知人との交流状況

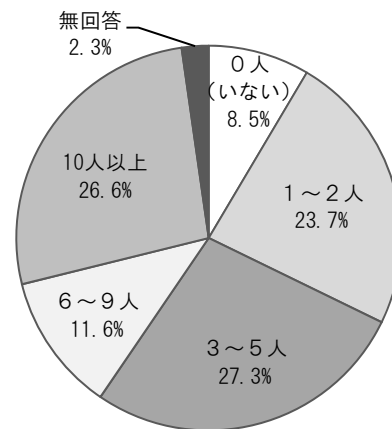
- 一般高齢者の友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」(32.9%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(32.4%)となっています。
- 1か月間、何人の友人・知人と会ったかでは、「3～5人」(27.3%)が最も高く、次いで「10人以上」(26.6%)となっています。
- よく会う友人・知人はどんな関係の人かは、「近所・同じ地域の人」(53.3%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(40.2%)、「仕事での同僚・元同僚」(31.8%)、「学生時代の友人」(19.0%)の順となっています。

問 6-(6) 友人・知人と会う頻度



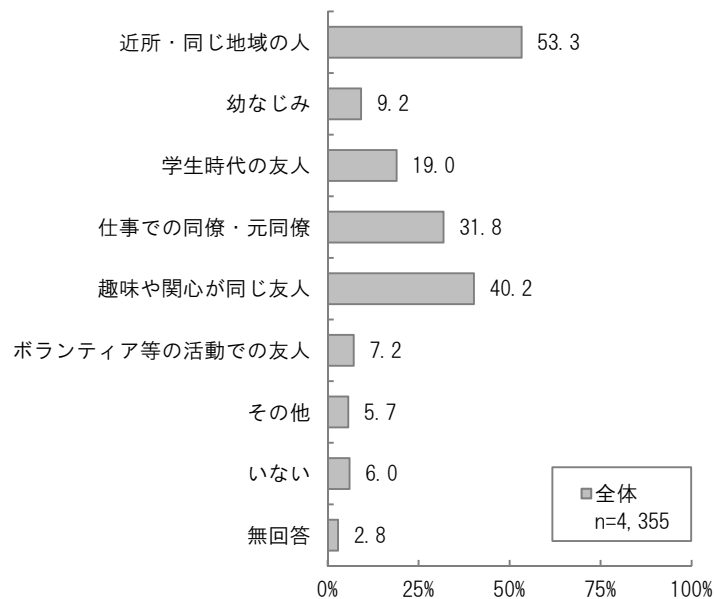
全体 n=4,355

問 6-(7) 何人の友人・知人と会ったか
(最近1か月間)



全体 n=4,355

問6-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人が



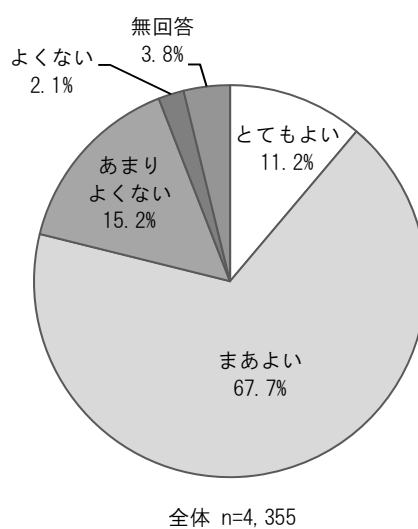
■全体
n=4,355

7 健康について

(1) 健康状態

○一般高齢者の現在の主観的健康感をみると、「まあよい」(67.7%)が最も高く、「とてもよい」(11.2%)を合わせた78.9%の方が健康と感じています。

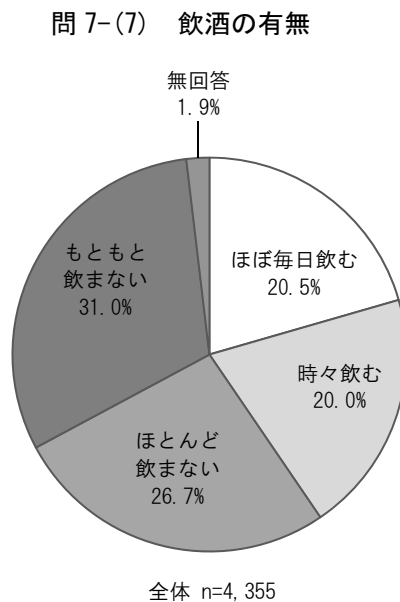
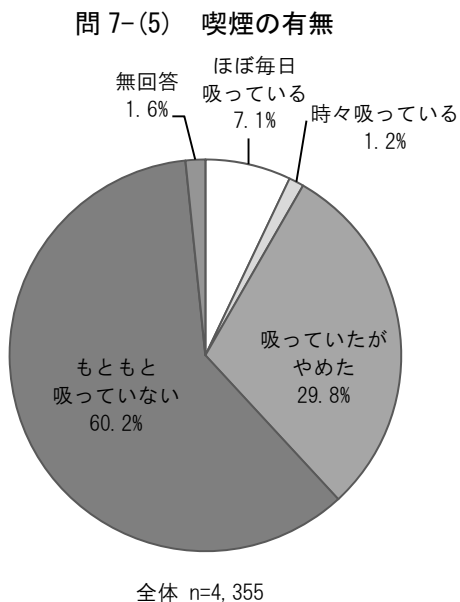
問7-(1) 現在の健康状態はいかがですか



(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係

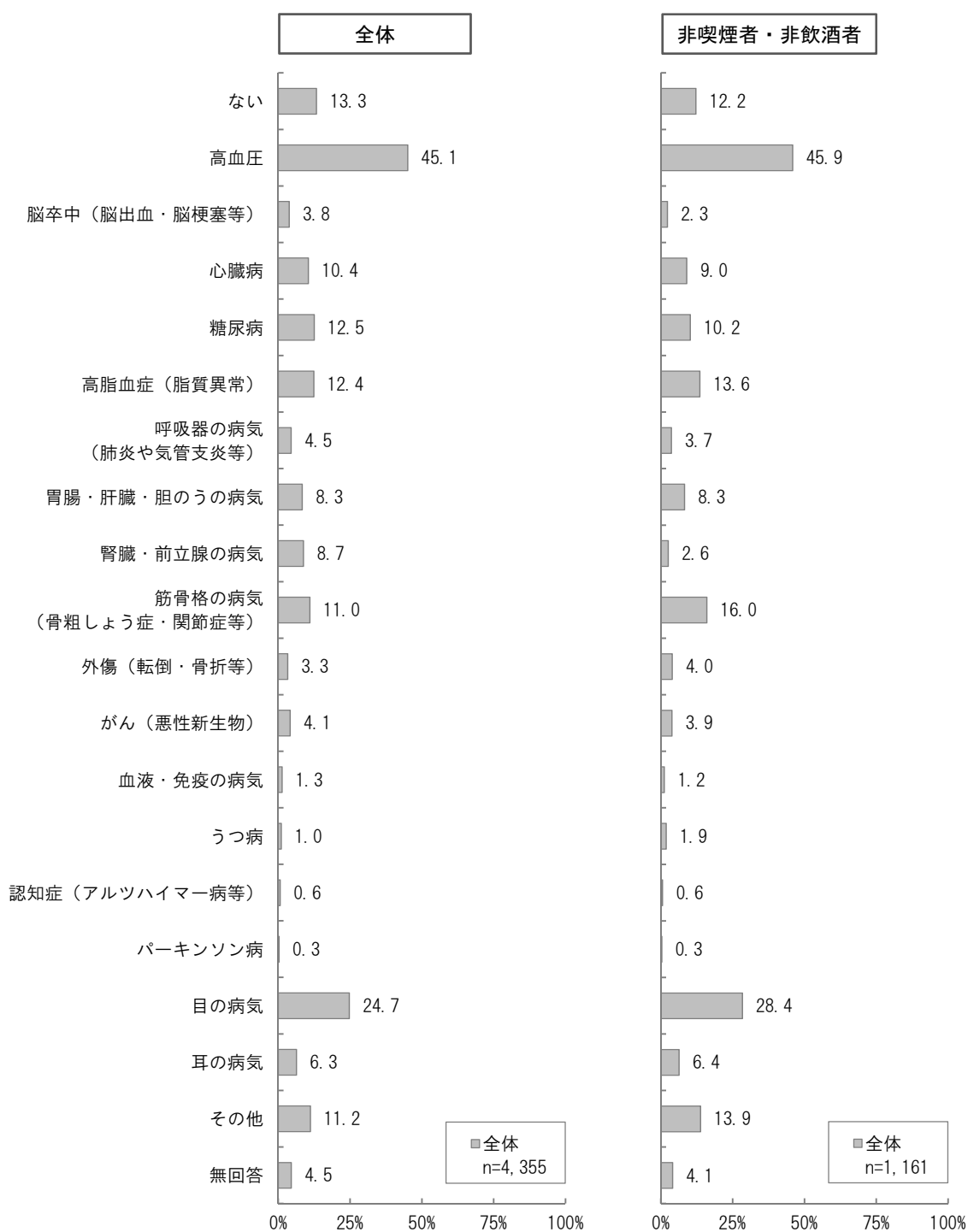
○一般高齢者の喫煙の有無では、「ほぼ毎日吸っている」(7.1%)と「時々吸っている」(1.2%)を合わせた 8.3%の方が喫煙しています。

○飲酒の有無では、「ほぼ毎日飲む」(20.5%)と「時々飲む」(20.0%)を合わせた 40.5%の方が飲酒しています。



○一般高齢者の現在治療中、または後遺症のある病気の有無をみると、全体では「高血圧」(45.1%)が最も高く、次いで「目の病気」(24.7%)、「糖尿病」(12.5%)、「高脂血症(脂質異常)」(12.4%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(11.0%)の順となっています。非喫煙者・非飲酒者を比較すると「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(16.0%)は前者より5.0%^{ポイント}上回っています。

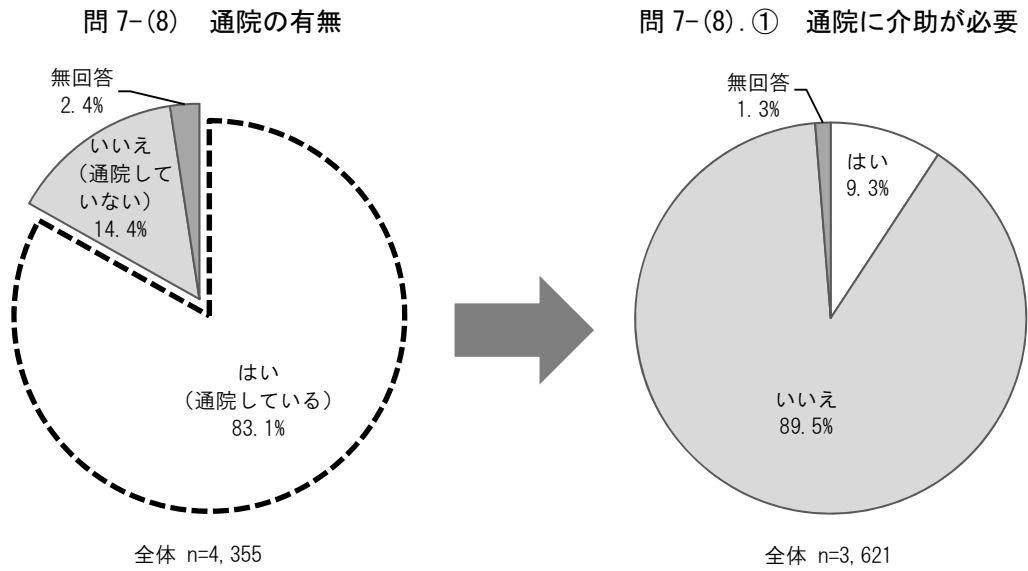
問7-(6) 現在治療中、または後遺症のある病気の有無



(3) 通院の状況

○一般高齢者の通院の有無では、83.1%の方が通院していると回答しています。

○通院に介助が必要かでは、9.3%の方が介助が必要と回答しています。



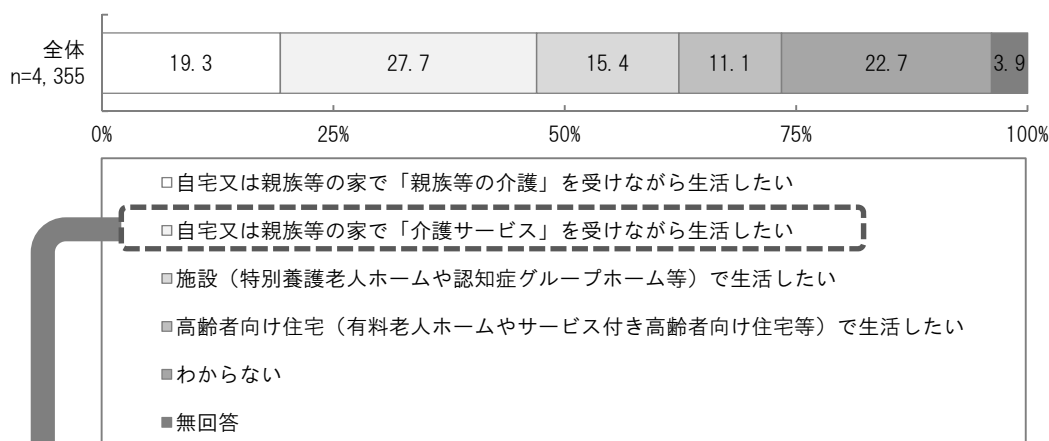
8 介護等が必要になった場合の生活について

(1) 生活場所やサービス利用の意向

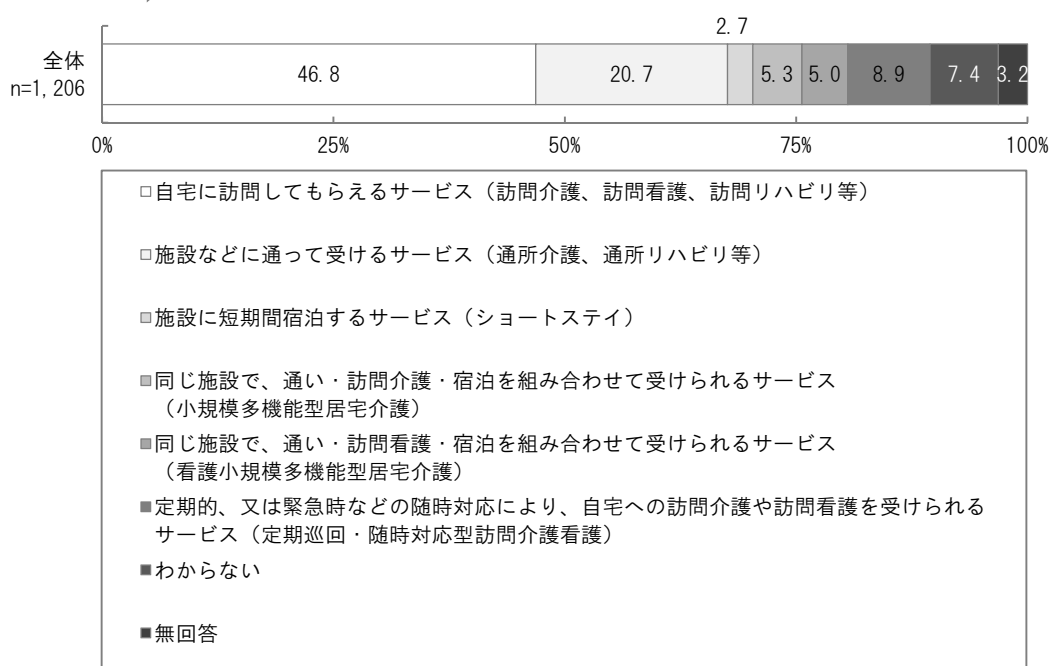
○一般高齢者の介護が必要になった場合、どこで生活をしたいかをみると、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」(27.7%)が最も高くなっています。

○また、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」と回答した方が受けたい介護サービスは、「自宅に訪問してもらえるサービス（訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ等）」(46.8%)が最も高く、次いで「施設などに通って受けるサービス（通所介護、通所リハビリ等）」(20.7%)、「定期的、又は緊急時などの随時対応により、自宅への訪問介護や訪問看護を受けられるサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）」(8.9%)の順となっています。

問8-(1) 介護が必要になった場合、どこで生活をしたいか



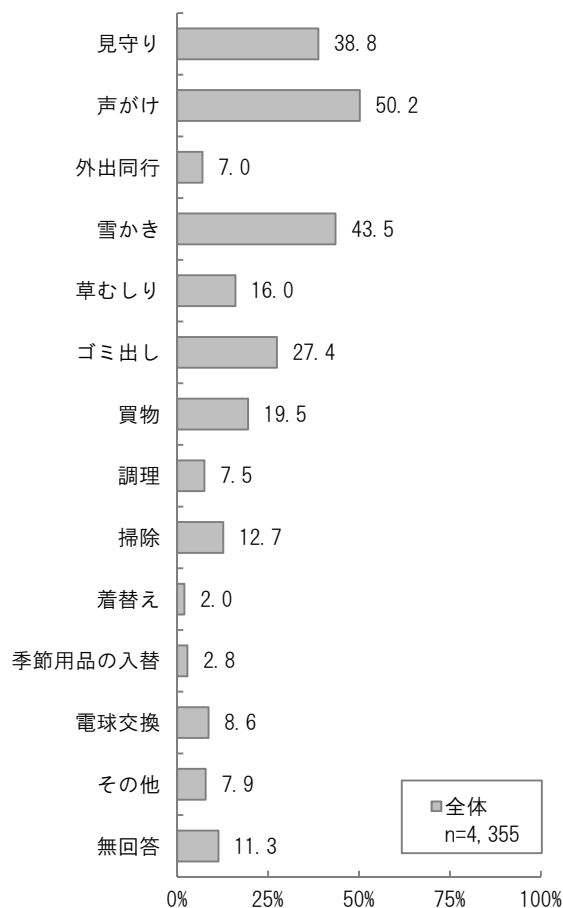
問8-(1).① どのような介護サービスを受けたいか



(2) 近隣からの支援に望むこと

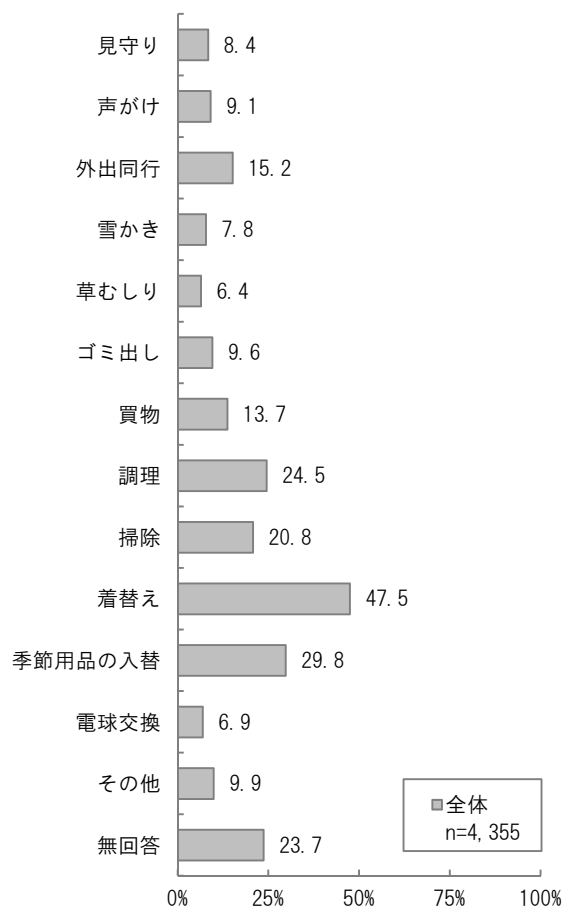
○一般高齢者の介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいことは、「声かけ」(50.2%)が最も高く、次いで「雪かき」(43.5%)、「見守り」(38.8%)、「ゴミ出し」(27.4%)の順となっています。

問8-(2) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいこと



○一方、近隣の人に頼みたくないことは、「着替え」(47.5%)が最も高く、次いで「季節用品の入替」(29.8%)、「調理」(24.5%)、「掃除」(20.8%)の順となっています。

問8-(3) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたくないこと



9 山形市の施策について

(1) 認知症予防への支援

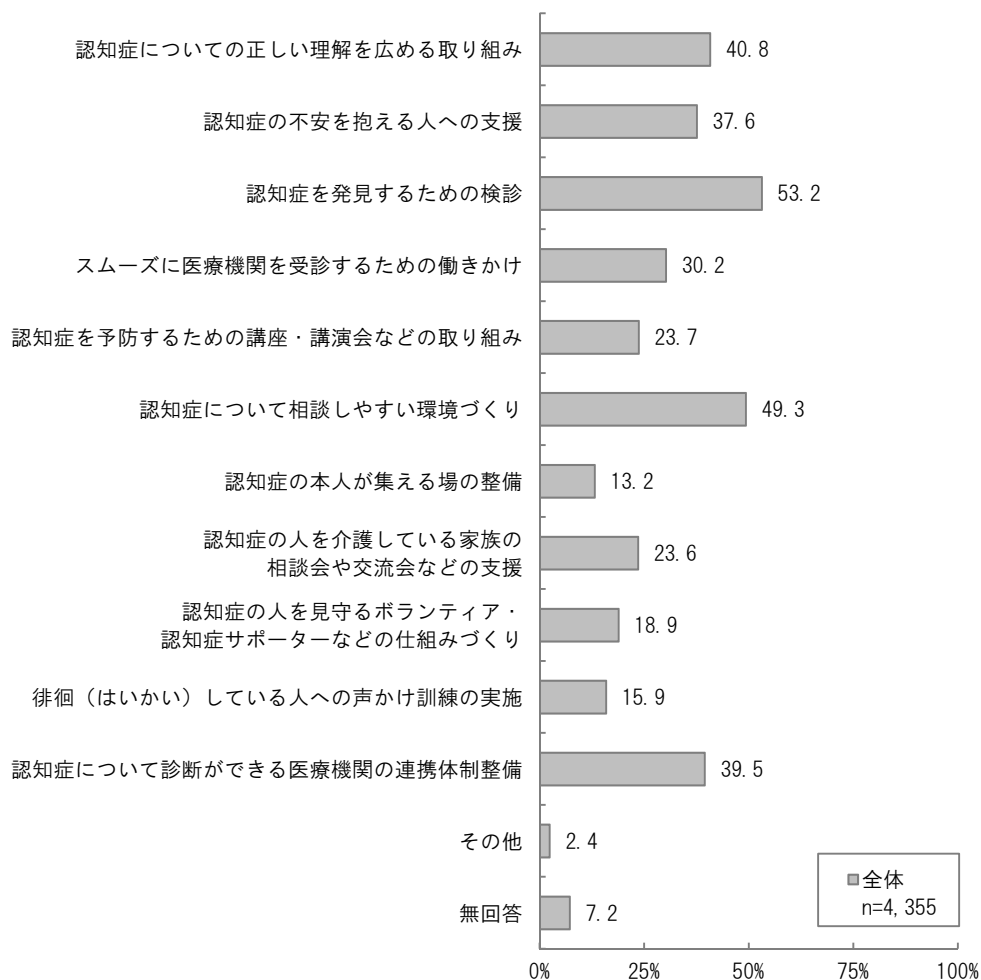
○一般高齢者の認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところをみると、「かかりつけ医」(63.1%)が最も高く、次いで「認知症専門医(精神科・神経内科等)」(15.5%)となっています。

問9-(1) 認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところ

全体 n=4,355	回答者数	割合
かかりつけ医	2,747人	63.1%
認知症サポート医	172人	3.9%
認知症専門医(精神科・神経内科等)	676人	15.5%
地域包括支援センター	160人	3.7%
ケアマネジャー(介護支援専門員)	89人	2.0%
民生委員・福祉協力員	112人	2.6%
介護サービス事業者	10人	0.2%
市役所などの行政機関	76人	1.7%
認知症の人と家族の会	9人	0.2%
認知症サポーター	16人	0.4%
薬局	8人	0.2%
その他	44人	1.0%
無回答	236人	5.4%

○認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきことは、「認知症を発見するための検診」(53.2%)が最も高く、次いで「認知症について相談しやすい環境づくり」(49.3%)、「認知症についての正しい理解を広める取り組み」(40.8%)、「認知症について診断ができる医療機関の連携体制整備」(39.5%)の順となっています。

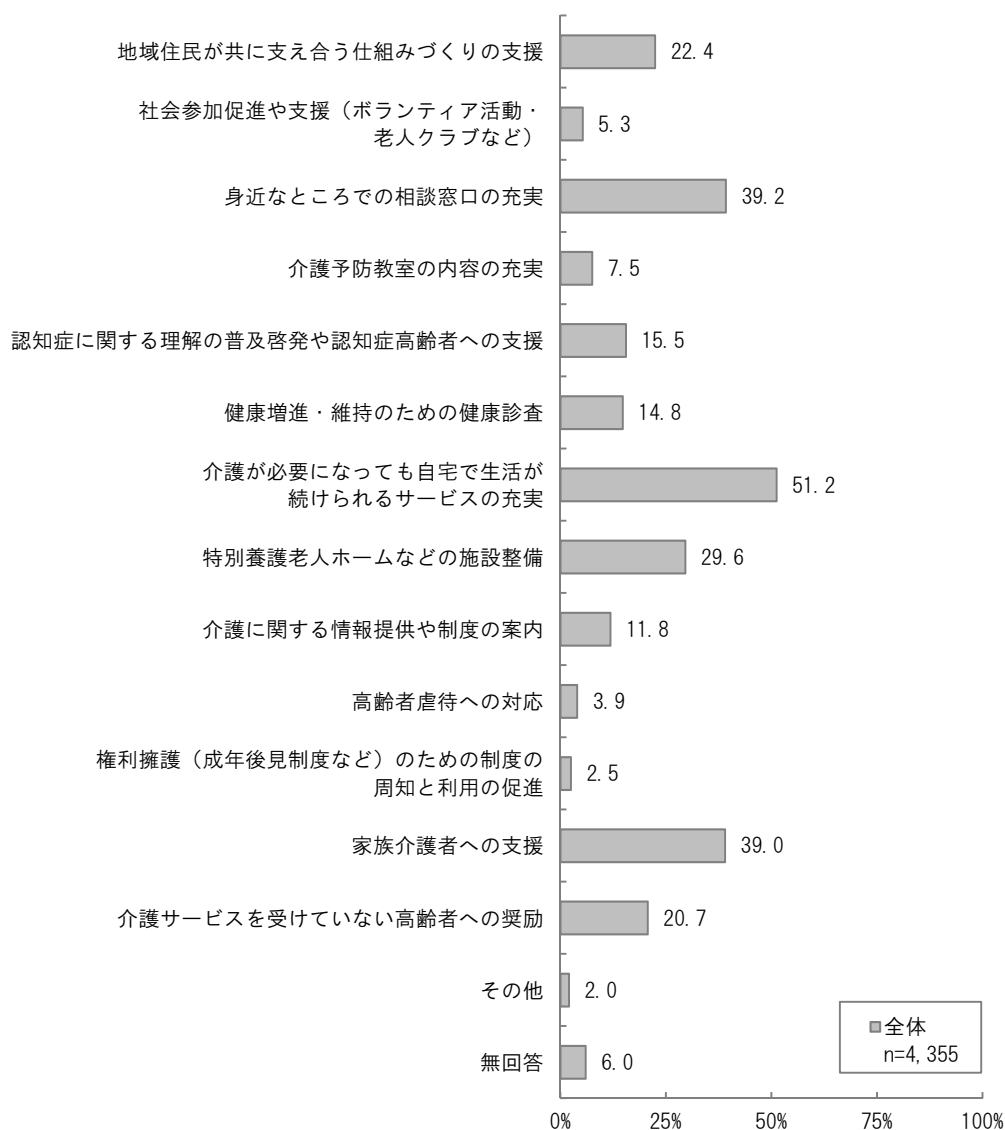
問9-(2) 認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきこと



(2) 高齢者保健福祉への取組

○一般高齢者の高齢者保健福祉について、市が取り組むべきことをみると、「介護が必要になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実」(51.2%)が最も高く、次いで「身近なところでの相談窓口の充実」(39.2%)、「家族介護者への支援」(39.0%)、「特別養護老人ホームなどの施設整備」(29.6%)の順となっています。

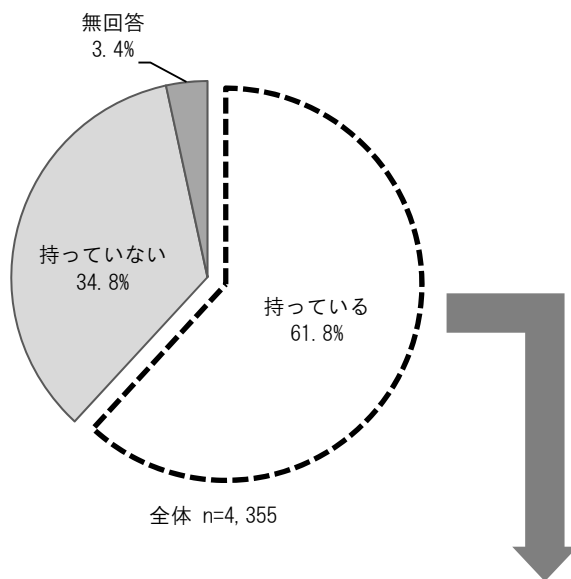
問9-(3) 高齢者保健福祉について、市が取り組むべきこと



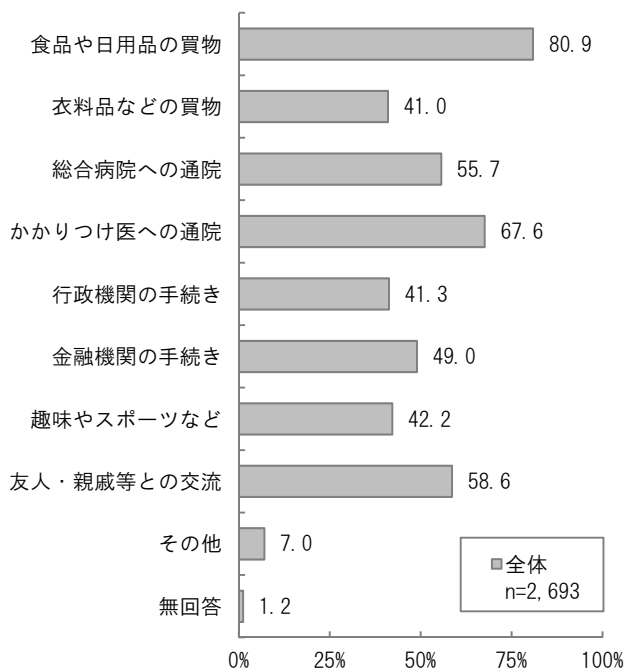
10 自動車の運転について

- 一般高齢者の自動車運転免許証の所持状況は、「持っている」が61.8%となっています。
- また、自動車の運転をやめたら日常生活で困ることをみると、「食品や日用品の買物」(80.9%)が最も高く、次いで、「かかりつけ医への通院」(67.6%)、「友人・親戚等との交流」(58.6%)、「総合病院への通院」(55.7%)の順となっています。

問10-(1) 自動車の運転免許証を持っているか



問10-(1).① 自動車の運転をやめたら日常生活で困ること



第4章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(チェックリスト該当者調査結果)

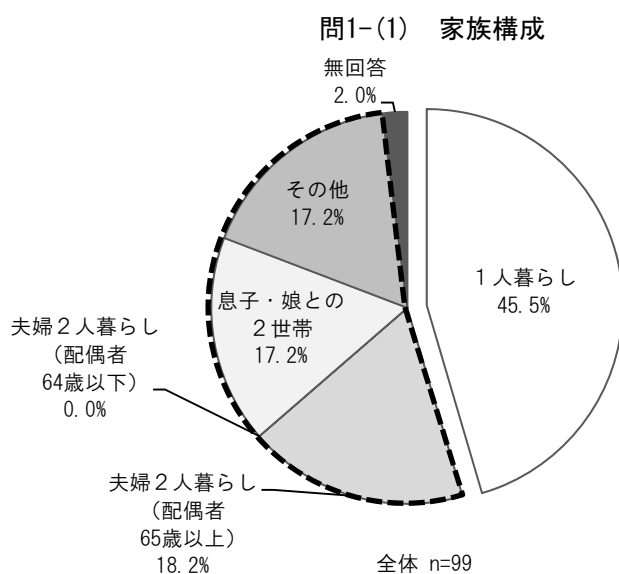
第4章 チェックリスト該当者[※]調査結果

1 あなたのご家族や生活状況について

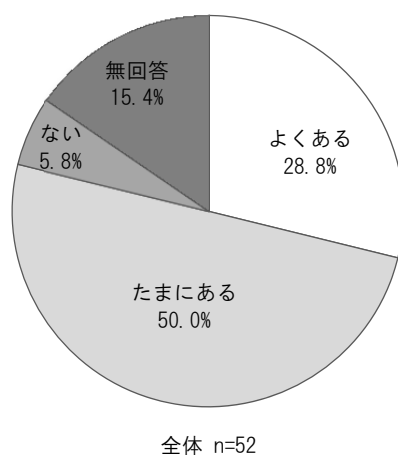
(1) 家族構成及び日中独居者の状況

○チェックリスト該当者[※]の家族構成をみると、「1人暮らし」(45.5%)が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(18.2%)、「息子・娘との2世帯」(17.2%)となっています。

○日中に1人になることの有無は、「たまにある」(50.0%)が最も高く、「よくある」(28.8%)を合わせた約8割以上が、日中に1人になることがあると回答しています。



問1-(1).① 日中、1人になることの有無



※一般高齢者のうち、窓口でのチェックリストに該当し総合事業のサービスを受けている方を称しています。

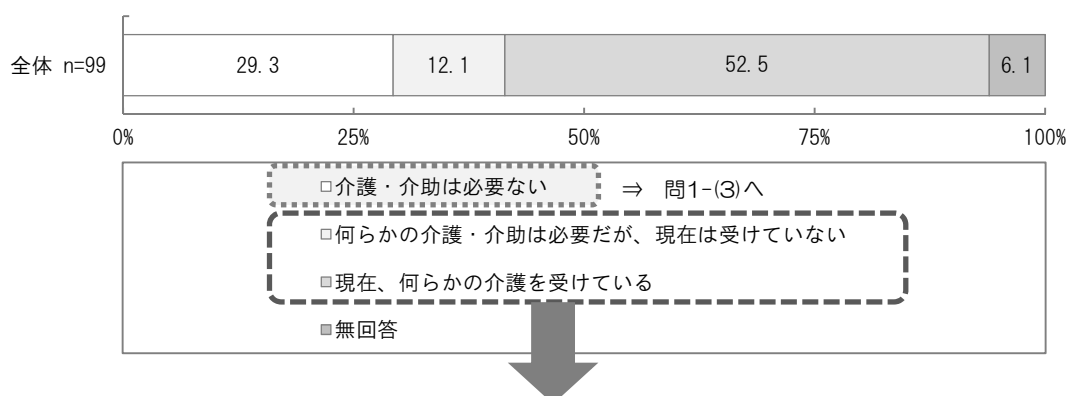
(2) 日常生活における介護（介助）の状況

○チェックリスト該当者の普段の生活における介護・介助の状況をみると、「現在、何らかの介護を受けている」（52.5%）が最も高くなっています。

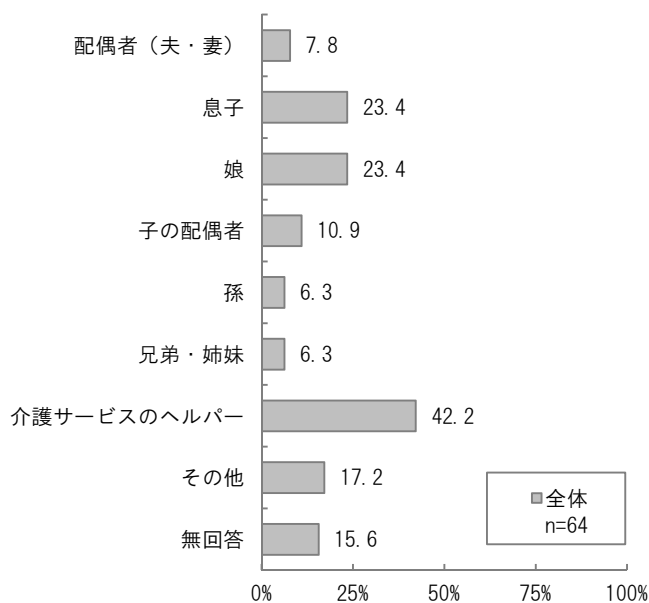
○介護、介助をしてくれる人は、「介護サービスのヘルパー」（42.2%）が最も高く、次いで「息子」「娘」（各 23.4%）、「子の配偶者」（10.9%）の順となっています。

○介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」（28.1%）が最も高く、次いで「関節の病気（リウマチ等）」（20.3%）、「心臓病」（15.6%）、「骨折・転倒」「脊椎損傷」（各 12.5%）の順となっています。

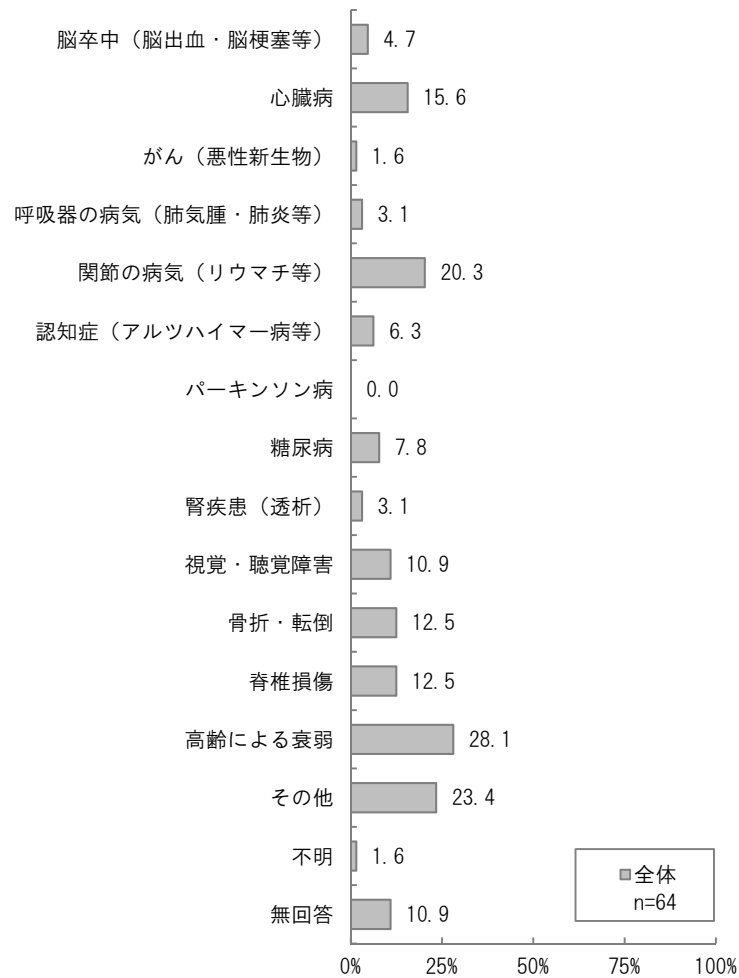
問1-(2) 普段の生活で介護・介助が必要か



問1-(2).② 介護、介助をしてくれる人



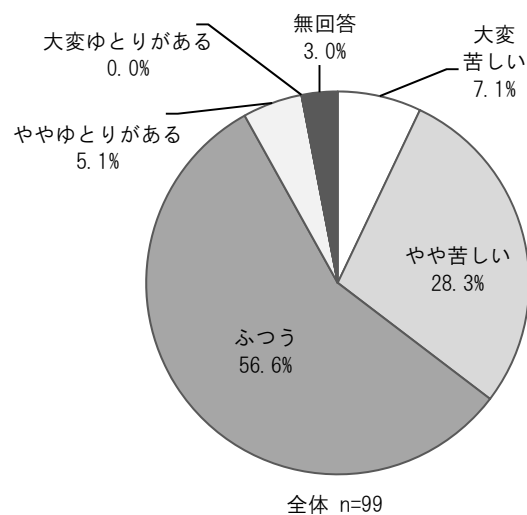
問1-(2).① 介護・介助が必要になった主な原因



(3) 現在の経済状況

○チェックリスト該当者の現在の暮らしの経済状況をみると、「ふつう」（56.6%）が最も高く、次いで「やや苦しい」（28.3%）、「大変苦しい」（7.1%）の順となっています。

問1-(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみて

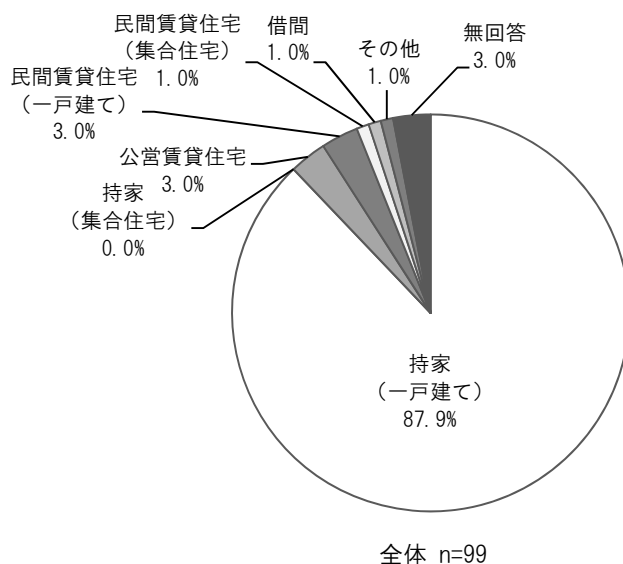


(4) 現在の居住環境

○チェックリスト該当者が現在の暮らしている家の状況を見ると、「持家（一戸建て）」（87.9%）が最も高くなっています。

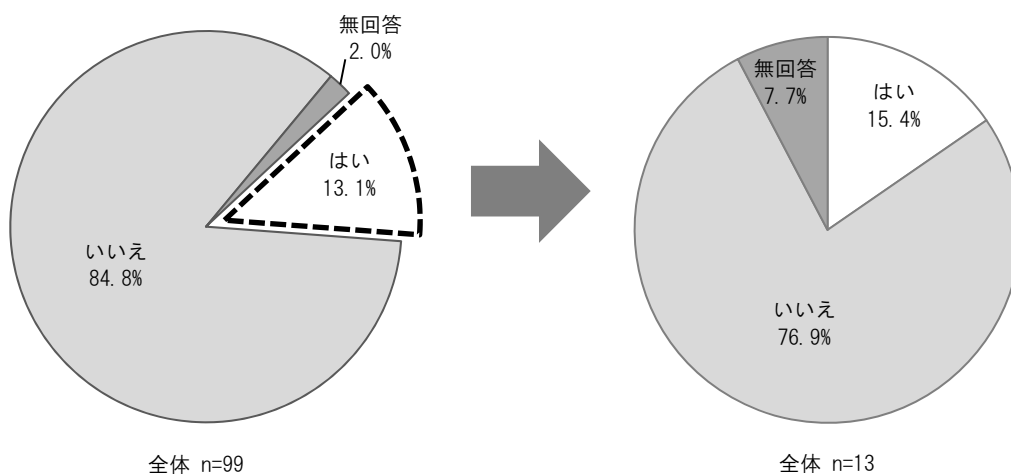
○居住環境（部屋）が2階以上であると回答した方は13.1%となっており、そのうち76.9%はエレベーターが未設置であると回答しています。

問1-(4) 現在の暮らしている家の状況



問1-(5) 2階以上に生活する部屋があるか

図1-(5).① エレベーター設置の有無



2 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

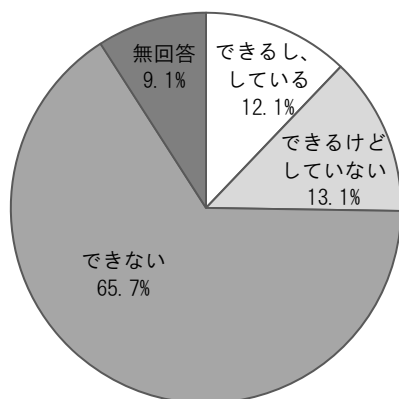
○チェックリスト該当者の階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかでは、「できない」方は65.7%となっています。

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかでは、「できない」方は48.5%となっています。

○15分位続けて歩くことができるかでは、「できない」方は47.5%となっています。

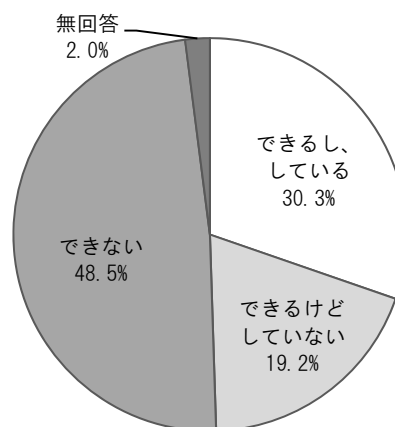
○過去1年間に転んだ経験の有無では、「何度もある」(20.2%)と「1度ある」(28.3%)を合わせた48.5%の方が転んだ経験があると回答しています。

問2-(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか



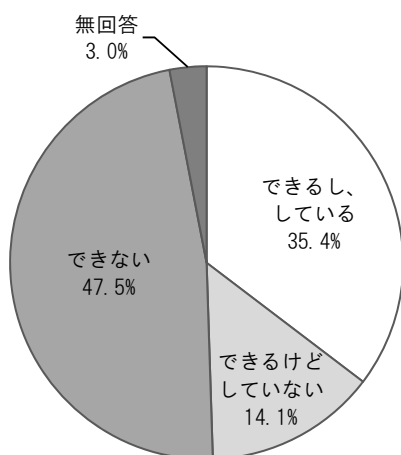
全体 n=99

問2-(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか



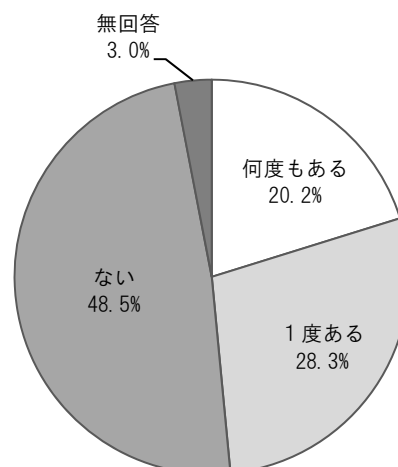
全体 n=99

問2-(3) 15分位続けて歩くことができるか



全体 n=99

問2-(4) 過去1年間に転んだ経験の有無



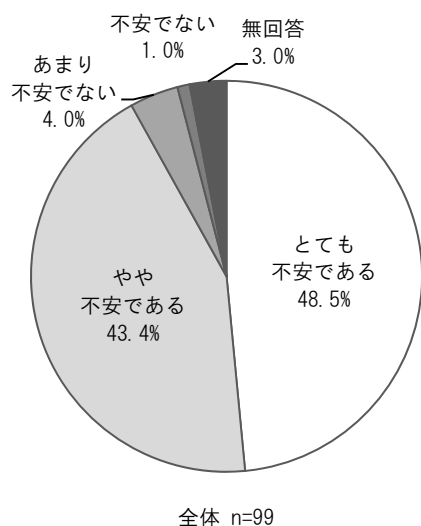
全体 n=99

○チェックリスト該当者の転倒に対する不安の有無では、「とても不安である」(48.5%)と「やや不安である」(43.4%)を合わせた91.9%の方が不安を感じています。

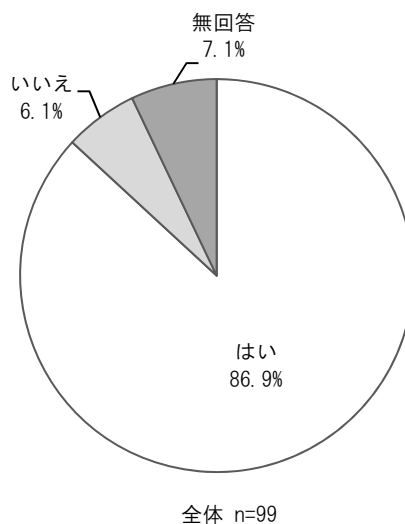
○以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うかでは、「はい」の方が86.9%となっています。

○杖やシルバーカーの使用の有無では、「はい」方が48.5%となっています。

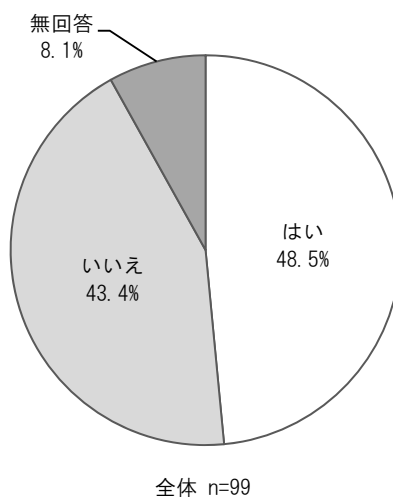
問2-(5) 転倒に対する不安の有無



問2-(11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか



問2-(12) 杖やシルバーカーの使用の有無

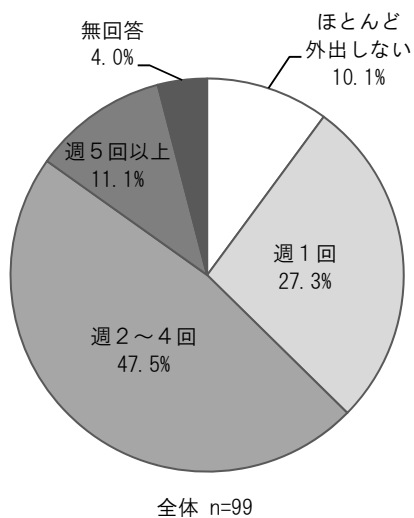


(2) 外出の状況

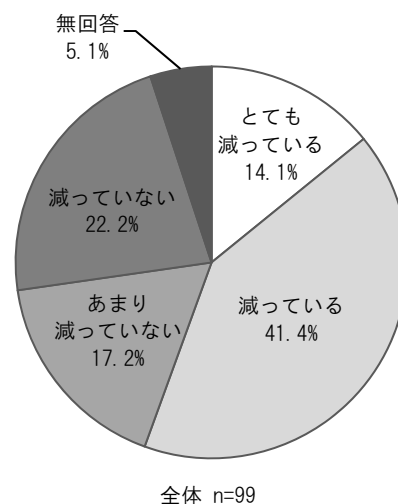
○チェックリスト該当者において、外出が週1回以下と回答した方は、「週1回」(27.3%)と「ほとんど外出しない」(10.1%)を合わせた37.4%となっています。

○昨年と比べた外出の頻度は、「減っている」(41.4%)と「とても減っている」(14.1%)を合わせた55.5%の方が減っていると回答しています。

問2-(6) 週に1回以上の外出の有無



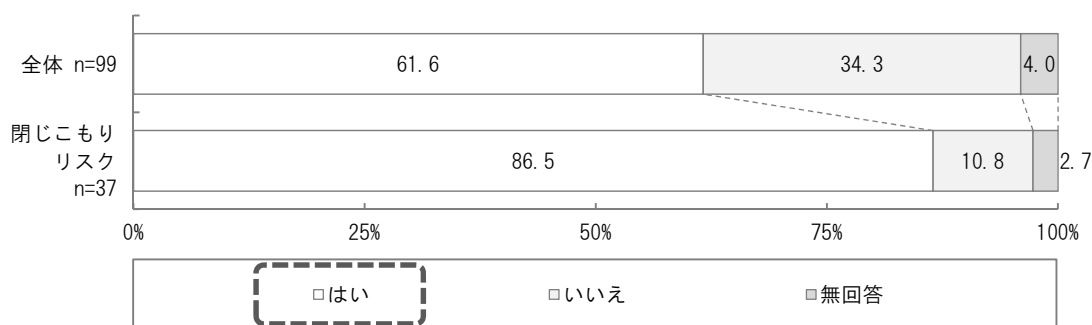
問2-(7) 昨年と比べた外出の頻度



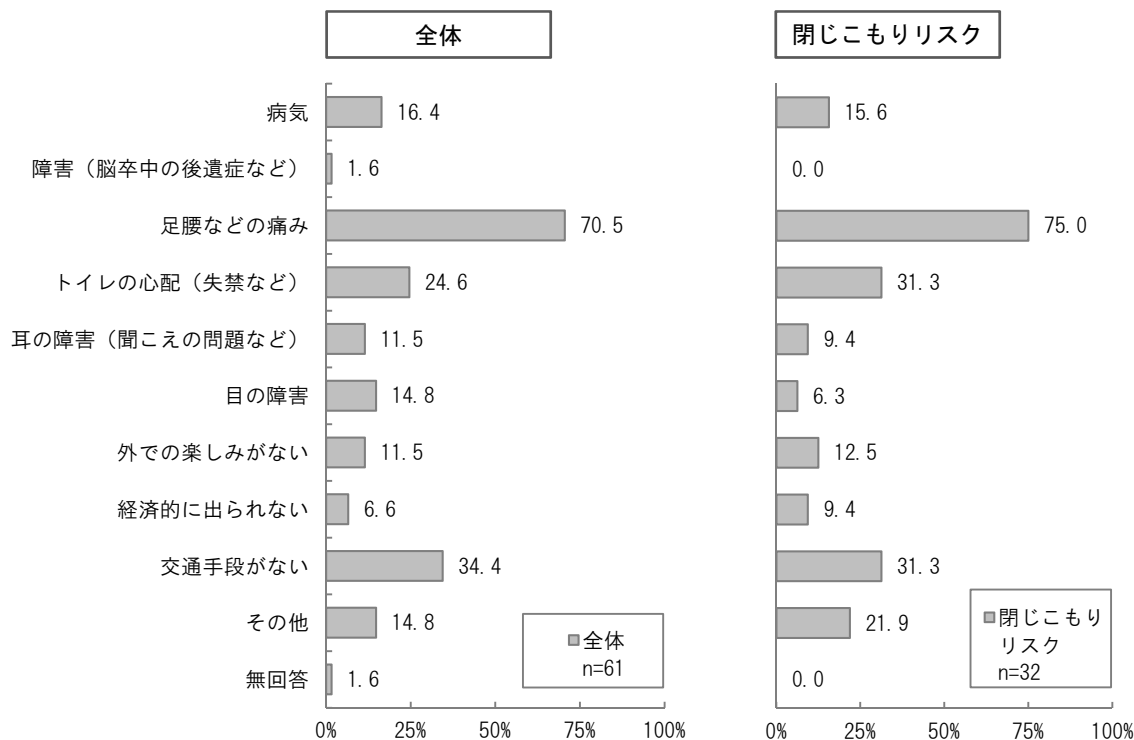
○チェックリスト該当者が外出を控えているかをみると、全体では61.6%の方が外出を控えていると回答しています。一方、閉じこもりリスク者では86.5%と前者よりも24.9ポイント上回っています。

○外出を控えている理由は、両者ともに「足腰などの痛み」(70.5%・75.0%)が最も高く、次いで全体では「交通手段がない」(34.4%)、「トイレの心配(失禁など)」(24.6%・31.3%)、「病気」(16.4%)、「目の障害」(14.8%)、「外での楽しみがない」「耳の障害(聞こえの問題など)」(各11.5%)の順となっており、閉じこもりリスク者では「交通手段がない」「トイレの心配(失禁など)」(各31.3%)、「病気」(15.6%)、「外での楽しみがない」(12.5%)、「耳の障害(聞こえの問題など)」(9.4%)の順となっています。

問2-(8) 外出を控えているか (×「閉じこもりリスク者」)

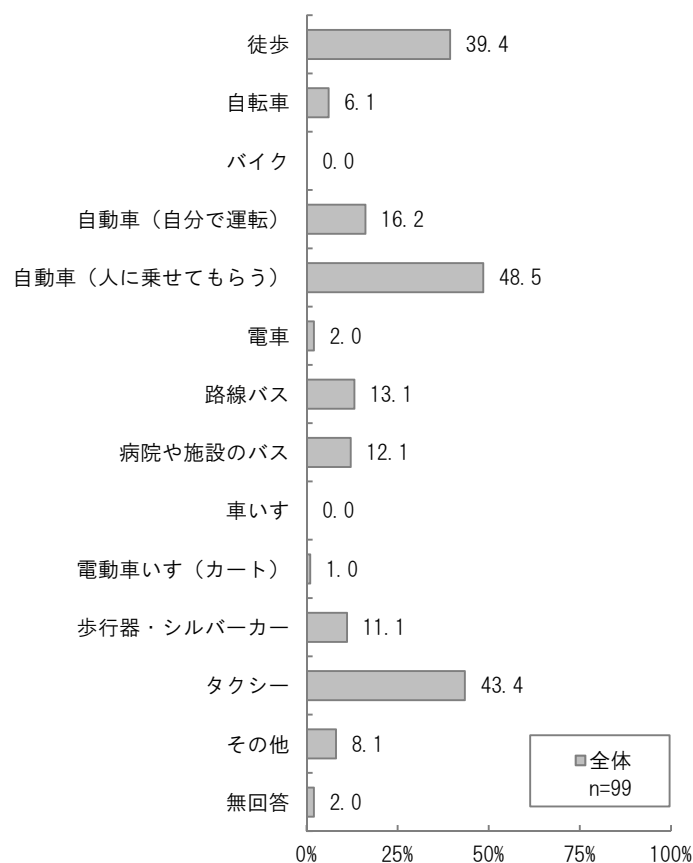


問2-(8).① 外出を控えている理由 (×「閉じこもりリスク者」)



○チェックリスト該当者の外出する際の移動手段は、「自動車(人に乗せてもらう)」(48.5%)が最も高く、次いで「タクシー」(43.4%)、「徒歩」(39.4%)、「自動車(自分で運転)」(16.2%)、「路線バス」(13.1%)、「病院や施設のバス」(12.1%)、「歩行器・シルバーカー」(11.1%)の順となっています。

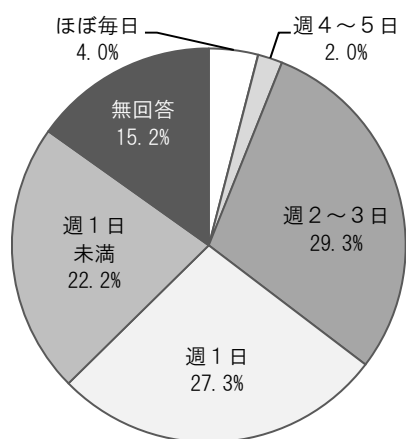
問2-(9) 外出する際の移動手段



○チェックリスト該当者が買物で外出する頻度は、「週2～3日」(29.3%)が最も高く、次いで「週1日」(27.3%)、「週1日未満」(22.2%)の順となっています。

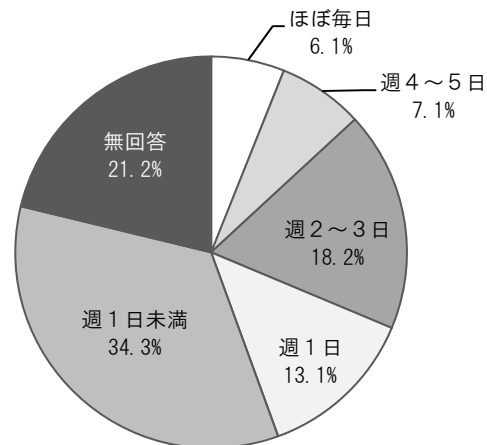
○また、散歩で外出する頻度は、「週1日未満」(34.3%)が最も高く、次いで「週2～3日」(18.2%)、「週1日」(13.1%)の順となっています。

問2-(10).① 買物で外出する頻度



全体 n=99

問2-(10).② 散歩で外出する頻度



全体 n=99

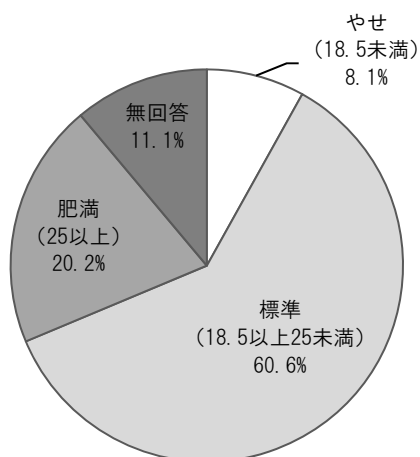
3 食べることについて

(1) 現在の肥満状況

○チェックリスト該当者の肥満状況をBMI指数で見ると、「やせ(18.5未満)」の方が8.1%となっています。

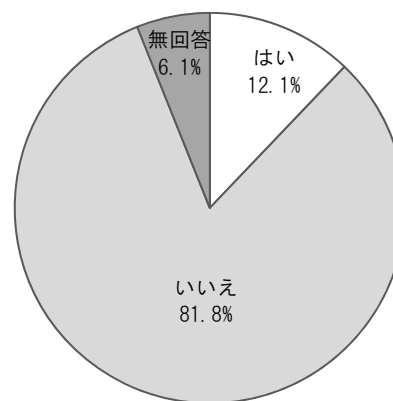
○6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無では、12.1%の方が減少したと回答しています。

問3-(1) BMI指数



全体 n=99

問3-(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無



全体 n=99

(2) 歯・口腔の状況

○チェックリスト該当者の歯の数と入れ歯の利用状況をみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(41.4%)と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(15.2%)と回答した方を合わせた56.6%となっています。

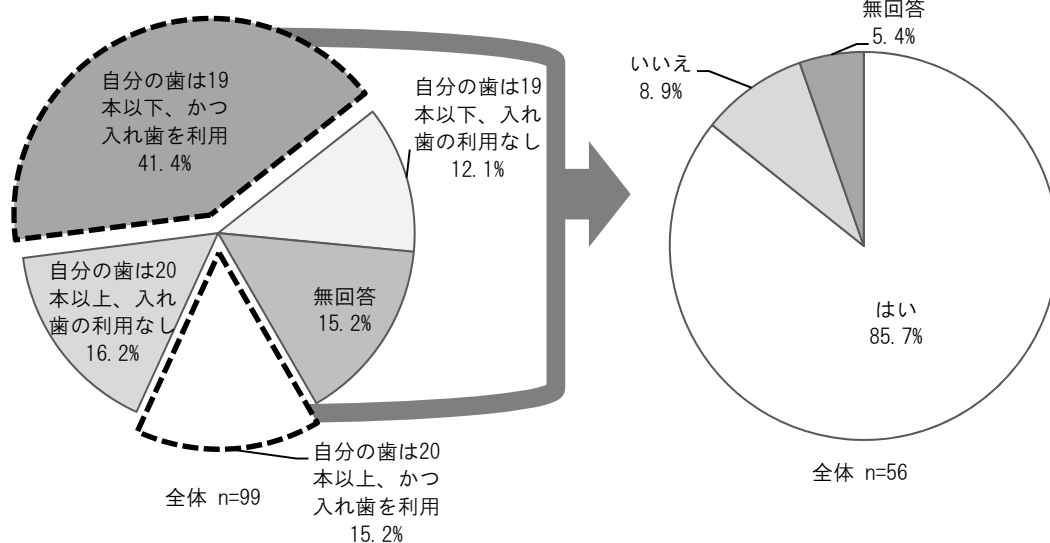
○また、入れ歯利用者のうち85.7%の方が、毎日手入れをしていると回答しています。

○噛み合わせは、58.6%の方が良いと回答しています。

○歯磨きを毎日していると回答した方は、85.9%となっています。

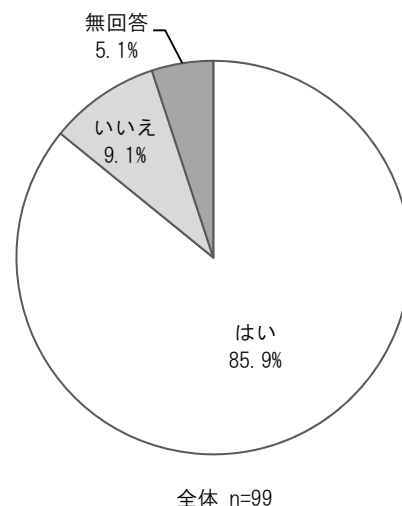
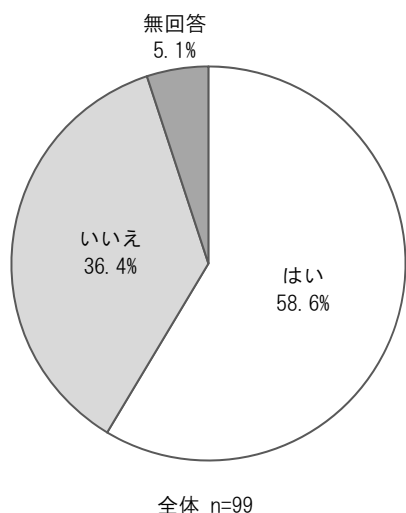
問3-(3) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3-(3).① 毎日入れ歯の手入れをしているか



問3-(3).② 噛み合わせは良いか

問3-(7) 歯磨きを毎日しているか

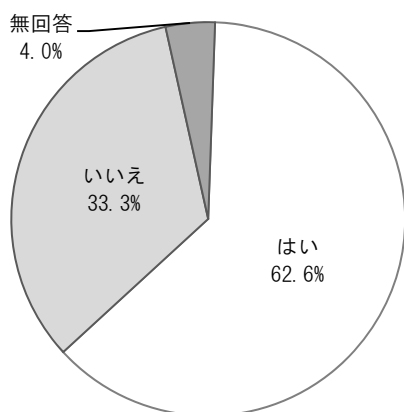


○チェックリスト該当者で半年前に比べて固いものが食べにくくなったと回答した方は、「はい」の方が62.6%となっています。

○お茶や汁物等でむせることの有無では、34.3%の方があると回答しています。

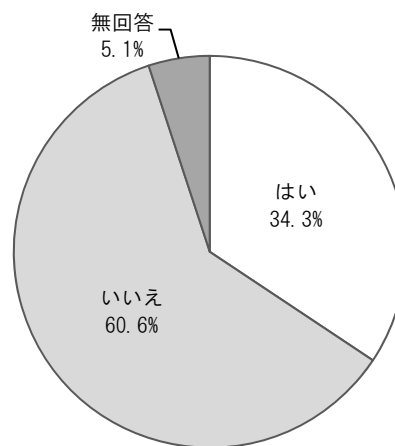
○口の渇きが気になるかを回答した方は、46.5%となっています。

問3-(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなった



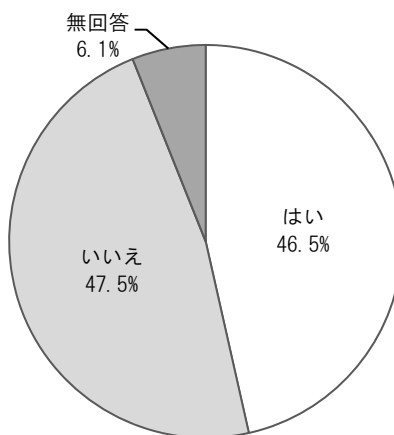
全体 n=99

問3-(5) お茶や汁物等でむせることの有無



全体 n=99

問3-(6) 口の渇きが気になるか



全体 n=99

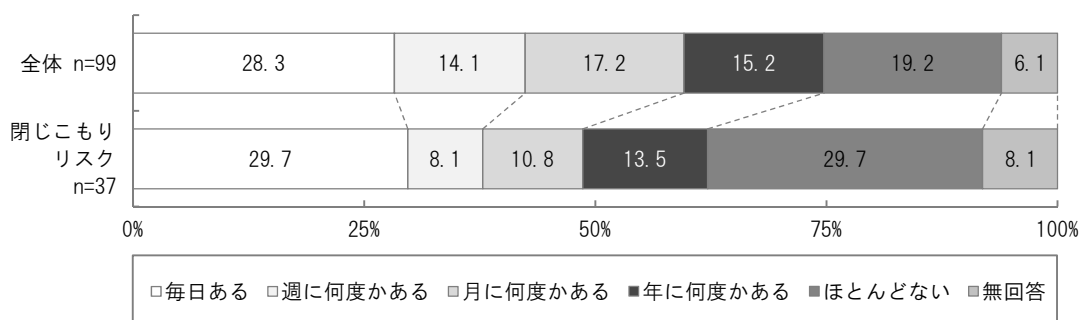
(3) 食事の状況

○チェックリスト該当者のどなたかと食事をとにもする機会の有無をみると、全体では「毎日ある」(28.3%)が最も高くなっており、閉じこもりリスク者では「毎日ある」「ほとんどない」(各29.7%)が最も高くなっています。全体の「ほとんどない」が19.2%に対し、閉じこもりリスク者は29.7%となっており、10.5%以上上回っています。

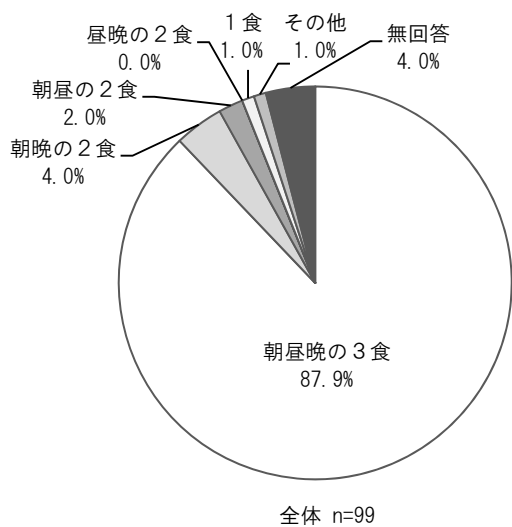
○チェックリスト該当者の1日の食事の回数は、「朝昼晩の3食」(87.9%)が最も高くなっています。

○食事は自分で食べられると回答した方は、「できる」(96.0%)となっています。

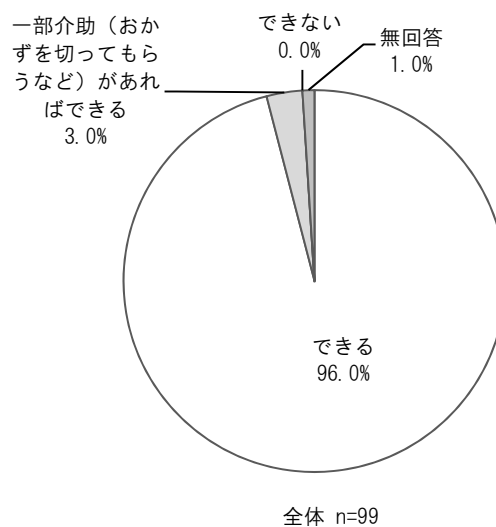
問3-(4) どなたかと食事をとにもする機会の有無 (×「閉じこもりリスク者」)



問3-(9) 1日の食事の回数

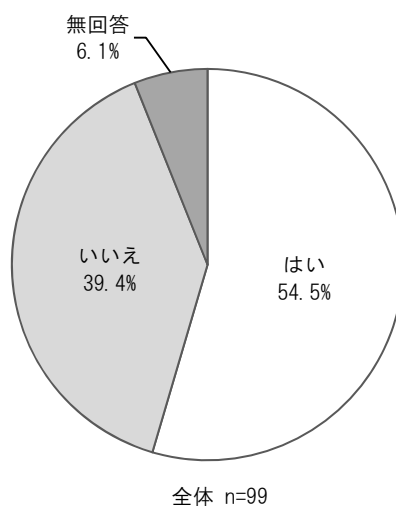


問4-(22) 食事は自分で食べられるか



○チェックリスト該当者で家事全般ができていないと回答した方は、39.4%となっています。

問4-(23) 家事全般ができているか

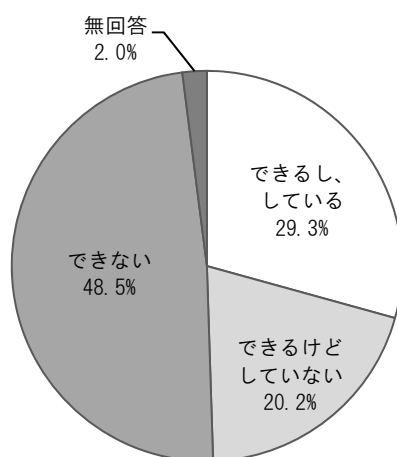


4 毎日の生活について

(1) IADL（手段的自立度）の状況

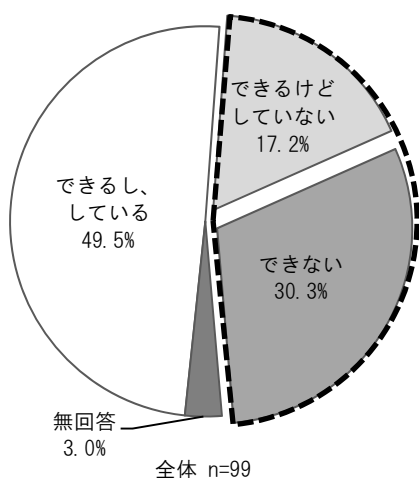
- チェックリスト該当者がバスや電車を使って1人で外出しているかをみると、「できない」方が48.5%となっています。
- 自分で食品・日用品の買物をしているかをみると、「できない」方が30.3%、「できるけどしていない」方が17.2%となっています。
- 食品・日用品の買物をする人をみると、「同居の家族」(59.6%)が最も高く、次いで「ヘルパー」(17.0%)の順となっています。

問4-(2) バスや電車を使って1人で外出しているか



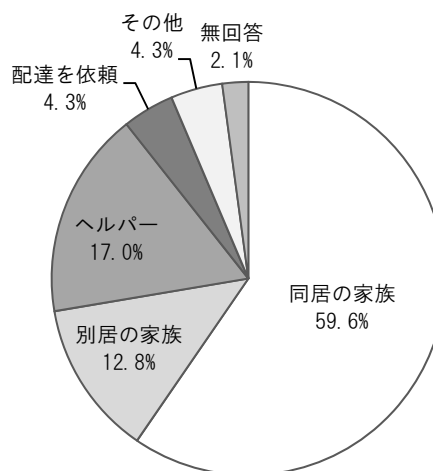
全体 n=99

問4-(3) 自分で食品・日用品の買物をしているか



全体 n=99

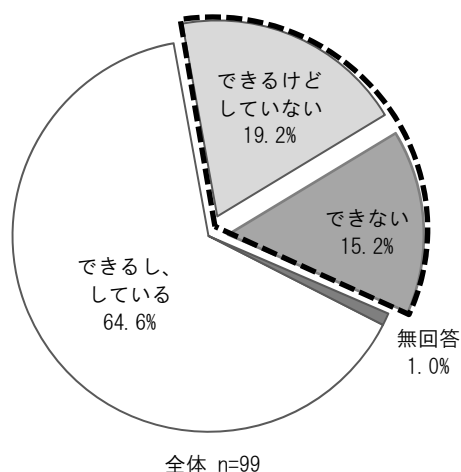
問4-(3).① 食品・日用品の買物をする人



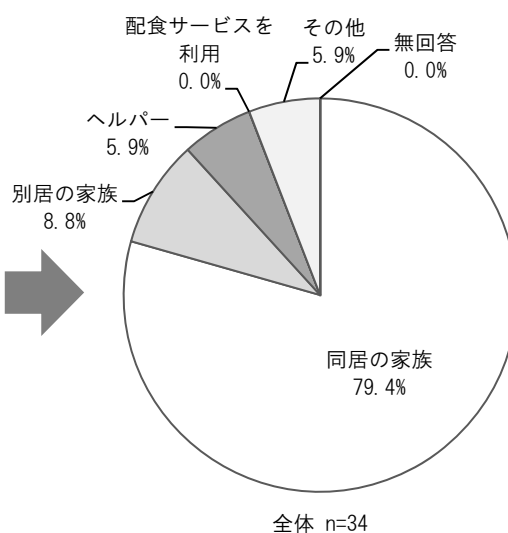
全体 n=47

- チェックリスト該当者が自分で食事の用意をしているかをみると、「できない」方が15.2%、「できるけどしていない」方が19.2%となっています。
- 食事の用意をする人をみると、「同居の家族」(79.4%)が最も高くなっています。
- 自分で請求書の支払いができないと回答した方は、9.1%となっています。
- 自分で預貯金の出し入れができないと回答した方は、13.1%となっています。

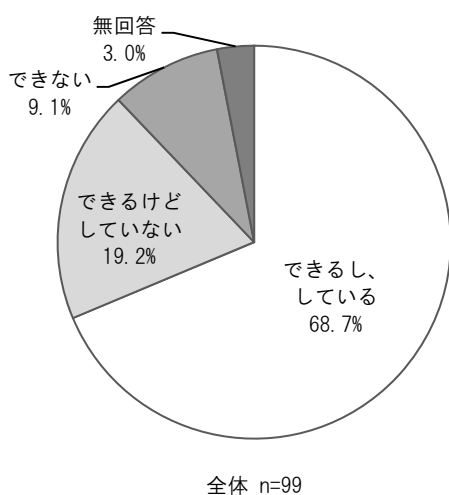
問4-(4) 自分で食事の用意をしているか



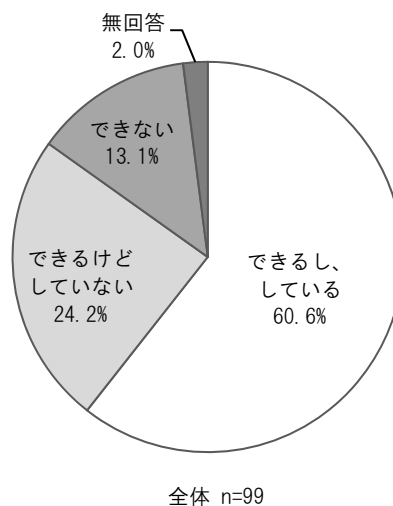
問4-(4).① 食事の用意をする人



問4-(5) 自分で請求書の支払いをしているか

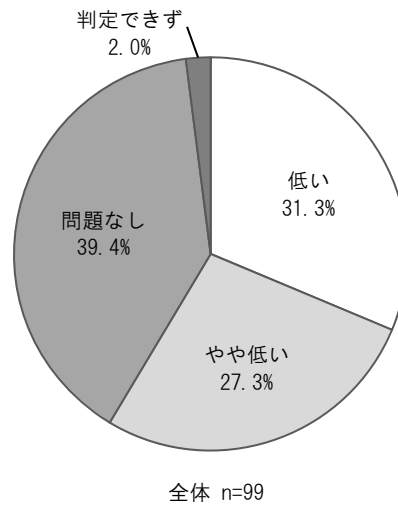


問4-(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか



○ IADL（手段的自立度）の低下該当状況をみると、「問題なし」（39.4%）が最も高く、次いで「やや低い」（27.3%）、「低い」（31.3%）となっています。

IADL（手段的自立度）の低下該当状況



(2) 社会参加（知的能動性）の状況

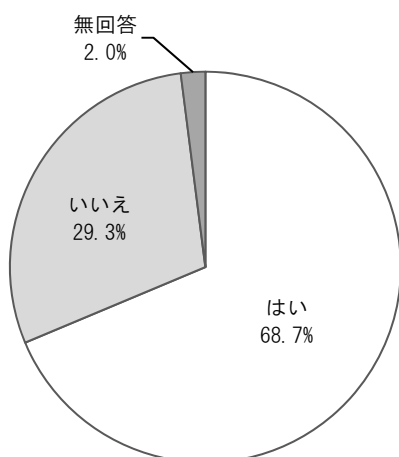
○チェックリスト該当者で年金などの書類が書けないと回答した方は、29.3%となっています。

○新聞を読んでいないと回答した方は、23.2%となっています。

○本や雑誌を読んでいないと回答した方は、「いいえ」の方が44.4%となっています。

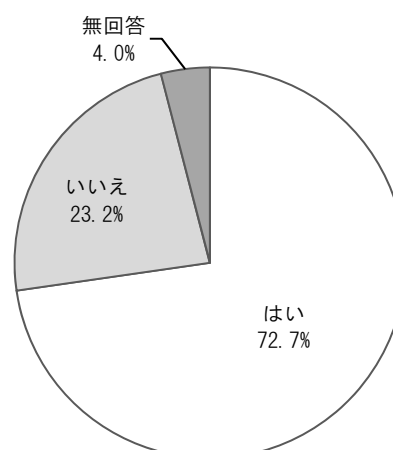
○健康についての記事や番組に関心があるかをみると、「いいえ」の方が16.2%となっています。

問4-(9) 年金などの書類が書けるか



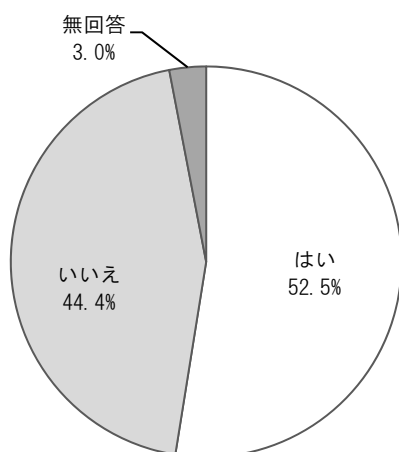
全体 n=99

問4-(10) 新聞を読んでいるか



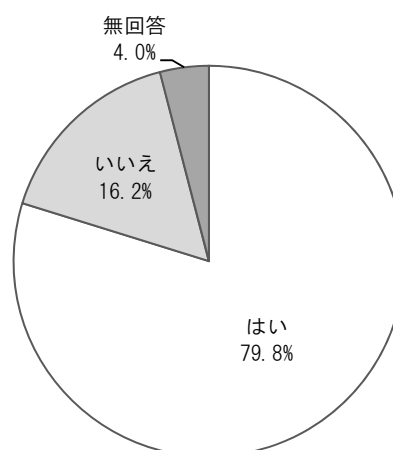
全体 n=99

問4-(11) 本や雑誌を読んでいるか



全体 n=99

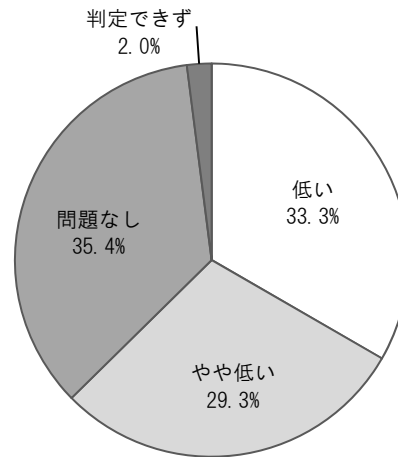
問4-(12) 健康についての記事や番組に関心があるか



全体 n=99

○知的能動性の低下該当状況をみると、「問題なし」(35.4%)が最も高く、次いで「やや低い」(29.3%)、「低い」(33.3%)となっています。

知的能動性の低下該当状況



全体 n=99

(3) 社会参加（社会的役割）の状況

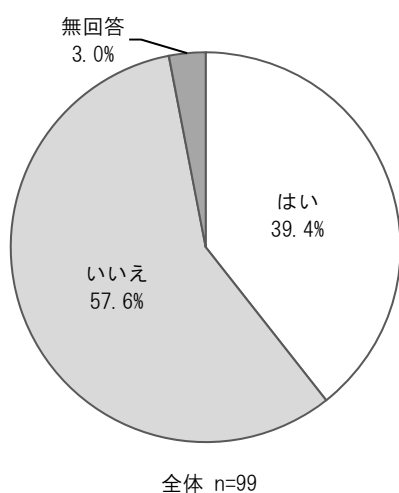
○チェックリスト該当者で友人の家を訪ねていないと回答した方は、57.6%となっています。

○家族や友人の相談にのっていないと回答した方は、41.4%となっています。

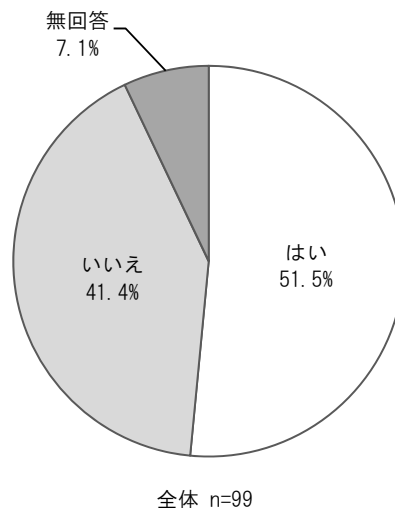
○病人を見舞うことができないと回答した方は、44.4%となっています。

○若い人に自分から話しかけることはないと回答した方は、33.3%となっています。

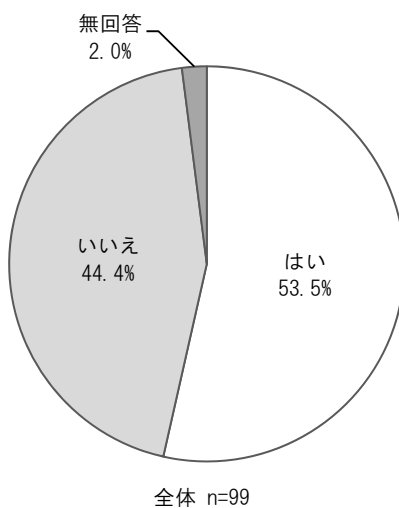
問4-(13) 友人の家を訪ねているか



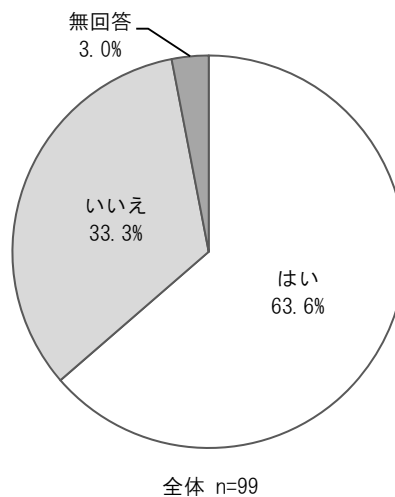
問4-(14) 家族や友人の相談にのっているか



問4-(15) 病人を見舞うことができるか

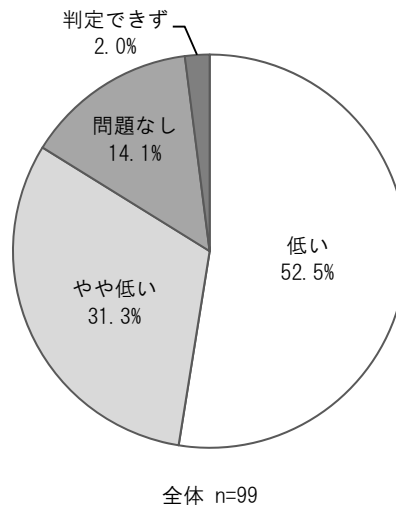


問4-(16) 若い人に自分から話しかけることはあるか



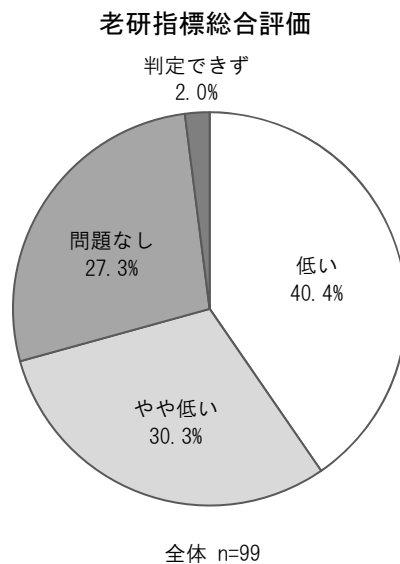
○社会的役割の低下該当状況をみると、「低い」(52.5%)が最も高く、次いで「やや低い」(31.3%)、「問題なし」(14.1%)となっています。

社会的役割の低下該当状況



(4) 老研指標総合評価

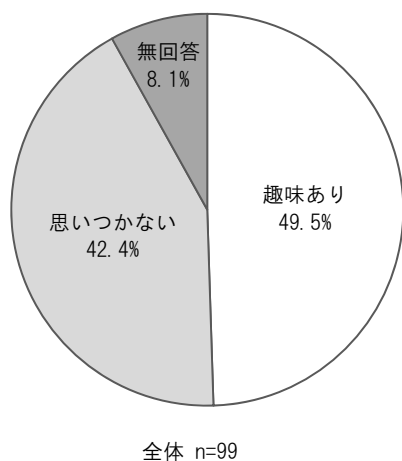
○ IADL（手段的自立度）、知的能動性、社会的役割の低下状況を老研指標総合評価で見ると、「問題なし」の方が27.3%となっており、「低い」(40.4%)、「やや低い」(30.3%)を合わせた約7割の方が低下状況にあります。



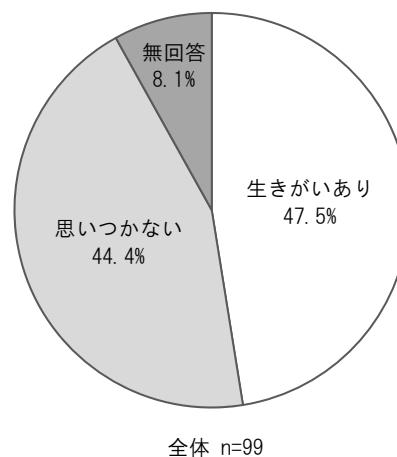
(5) こころの健康状態

○チェックリスト該当者の趣味の有無をみると、49.5%の方が有ると回答しています。
 ○生きがいの有無をみると、47.5%の方が有ると回答しています。

問 4-(17) 趣味はあるか



問 4-(18) 生きがいはあるか



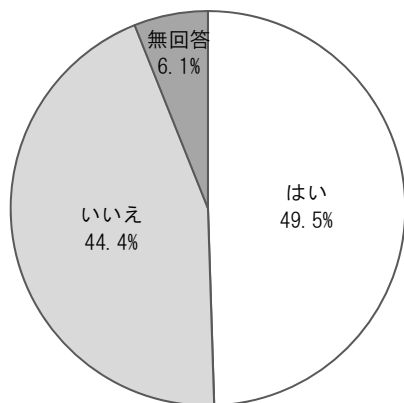
○この1か月間、気分が沈んだりすることがあると回答した方は、49.5%となっています。

○この1か月間、物事に対して心から楽しめないと回答した方は、42.4%となっています。

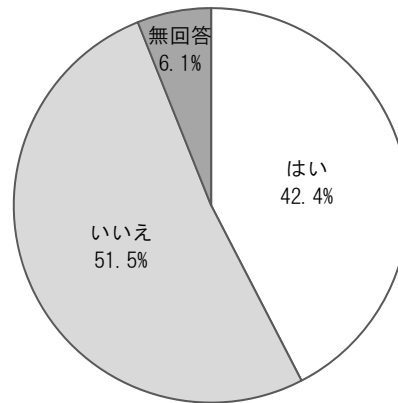
○現在の主観的幸福感では、「5点」(25.3%)が最も高く、次いで「8点」(15.2%)、「(とても幸せ) 10点」(12.1%)、「9点」「6点」(各 11.1%)の順となっています。また、平均点数は6.7点となっています。

問7-(3) この1か月間、気分が沈んだりする

問7-(4) この1か月間、物事に対して心から楽しめない

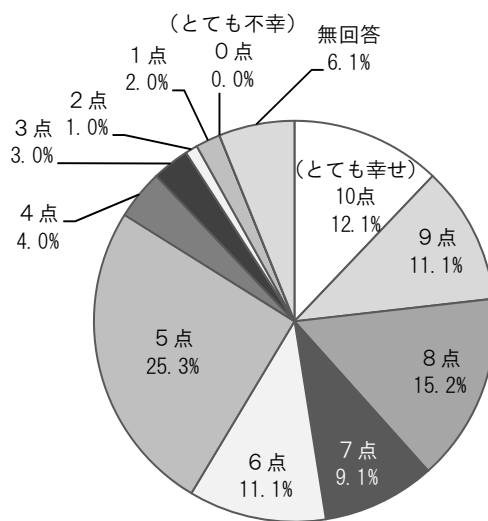


全体 n=99



全体 n=99

問7-(2) 現在どの程度幸せですか



全体 n=99



平均点数
6.7

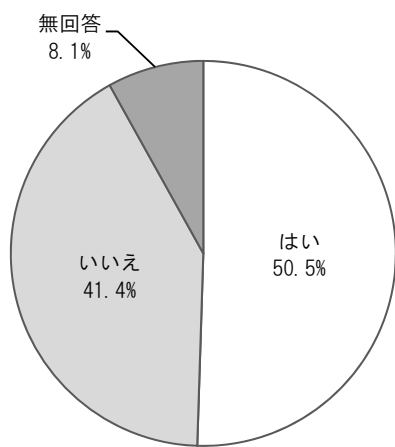
(6) 物忘れの状況

○チェックリスト該当者で物忘れが多いと感じると回答した方は、50.5%となっています。

○自分で電話番号を調べて電話をかけないと回答した方は、10.1%となっています。

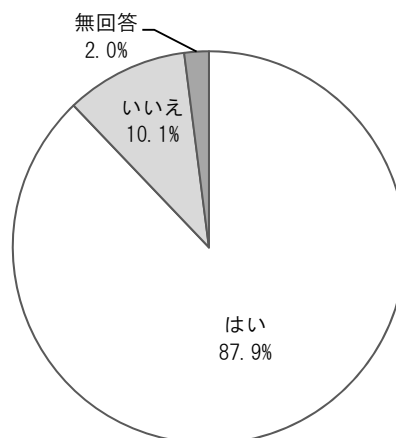
○今日が何月何日かわからない時があると回答した方は、41.4%となっています。

問4-(1) 物忘れが多いと感じるか



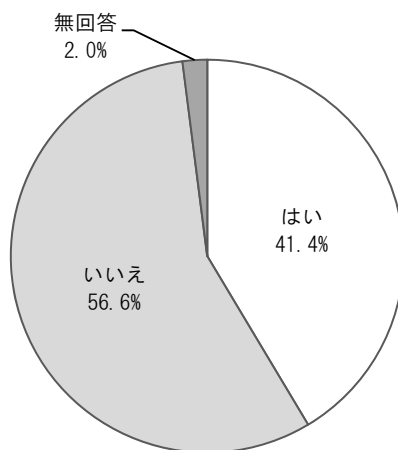
全体 n=99

問4-(7) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか



全体 n=99

問4-(8) 今日が何月何日かわからない時があるか



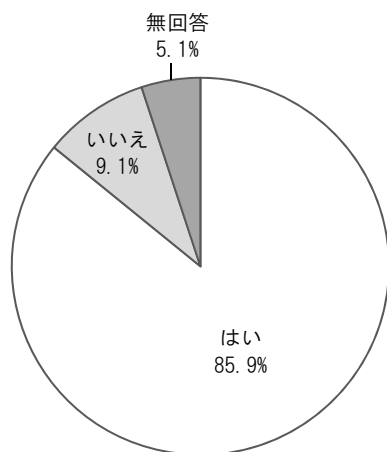
全体 n=99

○チェックリスト該当者で5分前に自分が何をしていたか思い出せないと回答した方は、9.1%となっています。

○その日の活動を自分で判断できるかでは、「ほとんど判断できない」方は 2.0%となっています。

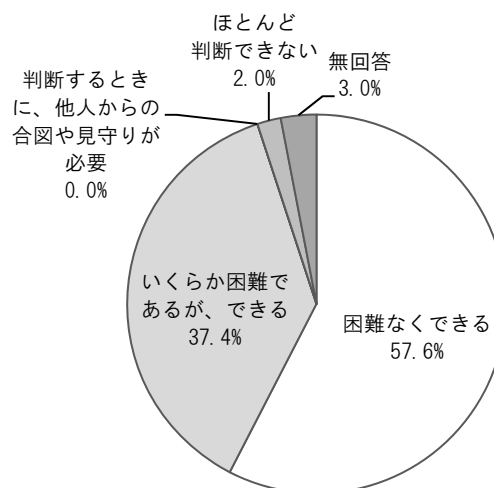
○人に自分の考えをうまく伝えられるかでは、「あまり伝えられない」(12.1%)と「ほとんど伝えられない」(2.0%)を合わせた 14.1%の方がうまく伝えられていない状況です。

問 4-(19) 5分前に自分が何をしていたか思い出せるか



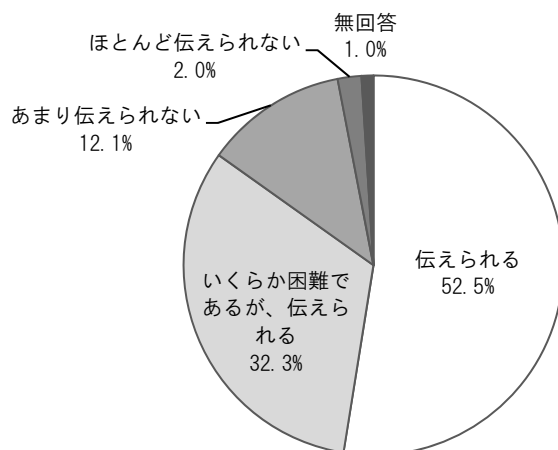
全体 n=99

問 4-(20) その日の活動を自分で判断できるか



全体 n=99

問4-(21) 人に自分の考えをうまく伝えられるか

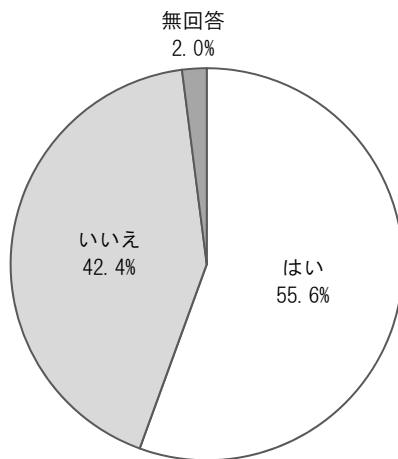


全体 n=99

(7) ゴミ出しの状況 (市独自設問)

○チェックリスト該当者でゴミ出しができていないかをみると、42.4%の方ができていないと回答しています。

問4-(24) ゴミ出しができていないか



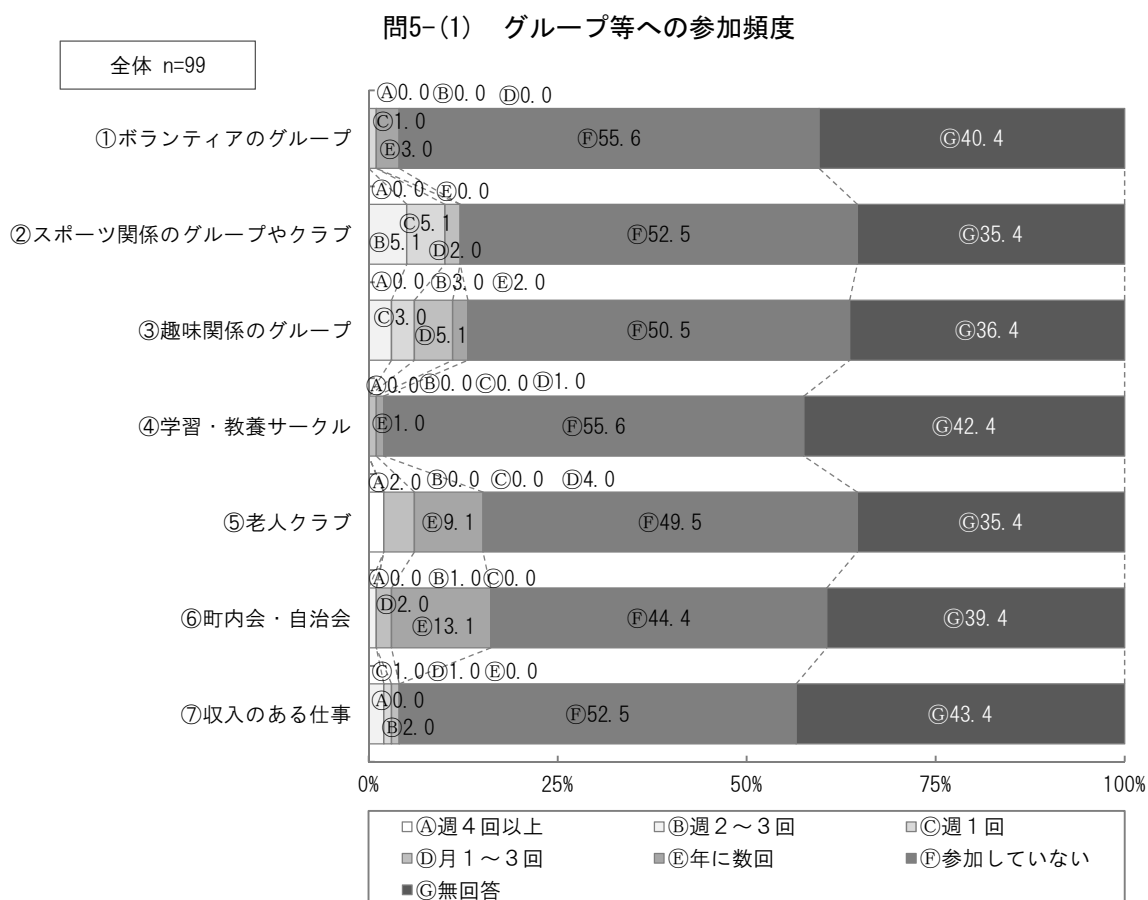
全体 n=99

5 地域での活動について

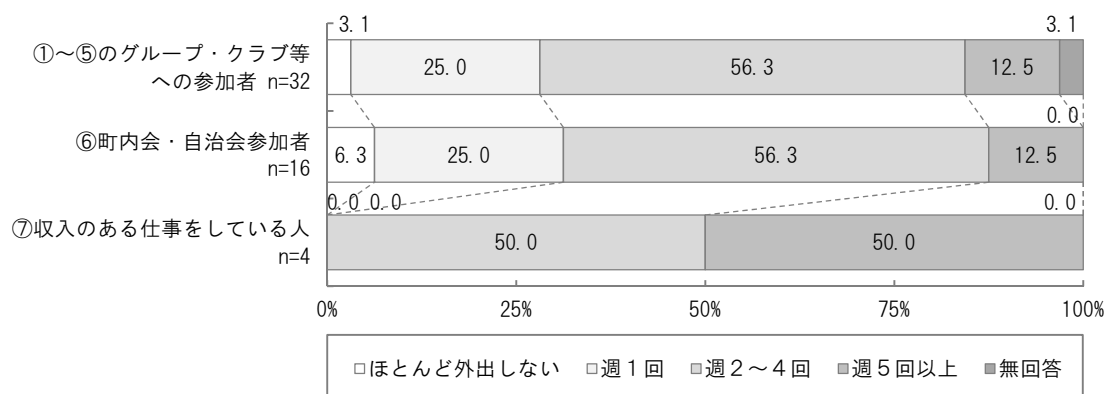
(1) グループ活動等の状況

○チェックリスト該当者の週1回以上の就労またはグループ等への参加頻度をみると、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(10.2%)、「③趣味関係のグループ」(6.0%)、「⑦収入のある仕事」(3.0%)となっています。

○また、グループ等への参加者の外出頻度では、いずれの参加者も週1回以下の方は約30%となっていますが、「⑦収入のある仕事」をしている人は半数の方が週5回以上外出している状況です。



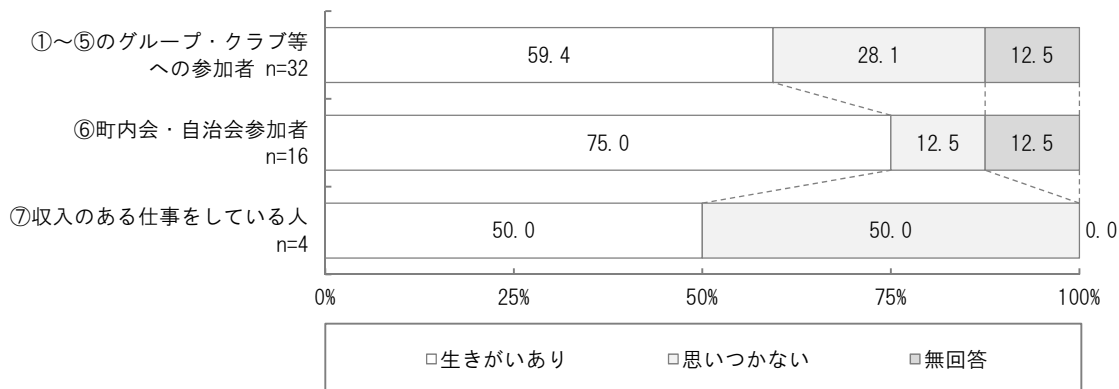
「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問2-(6) 外出頻度」



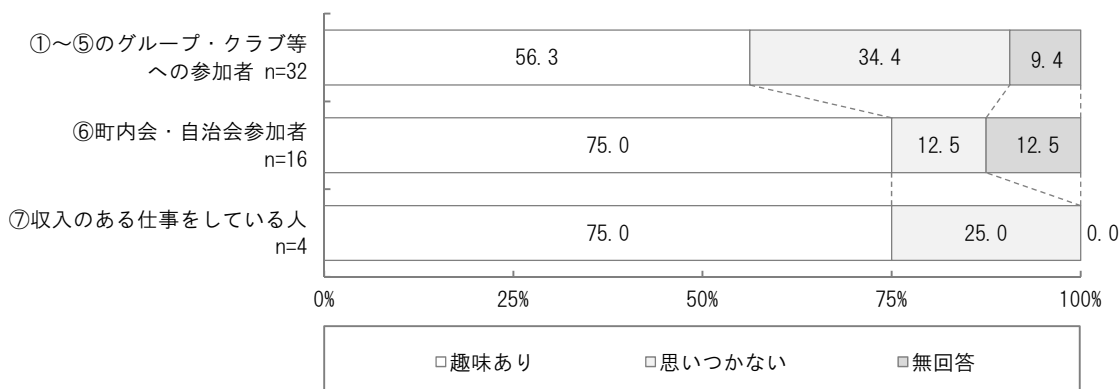
○チェックリスト該当者のグループ等への参加者で生きがいがあると回答した方は、5割以上となっています。

○グループ等への参加者で趣味があると回答した方は、5割以上となっています。

「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(18) 生きがいの有無」



「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(17) 趣味の有無」



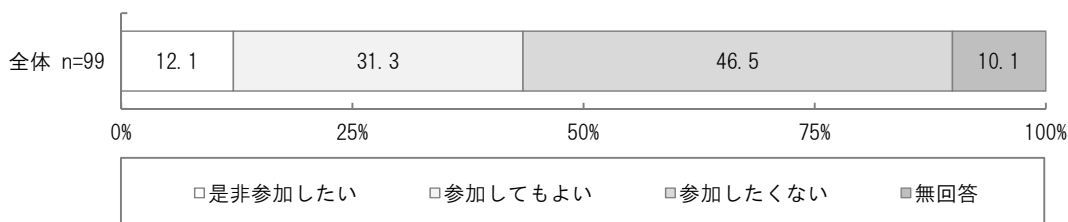
(2) 地域づくりに対する参加意向

○チェックリスト該当者の参加者としてグループ活動等への参加意向をみると、「是非参加したい」(12.1%)と「参加してもよい」(31.3%)を合わせた43.4%の方が参加の意向です。

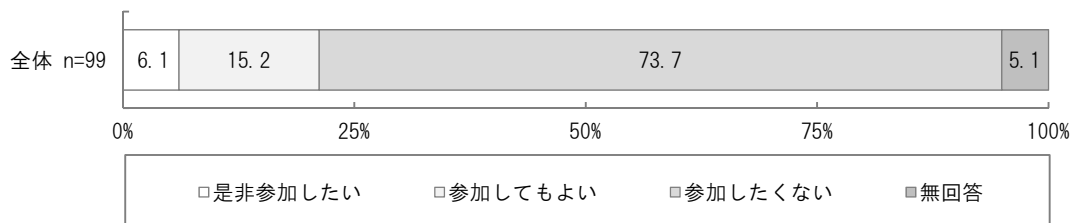
○企画・運営としてグループ活動等への参加意向をみると、「是非参加したい」(6.1%)と「参加してもよい」(15.2%)を合わせた21.3%の方が参加の意向です。一方、「参加したくない」は、半数以上を占めています。

○グループ活動等および企画・運営への参加希望者の健康感をみると、両者とも「まあ健康」と回答した方が半数を超えています。なお、「とても健康」では後者が2.5^{ポイント}上回っています。

問5-(2) 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか

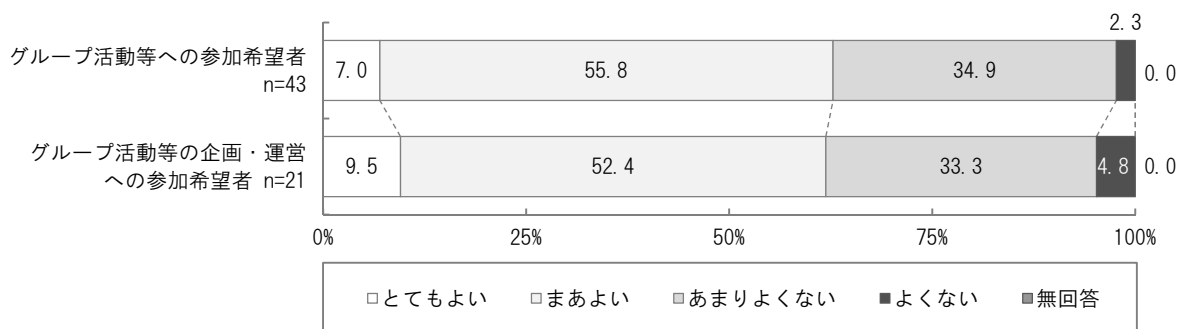


問5-(3) 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいか



「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」

× 「問7-(1) 主観的健康感」

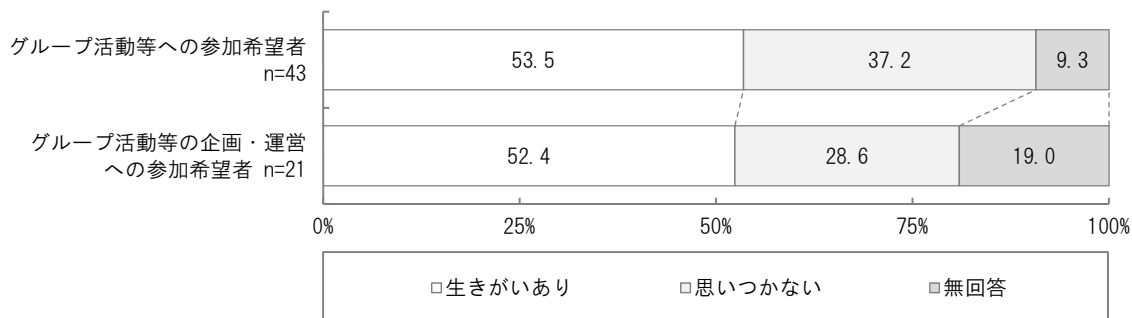


○チェックリスト該当者のグループ活動等および企画・運営への参加希望者の生きがいの有無では、「生きがいあり」では前者が53.5%、後者が52.4%となり、前者が1.1^{ポイント}上回っています。

○グループ活動等および企画・運営への参加希望者の趣味の有無では、「趣味あり」では前者が58.1%、後者が52.4%となり前者が5.7^{ポイント}上回っています。

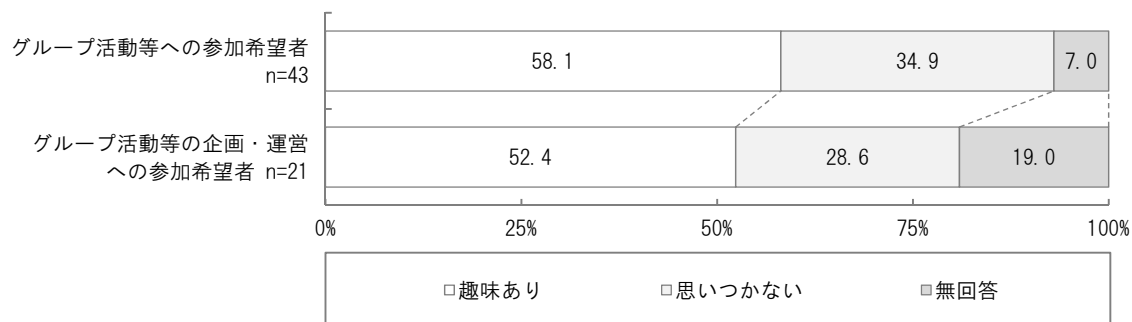
「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」

× 「問4-(18) 生きがいの有無」



「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」

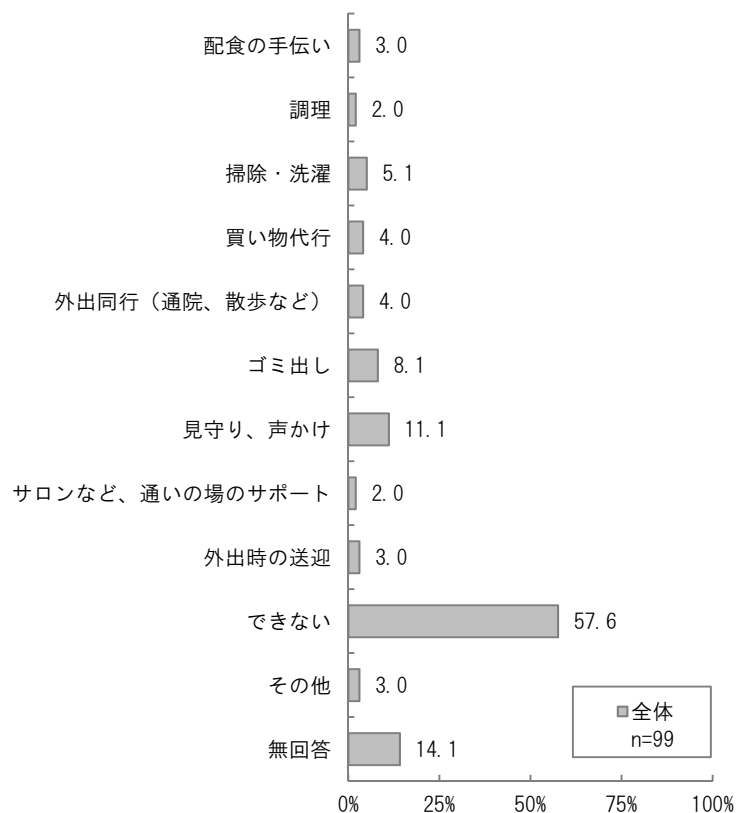
× 「問4-(17) 趣味の有無」



(3) 地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの

○チェックリスト該当者の地域でできる支援をみると、「見守り、声かけ」(11.1%)が最も高く、次いで「ゴミ出し」(8.1%)、「掃除・洗濯」(5.1%)、「買い物代行」「外出同行(通院、散歩など)」(各4.0%)、「配食の手伝い」「外出時の送迎」(各3.0%)、「調理」「サロンなど、通いの場のサポート」(各2.0%)の順となっています。一方、「できない」方は57.6%となっています。

問5-(4) 地域でできる支援内容

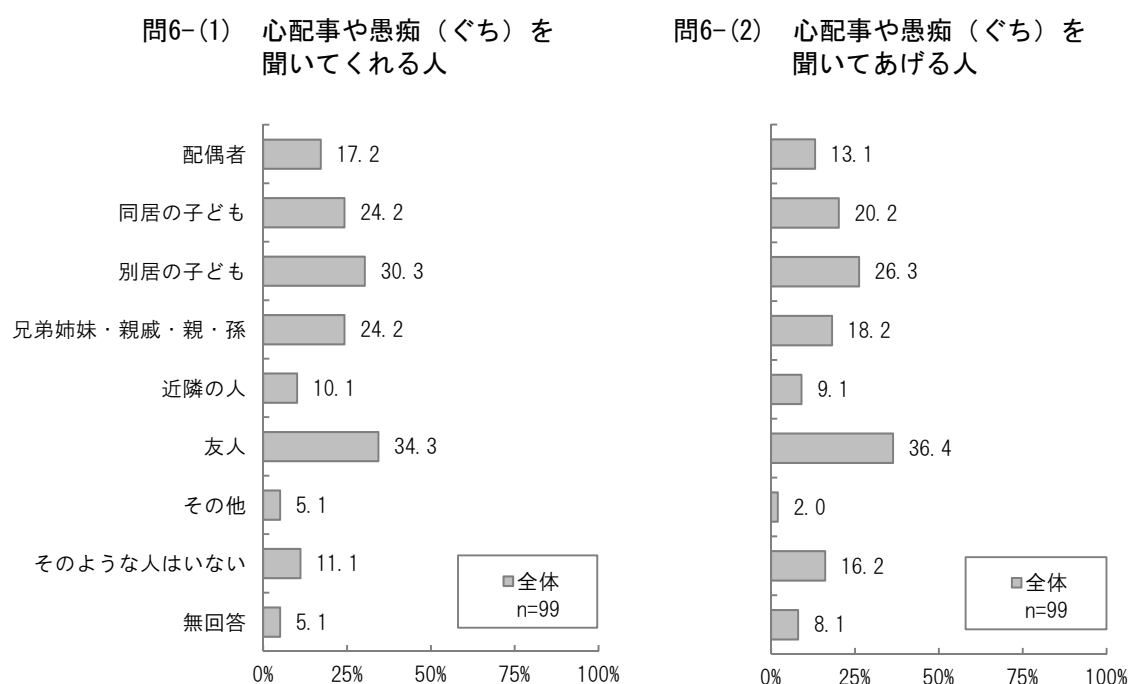


6 たすけあいについて

(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

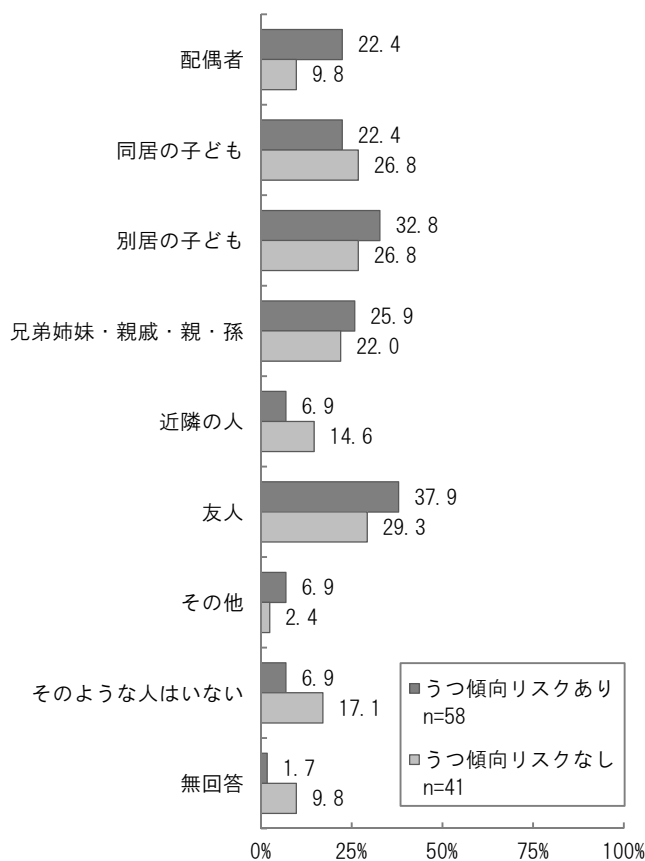
○チェックリスト該当者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「友人」（34.3%）が最も高く、次いで「別居の子ども」（30.3%）、「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（各 24.2%）、「配偶者」（17.2%）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は 11.1%となっています。

○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「友人」（36.4%）が最も高く、次いで「別居の子ども」（26.3%）、「同居の子ども」（20.2%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（18.2%）、「配偶者」（13.1%）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は 16.2%となっています。



○チェックリスト該当者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人をうつ傾向リスクのあり・なし別にみると、両者ともに「友人」（37.9%・29.3%）が最も高く、次いで前者では「別居の子ども」（32.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（25.9%）、「配偶者」「同居の子ども」（各 22.4%）を順に挙げ、後者では「同居の子ども」「別居の子ども」（各 26.8%）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（22.0%）を順に挙げています。一方、「そのような人はいない」と回答した方は前者が 6.9%、後者が 17.1%と後者が 10.2ポイント上回っています。

「問6-(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」×「うつ傾向リスク有無」

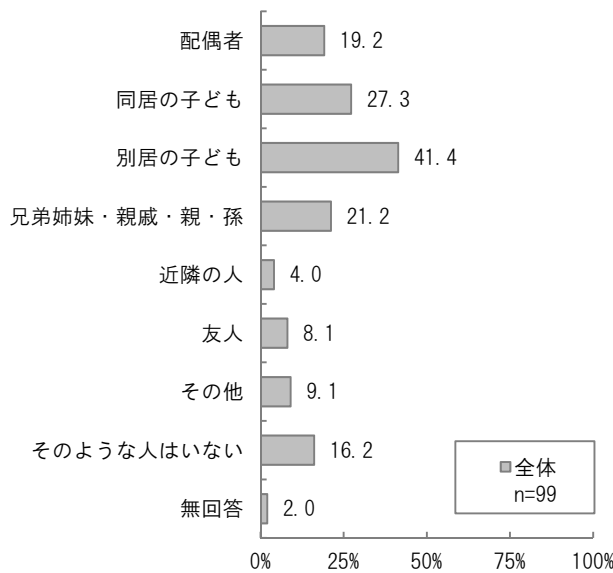


○チェックリスト該当者の病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「別居の子ども」(41.4%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(27.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(21.2%)、「配偶者」(19.2%)の順となっています。

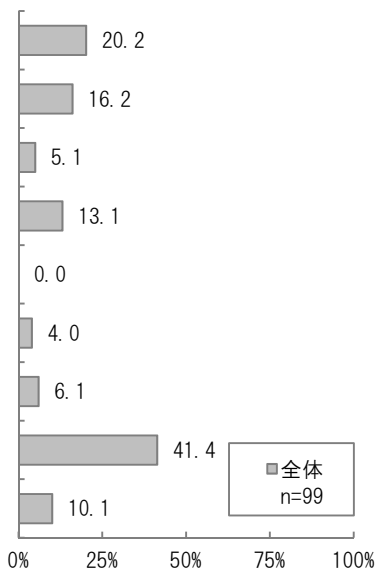
○看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」(20.2%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(16.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(13.1%)、「別居の子ども」(5.1%)の順となっています。

○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「ケアマネジャー」(42.4%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」(41.4%)、「社会福祉協議会・民生委員」(24.2%)、「医師・歯科医師・看護師」(16.2%)の順となっています。また、「そのような人はいない」と回答した方は14.1%となっています。

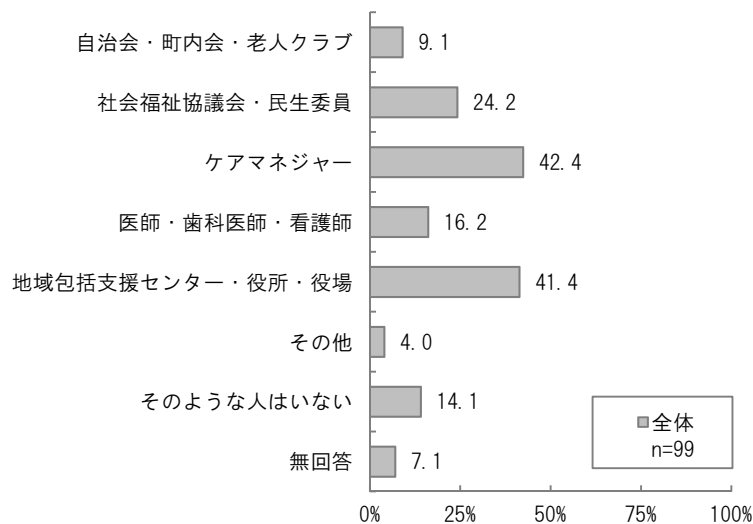
問6-(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人



問6-(4) 看病や世話をしてあげる人



問6-(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



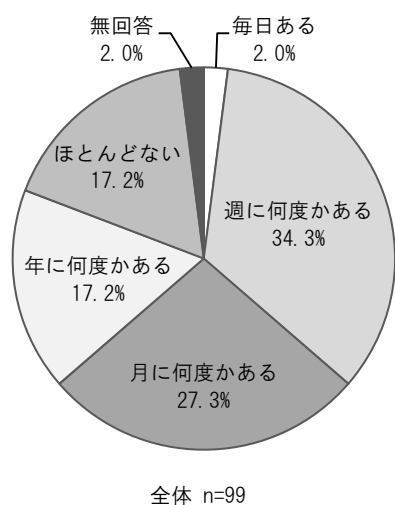
(2) 友人・知人との交流状況

○チェックリスト該当者の友人・知人と会う頻度は、「週に何度かある」(34.3%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(27.3%)となっています。

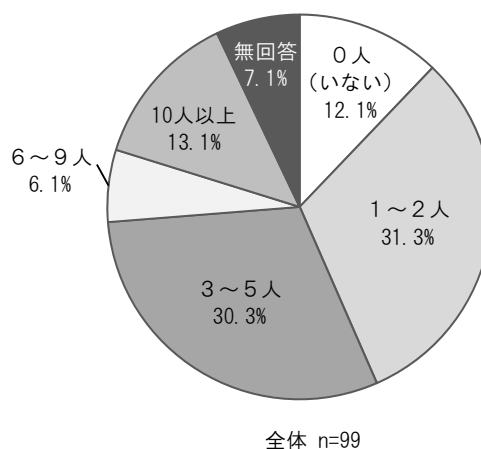
○1か月に会う友人・知人の人数をみると、「1~2人」(31.3%)が最も高く、次いで「3~5人」(30.3%)となっています。

○よく会う友人・知人との関係をみると、「近所・同じ地域の人」(59.6%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(21.2%)、「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」(各13.1%)、「幼なじみ」(9.1%)の順となっています。

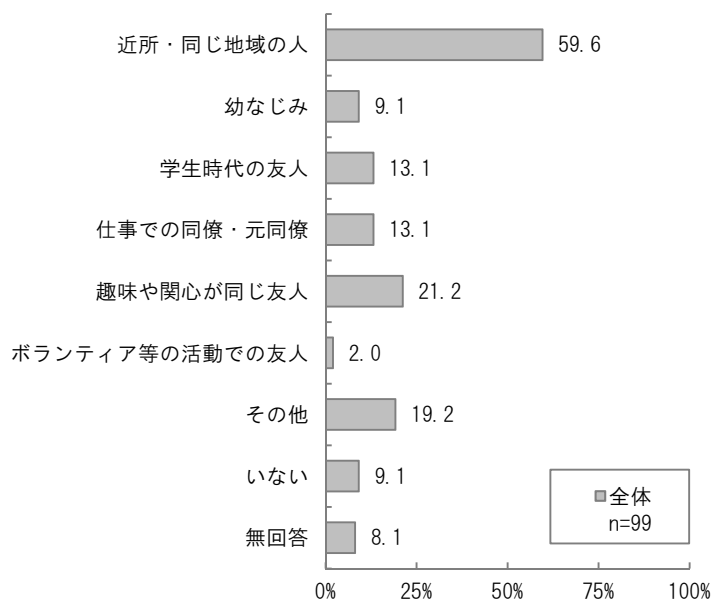
問6-(6) 友人・知人と会う頻度



問6-(7) 何人の友人・知人と会ったか (最近1か月間)



問6-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人か

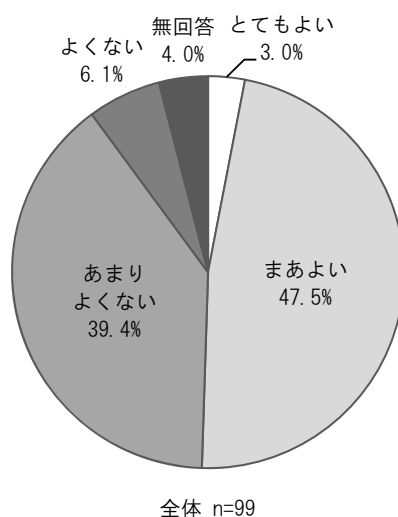


7 健康について

(1) 健康状態

○チェックリスト該当者の現在の主観的健康感をみると、「まあよい」(47.5%)が最も高く、「とてもよい」(3.0%)を合わせた50.5%の方が健康であると感じています。

問7-(1) 現在の健康状態はいかがですか

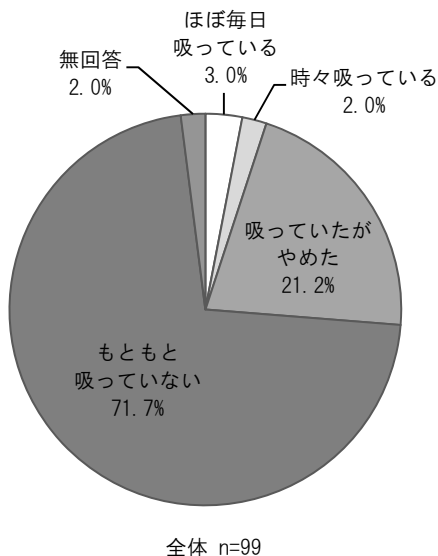


(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係

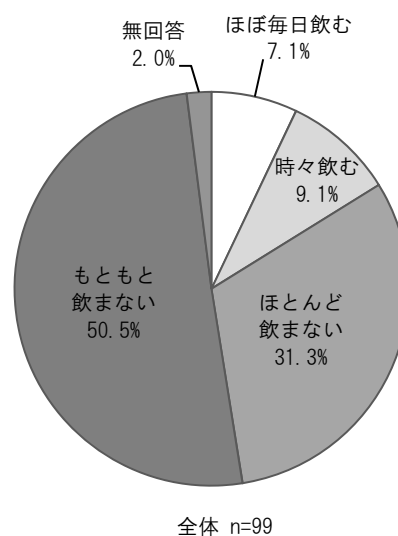
○チェックリスト該当者の喫煙有無では、「ほぼ毎日吸っている」(3.0%)と「時々吸っている」(2.0%)を合わせた5.0%の方が喫煙しています。

○飲酒の有無では、「ほぼ毎日飲む」(7.1%)と「時々飲む」(9.1%)を合わせた16.2%の方が飲酒しています。

問7-(5) 喫煙の有無

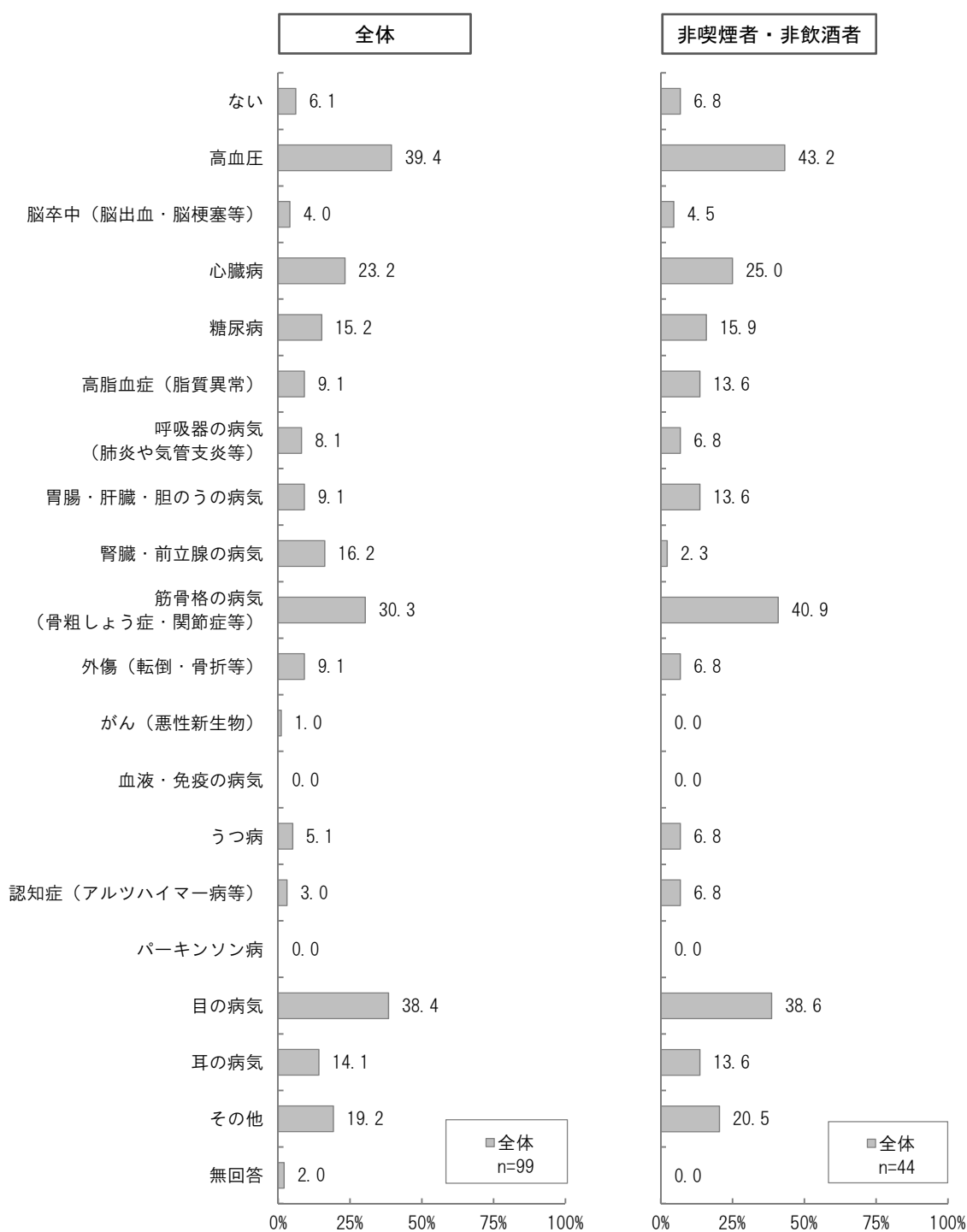


問7-(7) 飲酒の有無



○チェックリスト該当者の現在治療中、または後遺症のある病気の有無をみると、全体では「高血圧」(39.4%)が最も高く、次いで「目の病気」(38.4%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(30.3%)、「心臓病」(23.2%)、「腎臓・前立腺の病気」(16.2%)の順となっています。非喫煙者・非飲酒者と比較すると「高血圧」(43.2%)は前者より3.8^{ポイント}上回っています。

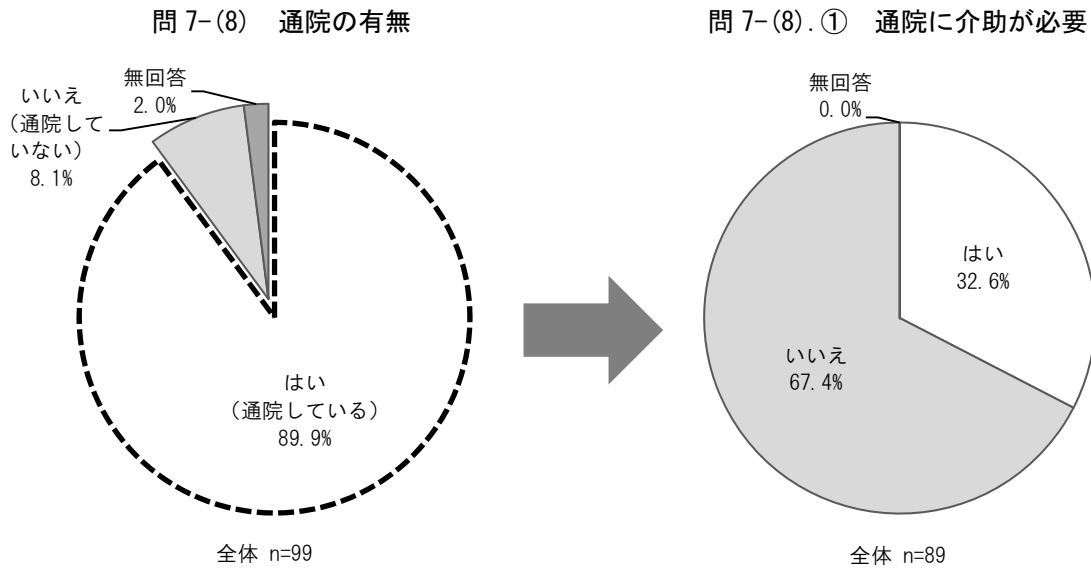
問7-(6) 現在治療中、または後遺症のある病気の有無



(3) 通院の状況

○チェックリスト該当者の通院の有無では、89.9%の方が通院していると回答しています。

○通院に介助が必要かでは、32.6%の方が「はい」と回答しています。



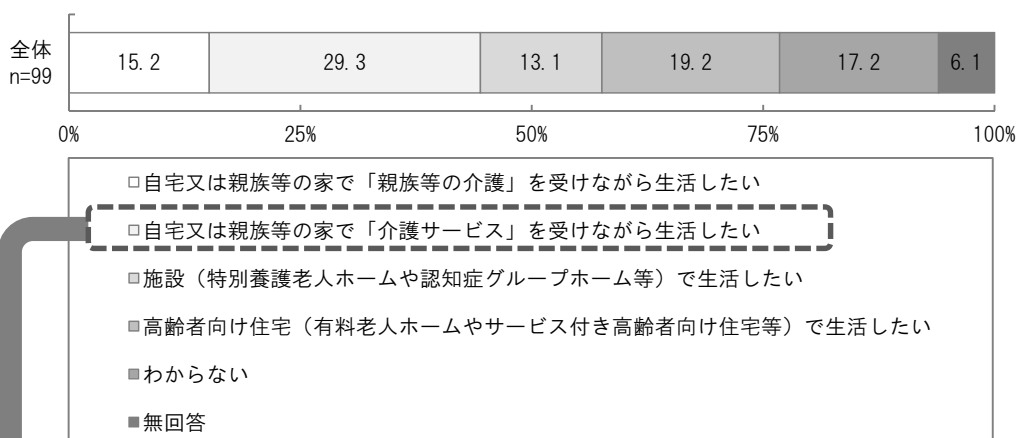
8 介護等が必要になった場合の生活について

(1) 生活場所やサービス利用の意向

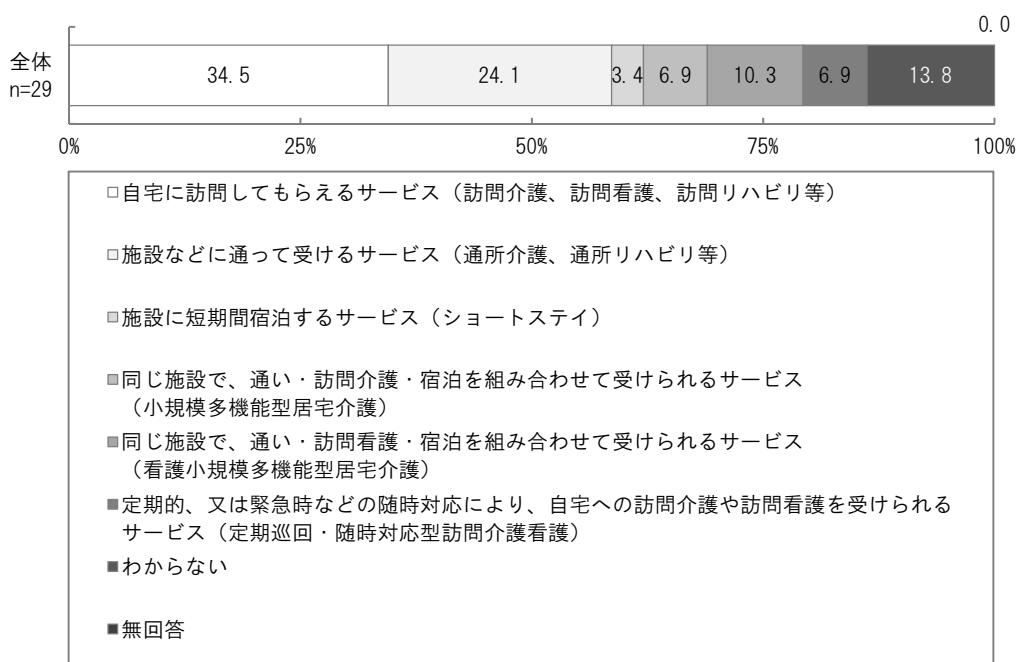
○チェックリスト該当者は介護が必要になった場合、どこで生活をしたいかをみると、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」(29.3%)が最も高くなっています。

○また、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」と回答した方が受けたい介護サービスは、「自宅に訪問してもらえるサービス(訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ等)」(34.5%)が最も高く、次いで「施設などに通って受けるサービス(通所介護、通所リハビリ等)」(24.1%)、「同じ施設で、通い・訪問看護・宿泊を組み合わせるサービス(看護小規模多機能型居宅介護)」(10.3%)の順となっています。

問8-(1) 介護が必要になった場合、どこで生活をしたいか



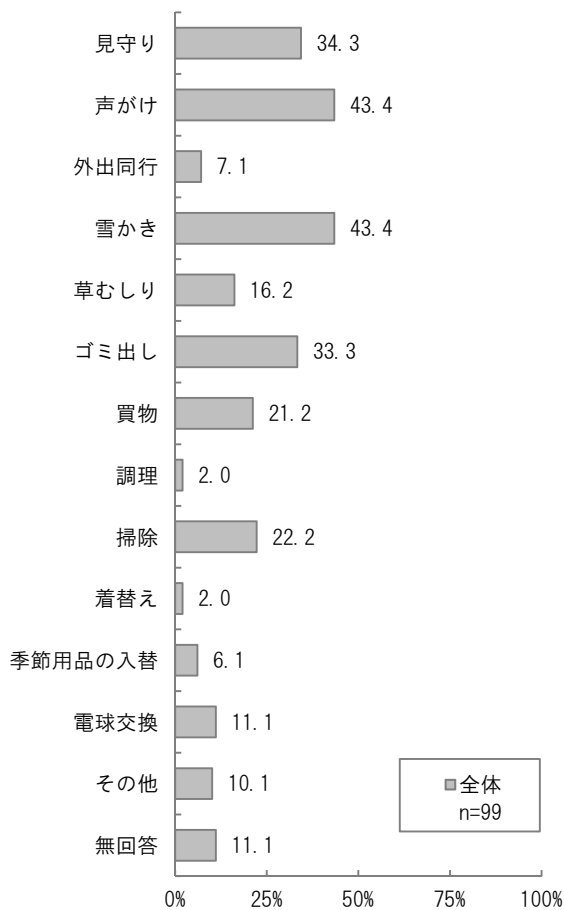
問8-(1).① どのような介護サービスを受けたいか



(2) 近隣からの支援に望むこと

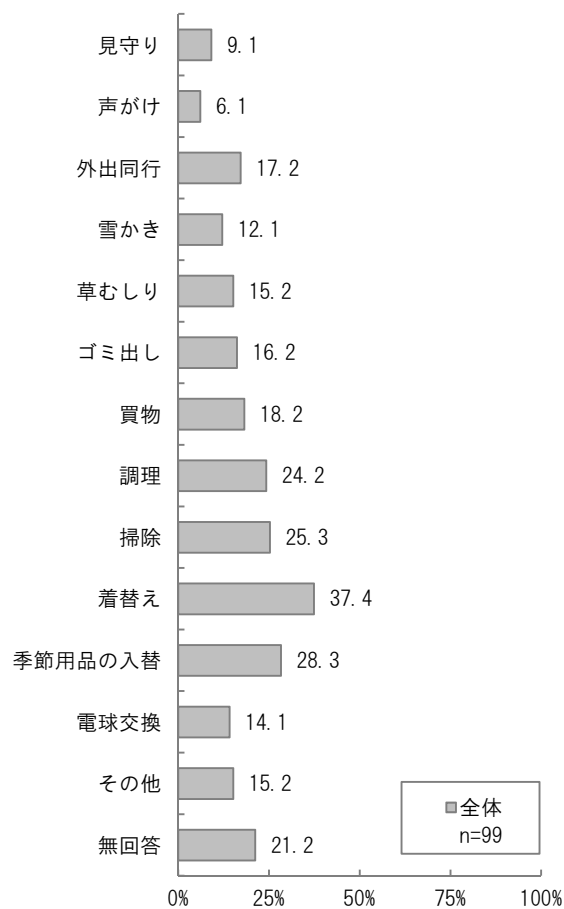
○チェックリスト該当者は介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいことは、「声かけ」「雪かき」(各 43.4%) が最も高く、次いで「見守り」(34.3%)、「ゴミ出し」(33.3%)、「掃除」(22.2%) の順となっています。

問8-(2) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいこと



○一方、近隣の人に頼みたくないことは、「着替え」(37.4%)が最も高く、次いで「季節用品の入替」(28.3%)、「掃除」(25.3%)、「調理」(24.2%)の順となっています。

問8-(3) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたくないこと



9 山形市の施策について

(1) 認知症予防への支援

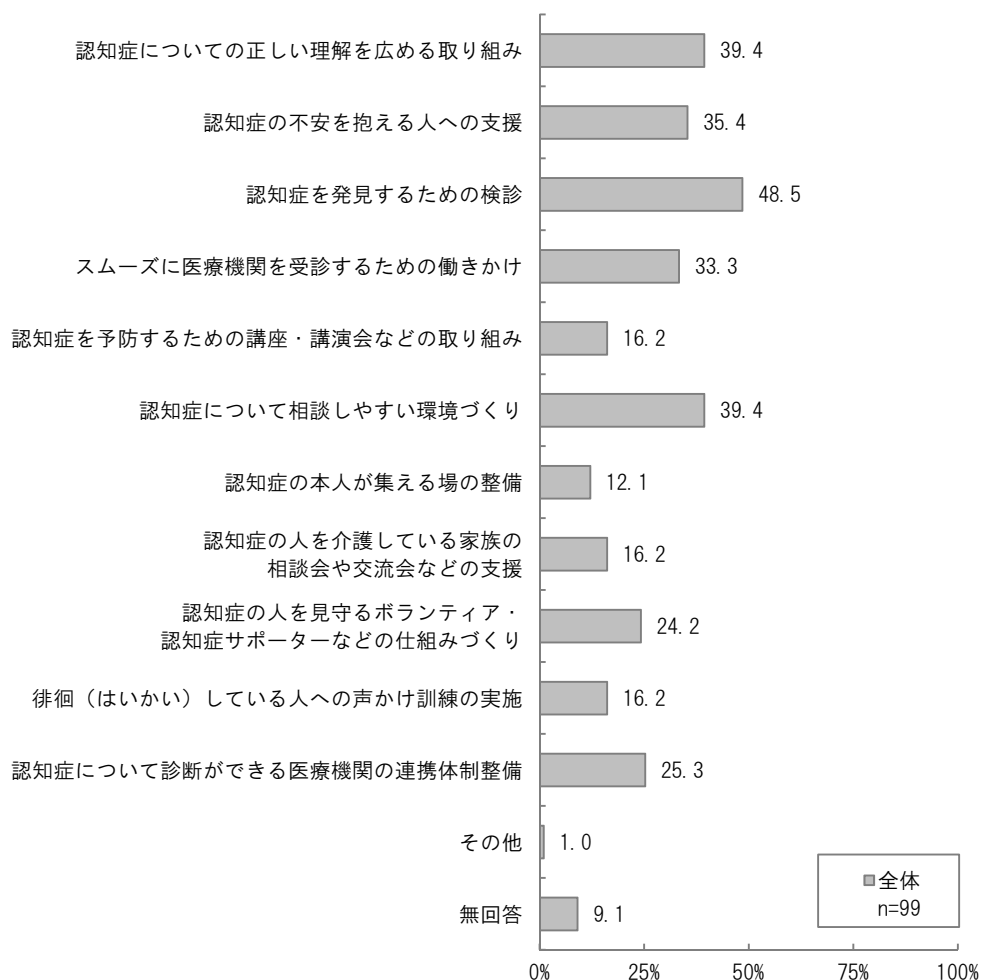
○チェックリスト該当者が認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところを見ると、「かかりつけ医」(55.6%)が最も高く、次いで「ケアマネジャー(介護支援専門員)」(17.2%)となっています。

問9-(1) 認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところ

全体 n=4,454	回答者数	割合
かかりつけ医	55人	55.6%
認知症サポート医	2人	2.0%
認知症専門医(精神科・神経内科等)	9人	9.1%
地域包括支援センター	8人	8.1%
ケアマネジャー(介護支援専門員)	17人	17.2%
民生委員・福祉協力員	3人	3.0%
介護サービス事業者	1人	1.0%
市役所などの行政機関	0人	0.0%
認知症の人と家族の会	0人	0.0%
認知症サポーター	0人	0.0%
薬局	0人	0.0%
その他	0人	0.0%
無回答	4人	4.0%

○認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきことは、「認知症を発見するための検診」(48.5%)が最も高く、次いで「認知症についての正しい理解を広める取り組み」「認知症について相談しやすい環境づくり」(各 39.4%)、「認知症の不安を抱える人への支援」(35.4%)、「スムーズに医療機関を受診するための働きかけ」(33.3%)の順となっています。

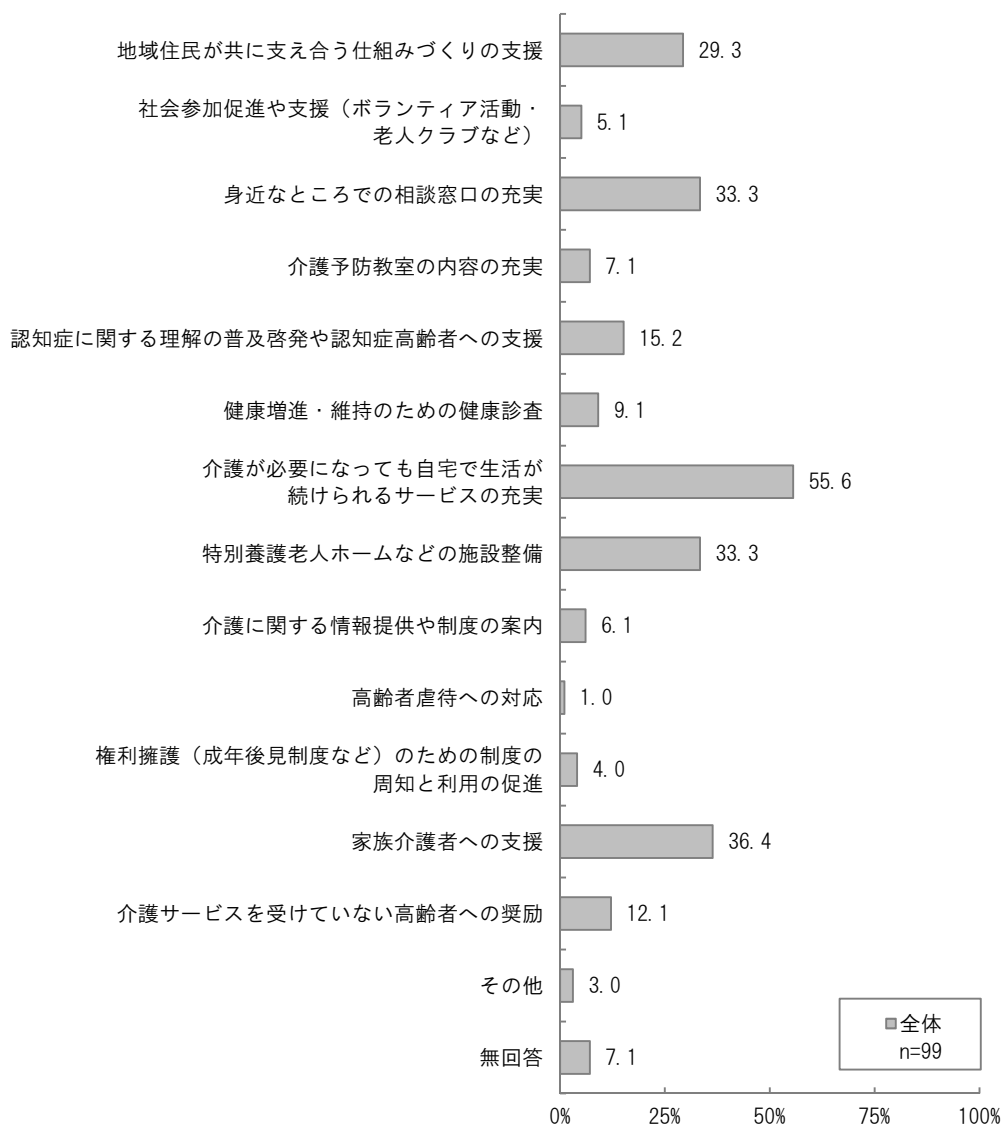
問9-(2) 認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきこと



(2) 高齢者保健福祉への取組

○チェックリスト該当者の高齢者保健福祉について、市が取り組むべきことをみると、「介護が必要になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実」(55.6%)が最も高く、次いで「家族介護者への支援」(36.4%)、「身近なところでの相談窓口の充実」「特別養護老人ホームなどの施設整備」(各 33.3%)、「地域住民が共に支え合う仕組みづくりの支援」(29.3%)の順となっています。

問9-(3) 高齢者保健福祉について、市が取り組むべきこと

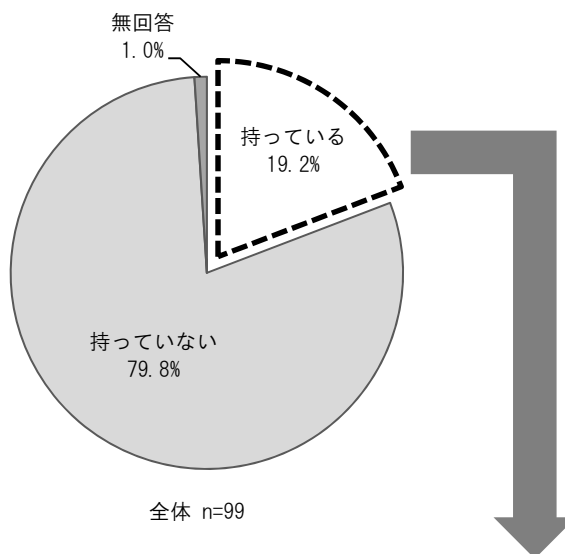


10 自動車の運転について

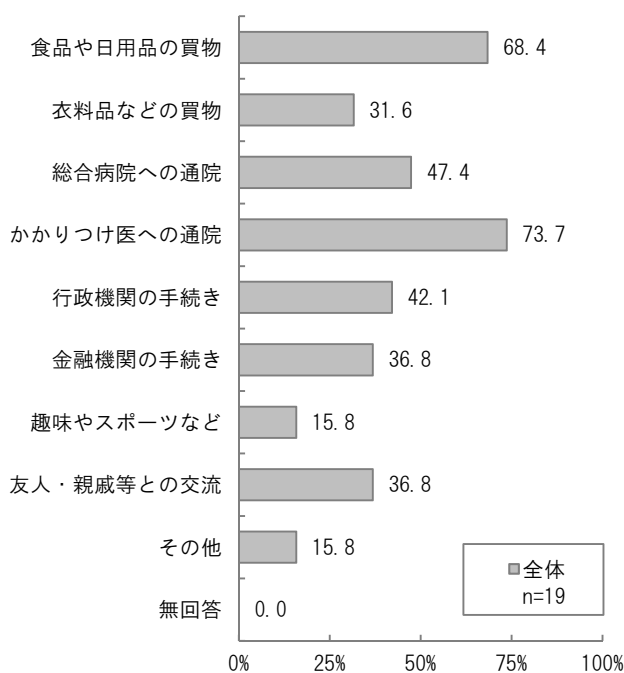
○チェックリスト該当者の自動車運転免許証の所持状況は、「持っている」方が 19.2%となっています。

○また、自動車の運転をやめたら日常生活で困ることをみると、「かかりつけ医への通院」(73.7%) が最も高く、次いで、「食品や日用品の買物」(68.4%)、「総合病院への通院」(47.4%)、「行政機関の手続き」(42.1%) の順となっています。

問10-(1) 自動車の運転免許証を持っているか



問10-(1).① 自動車の運転をやめたら日常生活で困ること



第5章

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(要支援者調査結果)

第5章 要支援者調査結果

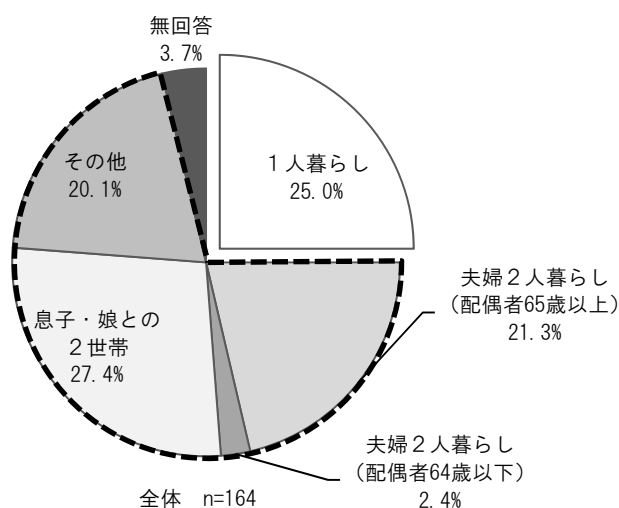
1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成及び日中独居者の状況

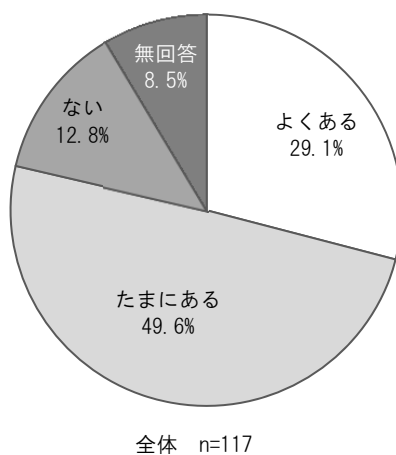
○要支援者の家族構成をみると、「息子・娘との2世帯」(27.4%)が最も高く、次いで「1人暮らし」(25.0%)、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(21.3%)の順となっています。

○日中に1人になることの有無は、「たまにある」(49.6%)が最も高く、「よくある」(29.1%)を合わせた約8割が、日中に1人になることがあると回答しています。

問1-(1) 家族構成



問1-(1).① 日中、1人になることの有無



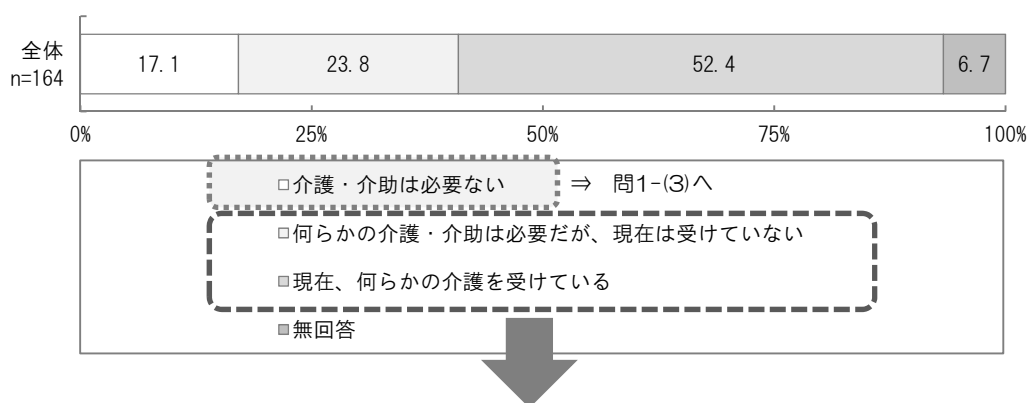
(2) 日常生活における介護（介助）の状況

○要支援者の普段の生活における介護・介助の状況をみると、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」（52.4%）が最も高く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（23.8%）を合わせた76.2%が介護・介助が必要と回答しています。

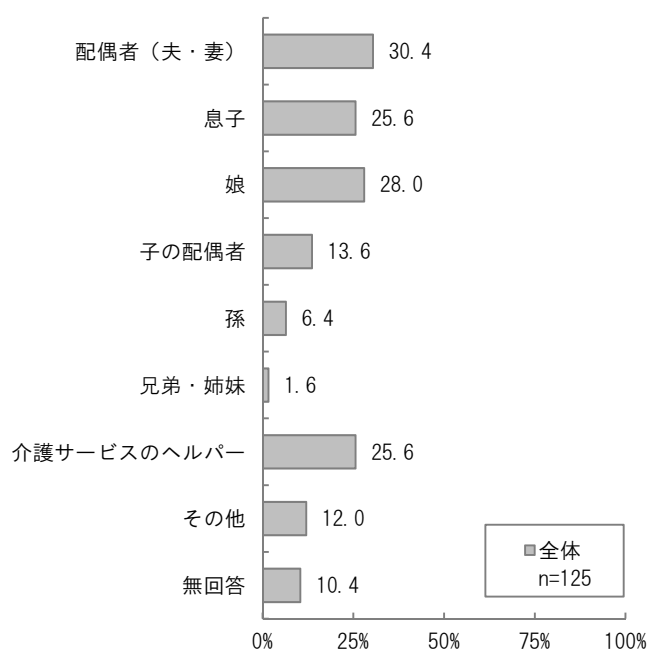
○介護・介助をしてくれる人は、「配偶者（夫・妻）」（30.4%）が最も高く、次いで「娘」（28.0%）、「息子」「介護サービスのヘルパー」（各25.6%）、「子の配偶者」（13.6%）の順となっています。

○介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」（28.0%）が最も高く、次いで「骨折・転倒」（27.2%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（16.8%）、「糖尿病」「視覚・聴覚障害」（各11.2%）、「心臓病」（10.4%）の順となっています。

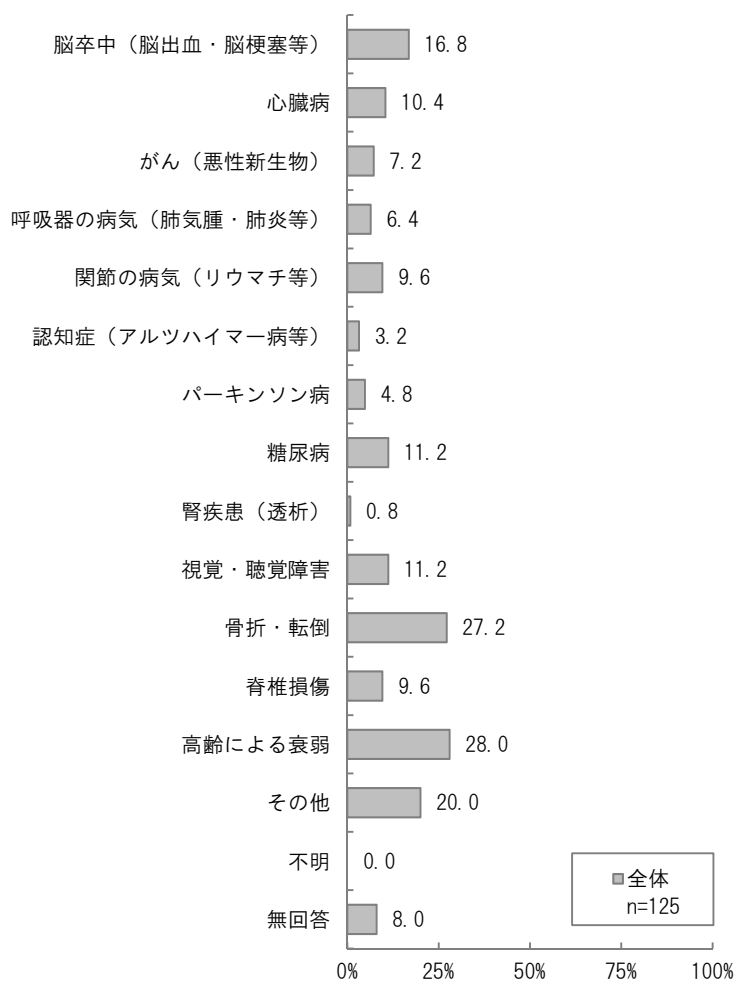
問1-(2) 普段の生活で介護・介助が必要か



問1-(2).② 介護・介助をしてきている人



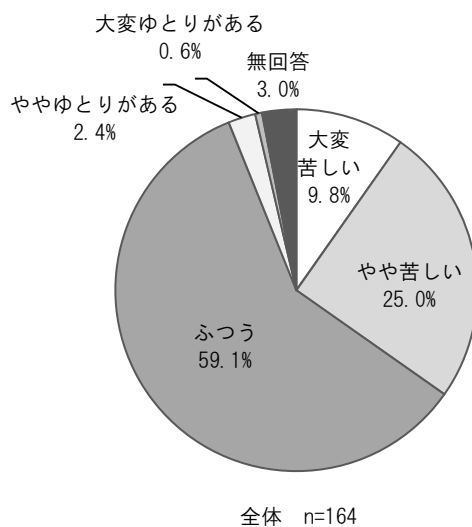
問1-(2).① 介護・介助が必要になった主な原因



(3) 現在の経済状況

○要支援者の現在の暮らしの経済状況をみると、「ふつう」(59.1%)が最も高く、次いで「やや苦しい」(25.0%)、「大変苦しい」(9.8%)の順となっています。

問1-(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみて

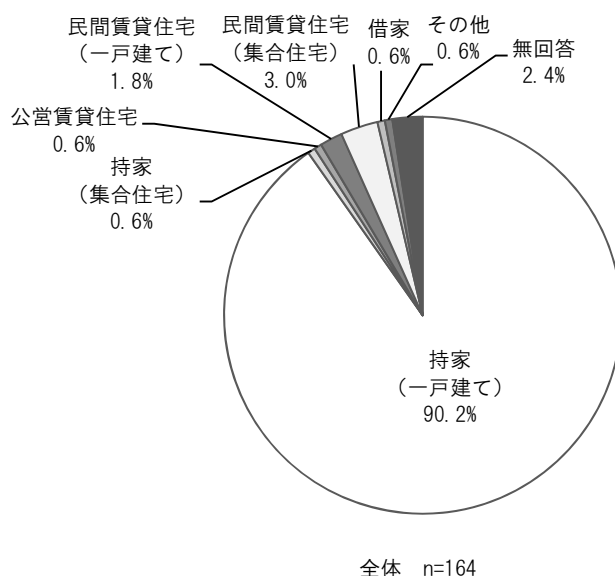


(4) 現在の居住環境

○要支援者の現在の暮らしている家の状況を見ると、「持家（一戸建て）」（90.2%）が最も高くなっています。

○居住環境（部屋）が2階以上にあると回答した方は 15.2%となっており、そのうちの84.0%はエレベーターが未設置であると回答しています。

問1-(4) 現在の暮らしている家の状況



問 1-(5) 2階以上に生活する部屋があるか

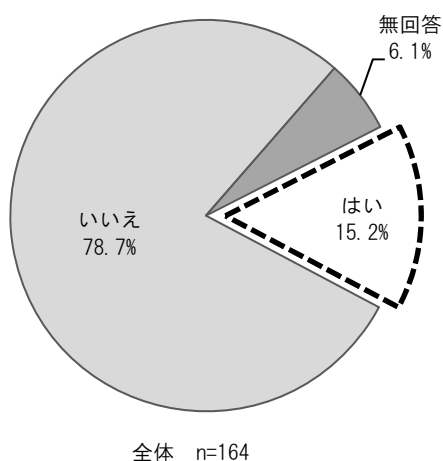
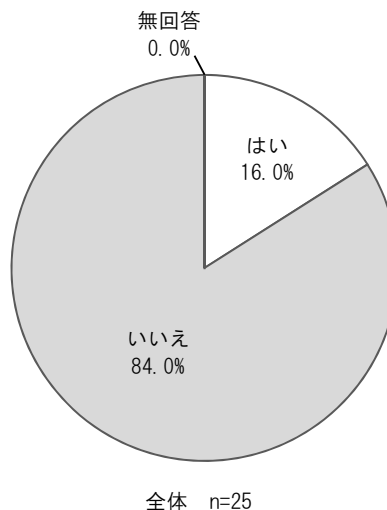


図 1-(5). ① エレベーター設置の有無



2 からだを動かすことについて

(1) 運動機能の状況

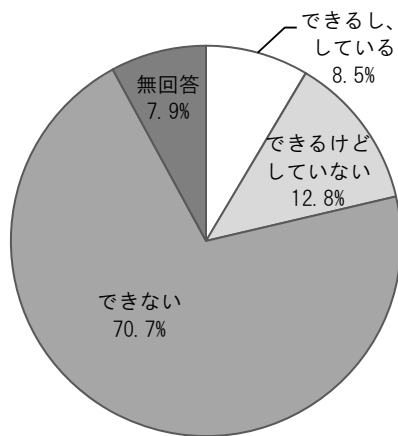
○要支援者の階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるかでは、「できない」方は70.7%となっています。

○椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかでは、「できない」方が57.9%となっています。

○15分位続けて歩くことができるかでは、「できない」方が57.9%となっています。

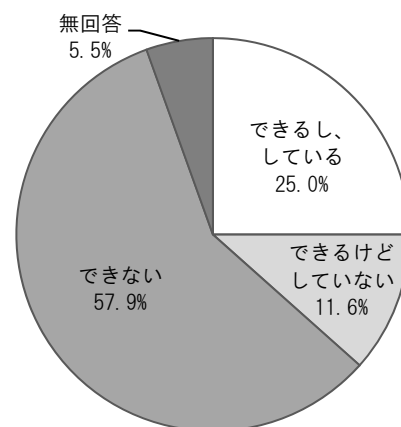
○過去1年間に転んだ経験の有無では、「何度もある」(26.8%)と「1度ある」(32.3%)を合わせた59.1%の方が転んだ経験があると回答しています。

問2-(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか



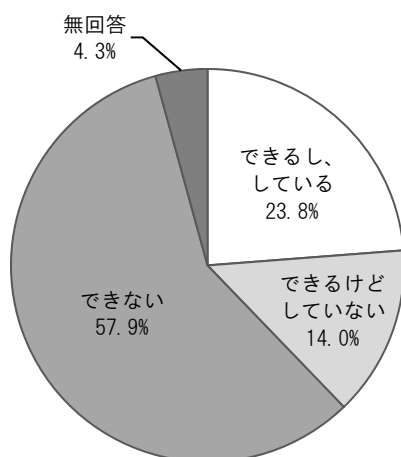
全体 n=164

問2-(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか



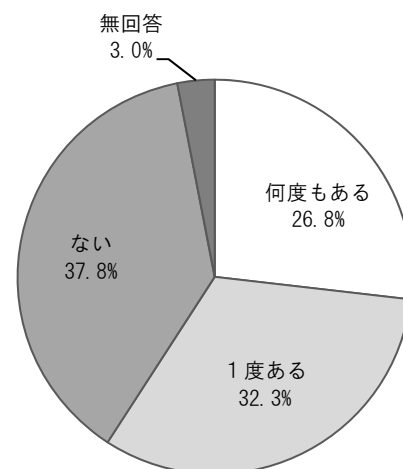
全体 n=164

問2-(3) 15分位続けて歩くことができるか



全体 n=164

問2-(4) 過去1年間に転んだ経験の有無



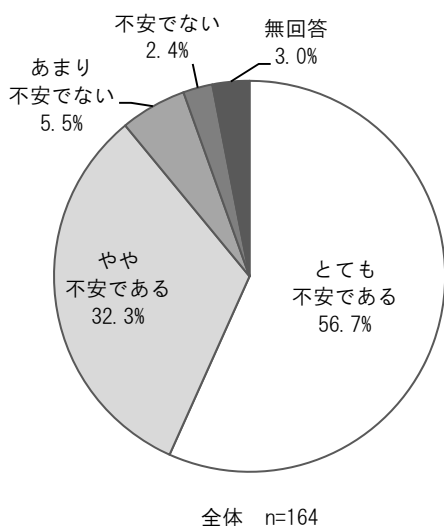
全体 n=164

○要支援者の転倒に対する不安の有無では、「とても不安である」(56.7%)と「やや不安である」(32.3%)を合わせた89.0%の方が不安を感じています。

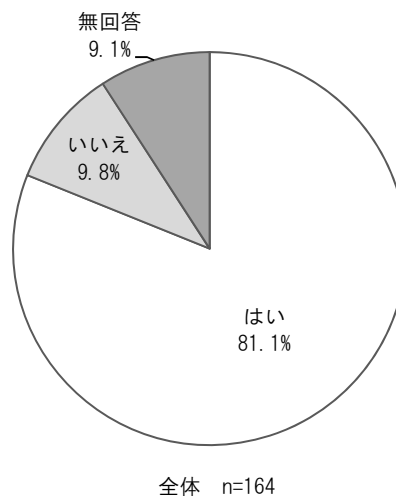
○以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うかでは、「はい」の方が81.1%となっています。

○杖やシルバーカーの使用の有無では、「はい」の方が65.9%となっています。

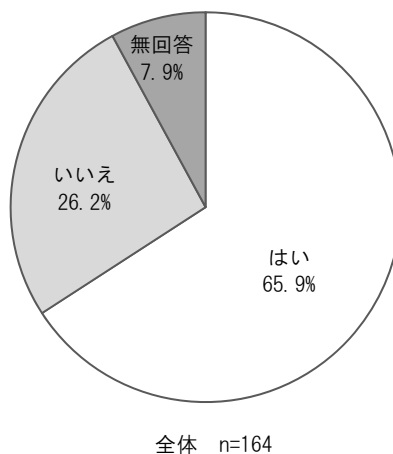
問2-(5) 転倒に対する不安の有無



問2-(11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか



問2-(12) 杖やシルバーカーの使用の有無

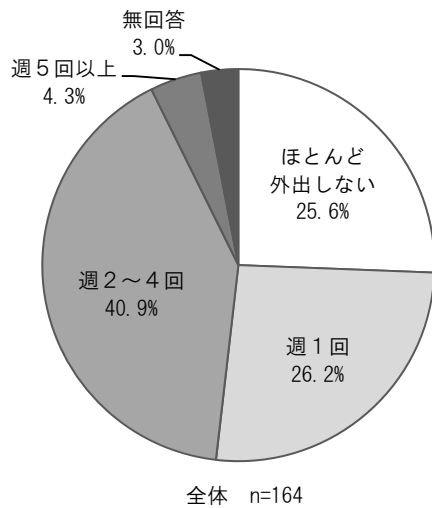


(2) 外出の状況

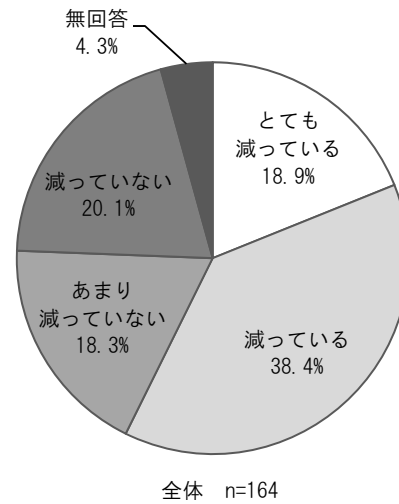
○要支援者の週に1回以上の外出の有無では、「週1回」(26.2%)と「ほとんど外出しない」(25.6%)を合わせた51.8%の方が週1回以下と回答しています。

○昨年と比べた外出の頻度は、「減っている」(38.4%)と「とても減っている」(18.9%)を合わせた57.3%の方が減っていると回答しています。

問2-(6) 週に1回以上の外出の有無



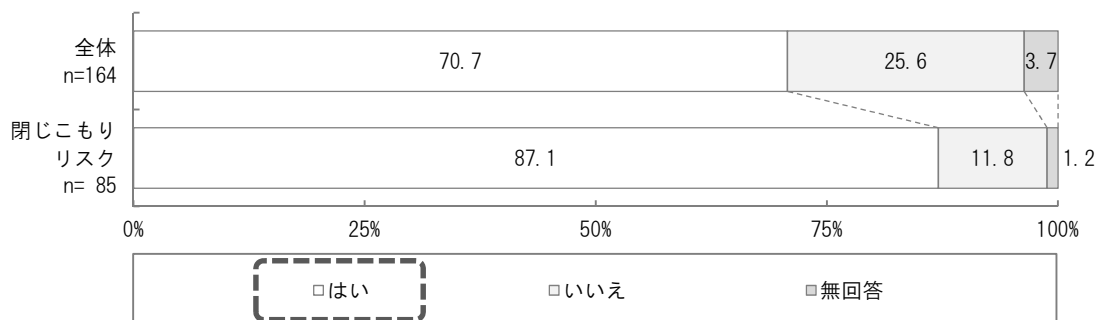
問2-(7) 昨年と比べた外出の頻度



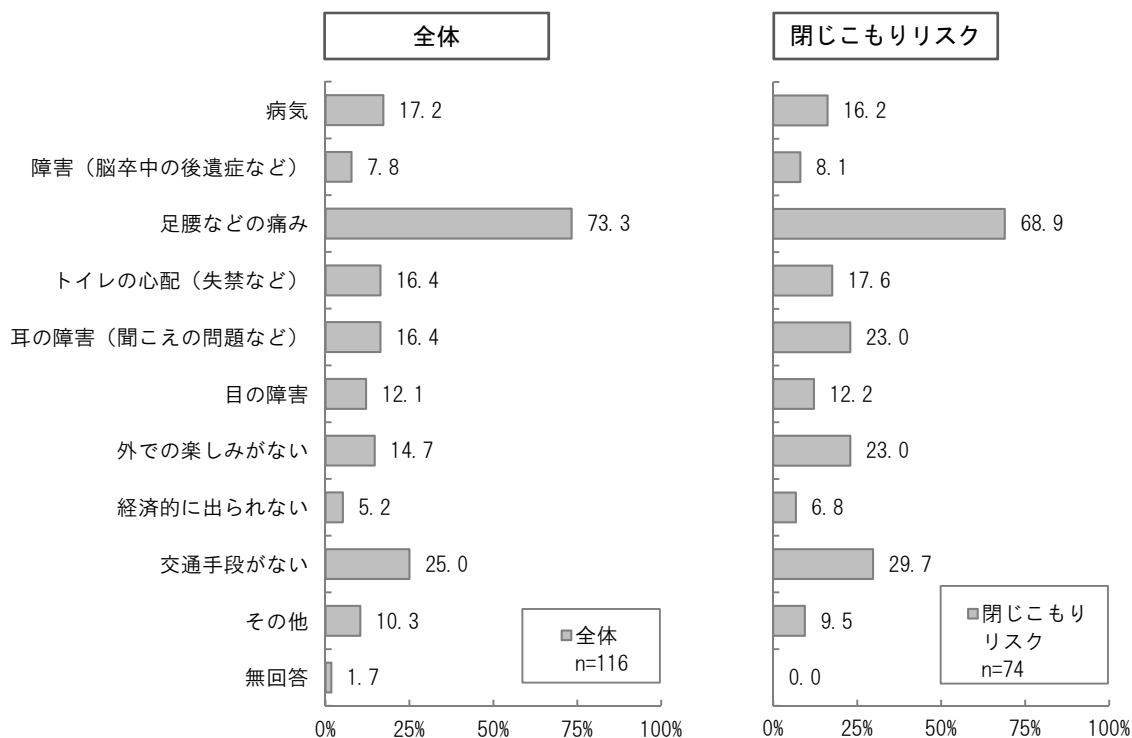
○要支援者が外出を控えているかをみると、全体では70.7%の方が外出を控えていると回答しています。一方、閉じこもりリスク者では87.1%と前者よりも16.4^{ポイント}上回っています。

○要支援者の外出を控えている理由は、両者ともに「足腰などの痛み」(73.3%・68.9%)が最も高く、次いで「交通手段がない」(25.0%・29.7%)の順となっています。

問2-(8) 外出を控えているか (×「閉じこもりリスク者」)

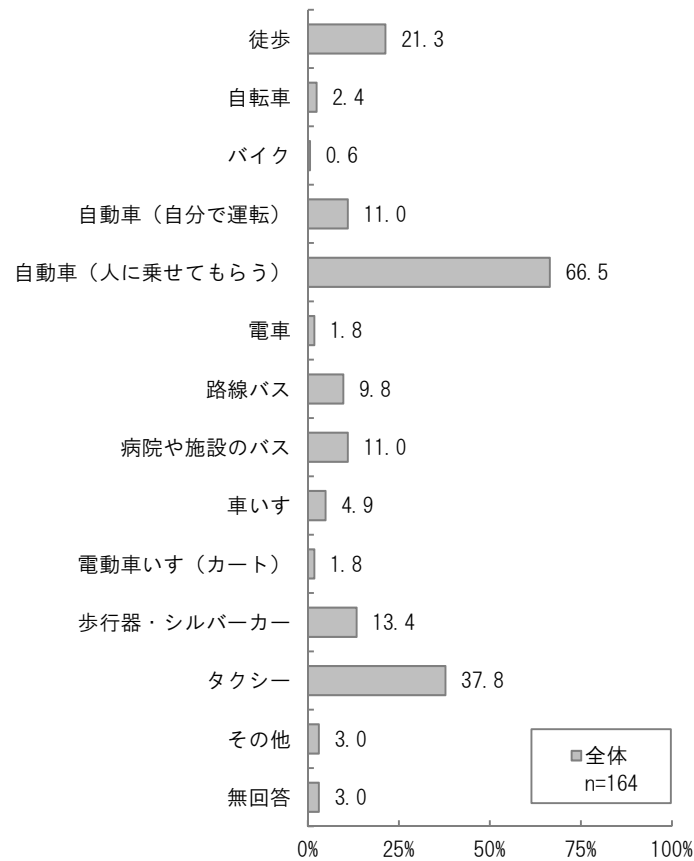


問2-(8).① 外出を控えている理由 (×「閉じこもりリスク者」)



○要支援者の外出する際の移動手段は、「自動車（人に乗せてもらう）」（66.5%）が最も高く、次いで「タクシー」（37.8%）、「徒歩」（21.3%）、「歩行器・シルバーカー」（13.4%）、「自動車（自分で運転）」「病院や施設のバス」（各 11.0%）の順となっています。

問2-(9) 外出する際の移動手段

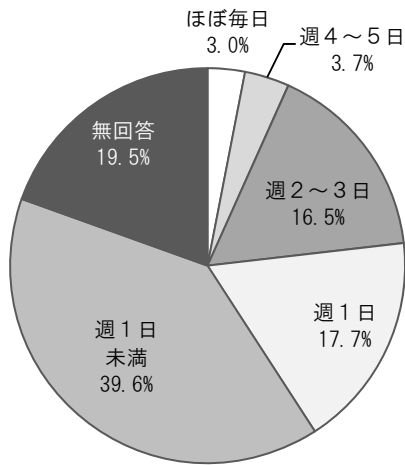


○要支援者の買物で外出する頻度では、「週1日未満」(39.6%)が最も高く、次いで「週1日」(17.7%)、「週2～3日」(16.5%)の順となっています。

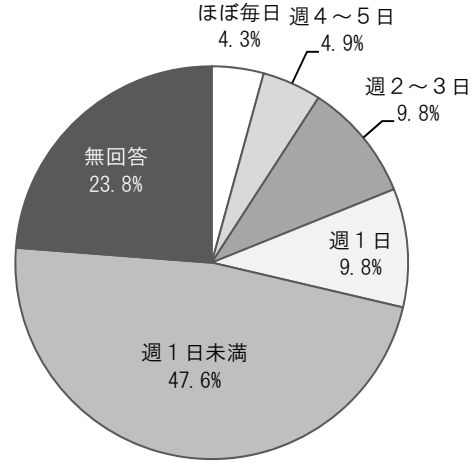
○また、散歩で外出する頻度では、「週1日未満」(47.6%)が最も高く、「週2～3日」「週1日」(各9.8%)の順となっています。

問2-(10).① 買物で外出する頻度

問2-(10).② 散歩で外出する頻度



全体 n=164



全体 n=164

3 食べることについて

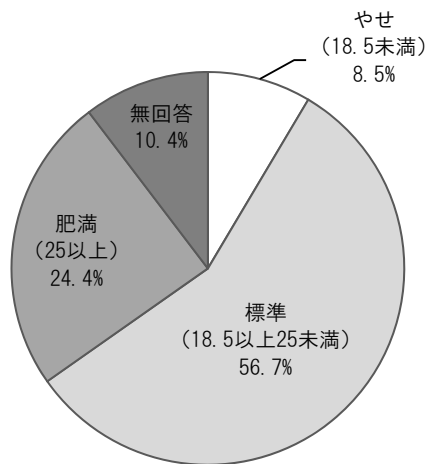
(1) 現在の肥満状況

○要支援者の肥満状況をBMI指数でみると、「やせ(18.5未満)」の方が8.5%となっています。

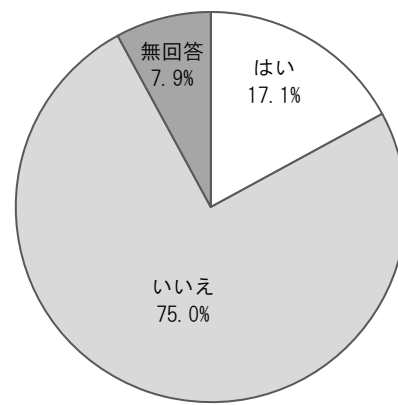
○6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無では、17.1%の方が減少したと回答しています。

問3-(1) BMI指数

問3-(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無



全体 n=164



全体 n=164

(2) 歯・口腔の状況

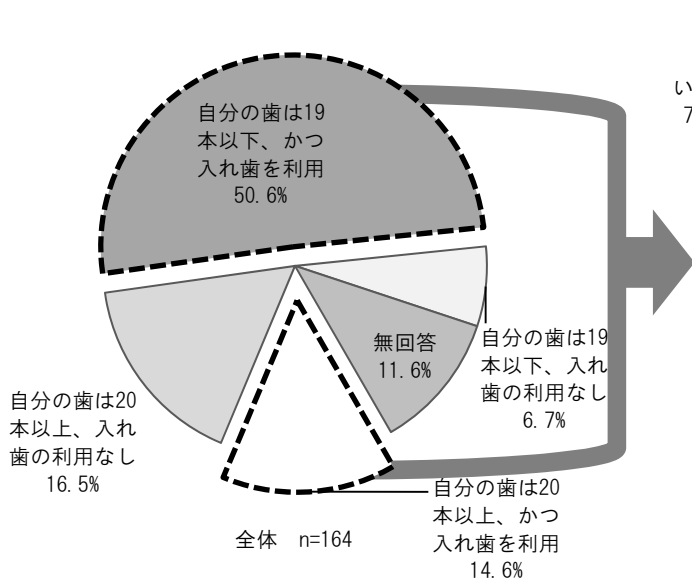
○要支援者の歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(50.6%)と「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(14.6%)を合わせた 65.2%の方が入れ歯を利用しています。

○また、入れ歯利用者のうち 86.0%の方が、毎日入れ歯の手入れをしていると回答しています。

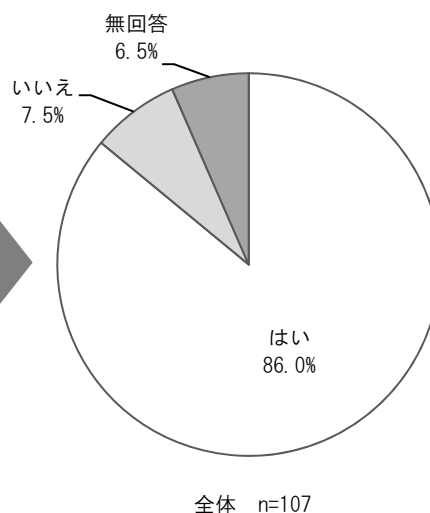
○噛み合わせは、65.9%の方が良いと回答しています

○歯磨きを毎日しているかでは、83.5%の方が「はい」と回答しています。

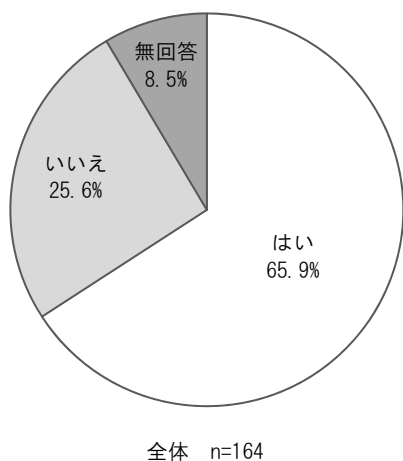
問 3-(3) 歯の数と入れ歯の利用状況



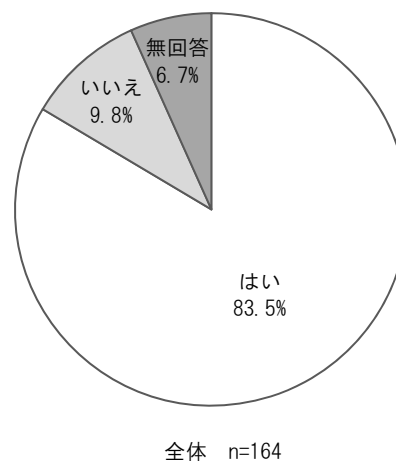
問 3-(3).① 毎日入れ歯の手入れをしているか



問 3-(3).② 噛み合わせは良いか



問 3-(7) 歯磨きを毎日しているか

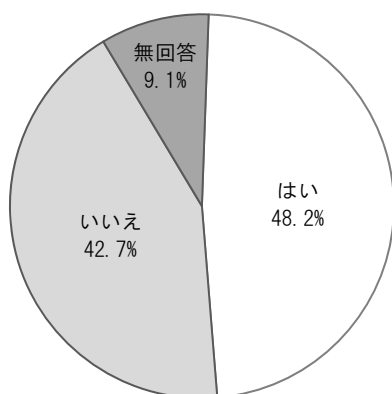


○要支援者の半年前に比べて固いものが食べにくくなったかでは、「はい」の方が 48.2% となっています。

○お茶や汁物等でむせることの有無では、34.1%の方が有ると回答しています。

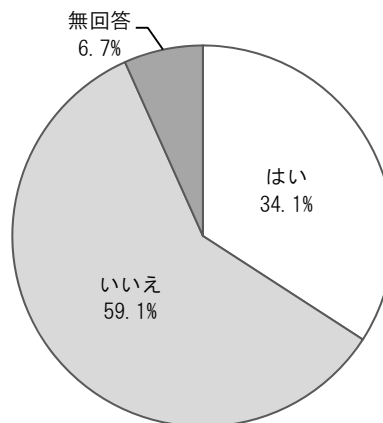
○要支援者の口の渇きが気になるかでは、45.7%の方が「はい」と回答しています。

問3-(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなった



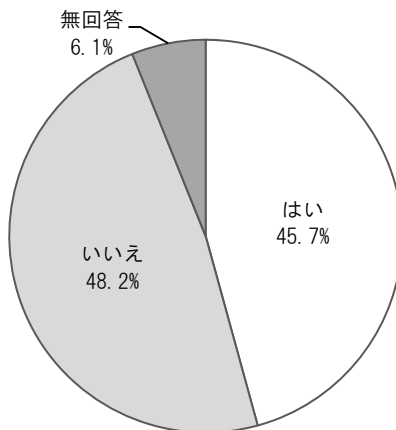
全体 n=164

問3-(5) お茶や汁物等でむせることの有無



全体 n=164

問3-(6) 口の渇きが気になるか



全体 n=164

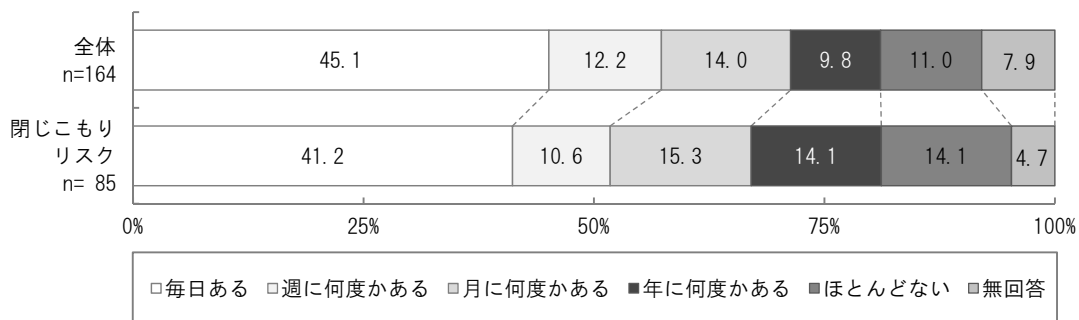
(3) 食事の状況

○要支援者のどなたかと食事をとにもする機会の有無をみると、「全体」「閉じこもりリスク者」ともに「毎日ある」(45.1%・41.2%)が最も高くなっています。

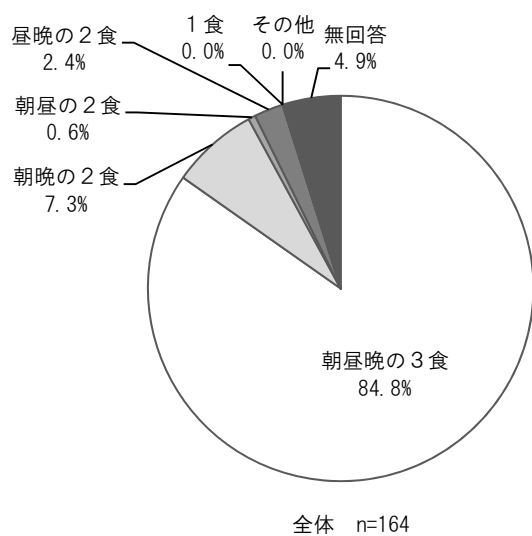
○1日の食事の回数は、「朝昼晩の3食」(84.8%)が最も高くなっています。

○食事は自分で食べられるかでは、「できる」(93.9%)が最も高くなっています。

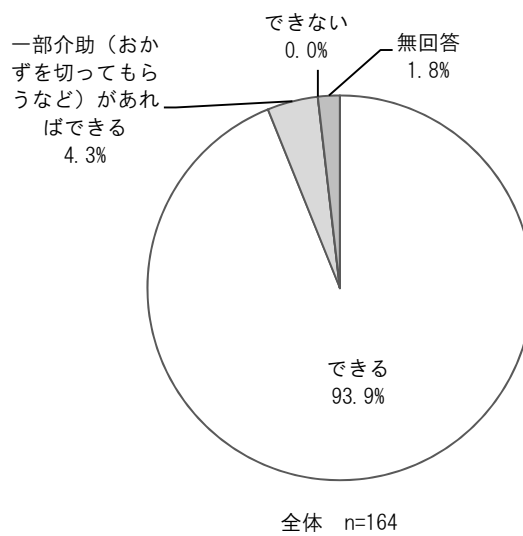
問3-(4) どなたかと食事をとにもする機会の有無 (×「閉じこもりリスク者」)



問3-(9) 1日の食事の回数

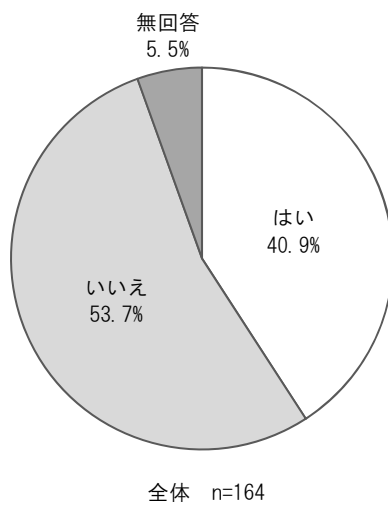


問4-(22) 食事は自分で食べられるか



○要支援者の家事全般ができていないかでは、53.7%の方ができないと回答しています。

問4-(23) 家事全般ができていないか

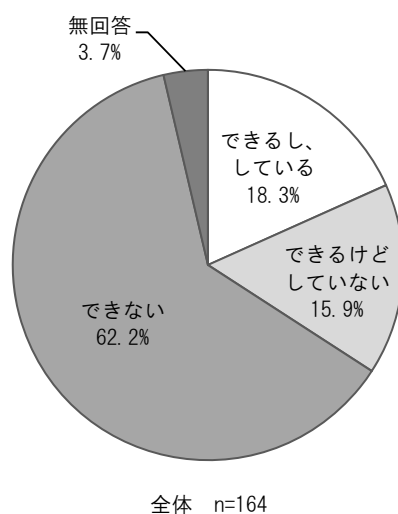


4 毎日の生活について

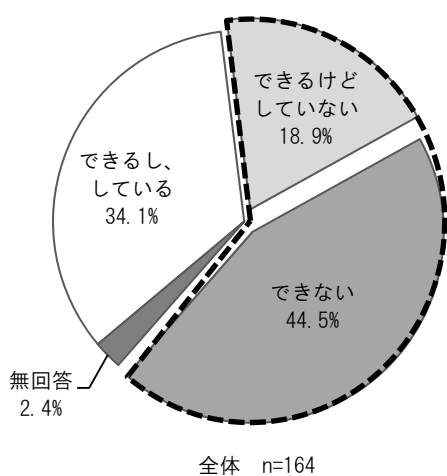
(1) IADL（手段的自立度）の状況

- 要支援者のバスや電車を使って1人で外出しているかでは、「できない」方が62.2%となっています。
- 自分で食品・日用品の買物をしているかでは、「できない」方が44.5%、「できるけどしていない」方が18.9%となっています。
- 食品・日用品の買物をする人をみると、「同居の家族」(69.2%)が最も高く、次いで「別居の家族」(10.6%)の順となっています。

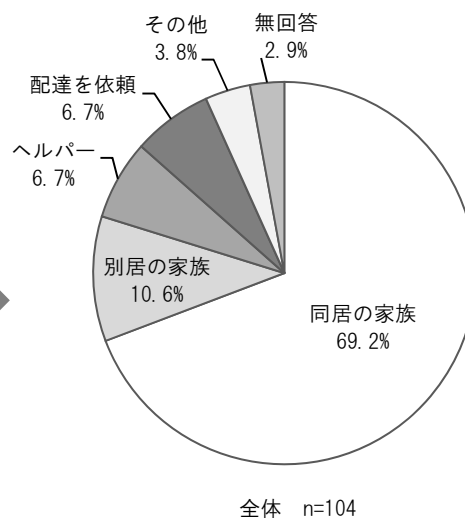
問4-(2) バスや電車を使って1人で外出しているか



問4-(3) 自分で食品・日用品の買物をしているか



問4-(3).① 食品・日用品の買物をする人



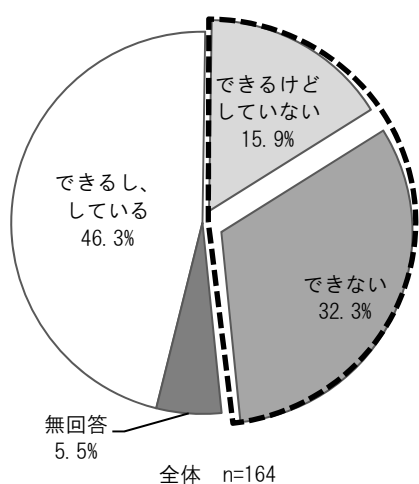
○要支援者の自分で食事の用意をしているかでは、「できない」方が32.3%、「できるだけしていない」方が15.9%となっています。

○食事の用意をする人をみると、「同居の家族」(87.3%)が最も高くなっています。また、「配食サービスを利用」の方は1.3%とわずかな状況です。

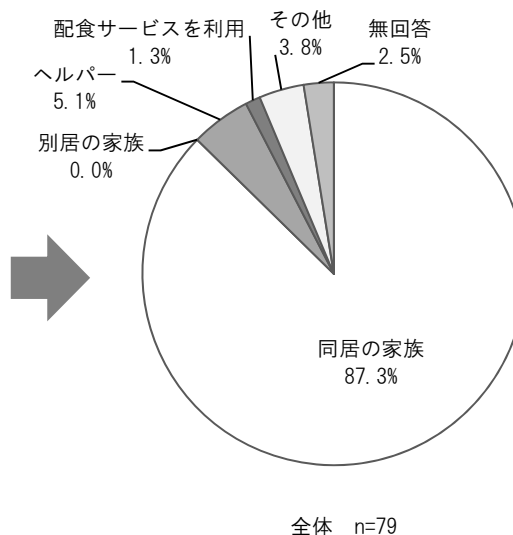
○自分で請求書の支払いをしているかでは、「できない」方が22.0%となっています。

○自分で預貯金の出し入れをしているかでは、「できない」方が25.0%となっています。

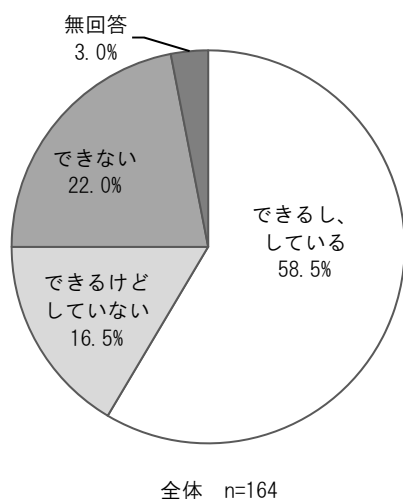
問4-(4) 自分で食事の用意をしているか



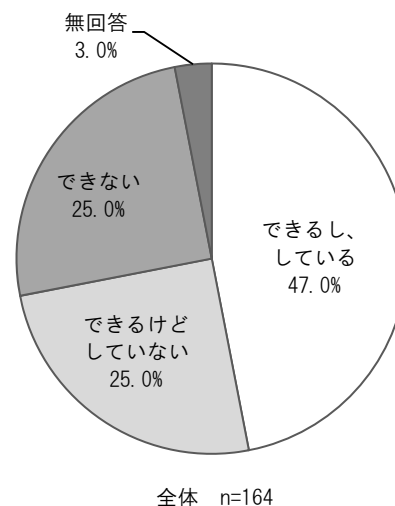
問4-(4).① 食事の用意をする人



問4-(5) 自分で請求書の支払いをしているか

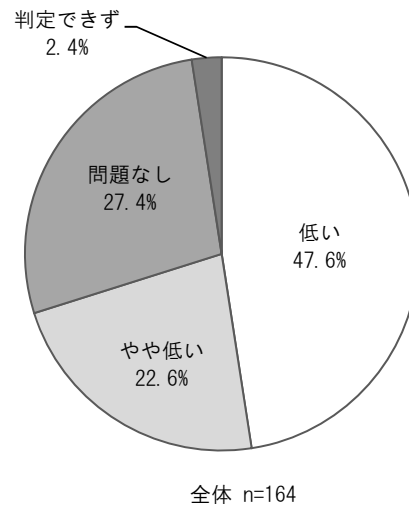


問4-(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか



○ IADL（手段的自立度）の低下該当状況をみると、「低い」（47.6%）が最も高く、次いで「問題なし」（27.4%）、「やや低い」（22.6%）となっています。

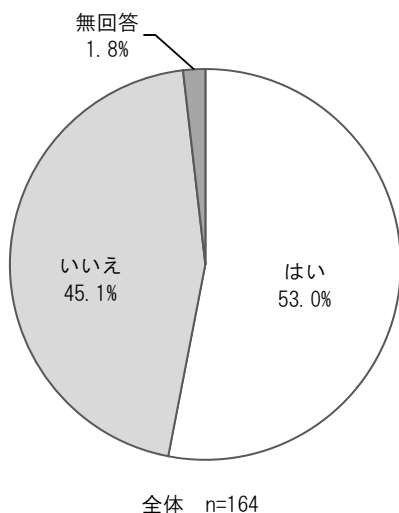
IADL（手段的自立度）の低下該当状況



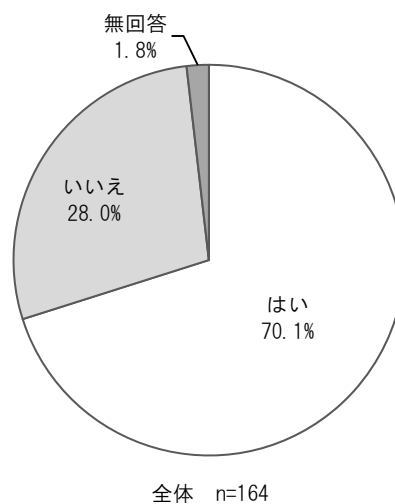
(2) 社会参加（知的能動性）の状況

- 要支援者の年金などの書類が書けるかでは、45.1%の方が書けないと回答しています。
- 新聞を読んでいるかでは、「いいえ」の方が28.0%となっています。
- 本や雑誌を読んでいるかをでは、「いいえ」の方が40.9%となっています。
- 健康についての記事や番組に関心があるかでは、「いいえ」の方が17.1%となっています。

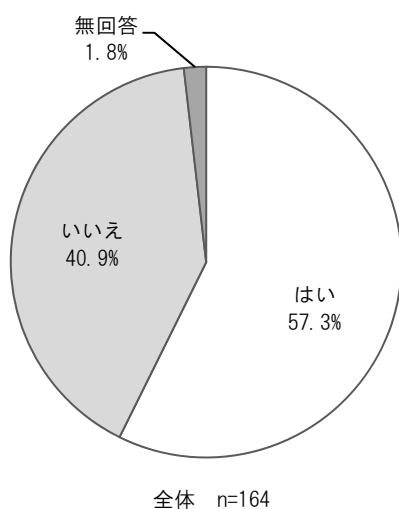
問4-(9) 年金などの書類が書けるか



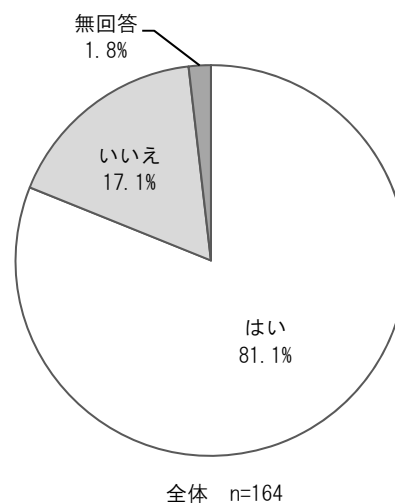
問4-(10) 新聞を読んでいるか



問4-(11) 本や雑誌を読んでいるか

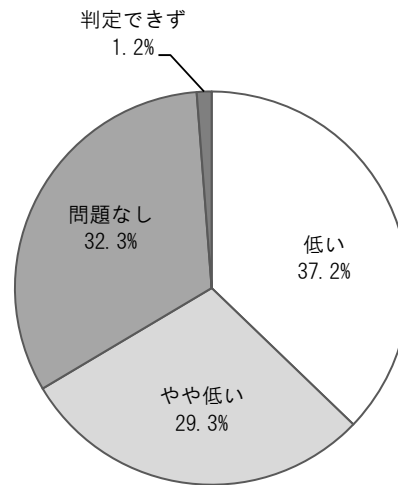


問4-(12) 健康についての記事や番組に関心があるか



○知的能動性の低下該当状況をみると、「低い」(37.2%)が最も高く、次いで「問題なし」(32.3%)、「やや低い」(29.3%)となっています。

知的能動性の低下該当状況



全体 n=164

(3) 社会参加（社会的役割）の状況

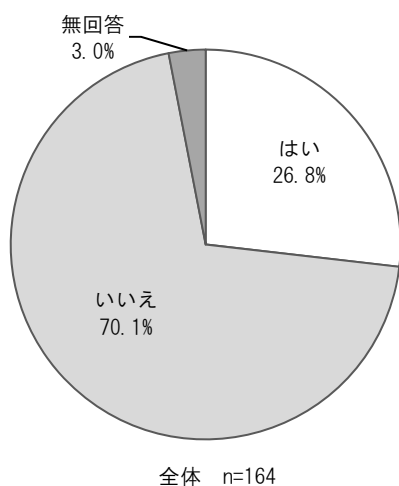
○要支援者の友人の家を訪ねているかでは、「いいえ」の方が70.1%となっています。

○家族や友人の相談にのっているかでは、「いいえ」の方が42.7%となっています。

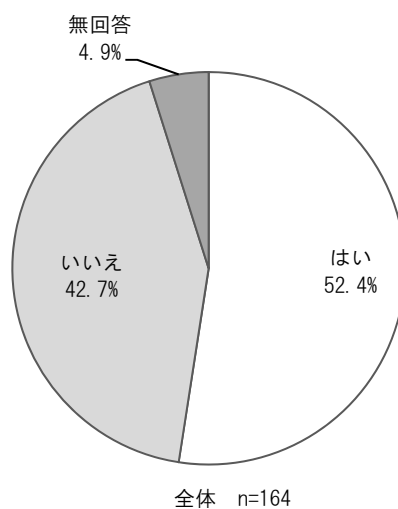
○病人を見舞うことができるかでは、「いいえ」の方が49.4%となっています。

○若い人に自分から話しかけることはあるかでは、「いいえ」の方が26.2%となっています。

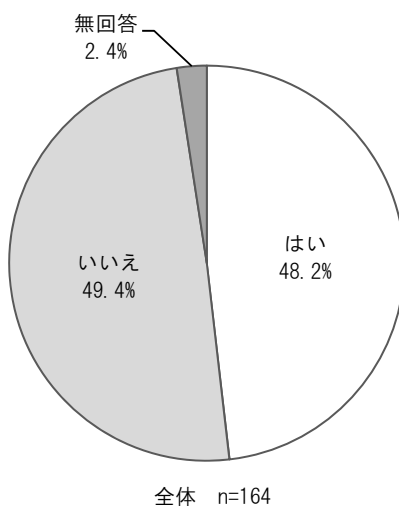
問4-(13) 友人の家を訪ねているか



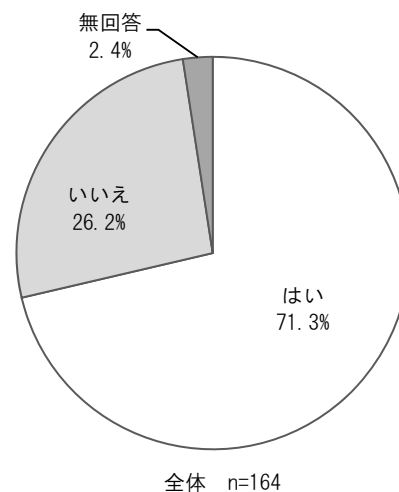
問4-(14) 家族や友人の相談にのっているか



問4-(15) 病人を見舞うことができるか

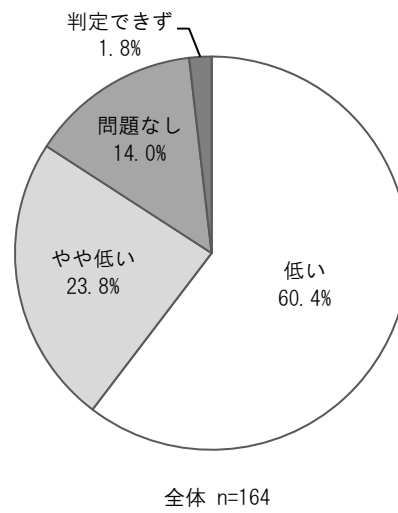


問4-(16) 若い人に自分から話しかけることはあるか



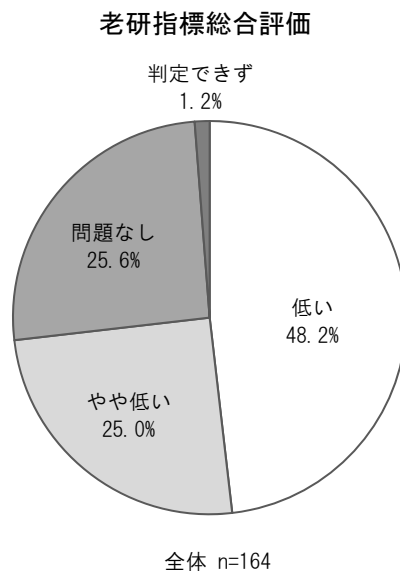
○社会的役割の低下該当状況をみると、「低い」(60.4%)が最も高く、次いで「やや低い」(23.8%)、「問題なし」(14.0%)となっています。

社会的役割の低下該当状況



(4) 老研指標総合評価

○ IADL（手段的自立度）、知的能動性、社会的役割の低下状況を老研指標総合評価で見ると、「問題なし」の方が25.6%となっており、「低い」(48.2%)、「やや低い」(25.0%)を合わせた7割強の方が低下状況にあります。

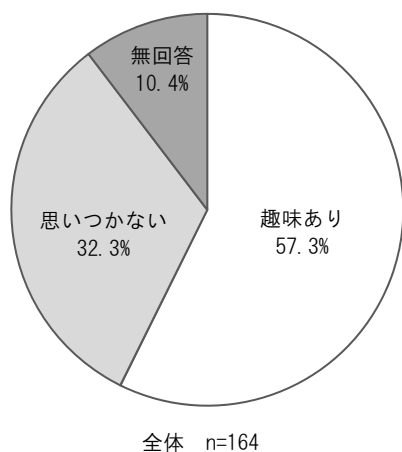


(5) こころの健康状態

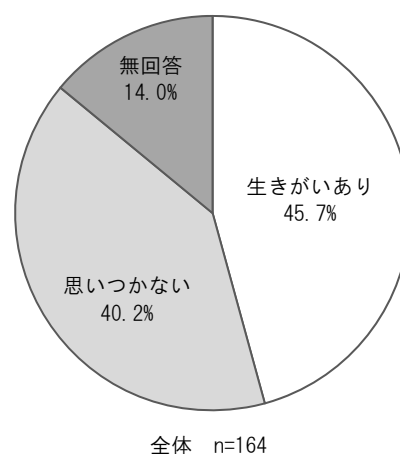
○ 要支援者の趣味の有無では、57.3%の方があると回答しています。

○ 生きがいの有無では、45.7%の方があると回答しています。

問 4-(17) 趣味はあるか



問 4-(18) 生きがいはあるか

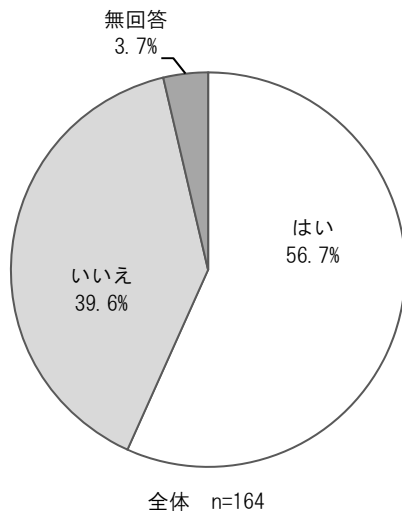


○この1か月間、気分が沈んだりすることの有無では、56.7%の方があると回答しています。

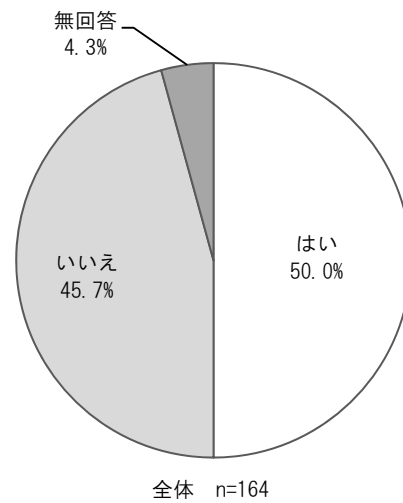
○この1か月間、物事に対して心から楽しめない感じの有無では、50.0%の方があると回答しています。

○現在の主観的幸福感では、「5点」(21.3%)が最も高く、次いで「8点」(17.7%)、「7点」(16.5%)、「(とても幸せ)10点」(11.0%)の順となっています。また、平均点数は6.4点となっています。

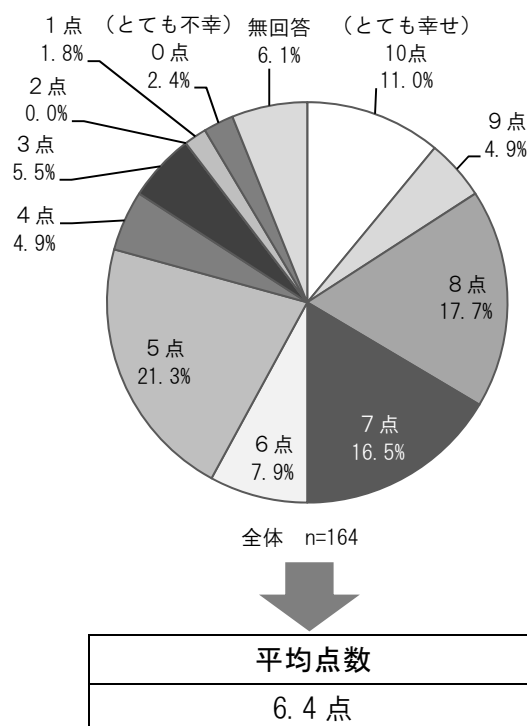
問7-(3) この1か月間、気分が沈んだりする



問7-(4) この1か月間、物事に対して心から楽しめない



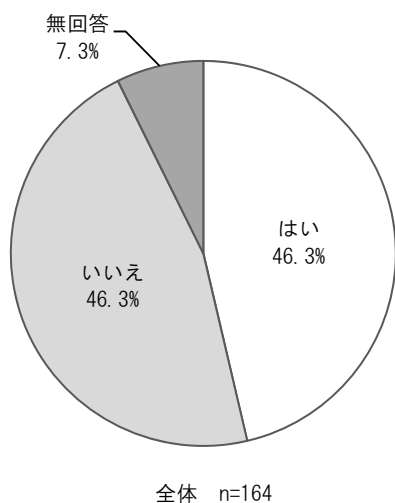
問7-(2) 現在どの程度幸せですか



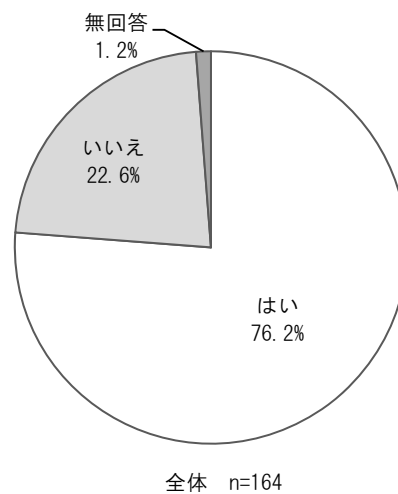
(6) 物忘れの状況

- 要支援者の物忘れが多いと感じるかでは、「はい」の方が46.3%となっています。
- 自分で電話番号を調べて電話をかけるかでは、「いいえ」の方が22.6%となっています。
- 今日が何月何日かわからない時があるかでは、42.1%の方があると回答しています。

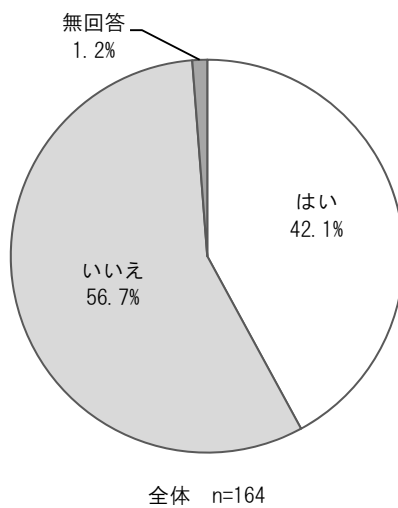
問4-(1) 物忘れが多いと感じるか



問4-(7) 自分で電話番号を調べて電話をかけるか



問4-(8) 今日が何月何日かわからない時があるか

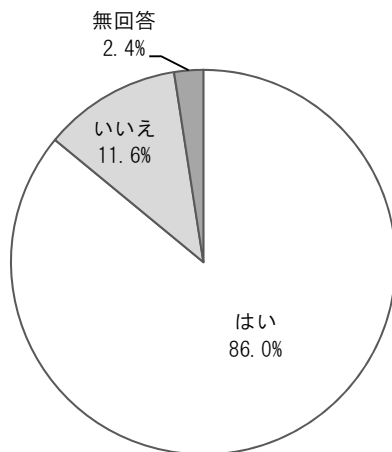


○要支援者の5分前に自分が何をしていたか思い出せるかでは、11.6%の方が思い出せないと回答しています。

○その日の活動を自分で判断できるかでは、「ほとんど判断できない」方は0.6%となっています。

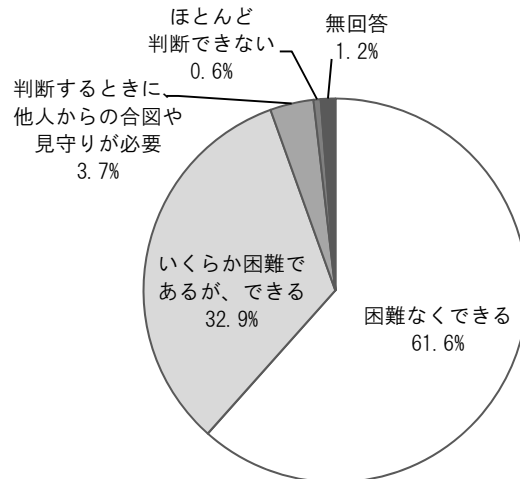
○人に自分の考えをうまく伝えられるかでは、「あまり伝えられない」(7.3%)と「ほとんど伝えられない」(0.6%)を合わせた7.9%が伝えられていない状況です。

問4-(19) 5分前に自分が何をしていたか
思い出せるか



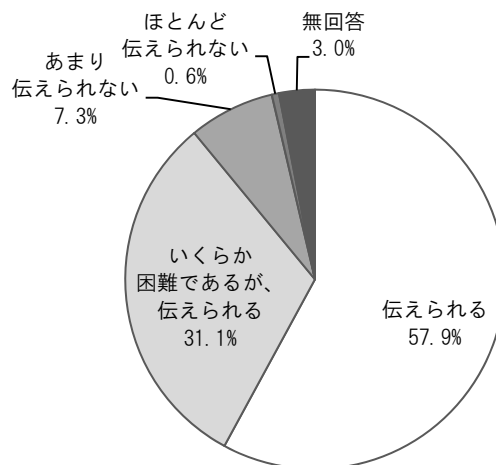
全体 n=164

問4-(20) その日の活動を自分で判断できるか



全体 n=164

問4-(21) 人に自分の考えをうまく伝えられるか

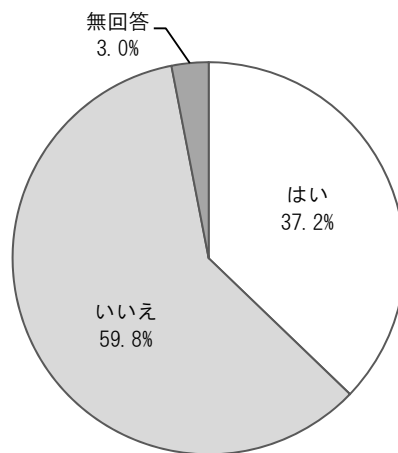


全体 n=164

(7) ゴミ出しの状況（市独自設問）

○要支援者のゴミ出しができていないかをみると、59.8%の方ができていないと回答しています。

問4-(24) ゴミ出しができていないか



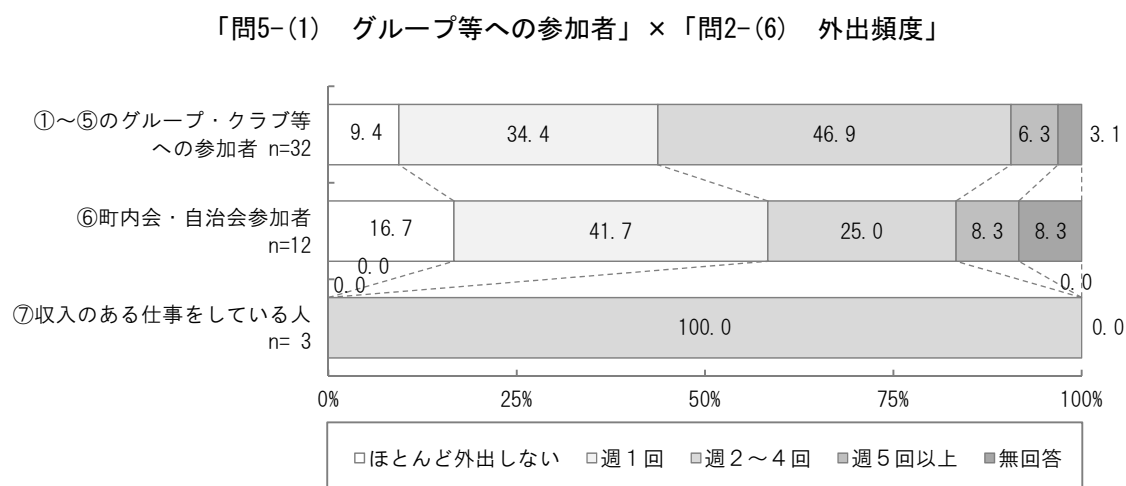
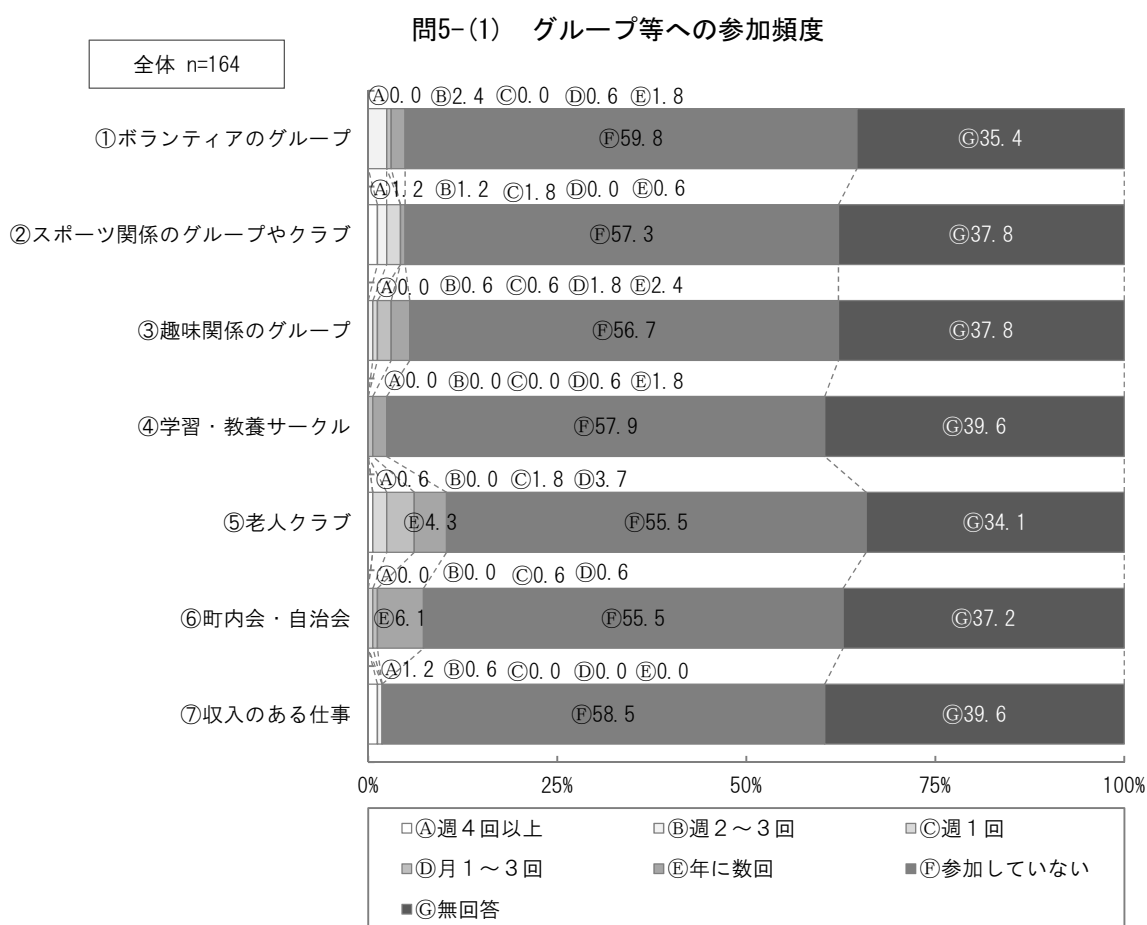
全体 n=164

5 地域での活動について

(1) グループ活動等の状況

○要支援者のグループ等への参加頻度をみると、週に1回以上の就労または参加している方は「②スポーツ関係のグループやクラブ」(4.2%)、「①ボランティアのグループ」「⑤老人クラブ」(各2.4%)、「⑦収入のある仕事」(1.8%)となっています。

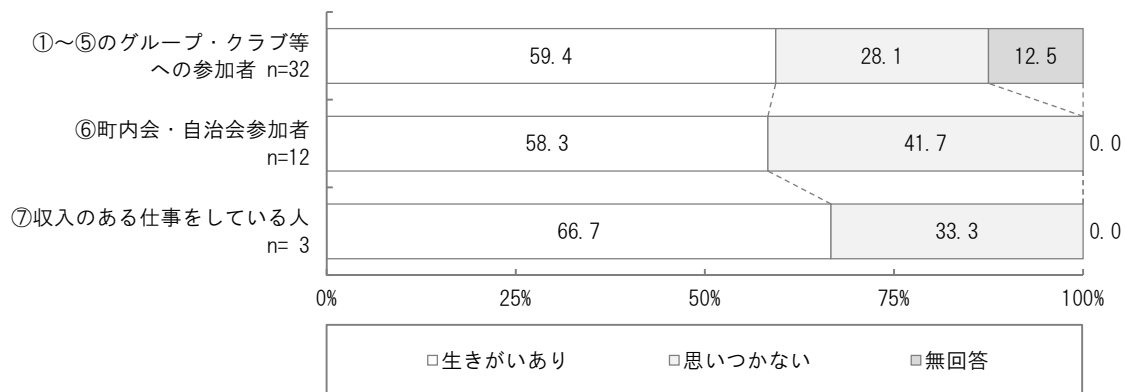
○また、グループ等への参加者の外出頻度では、「⑥町内会・自治会参加者」で週1回以下の方は58.4%となり、他のグループ等への参加者より外出が少ない状況です



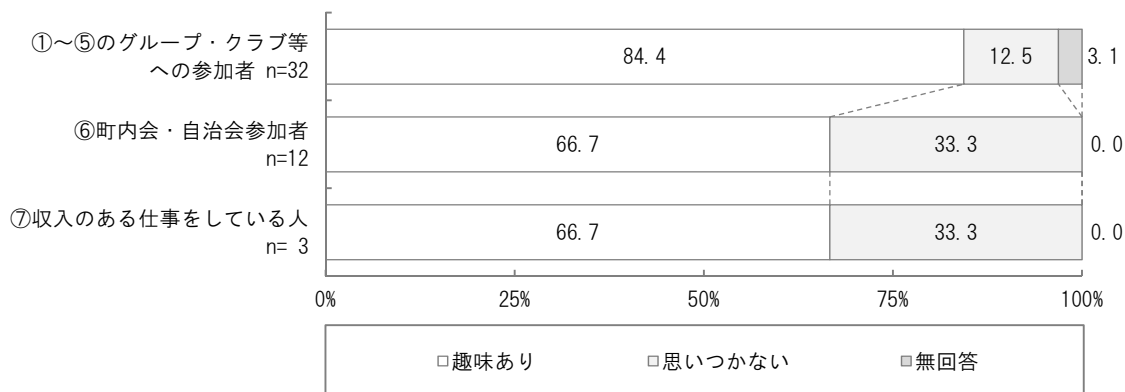
○要支援者のグループ等への参加者の生きがいの有無では、いずれの参加者も6割前後が生きがいがあると回答しています。

○グループ等への参加者の趣味の有無では、「①～⑤のグループ・クラブ等への参加者」で8割以上、他の参加者も6割以上が趣味があると回答しています。

「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(18) 生きがいの有無」



「問5-(1) グループ等への参加者」 × 「問4-(17) 趣味の有無」



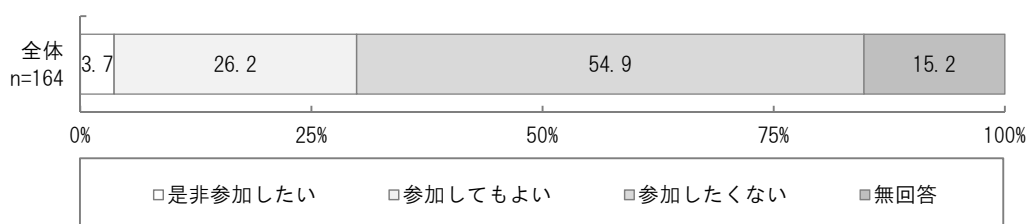
(2) 地域づくりに対する参加意向

○参加者としてグループ活動等に参加してみたいかでは、「是非参加したい」(3.7%)と「参加してもよい」(26.2%)を合わせた 29.9%の方が参加の意向です。

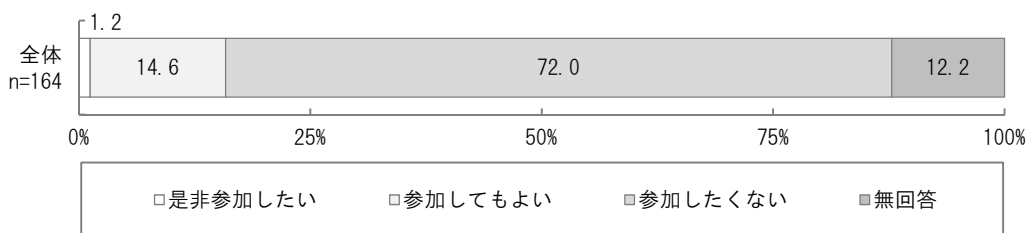
○企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいかでは、「是非参加したい」(1.2%)と「参加してもよい」(14.6%)を合わせた 15.8%の方が参加の意向です。一方、「参加したくない」方は 72.0%となっています。

○グループ活動等への参加希望者と企画・運営への参加希望者の健康感をみると、両者とも「まあ健康」(49.0%・46.2%)が最も高くなっています。なお、「とても健康」では後者が前者を 1.8 ポイント上回っています。

問5-(2) 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか

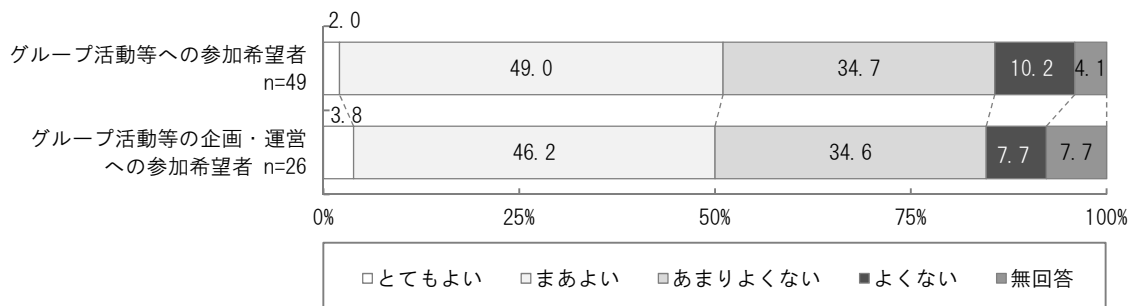


問5-(3) 企画・運営としてグループ活動等に参加してみたいか



「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」

× 「問7-(1) 主観的健康感」

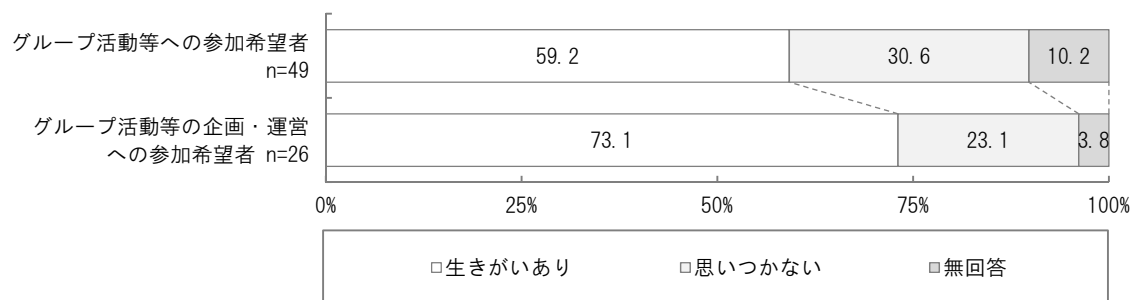


○要支援者のグループ活動および企画・運営への参加希望者の生きがいの有無では、「生きがいあり」で前者が59.2%、後者が73.1%と後者が13.9ポイント上回っています。

○グループ活動等および企画・運営への参加希望者の趣味の有無では、「趣味あり」で前者が71.4%、後者が65.4%と前者が6.0ポイント上回っています。

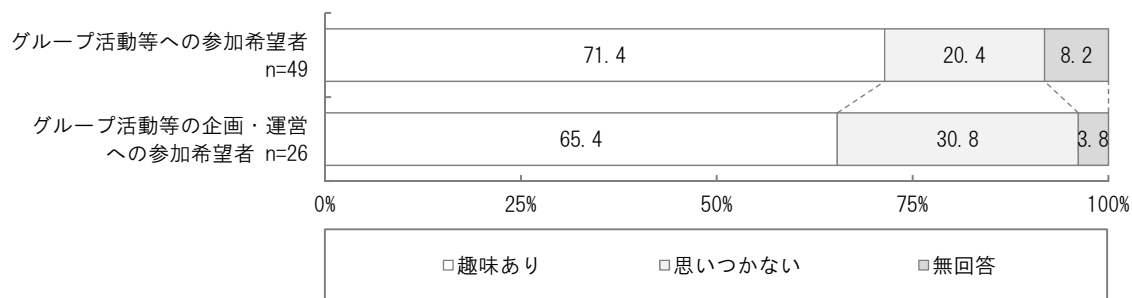
「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」

× 「問4-(18) 生きがいの有無」



「問5-(2) グループ活動等参加希望者」・「問5-(3) 企画・運営等参加希望者」

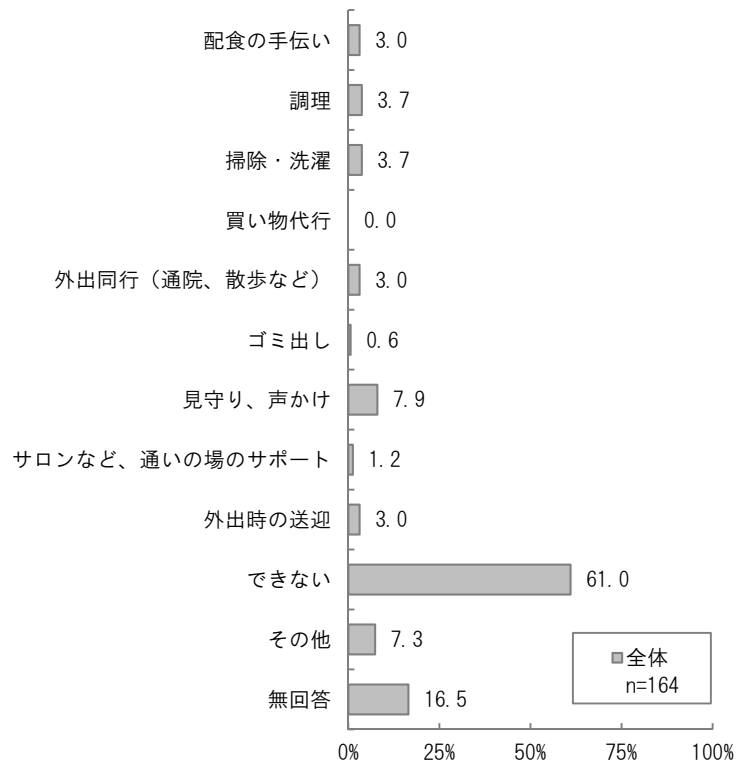
× 「問4-(17) 趣味の有無」



(3) 地域住民が生活支援サービスとして支援できるもの

○要支援者の地域でできる支援では、「見守り、声かけ」(7.9%)が最も高くなっています。一方、「できない」方は61.0%となっています。

問5-(4) 地域でできる支援内容

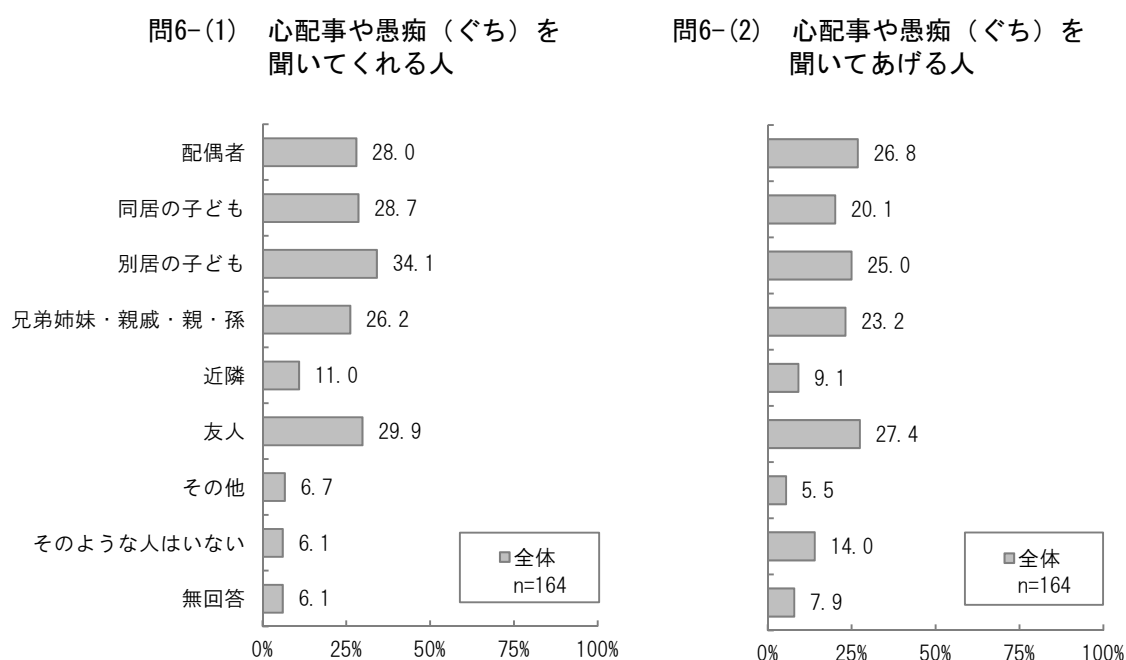


6 たすけあいについて

(1) 困った際に頼る相手または頼られる相手

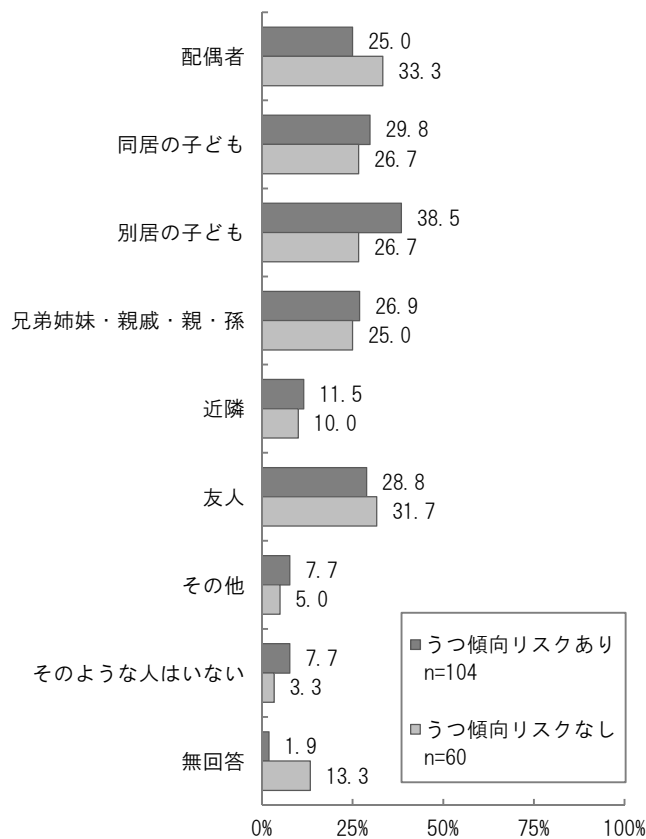
○要支援者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、「別居の子ども」（34.1％）が最も高く、次いで「友人」（29.9％）、「同居の子ども」（28.7％）、「配偶者」（28.0％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（26.2％）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は6.1％となっています。

○心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、「友人」（27.4％）が最も高く、次いで「配偶者」（26.8％）、「別居の子ども」（25.0％）、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（23.2％）、「同居の子ども」（20.1％）の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は14.0％となっています。



○要支援者の心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人をうつ傾向リスクのあり・なし別にみると、リスクありは「別居の子ども」（38.5%）、リスクなしは「配偶者」（33.3%）が最も高く、次いでリスクありでは「同居の子ども」（29.8%）、リスクなしでは「友人」（31.7%）を順に挙げています。一方、「そのような人はいない」方は前者が7.7%、後者が3.3%となっています。

「問6-(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人」×「うつ傾向リスク有無」

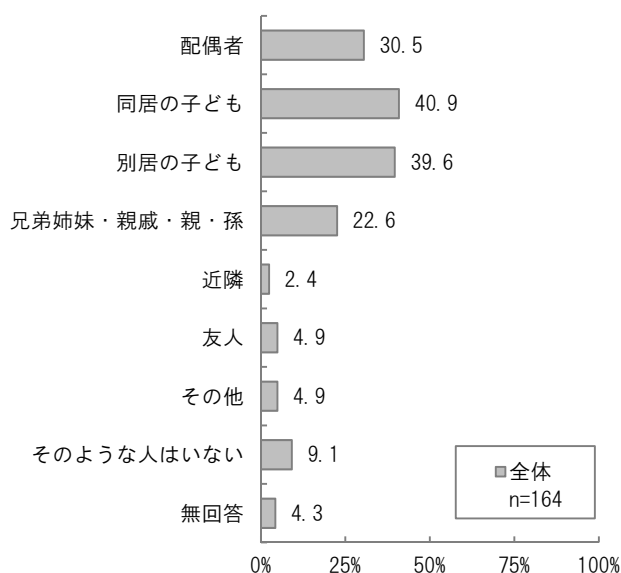


○要支援者の病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「同居の子ども」(40.9%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(39.6%)、「配偶者」(30.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(22.6%)の順となっています。

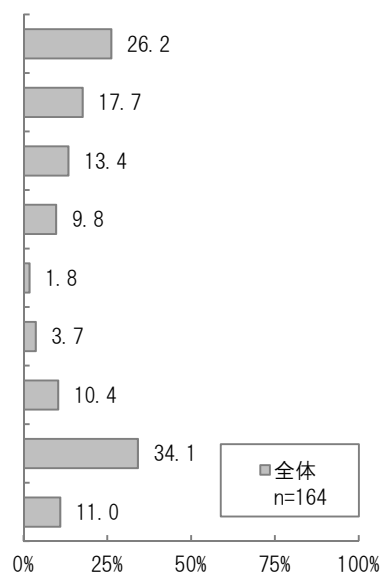
○看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」(26.2%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(17.7%)、「別居の子ども」(13.4%)の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は34.1%となっています。

○家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「ケアマネジャー」(43.9%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」(29.3%)、「医師・歯科医師・看護師」(25.6%)の順となっています。一方、「そのような人はいない」方は18.9%となっています。

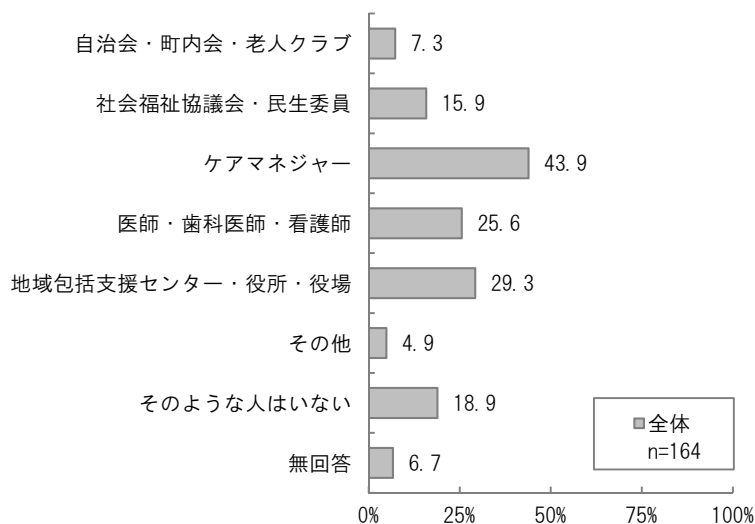
問6-(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人



問6-(4) 看病や世話をしてあげる人



問6-(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



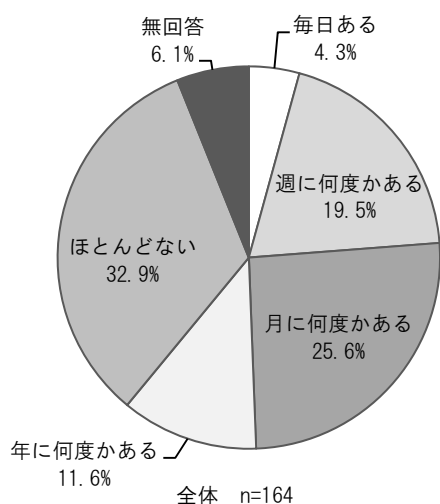
(2) 友人・知人との交流状況

○要支援者の友人・知人と会う頻度は、「ほとんどない」(32.9%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(25.6%)、「週に何度かある」(19.5%)、「年に何度かある」(11.6%)の順となっています。

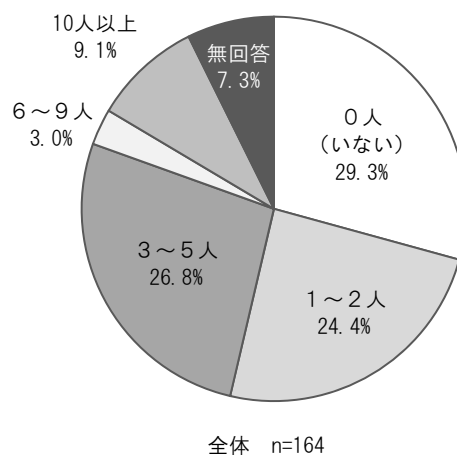
○1か月間、何人の友人・知人と会ったかでは、「3～5人」(26.8%)が最も高く、次いで「1～2人」(24.4%)の順となっています。一方、「0人(いない)」方は29.3%となっています。

○よく会う友人・知人はどんな関係の人かは、「近所・同じ地域の人」(43.9%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(16.5%)、「仕事での同僚・元同僚」(12.8%)、「学生時代の友人」(10.4%)の順となっています。一方、「いない」方は22.0%となっています。

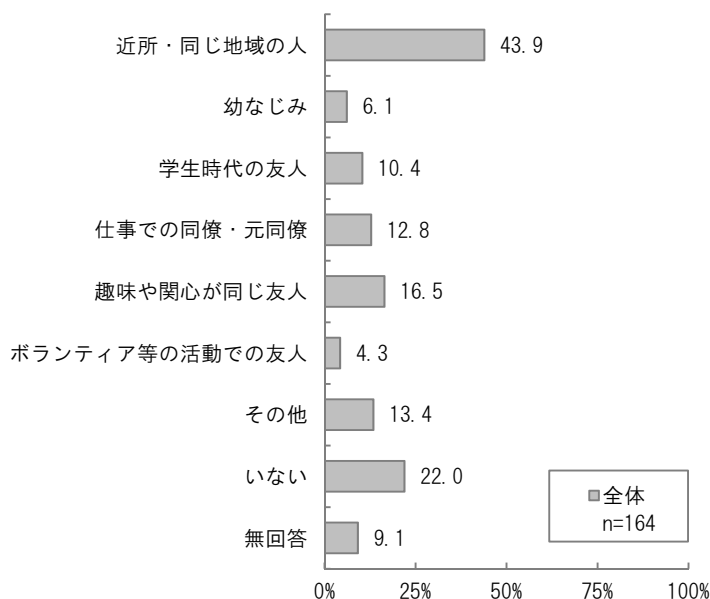
問6-(6) 友人・知人と会う頻度



問6-(7) 何人の友人・知人と会ったか
(最近1か月間)



問6-(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人か

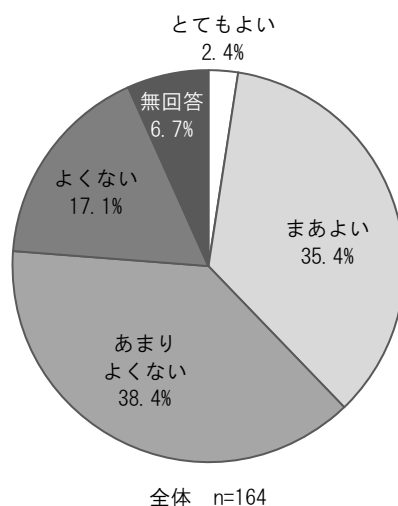


7 健康について

(1) 健康状態

○要支援者の現在の主観的健康感をみると、「とてもよい」(2.4%)、「まあよい」(35.4%)を合わせた37.8%の方が健康と感じています。

問7-(1) 現在の健康状態はいかがですか

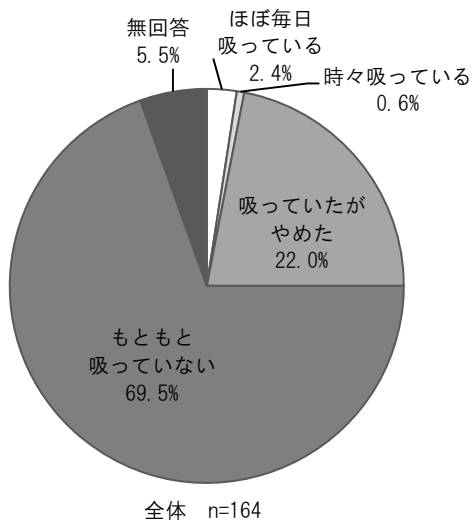


(2) 疾病と喫煙や飲酒の関係

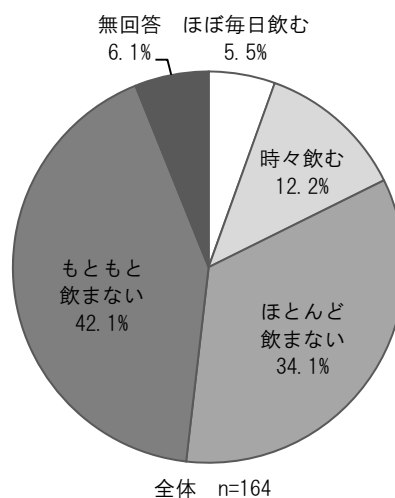
○要支援者の喫煙の有無では、「ほぼ毎日吸っている」(2.4%)と「時々吸っている」(0.6%)を合わせた3.0%の方が喫煙しています。

○飲酒の有無では、「ほぼ毎日飲む」(5.5%)と「時々飲む」(12.2%)を合わせた17.7%の方が飲酒しています。

問7-(5) 喫煙の有無

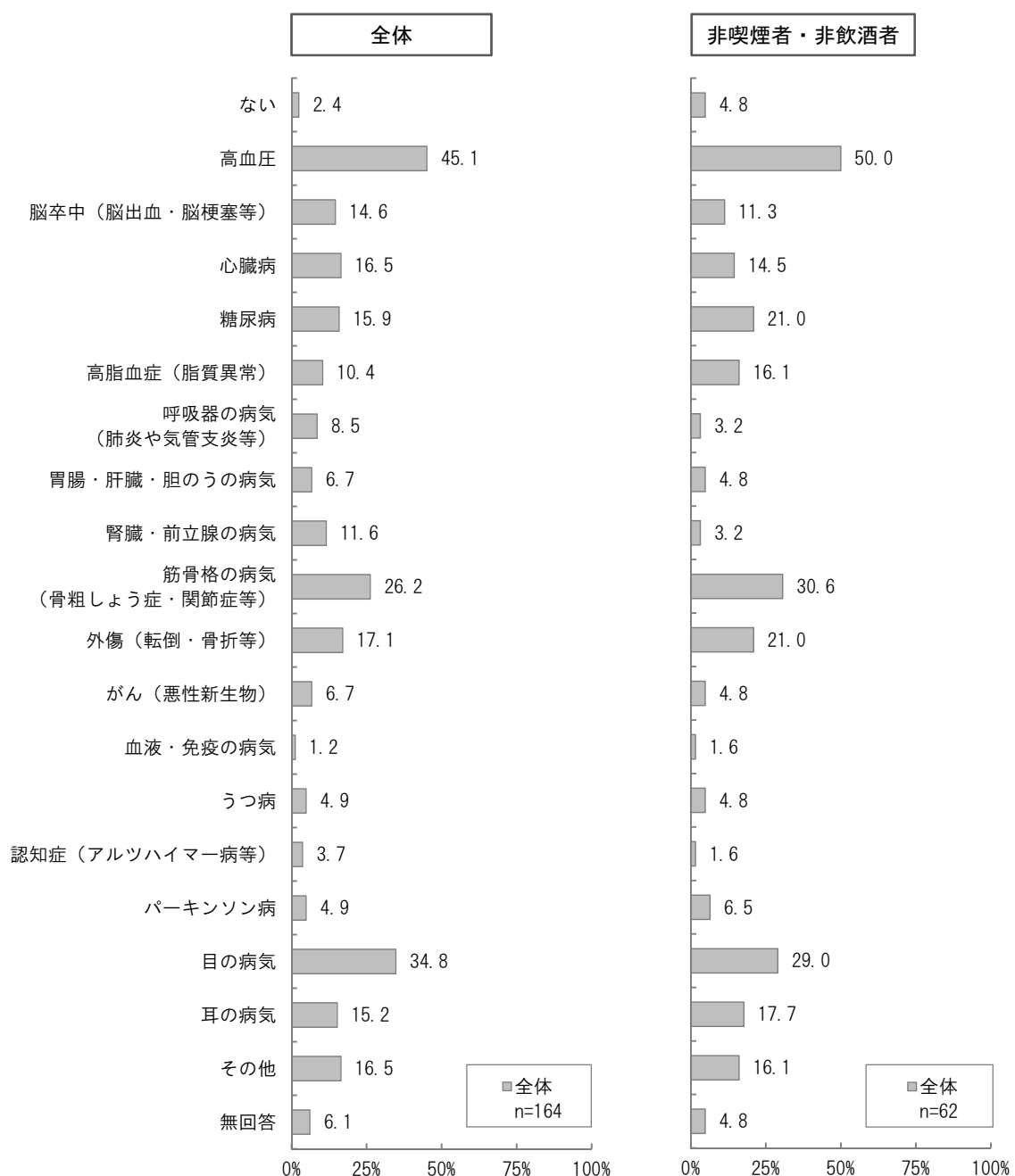


問7-(7) 飲酒の有無



- 要支援者の現在治療中、または後遺症のある病気の有無をみると、全体では「高血圧」(45.1%)が最も高く、次いで「目の病気」(34.8%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(26.2%)の順となっています。
- 一方、非喫煙者・非飲酒者では、「高血圧」(50.0%)が最も高く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(30.6%)、「目の病気」(29.0%)、「糖尿病」「外傷(転倒・骨折等)」(各21.0%)の順となっています。
- また、全体と非喫煙者・非飲酒者を比較すると、喫煙や飲酒に起因する「脳卒中(脳出血・脳梗塞)」「心臓病」「糖尿病」「がん(悪性新生物)」の割合は「糖尿病」以外は後者が下回っています。一方、同様に生活習慣病である「高血圧」では後者の割合が高いことから疾病により医師から喫煙及び飲酒を止められている方も多いと思われます。

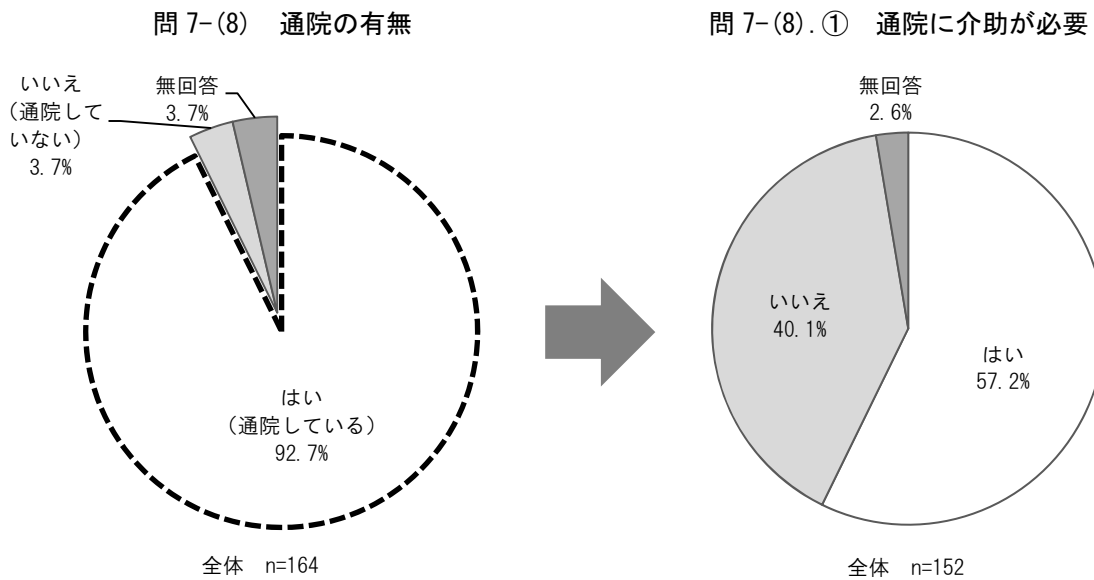
問7-(6) 現在治療中、または後遺症のある病気の有無



(3) 通院の状況

○要支援者の通院の有無では、92.7%の方が通院していると回答しています。

○通院に介助が必要かでは、57.2%の方が「はい」と回答しています。



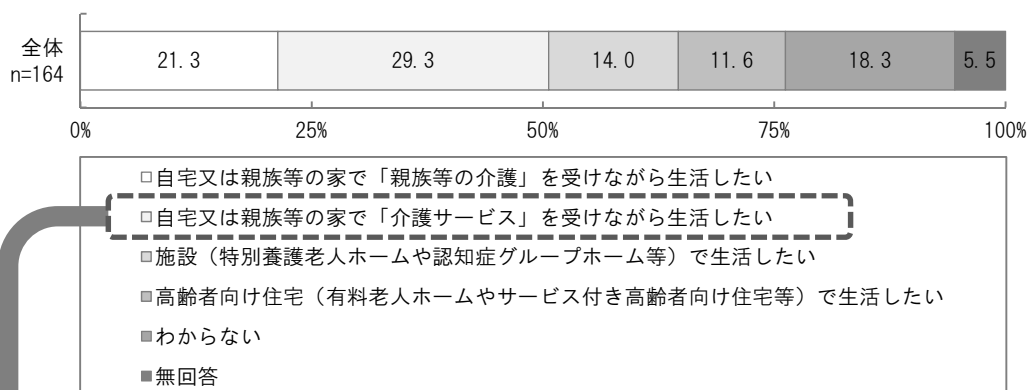
8 介護等が必要になった場合の生活について

(1) 生活場所やサービス利用の意向

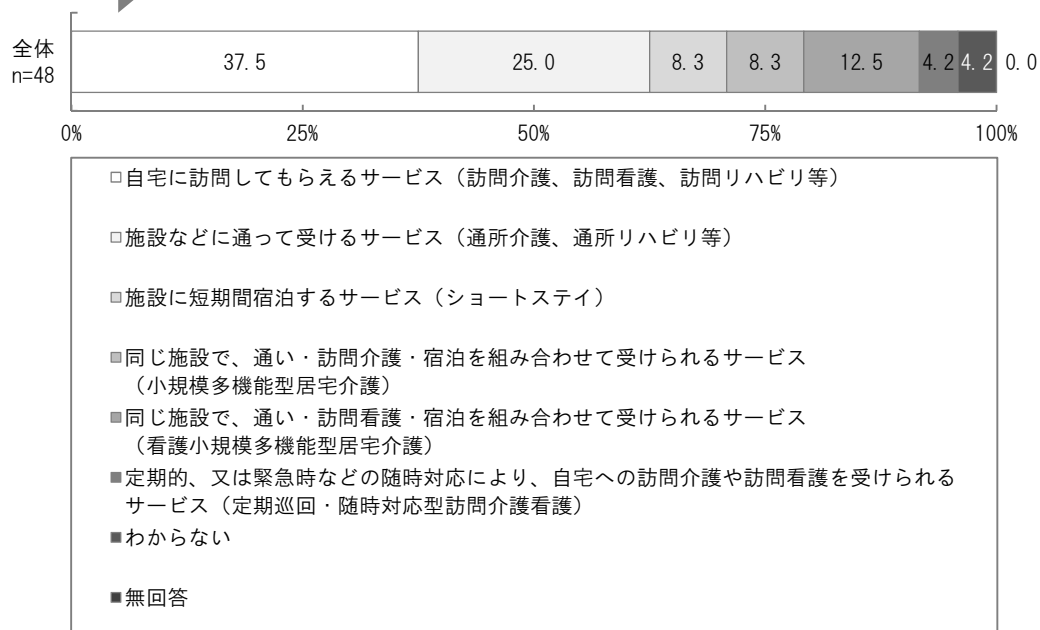
○要支援者の介護が必要になった場合、どこで生活をしたいかをみると、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」(29.3%)が最も高くなっています。

○また、「自宅又は親族等の家で『介護サービス』を受けながら生活したい」と回答した方が受ける介護サービスは、「自宅に訪問してもらえるサービス(訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ等)」(37.5%)が最も高く、次いで「施設などに通って受けるサービス(通所介護、通所リハビリ等)」(25.0%)、「同じ施設で、通い・訪問看護・宿泊を組み合わせるサービス(看護小規模多機能型居宅介護)」(12.5%)の順となっています。

問8-(1) 介護が必要になった場合、どこで生活をしたいか



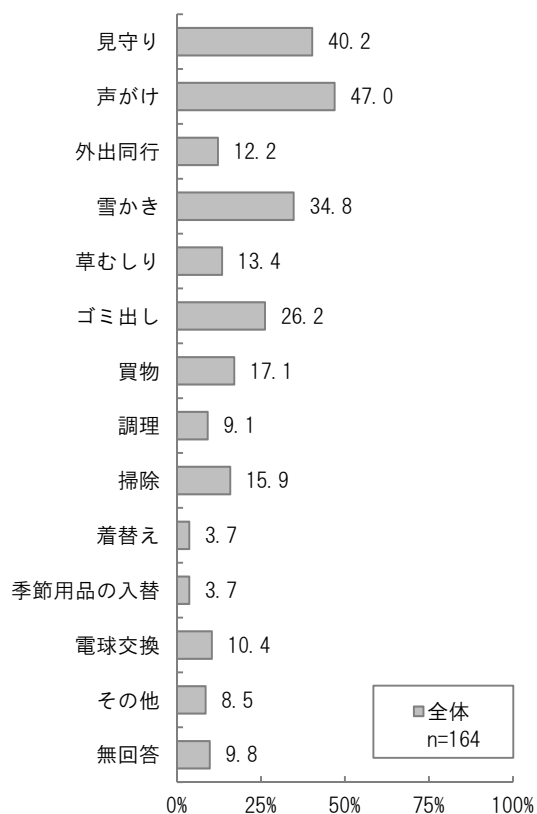
問8-(1).① どのような介護サービスを受けたいか



(2) 近隣からの支援に望むこと

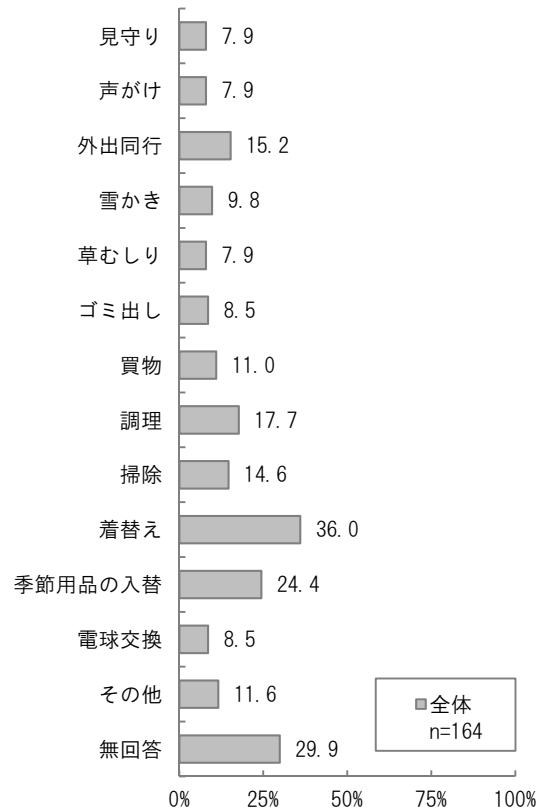
○要支援者の介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいことは、「声かけ」(47.0%)が最も高く、次いで「見守り」(40.2%)、「雪かき」(34.8%)、「ゴミ出し」(26.2%)、「買物」(17.1%)、「掃除」(15.9%)、「草むしり」(13.4%)、「外出同行」(12.2%)、「電球交換」(10.4%)の順となっています。

問8-(2) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたいこと



○一方、近隣の人に頼みたくないことは、「着替え」(36.0%)が最も高く、次いで「季節用品の入替」(24.4%)、「調理」(17.7%)、「外出同行」(15.2%)、「掃除」(14.6%)、「買物」(11.0%)の順となっています。

問8-(3) 介護が必要になった場合、近隣の人に頼みたくないこと



9 山形市の施策について

(1) 認知症予防への支援

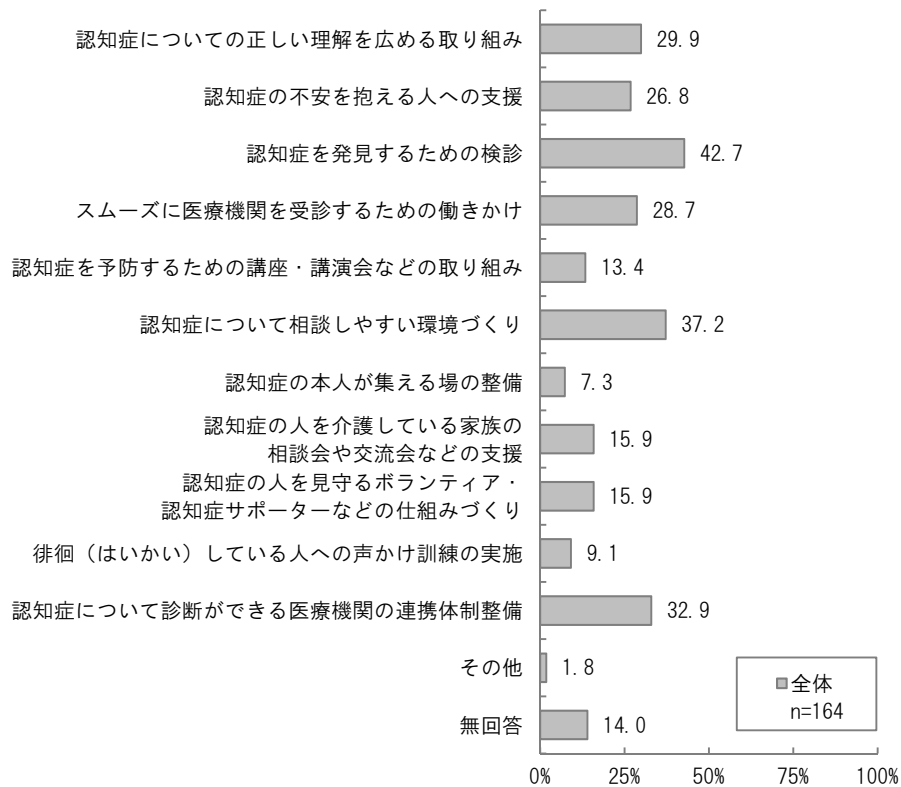
○要支援者の認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところをみると、「かかりつけ医」(54.9%)が最も高く、次いで「ケアマネジャー(介護支援専門員)」(18.3%)、「認知症専門医(精神科・神経内科等)」(10.4%)となっています。

問9-(1) 認知症ではないかと感じた場合、最初に相談したいところ

全体 n=164	回答者数	割合
かかりつけ医	90人	54.9%
認知症サポート医	5人	3.0%
認知症専門医(精神科・神経内科等)	17人	10.4%
地域包括支援センター	8人	4.9%
ケアマネジャー(介護支援専門員)	30人	18.3%
民生委員・福祉協力員	3人	1.8%
介護サービス事業者	3人	1.8%
市役所などの行政機関	1人	0.6%
認知症の人と家族の会	0人	0.0%
認知症サポーター	0人	0.0%
薬局	0人	0.0%
その他	0人	0.0%
無回答	7人	4.3%

○認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきことは、「認知症を発見するための検診」(42.7%)が最も高く、次いで「認知症について相談しやすい環境づくり」(37.2%)、「認知症について診断ができる医療機関の連携体制整備」(32.9%)の順となっています。

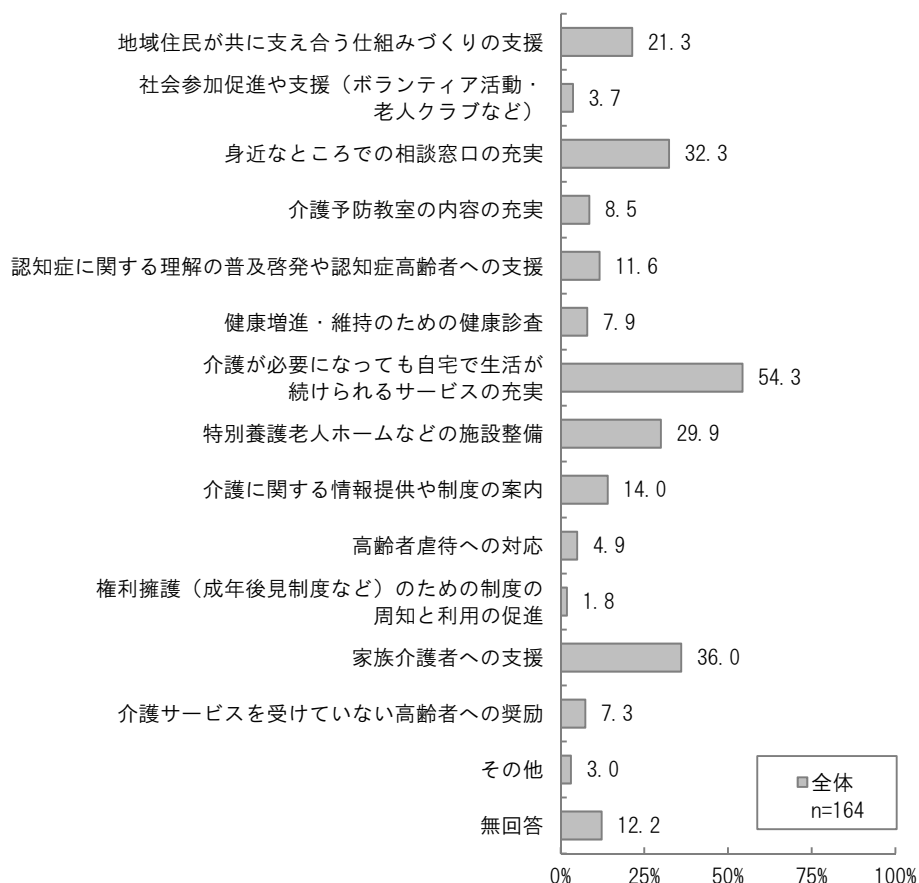
問9-(2) 認知症の早期発見・支援のために市が重点を置くべきこと



(2) 高齢者保健福祉への取組

○要支援者の高齢者保健福祉について、市が取り組むべきことをみると、「介護が必要になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実」(54.3%)が最も高く、次いで「家族介護者への支援」(36.0%)、「身近なところでの相談窓口の充実」(32.3%)、「特別養護老人ホームなどの施設整備」(29.9%)、「地域住民が共に支え合う仕組みづくりの支援」(21.3%)の順となっています。

問9-(3) 高齢者保健福祉について、市が取り組むべきこと

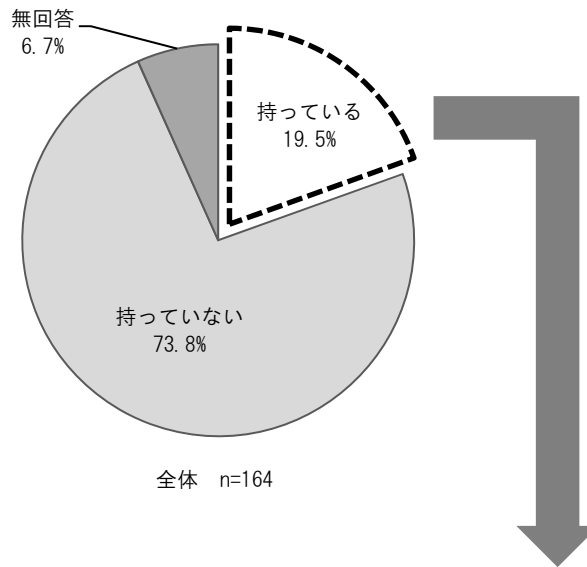


10 自動車の運転について

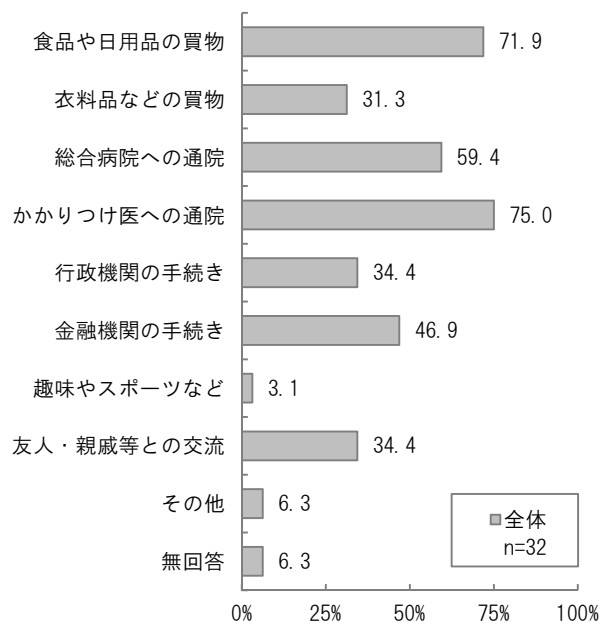
○要支援者の自動車の運転免許証の所持状況は、「もっている」方が 19.5%となっています。

○自動車の運転をやめたら日常生活で困ることをみると、「かかりつけ医への通院」(75.0%)が最も高く、次いで「食品や日用品の買物」(71.9%)、「総合病院への通院」(59.4%)、「金融機関の手続き」(46.9%)、「行政機関の手続き」「友人・親戚等との交流」(各 34.4%)、「衣料品などの買物」(31.3%)の順となっています。

問10-(1) 自動車の運転免許証を持っているか



問10-(1).① 自動車の運転をやめたら日常生活で困ること



第6章

在宅介護実態調査結果

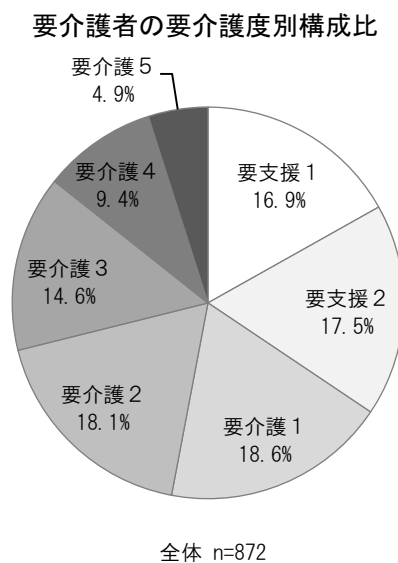
(主な家族介護者)

第6章 在宅介護実態調査結果

1 ご本人（要介護者）の状況について

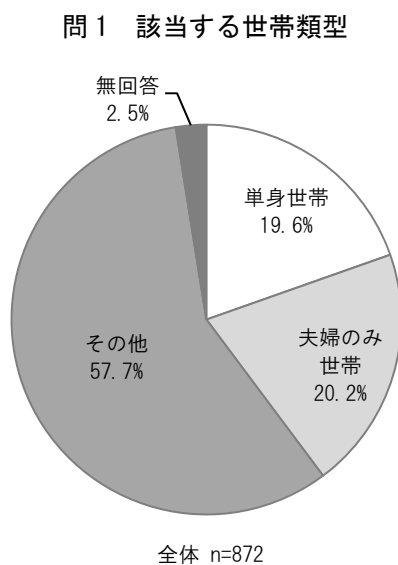
(1) 要介護者の要介護度

○要介護者の要介護度をみると、「要介護1」（18.6%）が最も高く、次いで「要介護2」（18.1%）、「要支援2」（17.5%）、「要支援1」（16.9%）、「要介護3」（14.6%）の順となっています。



(2) 要介護者の世帯状況

○要介護者に該当する世帯類型をみると、「その他」（57.7%）が最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」（20.2%）、「単身世帯」（19.6%）の順となっています。

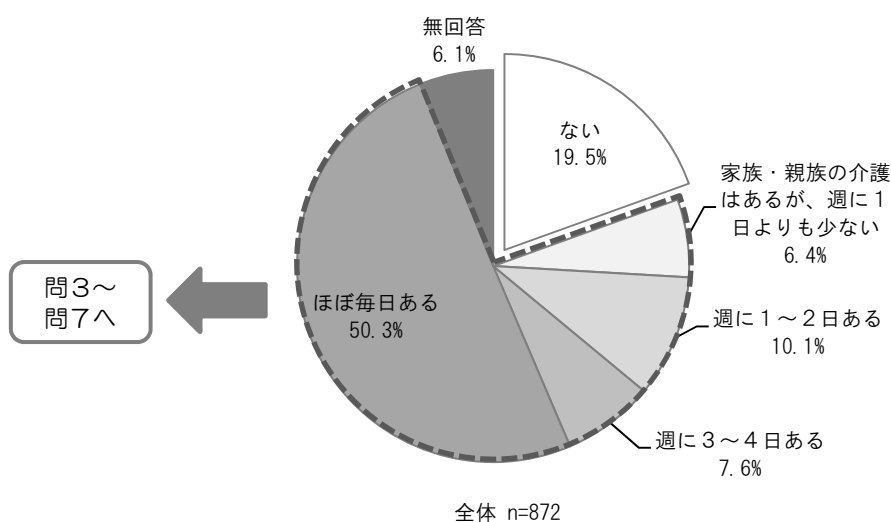


(3) 家族・親族による介護の頻度

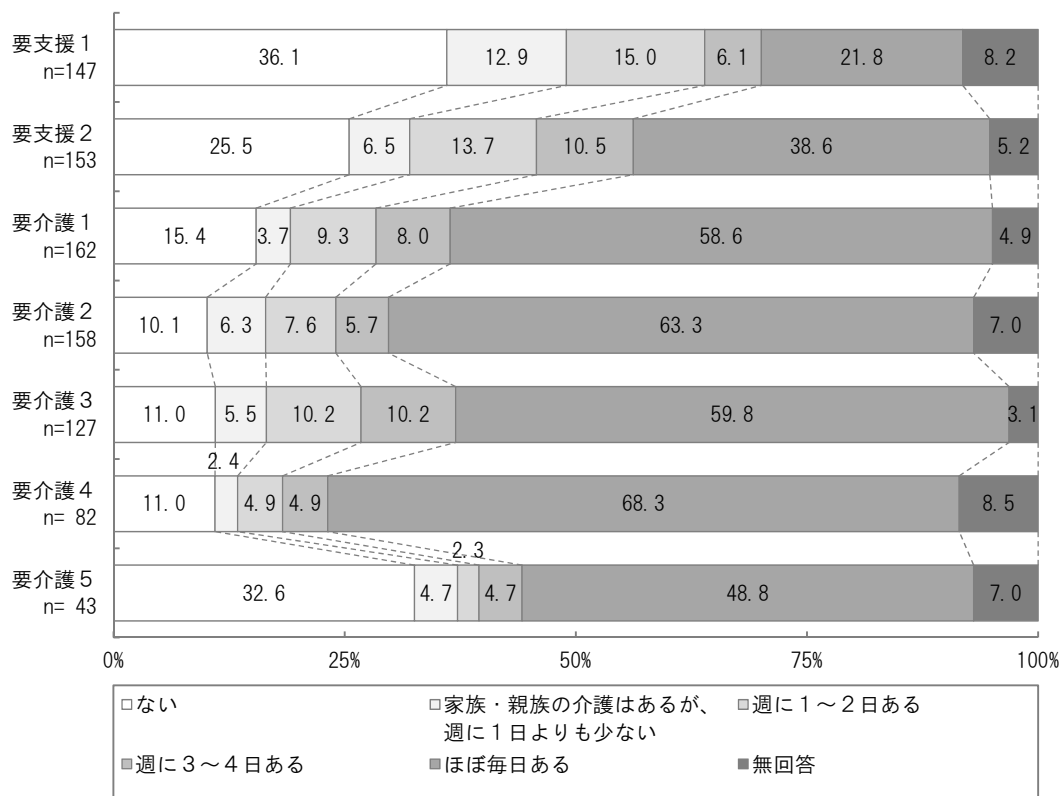
○家族・親族から介護してもらう頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(50.3%)が最も高く、次いで「ない」(19.5%)、「週に1～2日ある」(10.1%)の順となっています。

○要介護度別にみた家族・親族による介護の頻度は、要支援1では「ない」(36.1%)が最も高く、次いで「ほぼ毎日ある」(21.8%)となり、一方、要支援2及び要介護1～5では、「ほぼ毎日ある」(68.3～38.6%)が最も高く、次いで「ない」(32.6～10.1%)となっています。

問2 家族・親族から介護してもらう頻度

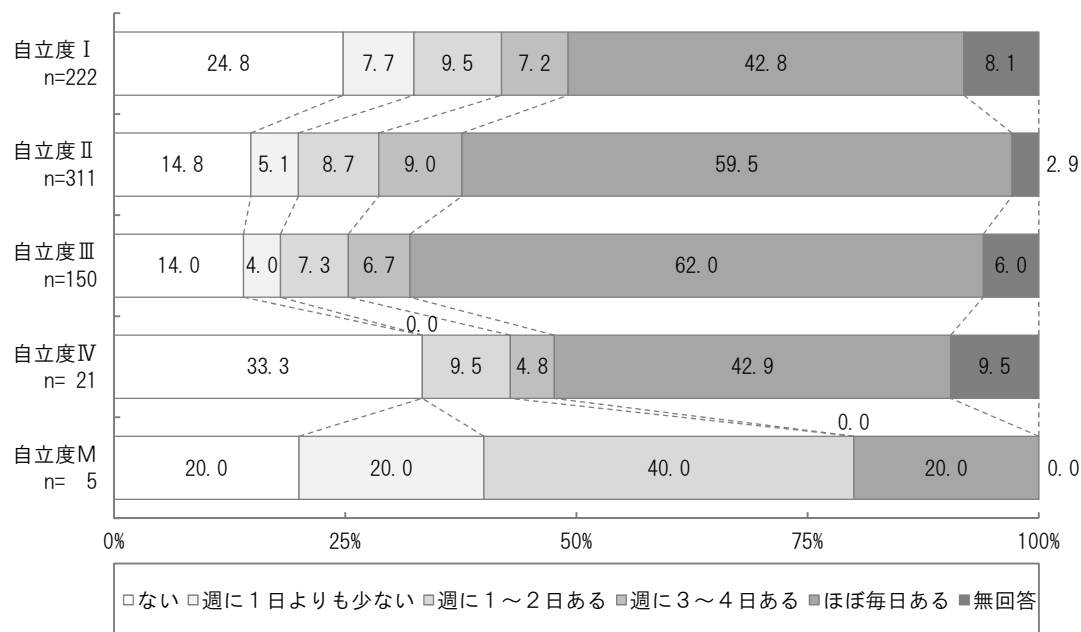


「要介護度」×「問2 家族・親族から介護してもらう頻度」



○認知症高齢者日常生活自立度別にみた家族・親族による介護の頻度は、自立度Ⅰ～Ⅳでは「ほぼ毎日ある」(62.0～42.8%)が最も高く、次いで「ない」(33.3～14.0%)となっています。

「認知症高齢者日常生活自立度」×「問2 家族・親族から介護してもらう頻度」



※認定データとの突合

※認知症高齢者日常生活自立度・・・高齢者の認知症や障害の程度を踏まえた介護の度合いをレベルごとに分類したもの。

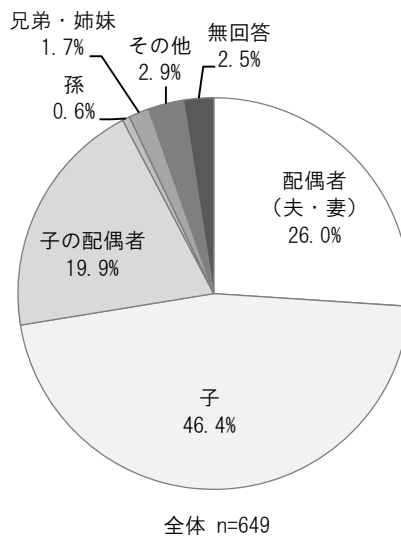
- Ⅰ：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
- Ⅱ：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
- Ⅲ：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
- Ⅳ：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
- M：著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

2 主な介護者等の状況（属性等）について

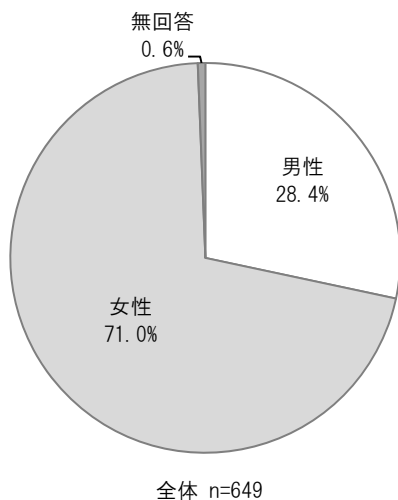
（1）主な介護者の状況

- 要介護者からみた主な介護者は、「子」(46.4%)が最も高く、次いで「配偶者」(26.0%)、「子の配偶者」(19.9%)の順となっています。
- 主な介護者の性別は、「女性」(71.0%)が「男性」(28.4%)の2.5倍となっています。
- 主な介護者の年齢は、「60～69歳」(35.0%)が最も高く、次いで「50～59歳」(24.3%)、「80歳以上」(16.6%)、「70～79歳」(16.3%)の順となっており、70歳の介護者が3割を超えています。

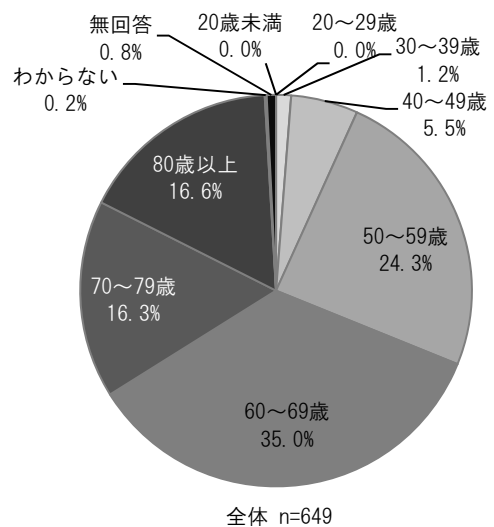
問3 要介護者からみた主な介護者



問4 主な介護者の性別



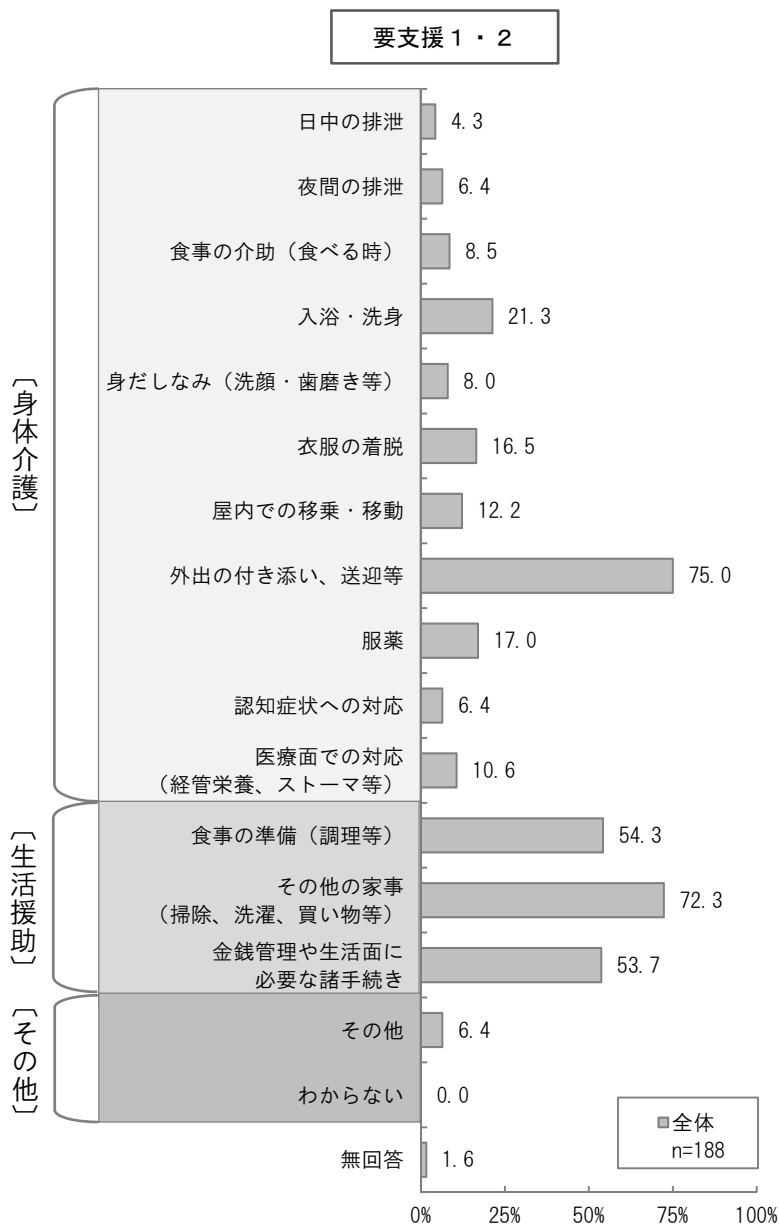
問5 主な介護者の年齢



(2) 主な介護者の介護実態

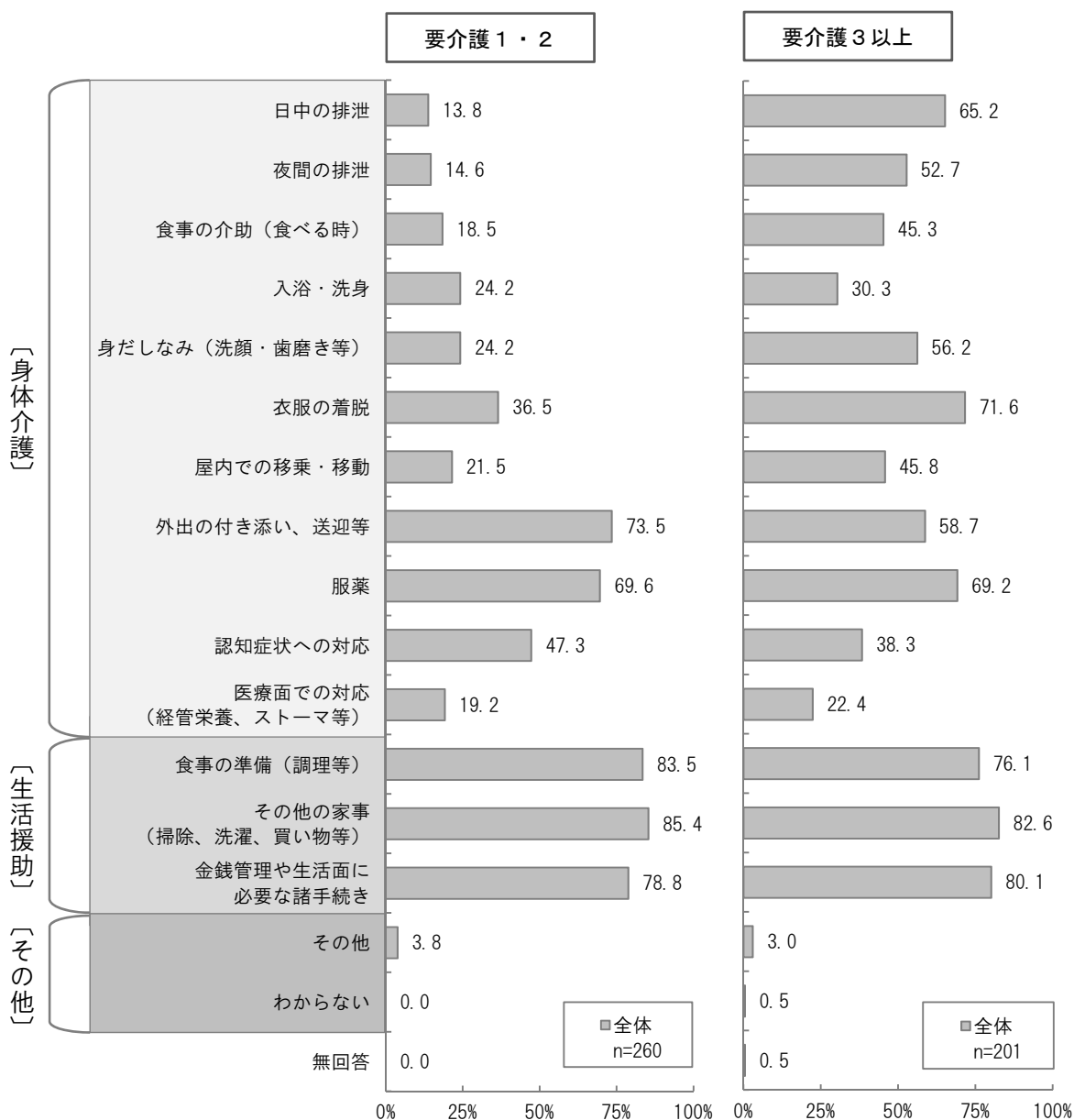
- 主な介護者の方が行っている介護をみると、要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(75.0%)が高くなっています。
- 要支援1・2の方の生活援助では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(72.3%)、「食事の準備(調理等)」(54.3%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(53.7%)が高くなっています。

問6 主な介護者の方が行っている介護



○主な介護者の方が行っている介護をみると、要介護1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(73.5%)、「服薬」(69.6%)、要介護3以上の方では「衣服の着脱」(71.6%)、「服薬」(69.2%)、「日中の排泄」(65.2%)が高くなっています。

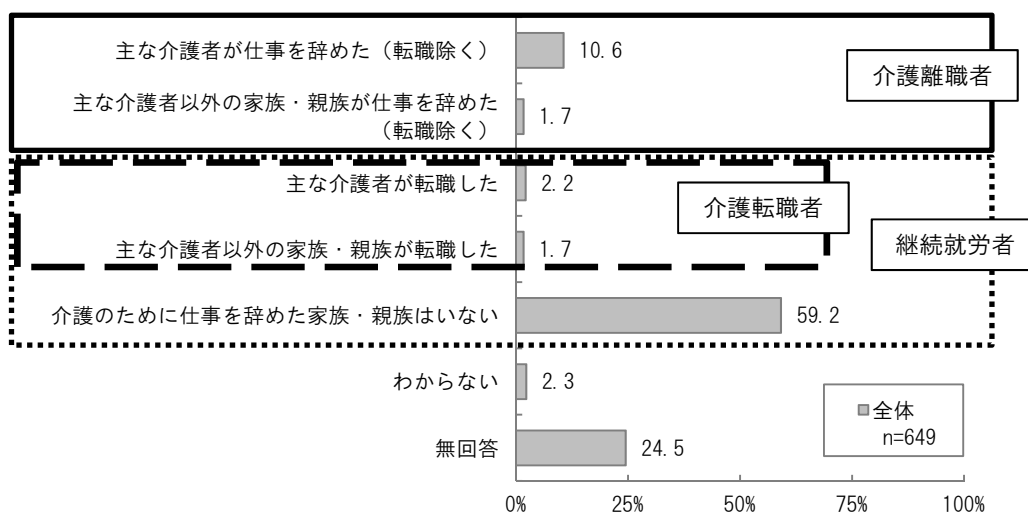
○要介護1・2の方の生活援助では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(85.4%)、「食事の準備(調理等)」(83.5%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(78.8%)、要介護3以上では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(82.6%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(80.1%)、「食事の準備(調理等)」(76.1%)の順に高くなっています。



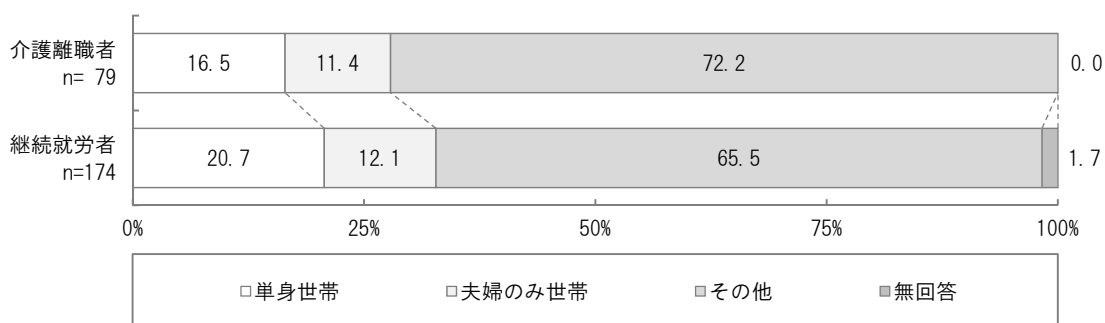
(3) 家族介護のために離職した状況

- 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無をみると、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(10.6%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」(1.7%)を合わせた12.3%の方が離職し、また「主な介護者が転職した」(2.2%)、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」(1.7%)を合わせた3.9%の方が転職しています。
- 世帯類型では、介護離職者と継続就労者とも「その他」の世帯が72.2%・65.5%、次いで「単身世帯」が16.5%・20.7%、「夫婦のみ世帯」が11.4%・12.1%の順となっています。

問7 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無



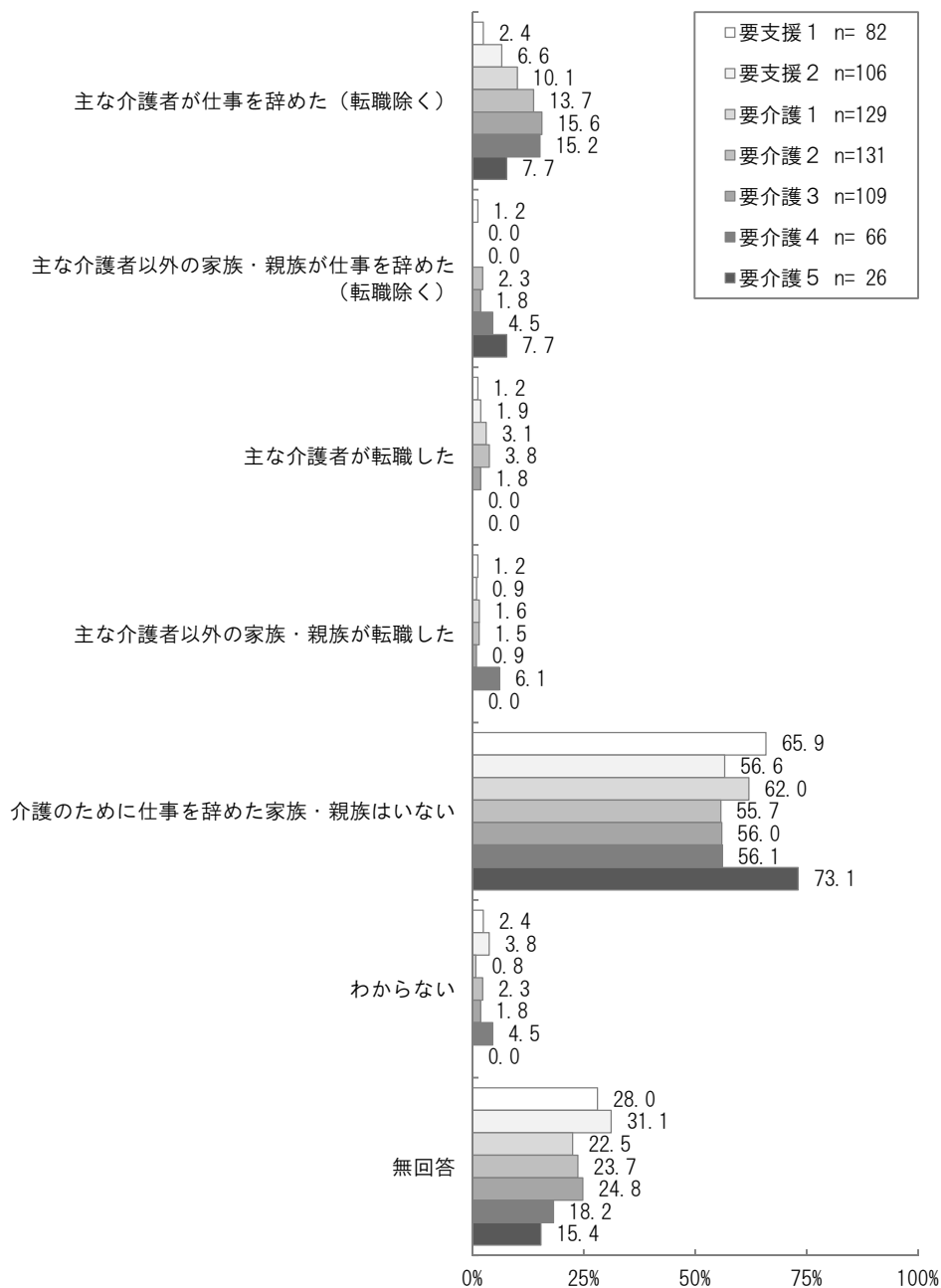
「介護離職者・継続就労者別」×「問1 該当する世帯類型」



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

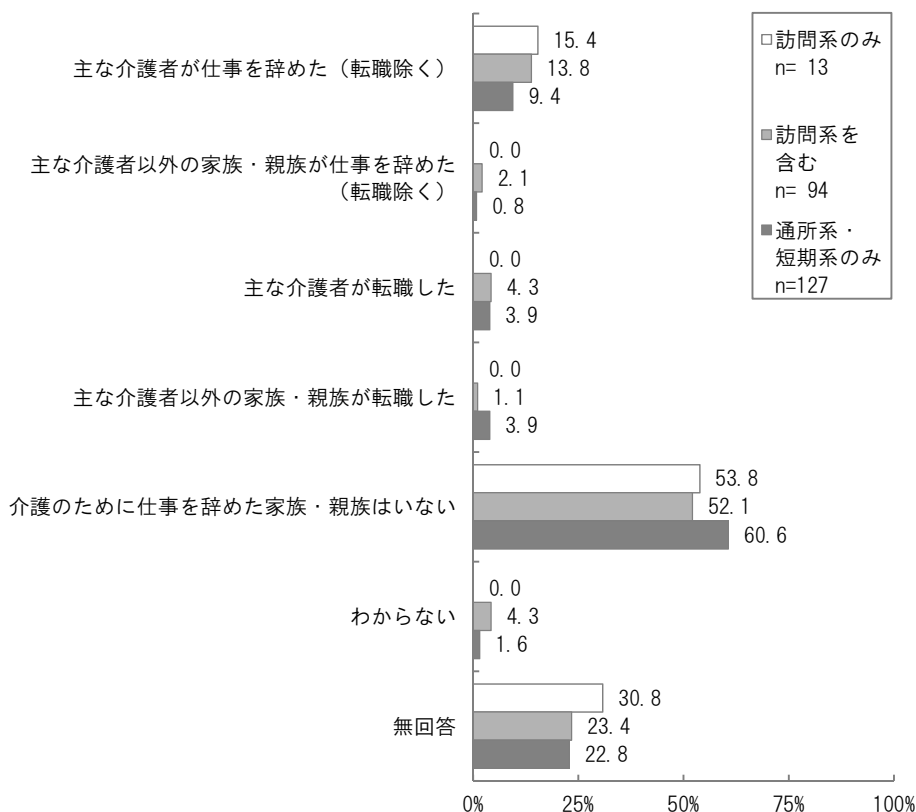
○要介護度別にみた家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無では、要支援1・2、要介護1～5で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(73.1～55.7%)が最も高くなっています。

「要介護度」×「問7 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無」



○サービス利用状況別にみた家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」方の訪問系のみが53.8%、訪問系を含むサービス利用状況が52.1%、通所系・短期系のみが60.6%と最も高くなっています。

「サービス利用状況」×「問7 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無」



※認定データとの突合

3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

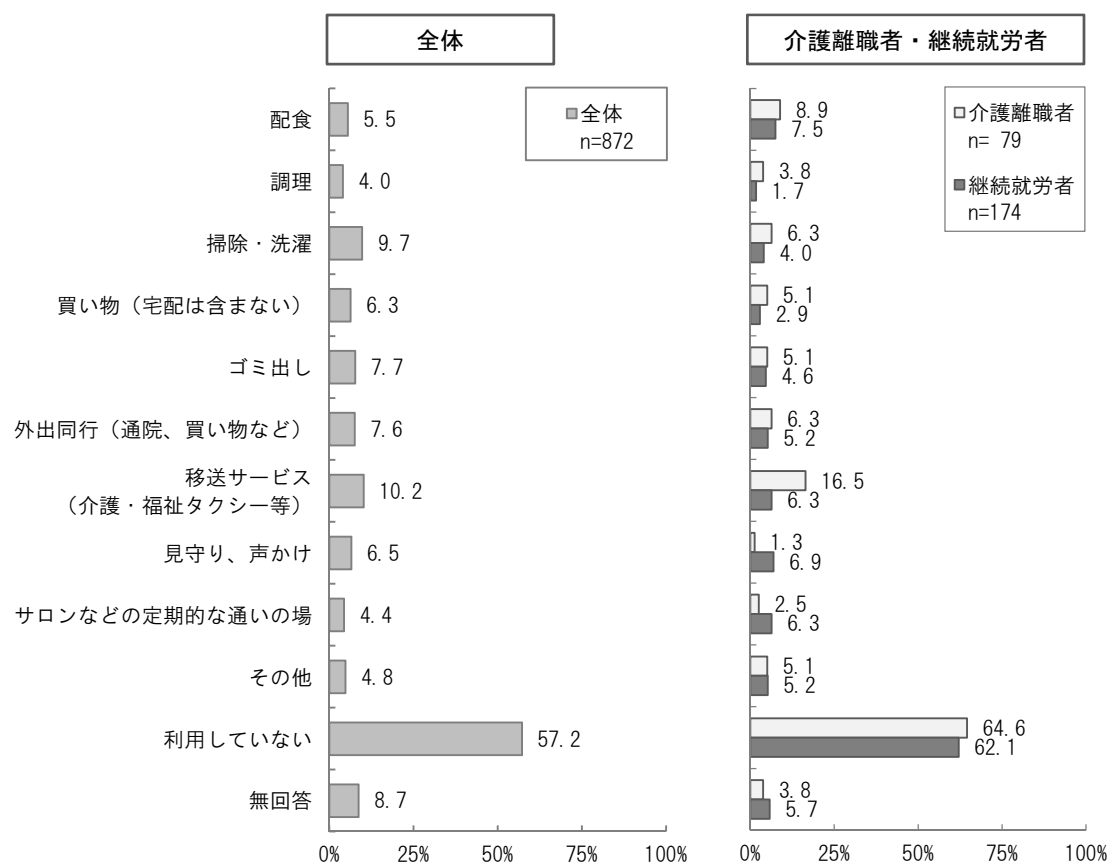
(1) 在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス

○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では「利用していない」(57.2%)が最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(10.2%)となっています。

○介護離職者と継続就労者ともに「利用していない」(64.6%・62.1%)が最も高く、次いで介護離職者は「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(16.5%)となっています。

○介護離職者と継続就労者との差異では「見守り・声かけ」「サロンなどの定期的な通いの場」において継続就労者の利用意向が上回っています。

問8 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

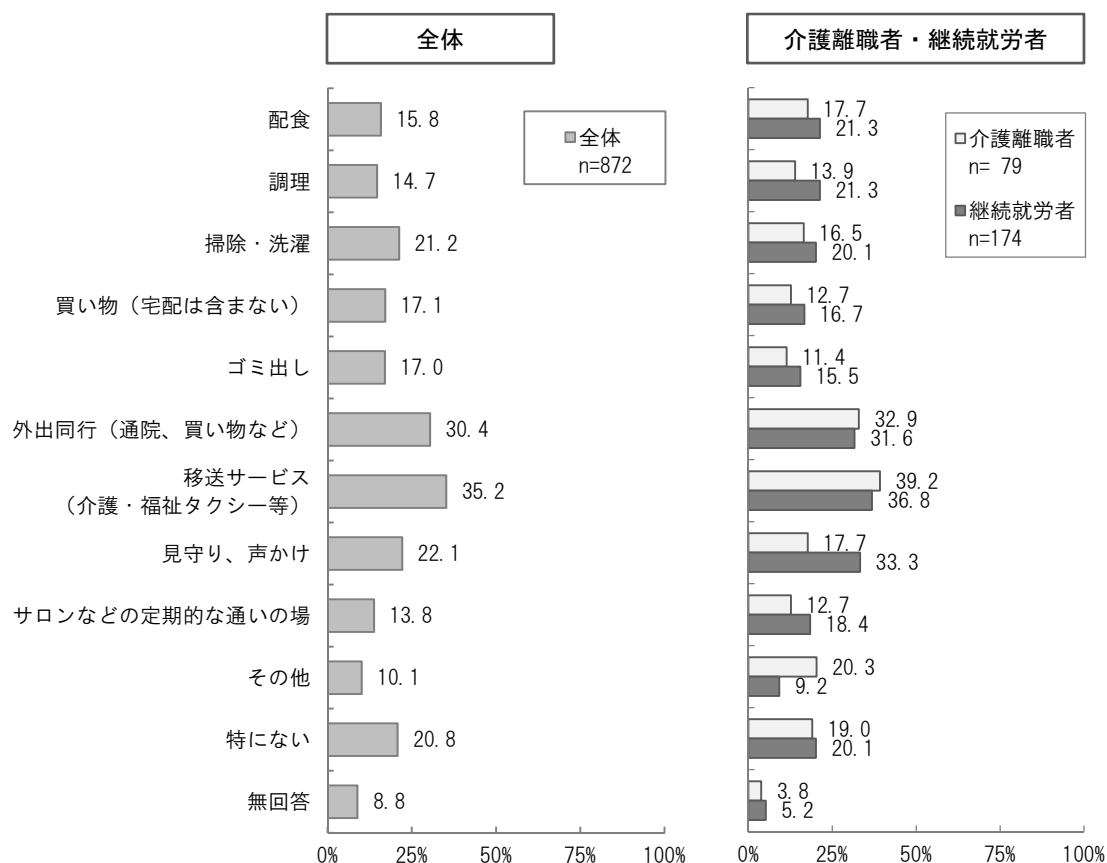
○在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスの意向をみると、全体では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（35.2%）が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（30.4%）、「見守り、声かけ」（22.1%）、「掃除・洗濯」（21.2%）の順となっています。

○介護離職者では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（39.2%）が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（32.9%）、「配食」「見守り・声かけ」（各17.7%）、「掃除・洗濯」（16.5%）、「調理」（13.9%）、「買い物（宅配は含まない）」「サロンなどの定期的な通いの場」（各12.7%）、「ゴミ出し」（11.4%）の順となっています。

○一方、継続就労者は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（36.8%）、「見守り、声かけ」（33.3%）、「外出同行（通院、買い物など）」（31.6%）、「配食」「調理」（各21.3%）、「掃除・洗濯」（20.1%）、「サロンなどの定期的な通いの場」（18.4%）、「買い物（宅配は含まない）」（16.7%）、「ゴミ出し」（15.5%）の順となっています。

○介護離職者と継続就労者との差をみると、「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」以外のサービスは継続就労者の利用意向が介護離職者を上回っています。

問9 在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス

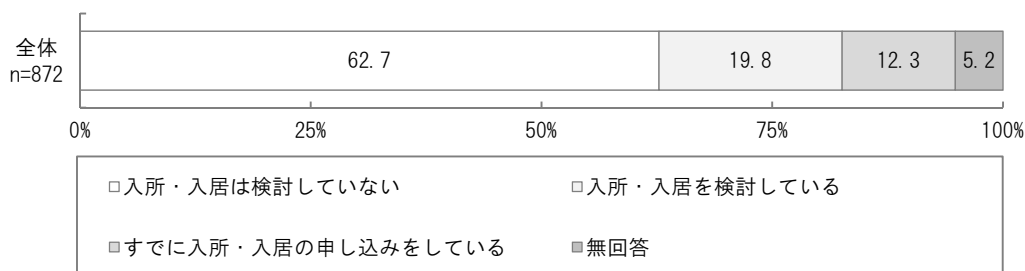


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

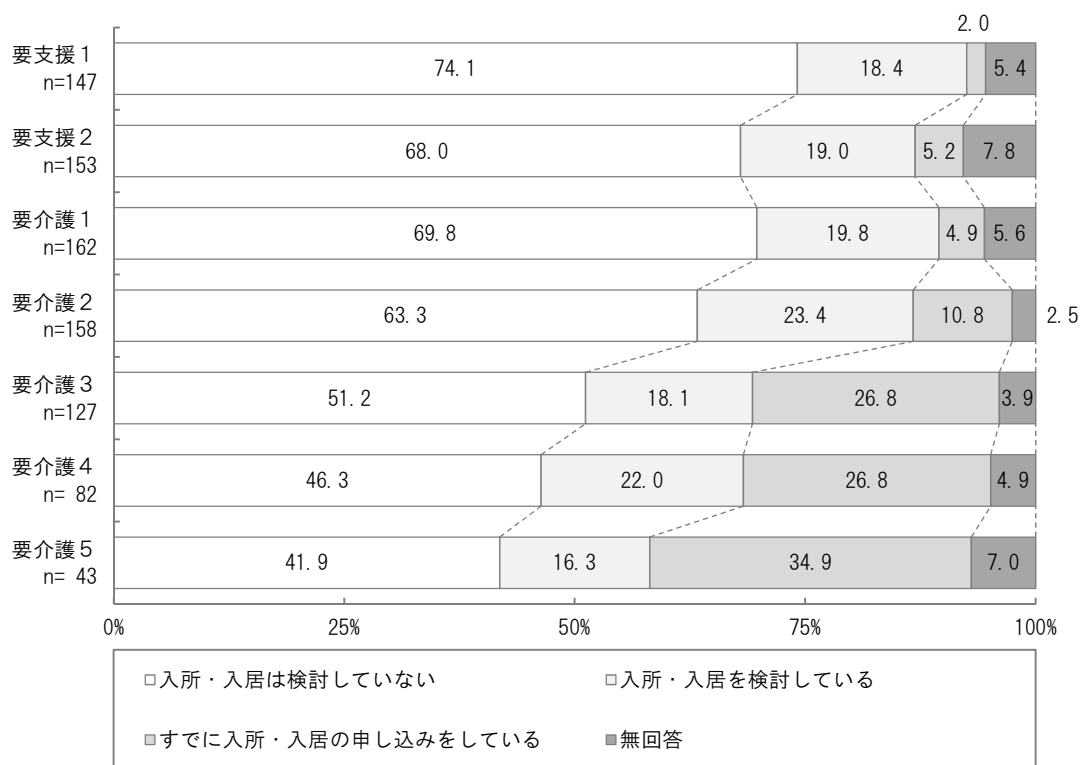
○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、全体では「入所・入居を検討していない」(62.7%)が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(19.8%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(12.3%)の順となっています。

○要介護度別の検討状況では、要介護3以上で「すでに入所・入居の申し込みをしている」(34.9~26.8%)、「入所・入居を検討している」(22.0~16.3%)と合わせて4~5割の方が入所・入居予定または検討中となっています。

問 10 施設等への入所・入居を検討しているか



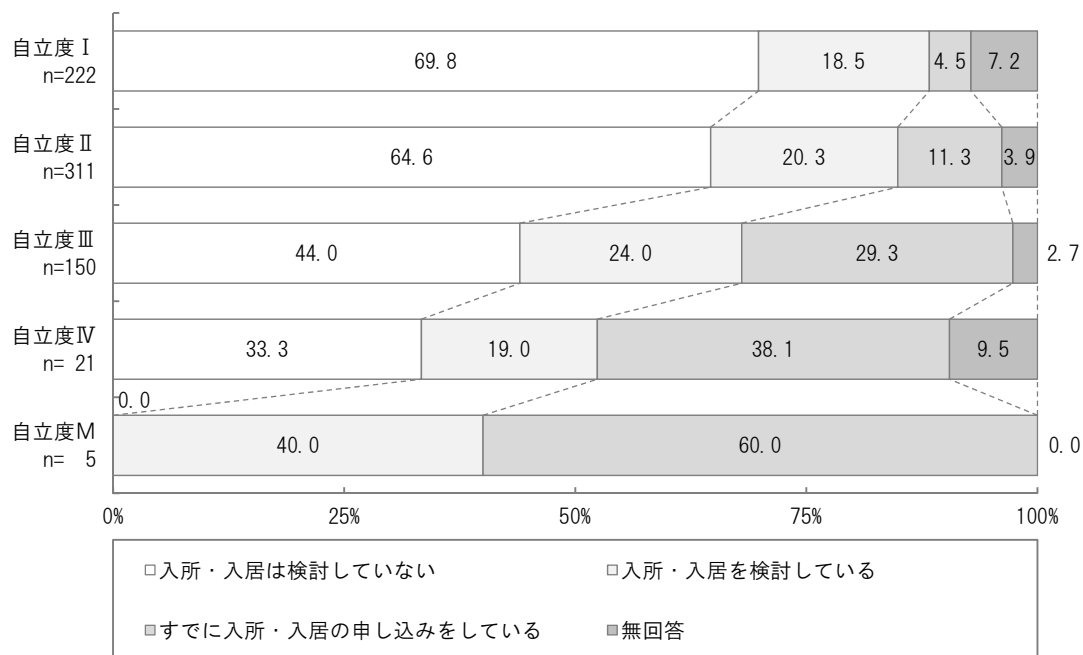
「要介護度」×「問 10 施設等への入所・入居に関する検討」



○認知症高齢者日常生活自立度別に施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、自立度Ⅰ～Ⅲで「入所・入居は検討していない」(69.8～44.0%)、自立度Ⅳ・Mで「すでに入所・入居の申し込みをしている」(38.1%・60.0%)が最も高くなっています。

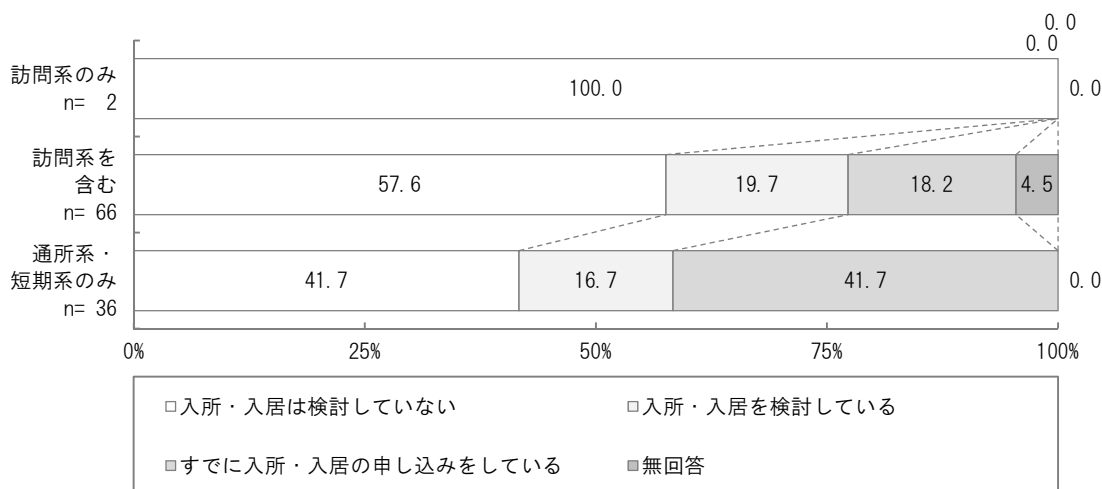
○サービス利用別にみた施設等への入所・入居の検討状況をみると、訪問系のみでは検討者がなく、訪問系含むでは「入所・入居を検討している」(19.7%)と「すでに入所・入居の申し込みをしている」(18.2%)と合わせて37.9%、通所系・短期系のみでは「入所・入居を検討している」(16.7%)と「すでに入所・入居の申し込みをしている」(41.7%)と合わせて58.4%の方が入所・入居予定または検討中となっています。

「認知症高齢者日常生活自立度」×「問10 施設等への入所・入居に関する検討」



※認定データとの突合

「サービス利用状況」×「問10 施設等への入所・入居に関する検討」(要介護度3以上)



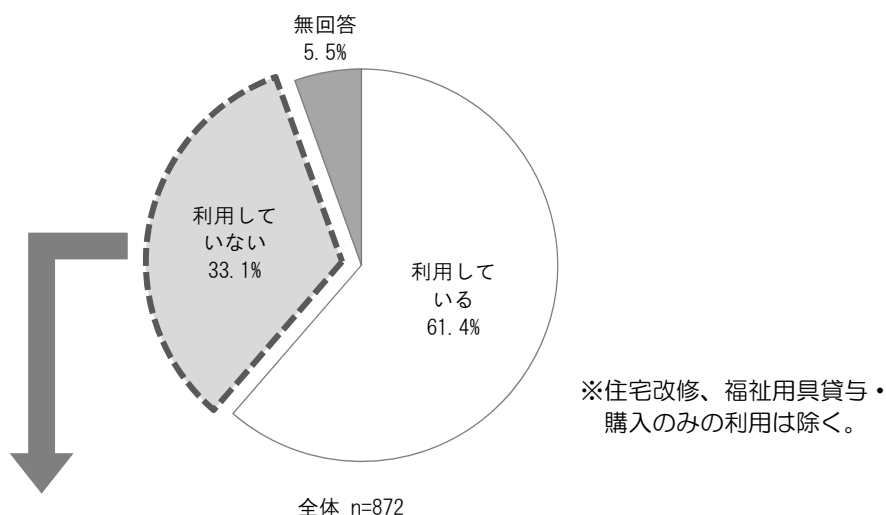
※認定データとの突合

(2) 介護保険サービスの利用状況

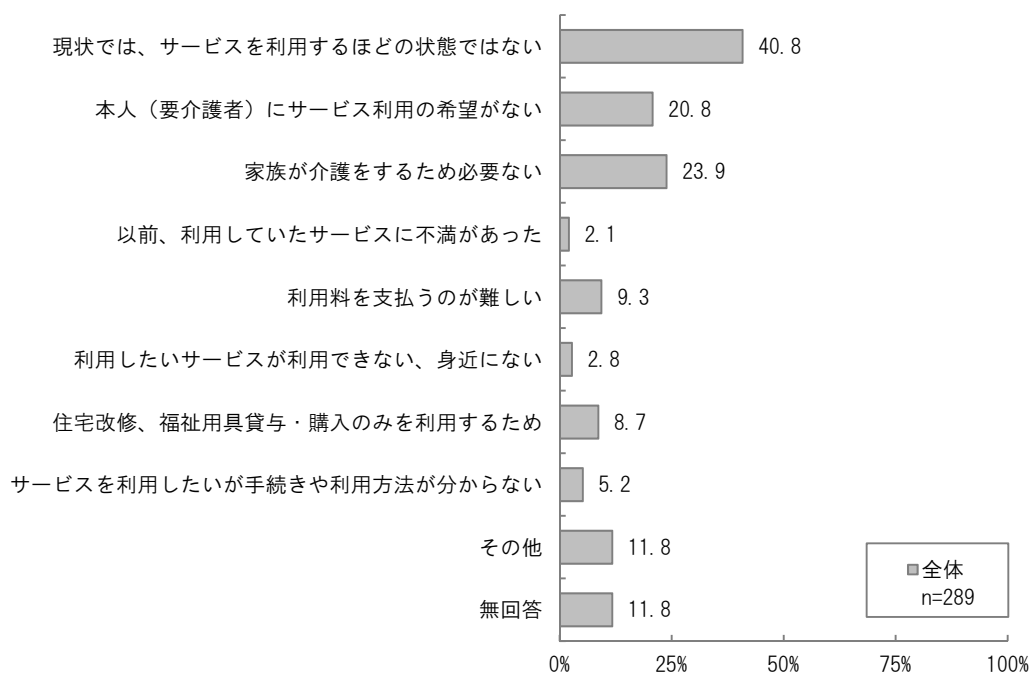
○介護保険サービスの利用の有無をみると、「利用していない」(33.1%)、「利用している」(61.4%)となっています。

○介護保険サービスを利用していない理由としては「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(40.8%)が最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(23.9%)、「本人(要介護者)にサービス利用の希望がない」(20.8%)の順となっています。

問 13 介護保険サービスの利用の有無



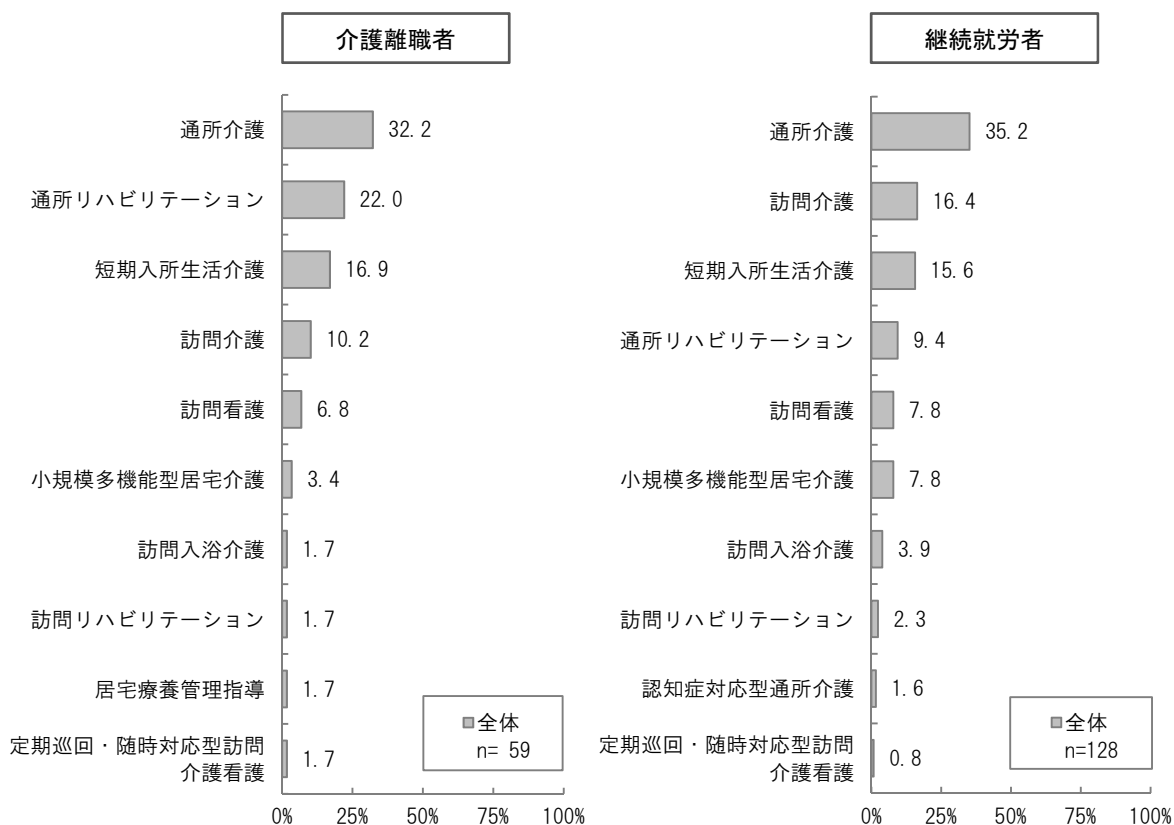
問 13-1 介護保険サービスを利用していない理由



○介護離職者の介護保険サービス利用者では「通所介護」(32.2%)が最も高く、次いで「通所リハビリテーション」(22.0%)、「短期入所生活介護」(16.9%)、「訪問介護」(10.2%)の順となっています。

○一方、継続就労者では「通所介護」(35.2%)が最も高く、次いで「訪問介護」(16.4%)、「短期入所療養介護」(15.6%)の順となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「介護保険サービス利用状況」(上位10位)



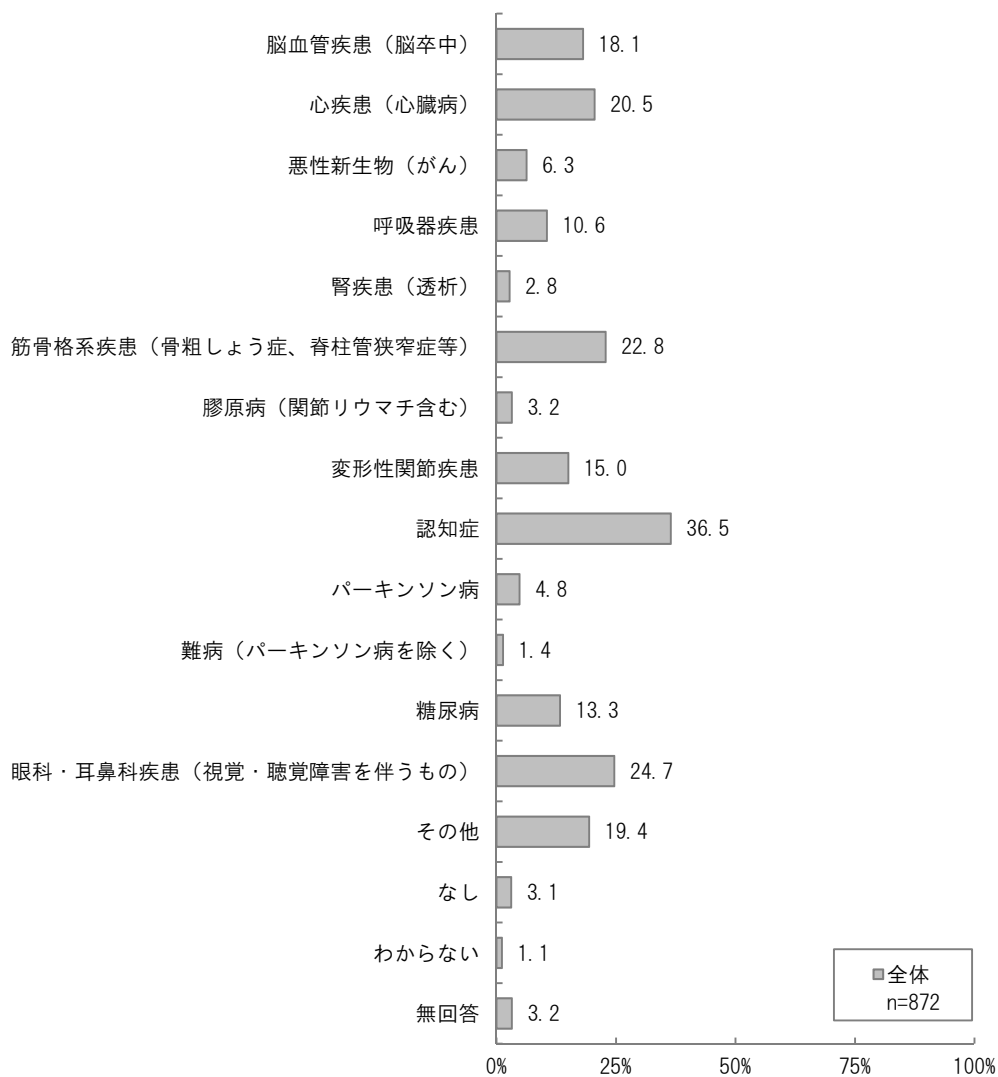
※認定データとの突合

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

(3) 訪問診療の利用状況

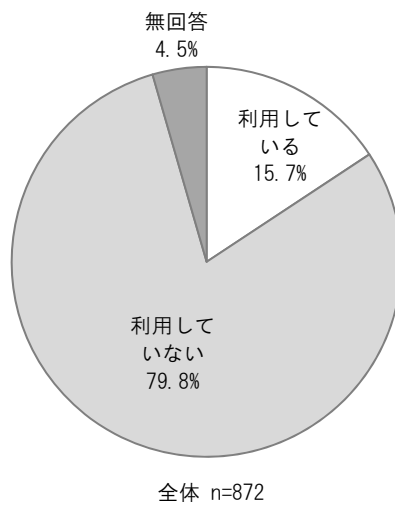
○要介護者が現在抱えている傷病をみると、「認知症」(36.5%)が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(24.7%)、「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(22.8%)、「心疾患(心臓病)」(20.5%)、「脳血管疾患(脳卒中)」(18.1%)、「変形性関節疾患」(15.0%)、「糖尿病」(13.3%)、「呼吸器疾患」(10.6%)の順となっています。

問11 要介護者が現在抱えている傷病名



○訪問診療の利用状況をみると、「利用している」方が15.7%となっています。

問 12 訪問診療の利用の有無

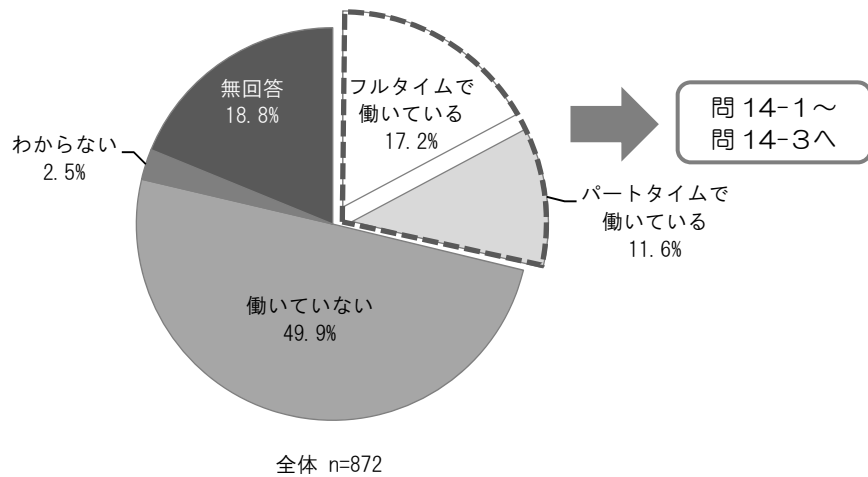


4 主な介護者の就労状況について

(1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態は「フルタイムで働いている」(17.2%)、「パートタイムで働いている」(11.6%)と28.8%の方が働いており、「働いていない」方は49.9%となっています。

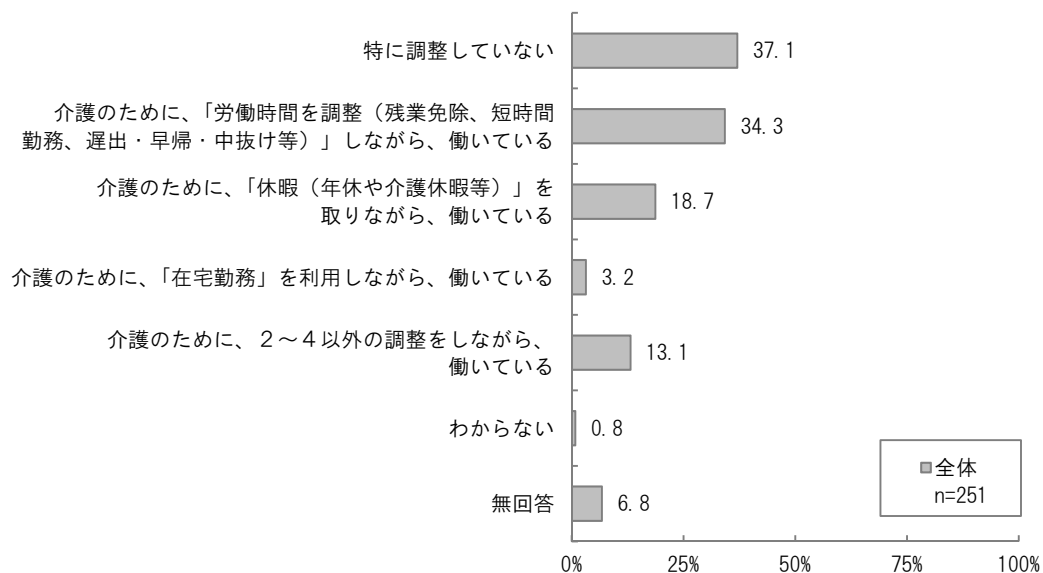
問 14 主な介護者の現在の勤務形態



(2) 継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向

○介護のために働き方を調整しているかをみると、働き方を調整している方は「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」(34.3%)、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」(18.7%)、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」(13.1%)の順となっています。一方、「特に調整していない」方は37.1%となっています。

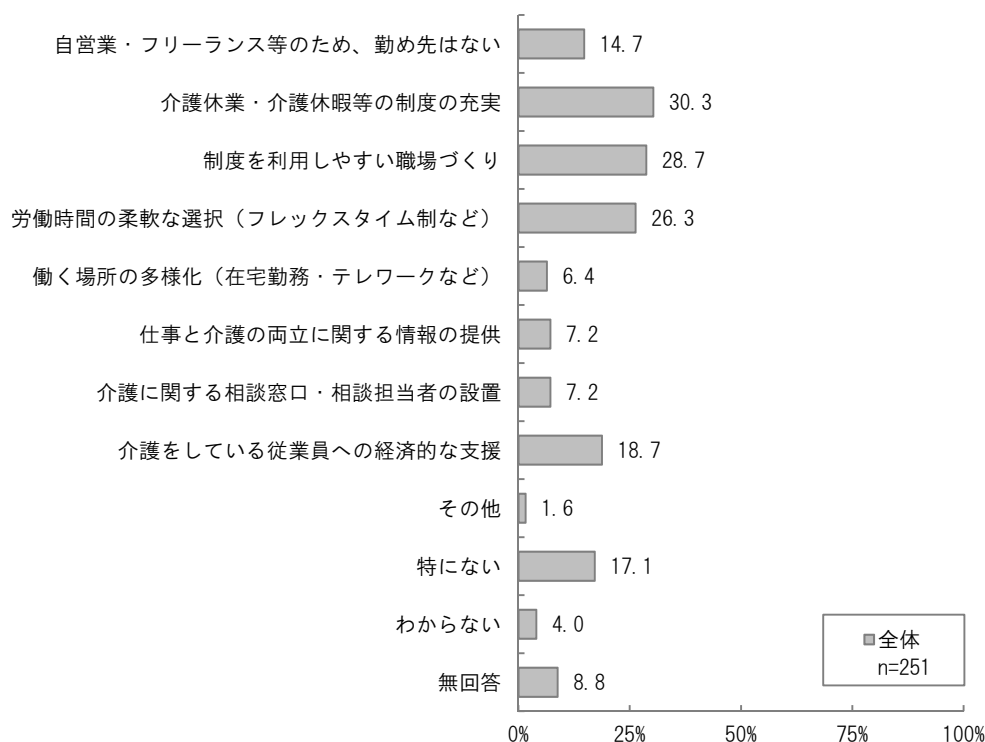
問 14-1 働き方を調整しているか



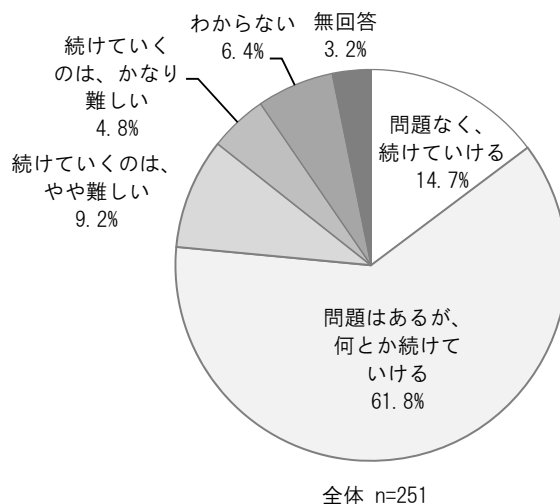
○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(30.3%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(28.7%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(26.3%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(18.7%)、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(14.7%)の順に挙げています。

○今後も働きながら介護を続けていけそうかに対しては「問題はあるが、何とか続けていける」(61.8%)が最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(14.7%)の順となり、「続けていくのは、やや難しい」(9.2%)と「続けていくのは、かなり難しい」(4.8%)を合わせた14.0%の方が今後の継続は困難と回答しています。

問 14-2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



問 14-3 今後も働きながら介護を続けていけそうか



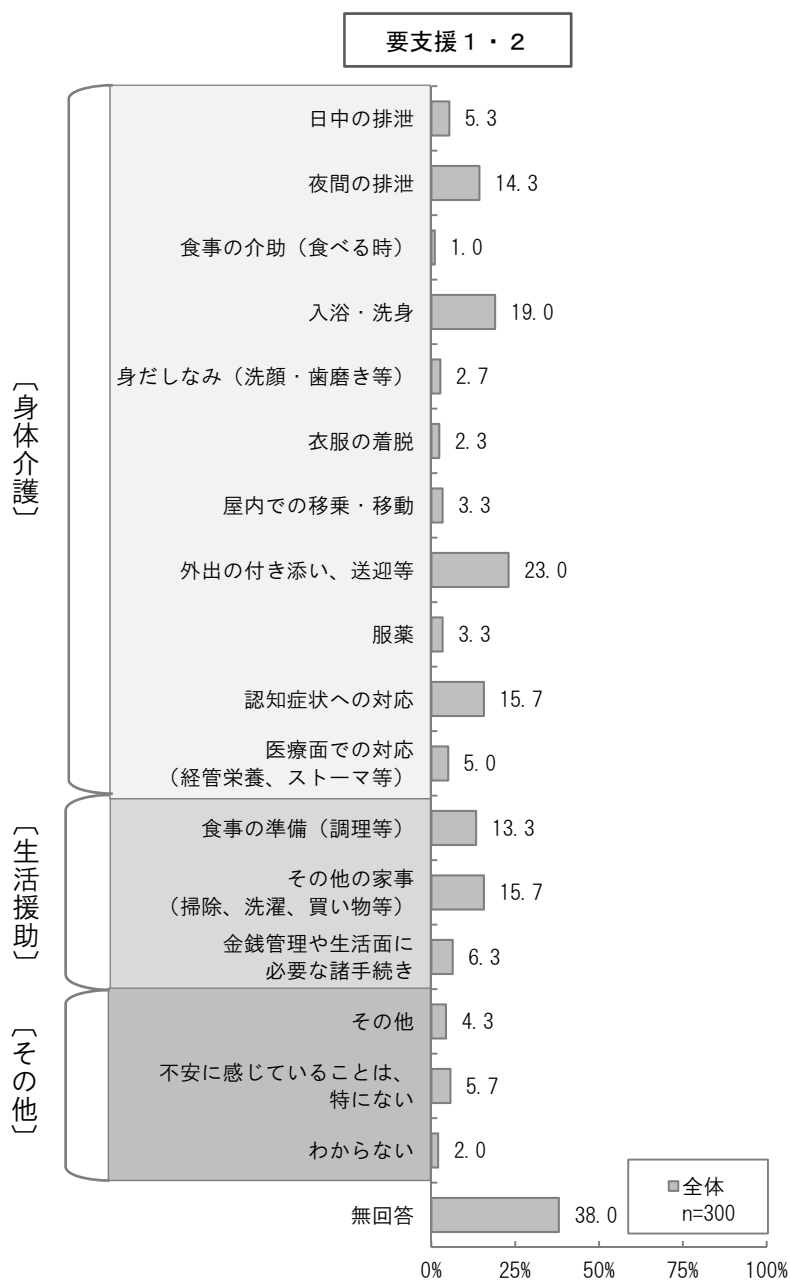
5 介護生活を続ける際の不安や困りごと

(1) 主な介護者が不安を感じる介護の内容

○主な介護者が不安を感じる介護内容をみると、要支援1・2の方の身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(23.0%)、「入浴・洗身」(19.0%)、「認知症状への対応」(15.7%)、「夜間の排泄」(14.3%)の順となっています。

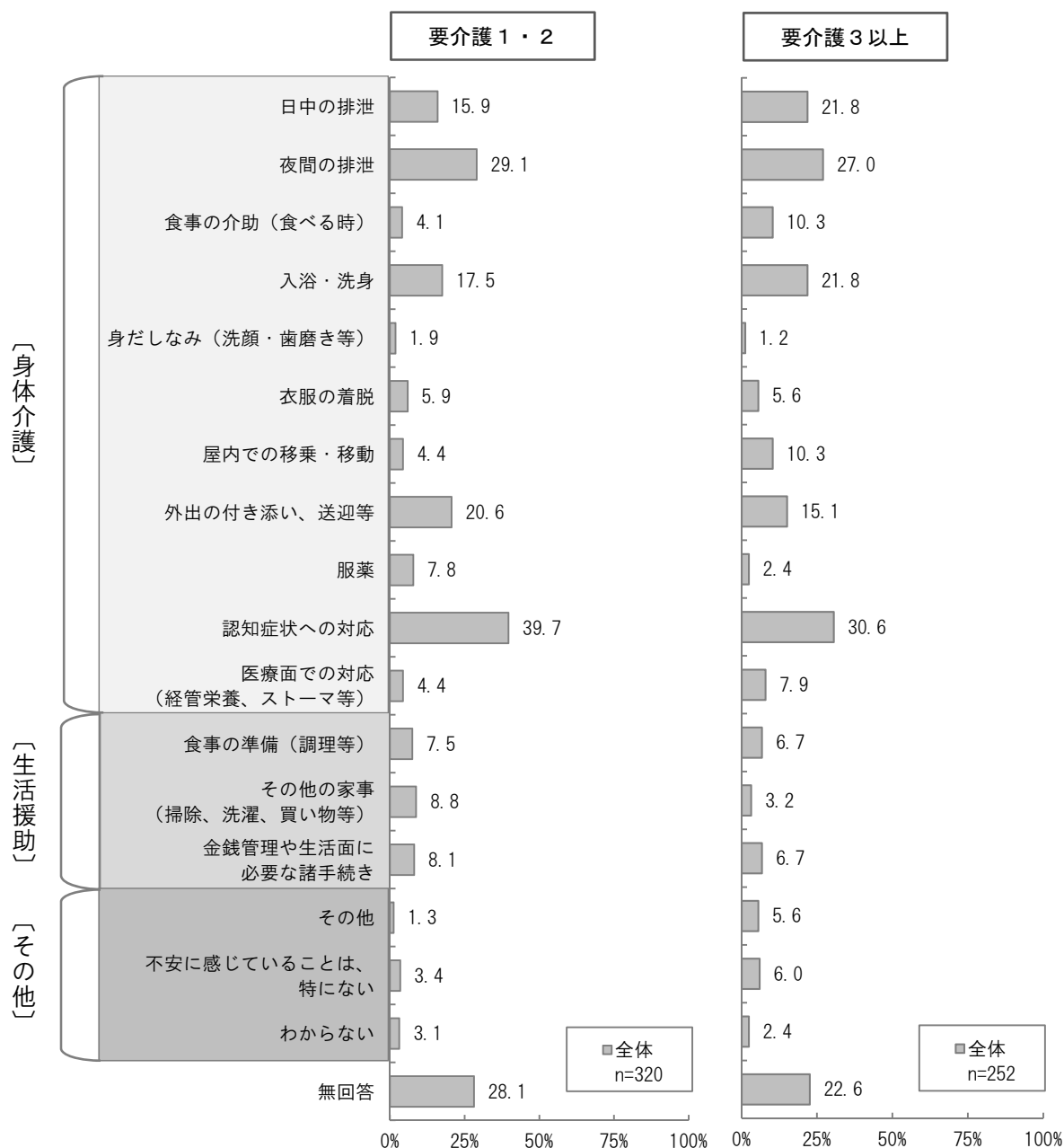
○生活援助では要介護1・2の方が「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(15.7%)、「食事の準備(調理等)」(13.3%)に不安を感じています。

問15 主な介護者が不安を感じる介護



○主な介護者が不安を感じる介護内容をみると、要介護1・2の方の身体介護では「認知症状への対応」(39.7%)、「夜間の排泄」(29.1%)、「外出の付き添い、送迎等」(20.6%)、「入浴・洗身」(17.5%)、「日中の排泄」(15.9%)の順、また要介護3以上の方では「認知症状への対応」(30.6%)、「夜間の排泄」(27.0%)、「日中の排泄」「入浴・洗身」(各21.8%)、「外出の付き添い、送迎等」(15.1%)、「屋内での移乗・移動」(10.3%)の順となっています。

○生活援助での不安を感じる介護は、全ての要介護度で10%未満と低くなっています。



6 介護離職の要因について

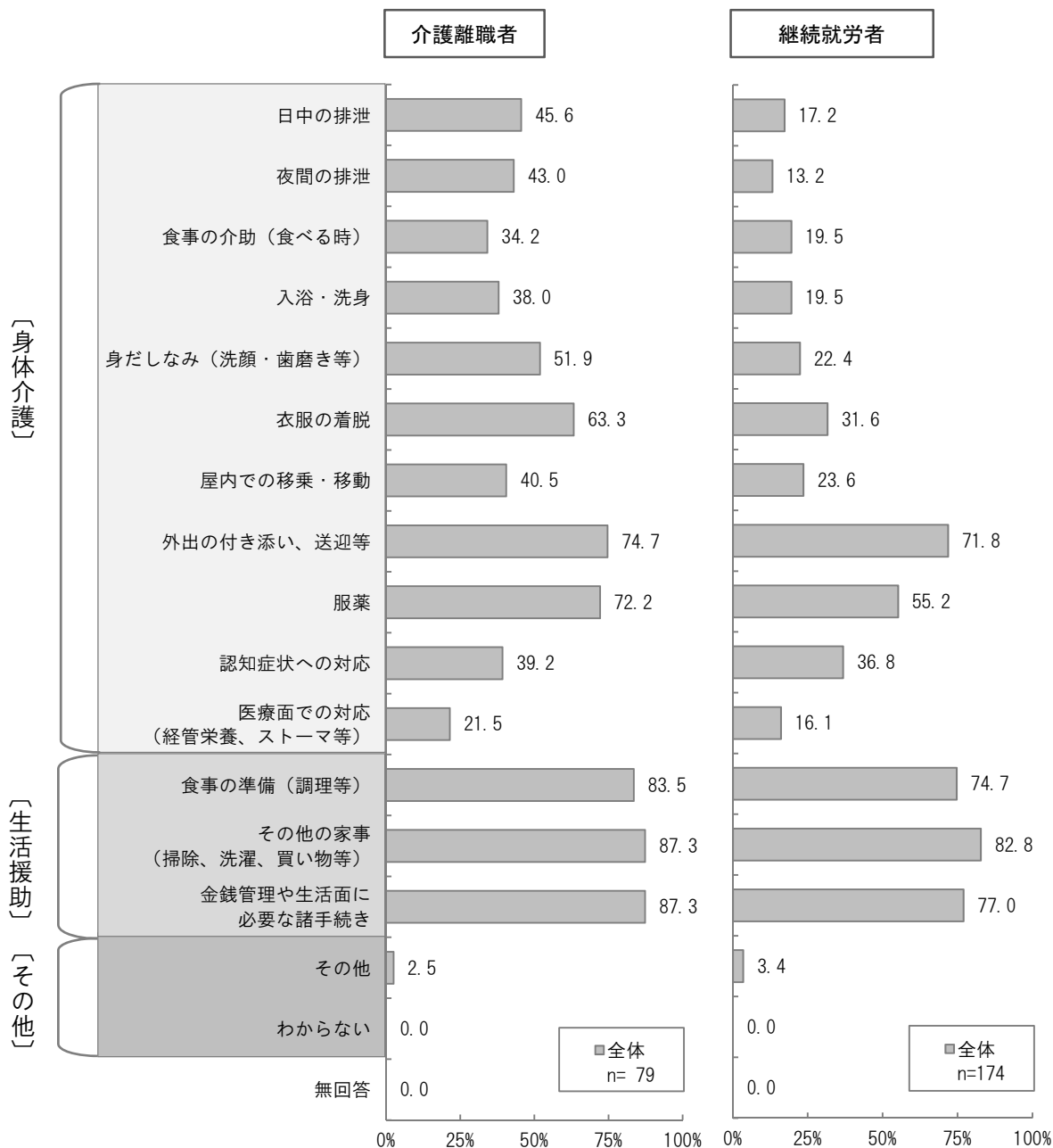
主な介護者の介護離職に関する要因を調べるために、①主な介護者の介護環境、②主な介護者の就労環境、③要介護者の様態と介護実態、④介護給付サービス等の利用状況等について介護離職者と就労者との差異を比較検討しました。

(1) 主な介護者を取り巻く介護環境等

① 介護者が行っている介護の内容

- 身体介護では介護離職者が「外出の付き添い、送迎等」(74.7%)、「服薬」(72.2%)、「衣服の着脱」(63.3%)、「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」(51.9%)、継続就労者は「外出の付き添い、送迎等」(71.8%)、「服薬」(55.2%)の順となっています。
- 生活援助は介護離職者が「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(各87.3%)、「食事の準備(調理等)」(83.5%)、継続就労者は「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(82.8%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(77.0%)、「食事の準備(調理等)」(74.7%)の順となっています。

「介護離職者・継続就労者別」×「問6 主な介護者の方が行っている介護」

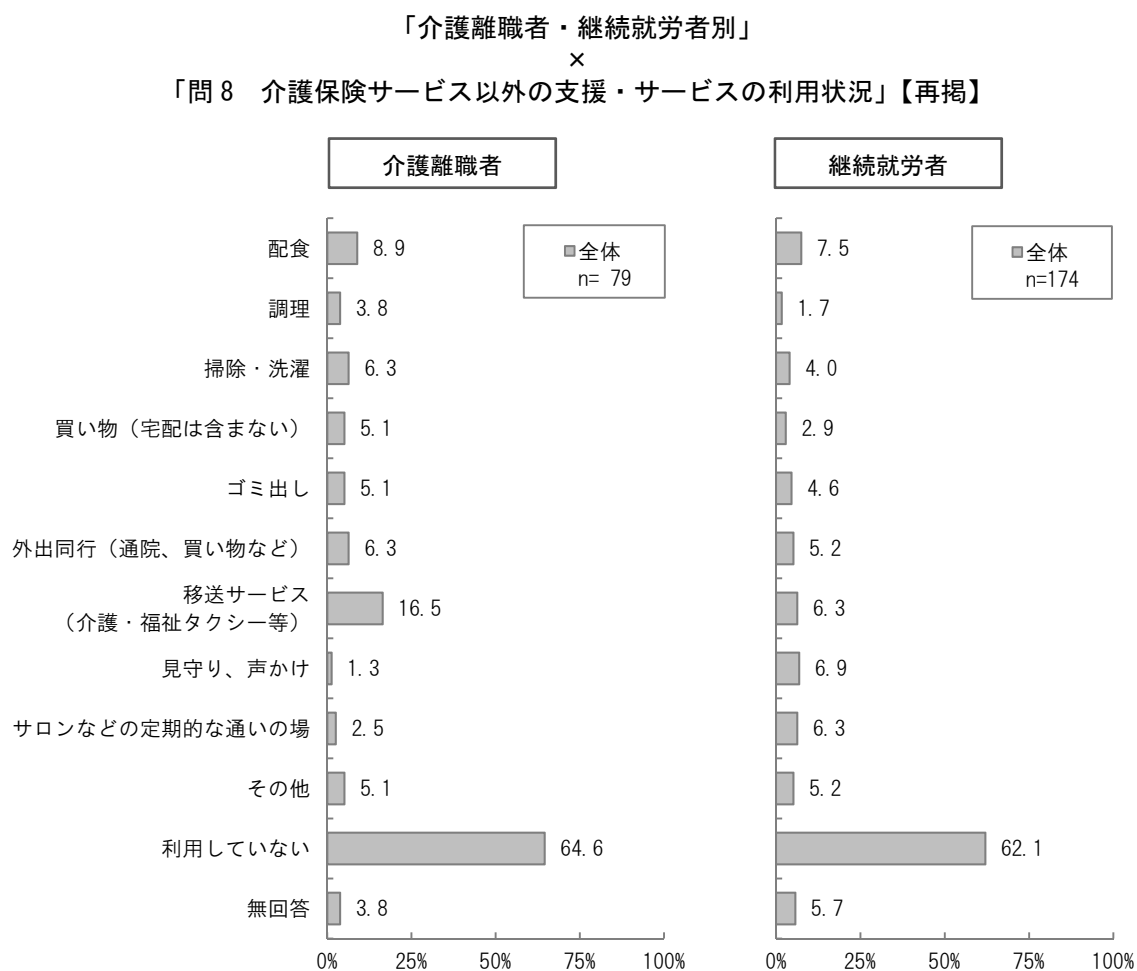


※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

② 要介護者が利用している介護給付サービス以外の支援・サービス

○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、介護離職者では「利用していない」(64.6%)が最も高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(16.5%)の順となっています。

○一方、継続就労者では、「利用していない」(62.1%)が最も高く、次いで「配食」(7.5%)の順となっています。



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答(「3」「4」を選択)した方、
②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

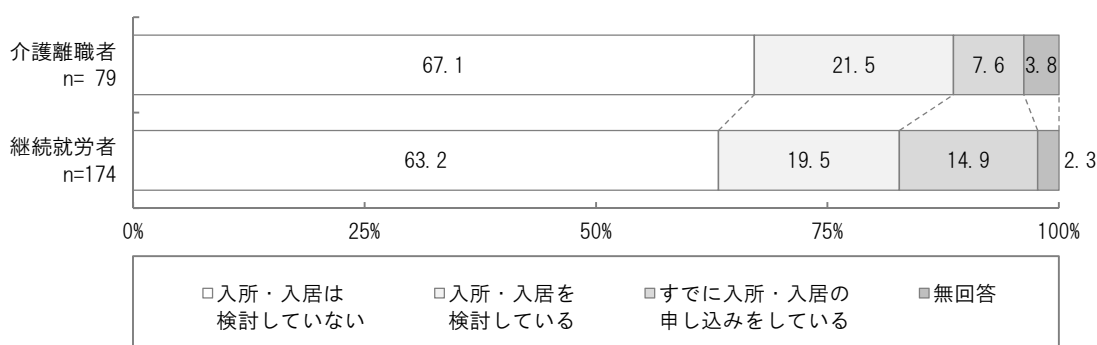
③ 施設等への入所・入居の検討

○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、介護離職者では「入所・入居を検討している」(21.5%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(7.6%)となっています。

○一方、継続就労者では「入所・入居を検討している」(19.5%)、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(14.9%)となっています。

○介護離職者と継続就労者との差をみると、介護離職者では「すでに入所・入居の申し込みをしている」で継続就労者を下回っています。

「介護離職者・継続就労者別」×「問10 施設等への入所・入居を検討しているか」



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

(2) 就業中の主な介護者に関する就労環境

ここでは、就労している主な介護者を介護のために転職をした介護転職者と継続就労者に細分化し、比較検討しています。

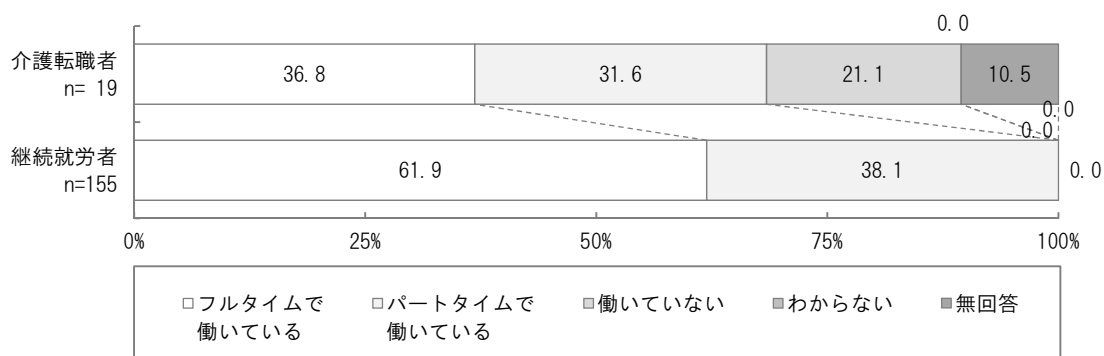
① 現在の勤務形態

○介護転職者の現在の勤務形態は、「フルタイムで働いている」(36.8%)、「パートタイムで働いている」(31.6%)となっています。また「働いていない」方は21.1%となっています。

○一方、継続就労者では、「フルタイムで働いている」(61.9%)、「パートタイムで働いている」(38.1%)となっています。

○介護転職者と継続就労者との差をみると、介護転職者は「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」ともに継続就労者を下回っています。

「介護転職者・継続就労者別」×「問14 主な介護者の現在の勤務形態」



※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

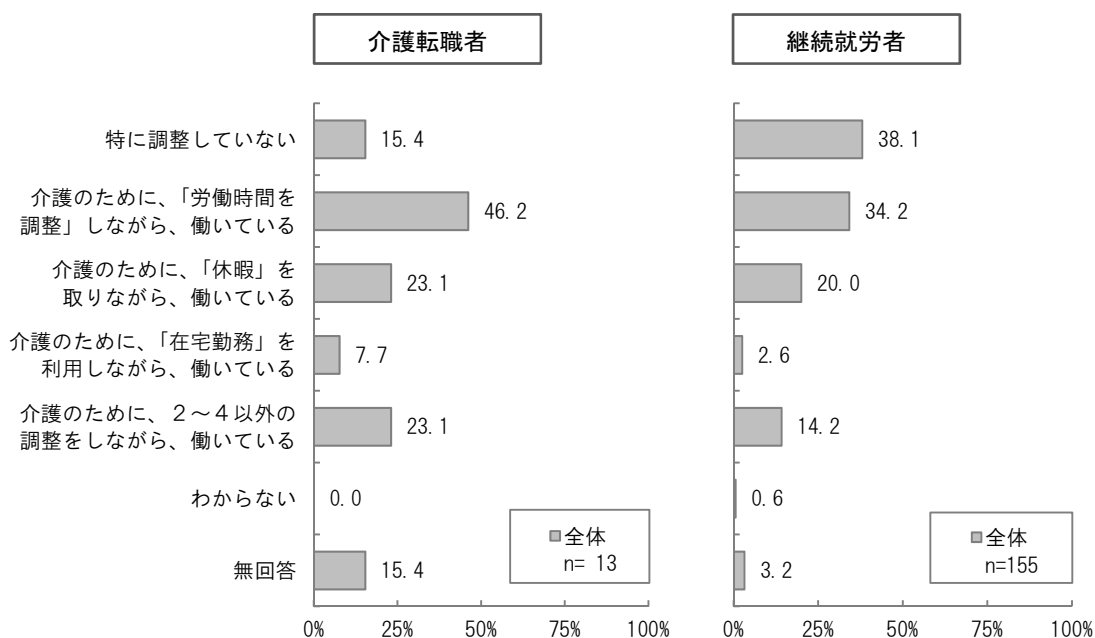
② 介護のために働き方の調整等

○介護転職者が介護のために働き方を調整しているかをみると、「介護のために、『労働時間』を調整しながら、働いている」(46.2%)が最も高く、次いで「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」(各23.1%)、「特に調整していない」(15.4%)の順となっています。

○一方、継続就労者では「特に調整していない」(38.1%)が最も高く、次いで「介護のために、『労働時間』を調整しながら、働いている」(34.2%)、「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」(20.0%)、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」(14.2%)の順となっています。

○介護転職者と継続就労者との差をみると、介護転職者は「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」方が継続就労者を12.0ポイント上回っています。

「介護転職者・継続就労者別」×「問 14-1 働き方を調整しているか」

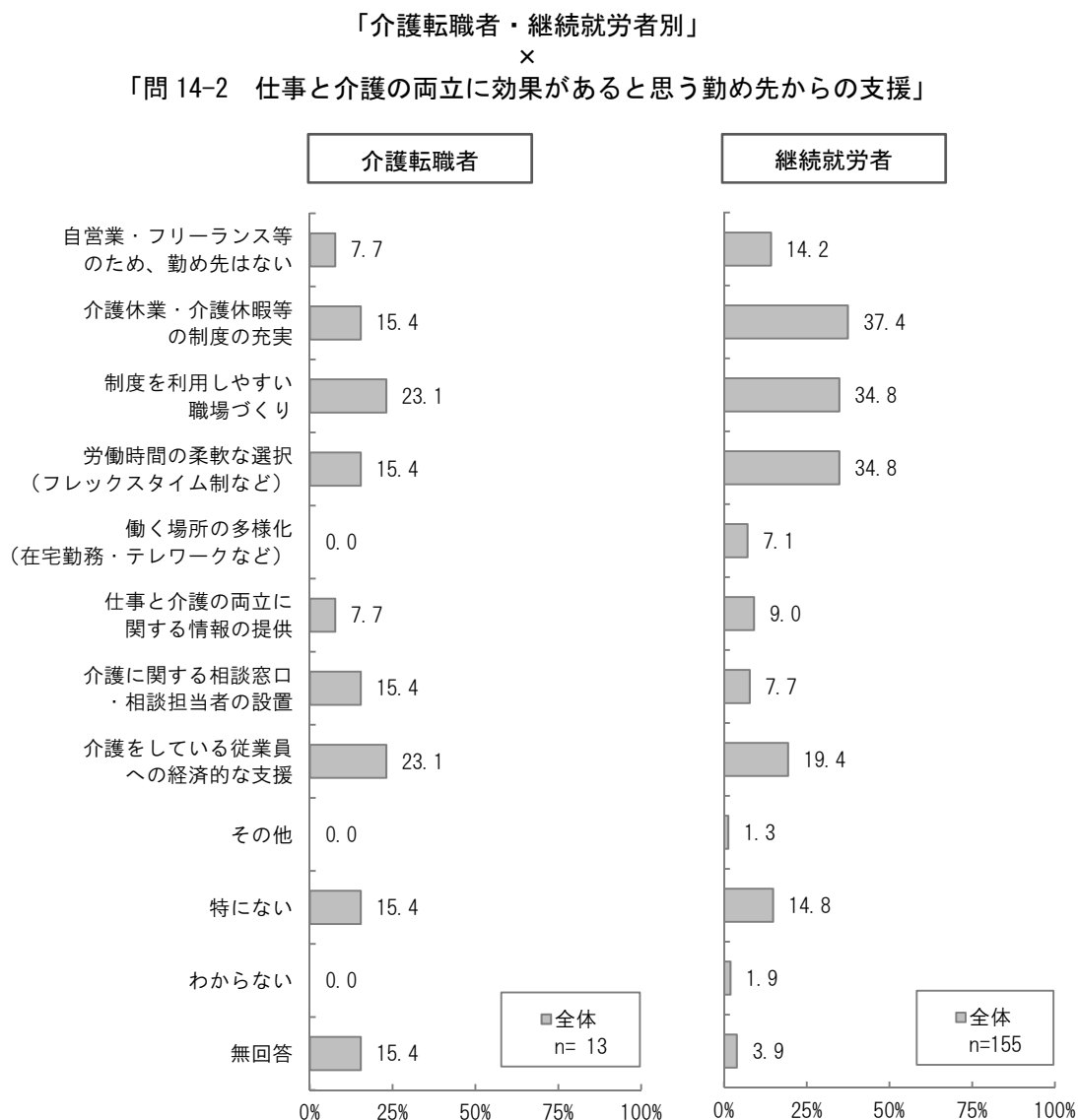


※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

③ 仕事と介護の両立に効果的な職場の支援内容

○介護転職者が仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援についてみると、「制度を利用しやすい職場づくり」「介護をしている従業員への経済的な支援」(各23.1%)が最も高くなっています。

○継続就労者が仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援についてみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(37.4%)が最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択」(各34.8%)の順となっています。



※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問 14 で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

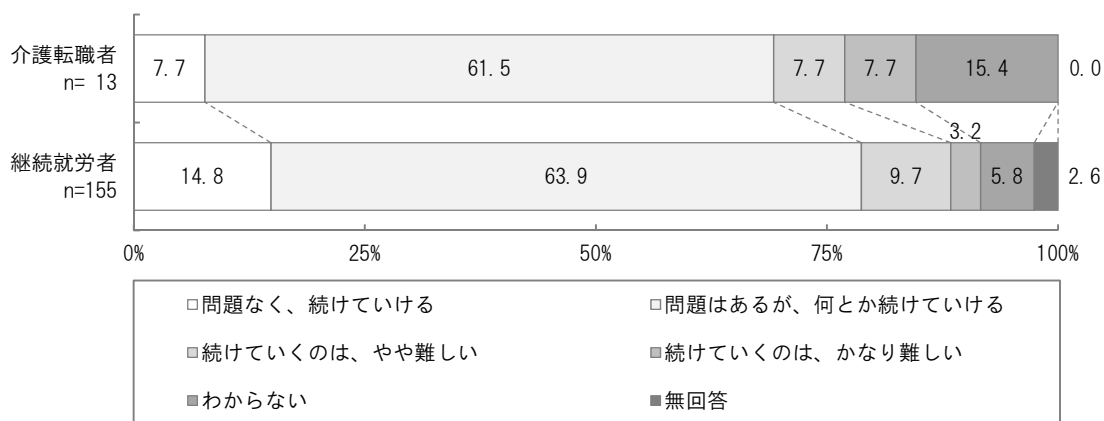
④ 仕事と介護の両立に関して継続する意向

○介護転職者における今後の就労継続に関する意向をみると、「問題はあるが、何とか続けていける」(61.5%)が最も高くなっています。

○一方、継続就労者では「問題はあるが、何とか続けている」(63.9%)が最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(14.8%)となっています。

○介護転職者と継続就労者との差をみると、介護転職者は「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」方が継続就労者を2.5^{ポイント}上回っています。

「介護転職者・継続就労者別」×「問14-3 今後も働きながら介護を続けていけそうか」

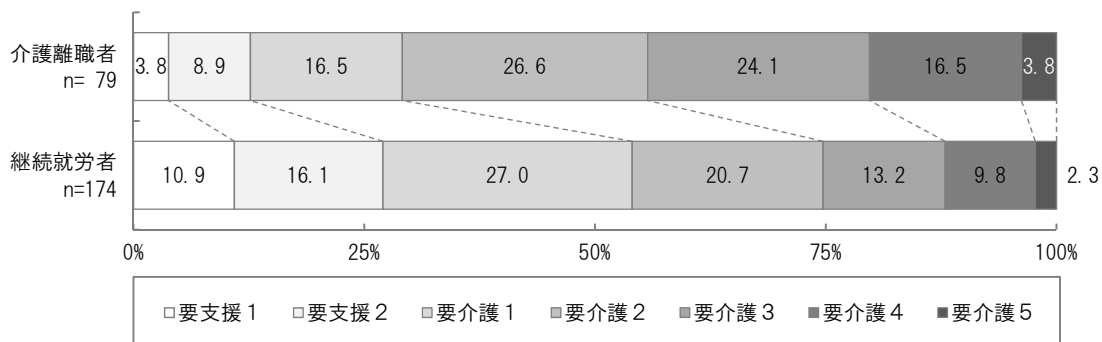


※継続就労者：問7で「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

(3) 要介護者の様態と介護実態

- 介護離職者が介護している方の要介護度をみると、「要支援1～要介護2」の方が55.8%、「要介護3以上」の方が44.4%となっています。
- 一方、継続就労者が介護している方では「要支援1～要介護2」の方が74.7%、「要介護3以上」の方が25.3%となっています。
- 介護離職者と継続就労者との差をみると、介護離職者は「要介護3以上」の方が継続就労者を19.1^{ポイント}上回り、介護負担が大きいことがうかがえます。

「介護離職者・継続就労者別」×要介護者の「要介護度」



※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

(4) 介護給付サービス等の利用状況

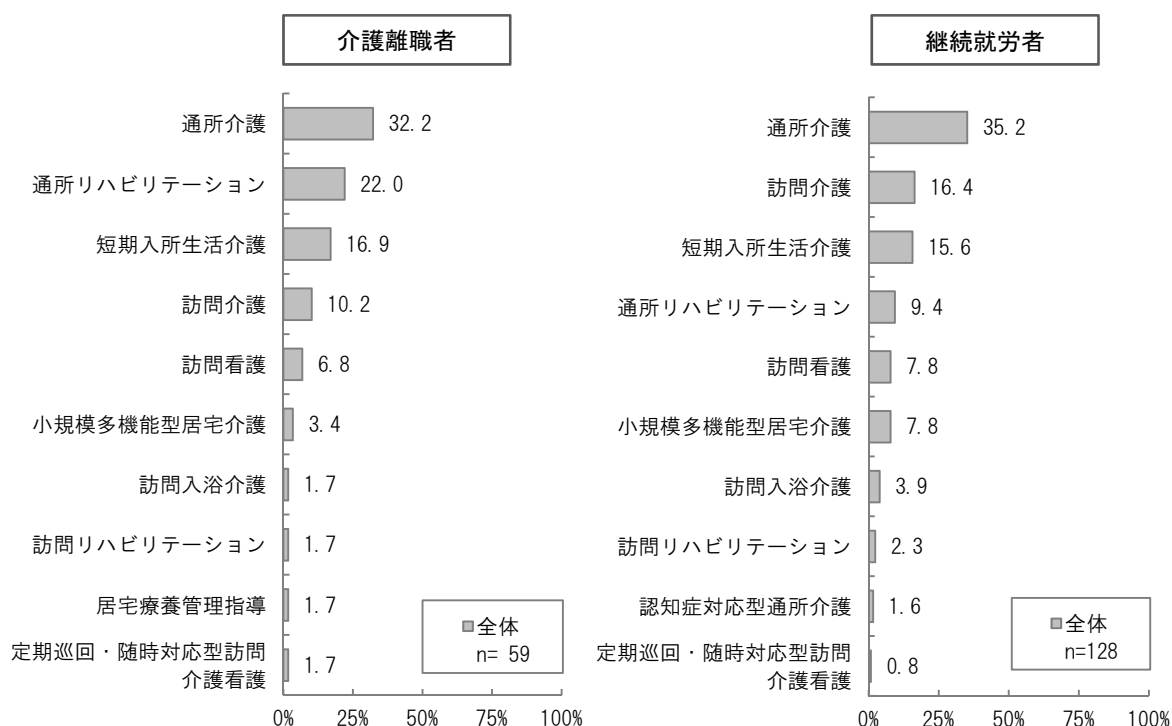
① 介護給付サービスの利用状況

○介護離職者の介護給付サービスの利用状況（介護保険サービス利用上位10位）をみると、「通所介護」（32.2%）が最も高く、次いで「通所リハビリテーション」（22.0%）、「短期入所生活介護」（16.9%）、「訪問介護」（10.2%）の順となっています。

○一方、継続就労者では「通所介護」（35.2%）が最も高く、次いで「訪問介護」（16.4%）、「短期入所生活介護」（15.6%）の順となっています。

○介護離職者と継続就労者の差をみると、介護離職者の「通所介護」の利用割合は継続就労者を3.0ポイント下回っています。

「介護離職者・継続就労者別」×「介護保険サービス利用状況」（上位10位）【再掲】



※認定データとの突合

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

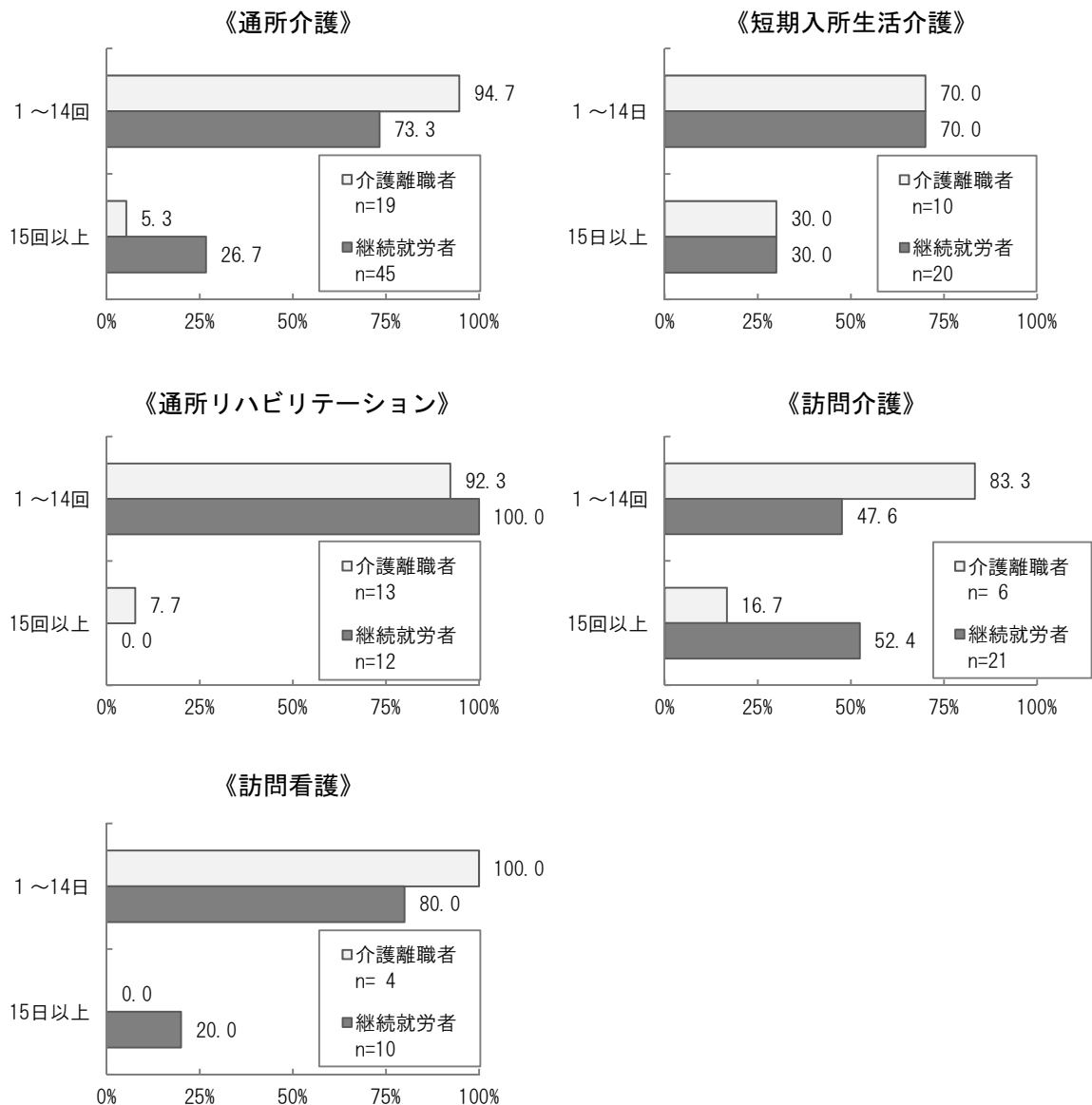
② 介護給付サービス別の実日数（利用割合の高いサービスのみ）

○利用割合の高い上位5位のサービスの利用実回数・実日数をみると、介護離職者はいずれのサービスも「1～14回（日）」の利用が高くなっています。一方、「15回（日）以上」の利用では短期入所生活介護が30.0%となっています。

○継続就労者は訪問介護を除いたサービスで「1～14回（日）」の利用が高くなっています。一方、「15回（日）以上」の利用では訪問介護が52.4%となっています。

○介護離職者と継続就労者との差をみると、介護離職者は通所介護で「1～14回」利用する方が継続就労者を21.4^{ポイント}上回っています。

「介護離職者・継続就労者別」×要介護者の「サービス利用日数」（利用割合上位5位）



※認定データとの突合

※継続就労者：①問7で「転職した」と回答（「3」「4」を選択）した方、②「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問14で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計

7 山形市独自設問

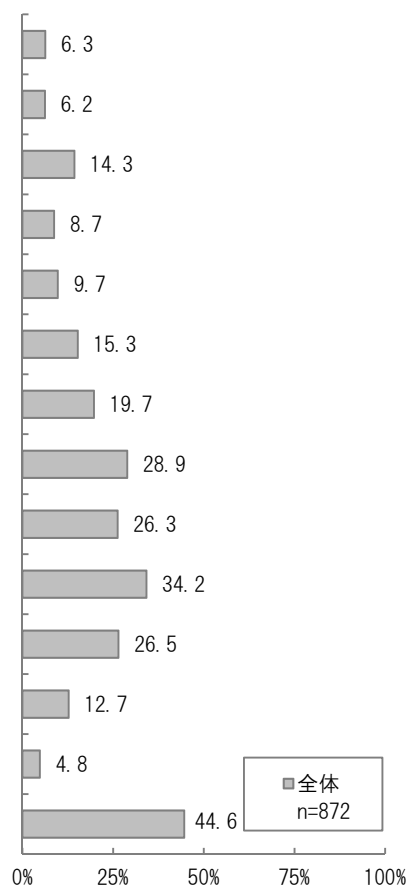
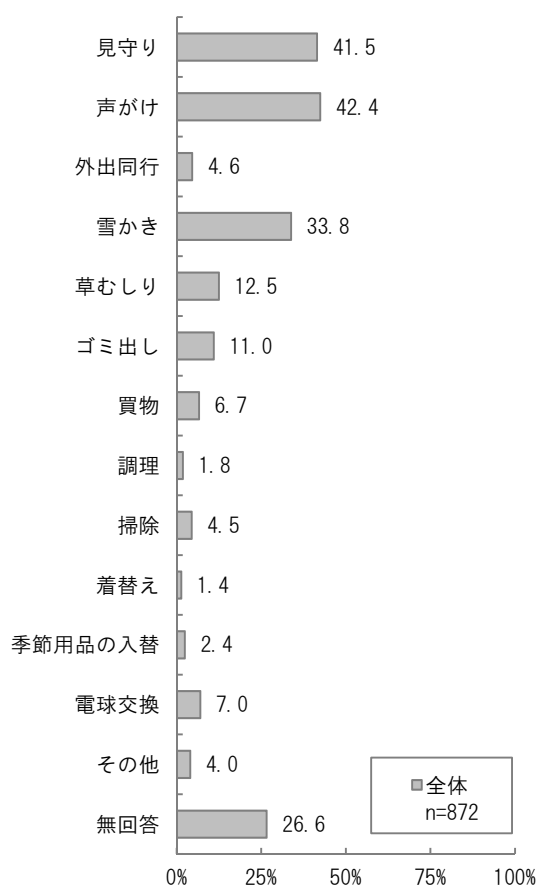
(1) 近隣からの支援に関する意向

○近隣の人をお願いしたい支援についてみると、「声かけ」(42.4%)と「見守り」(41.5%)が均衡して希望割合が高く、次いで「雪かき」(33.8%)となっています。

○逆に近隣の人をお願いしたくない支援についてみると、「着替え」(34.2%)、「調理」(28.9%)、「季節用品の入替え」(26.5%)、「掃除」(26.3%)で割合が高く、生活空間に入らないと支援ができない内容のサービスは抵抗があるようです。

問 16 近隣の人をお願いしたい支援

問 16-1 近隣の人をお願いしたくない支援

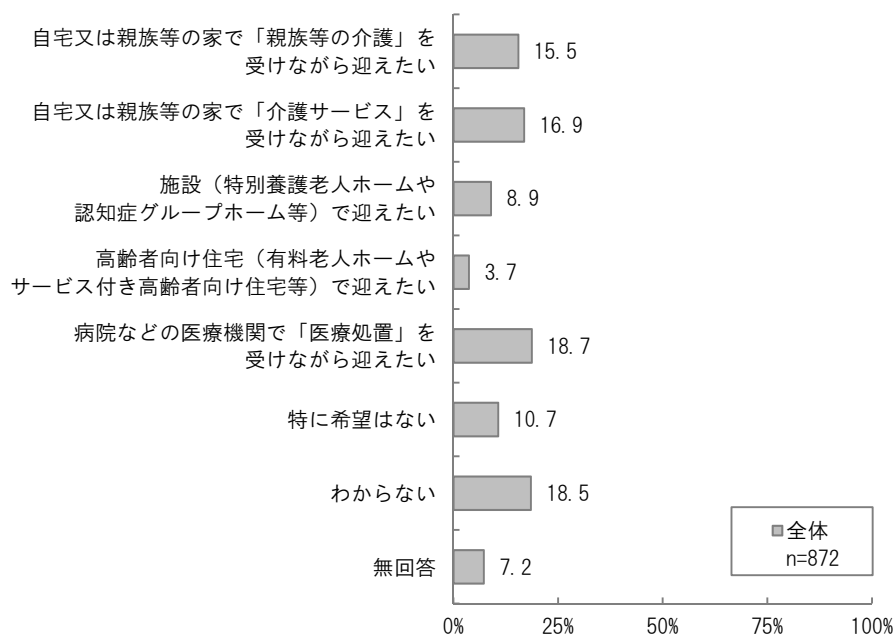


(2) 終末期に関する意向

○終末期は「病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい」(18.7%)と回答した方が最も高いものの、僅差で「わからない」(18.5%)と回答した方も約2割となっています。

また、「自宅又は親族等の家で【親族等の介護】を受けながら迎えたい」(15.5%)と「自宅又は親族等の家で【介護サービス】を受けながら迎えたい」(16.9%)を合わせた自宅又は親族宅を希望する方は32.4%となっています。

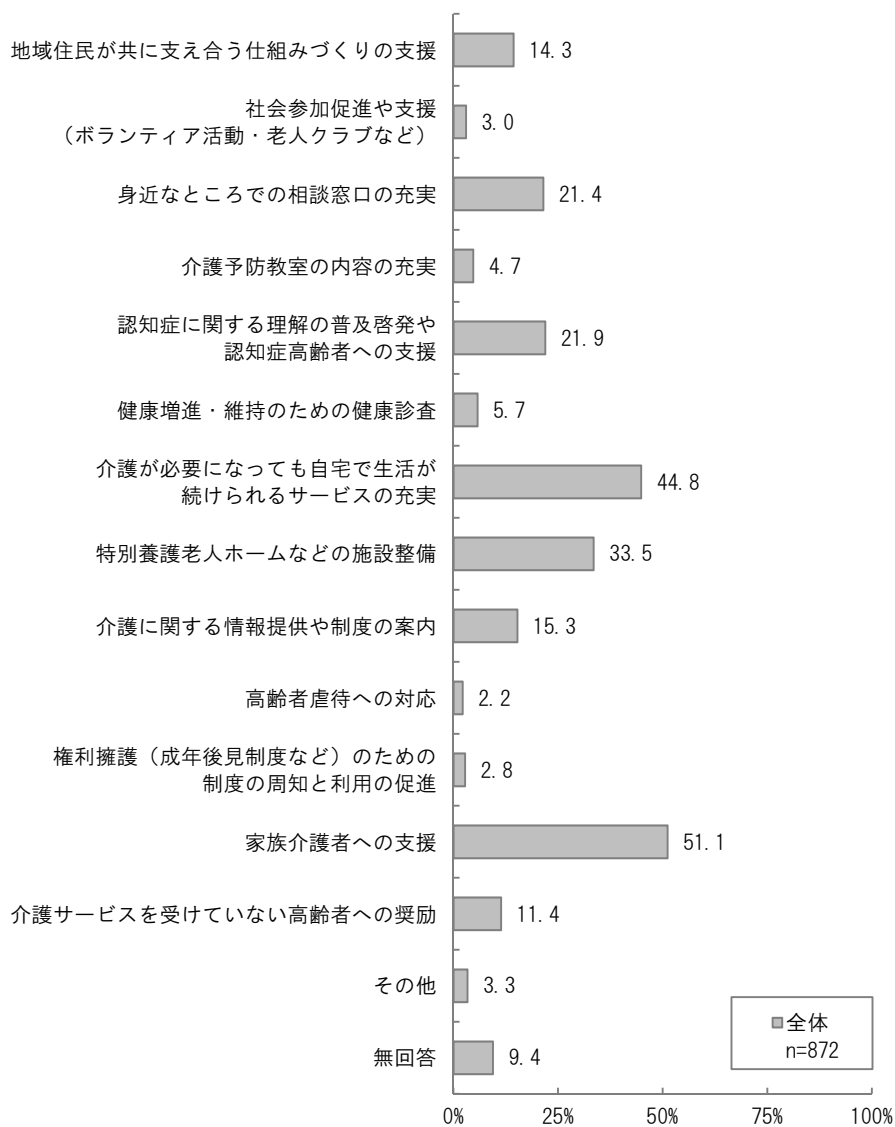
問 17 終末期をどのように迎えたいか



(3) 高齢者保健福祉の施策について

〇市が優先すべき高齢者保健福祉施策としては、「家族介護者への支援」(51.1%)を挙げる割合が最も高く、次いで「介護が必要になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実」(44.8%)となり、自宅での介護を支援する施策の充実を望んでいることが伺えます。

問 18 市が優先すべき高齢者保健福祉施策



資料編

資料編

1 電算処理の判定条件等

集計等の電算処理にあたっては、以下の判定条件に基づいて行いました。

■リスクの判定条件

項 目		判定条件
運動器の機能低下	該当	・ 3点以上
	非該当	・ 0点以上2点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
口腔機能の低下	該当	・ 2点以上
	非該当	・ 0点以上1点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
低栄養の傾向	該当	・ 2点
	非該当	・ 0点以上1点以下
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合
閉じこもり傾向	該当	・ 1点
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 判定設問に無回答があった場合
認知機能の低下	該当	・ 1点
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 判定設問に無回答があった場合
うつ傾向	該当	・ 1点以上
	非該当	・ 0点
	判定できず	・ 0点のうち、判定設問に無回答があった場合

■運動器の機能低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問2-(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」：1点
問2-(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
問2-(3)	15分位続けて歩いていますか	
問2-(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 または 「2. 1度ある」：1点
問2-(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」または「2. やや不安である」：1点

※3点以上：該当 0点以上2点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■口腔機能の低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問3-(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」：1点
問3-(5)	お茶や汁物等でむせることがありますか	
問3-(6)	口の渇きが気になりますか	

※2点以上：該当 0点以上1点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■低栄養の傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問3-(1)	身長 () cm 体重 () kg	BMI<18.5：1点
問3-(8)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	「1. はい」：1点

※2点：該当 0点以上1点以下：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■閉じこもり傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」または 「2. 週1回」：1点

※1点：該当 0点：非該当

※判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■認知機能の低下の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問4-(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」：1点

※1点：該当 0点：非該当

※判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■うつ傾向の判定・評価

問番号	項目	選択肢
問7-(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」：1点
問7-(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	

※1点以上：該当 0点：非該当

※0点のうち判定設問に無回答があった場合は、「判定できず」とします。

■IADL（手段的自立度）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「1. できるし、している」 または 「2. できるけどして いない」：1点
問4-(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4-(4)	自分で食事の用意をしていますか	
問4-(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4-(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

※5点：問題なし 4点：やや低い 0～3点：低い

※判定条件の設問に無回答が2項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

■社会参加（知的能動性）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「1. はい」：1点
問4-(10)	新聞を読んでいますか	
問4-(11)	本や雑誌を読んでいますか	
問4-(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	

※4点：問題なし 3点：やや低い 0～2点：低い

※判定条件の設問に無回答が1項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

■社会参加（社会的役割）の判定・評価 … 老研指標

問番号	項目	選択肢
問4-(13)	友人の家を訪ねていますか	「1. はい」：1点
問4-(14)	家族や友人の相談にのっていますか	
問4-(15)	病人を見舞うことができますか	
問4-(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	

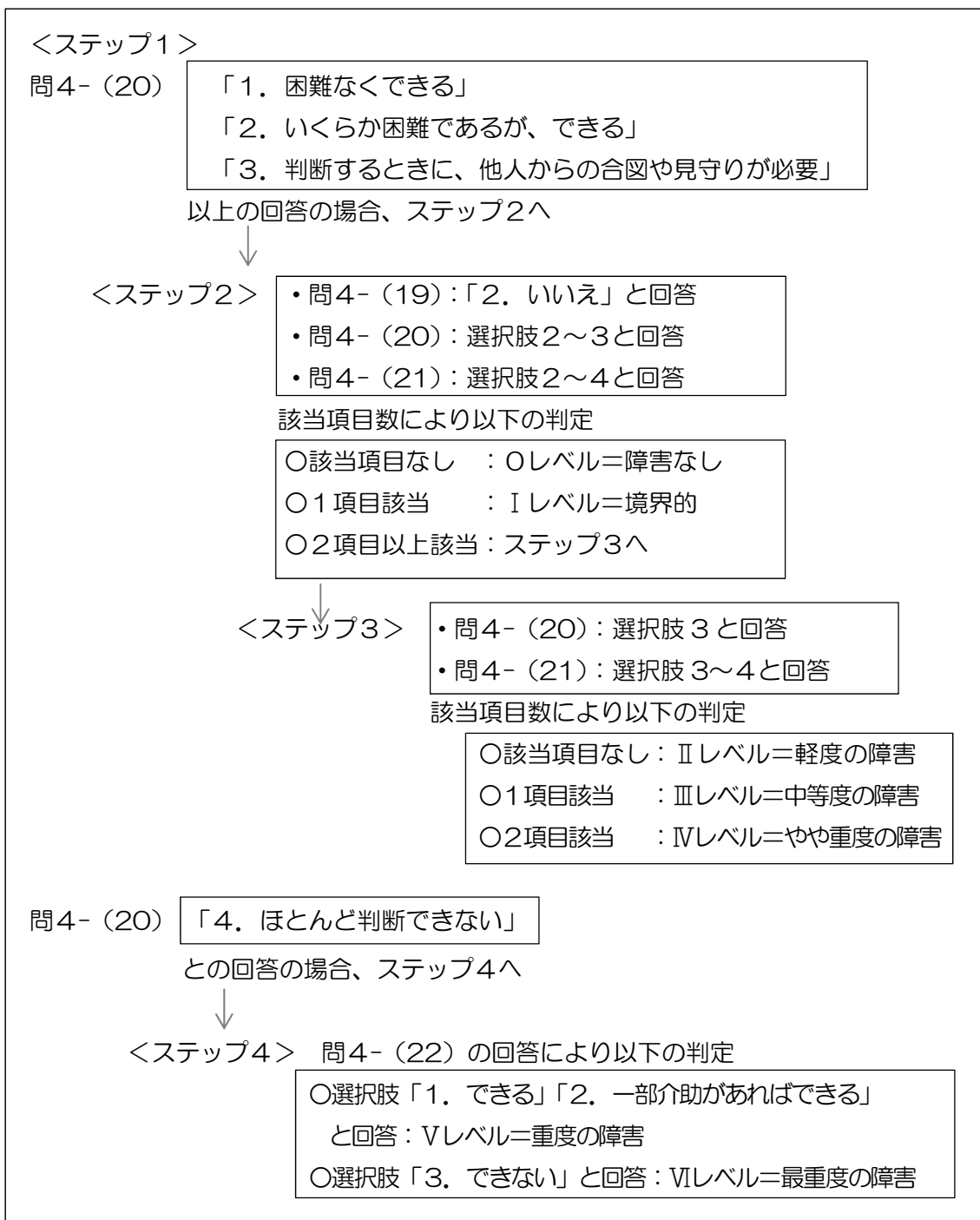
※4点：問題なし 3点：やや低い 0～2点：低い

※判定条件の設問に無回答が1項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

■老研指標総合評価

※IADL（手段的自立度）、社会参加（知的能動性）、社会参加（社会的役割）の合計点
11点以上：問題なし 9～10点：やや低い 8点以下：低い

■ CPS（軽度認知機能障害）判定ルール



※レベルⅢ～Ⅵ：障害あり、レベルⅠ～Ⅱ：やや障害あり、レベル0：障害なし
 ※判定条件の設問に無回答が1項目以上あった場合には、「判定できず」とします。

2 アンケート調査票

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(明名ラベル)

高齢者の健康と生活状況調査
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

調査票

調査協力をお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
山形市では、平成 27 年 3 月に山形市高齢者保健福祉計画（第 6 期介護保険事業計画）を策定し、「住み慣れた地域で支え合い、健やかに生きがいをもって暮らせるまちづくり」を基本理念に、住み慣れた地域で安心して生活できる“まちづくり”を進めています。
その計画の見直しを平成 29 年度に予定しており、このたびは地域の課題や高齢者の皆様
の要望（ニーズ）等を把握するためのアンケートを実施することとなりました。
この調査は、山形市にお住まいの要介護認定を受けていない 65 歳以上の方の中から無
作為に抽出した 6,000 名の方を対象としています。
なお、本調査で得られた情報は、皆様の健康情報という大切な個人情報であるという認
識にたも、山形市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとともに前述以外の目的に利用
することはありません。大変お忙しいとは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力を
お願いいたします。

平成 29 年 3 月
山形市長 佐藤 孝弘

記入日	平成	年	月	日
※ 調査票を記入されたのはなただですか。 ○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみだ統柄 _____）				
3. その他				

ご記入後、お手数ですが、この調査票を折り畳んで同封の返信用封筒に入れ、
3月24日(金)までに 郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

山形市 長寿支援課 電話：641-1212（内線653） FAX：624-8398

ご記入にあたってのお願い

1. この調査対象者は、山形市にお住まいで、平成 29 年 1 月 15 日現在 65 歳以上の要支援認定者（要支援 1・要支援 2）及び要支援・要介護認定を受けていない 65 歳以上の方です。
2. ご回答にあたっては表紙のあて名ラベルに記載の「あて名のご本人」についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険サービスを受けている場合、又は認定を受けていない場合においても常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び利用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご送達をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び利用目的について】

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
本調査で得られた情報につきましては、山形市高齢者保健福祉計画（第 7 期介護保険事業計画）策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。

ただし、地域分析等にあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ぶつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか (○は1つ)

1. 持家 (一戸建て)
2. 持家 (集合住宅)
3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
6. 借間
7. その他 ()

(5) 主に生活する部屋は2階以上にありますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

【(5) において「1. はい」(部屋が2階以上にある)の方のみ】

① お住まいにエレベーターは設置されていますか (○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしてない
3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしてない
3. できない

(3) 15分位続けて歩いていきますか (○は1つ)

1. できるし、している
2. できるけどしてない
3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えください (○は1つ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他 ()

【(1) において「1. 1人暮らし」以外の方のみ】

① 日中、1人になることがありますか (○は1つ)

1. よくある
2. たまにある
3. ない

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (○はいくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
2. 心臓病
3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺炎・肺がん等)
5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症 (アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患 (透析)
10. 損傷・脳脊髄損傷
11. 骨質・転倒
12. 骨髄損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他 ()
15. 不明

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

② 主にどなたの介護・介助を受けていますか (○はいくつでも)

1. 配偶者 (夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他 ()

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (Oは1つ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安でない
4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (Oは1つ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2~4回
4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (Oは1つ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか (Oはいくつでも)

1. 病氣
2. 障害 (脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配 (失禁など)
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)
6. 目の障害
7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない
10. その他 ()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (Oはいくつでも)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)
5. 自動車 (人に乗せてもらう)
6. 電車
7. 路線バス
8. 病院や施設のバス
9. 車いす
10. 電動車いす (カート)
11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー
13. その他 ()

(10) 買物や散歩に出かける頻度を教えてください

① 買物で外出する頻度はどのくらいですか (Oは1つ)

1. ほぼ毎日
2. 週4~5日
3. 週2~3日
4. 週1日
5. 週1日未満

② 散歩で外出する頻度はどのくらいですか (Oは1つ)

1. ほぼ毎日
2. 週4~5日
3. 週2~3日
4. 週1日
5. 週1日未満

(11) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いませんか (Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

(12) 杖やシルバーカーを使っていますか (Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

問3 食べることについて

(1) 身長・体重 (数字を右詰めで記入)

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (Oは1つ)

1. はい
2. いいえ

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (Oは1つ)
(成人の歯の総本数は、知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

【(3)で「2. できるけどしていない」「3. できない」の方のみ】

① 食品・日用品の買物をする人は主にどなたですか (○は1つ)

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー
4. 配達を依頼 5. その他

(4) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

【(4)で「2. できるけどしていない」「3. できない」の方のみ】

① 食事の用意をする人は主にどなたですか (○は1つ)

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー
4. 配達サービスを利用 5. その他

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

【(3)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

① 毎日入れ歯の手入れをしていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

【ここからは全員の方がお答えください】

② 噛み合わせは良いですか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) どなたかと食事をとにもする機会はありますか (○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(5) お茶や汁物等でもせることがありますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(6) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(7) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(9) 1日の食事の回数は何回ですか (○は1つ)

1. 朝昼晩の3食 2. 朝晩の2食 3. 朝昼の2食
4. 昼晩の2食 5. 1食 6. その他

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

(13) 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

(14) 家族や友人の相談にのっていますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

(15) 病人を見舞うことができますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

(17) 趣味はありますか (○は1つ)
 1. 趣味あり → 趣味 (具体的に: _____) 2. 思いつかない

(18) 生きがいがありますか (○は1つ)
 1. 生きがいあり → 生きがい (具体的に: _____) 2. 思いつかない

(19) 5分前に自分が何をしていたか思い出せますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

(20) その日の活動 (食事をする、衣服を選ぶなど) を自分で判断できますか (○は1つ)
 1. 困難なくできる 2. いくらか困難であるが、できる
 3. 判断するとき、他人からの合図や 4. ほとんど判断できない
 見守りが必要

(21) 人に自分の考えをうまく伝えられますか (○は1つ)
 1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる
 3. あまり伝えられない 4. ほとんど伝えられない

(22) 食事は自分で食べられますか (○は1つ)
 1. できる 2. 一部介助 (おかずを切ってもらするなど) があればできる
 3. できない

(23) 家事全般ができていますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

(24) ゴミ出しができていますか (○は1つ)
 1. はい 2. いいえ

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等どのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑦それぞれに回答してください (それぞれ○は1つ)

	週4回以上	週2-3回	週1回	月1-3回	年に数回	参加していません
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (○は1つ)
 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

- (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (○は1つ)
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない
- (4) あなたは地域でどんな支援ができると思えますか (○はいくつでも)
1. 配食の手伝い 2. 調理 3. 掃除・洗濯
 4. 買い物代行 5. 外出同行(通院、散歩など)
 6. ゴミ出し 7. 見守り、声かけ
 8. サロンなど、通いの場のサポート 9. 外出時の送迎
 10. できない 11. その他 ()

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいます

- (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
 7. その他 () 8. そのような人はいない
- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
 7. その他 () 8. そのような人はいない
- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣の人 6. 友人
 7. その他 () 8. そのような人はいない

- (4) 反対に、あなたが看病や世話をしあげる人 (○はいくつでも)
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
 7. その他 () 8. そのような人はいない
- (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (○はいくつでも)
1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員
 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師
 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 ()
 7. そのような人はいない

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
 4. 年に何度かある 5. ほとんどない
- (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (○は1つ)
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします
1. 0人(いない) 2. 1~2人 3. 3~5人
 4. 6~9人 5. 10人以上

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (○はいくつでも)

1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ
 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚
 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人
 7. その他 () 8. いない

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(8) 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか（○は1つ）

- 1. はい
- 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(通院している)の方のみ】

① 通院に介助が必要ですか（○は1つ）

- 1. はい
- 2. いいえ

問8 介護等が必要になった場合の生活について

(1) 介護が必要になった場合、どこでどのように生活をしていきたいですか（○は1つ）

- 1. 自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら生活したい
- 2. 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら生活したい
- 3. 施設（特別養護老人ホームや認知症グループホーム等）で生活したい
- 4. 高齢者向け住宅（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等）で生活したい
- 5. わからない

【(1)で「2. 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら生活したい」の方のみ】

① どのような介護サービスを受けたいですか（○は1つ）

- 1. 自宅に訪問してもらえるサービス（訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ等）
- 2. 施設などに通って受けるサービス（通所介護、通所リハビリ等）
- 3. 施設に短期間宿泊するサービス（ショートステイ）
- 4. 同じ施設で、通い・訪問介護・宿泊を組み合わせ受けて受けられるサービス（小規模多機能型居宅介護）
- 5. 同じ施設で、通い・訪問看護・宿泊を組み合わせ受けて受けられるサービス（看護小規模多機能型居宅介護）
- 6. 定期的、又は緊急時などの随時対応により、自宅への訪問介護や訪問看護を受けられるサービス（定期巡回・随時対応型訪問介護看護）
- 7. わからない

(2) 介護が必要になった場合、近隣の人にお願いでできるとしたら、どのようなことをお願いしたいですか（○はいくつでも）

- 1. 見守り
- 2. 声がけ
- 3. 外出同行
- 4. 雪かき
- 5. 草むしり
- 6. コミ出し
- 7. 買物
- 8. 調理
- 9. 掃除
- 10. 着替え
- 11. 季節用品の入替
- 12. 電球交換
- 13. その他（ ）

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか（○は1つ）
 （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

- とても不幸 0点
- 1点
- 2点
- 3点
- 4点
- 5点
- 6点
- 7点
- 8点
- 9点
- とても幸せ 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（○は1つ）

- 1. はい
- 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（○は1つ）

- 1. はい
- 2. いいえ

(5) タバコは吸っていますか（○は1つ）

- 1. ほぼ毎日吸っている
- 2. 時々吸っている
- 3. 吸っていたがやめた
- 4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか（○はいくつでも）

- 1. ない
- 2. 高血圧
- 3. 脳卒中（脳出血、脳梗塞等）
- 4. 心臓病
- 5. 糖尿病
- 6. 高脂血症（脂質異常）
- 7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
- 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 9. 腎臓・前立腺の病気
- 10. 筋骨格の病気（滑液しよ病・関節症等）
- 11. 外傷（転倒・骨折等）
- 12. がん（悪性新生物）
- 13. 血液・免疫の病気
- 14. うつ病
- 15. 認知症（アルツハイマー病等）
- 16. パーキンソン病
- 17. 目の病気
- 18. 耳の病気
- 19. その他（ ）

(7) お酒は飲みますか（○は1つ）

- 1. ほぼ毎日飲む
- 2. 時々飲む
- 3. ほとんど飲まない
- 4. もともと飲まない

(3) 高齢者保健福祉について、市が施策として優先して取り組むべきこと、充実すべきことは何だと思えますか (〇は3つまで)

1. 地域住民が共に支え合う仕組みづくりの支援
2. 社会参加促進や支援 (ボランティア活動・老人クラブなど)
3. 身近なところでの相談窓口の充実
4. 介護予防教室の充実
5. 認知症に関する理解の普及啓発や認知症高齢者への支援
6. 健康増進・維持のための健康診査
7. 介護が必要になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実
8. 特別養護老人ホームなどの施設整備
9. 介護に関する情報提供や制度の案内
10. 高齢者虐待への対応
11. 権利保護 (成年後見制度など) のための制度の周知と利用の促進
12. 家族介護者への支援
13. 介護サービスを受けていない高齢者への奨励
14. その他 ()

問10 自動車の運転について

(1) 自動車の運転免許証を持っていますか (〇は1つ)

1. 持っている
2. 持っていない

【(1)で「1. 持っている」の方のみ】

- ① 自動車の運転をやめたら日常生活で困ることは何ですか (〇はいくつでも)
1. 食品や日用品の買物
 2. 衣料品などの買物
 3. 総合病院への通院
 4. かかりつけ医への通院
 5. 行政機関の手続き
 6. 金融機関の手続き
 7. 趣味やスポーツなど
 8. 友人・親戚等との交流
 9. その他 ()

ご協力ありがとうございます。記入もれがないか、今一度お確かめください。

3月24日 (金) までに郵便ポストに投函してください。

(3) 介護が必要になった場合、近隣の人にお願いでできるとしても、どのようなことをお願いしたくないですか (〇はいくつでも)

1. 見守り
2. 声がけ
3. 外出同行
4. 雪かき
5. 車出し
6. ゴミ出し
7. 買物
8. 調理
9. 掃除
10. 着替え
11. 季節用品の入替
12. 電球交換
13. その他 ()

問9 山形市の施策について

(1) 自分 (又は家族) が認知症ではないかと感じた場合、家族、親族、知人以外で最初に相談 (又は受診) したいのは誰 (どこ) ですか (〇は1つ)

1. かかりつけ医
2. 認知症サポート医
3. 認知症専門医 (精神科・神経内科等)
4. 地域包括支援センター
5. ケアマネジャー (介護支援専門員)
6. 民生委員・福祉協力員
7. 介護サービス事業者
8. 市役所などの行政機関
9. 認知症の人と家族の会
10. 認知症サポーター
11. 薬局
12. その他 ()

(2) 今後、認知症を早期発見し、早期支援に結びつけるための仕組みづくりを進めていくうえで、市はどのようなことに重点を置くべきだと思いますか (〇はいくつでも)

1. 認知症についての正しい理解を広める取り組み
2. 認知症の不安を抱える人への支援
3. 認知症を発見するための検診
4. スムーズに医療機関を受診するための働きかけ
5. 認知症を予防するための講座・講演会などの取り組み
6. 認知症について相談しやすい環境づくり
7. 認知症の本人が集える場の整備
8. 認知症の人を介護している家族の相談会や交流会などの支援
9. 認知症の人を見守るボランティア・認知症サポーターなどの仕組みづくり
10. 徘徊 (はいかい) している人への声かけ訓練の実施
11. 認知症について診断ができる医療機関の連携体制整備
12. その他 ()

(2) 在宅介護実態調査

**高齢者の生活と
介護者の就労状況調査**
(在宅介護実態調査)
調査票

(宛名ラベル)

調査協力をお願い

皆様には、日頃から介護保険行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

近年、高齢者人口の増加とともに様々な課題に対し、地域包括ケアシステムをより高度化させ、高齢者の自立支援及び介護度の高度化防止など、介護を必要とする高齢者等が自分らしく在宅生活を続けるための体制整備が求められています。また、家族介護者の介護離職等をなくするため、地域住民が役割をもち、支え合いながら活躍できる「地域共生社会」の実現に向けた介護サービスのあり方が課題となっています。

山形市では、平成27年3月に山形市高齢者保健福祉計画（第6期介護保険事業計画）を策定し、「住み慣れた地域で支え合い、健やかに生きがいをもって暮らせるまちづくり」を基本理念に、介護や支援を必要とする方々と家族介護者にとって住みよい“まちづくり”を進めており、平成29年度には計画の推進しを予定しています。

このため、山形市にお住まいの65歳以上の要介護認定者（以下「要介護者」といふ。）及びその介護者の中から無作為に抽出した1,400名の方を対象とするアンケートを実施することとなりました。

なお、本調査で得られた情報は、山形市個人情報保護条例に基づき適正に取扱うとともに前述以外の目的に利用することはありません。

大変お忙しいとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成29年3月
山形市長 佐藤 孝弘

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、要介護者ご本人及び主な介護者の方についてお答えいただくアンケートです。各設問には、平成29年2月時点の状況でご回答ください。

2. 回答は、選択肢に○を付けていただく場合と、記述していただく場合があります。

3. 選択された回答によっては、次に進む設問が異なる場合があります。特にことわりのない場合は次の設問に、このわり書きや矢印がある場合は指示に従ってください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び利用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護及び利用目的について】

この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。

本調査で得られた情報につきましては、山形市高齢者保健福祉計画（第7期介護保険事業計画）策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、本市で適切に管理いたします。

3月24日（金）までに

ご記入後、お手数ですが、この調査票を折り畳んで同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

山形市 長寿支援課 電話：641-1212（内線653） FAX：624-8398

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等はどれですか。(〇はいくつでも)

- 【身体介護】
1. 日中の排泄
 2. 夜間の排泄
 3. 食事の介助(食べる時)
 4. 入浴・洗身
 5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等)
 6. 衣服の着脱
 7. 屋内での移乗・移動
 8. 外出の付き添い、送迎等
 9. 服薬
 10. 認知症状への対応
 11. 医療面での対応(経営栄養、ストーマ等)
- 【生活援助】
12. 食事の準備(調理等)
 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
 14. 金銭管理や生活面に必要な語学技能
- 【その他】
15. その他()
 16. わからない

問7 ご家族や親族の方で、ご本人(要介護者)の介護のために、過去1年の間に仕事を辞めた方・転職された方はありますか。(〇はいくつでも)
(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や専業主婦の仕事を辞めた・転職した場合は含みます。

問A 現在、この調査票に回答されているのほどなだけです。(〇はいくつでも)

1. あて名のご本人(要介護者)
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 担当ケアマネジャー
5. その他()

I ご本人(要介護者)の状況について

問1 世帯類型はどれに該当しますか。(〇は1つ)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他()

問2 家族や親族の方から介護してもらう日は、週にどのくらいありますか。(〇は1つ)
(同居していない子どもや親族の方等からの介護も含みます。)

1. ない ⇒ 問8へ
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1~2日ある
4. 週に3~4日ある
5. ほぼ毎日ある

II 主な介護者等の状況(属性等)について

問3 主な介護者の方は、ご本人(要介護者)から見てどなたになりますか。(〇は1つ)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他()

問4 主な介護者の方の性別はどちらですか。(〇は1つ)

1. 男性
2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢はどれに該当しますか。(〇は1つ)

1. 20歳未満
2. 20~29歳
3. 30~39歳
4. 40~49歳
5. 50~59歳
6. 60~69歳
7. 70~79歳
8. 80歳以上
9. わからない

III 支援・サービス・訪問診療の利用状況・ニーズについて

問8 現在、「介護保険サービス以外」の支援・サービス[※]は、何を利用していますか。
(〇はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 ()
11. 利用していない

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含まれます。

問9 在宅生活を今後も続けていくためには、どの支援・サービス[※] (現在利用中を含む)が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 ()
11. 特にない

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

問10 現時点において、施設等[※]への入所・入居を検討されていますか。(〇は1つ)

1. 入所・入居を検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居の申し込みをしている

※「施設等」とは、特別介護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別介護老人ホームを指します。

問11 ご本人(要介護者)が、現在抱えている傷病名を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 脳血管疾患 (脳卒中)
2. 心疾患 (心臓病)
3. 悪性新生物 (がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患 (透析)
6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病 (関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病 (パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 歯科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他 ()
15. なし
16. わからない

問12 ご本人(要介護者)は、現在、訪問診療[※]を利用していますか。(〇は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅介護管理指導は含みません。

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(〇は1つ)

1. 利用している ⇒ 問 14 へ
2. 利用していない ⇒ 問 13-1 へ

問 14-1 「フルタイム又はパートタイムで働いている」主な介護者の方にお伺いします。
介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(〇はいくつでも)
(〇はいくつでも)

1. 特に調整していない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. わからない

問 14-2 「フルタイム又はパートタイムで働いている」主な介護者の方にお伺いします。
仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援はどれですか。(〇は3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他（ ）
10. 特になし
11. わからない

問 14-3 「フルタイム又はパートタイムで働いている」主な介護者の方にお伺いします。
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. わからない

6

問 13-1 介護保険サービスを「利用していない」方にお伺いします。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人（要介護者）にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを利用したいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（ ）

※ここからは、「主な介護者」の方にご回答ください。「主な介護者」の方のご回答が難しい場合は、ご本人（要介護者）が記入されるか、無回答で結構です。

IV 主な介護者の就労状況について

問 14 主な介護者の方の現在の勤務形態はどれに該当しますか。(〇は1つ)

1. フルタイムで働いている ⇒ 問14-1～3へ
2. パートタイム*で働いている ⇒ 問14-1～3へ
3. 働いていない ⇒ 問15へ
4. わからない ⇒ 問15へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を指します。自営業・フリーランス等の場合も、就労期間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

5

問 17 終末期をどこで、どのように迎えることを希望しますか (○は1つ)

1. 自宅又は親族等の家で「親族等の介護」を受けながら迎えたい
2. 自宅又は親族等の家で「介護サービス」を受けながら迎えたい
3. 施設 (特別介護老人ホームや認知症グループホーム等) で迎えたい
4. 高齢者向け住宅 (有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等) で迎えたい
5. 病院などの医療機関で「医療処置」を受けながら迎えたい
6. 特に希望はない
7. わからない

問 18 高齢者保健福祉について、市が施策として優先して取り組むべきこと、充実すべきことは何だと思えますか (○は3つまで)

1. 地域住民が共に支え合う仕組みづくりの支援
2. 社会参加促進や支援 (ボランティア活動・老人クラブなど)
3. 身近なところでの相談窓口の充実
4. 介護予防教室の内容の充実
5. 認知症に関する理解の普及啓発や認知症高齢者への支援
6. 健康増進・維持のための健康診査
7. 介護が必要になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実
8. 特別介護老人ホームなどの施設整備
9. 介護に関する情報提供や制度の案内
10. 高齢者虐待への対応
11. 権利擁護 (成年後見制度など) のための制度の周知と利用の促進
12. 家族介護者への支援
13. 介護サービスを受けていない高齢者への奨励
14. その他 ()

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。

3月24日(金)までに郵便ポストへご投函ください。

V 介護生活を続ける際の不安や困りごと

問 15 (在宅生活を送る要介護者を介護している) 現在の生活を今後も続けていくにあたって、主な介護者の方が不安に感じている介護等はどれですか。(○は3つまで)
(現在行っているかどうかは問いません。)

【身体介護】

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内での移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症への対応
11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)

【生活援助】

12. 食事の準備 (調理等)
13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

【その他】

15. その他 ()
16. 不安に感じていることは、特にない
17. わからない

※ここからは、ご本人(要介護者)又は主な介護者の方のどちらがご回答いただいても結構です。

VI 山形市独自設問

問 16 近隣の人にお願いでできるとしたら、どのようなことをお願いしたいですか (○はいいくつでも)

1. 見守り
2. 声かけ
3. 外出同行
4. 雪かき
5. 草むしり
6. ゴミ出し
7. 買物
8. 調理
9. 掃除
10. 着替え
11. 季節用品の入替
12. 電球交換
13. その他 ()

問 16-1 近隣の人にお願いでできるとしても、どのようなことをお願いしたくないですか (○はいいくつでも)

1. 見守り
2. 声かけ
3. 外出同行
4. 雪かき
5. 草むしり
6. ゴミ出し
7. 買物
8. 調理
9. 掃除
10. 着替え
11. 季節用品の入替
12. 電球交換
13. その他 ()

山形市

高齢者実態調査結果報告書

発行日 平成 29 年 7 月

発行元 山形市 福祉推進部 長寿支援課 計画推進係

住所 〒990-8540

山形市旅籠町二丁目 3 番 25 号

連絡先 TEL : 023-641-1212 (内線653)

FAX : 023-624-8398

URL : <http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/>